麵包料中の毒質を論じて其毒を滅する法に及ぶ 一八
戰時及び時疫流行時の養衆法 一八
東京市中に販賣せる牛乳中の牛糞に就て 一八
服乳の注意 一八
屋制新議 一八
壁濕說 一八
醫の窓匠にて建てし新療院 一八
劇場の雛形 一八
墓田の利害 一八
市區改正は果して衛生上の問題に非ざるか 一八
街衢の敷陣 一八
鐵道に關する衛生法 一八
傳染病分類圖 一八
療症の預防につきて 一八
コツホ氏肺療新療法の急報 一八
治療續聞 一八
內科會にて結核素の評判 一八
コツホの新療法につきて起りし假名文字の說 一八
獨逸醫界近事 一八
ランゲンブツホ等が結核素を用ゐて得たる效驗 一八
古弗結核療法類纂 一八
結核素に就きての續報 一八
衛生都城の記 一八
痰狗毒種接院を開くの記 一八
僂麻質斯の話 一八
腦氣減少は果して麥を以て米に代へたるに因する乎 一八
咄咄怪事 一八
ホフマン焚尸滅跡考 一八
裁判醫の文は宜しく愼なるべし 一八
猶太敎徒の裁判醫學 一八
ヴエストゴオテンの法醫學 一八
醫業禁停の處分を論ず 一八
統計に就て 一八
統計三家論を讀む 一八
統計の譯語は其定義に負かず 一八
日本醫育論補遺 一八
醫試の前後期を合并せんとする議を駁す 一八
時事新報は醫者の何者たるを知らず 一八
醫藥兩業の關係を論ず 一八
ベツケル阻業の醫斷 一八
醫學統計論の題言 一八
統計に就ての分疏 一八
「三たび統計に就て」を讀む 一八
再び日本の醫育を論ず 一八

大杉榮全集 九卷・別冊一卷 大正一四・一五 洋・小 同集刊行會刊 一〇冊 イ 類四 二一〇號

個人的思索 一
羞恥と貞操 一
現代社會觀 一
クロポトキン研究 二
無政府主義者の見たロシア革命 二
自由の前觸れ 二
獄中記 三
死灰の中から 三
飜譯小說 四
編輯室にて 四
脫走中の消息 四
戀の手紙 四
附錄・エスペラント文 四
青年に訴ふ(同上) 五
自由の合意(同上) 五
民衆藝術論(ロオラン) 六
フアブルの「昆蟲記」から 六
人間の正體(ムウア) 七
種の起原(ダアキン) 八
近代個人主義の諸相 一
勞働運動の哲學 一
正義を求める心 一
バクウニン研究 二
新秩序の創造 二
自敍傳 三
日本脫出記 三
附錄・大杉榮年表 三
隨筆 四
獄中消息 四
消息 四
消息(伊藤野枝) 四
一革命家の思出(クロポトキン) 五
革命の研究(同上) 五
相互扶助論(同上) 六
生命の道德(ギイヨオ) 六
男女關係の進化(ルトウルノ) 七
物質非不滅論(ル・ボン) 七
昆蟲記(一)(ファブル) 九

科學の不思議(ファブル撰・伊藤野枝同譯) 九
別冊・伊藤野枝全集 感想と隨筆 一〇
創作 飜譯
事實と批評
附錄・伊藤野枝年表

尾崎行雄全集 一〇卷 尾崎行雄譯・清藤幸七郎編 大正一五至昭和二 洋・中 一〇冊 イ 類四 二一四號

公會演說法 一
米洲聯邦治案策(ドレーパー) 一
英國議院政治論 王室篇(トッド) 一
英國議院政治論 內閣會議篇(同上) 一
人物評傳 一
新日本 一
通俗 地租改正私議 二
志士處世論 二
條約改正論 二
朝鮮論 三
談海 三
學堂論叢(帶刀論外四九篇) 四
政治及び政黨論集 五
三國干涉論 五
時論一束 五
世界の改造と日本の將來 五
學堂論叢(憲政の本義外一三篇) 七
學堂詩存 八
學堂漫錄 九
政治紀行 九
婦人讀本 一〇
回顧錄 一〇

海舟全集 一〇卷 勝安芳撰・同集刊行會編 昭和二至四 洋・中 一〇冊 イ 類四 二一三號

開國起原(附錄共) 一—二
吹塵餘錄 五
海軍歷史 八
腐の茨の記 九
鷄肋 九
夢醉獨言 九
隨筆 九
海舟印譜 一〇
亡友帖 一〇
追賛一話 一〇
飛川歌集 一〇
隨筆補遺 一〇
吹塵錄 三—四
陸軍歷史 六—七
海舟日記 九
鷄肋 九
解難錄 九
建言書類 九
肖像及寫眞 一〇
海舟書簡 一〇
流芳遺墨 一〇
清譚と逸話 一〇
海舟詩稿 一〇
海舟年譜 一〇

柯公全集 五卷・別卷一冊 大庭景秋撰・同集刊行會刊 大正一四 洋・中 六 イ 四 二一〇八

隨筆 一—二
水に陸に 四
論文(在滿露領の鮮人解放外二二篇) 四
雜文(閥族の元締山縣公外一一篇) 五
附・年譜
露國及露人研究 三
傳記(吉田松陰外一〇篇) 五
別卷・柯公追悼文集 六

柯公全集 缺本 大庭景秋撰・同集刊行會刊 大正一四 洋・中 四 イ 四 二一〇四

羯南文錄 陸實撰・鈴木虎雄編 昭和八 洋・中 一 イ 四 二三六

日本叢書 自由主義如何
近時憲法考 豫算論
近時政論考 國際論・同續篇・同補遺
原政
論文・雜著(日本創刊の趣旨外二二篇) 詩集 並續詞
歌・詩・續詞
瑞穗舍歌草・同拾遺

川合清丸全集 一〇卷 同集刊行會刊 昭和八 再版 洋・中

三道並行篇

日本國教大道社設立大意 一
國教論 一
三道鼎立論 一
制作論 一
大道社設立に就て 一
大道の汚點 一
大道社主義辯 一
大道社と政黨の關係 一
九州の同志に寄する書 一
大道社基本金を募るの檄 一
大道叢誌第五十一號に上るを自祝す 一
大道社擴張主意書 一
興學論 一
告哀書(一名大道學館設立趣意) 一
大道學館開校式の景況 一
大道學館開講式 一
日本國教大道學館統一舍設立事情 一

神道卽國體門

神道擴張論 二
神道本體論 二
大廟諄辭を讀む 二
神拜辯 二
神祇官再興論 二
有形の神と無形の神 二
神道の由來を說明して新神道者に忠告す 二
大道學館生徒の參宮に餞す 二
高天原辯 二
大道論(一名國教論) 一
國教問答 一
學者の臟腑 一
芳山看花記 一
大道社成立の精神 一
大道社は雜炊屋なりや 一
主筆に代て大道社主義を辯ず 一
政黨關係に付社告 一
全國贊成員諸君に詢るの檄 一
一
一
大道社擴張主意書解說 一
教育本論 一
大道學館設立に付哀願書 一
大道學館新年式 一
大道學館揭示講義 一
國之大經 一
神道者の妄見を破す 二
大廟諄辭 二
神拜論 二
神官教職兼否論 二
久米邦武氏の神道說の妄を辯ず 二
二
二
蛭子神考 二
神道本義辯 二
聖德太子御記文 二
英人質問神道本義 二
皇國の義 三
護國論 三
日本魂 三
神道統一合同檄文を讀む 三
神道の要義を明かす書牘 三
建國の大本 三
常世國考 三
越の國の人種 三
神典問答 三
神道答義 三
戊申詔書講義 三
神道論批評 三

儒道卽經世門

獨人質問儒道本義 四
道德興起論 四
男女文明論 四
人の價値 四
汝爲君子儒勿爲小人儒 四
女子教訓書 四
人の務 四
人の道 四
日本庭訓 四

佛道卽解脫門

鐵舟不薨 五
佛法裁判 五
米人オルゴット氏と對話 五
佛法と哲學との異同 五
宗教必用論 五
推古天皇十七憲法和譯 二
神道要領講義 二
國體論 三
道德論 三
大和魂 三
神道を論ずる書牘 三
神道國教論並序 三
有賀博士の神道國教論を讀む 三
常世の國 三
皇道 三
天の岩屋戶に就て 三
敬神問答 三
日神教 三
大和魂 三
儒道恢復論 四
道德恢復論 四
朋友論 四
人倫道德の根本義 四
階級制と君子の道 四
天人二道辯 四
誠の道しるべ 四
士範 四
挿註人道要論 四
鐵舟佛法答話 五
東洋の宗教 五
眞理論 五
佛法必用論 五
宗教道德の必用 五

死生說 五
逐波居士安心談 五
佛教安心論 五
靈魂不滅論 五
靈魂旅行問答 五
莫妄想の響 五
靈魂と幽靈 五
辯辨道書 五
得庵居士垂示一則 六
評の評 六
學問の要領と師弟の心得 六
煩惱卽菩提 六
一得庵の佛事 六
學者の覺悟 六
福壽庵夜話 六
眞福 六
新年の佛法 六
大身小身 六
六道論 六
宗教眞味 六
學問と修行 六
譯註玉耶女經 六
增長財命經 六
王法政論經講義 六
佛人質問佛道本義 六

諸子卽百家門

亡妻の靈位に告ぐる文 七
人畜裁判 七
慢性病治癒法 七
五行本命星問答 七
安心決着論 五
垂示の病人に示す 五
坐禪に就て 五
冥途の光明 五
莫妄想 五
幽靈有無の解決 五
靈魂不滅に就て 五
佛教演說 五
佛法興起論 六
出家辯 六
福田說 六
財法二施辯 六
生死の事を辯ずる書牘 六
通夜の說法 六
落合直文大人の車中感懷を讀む 六
喜神勸請の事 六
不動尊の話 六
修道指南針 六
弘法大師に對する卑見 六
讀經眼と聞法耳 六
轉迷開悟のしをり 六
國譯父母恩重經 六
國譯佛遺教經 六
菩提達磨略辯大乘入道四行觀講義 六
墓參の記 七
氣質鍊磨法 七
神代の治療法 七
耳順養生錄 七
神典讀法の祕訣 七
無病長生法 七
菜根譚講義 七

經世時論篇

帝國憲法發布奉祝文 八
教育論 八
教育勅語の聖旨貫徹論 八
政黨關係に就て 八
社寺局廢合論 八
忠孝論 八
禎祥論 八
國家元氣論 八
水害を弔す 八
祭征淸之役戰歿勇士諸靈文 八
戰捷紀念郵券を拜觀して有感 八
西洋心醉者を諭す 八
福澤諭吉君を弔す 八
征露大詔を奉讀す 八
戰勝新年の所感 八
日露戰爭と天人二道 八
日露媾和と士道 八
傍人有眼 八
韓國併合を祝し奉る 八
地方良民の生血を吸ひ取る惡蟲驅除法 八
異端邪說を筆誅す 八
耶蘇教取捨辯 九
歲暮感懷 九
歲旦所感 九
誠の說 九
捨つる人あれば拾ふ人あり 九
養老百則 七
譯陰隲錄 七
教育勅語を奉讀す 八
教育の原則 八
菊池博士の教育勅語講義 八
國家論 八
造神宮使廳の不敬を聞て有感 八
妖孽論 八
曆法論 八
四民論 八
人紀振肅論 八
學弊論 八
內藤耻叟先生の喪儀論を讀む 八
國家興亡圖論 八
吉書始 八
露帝を濟度す 八
治國の大本 八
日露媾和論 八
亡國論 八
銅像論 八
大逆無道論 八
憂國淚 九
三教裁判 九
國害論 九
不敬の賊臣を筆誅す 九
印度佛蹟興復會に贊成を請ふ書 九

英人フヲンデス大佐の演說筆記を讀む　九
柔能制剛論　九
天理教論　九
禮義廉耻　九
大道叢誌第百一號に達せるを自祝す　九
我が國教國家の運命　九
政府に望む　九
神儒佛三道者の責任　九
戰後の經營果して如何　九
人生觀の檢討　九
我輩の新年　九
神變神通辯　九
明治天皇卽位五十年祝典擧行贊成の辭　九
有賀博士の教育勅語に關する意見に就て　九
王道覇道獸道魔道　九

詞藻及手柬篇

明治天皇頌德表　一〇
英照皇太后御大葬誄辭　一〇
東台看花記　一〇
嵐峽看花記　一〇
富士の裾野行　一〇
除夜父師朋友の靈を祭る文　一〇
大磯虎御前の靈を弔ふ記　一〇
歩兵中佐橘君の靈を慰する文　一〇
朝夕禮拜略式及拜辭　一〇
歌ものがたり　一〇
漢詩　一〇

河村幹雄博士遺稿　同博士遺稿刊行會編　昭和八　洋・中　一冊　イ 四類 二三五號

日本の花嫁に三行半を遣す　九
萬國宗教大會始末評論　九
「三眼」子の加年を祝す　九
學道論　九
履軒先生の華胥國物語を讀む　九
人倫と鬼畜　九
丙午の年に餞す　九
今春の宗教大會に對する卑見　九
大道社の希望一斑　九

英照皇太后崩御悼辭　一〇
明治天皇崩御慟辭　一〇
觀楓記　一〇
東台春遊記　一〇
安房の波音　一〇
丙午孟蘭盆記　一〇
悼青森歩兵第五聯隊凍死將卒　一〇
悼川尻寶岑老居士　一〇
川合永郎葬送誄辭　一〇
和歌　一〇
手柬　一〇

著述及び寄稿

日米不戰論

國防の將來
愛兒の教育と共學校の選擇
高等學校竝に同程度各種專門學校に於ける學生思想危激化に對する一救濟策
米國思想文獻的批判
日本とアメリカ
戊辰教育會創立一周年紀念日を迎へて
教育の外何物もなし
「柳澤省三著民族之體驗論的基礎」序文
盛夏の候夏山水の御製を拜誦して
年暮れむとす
藤村作博士の中等國語讀本觀を評す
基督と親鸞
基督の信について祖國愛のうかゞはるゝ節々
耶蘇と國家・社會及び經濟問題
基督教々育振興策質問に對する返書公開(一・二)

講演

米國を背景として見たる日本
日本の將來
名も無き民の心
軍人と藝術
民族精神
エールマン
白陵會創立祝賀に際して
日本を背負はむ
現代日本を救濟するは私立學校の使命なり
西南學院創立十五周年紀念祝辭
家庭に於ける女子の教育
何處に神を禮拜すべき
我等の生命
基督教と祖國愛

斷篇

隨想及び思想・社會問題に關するもの　基督教に關するもの
教育に關するもの
和歌
定稿　未定稿
日記(明治四四至昭和六年)
地質學に關する論文その他
ニコルのプリズムの「開き」を計算すること
造岩鑛物の干渉圖に依りて岩石薄片の厚さを測定すること
「地層の斷面圖」製作に便利なる曲線圖」及び其算式に就て
豐後國尾平産ダンビュライトの主屈折率
採鑛及冶金學科地質學講義の緒言
土木工學科學生に對する地質學講義の緒言(一・二)
岩石學研究に於ける光學的鑛物學の意義
鑛床學研究の發展の歷史的概觀　鑛床の研究と地質學的諸科學との交涉
地質學特別講義
工學部(採鑛・冶金・土木・應用化學)學生に對する授業
農學部地質授業
東北帝國大學理學部學生に對する講義草案
東北帝國大學理學部學生に對してなせる物理岩石學講義を完成する事に關する方針
應用結晶光學に關する事項を綜合する三つの方法
鑛物の光學的性質の二種　Schlussbemerkung
櫻島噴火雜感

義人全集　五編　田中正造撰・田中翁遺蹟保存會編　大正一四・昭和二　洋・小　五冊　イ 四類 二一九八號　一—二　三—四　五

演說集(栗原彦三郎編)
鑛毒事件(附・谷中村事件)(高橋秀臣・菊地茂編)
自敍傳書簡遺稿集(栗原彦三郎編)

同　イ 總類 四 叢書　五　イ 四 二一九三

黑川眞賴全集　黑川眞道編　明治四三・四四　洋・中　(國書刊行會叢書本)　六冊　イ 四類 七四號　一—二

增補訂正考古畫譜(黑川春村撰・同眞賴補)

日本美術篇

日本美術性質　三
日本美術沿革　三
東大寺法隆寺の美術　三

日本繪畫篇

日本繪畫沿革說　三
東大寺所藏善財童子繪卷考證　三

日本佛像彫刻篇

日本佛像彫刻說　三
玉眼入佛像說　三
藥師寺金堂及講堂諸佛像考證　三
東大寺戒壇院四天王像考證　三
法輪寺十一面觀世音大像考證　三

日本建築篇

家屋建築說　三
法隆寺建築說　三

日本漆工篇

日本蒔畫沿革　三
帝國博物館陳列蒔繪品年代考　三

日本金工篇

日本金屬器財志　三
古代弩鉞弓箭說　三
日本古代武器說　三

日本玉工篇

日本寶玉說　三

日本染織篇

日本織物概說　三
日本繪畫由來　三
日本美術と佛教との關係　三
平泉寺の美術　三
東大寺正倉院美人屛風考證　三
日本古代佛像說　三
古今佛師比較論　三
東大寺三月堂諸佛像考證　三
法華寺十一面觀世音菩薩像考證　三
蟹滿寺釋迦像考證　三
宮殿建築大意　三
伊勢皇大神宮高欄擬寶珠考　三
日本漆器種類　三
古代刀鉾圖說　三
日本古代甲冑說　三
華原磬考證　三
日本玻璃七寶說　三
日本繪物說　三

外邦織工渡來辨々 三
纐纈臈纈夾纈考 三

日本工藝篇

增補訂正 工藝志料 三

日本歷史篇

日本書紀を讀む心得 四
天智帝時代文學及社會文化狀況 四
朝綱史 四
纂輯御系圖指瑕答辨 四
長慶院非讓位辨 四
蘇那曷叱知來朝考 四
源義仲論 四
天海僧正血統考 四
蝦夷人種論 四

日本風俗篇

日本古代衣食住大意 四
日本古代女子風俗 四

日本制度篇

後宮篇 五
總追捕使起原考 五
日本民法大意 五
古量考 五

考證篇

天皇禮冠考 五
菊桐御章考 五
天皇御華押考 五
東大寺正倉院藏子日鋤及子日考證 五
東大寺獻物帳考證 五
大鷹簗小鷹簗考 五
上代石器考 五
日本上古養蠶沿革 三
日本古典年代說 四
天平時代文學及社會狀況 四
日本上古の外交 四
南山長松幹枝論 四
天日槍歸化時代考 四
在原業平朝臣辨 四
豐臣太閤略譜 四
三條內大臣行狀繪詞稿 四
鎌倉大草紙考 四
日本風俗說 四
日本古代婦人粧飾 四
勳位考 五
日本佩刀沿革 五
商法篇 五
崇神帝以前無年貢考 五
御冠沿革考 五
御諱名沿革考 五
聖德太子御像辨 五
工藝志料徵 五
穴居考 五
日本人口總計考 五
上刺袋考 五
久米舞考 五
遊女考 五
麥由來說略 五
煙草由來說略 五
菜種子由來說略 五

論說篇

本敎大意 六
學問の本末 六
君臣說 六
俗祭說略 六
工藝者稱師說 六

日本文學篇

日本學問說 六
日本文學大要 六
日本言語說 六
日本書籍刊考 六
色葉歌作者考 六
詠歌奬勵說 六
歌語解說 六

日本語學篇

日本文典大意 六
日本文典初步 六
詞の栞打聽 六
もこそ問答 六
字音問答案 六
古代四季考 五
俳優考 五
米由來說略 五
大豆由來說略 五
煙草傳來說略 五
山林由來說略 五
道の大意 六
大和魂說 六
祭政說略 六
政事刑事の本義 六
日本文學說 六
物語繪詞說 六
支那文字傳來考 六
假字新說 六
今樣歌起原沿革 六
和歌所考 六

鷄肋集 七篇(篇五缺) 上田恭輔撰 大正四至・昭和二 洋・小 六冊 イ 四類 八四一號

松本博士の大黑天考を難ず 一
天福安樂經 三
生殖器崇拜敎の話 二
露西亞時代の大連 四

死線を超えた滿鐵 五
旅順戰跡案內の記 六

元凱十著 小鷹狩元凱撰 昭和五 洋・中 一 イ 四 一一七一

藝藩三十三年錄 廣島蒙求(一名弘洲雜話)
廣島蒙求次編 藝藩學問所記事一片
藝備協會略志 弘洲雨屋蟲干集
弘洲雨屋蟲干集外篇 廣島雜多集
自慢白島年中行事 梅月遺影

玄耳庵支那叢書 澁川柳次郎撰・玄耳叢書刊行會刊 大正一三・一四 洋・小 六 イ 四 一〇九六

神仙 一
女・家・國 三
法家・刑獄 五
刺客・劍俠 二
興亡 四
文字・書道 六

國民叢書 第一至三二(有缺) 德富猪一郎撰・民友社刊 明治二七至三九 初至二五版 洋・小 二四 イ 四 二五三

進步乎退步乎 一
青年と敎育 三
第二靜思餘錄 五
天然と人 七
家庭小訓 九
單刀直入錄 一一
文學漫筆 一三
世間と人間 一五
生活と處世 一七
第二日曜講壇 一九
第七日曜講壇 二一
處世小訓 二三
人物管見 二
靜思餘錄 四
文學斷片 六
風雲漫錄 八
經世小策(上卷) 一〇
寸鐵集 一二
漫興雜記 一四
社會と人物 一六
日曜講壇 一八
第六日曜講壇 二〇
第九日曜講壇 二二
人物偶評 二四

堺利彥全集 六卷 堺利彥撰譯・中央公論社刊 昭和八 洋・小 六 イ 四 一二二一

不知所往列傳(小說) 一
當世品定(同上) 一
蝶くらぶ(小說) 一
萬朝報時代 一
枯川隨筆 一
家庭の新風味 二
百年後の新社會(ベラミー) 二
平民日記(一至三) 三
週刊「平民新聞」所載(發刊の序外一七篇) 三
週刊「直言」所載(共產黨宣言公判外一二篇) 三
週刊「光」所載(「國家社會主義梗概」を讀む外九篇) 三
日刊「平民新聞」所載(社會主義とは何ぞや外六篇) 三
「大阪平民新聞」所載(ハーデー翁外三篇) 三
「日本平民新聞」所載(社會新聞と小生等との關係外八篇) 三
勞働問題(ゾラ) 三
谷川の水(ショウ) 三
貝塚より 四
「近代思想」揭載(大杉と荒畑外二篇) 四
「へちまの花」より 四
ジェルミナール(ゾラ) 四
「新社會」所載(小き旗上外三三篇) 五
野性の呼聲(ロンドン) 五
日本社會主義運動史話 六
日本社會主義運動に於ける無政府主義の役割 六
日本社會主義運動小史 六
望鄕臺(隨筆) 一
三十歲記(日記) 一
言文一致普通文 一
「家庭雜誌」より 二
子孫繁昌の話(ゾラ) 二
理想鄕(モリス) 三
白頭の戀(小說) 四
「賣文集」より 四
ショウ劇梗概 四
社會講談(鑄掛松外三篇) 五
雜錄(予の自傳外一二篇) 五
堺利彥傳 六
雜錄(三本松外一四篇) 六
附・堺利彥略歷及著作年譜 六

志賀重昂全集 八卷 同集刊行會刊 昭和二至四 洋・中 八 イ 四 一一三三

經世治國篇 一
歷史地理篇 二
外國地理參考書 三
世界山水圖說 三
日本風景論 四
海外事情篇 一
人文地理學講義 二
南洋時事(附錄共) 三
山水叢書 河及湖澤 三
眼前萬里 四

地理學 四
世界の奇觀 五
國民世界當代地理 六
札幌在學日記 六—八
詩藻 七
隨筆集(私の學生時代外一三篇) 八
諸家の追悼文 八
附錄・世界寫眞圖說(拔萃) 八
澁澤榮一全集 六卷 山本勇夫編・平凡社刊 昭和五 洋・中 一
新編 青淵百話 三
社會論叢 三
年譜・逸話・世界名士接見錄 五
春汀全集 三卷 鳥谷部銑太郎撰・博文館編刊 明治四二 洋・中 一—三
明治人物月旦 三
逍遙選集 一二卷・別冊三卷 坪內雄藏撰譯・春陽堂刊 大正一五・昭和二 洋・中 一五
桐一葉(讀み本體) 一
沓手鳥孤城落月 一
行者と女魔 一
大いに笑ふ淀君 一
牧の方(第一作) 二
名殘の星月夜 二
靈驗 二
ある富豪の夢 二
骨董熱 二
新曲浦島 三
新曲赫映姬 三
俄仙人 三
一休禪師 三
大役小志 五—六
續世界山水圖說 六
知られざる國々 六
講演集(自治の精神外三七篇) 七—八
序文集 七
尺牘 八
志賀重昂全集贊助員芳名錄 八
イ 類 四 二八一 號 冊 六
實驗論語 二
經濟講話 四
隨筆及隨想錄 六
イ 四 七三
イ 四 二一三
同(實演用) 一
役の行者 一
法難 一
附錄・上演年表(第一) 一
改作 牧の方 二
義時の最期 二
現代男 二
囘春泉の試驗 二
附錄・上演年表(第二) 二
長生新浦島 三
鉢かづき姬 三
金毛狐 三
ね 夏狂亂 三
初夢 三
寒山拾得 三
ね 七吉三 三
歌麿と北齋 三
墮天女 三
聖德太子と惡魔 三
新樂劇論 三
『浦島』の寓意 三
『赫映姬』について 三
國民樂の將來 三
謠曲文は歌なりや文なりや 三
謠ひもの、文章 三
宗教と樂劇 三
音樂と文學 三
舞踊劇に對する予が作意の過去及び將來 三
初夢の曲と振 三
試みとしての日本オペラ 三
舞踊劇 三
浮世繪と我が舞踊劇 三
舞臺上の色彩と舞踊劇 三
新舞踊劇の試演に就いて 三
をどり 三
劇場振附及び舞踊師系譜 三
日本舞踊改造の最後の一策 三
わが舞踊の行くべき道 三
附錄・上演年表(第三) 四
テムペスト(シェークスピヤ) 四
ヘンリー四世第一部(同上) 四
じやじや馬馴らし(同上) 四
以尺報尺(同上) 五
『浦島』を作せし顚末 三
『赫映姬』について 三
音樂と繪畫 三
能樂研究の順序 三
美文としての謠曲文(其一・二) 三
能樂の將來につき 三
日本舞踊の現在及び將來 三
舞踊について 三
外國の舞踊劇と將來の振事 三
歌劇の輸入 三
明治の舞踊 三
音樂と其背景 三
名畫の筆意にもとづく新舞踊劇 三
わが在來の舞踊に就いて 三
代表的型物 三
わが六大舞踊派の特質 三
『近代舞踊史論』序 三
眞夏の夜の夢(同上) 四
ヘンリー四世第二部(同上) 四
アントニーとクレオパトラ(同上) 五
マクベス(同上) 五

沙翁劇に關する雜筆 五
日本に於ける沙翁研究・飜案及び上演の略誌 五
沙翁劇の飜譯に就いて 五
沙翁劇の飜譯に對する私の態度の變遷 五
醒めたる女(最後のド・ムラン家)(ハンキン) 五
ウォーレン夫人の職業(ショー) 六
主として倫理講話者のために 六
方今の小・中學德育幷びに其弊 六
方今の修身講話者 六
德教頹廢の譬喩觀 六
倫理觀の障礙 六
中學修身訓の主旨 六
主として少・青年のために 六
隨時少年訓 六
修身奉公訓 六
孔子とソクラテス 六
理想の語義を辯ず 六
公德訓幷びに圖表 六
惡德の種類及び原因の圖表 六
自殺の分類及び其是非 六
禮の分析幷びに圖表 六
刺客論幷びに圖表 六
教育上より觀たる文藝 六
文學藝術の三作用 六
人生と道樂 六
少年讀書家のために 六
文藝に對する三つの異つた標準 六
劇は敎化機關なりや? 六
附錄・敎育家としての著者 六
倫理敎育時代の坪內先生(金子馬治) 六
敎育家としての坪內先生(五十嵐力) 七
芝居繪と豐國及び其門下 七
芝居繪 七
世界に類例のないわが芝居繪の價値 七
『芝居錦繪集成』序 七
活動寫眞とわが劇の過去 七
廣義に謂ふ演劇の定義幷びに芝居錦繪の分類 七
演劇史料としての我が國の芝居繪幷びに其圖表 七
わが劇畫に現はれたパセチックなアブナ趣味 七
女歌舞伎に關する古畫八種 七
歷史小說・歷史畫・歷史劇 七
歷史小說に就きて 七
三たび夢幻劇を論ず 七
志賀松節一代記 七
史劇に關する疑ひを再び『太陽』記者に質す 七
藝術上に所謂歷史的といふ語の眞義如何 七
再び歷史畫を論ず 八
春廼家漫筆 八
壹圓紙幣の履歷ばなし 八
政界叢話 八
人生四季 八
何故に滑稽作者は出でざるか? 八
詩人の二性格 八
「文明」の研究 八
ノルダウの『現代の墮落』の序 八
近世文學思想の源流 八
『天の網島』(明治二三) 八
近松が時代物 八
近松研究會發會の辭 八
『戀八卦柱曆』 八
我が國の史劇 七
四たび夢幻劇を論ず 七
史劇に就きての疑ひ 七
史劇及び史劇論の變遷 八
をかし 八
梓神子 八
所謂新しい女 八
如何なる人が最もよく笑ふか? 八
學者頭と詩人頭 八
牛のよだれ 八
馬骨人言 八
近松の淨瑠璃 八
『女殺油地獄』 八
『めいどの飛脚』 八
『槍權三重帷子』 八
『天の網島』(明治三〇) 八
酒と藝術 六
今の小說を讀む若き人々の爲に 六
文部大臣の訓令につきて 六
文藝取締り問題 六
プレートーの少年敎育と文藝 六

『雪女五枚羽子板』 八 『國性爺合戰』 八
近松とシェークスピヤ 八
特種の偶人劇としての我が操り芝居の研究 八
外國の操り芝居 八 我が國の操り芝居に就いて 八
近松二百年記念事業に對する希望 八
近松二百年記念事業に就いて(再び) 八
藝術と社會 九
新時代に對する藝術の職能 民衆教化と演劇
民衆本位と我が劇の前途 民衆娯樂問題
禍亂の防止策としての公共藝術の奬勵
新民衆劇を起さんとする理由 熱海町の爲のページェント
ページェントの適用範圍
新國民演藝としての英米のページェント
戸外劇三種 ページェントと戸外劇
近松ページェント 教育上に於ける遊戯の職能
藝術と家庭 九
文化力としての童話及び童話術 私の希望する家庭童話劇
兒童劇の三種類 兒童劇に關する若干の疑問
演劇と青年教育 兒童劇の進化
兒童劇の種類及び使命 兒童劇の效用
兒童劇に對する種々の杞憂 兒童劇の扱ひ方
家庭用並びに學校用脚本 實際上から見た兒童劇
兒童劇の效用(再び) 兒童劇の模範實演の必要
家庭用兒童劇の地方巡回公演に際して
初等教育に於ける演劇 復興期藝術に關する豫測
附錄・家庭用兒童劇及びページェント上演顛末(伊達豐・大村弘毅) 九
劇に關する論説 一〇
國劇小史 明治劇界小史
歌舞伎劇の徹底的研究 日本演劇全史の編著に就いて
舞臺構造様式の分類及び進化 むかしの若女がた
女形の前途と歌舞伎の前途 女形優待論
文學としての我が在來脚本 舊狂言作者及び舊脚本
時代おくれの脚本 新演劇の現在
わが舊劇に似た外國の劇 暗い芝居對明るい芝居
『市川團十郎の代々』序 初代櫻田治助の傳
『歌舞伎脚本傑作集』第三卷緒言 並木五瓶の傳
四世鶴屋南北の傳 『河竹默阿彌傳』序
默阿彌作「網模樣燈籠菊桐」 劇壇の現在及び未來
作の上より見たる我が劇壇の現在及び未來
我が演劇の前途 觀る方からの演劇の趣味
觀劇の目安 昨今の劇評
寫實劇と素人俳優 翻譯劇
演劇刷新の依然として困難なる所以 劇と舞臺面との調和
近頃の劇の面白からぬ理由 自意識の過ぎた藝術
歌舞伎劇に對する希望 演劇界の未來
新脚本と其前途 新作脚本と舊俳優
普通の見物人の好まぬ劇 大正五年の我が劇壇
近松の新改作 日本演劇の前途
帝國劇場と歌舞伎劇 新しい劇と新しい觀客
舊派の俳優は新劇の俳優として尚ほ大いに用ふるに足るか?
東京劇壇の現況と外國劇界の趨勢 何故に日本人が沙翁を記念するか?
老近松を世界に紹介すべし 近松對シェークスピヤ對イブセン
『假名手本忠臣藏』の劇としての價値 『菅原傳授手習鑑』
『妹脊山婦女庭訓』 大震災より得たる教訓
自己を失はない程度の新藝術 大阪と新しい藝術
新民衆藝術の發祥地としての大阪
美辭論稿 二 文學入門 二
讀書法と朗讀法に關する論説 二
讀法を興さんとする趣意 讀書法を説きて國文研究者に望む
國文學の將來 脚本の朗讀法
英詩文訓釋 二
英詩文の訓釋法に就いて テニソンの抒情詩及び物語歌

ウァーヅワースの抒情詩 譯詩
破格の名文 二 文のすがた 二
國字及び國文に關する論説 二
新文壇の二大問題 普通教育に漢字を全廢すべし
言文一致について 文章上の擧國一致
所謂漢字節減案の分析的批判
史論に關するもの 二
史論四派 『國民の日本史』序
『世界文明史物語』序 『日本南國物語』序
脚本に關する訴訟事件の鑑定 二
默阿彌作「青砥稿花紅彩畫」の鑑定 「春色梅開曆」事件
演藝と演劇の別 「近江源氏先陣館」事件
「檜山實記」事件 「箱崎文庫」事件
「二蓋笠柳生實記」事件
義太夫は改良すべからず 二 西洋の八人藝 二
百合若傳説の本源 百合若・酒顛童子・金太郎等 二
賴朝の女・大姫 大隈伯の『菅公談』跋 二
『平家詩史』序 『漫遊人國記』序 二
『阿修羅帖』序 『あぶな繪集』序 二
三絶披露の事 二
少年時代 三
私の寺子屋時代 十歲以前に讀んだ本
學生時代の追憶
少年時に觀た歌舞伎の追憶 三
新舊過渡期の文學 三
曲亭馬琴 新舊過渡期の回想
回憶漫談(其一・二)
劇に關する回想 三
內地で初めて觀た外國俳優のシェークスピヤ劇の印象
古河(河竹)默阿彌 五世菊五郎
九世團十郎 九世團十郎・五世菊五郎
熱海に關する追憶 三
故人錄 三
狩野芳崖(其一・二) 大西祝
齋藤綠雨(其一・二) 小泉八雲(ラフカヂオ・ヘルン)
山田一郎(愛川)(其一・二) 綱島梁川
二葉亭四迷(其一・二) 田原榮
杉谷代水 島村抱月
舞踊の師西川嘉義 大隈老侯
饗庭篁村 森鷗外
坪內大造 東儀鐵笛
增子喜一郎
文藝協會史料 三
文藝協會組織一新の趣意 「ハムレット」公演に先きだちて
文藝協會々則 文藝協會內規
文藝協會演劇研究所規定 余丁町の演劇研究所
日本に沙翁劇を興さんとする理由 日本で演ずる「ハムレット」
「ハムレット」に就いて 「ハムレット」公演後の所感
「故鄕」に就いて 教化の目的と文藝協會
何故に新しき劇を必要とするか? 文藝協會研究所創立まで
附錄・逍遙年譜 三
同・著者の業績に關する諸家の回想 三
東京專門學校文學科の創設(市島謙吉)
前期文藝協會(水口薇陽) 後期文藝協會(河竹繁俊)
一讀三歎當世書生氣質 一三 新磨妹と脊かゞみ 一三
諷誡京童 一三 內地雜居未來の夢 一三
松のうち 一三 細君 一三
春風情話(スコット) 一四 泰西活劇春窓綺話(同上) 一四
該撒奇談自由太刀餘波鋭鋒(シェークスピヤ) 一四 開卷悲憤慨世士傳(リットン) 一四
贋貨つかひ(カサリン女史) 一四 ふたごころ 一四
小説神髄 一五
沒理想論 一五

『マクベス評釋』の緒言
烏有先生に謝す
烏有先生に答ふ
小羊子が白日夢
沒理想の由來
一種の批評家
希臘劇に關するもの
希臘古代の演劇に就いて
近代劇に關するもの
イブセンの社會劇
『幽靈』の梗概
『ヘッダ・ガブラア』序
ショー其人及び其作
文體論及び外國文學に關するもの
文體の紛亂
翻刻三遷
外國美文學の輸入
教科書二種の編纂主旨
『小學國語讀本』はしがき
『中學新讀本』編纂の主意
雜論
新聞紙の小說
功過錄としてのシェークスピヤ
如何にせば大優人たるを得べきか(譯文)
優人論の補遺(譯文)
女方と「捨身」の藝風
雄辯は結構だが、雄辯屋は有りがたくなし
話の巧拙と文の巧拙
歌謠
くだものゝうた
織物の歌
我れにあらずして汝にあり
沒理想の語義を辨ず
其意は違へり
『早稻田文學』が谷「時文評論」村の緣起
罵の字
解嘲
エスキラスの三段曲
『鴨』の梗概
『蘇生の日』序
ハウプトマン作『孤鞄』の梗概
『ソネットの黑婦人』に就いて
文體の成り行き
外國語學と外國文學
翻譯すべき外國文學
『小學國語讀本』編纂要旨
『中學新讀本』編纂方針
新聞小說鑑裁の標準
性格と性根
郵便箱の歌
國のけもの
我が國は海の國
早稻田中學校々歌
菅原小學校々歌
附錄
逍遙印譜
『逍遙選集』の刊行に就きて
大海原
蜂屋小學校々歌
逍遙著譯年表
總 一九八

雙雀亭自著叢刻 第一帙 長井沂撰 大正三 和・大 一冊 イ四類 八〇〇號
論語識
豳雅
木筆詩

藏名山房雜著 第一集 岡千仭撰 明治一四 唐・小 八 イ四 八九二
東旋詩紀 一 使會津記 一
禹于日錄 二 熱海游記 二
北游詩草 三 涉史偶筆 三—五
涉史續筆 六—八

蘇峰叢書 第一至七・一〇冊 德富猪一郎撰・民友社刊 昭和三・四 洋・小 八 イ四 一一三八
皇室と國民 一 名山遊記 二
國民と政治 三 好書品題 四
書齋感興 五 人物偶錄 六
關東探勝記 七 新聞記者と新聞 八

立花文學士遺稿 立花銑三郎撰・正木直彥編 明治三六 洋・中 一 イ四 六二五
老子ノ哲學
法相宗四重出體論
北光(佛・ウオルテール)
三諦互融論
讀韓圖哲學

同 一 イ四 六二六

樗牛全集 高山林次郎撰・齋藤信策・姉崎正治編 大正一三至一五 二〇至二七版 洋・中 五 イ四 一三〇〇

美學及美術史 一
美學上の研究
文藝及史傳 二—三
文藝評論
平相國
史傳雜纂
時勢及思索
想華及消息
瀧口入道
雜篇
外篇
日本美術史未定稿
釋迦
菅公傳
文藝評論補遺
感想
消息

改訂註釋 樗牛全集 高山林次郎撰・姉崎正治・笹川種郎編 大正一四至昭和六 初至三版 洋・小 六 イ四 一一〇七
美學及美術史 一 文藝評論 二
史論及史傳 三 時論及思索 四
世界文明史及近世美學 五 想華及感激 六

增補縮刷 樗牛全集 第三卷 高山林次郎撰・姉崎正治等編 大正七 (一七版) 洋・小 一 イ四 九八二

鼎軒田口卯吉全集 八卷(內卷三缺) 同集刊行會編 昭和二至四 洋・中 七 イ四 一一三七

史論及史傳
歷史概論外二一篇 一
附錄・大日本人名辭書第一版の卷末に書す外九編
附・著作年表・解說(黑板勝美) 一

文明史及社會論
日本開化小史 二 日本開化之性質 二
日本之意匠及情交 二 日本古代通貨は如何外五編 二
支那開化小史 二 新體支那歷史を讀む外一篇 二
商業史歌外三篇 二 古代の研究外三篇 二
破黃禍論外一篇 二 社會氣運の變化外七篇 二
現時の工場外一四篇 二
妓樓の制改良せざるべからず外三篇 二
學制論外四篇 二 監獄則を論ず外八篇 二
附・著作年表・解說(福田德三) 二

經濟(上)(理論及理論鬪爭)(缺)
經濟(下)(事實及政策)
船渠開發の議外一七〇篇 三 附・著作年表・解說(櫛田民藏) 三

政治
時勢論 四 讀薩長論 四
條約改正論 四 居留地制度ト內地雜居 四
讀自由之理外一四三篇 四 附錄・泰西政事類典序 四
附・著作年表・解說(吉野作造) 四

財政
帝國財政意見 五 地租增否論(抄) 五
續地租增否論(抄) 五 財政と經濟 五
直稅閒稅の區別を論ず外一三三篇 五 附・著作年表・解說(大內兵衞) 五

金融
幣制及び銀行論外六篇 六 兌換紙幣外八篇 六
貨幣の制は複本位に如かず外二三篇 六
井上藏相に注意を請ふ件々外二篇 六 東洋銀貨問題外六篇 六
國立銀行は合併を利とす外五篇 六 中央銀行を論ず外二一篇 六
社會未だ改まらず銀行焉ぞ獨り改まることを得んや外三篇 六
銀行者は改良事業に貨幣を貸付くべからず外三篇 六
日本財政外三篇 六 金融閑漫外九篇 六
金融閑漫外二四篇 六 明治三十五年を迎ふ外五篇 六
拾遺(讀東京日日新聞外五篇) 六 附・著作年表・解說(大內兵衞) 六

隨筆及感想
樂天錄 七 隨筆及感想(日記外七六篇) 七
時事(東京府小學讀本の採用如何外二二篇) 七
人事(編輯長吉岡太三獄中に死す外三四篇) 七
書籍(緒言外四四篇) 七 紀行(安房の土產外八篇) 七

詠草(歌合戰外一篇) 七
附・解說(長谷川萬次郎) 七

天心遺稿 赤沼金三郎撰・高橋作衛編 明治三五 洋・中 七

歐洲古代哲學史概論
古代倫理學東西比較論
大小二乘の比較論
外人接遇考

天台道士著作集 杉浦重剛撰・日本中學校校友會編 大正四 洋・中 一 イ 四 一二五二

鬼哭子
鬼怒子
日本教育原論
倫理書
鬼哭論集
航英日記
病餘々錄

東洋論集 小野梓述 寫本(述者刪補) 和・中 一 イ 四* 六五一

商況論
貨幣ノ制ハ硬貨ノ主義ヲ持ス
施政ノ要義(同上)
告我黨人(同上)(明治十五年三月卅日代首領筆作)
親東京專門學校之開校
輸入減少之源因

得庵全書 鳥尾小彌太撰・川合清丸編 明治四四 洋・中 一 イ 四 一一四四

時文體(智德發達論等一四種)
漢文體(正法論等四種)

書翰 七
附・田口先生略歷及び年譜 七

泊翁叢書 西村茂樹撰・日本弘道會編 明治四二 洋・中 一冊 イ 類 四 一二五一號

日本道德論
續國家道德論
泊翁庶言
續自議錄
泊翁先生歌集
或問十五條
泊翁先生著書目錄

原敬全集 同集刊行會刊 昭和四 洋・中 二 イ 四 一一九四

文章篇
詞藻篇
傳記・逸話篇

同

福澤全集 五卷 福澤諭吉撰・時事新報社編 明治三一 洋・中 二 イ 四 一一〇〇

福澤全集緒言
西洋事情
西洋旅案內
西洋衣食住
洋兵明鑑
清英交際始末
世界國盡
學問のすゝめ
かたわ娘
帳合之法
第二文字之教
會議辨
學者安心論

佛教と孔老二家の學との比較
道義起源論
道義哲學概
漢文

國家道德論
建言稿
自議錄
東奧紀行
泊翁先生詩集
泊翁先生年譜略
泊翁先生論說目錄

一 書簡篇
二 演說・講演篇
二 原敬年表

一 華英通語
一 雷銃操法
一 條約十一ケ國記
二 窮理圖解
二 掌中萬國一覽
二 英國議事院談
二 啓蒙手習之文
二 童蒙教草
二 改曆辨
三 第一文字之教
三 文字之教附錄
三 文明論之概略
三 分權論

民間經濟錄
通貨論
通俗國權論
時事小言
帝室論
兵論
全國徵兵論
日本婦人論
士人處世論
日本男子論
國會の前途
治安小言
實業論

福澤全集 五卷 福澤諭吉撰・時事新報社編 明治三一 洋・中 五 イ 四 一〇四八

匏菴遺稿 栗本鯤撰・同秀二郎編 明治三三 洋・中 一 イ 四 一一七三

鉛筆紀聞
曉窓追錄補
獨寢寤言
箱館叢記
蝦夷起原
匏菴手東拾遺
匏菴文集

同

抱月全集 八卷 島村瀧太郎撰譯・本間久雄等編 大正八・九 初・再版 洋・中 二 イ 四 九〇三
八 イ 四 一三〇一

文藝評論
西鶴論外二一四篇
美學及歐洲文藝史

福澤文集
通俗民權論
民情一新
時事大勢論
德育如何
學問の獨立
通俗外交論
品行論
男女交際論
尊王論
國會難局の由來
地租論

曉窓追錄
漫錄
五月雨草紙(喜多村香城)
七重村藥園起原
漫錄追抄
匏菴詩集

美學概論
美術講話
サンタヤーナ マーシヤル リツプス 美學綱要
藝術論講話
歐洲文藝思潮史講話

新美辭學及文學概論
新美辭學
文章雜考
明治文學略史

飜譯
故鄉(獨・ズーダーマン)
ペレアスとメリサンド(白・マーテルリンク)
七王女(同上)
海の夫人(諾・イブセン)
クレオパトラ(英・シエーキスピアー)

小說
しろあらし外二〇篇

戲曲
清盛と佛御前
海濱の一幕
競爭

文藝雜纂
劇壇(英國の劇壇外二九篇)
趣味(日本趣味と西洋趣味外九篇)

隨筆・日記・書簡
紀行(沙翁の墓に詣づるの記外四篇)
小品(風を追ふ外六篇)
滯歐通信
文壇雜報
雜俎(文學入門者に外二四篇)
序文及公開狀(監修者の序外五篇)

美學及美術上の研究
美學未定稿
文學概論
悲劇論

新文章論
文學概論

人形の家(諾・イブセン)
モンナ・ヴンナ(同上)
復活(露・トルストイ)

運命の丘
復讐
赤と黃の夕暮

文壇(英國の小說界外二三篇)

風光
隨筆(對慕庵漫筆外七篇)
書簡

抱月全集 第三・四卷 大正八 洋・中 島村瀧太郎撰・本間久雄等編 二冊 イ 四類 九三六號

文學博士三宅米吉著述集 同集刊行會編 昭和四 洋・中 二 イ 四 一二六四

著書
日本史學提要(第一編) 一
小學歷史編纂法 一
幕末日歐交通年表略 一
御卽位禮と大嘗祭 一

論文
歷史(我國の土壘に就てチャンバアレン氏の說を評す外三一篇) 一
國語(かなづかひのこと外一六篇) 一
考古學及人類學(法隆寺所藏四天王紋錦旗外五〇篇) 二
地理(磐梯山の噴火外一一篇) 二
雜(雜誌「文」の目的外五九篇) 二

梁川全集 七卷 大正一〇・一一 綱島榮一郎撰・梁川會編 七 イ 四 九八九

東西倫理思想史
歐洲倫理思想史 一
西洋倫理學史 二

倫理學說研究
マッケンヂー氏 倫理學綱要 三
シジウィック氏 倫理學方案(第一篇) 三
快樂派倫理 三

倫理教育論集
倫理學序論 四
倫理教育宗教に關する論文(『福翁百話』を讀む外二九篇) 四
倫理問答 四
○病閒錄 五
病窓雜筆 五
感想集

笠岡漫遊雜誌 六
偶思錄 六
自省錄 六
我觀錄 六
寸光集 六
梁川隨筆 六
附錄・雜記(書入) 六

文藝雜纂
美術文藝に關する論文(スペンサーの美論外三八篇) 七
雜篇(月前狂外一六篇) 七

消夏漫筆 六
所思斷片 六
我觀手びかえ 六
雜記(其一至五) 六
隨感錄(第一至四)、 六
枕頭雜筆 六
聖堂略志 六

支那全集・支那選集(個人)

王船山經史論十二種 清・王夫之撰 光緒二九(石印) 唐・小 二四冊 イ 四類 七五二號

周易內傳 一—三
尙書引義 六
春秋家說 八—九
春秋世論 一四
讀通鑑論 一六—二一
永曆實錄 二四

周易外傳 四—五
詩廣傳 七
讀四書大全說 一〇—一三
續春秋左氏傳博議 一五
宋論 三一—三三
黃書 三四

甌北全集 七種・傳・年譜等附 唐・中(清版) 清・趙翼撰 六六 イ 九 五六四

廿二史劄記 二—一七
皇朝武功紀盛 三三
甌北詩鈔 三六—四五
甌北集 四九—六六

陔餘叢考 一八—三三
簷曝雜記 三四—三五
甌北詩話 四六—四八
傳・年譜・墓誌銘 四九

甌北全集 缺本 光緒三 重刊 唐・大 二九 イ 四 三六五

海甯王忠慤公遺書 四集四三種 民國一六 王國維撰 唐・小 四二 イ 四 一二六一

觀堂別集(補遺・後編共) 一—八

觀堂外集
兩周金石文韻讀 一〇
史籀篇疏證 一一
唐韻佚文 一三
殷禮徵文 一四
補高鄭王氏說諧聲譜 一七
簡牘檢署考 一八
漢魏博士題名考 一九
耶律文正年譜(餘錄共) 二一
兩浙古刊本考 二三
國朝金文箸錄表 二四
今本竹書紀年疏證 二六—二八
蒙韃備錄箋證(改訂本) 二九
聖武親征錄校注 三〇
乾隆浙江通志考異殘稿 三一
觀堂譯稿 三二—三四
中亞細亞探檢談(匈・斯坦因) 三六
唐五代二十一家詞輯 三六
人間詞話(增補本) 三七
宋元戲曲考 三七
戲曲考源 三七
優語錄 三七
曲錄 三七
四〇—四三

洪北江先生遺集 二四種・年譜等附 光緒三至五 重刊 清・洪亮吉撰 唐・大 八四 イ 四 三六八

洪北江先生年譜 一
更生齋集(附・鮚軒詩集) 一六—二五
擬兩晉南北史樂府(附・鮚軒外集) 三
曉讀書齋雜錄 三四—三五
通經表 三七

弟子職箋釋 四二
春秋左傳詁 四三—五三
比雅 五四—五五
補三國疆域志 五六—七七
十六國疆域志 八〇—八三
天山客話 八四

春在堂全書 清・俞樾撰 唐・中(光緒八年重定本) 六四 イ 四 四八四

群經平議 一一三
第一樓叢書 二〇—二六
俞樓襍纂 三一—三四
春在堂襍文(續・三篇共) 三五—三八
春在堂詞錄 三九
春在堂尺牘 四〇—五五
四書文 五七
袖中書 五八
右台仙館筆記 五九—六四

眞西山全集 宋・眞德秀撰 唐・大(清版) 九〇 イ 四 九二六

大學衍義 一—一〇
讀書記 三一—六〇
西山年譜(清・眞采編) 八八
政經 九〇

西河合集 一二二種(內五種原缺)・徐都講詩附 清・毛奇齡撰・毛甕輝等重輯 一三〇 イ 四 九四六

經集
仲氏易 一—七
河圖洛書原舛編 九
易小帖 九—一〇
古文尙書寃詞 一一—一三
舜典補亡 一五
推易始末 八
太極圖說遺議 九
易韻 一二
尙書廣聽錄 一四
國風省篇 一五

史目表 四二
漢魏晉 五三
乾隆府廳州縣圖志 五六—七五
東晉疆域志 七八—七九
遺戍伊犁日記 八四
外家紀聞 八四

諸子平議 一三—一九
曲園襍纂 二七—三三
賓萌集(外集共) 三三—四四
春在堂詩編 四九—五一
春在堂隨筆 五二—五三
楹聯錄存 五六
太上感應篇續義 五七
游藝錄 五八

文章正宗 一一—三〇
西山文集 六一—八七
心經 八八

毛詩寫官記 一五—一六
詩傳詩說駁義 一七
續詩傳鳥名卷 一八
廟制折衷 一九
北郊配位尊西向議 二〇
辨定祭禮通俗譜 二一—二三
曾子問講錄 二五—二六
春秋屬辭比事記 二六
春秋占筮書 四〇
四書索解 四一
大學證文 四三
中庸說 四四—四五
四書賸言補 四七
逸講箋 四八
竟山樂錄 四九—五〇
李氏學樂錄 五二—五三
周禮問 五三
明堂問 五四
郊社禘祫問 五五
經問補 六〇

文集

誥 六一
主客辭 六二
議 六三
史館劄子 六三
書 六四—六五
箋 六五
題跋詞題端 七四
跋 七四
碑記 七五—七七
詩札 一六
白鷺洲主客說詩 一八
昏禮辨正 一九
大小宗通繹 一九
辨定嘉靖大禮議 二〇
喪禮吾說篇 二一—二五
春秋毛氏傳 二七—三五
春秋條貫篇 三六
春秋簡書刊誤 四〇
論語稽求篇 四一—四三
大學知本圖說 四四
四書賸言 四六
聖門釋非錄 四七—四八
聖諭樂本解 四九
皇言定聲錄 五一—五二
孝經問 五三
大學問 五四
學校問 五四
經問 五五—六〇
頌 六一
奏疏 六二
揭子 六三
史館擬判 六三
贖札 六四
序 六六—七三
引弁首 七四
書後緣起 七四
傳 七七—八〇
墓碑銘 八一
墓誌銘 八三—八六
塔誌銘 八七
年譜 八八
集課記 八九
錄 八九
後觀石錄 八九
何御史孝子祠主復位錄 九〇
蕭山縣志刊誤 九一
折客辨學文 九三
釋二辨文 九三
辨忠臣不徒死文 九三
古今無慶生日文 九三
滕朝彤史拾遺記 九四
後鑒錄 九四—九五
讀學要指 九六—九七
九懷詞 一〇三
詩話 一〇四
填詞 一〇六
二韻詩(五言絕句) 一〇七
排律 一〇八
五言律詩 一一一—一一三
七言排律 一一五—一一六
雜體詩 一一九

王文成傳本 八一
墓表 八三
神道碑銘 八七
事狀 八八
記事 八九
說 八九
制科雜錄 八九
越語肯綮錄 八九
湘湖水利志 九〇
杭志三詰三誤辨 九三
館課擬文 九三
答三辨文 九三
辨聖學非道學文 九三
古禮今律無繼嗣文 九三
禁室女守志殉死文 九四
武宗外記 九五
變司合志 九六—一〇〇
賦 一〇三
誄文 一〇四
詞話 一〇六
連廂詞 一〇七
七言絕句 一〇九—一一一
七言古詩 一一二—一一四
七言律詩 一一七—一一九
五言格詩 一一九—一二〇
附·徐都講詩(清·徐昭華) 一二〇

西河合集 一二一種(內五種原缺·徐都講詩附) 清·毛奇齡撰·毛豐輯等重編 一二〇 イ 四 一六一
石泉書屋全集 缺本 咸豐八至光緒元 清·李佐賢撰 二四 イ 四 七四三

坦室遺文(李文棨) 一
石泉書屋類稿 三—五
石泉書屋尺牘 八
石泉書屋館課詩 一〇—一一
石泉書屋制藝補鈔 一四
武定詩續鈔(李佐賢編) 一七—二四

惜抱軒全集 一四種 同治五 清·姚鼐撰 重刊 唐·中

惜抱軒文集 一—三
惜抱軒詩集 六—八
惜抱軒外集 八
左傳補注 九
穀梁傳補注 九
惜抱軒筆記 一〇—一二
五言今體詩鈔 一五

船山遺書 清·王夫之撰 同治四 重刊 唐·大

經類

周易內傳(發例共) 一—七
周易稗疏 八
周易外傳 九—一二
尚書引義 一四—一五
詩經攷異 一八
詩廣傳 一九—二〇
春秋家說 三六—三八
春秋世論 四〇—四一
讀四書大全說 四三—五二
四書攷異 五三

史類

讀通鑑論 五六—七〇
宋論 七一—七四
永厤實錄 七五—七七
蓮峰志 七八

子類

張子正蒙注 七九—八二
俟解 八四
黃書 八五
老子衍 八五
莊子通 九〇

集類

楚辭通釋 九一—九三
薑齋五十自定稿 九四
薑齋七十自定稿 九五
落花詩(夕堂戲墨卷一) 九五
和梅花百詠詩(同卷三) 九五
鴟字詩(同卷五) 九六
嶽餘集 九六
鼓棹二集 九六
詩譯(薑齋詩話卷一) 九七
夕堂永日緒論外篇 九七
龍舟會雜劇 九七
王船山叢書校勘記(清·劉毓崧) 九九
龍源夜話 九九
薑齋詩編年稾 九九
薑齋文集補遺 一〇〇

曾文正公全集 一三種·年譜附 光緒二 唐·大 清·曾國藩撰 一二八 イ 四 三四九

曾文正公奏稿 一—三〇
經史百家襍鈔(同上) 五一—七〇
曾文正公詩集 七二—七八
曾文正公書札 八二—九七
曾文正公雜箸 一〇四—一〇五
十八家詩鈔(曾國藩編) 三一—五〇
鳴原堂論文 七一—七三
曾文正公文集 七九—八一
曾文正公批牘 八八—一〇三
求闕齋讀書錄 一〇六—一〇九

周易大象解 八
周易攷異 八
書經稗疏 一二—一三
詩經稗疏 一六—一八
詩經叶韻辨 一八
禮記章句 二一—二五
春秋稗疏 三九
續春秋左氏傳博議 四三
四書稗疏 五二
說文廣義 五三—五五
薑齋文集 一〇五
薑齋詩分體藁 一〇五
薑齋詩賸稿 九九
憶得 九九

求闕齋日記類鈔 二〇—二一
經史百家雜鈔(同上) 二二—二四
曾文正公全集 缺本 清・曾國藩撰 光緒一四 唐・小
亭林遺書 二三種・附錄三種 清・顧炎武撰・席威・朱記榮編 光緒一四 唐・大
左傳杜解補正 一
五經同異 二—三
聖安紀事 四
明季實錄 五
啓平二州地名記 九
京東攷古錄 一一
譎觚十事 一二
金石文字記 一三—一四
菰中隨筆 一五
亭林雜錄 一六
亭林詩集 一八—一九
亭林帙詩 二〇
附・亭林先生神道表(清・全祖望) 二〇
藤花亭十種 清・梁廷枏撰 道光一〇 唐・中
論語古解 一
南漢書考異 五—七
南漢文字略 八—九
續金石稱例 一〇
博考書餘 一一
東塾叢書 初函四種・附一種 清・陳澧撰 唐・大(清版)
漢儒通義 一一
切韻考 一二
孟子要略(曾國藩編) 一三
曾文正公年譜 清・黎庶昌編 二五—二六
桐城吳先生全書 六種一八卷 清・吳汝綸撰 唐・大(清版) 一三冊 イ 四類 四七號
易說 一—二
夏小正私箋 五
詩集 一〇
桐城吳先生全書 缺本 唐・大 清・吳汝綸撰(清版) 五 イ 四類 七三號
豐川全集 存省稿正編二八卷 清・王心敬撰 唐・大(清版) 一〇 イ 四類 八九六
語錄(一・二) 一
侍側紀聞(門人編) 二—三
學旨 四
傳道諸儒評 五
課程 五
答問成人之要 五
序 八—九
家訓 一〇
楊園先生全集 一五種 清・張履祥撰 寫本 和・大 八 イ 四類 二七六
經正錄 一
問目 一
書 四—五
學規 六
答問 六
言行見聞錄 七
近鑑 八
農書 八
呂新吾司寇全集 明・呂坤撰 唐・大(清重刊本) 三六 イ 四類 五一四
去僞齋文集 一—一〇
考正德清胡氏禹貢圖(陳宗誼) 八
桐城吳先生全書 六種一八卷 清・吳汝綸撰 唐・大(清版) 一三冊 イ 四類 七七〇號
易說 一—二
夏小正私箋 五
詩集 一〇
桐城吳先生全書 缺本 唐・大 清・吳汝綸撰(清版) 四七冊 イ 四類 六三五號
豐川全集 存省稿正編二八卷 清・王心敬撰 唐・大(清版) 一〇 イ 四類 八九六
語錄(上下) 二
侍側紀聞(王勉勘・王功劭編) 四
證心錄 四
評諸子 五
明學 五
書 六—八
雜著 九—一〇
附・顧亭林先生年譜(清・吳映奎編) 一〇
附・同志贈言(清・沈岱瞻編) 一〇
南漢書 一二 イ 四類 五四一
南漢叢錄 一四
金石稱例 八
碑文摘奇 一〇
曲話 一〇
八 イ 四類 一〇八九
願學記 一
備忘 二—三
初學備忘 五
訓子語 六
門人所記 六
近古錄 七
喪祭雜記 八
韓律通考 三—四
漢書地理志水道圖說 七—八
闈範圖說 一一—一五

呻吟語 一六—二一
救命書 三〇
四禮疑 三一
宗約歌 三二
閨戒 三二
天日 三三
展城戍問 三三
反輓歌 三四
續小兒語(附・小兒語(明・呂得勝)) 三五
實政錄 三五—三九
河工書 三〇
四禮翼 三一
好人歌 三二
省心紀 三二
修城書 三三
黃帝陰符經(呂坤註) 三四
墓誌銘 三四
交泰韻 三六

論文集・講演集

岡倉先生記念論文集 Lovejoy, Chamberlain) 外二六篇 昭和三 洋・中 一 イ 四類 一三七
學界餘談 第一編 二つの希望(櫻井錠二)外一七二篇 昭和三 洋・小 一 イ 四類 一三八
財團法人啓明會紀要 第三至一三號(有缺) 大正一四至昭和七 同會刊 洋・中 九 イ 四類 一三七
支那財政ノ眞相ト其革新策ニ就テ(木村增太郎) 一
支那の關稅改正問題(特別關稅會議と其の對策)(同上) 二
假名の研究(大矢透) 三
日本式「キモノ」より西洋式「勞働服」に至る經過(日本產業推移の經路)(米・ホーランド) 四
米國少年裁判所の研究(芳川顯一) 四
世界大戰の獨逸教育に及ぼしたる影響(獨・ケルレルマン撰・大久保利武譯) 六
佛獨白諸國農村の觀見(笠森傳繁) 七
農村問題と教育との一考察(山本良吉) 八
日本モンロー主義と滿洲(金子堅太郎) 九
(齋藤報恩會學術研究總務部)學術研究報告別刷集 第一至六 同部刊 大正一五至昭和五 洋・大 三 イ 四類 一三七
擴聲器に用ふる內地製增幅器及び增幅用變壓器の特性(千葉茂太郎) 一
膵內泌ニ關スル研究(續報)(熊谷岱藏・鵜飼哲) 一
膵ほるもん注射ニヨル血液ノ物理的性質及ビ血液像ノ影響(菊池捷二・得田慶市) 一

擬似電話ケーブルによる電話中繼器の實驗(千葉茂太郎) 一
膵ホルモンノ吸收ニ就テ(桂重鴻・小塚喜四郎) 一
ラヂオ周波數交流ポテンショメーター其他ブリッヂに就て(拔山平一) 一
特別高周波に於ける三極眞空管定數の測定(渡邊寧・西大立目信雄) 一
ベンゾール・トルオール系の凝固曲線及び二・三の物理的性質に就て(箕作新六・中土晃) 一
ベンゾール・mキシロール系・トルオール・mキシロール系・及mキシロール・pキシロール系の凝固曲線に就て(中土晃) 一
ダル・エミツターに就て(岡部金治郎) 一
可聽周波數增幅器の一段增幅比(千葉茂太郎) 一
永久磁石の特性に就て(小林勝一郎) 一
淋巴ノ糖量及腸管ヨリノ含水炭素吸收路ニ關スル研究(桂重鴻) 一
エチルエーテル・酒精及び木精の融解熱に就て(箕作新六・原賢夫) 一
血液及淋巴越幾斯ノ血糖ニ對スル影響ニ就テ(佐藤基) 一
膵臟內分泌ト迷走神經(星騰吾) 一 魚類ノ膵構造ニ就テ(鵜飼哲) 一
尿中ノ血糖降下物質ニ就テ(小塚喜四郎) 一
種々ノ狀態ニ於ケル血中ほるもんニ就テ(星騰吾) 一
青化水素の蒸氣壓(篠崎平馬等) 一
甲狀腺發育不全型侏儒ノ尿成分・血液かたらーぜ・竝ニ次亞硫酸曹達排泄ニ對スル甲狀腺劑ノ影響(吉松駿一・櫻田彬) 二
體液無機硫酸ノ微量比色定量法(吉松駿一) 三
血液無機硫酸・無機燐酸・竝にくろーる微量比色定量法(同上) 四
Circular Tube に於ける Wirbel Effect の計算(拔山平一・堀川初夫) 四
だぜーるノ生物學的意義(一)(だぜーるニ依ルあるかろいど吸着)(吉松駿一) 五
簡單ナル尿中沃度微量比色定量法(吉松駿一・櫻田彬) 六
血液かりうむ微量比色定量法(吉松駿一) 七
高壓器に就て(拔山平一) 八
奥羽北部の石器時代文化に於ける古代支那文化の影響に就いて(喜田貞吉) 九
サイアノゼンの接觸酸化及其中間酸化生成物に就て(阿部末吉・原龍三郎) 一
高壓聽診器の研究(第二回報告)(佐藤彰・拔山平一) 一
空中線の組合せと其方向性(宇田新太郎) 一
三極眞空管驗波リレーに就て(拔山平一・芝崎葆祿) 一

ピエゾ共振子に依る周波數安定作用に就て(渡邊寧) 一
梯子型位相矯正回路に就いて(千葉茂太郎) 一
濾波器に於ける瞬時現象(同上) 一
東北大學に於ける電氣通信の研究に就て(八木秀次) 一
金屬電着に用ふる添加劑の共通性(第四報)(伏屋義一郎・長野昌隆) 一
膵ほるもん下鹽類代謝(第一報)(武内宗四郎) 一
五十サイクル用增幅器(千葉茂太郎) 一
無線操縱の一方法(同上) 一
定周波發振裝置竝に其發振周波數に就て(抜山平一・永井建三) 一
Ternary system CaO-Al_2O_3-SiO_2 の水化作用に就て(内田寒郎・眞田義彰) 一
三極眞空管急動繼電器を應用した定溫爐竝びに定周波裝置に關する實驗(抜山平一) 一
低溫度に於けるエチルエーテル・アセトン及び木精の粘度(箕作新六・外村德三) 二
波長計の標準化に使用する multivibraton の發振周波數の簡略計算式(抜山平一・永井健三) 二
指向性水平偏波の輻射に就て(宇田新太郎) 二
無線電信受信用トリッガー其他再生式檢波法に就て(千葉茂太郎) 二
膵ほるもん下鹽類代謝(第二報)(武内宗四郎) 二
家兎涙腺組織ノ寒冷ニ對スル抵抗力ニ就テ(松井仁) 二
ネオン・ランプ繼電器と其電氣通信工學上の一應用(千葉茂太郎) 二
電氣聽診器(Magnoscope)の研究(佐藤彰・抜山平一) 二
漏電多き架空線路に於ける電信法(千葉茂太郎) 二
超短電波發生用眞空管及び其れに依つて起る二三の電子的異常現象に就て(岡部金治郎) 二
集合空中線による指向性(宇田新太郎) 二
Public Address System 特に受話器擴聲器に於ける瞬時現象(千葉茂太郎) 二
青化水素の研究(其二)(青化水素の蒸氣及液體密度に就て)(篠崎平馬) 二
青化水素の研究(其三)(二三の熱力學的數値の計算)(同上) 二
數種の有機溶劑二成分系の比熱(中村九郎) 二
文化七年(一八一〇)の男鹿地震と鮪川斷層(大橋良一) 二
大島池の成因に就て(安齋徹) 二 無雜音變成器(抜山平一) 二
金屬電著に用ふる添加劑の共通性(第六報)(伏屋義一郎・湯本良治) 二
沿面コロナのダイナミック的研究(望月重雄) 二
搬送波式電話に關する研究(幸前治一・杉山榮一) 二
大地を歸路とせる交流回路の誘導作用を利用せる通信法(千葉茂太郎・成田達) 二
增瀘波器と瀘波發振器による搬送多重電信法(抜山平一・永井健三) 二
標準音源及び音響强度測定器として Vibrometer の應用(小林勝一郎) 二
火花の遲れの測定法に對する定性的考察(望月重雄) 二
差電網の双曲線函數理論(其二)(無損失送電網の特性)(永井健三) 二
微振動の聽取測定竝に記錄(抜山平一) 二
無線電信電話に於ける同時送受信法(千葉茂太郎) 二
複合リアクタンス回路と其應用(同上) 二
格子狀共振器(岡部金治郎) 二
桃樹の水素イオン濃度と二種の Valsa 菌の發育に就て(富樫浩吾) 二
普通の三極管に依つて得らるゝ短波の Practical Limit (宇田新太郎) 二
交流電氣抵抗爐の自働恒溫裝置(永井健三・原龍三郎) 二
瀘波器と增瀘波器(抜山平一) 二
金屬電著に用ふる添加劑の共通性(第七・八報)(伏屋義一郎) 二
スーパー・ヘテロダイン式受信機に就て(千葉茂太郎) 二
指向性空中線に依る超短波無線二重通信に關する實驗(千葉茂太郎・山崎信次) 二
大電力放送受信に關する實驗竝に放送受信機に現はれた新傾向(千葉茂太郎) 二
空中の超音波による通信(抜山平一) 二
内地に於ける蝦夷の末路(喜田貞吉) 二
無灰ゼラチンの稀薄水溶液の粘度に就て(伏屋義一郎等) 二
純炭素鋼の變態點(佐藤知雄) 二
プレート檢波に際しL・Cのプレート電流に對する影響(永井健三) 二
正常竝ニ所謂寡血糖性痙攣ヲ起セル家兎ノ腦質無機鹽類含有量ニ就テ(武内宗四郎) 三
最近一年間の東北帝國大學に於ける電氣通信法の研究に就て(千葉茂太郎) 三
男鹿半島の地體構造(大橋良一) 三
二極眞空管に依る短波及超短波電波長の增幅及檢波に就て(岡部金治郎) 三
送電網の双曲線函數理論(其三)(發振器)(抜山平一・堀川初夫) 三
スクリーン・グリット眞空管に依る增幅に就て(千葉茂太郎) 三
市販三極眞空管の二次電子放電射特性(永井健三・釜范善一) 三
衝撃試驗より觀たる二三の避雷器の特性に就て(望月重雄) 三
音響變成器及喇叭の双曲線變數・集音器の實用理論及音響傳達系の一般考察竝設計に就て(小林勝一郎) 三
活火山と地震(中村左衞門太郎) 三
電氣通信研究論文表(第一〇一至一九七號)(附・萬國工業會議提出論文表)(東北帝大工學部電氣通信研究室) 三
日高見國の研究(喜田貞吉・以下同) 三
蝦夷編年史料 三 オシラ神に關する二三の臆說 三
越の國及び越人の研究 三 夷弓に關する臆說 三
北海道手宮洞窟内彫刻に就て 三
衝撃電壓上昇過度中に於ける火花放電に就て(第四報)(避雷器に關する實驗)(望月重雄) 三
新型超短波用受信機に就て(宇田新太郎) 三
高壓聽診器(マグノスコープ)に就て(佐藤彰・抜山平一) 三
ホーン(喇叭)の特性に就て(抜山平一) 三
ネオン・ランプ繼電器に就て(千葉茂太郎) 三
短波長ビームに就て(第一一報告)(宇田新太郎) 三
漏電障害ある電信線路に於ける通信法(千葉茂太郎) 三
陸奥椿山海岸より發掘せるエオリス樣の石片に就て(曾根廣) 三
中繼線に依る各地放送局中繼放送電波間の時差測定(千葉茂太郎) 三
野兎病々原體の實驗的研究(續報)(附・大原一芳賀球菌の培養法・二)(大原八郎) 三
偏食ニヨル實驗的眼乾燥症家兎血漿ヲ以テセル角膜組織ノ體外培養(松井仁) 三
オイルド・ペーパーの絶緣耐力に就て(第二報)(望月重雄) 三
極超短波に依る無線電話(極短波研究・二)(宇田新太郎) 三
衝撃電壓上昇過渡中に於ける火花放電に就て(第五報)(避雷器に關する實驗)(望月重雄) 三
電氣音響傳達系の設計に關する考察(小林勝一郎) 三
避雷器に關する研究の推移に就て(望月重雄) 三

烏頭屬植物中のアルカロイドに就て(第五報)(烏頭屬植物含有の新アルカロイドメサコニチン及びヒパコニチンに就て)(森尾森一) 三
二十世紀新論十種 民友社譯編 明治三四 洋・小 一 イ 四 一三九
亞細亞に於ける歐洲の勢力(英・タウンセンド) 滿洲論(英・ディロン) 三
支那改革論(英・ハート) 露國藏相ウイッテと露國財政(英・ディロン) 三
英國實業の衰頽(米・カーネギー) 伊太利政海の狀態(英・チンメルン女史) 三
露國の自由思想(露・ウォルコウスキー) 藝術論(露・トルストイ) 三
世界の國債(米・オースチン) 三
文學に於ける斬新(瑞西・シンツ) 三
蘇峰先生古稀祝賀 同祝賀記念刊行會編 知友新稿 昭和六 洋・中 一 イ 四 一四〇
高野山阿彌陀二十五菩薩來迎圖(東伏見邦英) 三
修史を論ず(大谷光瑞) 三
北海道手宮洞窟内彫刻に就て 三
衝撃電壓上昇過度中に於ける火花放電に就て(第四報)(避雷器に關する實驗)(望月重雄) 三
新型超短波用受信機に就て(宇田新太郎) 三
高壓聽診器(マグノスコープ)に就て(佐藤彰・抜山平一) 三
ホーン(喇叭)の特性に就て(抜山平一) 三
ネオン・ランプ繼電器に就て(千葉茂太郎) 三
短波長ビームに就て(第一一報告)(宇田新太郎) 三
漏電障害ある電信線路に於ける通信法(千葉茂太郎) 三
陸奥椿山海岸より發掘せるエオリス樣の石片に就て(曾根廣) 三
中繼線に依る各地放送局中繼放送電波間の時差測定(千葉茂太郎) 三
野兎病々原體の實驗的研究(續報)(附・大原一芳賀球菌の培養法・二)(大原八郎) 三
偏食ニヨル實驗的眼乾燥症家兎血漿ヲ以テセル角膜組織ノ體外培養(松井仁) 三
オイルド・ペーパーの絶緣耐力に就て(第二報)(望月重雄) 三
極超短波に依る無線電話(極短波研究・二)(宇田新太郎) 三
衝撃電壓上昇過渡中に於ける火花放電に就て(第五報)(避雷器に關する實驗)(望月重雄) 三
電氣音響傳達系の設計に關する考察(小林勝一郎) 三
避雷器に關する研究の推移に就て(望月重雄) 三
古稀祝賀 昭和六 洋・中 一 イ 四 一四〇
高野山阿彌陀二十五菩薩來迎圖(東伏見邦英) 三
修史を論ず(大谷光瑞) 三
東山御文庫及びその歷代宸翰について(黒板勝美) 三
肥前風土記塔熊本に就いて(井上通泰) 三
神皇正統記を論ず(山田孝雄) 三
織田豐臣德川三公の性格概論(三上參次) 三
織田信長の復古政治(渡邊世祐) 三
梵僧指空禪師と達磨大師の畫像(高楠順次郎) 三
佛敎美術研究の現在竝に將來を考へて苗木圖像の研究に及ぶ(小野玄妙) 三
小倉文紀と五山の名匠(森大狂) 三
東大寺大佛の頭頂を補鑄せる山田道安に就いて(後藤是山) 三
天海僧正年齡考(辻善之助) 三
藤原惺窩の文集と遺墨(附・惺窩の病症に就て)(土肥慶藏) 三
明治時代の法制(三浦周行) 維新史の見方 一(藤井甚太郎) 三
幕末の討幕計畫に關する一考察(井野邊茂雄) 三
司馬凌海と松林飯山(入澤達吉) 三
肥後に於ける西洋醫學(附・横井小楠の之が弘奬)(山崎正董) 三
橋本景岳先生(平泉澄) 俊傑眞木泉州(勝田孫彌) 三
大日本國政典に就いて(尾佐竹猛) 兆民先生行狀記(小泉策太郎) 三

日本史前學の前途（大山柏）
玉に對する古代亞細亞民族の先天的崇敬心に就ての考察（上田恭輔）
世界貝塚發見史としての大森貝塚（鳥居龍藏）
擬策一道（內藤虎次郎）
鄭所南の露根蘭と心史とについて（中山久四郎）
吳墨井傳辨誤二則（石田幹之助）
朝鮮典籍の一考察（素王事紀に就て）（稻葉君山）
三朝史話（菊池謙讓）
日本人の美術鑑賞（正木直彦）
足利學校遺蹟圖書館現藏貴重書を一瞥して（長澤規矩也）
德川初期の地誌（高木利太）
いぶきのまうた（安藤和風）
顧山陽を如何に觀る（木崎愛吉）
日本住宅雜感（岡田信一郎）
古染付の皿（小野賢一郎）
時事新報社のK君（下村宏）
君子蘭（赤星陸治）
鰯にまつはる文化（三宅やす子）
マルキシズムとレーニニズム（河田嗣郎）
平和及軍縮より見たる國防（佐藤鐵太郎）
大型巡洋艦の運命（伊藤正德）
農業の振興に關する根本問題（瀧本誠一）
桂內閣と濱口內閣（阿部賢一）
感化事業（留岡幸助）
逆の味ひ（野間清治）
唯物史觀論（深井英五）
星と語る時代（馬場恒吾）
姬街と三方ケ原（白柳秀湖）
エネチヤに於ける日本使者（木下杢太郎）
歐洲新開に現はれた最初の日本記事（木村毅）
「ラグビー」のトマス・アーノルド（水崎基一）
江芸閣及ヅーフの樂翁公五十の賀詞（武藤長藏）
リットン・ストレチイ氏の「女王ヴィクトリヤ」（戶川秋骨）
アンドルウ・マアヱル（竹友藻風）
新聞について（築田欽次郎）
現代新聞の論壇（坂口二郎）
ノースクリフとスチード（米田實）
新聞記者としての司馬遷（福良竹亭）
雜誌修業（石川武美）
誰が讀んでくれるか（石川六郎）
何故に「國民」を夕刊新聞としたか（伊達源一郎）
古稀を祝して德富蘇峰翁に贈る（本山彥一）
蘇峰先生の誠實（小笠原長生）
德富蘇峰と予（綱島佳吉）
兄か伯父か（巖谷小波）
蘇峰兄と小生（松村介石）
民友社の金蘭簿（結城禮一郎）
新聞記者及び歷史家としての蘇峰先生（濱田佳澄）
帝國學士院第一部論文集 邦文第一・二號 大正二・八 洋・大 同院刊 二 イ 四 七八〇
由井正雪事件と德川幕府の養子法（穗積陳重） 一
諱に關する疑（同上） 二
東洋協會調査部學術報告第一册 東洋協會編 明治四二 洋・大 一 イ 四 二三九
滿洲の佛寺建築（伊東忠太）
清朝國號考（市村瓚次郎）
間島國境問題（幣原坦）
日獨叢書 第一編 日獨文化協會刊 昭和三 洋・中 一 イ 四 二六〇
新國際良心（アルフ）
韓國慶州に於ける新羅時代の遺蹟（關野貞）
日韓兩國語同系論（金澤庄三郎）
蒙古驛傳考（羽田亨）
少年時代の蘇峰君（淨田和民）
蘇峰先生の存在（伊藤仁太郎）
先生を繞る數氏と私（永代靜雄）
德富蘇峰先生に就て（高田畊安）
口腹追慕の一節（松崎天民）
小林さん（吉屋信子）
親ごころ（鳴田青峰）
玄蒐の樂浪は今の旅順（淺見倫太郎）
朝鮮人蔘（三宅驥一）
萬葉人と植物（佐佐木信綱）
水戶學（川崎三郎）
作文趣味（高橋義雄）
大通餅大通燒（三田村玄龍）
古曾部の古窯（齋藤弔花）
世界一の贅澤新聞（奧村信太郎）
小林さん（吉屋信子）
親ごころ（鳴田青峰）
口腹追慕の一節（松崎天民）
「新聞に就て」に就いて（杉村廣太郎）
新聞紙と文章道（千葉龜雄）
戰爭とその記錄者（櫻井忠溫）
消費を縛る力（下田將美）
社會事業家の精神（山室軍平）
心の健康を計れ（增田義一）
峨眉山記（松內則信）
西山の櫻（高濱虛子）
タウンセンド・ハリスの一私信（新村出）

日佛文化 第一至三輯 昭和二至四 洋・中 日佛會館學藝部編 三 イ 四 二三八
現代佛蘭西音樂と我音樂界との交涉（小松耕輔）外六篇 一
十八世紀以降のフランス化學界瞥見（朝比奈貞一）外七篇 二
歐羅巴に於ける印刷の初期（ド・ビイ）外七篇 三

◎

壬寅新民叢報全編 尾卷缺 維新室校刊 光緒二九 唐・小 一五 イ 四 七五三

◎

井上博士講論集 第一編・交情餘韻附 明治二七 洋・小 井上圓了撰・佐村八郎編 一 イ 四 二四〇
內田銀藏講論集 講話・論著五六篇 大正一一 洋・中 內田銀藏撰（內田銀藏遺稿全集本） 一 イ 四 二三〇五
教育及宗教
人物
雜

同

慶應宇都宮講演 慶應義塾刊 大正四 洋・中 一 イ 四 二一四四
義塾
湯原先生記念出版 易水想波 易水漢詩文存附 昭和三 洋・中 湯原先生記念會編 一 イ 四 二四二
學說乞丐袋 表裏反對の間違ひづくし外三六篇 明治四四 洋・中 加藤弘之撰 一 イ 四 二四三
思潮評論 明治三七 洋・中 大西祝撰（大西博士全集本） 一 イ 四 二四一
巽軒論文 初・二集 明治三二 洋・中 井上哲次郎撰 二 イ 四 二四五
〔樗牛〕時勢及思索 明治三八 洋・中 高山林次郎撰（樗牛全集） 一 イ 四 二三〇〇
途上偶感 民主主義外一六篇 大正一四 洋・小 矢野恒太撰 一 イ 四 二三七三
偶評 西先生論集 明治一五 再版 洋・小 西周撰・土居光華評 一 イ 四 二三五
西村茂樹先生論說集 卷之一 明治二七 松平直亮編 和・中 一 イ 四 二三四六

武藤元信論文集 清少納言傳外一四篇・前附小傳・武藤元信遺著 刊行會刊 昭和四 洋・小 一 イ 四 二三〇七
甫水論集 明治三十五年を迎ふるの辭外三四篇 明治三七 再版 洋・中 井上圓了撰 一 イ 四 二三七一
黎明 曉の鐘外四類 大正五 洋・小 茅原廉太郎撰 一 イ 四 二三七二

◎

朝日講演集 第五輯 大正九 朝日新聞社編 洋・小 一 イ 四 二三四七
藝術と實行（島崎藤村）
日本民族の將來（下村宏）
俳句雜感（松瀨青々）

◎

學術講演錄 第一至三輯 大正四・五 洋・中・小 大日本文明協會編 三 イ 四 二二四九
財團法人 啓明會講演集 第一至五〇回（有缺） 大正八至昭和八 洋・中 同會事務所刊 五 イ 四 二二八二
法律上より觀たる國際聯盟（山川端夫） 一
經濟方面より觀たる國際聯盟（深井英五） 一
獨逸の近況（高楠順次郎） 一
露國の最近社會變動の經過及因由（今井時郎） 一
スタイン氏發見の敦煌畫に就て（瀧精一） 一
朝鮮李王家の古樂舞―我が宮中の舞樂との關係（田邊尙雄） 一

支那佛教史蹟踏査報告(常盤大定) 一
臺灣及琉球の音樂に就きて(田邊尙雄) 一
德川時代庶民教育の教科書たる往來物に就きて(岡村金太郎) 一
建築の理想と實際(伊東忠太) 二
波斯・メソポタミヤ方面視察談(縫田榮四郎) 二
ブラジル移民問題に就きて(富田愛次郎) 二
琉球史概觀(東恩納寛惇) 二　南島研究の現狀(柳田國男) 二
古琉球の歌謠に就きて(伊波普猷) 二
琉球美術工藝に就きて(鎌倉芳太郎) 二
琉球藝術の性質(伊東忠太) 二　琉球の音樂に就いて(山内盛彬) 二
新土耳古國の建設(内田定槌) 二　土耳其の經濟事情(土・ベー) 二
眼前の異人種問題(柳田國男) 二　アイヌ研究の現狀(金田一京助) 二
アイヌの生活と博物館のアイヌ品陳列棚(八田三郎) 二
白老コタンのアイヌの生活(同上) 二　アイヌ生活の變遷(伏根弘三) 二
アイヌ語の本質(バチラー) 二
我が國の古舞古樂に就きて(高野辰之) 三
附・邦樂實演會詞曲・朗詠譜・法相聲明譜・天臺聲明譜 三
歐洲に於ける勞働問題の趨勢(前田多門) 三
支那最近の政情(笹川潔) 三　國際經濟會議に就きて 三
Final Report of the World Economic Conference. 三
滿蒙に於ける人類學上の研究に就きて(鳥居龍藏) 三
日本の立場より見たる西洋美術(矢代幸雄) 四
希臘事情(川島信太郎) 四　滿蒙の經濟的價値(木村增太郎) 四
軍縮會議の開かるゝに臨みて(南鄕次郎) 四
產業の合理化(吉野信次) 四
歐洲勞働運動の趨勢と失業問題(富田愛次郎) 四
航空研究の最近の情況(斯波忠三郎) 四
歐米諸國補習敎育の近況と我國敎育制度の改善(田尻常雄) 四
支那建築と其の裝飾(伊東忠太) 四　支那陶器の鑑賞(奥田誠一) 四
支那漆藝の發達と其趣味(六角紫水) 五

支那金工に就て(香取秀眞) 五　支那文樣の特質(安田祿造) 五
支那國民性とその染織(鹿島英二) 五　支那の瓦塼(關野貞) 五
支那工藝に關する文獻(田邊孝次) 五　東洋文化の世界的意義(安岡正篤) 五
金本位の作用・殊に金融との關係(山崎覺次郎) 五
民法改正と婚姻問題(穗積重遠) 五
滿洲支那領土說の批判と滿洲國の建國(矢野仁一) 五

現代思潮講演集 慶應義塾大學編 大正一四 洋・中 一册 イ 四類 一三五〇號
現代哲學の趨勢(川合貞一)　現代敎育思潮概說(小林澄兄)
古典派經濟學の復興(高橋誠一郎)　新民約論(板倉卓造)
近世社會思想上に於ける改良主義と革命主義(小泉信三)
ホヰトマンと近代思想(野口米次郎)　英詩の推移(同上)
同 一 イ 四 一三七四
當代名流五十家訪問錄 坪谷善四郎編 明治三二 洋・小 一 イ 四 一三五一
當代名流五十家訪問錄 坪谷善四郎編 明治三二 再版 洋・小 一 イ 四 一三五二
最新思潮講話 文藝協會編 明治四一 洋・中 一 イ 四 一三五三
宇宙觀(三宅雄二郎)　現今の哲學(金子馬治)
雌雄の起原及進化(丘淺次郎)　近世美學上の問題(島村瀧太郎)
ハムレット講話(坪内雄藏)
大禮記念通俗講演集 東北帝國大學編 大正五 洋・中 一 イ 四 一三五四
臺灣日日新報壹萬號及創立三十周年記念講演集 所謂「試驗地獄」に就いて(三澤糾)外二二篇 臺灣日日新報社編 昭和四 洋・小 一 イ 四 一三五五
同 一 イ 四 一三五六
日獨文化講演集 第一至八輯(有缺) 昭和二至七 洋・中 日獨文化協會刊 七 イ 四 一三八三
獨逸思想界の現狀(桑木嚴翼) 一

世界の文化發展に對する獨逸國民の貢獻(坂口昻) 一
大乘佛敎の使命(ゾルフ演・グンデルト譯) 一
獨逸學者の理化學研究に與へたる敎訓(長岡半太郎) 二
航空生理に就いて(永井潛) 二
現今に於ける航空機發達の趨勢(ベルゲル) 二
獨逸博物館とミラ博士(棚橋源太郎) 三
科學及び工業博物館に就いて(ミラ) 三
電氣工業幼年時代の思出(同上) 三　獨逸文學の特色(山岸光宣) 四
經濟學上に於ける獨逸の貢獻(鹽澤昌貞) 四
西鶴側面觀(ドオナアト) 四
獨逸の學校制度に於ける新方針竝びに新組織(クルツ) 五
獨逸の合理化運動(向井鹿松) 五　對獨賠償問題に就て(大竹虎雄) 六
獨逸側より觀たる賠償金問題(クノル) 六
獨逸演劇の現狀に就て(杉野橘太郎) 七

日露協會講演會速記錄 第五回 同會編 大正四 洋・中 一 イ 四 一三八四
時局と露西亞(大庭景秋)　日露貿易に就て(川上俊彥)
〔日露協會〕講演會速記錄 大正一四・一五年 極東露領の產業に就て(磯野進)外三篇 同會編 大正一四・一五 和・中 一 イ 四 一三八五
文明協會講演集 大正九年度第三至一三年度第三 同會刊 大正九至一三 洋・中 七 イ 四 一三五七
三越講演集 第一至三輯 千代田城石垣の話(日比翁助)外二六篇 三越石垣會編 大正一五至昭和二 洋・小 三 イ 四 一三五八
名流談海 大橋又太郎編 明治三二 再版 洋・小 一 イ 四 一〇三七
黎明會講演集 第一卷第一輯至第二卷第四輯 同會編 昭和八・九 洋・中 二 イ 四 一三〇七

○

歸鄕記念大隈侯爵講演集 同記念刊行會編 大正七 洋・中 一 イ 四 一三五九
敬宇先生演說集 中村正直述・木平讓編 明治二一 和・小 一 イ 四 一三六一

加藤弘之講演全集 第四册 加藤照麿等編 明治三三 洋・中 一 イ 四 一三六二
杉先生講演集 杉先生實歷談附 杉亨二述・世良太一編 明治三五 洋・中 一 イ 四 一三六三
同 一 イ 四 一三七〇
高田早苗博士大講演集 大日本雄辯會編 昭和二 三版 洋・小 一 イ 四 一三六四
高田早苗博士大講演集 大日本雄辯會編 昭和二 六版 洋・小 一 イ 四 一三六五
傳仁演說集 米・デニング述・雨倉子城譯編 明治一九 洋・中 一 イ 四 一三六六
同 一 イ 四 一三六七

○

梁任公學術講演集 第一至三輯 梁啓超撰 民國一二 洋・中 三 イ 四 一三六八

五 雜纂

雜纂

日本隨筆索引 太田爲三郎編 明治三四 洋・中 一册 イ 五類 八六九號
同 一 イ 五 一一五五
日本隨筆索引 太田爲三郎編 大正一五 增訂版 洋・中 一 イ 五 一一六六
日本隨筆索引 續共 太田爲三郎編 大正一五增訂・昭和七 洋・中 二 イ 五 一〇九六

○

稿本隨筆集 五種 船越政一郎編校 昭和四 洋・中 (浪速叢書) 一 イ 四 一一三二
晴翁漫筆(木村明啓)　籠耳集(草間直方)

明和雜記　綺語文草（西澤一鳳）
うめのはつ花（渡邊保敎）
四大奇書集古隨筆　魁眞樓刊　明治三二　和・中　一冊　イ五類　一三一號
平義器談（伊勢貞丈）　墨水消夏錄（東蘭洲）
搜奇錄（岩瀨醒編）　耳袋（根岸鎭衛）

同　一　イ五　一一三五

隨筆文學選集　一二卷・續六卷　昭和二・三　洋・小　楠瀨恂編　一八　イ五　一一二四

東の花勝見（永下堂波靜）　一　花街漫錄（西村伊之）　一
無名翁隨筆（笹屋邦敎等）　一　目ざまし草（清中亭淑親）　一
狂歌烟草百首（橘薫）　一　さや〳〵草紙（木下幸文）　一
あがたの三月よつき（大伴大江丸）　一　婆心錄（松平定信）　一
天保佳話（丈我老圃）　一　嗚呼矣草（田宮仲宣編）　二
錦所談（山田以文）　二　劇場漫錄（默々漁隱）　二
つゞれの錦（傾城買息子傳授）（渡邊定靜）　二
花街漫錄正誤及附考（喜多村信節・山崎美成）　二
鉛筆紀聞（栗本鯤）　二　西洋畫談（司馬江漢）　二
西洋畫談（高森觀好）　二　榊のかをり（井手曙覽）　二
禿筆餘興（松平定信）　二　雅游漫錄（大枝流芳）　三
文畫誘掖（中林成昌）　三　浪花青樓志（墨江閣）　三
改過筆記（瀧澤解）　三　鶯育草（梅香舍柳列）　三
木芽說（前田夏蔭）　三　日本異國往來記（遠山信武）　三
孿生抄（一度に數多の子をうむ事）（遊佐好生）　三
二見の浦（伊勢貞丈）　三　傘笠考（屋代弘賢）　三
織錦舍隨筆（村田春海）　四　耋筵小牘（小野職博）　四
役者論語（八文字自笑編）　四　鮫皮精鑒錄（淺尾遠視）　四
燧袋圖（川崎千虎補）　四　溫古蕘彙（墾田永年）　四
新刻百錢譜（寬齋）　四

寬至天見聞隨筆（一名窕懲富保）（稻光舍編）　四
鴃舌或問（渡邊定靜）　四　金魚養玩草（安達喜之）　四
五月雨草紙（喜多村直寬）　五　藥玉之考（大塚嘉樹）　五
茱萸囊之考（同上）　五　江の霞（上田秋成）　五
蘿月庵國書漫抄（尾崎雅嘉）　五　白猿ひとりごと（五世團十郎）　五
增補洞房語園（庄司勝富）　五　古量考（異本）　五
寸錦雜綴　五　音曲鼻毛ぬき（耳鳥齋）　六
妙貞問答（下卷）（不干齋巴鼻庵）　六　篁窓抄錄　六
劇場新話　六　月舍遺抄（橫山由清抄）　六
五色絲　六　和蘭通舶（司馬江漢）　六
野の舍隨筆（大石千引）　六　遊相醫話（森立之）　六
尾陽戲場事始（指峯堂）　七　形影夜話（杉田翼）　七
北野茶會記（西田直養）　七　萍花漫筆（桃花園）　七
善庵隨筆（附錄共）（朝川鼎）　七　震雷記（後藤光生編）　七
釣書ふきよせ　七　輶軒小錄（伊藤長胤）　七
陸庵書簡（宗補）　八　能面目利書（喜多七太夫）　八
花散る里（高柴三雄撰・阪田諸遠補）　八　不盡の煙（近藤守重編）　八
吉原十二時（石川雅望）　八　河美錄（津輕采女）　八
作者店おろし（三升屋二三治）　八　萍の跡（立綱）　八
地震考（小島好謙）　八　三絃考（小山田與清）　八
ひとり寐（柳澤里恭）　九　相撲隱雲解（式守蝸牛）　九
鼻わらひ（耳鳥齋）　九　誹諧世說　九
艸廬先生河內道之記（龍公美）　九　鼇頭奧の細道（此花庵鶯宿注）　九
やれ旅籠　九　心太平庵隨筆稿（海保元備）　九
煙華漫筆　九　紫のひともと（戶田茂睡）　一〇
女粧考（伊東南堂編）　一〇　種菊要法（籬居編）　一〇
澤庵禪師書簡（宗彭）　一〇　となりのはなし　一〇
月代考（本多忠憲）　一〇　異本筆の御靈（田沼善一）　一〇
遠乘漫筆（田中世誠）　一〇　鞍鐙目利書（大澤繁豐編）　一〇
宗湛日記（神屋宗湛）　一一　腹切考（山岡俊明）　一一

貓瞳寬窄辨（梅川重高）　一一　三樹考（小山田與清）　一一
扇之記（西村義忠）　一一　老人雜話（江村宗具）　一一
陶器樂草（榊原芳野）　一一　漫畫隨筆（鈴木煥卿）　一一
象の貢獻（中村平吾）　一一　秋はきの譜（橫山潤編）　一二
月雪花寢物語（中村仲藏）　一二　歌詞考（小山田與清）　一二
閑說辨惑磐水夜話（大槻茂質）　一二　小品考（西村廣休）　一二
腰刀燧臺圖記（中盛彬）　一二　畫證錄（喜多村信節）　一二
榊巷談苑（榊原玄輔）　一二　單騎要略被甲辨（村井昌弘編）　一三
提醒紀談（山崎美成編）　一三　見世物雜志（卷一至三）（小寺廣路）　一三
耽奇漫錄（第一集）（山崎美成編）　一三　見世物雜志（卷四・五）（小寺廣路）　一四
耽奇漫錄（第二集）（山崎美成編）　一四　千草の根ざし（殿村常久）　一四
壺蘆圃漫筆（卷一至四）　一四　壺蘆圃漫筆（卷五）　一五
耽奇漫錄（第三集）（山崎美成編）　一五　本邦刀劍考（榊原長俊）　一五
耳囊（根岸鎭衛）　一五　相劍正傳（近藤時憲）　一五
黃昏隨筆（風・月の卷）（玄何）　一六　耽奇漫錄（第四集）（山崎美成編）　一六
見聞雜誌（卷一・二）（森島中良）　一六　壺蘆圃雜記（卷一至四）　一六
耽奇漫錄（第五・六集）（山崎美成編）　一七　黃昏隨筆（花・鳥の卷）（玄何）　一七
壺蘆圃雜記（卷五・六）　一七　旅路のうちきゝ（清水濱臣）　一七
壺蘆圃雜記（卷七・八）　一八　耽奇漫錄（第七・八集）（山崎美成編）　一八
街談文々集要（石塚豐芥子）　一八　醬油集說（榊原芳野）　一八
髹譜（同上）　一八

隨筆文學選集　一二卷・續六卷　昭和二・三　洋・小　楠瀨恂編　一八　イ五　一一二七

日本隨筆全集　索引・補遺共二〇卷　昭和二至五　洋・中　國民圖書株式會社編　二〇　イ五　一一三三

寸錦雜綴　一　徂徠先生南留別志（宇佐美惠校）　一
東牖子（田宮仲宣）　一　善庵隨筆（朝川鼎）　一
思齊漫錄（中村弘毅）　一　秇苑日涉（村瀨之熙）　一
睡餘小錄（附錄共）（河津吉迪編）　二　圓珠庵雜記（契沖）　二
河社（同上）　二　著作堂一夕話（瀧澤解）　二

文會雜記（湯淺元禎）　二　松屋叢話（小山田與清）　二
三養雜記（山崎美成）　三　駿臺雜話（室直清）　三
烹雜の記（瀧澤解）　三　孝經樓漫筆（山本信有）　三
猿著聞集（八島春信）　三　花街漫錄（西村伊之）　四
嚶々筆語（野之口隆正編）　四　北窻瑣談（橘南谿）　四
擁書漫筆（小山田與清）　四　南屛燕語（岩珉）　四
湖亭涉筆（安積覺）　四　燕石雜志（瀧澤解）　五
芳洲先生たはれぐさ（雨森俊良）　五　漫畫隨筆（鈴木煥卿）　五
蒹葭堂雜錄（木村孔恭）　五　常山樓筆餘（湯淺元禎）　五
好古小錄（藤井貞幹）　六　年山紀聞（安藤爲章）　六
秉燭譚（伊藤長胤）　六　閑田耕筆（伴資芳）　六
提醒紀談（山崎美成編）　六　好古日錄（藤井貞幹）　七
閑田次筆（伴資芳）　七　南嶺子（多田義俊）　七
柳莽隨筆（栗原信充）　七　茅窓漫錄（茅原定）　七
坤齋日抄（西島長孫）　七　南嶺遺稿（多田義俊）　八
雅遊漫錄（大枝流芳）　六　玄同放言（瀧澤解）　八
聖學隨筆（石川安貞）　八　柳莽雜筆（栗原信充）　八
松亭漫筆（中村經年編）　八　還魂紙料（柳亭種彥編）　九
橘牕茶話（雨森俊良）　九　北邊隨筆（富士谷御杖）　九
晚進粹筆閑窻瑣談（佐々木貞高）　九　雲錦隨筆（木村明啓）　九
用捨箱（柳亭種彥編）　一〇　閑際筆記（藤井臧編）　一〇
梅園日記（北愼言）　一〇　赤穗義士隨筆（山崎美成編）　一〇
宮川舍漫筆（宮川政運）　一〇　近世奇跡考（岩瀨醒）　一一
比古婆衣（卷一至一一）（伴信友）　一一　愚雜俎（田宮仲宣）　一一
年々隨筆（石原正明）　一二　理齋隨筆（志賀忍）　一二
難波江（岡本保孝）　一二　骨董集（岩瀨醒）　一三
雲萍雜志（柳澤里恭）　一三　假名世說（大田覃）　一三
夏山閑話（小野高尙）　一三　花月草紙（松平定信）　一三
秋齋閒語（多田義俊）　一四　四方の硯（畑維龍）　一四
退閑雜記（松平定信）　一四　蜘蛛の絲卷（岩瀨百樹）　一四

瓦礫雜考(喜多村信節)	一四	積翠閑話(中村經年編)	一四
南畝莠言(大田覃)	一五	松の落葉(藤井高尙)	一五
艮齋閑話(安積信)	一五	鄰女晤言(慈延)	一五
翁草(神澤貞幹)	一五	玉かつま(本居宣長)	一六
輶軒小錄(伊藤長胤)	一六	梧窓漫筆(太田元貞)	一七
茶山翁筆のすさび(菅晉帥)	一七	梅窓筆記(橋本香菓)	一七
塵塚物語	一七	一宵話(秦鼎)	一七
桂林漫錄(森島中良)	一八	にぎはひ草(佐野紹益)	一八
玲瓏隨筆(宗彭)	一八	比古婆衣(續篇)(卷一三至二〇)(伴信友)	一八
雨窓閑話	一九	遠碧軒隨筆(黑川道祐)	一九
關祕錄	一九	蒼梧隨筆(大塚嘉樹)	一九
日本隨筆全集索引・補遺	二〇		

日本隨筆全集 索引・補遺共二〇卷 昭和二至五 洋・中　國民圖書株式會社編　二〇冊　イ五類　一一六五號

日本隨筆大成 三期三七卷・別卷二冊 昭和二至六 洋・小　同編輯部編　三九　イ五　一一三八

第一期

梅村載筆(林信勝)	一	茶山翁筆のすさび(菅晉帥)	一
壬戌羇旅漫錄(瀧澤解)	一	仙臺閑語(林良通)	一
春波樓筆記(司馬江漢)	一	瓦礫雜考(喜多村信節)	一
紙魚室雜記(城戸千楯)	一	桂林漫錄(森島中良)	一
柳亭記(柳亭種彥)	一	倘古造紙挿	一
雲錦隨筆(木村明啓)	二	松屋棟梁集(小山田與淸)	二
橿園隨筆(中島廣足)	二	近世女風俗考(生川正香)	二
蘿月庵國書漫抄(尾崎雅嘉)	二	畫譚雞肋(仲山高陽)	二
煙霞綺談(西村白鳥)	二	柳亭筆記(柳亭種彥)	二
磯山千鳥(堀秀成)	二	橘窓自語(橋本經亮)	二
玄同放言(瀧澤解)	三	都の手ぶり(石川雅望)	三
織錦舍隨筆(村田春海)	三	睡餘小錄(河津吉迪)	三
八水隨筆	三	歷世女裝考(岩瀨百樹)	三

書儈贅筆	三	檜の落葉物語(伴林光平)	三
かなそき(大田覃)	三	鋸屑譚(谷川士淸)	三
上代衣服考(豐田長敦)	四	雨窻閑話	四
屋氣野隨筆(小野高潔)	四	寸錦雜綴	四
增訂半日閑話(大田覃)	四	泊洦筆話(淸水濱臣)	四
辨正衣服考	四	心の雙紙(松平定信)	四
過庭紀談(原瑜)	五	嚶々筆語(野之口隆正編)	五
花街漫錄(西村伊之)	五	遠碧軒記(黑川道祐)	五
風のしがらみ(土肥經平)	五	著作堂一夕話(瀧澤解)	五
あまのくゝつ(中島廣足)	五	遊藝園隨筆(川路聖謨)	五
善庵隨筆(朝川鼎)	五	古老茶話(柏崎永以)	六
秉燭譚(伊藤長胤)	六	四方の硯(畑維龍)	六
梅園叢書(三浦晉)	六	野の舍隨筆(大石千引)	六
おもひぐさ(本居宣長)	六	晚進魯筆閑窻瑣談(佐々木貞高)	六—七
還魂紙料(柳亭種彥)	六	擁書漫筆(小山田與淸)	六
西洋畫談(司馬江漢)	六	思ひの儘の記(勢多章甫)	七
用捨箱(柳亭種彥)	七	向岡閑話(大田覃)	七
撈海一得(鈴木煥卿)	七	松陰隨筆(鈴木基之)	七
槻の落葉信濃漫錄(荒木田久老)	七	蒹葭堂雜錄(木村孔恭)	七
文會雜記(附錄共)(湯淺元禎)	七	畏庵隨筆(若槻敬)	七
北邊隨筆(富士谷御杖)	八	燕居雜話(日尾瑜)	八
骨董集(岩瀨醒)	八	かしのしつ枝(中島廣足)	八
幽遠隨筆(入江昌喜)	八	松屋叢考(小山田與淸)	八
宮川舍漫筆(宮川政運)	八	駒谷芻言(松村延年)	八
古今沿革考(柏崎永以)	九	異說まち〳〵(烏江正路)	九
和漢太平廣記(藤井臧)	九	獨語(太宰純)	九
又樂庵示蒙話(栗原信充)	九	南嶺子(多田義俊)	九
南嶺子評(伊勢貞丈)	九	世事百談(山崎美成)	九
閑田耕筆(伴蒿芳)	九	閑田次筆(同上)	九
天神祭十二時(山含亭意雅栗三)	九	筆の御靈(田沼善一)	一〇

東牖子(田宮仲宣)	一〇	嗚呼矣草(同上編)	一〇
齊諧俗談(大朏義道)	一〇	一宵話(秦鼎)	一〇
昆陽漫錄(青木敦書)	一〇	續昆陽漫錄(補共)(同上)	一〇
南嶺遺稿(多田義俊)	一〇	南嶺遺稿評(伊勢貞丈)	一〇
秉穗錄(岡田挺之)	一〇	花街漫錄正誤(喜多村信節)	一〇
年々隨筆(石原正明)	一一	嘉良喜隨筆(山口幸充)	一一
烹雜の記(瀧澤解)	一一	三のしるべ(藤井高尙)	一一
好古日錄(藤井貞幹)	一一	好古小錄(附錄共)(同上)	一一
奇遊談(川口好和)	一一	茅窻漫錄(茅原定)	一一
庖丁書錄(林信勝)	一一	こがねぐさ(石川雅望)	一一
耽奇漫錄(五卷)(瀧澤解編)	一三	別卷・一話一言(大田覃)	一三—一四

第二期

兎園小說(瀧澤解等)	一五	草廬漫筆(武田信英編)	一五
松屋叢話(小山田與淸)	一五	提醒紀談(山崎美成編)	一五
圓珠庵雜記(契沖)	一五	假名世說(大田覃編)	一五
一時隨筆(岡西惟中)	一五	梅の塵(梅の舍)	一五
當代江都百化物(馬場文耕)	一五	筱舍漫筆(西田直養)	一六
萍花漫筆(桃華園)	一六	兎園小說外集(瀧澤解等)	一六
兎園小說別集(瀧澤解)	一六	八十翁疇昔話(新見正朝)	一六
牟藝古雅志(瀨川如皐編)	一六	雲萍雜志(柳澤里恭)	一六
閑なるあまり(松平定信)	一六	畫證錄(喜多村信節)	一六
兎園小說餘錄(瀧澤解)	一七	兎園小說拾遺(同上)	一七
保敬隨筆(小泉保敬)	一七	梅園拾葉(三浦晉)	一七
新著聞集	一七	雉岡隨筆(五十嵐篤好)	一七
三養雜記(山崎美成)	一七	淸風瑣言(上田秋成)	一七
尤の草紙	一七	近世奇跡考(岩瀨醒)	一七
它山石(松井輝晨)	一八	筠庭雜錄(喜多村信節)	一八
勇魚鳥(北山久備)	一八	蜘蛛の糸卷(岩瀨百樹)	一八
橘窻茶話(雨森俊良)	一八	一擧博覽(鈴木忠侯)	一八
うき草のあと(立綱)	一八	筠庭雜考(喜多村信節)	一八

目さまし草(淸中亭淑親)	一八	反古籠(森島中良)	一八
閑窻自語(柳原紀光)	一八	雜說囊話(林正森編)	一八
先進繡像玉石雜誌(栗原信充編)	一九	二川隨筆(山川信意・細川季明)	一九
飛鳥川(續共)	一九	江戸雀	一九
積翠閑話(中村經年)	一九	尾崎雅嘉隨筆	一九
閑窻筆記(西村遠里)	一九	梅翁隨筆	二〇
櫻の林(千家尊澄)			二〇
新增補浮世繪類考(附・戲作者略傳)(笹屋邦教等編)			二〇
筬埃隨筆(百井塘雨)	二〇	玲瓏隨筆(宗彭)	二〇
十八大通(三升屋二三治)	二〇	本朝世事談綺(菊岡沾凉)	二〇
河社(契沖)	二一	たはれぐさ(雨森俊良)	二一
本朝世事談綺正誤(山崎美成)	二一	桑楊庵一夕話(岸誠之)	二一
隣女晤言(慈延)	二一	蓴菜草紙(多田義寛)	二一
足薪翁記(柳亭種彥)	二一	奴師勞之(大田覃)	二一
比古婆衣(卷一至四)(伴信友)	二二	西山公隨筆(德川光圀)	二二
南留別志(荻生雙松)	二二	可成三註(篠崎維章等)	二二
非なるべし(富士谷成章)	二二	南留別志の辨	二二
あるまじ(伊勢貞丈)	二二	ざるべし(谷眞潮)	二二
北窻瑣談(橘南谿)	二二	酬中淸話(小島知足)	二二
三省錄(志賀忍)	二二	三省錄後編(原義胤)	二二
火浣布略說(平賀國倫)	二二	年山紀聞(安藤爲章)	二二
遊京漫錄(淸水濱臣)	二三	胡蝶庵隨筆(聖應)	二三
柳庵隨筆初編(栗原信充)	二三	柳庵隨筆(以字篇至奴字篇)(同上)	二三
柳庵隨筆餘編(同上)	二三	薰風雜話(澁川時英)	二三
曲肱漫筆	二三	北國奇談巡杖記(鳥翠臺北巠)	二三
立路隨筆(林百助)	二三	南屛燕語(岩岷)	二三
答問雜稿(淸水濱臣)	二三	楓軒偶記(小宮山昌秀)	二四
諼草小言(同上)	二四	南柯の夢(畑銀鷄)	二四
猿著聞集(八島春信)	二四	燕石襍志(瀧澤解)	二四
靜軒痴談(寺門良)	二四	閑散餘錄(南川維遷)	二四

於路加於比(柳亭種秀) 二四
夏山雜談(小野高尙) 二四
難波江(岡本保孝) 二五
松の落葉(藤井高尙) 二五
闇の曙(新井祐登) 二五
雅遊漫錄(大枝流芳) 二六
思齊漫錄(中村弘毅) 二六
晤語(名島政方) 二六
莘野茗談(平秩東作) 二六
諸國里人談(菊岡沾凉) 二六

第三期

傍廂(齋藤彥麿) 二七
ねざめのすさび(石川雅望) 二七
花月双紙(松平定信) 二七
異本洞房語園(莊司勝富) 二七
洞房語園後集 二七
おほうみのはし(富士谷成章) 二七
柳庵雜筆(栗原信充) 二八
俗耳鼓吹(大田覃) 二八
賤のをだまき(森山孝盛) 二八
近世商賈盡狂歌合(石塚豐芥子) 二八
蒼梧隨筆(大塚嘉樹) 二九
關の秋風(松平定信) 二九
癇癖談(上田秋成) 二九
とはずかたり(中井誠之) 二九
駿臺雜話(室直淸) 二九
南向茶話(酒井忠昌) 三〇
妙々奇談(周滑平) 三〇
天野政德隨筆 三〇
莛響錄(高橋宗直) 三〇

只今御笑草(瀨川如皐) 二四
折々草(建部綾足) 二五
下馬のおとなひ(堀秀成) 二五
蜑の燒藻の記(森山孝盛) 二五
卯花園漫錄(石上宣續) 二六
赤穗義士隨筆(山崎美成) 二六
南畝莠言(大田覃) 二六
輶軒小錄(伊藤長胤) 二六
なゐの日並(笠亭仙果) 二六
傍廂糾繆(岡本保孝) 二七
理齋隨筆(志賀忍) 二七
浪華百事談 二七
洞房語園異本考異(同上) 二七
筆のすさび(橘泰) 二八
中陵漫錄(佐藤成裕) 二八
古今雜談思出草紙(栗原東隨舍) 二八
消閑雜記(岡西惟中) 二八
醒睡笑(安樂庵策傳) 二八
天朝墨談(五十嵐篤好) 二九
梅窗筆記(橋本經亮) 二九
浪華の風(久須美祐雋) 二九
三餘叢談(長谷川宣昭) 二九
近來見聞 噺の苗(木村明啓) 二九
むさしあぶみ(淺井了意) 三〇
後松日記(松岡行義) 三〇
見た京物語(二鐘亭半山) 三〇
凌雨漫錄 三〇
訓蒙淺語(太田敦) 三〇

榊巷談苑(榊原玄輔) 三〇
我宿草(太田道灌) 三一
松亭漫筆(中村經年) 三一
孝經樓漫筆(山本信有) 三一
鬪祕錄 三一
春雨譚(高井伴寬) 三一
松竹問答(松岡辰方) 三一
麓の花(山崎美成) 三二
難後言(花垣幸國) 三二
瀨田問答(瀨名貞雄荅) 三二
白石先生紳書(新井君美) 三二
甲子夜話(一〇〇卷)(松浦淸) 三三—三四
翁草(二〇〇卷)(神澤貞幹) 三七—三九

百草 ・三一
愚雜俎(田宮仲宣) 三一
鳥おどし(川崎重恭) 三一
金剛談(小林元儁) 三一
牛馬問(新井祐登) 三一
春湊浪話(土肥經平) 三一
百草露(含弘堂偶齋)、 三一
しりうごと(小說家主人) 三二
梅園日記(北愼言) 三二
後は昔物語(平澤常富) 三二
桃岡雜記(八田知紀) 三二
鹽尻(一〇〇卷)(天野信景) 三五—三六

日本隨筆大成 第一・二期二四卷・別卷二冊 同編輯部編
昭和二至四 洋・小 二六冊 イ 五 類 一二六七號

百家隨筆 二三種 國書刊行會編
大正六・七 洋・中 (國書刊行會叢書) 三 イ 四 八〇二 六—八

九桂草堂隨筆(廣瀨謙) 六
閑室漫錄(山崎美成) 六
園の池水(伴林光平) 六
況齋雜話(岡本保孝) 七
月齋雜考(淸水濱臣) 七
高ねおろし(穗井田忠友) 七
喪志編(楫取魚彥) 八
活版經籍考(吉田漢官) 八
非時文摘紕(橋本稻彥) 八
蕉齋筆記(小川子英原撰) 八
文教溫故批考(狩谷望之・屋代弘賢) 八
北窻雜話(片山圓然) 八

蘿月庵國書漫抄(尾崎雅嘉) 六
敗箒添塵(多田義俊) 六
落栗物語(藤原家孝) 六
楓軒偶記(小宮山昌秀) 七
南窻筆記(加藤宣樹) 七
海西漫錄(鶴峯戊申) 八
多氣窻螢(北畠材親) 八
淸水千淸遺書 八
たかはゝき(齋藤彥麻呂) 八
能樂考(瀧澤解) 八
傍廂糾繆(岡本保孝) 八

未刊隨筆百種 二三冊・各冊索引附 三田村玄龍編
昭和二至四 洋・小 二三 イ 五 一一二九

岡場遊廓考(石塚豐芥子) 一
新役龍の庖丁 一
吉原春秋二度の景物(桐屋五兵衞) 二
慶應雜談(山本錬三郎編) 二
享和雜記(柳川亭) 三
淺草志 三
靑樓年曆考(一名庄司家譜) 四
寬政紀聞 四
尾陽戯場事始(指峯堂) 五
吉原失墜 五
事々錄 六
業要集(扇谷定繼) 七
古今東名所(毛利元義) 七
戲言養氣集 八
七種寶納記(香西賴山) 八
天保風聞 見聞祕錄 九
東都一流 江戶節根元集(愚性菴可柳撰・有錢堂淸霞補) 一〇
藝界 きくまゝの記(矢島飛蝶) 一〇
寬延雜祕錄 一〇
世のすがた 一〇
豐島郡淺草地名考(岩井守義) 一一
俗語問屋場始末 一一
關東潔競傳(一名關東血氣物語) 一三
家守杖 一三
鄙雜俎 一三
素謠世々之蹟(一名徒歌原始錄)(佐々木春行) 一三
崎陽賊船考(如有子) 一三
露草雙紙(不老軒轉) 一四
柔話 一四
一德物語 一四

操曲入門口傳之卷 一
江戶拾葉 二
文政年間漫錄 二
博奕仕方風聞書 二
俗事百工起源(宮川政運) 三
勝扇子 三
天明紀聞 四
濟生堂五部雜錄(惠海) 四
迂鈍 五
村攝記(村山鎭) 五
文政外記 天保改革雜談 六
傾城百人一首 七
かくやいかにの記(長谷川元寬編) 八
文化祕筆 八
及瓜漫筆(原田光風) 九
祕登利古刀 一〇
寶丙密か祕とつ(馬場文耕) 一〇
きゝのまにまに(喜多村信節) 一一
白石先生寶貨事略追加(柘植英勝) 一一
寶夢錄(野呂倘景編) 一三
江戶圖書目提要 一三
洛水一滴抄 一三
江戶愚俗徒然噺 一三
高田雲雀 一三
楓林腐草(蜂屋椎園) 一四
文廟外記 一四
江戶自慢 一四

柳營譜略(中川忠英) 一五
水戶前中納言殿御系記 一五
御町中御法度 御穿鑿遊女諸事出入書留(寬文年中至享保年中) 一五
踊之著慕駒連 一五
雜交苦口記(中田竹翁軒) 一六
愚痴拾遺物語(馬場文耕) 一六
使奏心得之事 一六
享保通鑑 一七
獄祕書(福澤半次郎) 一七
小うた打聞 一八
新徵組目錄 一八
六國四季之火合 一八
貴賤上下考(三升屋二三治) 一九
天狗騷動實錄 一九
十寸見聲曲編年集(川尻蕙洲) 一九
花柳古鑑(三世一九) 二〇
東台見聞誌 二〇
江戶芝居年代記 二一
川越松山之記(竹村立義) 二一
身延攷 二一
難廼爲可話(小寺廣路) 二二
桐竹紋十郎手記 二二
一本草 二二

公鑑 一五
三十三ヶ條案文(小澤半助) 一五
眞佐喜のかつら(青葱堂冬圃) 一六
角力め組鳶人足一條 一六
頃日全書(同上) 一六
公侯熙績(水原豐寬) 一七
狩野五家譜 一七
裏見寒話(鶴鼠子) 一八
柳亭淨瑠璃本目錄(柳亭種彥) 一八
六國列香之辨(常伯) 一八
在京在阪中日記(中西關次郎) 一九
文政雜說集 一九
緣山砂子 一九
雪の降道(津村正恭) 二〇
大江戶春秋(源信綱) 二〇
寬政祕策 二〇
天保新政錄 二一
峽陽來書 二一
近世珍談集 二一
門前地改更之實錄(快善) 二二
玉川參登鯉傳(日浦祿) 二二

○

好古集說 卷一至三 佐伯利麿編・好古社刊
(明治一七) 和・大 三 イ 五 二七

好古叢誌 初・二編各一二卷・第三編卷一・二 好古社編
明治二五至二七 和・中 二六 イ 五 四

如蘭社話 五〇卷(有缺)・別錄一卷 如蘭社刊
明治二一至大正三 和・中 三六 イ 五 一四

◎

書名	冊	類	號
あふひつくり 伊勢貞丈撰 寫本 和・中	一冊	イ五	四三八
縣居雜錄 外題縣居雜錄補抄 賀茂眞淵撰・長野美波留校注 (文化九) 和・大	一	イ五	一三一三
秋の寐覺 寫本 和・大	五	イ五	七五
蜑の燒藻 森山孝盛撰 寫本 和・大	一	イ五	三二一
安良滿保志 三巻 寫本 和・大	二	イ五	六八六
安齋雜考 二巻 伊勢貞丈撰・今泉定介校編 明治三三 和・中 (故實叢書)	二	ワ三	二四一 一―二
安齋隨筆 三二巻 伊貞丈撰・今泉定介校編 明治三三 和・中 (故實叢書)	一〇	ワ三	二四一 三―一二
安齋隨筆 赤鳥記 伊勢貞丈撰 寫本 和大	一	イ五	一三五四
安齋筆記 一名安齋隨筆 伊勢貞丈撰 寫本 和・大	一四	イ五	四九四
磯足ものがたり 一名河廼邊翁物語 加藤磯足撰 寫本 和・中	一	イ五	一三六三
一話一言 四八巻・首目各一巻 大田覃撰・同堅・島崎榮貞校 明治一六 和・小	五〇	イ五	三九六
同	五〇	イ五	一〇六二
一枝堂遺稿 貼込帖 村田了阿記 自筆本 和・大	三帖	イ五 *	六七三
一甫漫集 繪入 西原一甫編 寫本 和・大	一〇	イ五 *	三五
隱居硯 寫本 和・大	一	イ五	一三五二
陰陽外傳磐戸開 初編 梅辻規清撰 (明治二) 和・中	二	イ五	一三四二
陰陽外傳磐戸開 一〇巻 梅辻規清撰 寫本 和・中	九	イ五	六五九
雨念齋箚記 朝鮮・李鳳煥撰 唐・大 (雨念齋詩文鈔)	一	ヘ一六	二三七七 四
雲錦隨筆 四巻 木村明啓(曉鐘成)撰 (文久元) 和・中	一冊	イ五	五〇
圓珠庵雜記 契沖撰 洋・中 (契沖全集)	一	ヘ二	四二四 八
燕石襍志 五巻 瀧澤解撰 文化八 和・大	六	イ五	一一六
同	六	イ五	一八七
遠碧軒記 黑川道祐撰 寫本 和・中	二	イ五	六七六
櫻陰腐談 二巻 梅國撰 正德二 和・大	三	イ五	一三〇九
應需雜記 契沖撰 洋・中 (契沖全集)	一	ヘ二	四二四 八
太田道灌隨筆 寫本 和・中	一	イ五	五三三
應問錄 第一・二輯 國學院刊 明治三五・三六 初・三版 洋・小	二	イ五	一二九〇
校訂 翁草 二〇〇巻・首一巻 神澤貞幹編・池邊義象校 明治三八・三九 和・中	二一	イ五	四四九
落葉籠 浩然堂編 寫本 和・中	四	イ五	五二八
小山田與淸雜稿 寫本 和・大	四	イ五 *	六五二
折々くさ 建部綾足撰・幸田成行校 明治四一 洋・小 (名著文庫)	一	ヘ二	九一八 三〇
女重寶記 五巻 繪入 和・大	一	イ五	六六九
海北獨語 海保皐鶴撰・河東秉五郎校 (大正五) 和・中	一	イ五	一三六二
膾餘雜錄 永田道慶撰 承應二 和・大	五	イ五	四八
海錄 二〇巻 山崎美成撰 大正四 洋・中 (國書刊行會叢書)	一	イ四	七九九 三三
學山錄 中村明遠撰 寬延四・五 和・大	六	イ五	一三八九
傍廂板下 三巻 齋藤彥麿撰 寫―金瓶 和・中	三	イ五 *	六七四

書名	冊	類	號
甲子夜話 一〇〇巻・續篇一〇〇巻 松浦淸撰 明治四三・四四 洋・中 (國書刊行會叢書本)	六	イ五	七三八
甲子夜話 一〇〇巻 松浦淸撰 明治二五至三三 和・中	四七	イ五	二三八
甲子夜話 缺本 松浦淸撰 明治二五至三二 和・中	三〇	イ五	六
甲子夜話 天保八至一二年 着色圖入 松浦淸撰 寫本 和・大	七	イ五 *	八〇四
盍簪錄 伊藤長胤撰 寫本 和・大	四	イ五	三八
盍簪錄 伊藤長胤撰 寫本 和大	二	イ五	七九一
過庭紀談 原瑜撰 天保五 和・中	五	イ五	三七
同	五	イ五	一一三七
假名世說 大田覃編 (文政七) 和・中	二	イ五	三九
神代餘波 三巻 齋藤彥麿撰 寫本 繪入 和・中	一	イ五	三二八
河社 契沖撰 寫本 和・大	二	イ五	一三八五
寬延奇談 七巻 寫本 和・大	一	イ五	一二八八
閑散餘錄 南川維遷撰 寫本 和・中	二	イ五	一三五〇
閑田耕筆 伴資芳撰 享和元 和・大	四	イ五	二一
同	四	イ五	九一三
閑田次筆 伴資芳撰 文化三 和・大	四	イ五	三
閑度雜談 中村弘毅編 (嘉永元) 和・大	三	イ五	一三五九
刊謬正俗 附・作文眞訣外四條 伊藤長胤撰 寫本 和・大	一	イ五	一〇六九
刊謬正俗 上 伊藤長胤撰 明治九 重刻 和・大	一	イ五	一三四三
貴賤上下考 三升屋二三治撰 洋・小 (未刊隨筆百種)	一	イ五	一二九 一九
貴賤上下考 三升屋二三治撰 寫本 和・大	二	ヌ五	四三三
橘庵漫筆 初・二編 田宮仲宣撰 享和元 和・中	一〇	イ五	三四八
橘牕茶話 三巻 雨森俊良撰 天明六 和・大	三	イ五	四七
同	三	イ五	一一九四
橘窓茶話 三巻 雨森俊良撰 洋・中 (日本倫理彙編)	一	ロ九	八五二 七
九桂草堂隨筆 九巻 廣瀨謙撰 洋・中 (國書刊行會叢書・百家隨筆ノ內)	一	イ四	八八二 六
「九桂草堂隨筆」を讀む 內田銀藏撰 大正七 洋・中 (史林拔刷本)	一	イ五	九一八
舊蹟紀聞 一名宇幾久左乃安止 立綱撰 文政八 和・大	二	イ五	三三
匡正錄 井上立元撰・笹本廉校 安永五 和・大	一	イ五	一三一四
曲亭雜記 五巻 瀧澤解撰・渥美正幹編 明治二二 洋・小	一	イ五	一〇八
近世奇跡考 五巻 繪入 岩瀨醒撰 (文化元) 和・大	二	イ五	七九五
同	二	イ五	一〇六
錦所談 山田以文撰 (天保五) 和・大	二	イ五	一一四五
寓意艸 寫本 和・大	一	イ五	五〇七
寓意艸 寫本 和・大	二	イ五	一一八三
空華談叢 妙龍撰 天明六 和・大	四	イ五	五八七
孔雀樓筆記 淸田絢撰 明和五 和・大	一	イ五	五五四
久保之取蛇尾(スサビ) 初篇 入江昌喜撰 天明四 和・大	三	イ五	四一五

蜘蛛の絲巻 三三條・追加一七條 岩瀬百樹撰 寫本 和・中 一冊 イ五類 三三七號
群書拔萃一 寫本 和・中 一 イ五 *一三六七
秇苑日涉 村瀬之熙撰 文化四 和・大 一二 イ五 一一四六
秇苑日涉 村瀬之熙撰 文政二 和・大 一二 イ五 一〇
桂舘野乘 竝桂舘漫筆 原瑜撰 文化一四 和・大 一 イ五 四二七
契沖雜考 三帖・一三巻 契沖撰 洋・中 (契沖全集) 一 ヘ二 四二四四 八
桂林漫錄 森島中良撰 享和三 和・大 二 イ五 四三
闕餘散筆 朝鮮・金邁淳撰 和・大 (臺山集) 三 ヘ一六 二三八二 八一一〇
蘐園遺編 二〇巻・目一巻 荻生雙松撰 寫本 和・大 五 イ五 四八一
蘐園隨筆 四巻・附文戒 荻生雙松撰 正德四 和・大 三 イ五 五二
蘐園隨筆 四巻・附文戒 荻生雙松撰 寫本 和・中 一 イ五 一一六九
蘐園談餘 六巻 荻生雙松撰 寫本 和・大 一 イ五 一一一〇
蘐園談餘 六巻 荻生雙松撰 寫本 和・中 一 イ五 一三〇一
蘐園二筆 荻生雙松撰 寫本 和・中 一 イ五 一三四一
蘐園二筆 三筆至八筆・十筆共 荻生雙松撰 寫本 唐・大 六 イ五 一三五三
蒹葭堂雜錄 木村明啓(曉鐘成)撰・半山畫 安政六 和・大 五 イ五 一三
玄同放言 三巻 瀧澤解撰・琴嶺・崋山畫 文政元至三・弘化三 和・大 六 イ五 一三一三
玄同放言 缺本 瀧澤解撰・琴嶺・崋山畫 文政三 和・大 五 イ五 二三一
けんどん問答 寫本 和・大 一 イ五 三八六

見聞偶筆 藤田彪撰 洋・中 (東湖全集) 一冊 イ四類 七三四號
樂善堂見聞隨載 寫本 和・中 一 イ五 六三九
孝經樓手抄 山本信有記 自筆本 和・中 一 イ五 *六四五
孝經樓漫筆 山本信有編 嘉永三 和・大 四 イ五 五四
好古小錄 藤井貞幹撰 (寛政六) 和・大 二 リ一一 二九
好古日錄 藤井貞幹撰 寛政九 和・大 二 リ一一 二八
江談抄 大江匡房談・藤原實兼錄 神田本複製—昭和五 和・大 一 イ五 *一三一
皇都午睡 西澤一鳳撰 (明治一六) 和・中 一 イ五 七〇五
皇都午睡 初編 西澤一鳳撰 寫本 和・大 一 イ五 *六六四
國學忘貝 三巻 森長見編 天明七 和・大 四 イ五 一三四六
黑甜瑣語 四編 人見寧撰 明治二九 和・中 四 イ五 三六〇
娯語 摩島長弘撰 天保一五 和・中 四 イ五 四八五
故事附問答 上・中 小林藤丸撰 寫本 和・大 二 イ五 三三三
五色絲 寫本 和・大 二 イ五 三三六
梧窓漫筆 三編 太田元貞撰 天保一一 和・大 六 イ五 一九
同 六 イ五 一二〇四
骨董集 上編三巻 繪入 岩瀬醒編 洋・中 (百家說林) 一 イ四 四七六 四
骨董集 上編後帙 繪入 岩瀬醒編 (文化一二) 和・大 二 イ五 二三一
湖亭涉筆 安積覺撰 (享保一二) 和・大 四 イ五 一三五五

艮齋閒話 二巻・續二巻 安積重信撰 天保一二・嘉永四 和・大 四 イ五 一一一五
同 四 イ五 一三五八
艮齋閒話 二巻 安積重信撰 寫本 和・中 二 イ五 一三五七
坤齋日抄 西島長孫撰 (文政一二) 和・小 三 イ五 六八
同 三 イ五 七九三
紺珠 三巻 新井君美撰 寫本 和・中 三 イ五 四〇〇
紺珠 二巻 新井君美撰 寫本 和・大 一 イ五 六三三
雜交苦口記 三巻 洋・小 (未刊隨筆百種) 一 イ五 一一三九 一六
雜書 寫本 和・大 一 イ五 *八九二
眞香雜記 穗積眞香記 寫本 和・中 一 イ五 *五四三
蓑笠雨談 初編・繪入 瀧澤解撰 享和四 和・中 三 イ五 *一三六八
三淵漫錄 朝鮮・金昌翕撰 和・大 (三淵集) 一 ヘ一六 二四三 一八
三官記 四巻 朝鮮・趙克善撰 朝鮮寫本 和・大 二 イ五 八九五
三才因緣辨疑 村上俊清撰 (享保一二) 和・大 三 イ五 一一八二
三養雜記 山崎美成撰 明治二三 和・大 四 イ五 一一一〇
鹽尻 五篇 天野信景撰 寫本 和・大 六六 イ五 五〇八
志保之里抄 寫本 和・中 一 イ五 六四一
自覺談 村山漢撰 嘉永五 和・中 二 イ五 一〇九
しからみ 廣瀬政典撰 和・中 (桑名前修遺書) 一 イ四 八五六 七

式亭三馬自記 法齋無物老人抄 寫本 和・中 一 イ五 六六〇
肆業餘稿 二巻 帆足萬里撰 洋・中 (帆足萬里先生全集) 一 イ四 一一一五 一
事言籍 天野信景記 自筆本 和・小 一 イ五 *七〇〇
思齊漫錄 中村弘毅撰 天保三 和・中 二 イ五 五二三
紫芝園漫筆 太宰純撰 寫本 和・大 八 イ五 二一〇
師善錄 太田保撰 天保九 和・大 三 イ五 一〇四六
師竹菴隨筆 安永一〇年三月以降 瀧澤羅文撰 自筆本 和・小 一 ヘ五 *一八八四
日得錄 朝鮮・南公轍撰 和・大 (金陵集) 一 ヘ一六 二三三 一〇
四宮隨筆 寫本 和・中 一 イ五 *六九一
寂照堂谷響集 運敞撰 元祿二 和・大 一〇 イ五 五〇三
秋齋閒語 多田義俊撰 寫本 和・大 一 イ五 九八七
朱氏談綺 三巻・圖入 安積覺編 寶永五 和・中 四 イ五 九〇
旬五志 朝鮮寫本 和・大 一 イ五 八九六
春湊浪話 土肥經平撰 寫本 和・大 三 イ五 七二
駿臺雜話 五巻 室直清撰 寛延三 和・大 五 イ五 一三〇五
駿臺雜話 二巻 室直清撰 明治二九 再版 和・中 一 イ五 一一一四
駿臺雜話 五巻 室直清撰 洋・中 (日本倫理彙編) 一 ロ九 八五二 七
駿臺雜話選釋 高木尙介講 (早大文學科明治三七年度講義錄) 洋・中 一 イ五 五二〇
駿臺雜話拔萃 寫本 和・中 一 イ五 三八一

書名	册	類	號
春臺獨語 五巻 太宰純撰 寫本 和・中	一	イ五	三四七
渉園漫錄 寫本 和・中	一	イ五	六七一
松窩雜說 朝鮮寫本 和・大 (竹泉閑話ト合册)	一	イ五	八九四
橡軒隨筆 朝鮮・安鼎福撰 和・大 (順菴先生文集)	一	ヘ一六	二三七九 七
〔象山〕雜說 佐久間啓撰 洋・中 (象山全集)	一	イ四	七八七 一
松窻雜錄 石川疊翠撰 寫本 和・大 (曲亭叢書)	一	イ四	*六〇〇 一八八
蕉窓漫筆 義海撰 明和四 和・大	三	イ五	五〇九
松亭漫筆 中村經年編 和・大	二	イ五	四二八
織錦隨筆 村田春海撰 寫本 和・中	一	イ五	三三五
愼夏漫筆 西島長孫撰 弘化四 和・大	四	イ五	九三
榊巷談苑 榊原玄輔撰 和・中 (南畝叢書本)	一	イ五	四一
清人答問覺書 荻生觀記 寫本 和・大	一	イ五	四三五
津川紀聞 吉村寬泰編 寫本 和・大	二	イ五	八七七
ぢんてき問答 和・大 (活字本)	一	イ五	*一三七六
ぢんてき問答 繪入 和・小	一	イ五	一一六二
親燈餘影 鷲津宣光撰 明治一五 和・小	四	イ五	七九七
爐錄 市河三陽撰 大正一四 洋・小	一	イ五	一〇九七
水言鈔 巻四・五 內題江談抄 大江匡房談・藤原實兼錄 醍醐寺本複製—大正一四 和・中	一	イ五	*一二三〇
隨見隨抄 寫本 和・大	一四	イ五	四四八
睡餘小錄 河津吉迪撰 文政五 和・大	二	イ五	七〇六
還魂紙料 柳亭種彥編 文政九 和・大	二	イ五	一〇三
井哇漫錄 三巻・附要石雜記一巻・繪入 移山人編 寫本 和・小	四	イ五	*四八六
西園叢子 山縣禎抄 寫本 和・中	五	イ五	五七五
靜軒痴談 寺門良撰 明治八 和・中	二	イ五	七一
成山錄 村田了阿記 自筆本 和・小	三	イ五	*七五七
聲文私言 吉田令世撰 (文政一〇) 和・大	一	イ五	六四
墨水遺稿 碩鼠漫筆 一五巻 黒川春村編・同眞道校 明治三八 洋・中	一	イ五	四六二
同	一	イ五	一二七三
世事百談 山崎美成撰 天保一四 和・中	四	イ五	三四九
善庵隨筆 朝川鼎撰 嘉永三 和・大	二	イ五	七九八
鉏雨亭隨筆 東聚撰 嘉永五 和・大	三	イ五	九五
增補男重寶記 五巻・繪入 和・大	一	イ五	六六八
息心筆記 趙養撰 寫本(一册自筆) 和・中	三	イ五	*一三七〇
無底囊(ソコナシ) 巻四 山上有誠編 寫本 和・中	一	イ五	五五二
徂徠先生南留別志 五巻・附和歌世話 宇佐美惠校 寶曆一二 和・大	三	イ五	一一九八
代奕雜抄 石川安貞撰 寬政一三 和・中	二	イ五	一一〇三
大翁手記 附・勤王烈士詩 寫本 和・中	一	イ五	七七六
退閑雜記 一三巻・後編四巻 松平定信撰 明治二五 洋・中	一	イ五	二〇九

書名	册	類	號
退私錄 三巻 新井君美撰 洋・中 (新井白石全集)	一	イ四	一二七九 五
退私錄 三巻 新井君美撰 寫本 和・大	一	イ五	三二〇
退私錄附言 三巻 新井君美撰 洋・中 (新井白石全集)	一	イ四	一二七九 五
太宰春臺獨言拔抄 附・近世畸人傳序目 寫本 和・中	一	イ五	一一八五
玉かつま 一四巻・目一巻 本居宣長撰 (文化九) 和・大	一五	イ五	三四
多波連具佐 雨森俊良撰 寬政元 和・大	三	イ五	四五
同	三	イ五	一三〇七
多波禮具佐 雨森俊良撰 文政八 和・中	一	イ五	四二五
譚海 津村正恭撰 大正六 洋・中 (國書刊行會叢書)	一	イ四	八八二 五
談鋒資鋭 荒井堯民撰 (文政一二) 和・大	二	イ五	一三九
竹泉閑話 朝鮮寫本 和・大	一	イ五	八九四
竹抓子 小林溪舍編 寫本 和・大	二	イ五	五七
朝鮮博物志 一五巻 原名山林經濟 朝鮮・鄭若鏞撰・朝鮮研究會譯 大正三 再版 洋・中 (朝鮮研究會叢刊本)	一	イ五	一一五〇
聽聞雜話 禁中井公家衆諸法度其他 寫本 和・中	一	イ五	一一四〇
著作堂一夕話 三巻 繪入 瀧澤解撰 嘉永三 和・大	三	イ五	一一六三
槻の落葉信濃下向病床漫錄 上 荒木田久老撰 寫本 和・大	一	イ五	九六九
槻の落葉信濃漫錄 荒木田久老撰 文政四 和・大	二	イ五	六六二
提醒紀談 山崎美成編・佐竹永海畫 嘉永五 和・大	五	イ五	七三
天保佳話 丈我老圃撰 天保八 和・中	一	イ五	五一
侗菴筆記 古賀煜撰 嘉永五 和・中	二	イ五	一九三
同	二	イ五	一一九九
東海談 篠崎維章撰 寫本 和・中	一	イ五	一〇三
東海談 下編 篠崎維章撰 寬政元 和・中 (南畝叢書本)	一	イ五	四〇
東見記 二巻 人見壹編 貞享三 和・中	一	イ五	九六
東見記 二巻 人見壹編 寫本 和・中 (直道翁叢書)	一	イ四	*七七五 二八四
陶犬新書 繪入 中洲漁叟撰 (天保二) 和・中	三	イ五	四三一
東湖隨筆 藤田彪撰 洋・中 (東湖全集)	一	イ四	七二四
東齋隨筆 一條兼良撰 寫本 和・中	一	イ五	四四五
陶齋隨筆 趙養撰竝書・村上恒菴編 摹刻—文政九 和・大	一	イ五	五四二
陶齋隨筆 村上恒菴編 摹寫本 和・大	一	イ五	四八七
榻鴫曉筆 二三巻 鈴鹿連胤補訂 寫本 和・大	一〇	イ五	六二五
冬讀書餘 三巻・拾遺一巻 尾藤孝肇撰 和・大 (拙修齋叢書)	二	イ四	一〇六九 六四―六五
答問錄 本居宣長撰 天保六 補刻 和・大	一	イ五	五九四
答問錄 本居宣長撰 寫本 和・大	一	イ五	一三一八
兎園小說 一二集・繪入 瀧澤解等編 洋・中 (百家說林)	一	イ四	四七六 二
兎園小說 外集 瀧澤解等編 洋・中 (國書刊行會叢書・新燕石十種ノ內)	一	イ四	七六五 四
兎園小說 別集・餘錄・拾遺 瀧澤解編 洋・中 (國書刊行會叢書・新燕石十種ノ內)	一	イ四	七六五 四
獨語 五巻 一名春臺獨語 太宰純撰 寫本 和・中	一	イ五	六七九

	冊	類	號	
後は昔物語 平澤常富(朋誠堂喜三二)撰 寫一澁澤馬琴・和・大(曲亭叢書)	一	イ	五	六八
梅園拾葉 三卷 三浦晉撰 洋・中(日本倫理彙編)	四	イ	五	三
梅園叢書 三卷 三浦晉撰 洋・中(日本倫理彙編)	四	イ	五	一八一
梅窓筆記 橋本經亮撰 寫本 和・中 文化三 和・大	一	イ	四	五一三 四五
難廼爲可話 五卷 小寺廣路編 洋・小(未刊隨筆百種)	一	イ	五	一二九 一三
何物語 兒玉信榮撰 寫本 和・大 寛文七	三	イ	五	五三
雙樹落葉 名島政方撰 (天保一二) 和・大	三	イ	五	七六
南柯餘編 安積重信撰 寫本 和・中	一	イ	五	三七八
南嶺遺稿 多田義俊撰・細谷文彌校 寫本 和・大 (寶曆七)	四	イ	五	一八
南嶺子 多田義俊撰 (寬延二) 和・大	四	イ	五	七
にきはひ草 佐野紹益撰 寫本 和・大	二	イ	五	七三
二川隨筆 山川信意・細川季明撰 寫本 和・大	三	イ	五	五一〇
烹雜の記 前集二卷 瀧澤解編・辰齋等畫 (文化八) 和・中	二	イ	五	一三
ねさめのすさひ 三卷 石川雅望撰 自筆稿本 和・大	一	イ	五	*一二九五
ねざめのすさび 三卷 石川雅望撰 洋・中(百家說林)	一	イ	四	四七六 三
菟絲子(ネナシカヅラ) 純澤畫 和・小	一	イ	五	*一二七八
同	一	イ	五	一二七九
年々隨筆 辛酉至甲子 石原正明撰 和・中	五	イ	五	五六〇
農巖雜識 朝鮮・金昌協撰 和・大 (農巖集)	二	ヘ	一六 一六一一七	二四四二
飛呂非加幾 橘茂世撰 寫本 和・大	九	イ	五	四九
風俗醉茶夜談 前編一五卷 多羅福山人撰 寫本 和・大	三	イ	五	一三〇
楓林腐草 蜂屋椎園撰 洋・小(未刊隨筆百種)	一	イ	五	一二九 一四
藤田東湖先生雜記 自筆本 和・大	一	イ	五	*一二六九
不審紙 辻本嘉茂編 (享保九) 和・中	五	イ	五	六九三
同	五	イ	五	三九
筆のまゝ一名ねさめの記 寫本 和・大	二	イ	五	四〇五
筆の儘 新井祐登撰 天保一四 和・大	四	イ	五	六七
筆の儘 五一條 白鳥撰 寫本 和・大	一	イ	五	六一五
不亡鈔 室直清撰 寫本 和・大	四	イ	五	一〇四五
文會雜記 六卷 湯淺元禎撰・同明善校 洋・中(日本隨筆全集)	一	イ	五	一一三 一二
文會雜記 二卷・附錄一卷 湯淺元禎撰・同明善校 寫本 和・大	五	イ	五	四六三
文會雜記 卷一 湯淺元禎撰 和・小(續史籍集覽)	一	リ	四	三〇〇一 四六
文政年間漫錄 洋・小 (未刊隨筆百種)	一	イ	五	一二元 二
秉燭譚 五卷 伊藤長胤撰 寶曆一三 和・中	五	イ	五	七九二
秉燭譚 五卷 伊藤長胤撰 寶曆一三 和・大	二	イ	五	三〇
秉燭談抄 寫本 和・中	一	イ	五	四四〇
編蒲叢話並卷懷叢話目錄 寫本 和・中	一	イ	五	一二四
寶永記 圓中齋撰 寫本 和・中 (玉晃叢書)	一	イ	四	*六九六 三〇一

	冊	類	號	
北窓瑣談 三卷 橘南谿撰・關牛畫 文政八 和・大	三	イ	五	一一〇六
北窓瑣談 二編八卷 橘南谿撰・嘉言畫 校正 文政一二 和・大	八	イ	五	二三四
北窓瑣談 二編八卷 橘南谿撰・永井一孝校 洋・小(有朋堂文庫本・東西遊記ト合刊)	一	イ	五	四四一五 一四
本朝要樞 繪入 和田定胤撰 天明二 和・中	四	イ	五	一一三九
眞佐喜のかつら 一〇冊 青葱堂冬圃撰 洋・小(未刊隨筆百種)	一	イ	五	一一三九 一六
松戶隨筆 性均撰 寬延元 和・大	一	イ	五	五五七
松の落葉 四卷・首一卷 藤井高尙撰 和・大	五	イ	五	四〇一
松のおち葉 寫本 和・中	二	イ	五	六一七
松屋外集 缺本 小山田與清撰 刊・寫本 和・中	四	イ	五	五九九
松屋棟梁集 卷一・繪入 小山田與清撰 和・大	一	イ	五	五三
松屋筆記 六七卷 小山田與清撰 明治四一 洋・中(國書刊行會叢書本)	三	イ	五	六五七
同	三	イ	五	六五八
漫畫隨筆 二卷 鈴木煥卿撰 嘉永二 和・大	四	イ	五	六六
見聽雜記 一・四・五 和・中 寫本	一	イ	五	*六九〇
身志理事 繪入 寫本 偏貞胡撰 和・大	三	イ	五	五四八
耳囊 六卷 根岸鎭衛撰 洋・中(日本藝林叢書)	一	イ	四	一一三九 一〇
耳囊 四卷 根岸鎭衛撰 寫本 和・大	四	イ	五	四六九
耳囊 五卷(內卷一缺) 根岸鎭衛撰 寫本 和・大	四	イ	五	九一一
眠雲札記 附・文章書式 朝川鼎辰撰 嘉永六 和・大	二	イ	五	七九

		冊	類	號
茗會文談	太田元貞撰 寫本 和・大	一〇	イ五	四八九
茗話	五井純禎撰 明治四四 和・中 (懷德堂遺書)	一	イ四	八五三 一四
默史	附・疑問錄・語叢 求心齋記 寫本 和・中	一	イ五	一二四五
尤之双紙	慶安二 和・大	一	ヘ一三	*二三六一
養痾漫錄	二巻 片山成器撰 和・中 (桑名前修遺書)	一	イ四	八五六 九
擁書漫筆	小山田與淸撰 文化一四 和・大	四	イ五	一一五
羅山先生隨筆	林信勝撰 寫本 和・大	一	イ五	九一
柳荼隨筆	栗原信充撰 文政三 和・大	一	イ五	四一三
良山堂茶話	初・二編 阿部溫撰 文政一一 和・大	二	イ五	一四六
隣女唔言	慈延撰 享和二 和・大	二	イ五	五七二
櫟翁稗說	二集四巻・解說添 高麗・李齊賢撰 朝鮮小字舊刻複製―大正二 和・大 (成簣堂叢書本)	二	イ五	*八九七
櫟翁稗說	二集四巻 高麗・李齊賢撰 洋・中 (朝鮮群書大系・益齋集ノ內)	一	イ四	七二六 一九
老嫗茶話	一〇巻 寫本 和・大	九	イ五	五六
和學辨	五巻 篠崎維章撰 寫本 和・中	一	イ五	六五
和漢珍書考或問	鵜飼信興撰 寫本 和・大	二	イ五	三一四
○				
牛峯・春城 遺遙・三翁 熱海漫談	薄田貞敬編 昭和五 洋・小	一	イ五	一二三五
一覽 博識 歐米百家隨筆	森斌譯輯 明治二〇 洋・小	一	イ五	二二六
○				
蔚堂譚叢	庭園繪畫刀劍圍碁 秋元興朝撰 明治四〇 和・中	一	イ五	六一九
芸窓襍載	横井時冬撰 明治三七 洋・中	一	イ五	一三四七
圓了茶話	井上圓了撰 明治三五 洋・小	一	イ五	一一〇三
圓了隨筆	井上圓了撰 明治三四 洋・小	一	イ五	一一〇一
嚶々筆語	一・二編 野之口隆正等撰 天保一三 和・大	二	イ五	七八
應問錄	第一・二輯 國學院編 明治三六 初・三版 洋・小	二	イ五	四七九
歐米小感	床次竹二郎撰 明治四三 洋・小	一	イ五	七三六
文藝 漫錄 雅三俗四	石井研堂撰 明治三四 洋・小	一	イ五	一三四〇
我樂多籠	高橋義雄撰 大正三 洋・小	一	イ五	八一〇
蛙のはらわた	中村進午撰 大正二 洋・小	一	イ五	七八六
邯鄲市上昨非談	赤松光映撰 明治二三 和・大	一	イ五	三七七
閑話集	矢野文雄撰 明治三九 洋・小	一	イ五	五七六
己亥叢說	井上頼圀撰・同頼文・吉岡頼敎編・明治三二 和・中	二	イ五	五九
同		二	イ五	一一四一
龜桑夜談	赤松光映撰 (慶應三) 和・大	二	イ五	一三三九
丘言	川越篇・熊谷篇 大川貞作撰 昭和八 洋・小 (常盤叢書本)	一	イ五	一二八一
況翁閑話	附・況翁談片 石黑忠悳撰 明治三六 再版 洋・中	一	イ五	三七一
況翁叢話	石黑忠悳撰 明治三四 洋・小	一	イ五	一一一六
愚人の力	愚人の哲學外四類 野依秀一撰 大正四 洋・小	一	イ五	八三一

		冊	類	號
稽古隨筆	不言庵物外記 自筆本 和・大	一	イ五	六四〇
硯堂叢書	福羽美靜撰 明治二八 洋・中	一	イ五	一一三
好古叢誌	三篇三六巻 前田健次郎等編 明治二五至二八 和・中	三六	イ五	一四三
好書品題	德富猪一郎撰 昭和三 洋・小 (蘇峰叢書)	一	イ四	一二三八 四
吾園隨筆	細川潤次郎撰 明治一九 唐・中	三	イ五	九一三
吾園隨筆續編	細川潤次郎撰 明治三五 和・中	三	イ五	六〇二
吾人の記臆	竹內健撰 明治三八 洋・小	一	イ五	一二〇六
今昔較	岡三慶撰 明治九 和・中	二	イ五	一一三
異聞 奇話 瑣談片々	あきしく(菊池清)編 明治三四 洋・小	一	イ五	一三八〇
自識錄	西村茂樹撰 明治三三 洋・中	一	イ五	三七〇
自識錄	西村茂樹撰 明治三五 再版 洋・中	一	イ五	一三三七
自傷錄	湯原元一撰 大正五 洋・小	一	イ五	八五八
自然と人生と國家	柹花啓正撰 大正七 洋・小	一	イ五	九〇一
書齋感興	德富猪一郎撰 昭和三 洋・小 (蘇峰叢書)	一	イ四	一二三八 五
生活と書籍	德富猪一郎撰 昭和五 洋・小	一	イ五	一二六一
世相錄	山崎傳之助撰 昭和七 洋・小	一	イ五	一三七四
滄浪頓首錄	澤田純一撰 明治四二 洋・中	一	イ五	七三九
退耕錄	澤柳政太郎撰 明治四二 三版 洋・小	一	イ五	七一〇
譚林	寫本 和・中	二	イ五	一一三一
紳士 淑女 談話之種草	松尾久太郎撰 明治二一 洋・小	一	イ五	一〇一
痴遊隨筆	伊藤仁太郎撰 大正一四 洋・小	一	イ五	一〇九四
長語	幸田成行撰 明治三四 洋・中	一	イ五	三三三
出鱈目の記	矢野文雄撰 明治三八 洋・小	一	イ五	四七七
天則百話	加藤弘之撰 明治三四 五版 洋・中	一	イ五	一二一八
呑吐天地	第二・三 島村瀧太郎記 自筆本 和・大	二	イ五	*九四七
なゝしくさ	細川潤次郎撰 明治三〇 和・中	二	イ五	四〇九
成る程の記	林莊次郎撰 明治三七 和・中	一	イ五	五四七
成る程の記	林莊次郎撰 明治三七 再版 和・中	一	イ五	四〇二
白茅一家言	第一 佐田白茅撰 明治一六 和・小	一	イ五	一二五一
波上の日本	國家的意識外四類 佐藤鐵太郎撰 大正六 再版 洋・小	一	イ五	八八四
鼻くらべ雙紙	野之口隆正撰・春匡等畫 和・大	一	イ五	四八四
鼻競草子	野之口隆正撰 寫本 和・大	一	イ五	六四四
海舟 先生 氷川清話	續・續々共 吉本襄編 明治三一 再・四・八版 洋・小	三	イ五	一〇四四
海舟 先生 氷川清話	吉本襄編 明治四二 校訂版 洋・中	一	イ五	一一四九
福翁百話	福澤諭吉撰 明治三〇 三版 洋・小	一	イ五	一一一七
福翁百話	福澤諭吉撰 明治三一 一〇版 洋・小	一	イ五	一一三三
福翁百話	福澤諭吉撰 明治四四 五三版 洋・小	一	イ五	一二三八
匏菴十種	漫錄・獨寐寤言・喜多村香城五月雨草紙 栗本鯤撰・岡敬孝校編 明治二五 和・中	一	イ五	九一四

書名	著者・刊年・裝	冊	類	號
匏菴十種	栗本鯤撰・岡敬孝校編 明治二五 和・中	一	イ五	一一二一
耄錄 況翁閑話後篇	石黒忠悳撰 大正一三 四版 洋・小	一	イ五	一〇九一
北强文集 第一輯	桑島彌太郎撰・大木捨藏編 大正七 和・中	一	イ五	一三一六
また寐の夢	寫本 和・中	一	イ五	一三六一
常識教科書 間違ひ感違ひ	樋口麗陽撰 大正一一 洋・小	一	イ五	一一一三
南方隨筆 續共	南方熊楠撰・中山太郎編 大正一五 洋・小	二	イ五	一〇九九
無用の書 子之巻・丑之巻	中井喜太郎撰 大正一二 初・再版 洋・小	二	イ五	五八六
本居雜考 朝綱の張弛外一四篇	本居豐頴撰 明治三七 和・中	二	イ五	一一四二
本居雜考 朝綱の張弛外一四篇	本居豐頴撰 明治三八 再版 洋・中	一	イ五	一三九四
陽春廬(ヤスムロ)雜考 八巻	小中村清矩撰 明治三〇 和・中	八	イ五	七
陽春廬雜考 八巻	小中村清矩撰 明治三一 洋・中	一	イ五	一〇二八
讕言	幸田成行撰 明治三四 洋・中	一	イ五	三四四
龍溪閑話	矢野文雄撰 大正一三 洋・小	一	イ五	一〇九五
老梅居雜著	内藤鳴雪撰 明治四〇 洋・中	一	イ五	一一〇七
隈侯閑話	大隈重信述・池田林儀編 大正一一 洋・小	一	イ五	一〇〇〇

支那雜纂

書名	著者・刊年・裝	冊	類	號
鷃林子 五巻	明・趙釴撰・清・胡珽等校 唐・大 (淸版)	一	イ五	一三三五
猗覺寮雜記 二巻	宋・朱翌撰 唐・小 (筆記小說大觀)	一	イ四	一〇一四 二六一
雨窗消意錄 四巻	清・牛應之編 唐・小 (筆記小說大觀)	二	イ四	一〇一四 二〇九—二一〇
雲閒雜誌 三巻	唐・小 (奇晉齋叢書)	二	イ四	一〇〇七 七—八
閱古隨筆	明・穆文熙編 和・大	二	イ五	一一九六
簷曝雜記 七巻	清・趙翼撰 唐・中 (甌北全集)	二	イ九	五六四 三四—三五
簷曝雜記 巻一至四	清・趙翼撰 文政一二 和・大	三	イ五	一一七
鷗陂漁話 六巻	清・葉廷琯撰 唐・小 (筆記小說大觀)	二	イ四	一〇一四 九九—一〇〇
甕牖餘談 八巻	清・王韜撰 唐・小 (筆記小說大觀)	二	イ四	一〇一四 二二一—二二二
戒庵漫筆	明・李詡撰 唐・小 (藏說小萃)	一	イ九	五九六
外家紀聞	清・洪亮吉撰 唐・大 (洪北江先生遺集)	一	イ四	三六八 八四
快雪堂漫錄 巻一至四	明・馮夢禎撰 唐・小 (奇晉齋叢書)	一	イ四	一〇〇七 六
陔餘叢考 四三巻	清・趙翼撰 唐・中 (甌北全集)	一五	イ九	五六四 一八—三二
陔餘叢考 四三巻(有缺)	清・趙翼撰 唐・中 (甌北全集本)	七	イ五	一一二六
海錄	明・葉益蕃編 唐・大 (明版)	二	イ五	一一七〇
鶴山渠陽讀書雜鈔 二巻	宋・魏了翁撰・明・陳繼儒等校 唐・中 (明版)	一	イ五	一一五二
鶴山筆錄	宋・魏了翁撰 唐・小 (奇晉齋叢書)	一	イ四	一〇〇七 二
學範 二巻	明・趙謙撰 明曆二 和・大	一	イ五	一三三七
鶴林玉露 新刊 一八巻	宋・羅大經撰 寛文二 和・大	九	イ五	一三一三
同		九	イ五	一一六八
可言 一四巻	徐珂撰 唐・大 (天蘇閣叢刊二集)	六	イ四	一〇九九 一—一六
巖下放言 三巻	宋・葉夢得撰 唐・大 (觀古堂彙刻書)	一	イ四	四六〇 八

書名	著者・刊年・裝	冊	類	號
灌畦暇語	唐・小 (奇晉齋叢書)	一	イ四	一〇〇七 一
簡齋漫錄	寫本 和・中	一	イ五	四五〇
宦遊紀聞	明・張誼撰 唐・小 (藏說小萃)	一	イ九	五九六
蛾術編 八二巻	清・王鳴盛撰・迮鶴壽校 道光二一 唐・中	一六	イ五	一五〇〇
癸辛雜識 四集六巻	宋・周密撰 唐・大 (淸版)	四	イ五	七六三
歸田瑣記 八巻	清・梁章鉅撰 唐・小 (筆記小說大觀)	二	イ四	一〇一四 一九一—一九二
訄書	章炳麟撰 共和二七四五 洋・中	一	イ五	一一〇八
訄書	章炳麟撰 共和二七四六 再版 洋・中	一	イ五	一一一三
曉讀書齋雜錄 八巻	清・洪亮吉撰 唐・大 (洪北江先生遺集)	二	イ四	三六八 三四—三五
金壺七墨全集 一九巻	清・黃鈞宰撰 唐・小 (筆記小說大觀)	四	イ四	一〇一四 六七—七〇
金樓子 六巻	梁・孝元帝撰 唐・大 (子書百家)	二	ロ一三	九六三 六七—六八
月日紀古	清・蕭智漢編 道光二八 唐・大	一二	イ五	一〇四八
堅瓠集 一五集六六巻	清・褚人穫編 唐・小 (筆記小說大觀)	二〇	イ四	一〇一四 一二九—一四八
暖姝由筆	明・徐充撰 唐・小 (藏說小萃)	一	イ九	五九六
硯北雜志 二巻	元・陸友撰 唐・小 (筆記小說大觀)	一	イ四	一〇一四 二六七
攷古質疑 六巻	宋・葉大慶撰 享和二 和・大	二	イ五	一〇九〇
孔氏雜說 陳眉公訂正 四巻	宋・孔平仲撰 唐・中 (明版)	一	イ五	一三一〇
甲申雜記 一巻	宋・王鞏撰 唐・小 (筆記小說大觀)	一	イ四	一〇一四 二五二
香祖筆記 一二巻	清・王士禎撰 唐・中 (淸版)	四	イ五	一〇四
香祖筆記 一二巻	清・王士禎撰 唐・小 (筆記小說大觀)	二	イ四	一〇一四 一一一—一一二
廣陽雜記 五巻	清・劉獻廷撰 唐・小 (筆記小說大觀)	四	イ四	一〇一四 一七九—一八二
公餘日錄	明・湯沐撰 唐・小 (藏說小萃)	一	イ九	五九六
古今注 三巻	晉・崔豹撰 寛延二 和・大	一	イ五	四九一
古今注 三巻	晉・崔豹撰 唐・大 (子書百家)	一	ロ一三	九六三 八二
古今注 三巻	晉・崔豹撰・明・吳中珩校 唐・大 (祕書廿一種)	一	イ四	一一四七 一九
古今注 三巻	晉・崔豹撰 寫本 和・大	一	イ五	一一九二
五雜組	明・謝肇淛撰 寛文元 和・大	一六	イ五	一三三三
五雜組 一六巻	明・謝肇淛撰 寛政七 補刻 和・中	八	イ五	七三七
菰中隨筆	清・顧炎武撰 唐・大 (亭林遺書)	一	イ九	五八〇 一五
壺天錄 三巻	清・百一居士撰 唐・小 (筆記小說大觀)	二	イ四	一〇一四 七五—七六
吾廬筆談 八巻	清・李佐賢撰 光緒元 唐・大 (石泉書屋全集)	二	イ四	七四三 一五—一六
困學紀聞 二〇巻(有缺)	宋・王應麟撰 和・大 (元版)	五	イ五	*一〇七三
困學紀聞 二〇巻	宋・王應麟撰 同治九 重刊 唐・大	四	イ五	一三七二
困學紀聞注 二〇巻	清・翁元圻編 道光五 唐・大	一二	イ五	四九五
茶香室叢鈔 二三巻・續鈔二五巻・三鈔二九巻	清・兪樾撰 唐・小 (筆記小說大觀)	一六	イ四	一〇一四 三〇三—三一八
札迻 一二巻	清・孫詒讓撰 光緒二一 唐・大	四	イ五	一二八七
茶餘客話 一二巻	清・阮葵生撰 唐・小	四	イ五	五七一
茶餘客話 一二巻	清・阮葵生撰 唐・小 (筆記小說大觀)	二	イ四	一〇一四 一八三—一八四

書名	冊	類	號
三異筆談 四卷 唐・小 清・許仲元撰 (筆記小說大觀)	一	イ四	一〇一四 五二
山樵暇語 一〇卷 唐・小 明・兪弁撰 (涵芬樓祕笈)	二	イ四	一〇三六 一〇—一一
三水小牘 唐・中 宋・皇甫枚撰 (廣百川學海)	一	イ四	五一七 二五
志雅堂雜鈔 二卷 唐・小 宋・周密編 (筆記小說大觀)	一	イ四	一〇一四 二六二
識小錄 四卷 唐・小 清・徐樹丕撰 手稿本影印 (涵芬樓祕笈)	四	イ四	一〇三六 五一—八
此中人語 六卷 唐・小 清・程麟撰 (筆記小說大觀)	一	イ四	一〇一四 一一〇
日貫齋塗說 唐・小 清・梁同書撰 (清人說薈)	一	イ四	一〇〇八 三
紫桃軒雜綴 四卷 唐・小 明・李日華撰	三	イ五	九九二
紫桃軒又綴 二卷 唐・小 明・李日華撰	一	イ五	九九三
自得語 三二卷 唐・大 明・朱懷吳編 (明版)	六	イ五	一三六〇
十駕齋養新錄 二〇卷・餘錄三卷 光緒二 重刻 唐・中 清・錢大昕撰	八	イ五	八九〇
同	八	イ五	六〇八
集古偶錄 和・小 清・陳星瑞撰・井田讓校	一	イ五	三七六
十二硯齋隨錄 四卷 唐・小 清・汪鋆撰 (清人說薈)	一	イ四	一〇〇八 八
主津新集 和・小 清・鷺江先生撰 (清版)	四	イ五	一三三
春在堂隨筆 一〇卷 唐・小 附・小浮梅閒話一卷 清・兪樾撰 (筆記小說大觀)	三	イ四	一〇一四 一六〇—一六二
春在堂隨筆 卷一至八 唐・中 清・兪樾撰 (春在堂全書)	二	イ四	四八四 五二—五三
消夏閑記摘抄 三卷 唐・小 清・顧公燮原撰 (涵芬樓祕笈)	三	イ四	一〇三六 一四—一六
椒生隨筆 八卷 唐・大 清・王之春撰 (清版)	四	イ五	四五七

書名	冊	類	號
小窓清紀 寫本 和・中 明・吳從先評輯	二	イ五	四一一
淞濱瑣話 一二卷 唐・小 清・王韜撰 (筆記小說大觀)	四	イ四	一〇一四 七七—八〇
鋤經書舍零墨 四卷 唐・小 清・黃協塤撰 (清版)	一	イ五	一一三
鋤經書舍零墨 四卷 唐・小 清・黃協塤撰 (筆記小說大觀)	一	イ四	一〇一四 二四四
庶齋老學叢譚 四卷 唐・小 元・盛如梓撰 (筆記小說大觀)	一	イ四	一〇一四 二六八
徐氏筆精 八卷 寫本 和・大 明・徐𤊹撰・黃居中編	四	イ五	三一五
隨園隨筆 一二卷 同治五 唐・小 清・袁枚撰	八	イ五	二一五
隨園隨筆 二八卷 唐・小 清・袁枚撰 (隨園三十種)	六	イ九	五七四 四三—四八
水南翰記 唐・小 明・張袞撰 (藏說小萃)	一	イ九	五九六
吹網錄 六卷 唐・小 清・葉廷琯撰 (筆記小說大觀)	二	イ四	一〇一四 一五八—一五九
西溪叢語 二卷 唐・小 宋・姚寬撰 鵠鳴館本影印 (涵芬樓祕笈)	二	イ四	一〇三六 六二—六三
省心錄 寶顏堂訂正 唐・中 宋・林逋撰	一	イ五	一一五三
青藤山人路史 寫本 和・大 明・徐渭撰	一	イ五	四三〇
石林燕語 一〇卷 和・中 宋・葉夢得撰・葉棟編 (明版) (家康公賜本)	二	イ五	*八三五
石林燕語 唐・中 宋・葉夢得撰 (五朝小說)	一	イ四	五五七 三七
舌華錄 九卷 唐・小 明・曹臣撰 (筆記小說大觀)	二	イ四	一〇一四 九七—九八
說鈴 唐・小 清・汪琬撰 (清人說薈)	一	イ四	一〇〇八 一二
前塵夢影錄 二卷 唐・中 清・徐康撰 (靈鶼閣叢書)	一	イ九	五八二 二三
千百年眼 一二卷 唐・小 明・張燧編 (筆記小說大觀)	三	イ四	一〇一四 一〇七—一〇九

書名	冊	類	號
千百年眼 一二卷 寫本 和・大 明・張燧編	六	イ五	一〇五二
曾文正公雜著 四卷 唐・小 清・曾國藩撰 (曾文正公全集)	一	イ四	六三五 四二
草木子 寛文九 和・大 明・葉子奇撰	四	イ五	一〇三一
同	二	イ五	一一七七
棗林雜俎 六集 唐・小 明・談遷撰 (筆記小說大觀)	六	イ四	一〇一四 一〇一—一〇六
續博物志 一〇卷 唐・大 宋・李石撰 (子書百家)	一	ロ一三	九六三 九七
續博物志 一〇卷 唐・大 宋・李石撰 (祕書廿一種)	一	イ四	一一四七 一三
續墨客揮犀 一〇卷 唐・小 宋・彭乘撰 (涵芬樓祕笈)	二	イ四	一〇三六 二一—二三
退庵隨筆 二二卷 唐・小 清・梁章鉅編 (筆記小說大觀)	六	イ四	一〇一四 二八九—二九四
大雲山房雜記 二卷 唐・大 清・惲敬撰 (咫進齋叢書)	一	イ四	一一七三 一二
太平清話 慶應元 和・大 明・陳繼儒撰	二	イ五	三六三
多暇錄 二卷 唐・大 清・程庭鷺撰 (觀自得齋叢書)	一	イ九	五六五 一五
丹鉛總錄 二七卷 乾隆五九 重刻 唐・小 明・楊愼撰	一二	イ五	三六八
池北偶談 二六卷 唐・大 清・王世禎撰 (清版)	一〇	イ五	三六
中華古今注 三卷 唐・大 五代・馬縞編 (祕書廿一種)	一	イ四	一一四七 一八
蟲鳴漫錄 二卷 唐・小 清・采衡子編 (筆記小說大觀)	一	イ四	一〇一四 一四九
晁氏客語 寫本 和・大 宋・晁迥撰	一	イ五	四四二
張文襄幕府紀聞 二卷 唐・小 清・漢濱讀易者撰 (清人說薈)	一	イ四	一〇〇八 六
重論文齋筆錄 一二卷 唐・小 清・王端履編 (筆記小說大觀)	三	イ四	一〇一四 二九九—三〇一

書名	冊	類	號
訂譌雜錄 一〇卷 文久元 和・大 清・胡鳴玉撰	三	イ五	五四三
定香亭筆談 光緒一〇 唐・小 清・阮元撰	四	イ五	一〇八六
亭林雜錄 唐・大 清・顧炎武撰 (亭林遺書)	一	イ九	五八〇 一六
輟耕錄 三〇卷 和・大 明・陶宗儀撰	八	イ五	三
桃溪客語 五卷 唐・小 清・吳騫撰 (拜經樓叢書)	三	イ四	一〇三五 七—九
東洲几上語 唐・小 宋・施淸臣撰 (涵芬樓祕笈)	一	イ四	一〇三六 五五
東洲枕上語 唐・小 宋・施淸臣撰 (涵芬樓祕笈)	一	イ四	一〇三六 五五
東塾讀書記 唐・大 清・陳澧撰	二	イ五	三七四
鐙窗叢錄 五卷・補遺一卷 唐・小 清・吳翌鳳撰 (涵芬樓祕笈)	二	イ四	一〇三六 六七—六八
牘外餘言 唐・小 清・袁枚撰 (隨園三十種)	一	イ九	五七四 三二
讀書鏡 一〇卷 和・大 明・陳繼儒撰 (明版)	三	イ五	五四九
讀書雜志 一〇卷・餘編二卷 唐・大 清・王念孫撰 (清版)	二四	イ五	一一二五
讀書小記 二卷 唐・大 清・焦廷琥撰 (鄦齋叢書)	一	イ四	四五八 一六
獨斷 唐・大 漢・蔡邕撰 (子書百家)	一	ロ一三	九六三 七一
南園漫錄 民國元 唐・大 明・張志淳撰	四	イ五	八一六
南漘楛語 八卷 唐・小 清・蔣超伯編 (筆記小說大觀)	三	イ四	一〇一四 一二三—一二五
梅花草堂集 一四卷 唐・小 明・張大復撰 (筆記小說大觀)	四	イ四	一〇一四 一七五—一七八
博物志 一〇卷 唐・大 晉・張華撰・周日用等注 (子書百家)	一	ロ一三	九六三 九六
博物志 一〇卷 唐・大 晉・張華撰・周日用等注 (祕書廿一種)	一	イ四	一一四七 一一

博物志一〇巻 晉・張華撰・周日用等注 唐・小（黃氏叢書） 一冊 イ四類 一〇五七號 二六
博物志一〇巻・續（宋・李石）一〇巻共 晉・張華撰・周日用等注 和・大 四 イ五 二一〇
避暑錄話 宋・葉夢得撰 道光二五 唐・中 二 イ五 三六四
筆麈 明・莫是龍撰 唐・小（奇晉齋叢書） 一 イ四 一〇〇七 六
筆說竝試筆 宋・歐陽修撰 寫本 和・大 一 イ五 二九二
風俗通義一〇巻 漢・應劭撰・明・鍾惺評 萬治三 和・大 四 イ五 三六二
同 四 イ五 一三〇二
風俗通義一〇巻 唐・大 漢・應劭撰（子書百家） 二 ロ一三 九六三 八〇―八一
風俗通義四巻 唐・大 漢・應劭撰（祕書廿一種） 一 イ四 二一四七 一九
復齋日記二巻 唐・小 明・許浩撰（涵芬樓祕笈） 一 イ四 一〇二六 四
物類相感志 宋・蘇軾撰 元祿三 和・大 一 イ五 一三二一
不徹底原理 盧信撰 民國一八 洋・中 一 イ五 一二七七
辟寒部四巻 唐・中 明・陳繼儒撰（明版） 一 イ五 五五〇
傍秋亭雜記二巻 唐・小 明・顧淸撰（涵芬樓祕笈） 一 イ四 一〇二六 三二
蓬窗日錄 明・陳全之撰 萬曆一九 重梓 和・大 八 イ五 五五五
墨園隨筆 李墨卿撰 民國二一 洋・小 二 イ五 一三八三
北窗囈語 淸・不亢翁撰 唐・大（觀自得齋叢書） 一 イ九 五六五 一六
北牕炙輠錄二巻 唐・小 宋・施彦執撰（奇晉齋叢書） 一 イ四 一〇〇七 三
墨餘錄四巻 唐・小 淸・毛祥麟撰（筆記小說大觀） 三 イ四 一〇一四 五六―五八

夢餘筆談一巻 唐・大 淸・黎安理撰（黎氏一家稿） 一冊 イ九類 五八三號 一
明齋小識一二巻 唐・小 淸・諸聯編（筆記小說大觀） 四 イ四 一〇一四 二八三―二八六
野客叢書一二巻 宋・王楙撰 陳眉公重訂 承應二 和・大 六 イ五 二一九
游宦紀聞一〇巻 唐・小 宋・張世南撰（筆記小說大觀） 一 イ四 一〇一四 二四八
右台仙館筆記一六巻 唐・中 淸・兪樾撰（春在堂全書） 六 イ四 四八四 五九―六四
湧幢小品三二巻 唐・小 明・朱國禎編（筆記小說大觀） 一二 イ四 一〇一四 八五―九六
酉陽雜俎 唐段少卿 唐・大 二集三〇巻 唐・段成式撰・明・李雲鵠校（明版） 四 イ五 二三
楡巢雜識二巻 唐・小 淸・趙愼畛撰（筆記小說大觀） 二 イ四 一〇一四 二一九―二二〇
庸閒齋筆記一二巻 唐・小 淸・陳其元撰（筆記小說大觀） 四 イ四 一〇一四 六三―六六
容齋隨筆一六巻・續筆・三筆・四筆各一六巻・五筆一〇巻（內四筆・五筆明刊） 宋・洪邁撰 寫・刊本 和・中 一三 イ五 四一〇
履園叢話二四巻 唐・中 淸・錢泳編（淸版） 八 イ五 四六七
履園藂話二四巻 唐・小 淸・錢泳編（筆記小說大觀） 八 イ四 一〇一四 一九七―二〇四
兩般秋雨盦隨筆八巻 唐・小 淸・梁紹壬編（筆記小說大觀） 六 イ四 一〇一四 四六―五一
蠡海集 宋・王逵撰・明・商濬校 正保二 和・中 一 イ五 一三一七
冷廬雜識八巻 唐・小 淸・陸以湉撰（筆記小說大觀） 六 イ四 一〇一四 二二三―二二八
瑯環記 元・伊世珍撰 寫本 和・中 一 イ五 六〇三
浪蹟叢談一一巻・續談八巻 唐・小 淸・梁章鉅撰（筆記小說大觀） 五 イ四 一〇一四 一五三―一五七
淥水亭雜識四巻 唐・小 淸・納蘭性德撰（筆記小說大觀） 一 イ四 一〇一四 一八五
蘆浦筆記一〇巻 唐・小 宋・劉昌詩撰（筆記小說大觀） 一 イ四 一〇一四 二五二

六 一般會報

〔岡山縣青年會〕創立五十周年記念 同會編 昭和五 洋・中 一冊 イ六類 二七五一號
金曜會報告第二至一〇輯（有缺） 添田壽一外八氏講演筆記 同會編 明治四三至大正二 洋・大 一 イ六 七五六
財團法人啓明會事業報告書第二至一四回（大正九至昭和七年度） 同會刊 洋・中 一三 イ六 二七二七
國民精神文化研究所々報第一號 同所編 昭和八 洋・中 一 イ六 二七五〇
財團法人齋藤報恩會 同會刊 洋・中 一 イ六 二七三三
〔齋藤報恩會學術研究總務部〕事業年報第一至九（大正一二至昭和七年度） 同部刊 大正一四至昭和八 洋・大 九 イ六 二七二八
財團法人齋藤報恩會學術研究總務部要覽 同部刊（大正一四） 洋・小 一 イ六 二七二九
時局の研究第一・三至七 時局問題研究茶話會編 大正七・八 洋・中 一 イ六 八二
社團法人中日文化協會事業報告昭和三至五年度・附會員名簿 中日文化協會編 昭和六 洋・小 一 イ六 二七四二
財團法人日獨文化協會寄附行爲竝發會式報告 同協會刊（昭和二） 洋・中 一 イ六 二七三四
財團法人日佛會館報告第八・九回 同館刊 洋・中 二 イ六 二七四七
日佛協會報告第一九回 同佛文附 同協會刊（昭和二） 洋・中 一 イ六 二七三五
〔日佛文化協會〕定款附・會員名簿 關西日佛學館編 昭和六 洋・中 一 イ六 二七四五
日露協會報告第五至六五號（有缺） 日露協會編譯 大正六至昭和六 洋・中 二六 イ六 二五五七
千九百十七年前半期に於ける露國企業の狀况其他 一
新露西亞及其の合衆國との關係其他 二
克索考（島野三郎）其他 三 露國に於ける產業組合運動 四
露西亞の農業問題 五 勞農露國豫算に就いて 六
露紙抄譯 七
ソヴェート・ロシヤに於ける經濟政策の變遷（スミルガ原撰） 八
ソヴェート・ロシヤの勞働賃銀制度（ラフシーツ原撰） 八
ヨーロッパとアメリカ（トロツキー原撰） 九
ソヴェート・ロシヤに於ける產業組合（セヴルーク原撰） 一〇
ソヴェート・ロシヤの鑛業（チモフェーエフ原撰） 一一
經濟上より見たる北樺太（ヂーヲフ原撰）其他 一二
ソヴェート聯邦の利權政策其他 一三
ニージニイ・ノーヴゴロド年市五個年の成績其他 一四
露領極東地方の米作其他 一五
浦鹽オデッサ間定期航路の復活其他 一六
ソヴェート聯邦民の租稅負擔に關する研究（上）其他 一七
北樺太東海岸の森林（イワシケーヴィチ原撰） 一八
第十五回共產黨大會に就て其他 一九 ソヴェート聯邦の國內狀態其他 二〇
ソヴェート聯邦の民族共和國及自治州其他 二一―二三
ソヴェート聯邦の單一農業稅・所得稅及社會保險其他 二三
露領極東地方の金鑛業 二三
モスクワに開催された日本兒童書籍展覽會について其他 二三
ソヴェート聯邦利權政策の積極化其他 二三
蘇聯邦民間飛行と其の計畫其他 二三
蘇聯邦とアメリカとの經濟關係其他 二四
ソ聯邦一九二六年の國勢調査に就いて其他 二四
英國實業團の訪露其他 二四 ロシヤ共和國の內情其他 二四
ソ聯邦の都市公益事業利權計畫其他 二四
ソヴェート聯邦の國內問題其他 二四 露紙抄譯 二五―二六
日本讀書協會 同會事務所刊（大正一五） 洋・小 一 イ六 二七三六
〔服部報公會〕事業報告昭和八年度 同會刊 洋・中 一 イ六 二七五四
滿洲國協和會之概要 大同二年六月 同會刊 洋・小 一 イ六 二七四九

七 一般雜誌

海外に於ける寫眞報道に關する調査 大正一三年度(大正一三) 外務省情報部刊 洋・大 | 一冊 | イ 八類 二四號

「外國の新聞と雜誌」解說書目 第一至一四三號 日本圖書協會編 大正一五・昭和二 洋・小 | 二 | イ 八

新舊雜誌展覽目錄 大正記念長岡市立圖文庫刊 昭和八 洋・小 | 一 | イ 七

新聞雜誌の作り方と讀み方 佳谷成一撰 大正一三 洋・小 | 一 | イ 八

新聞雜誌貼込帖 明治初年ノ分 | 一帖 | イ 八

東天紅 明治新聞雜誌文庫所藏目錄 瀨木博尙編 昭和五 洋・大 | 一 | イ 二 一八六四

○

出版月評 號一至四〇(有缺) 月評社刊 明治二〇年八月至二四年八月 | 三 | サイ

書誌年一册二至年二册一(有缺) 書物同好會刊 大正一四年一二月至一五年一一月 洋・中 | 一 | サイ

書誌學 卷一號一(昭和八年一月)ヨリ 日本書誌學會刊 洋・中 | 一 | サイ

書物往來 卷一號一至卷三號五 從吾所好社刊 大正一三年五月至一五年六月 洋・中 | 一 | サイ

書物春秋 號一至二四 書物春秋會刊 昭和五年一〇月至九年三月 洋・中 | 五 | サイ

書物展望 卷一號一(昭和六年七月)ヨリ 書物展望社刊 洋・中 | 一 | サイ

新刊圖書雜誌月報 卷一三號一至一二(號四缺) 東京堂刊 大正一五年一至一二月 洋・中 | 一 | サイ

東京堂月報 卷一四號一(昭和二年一月)ヨリ(有缺) 東京堂刊 洋・大 | 一 | サイ

圖書月報 卷一號五至卷一九號三(有缺) 東京書籍商組合事務所刊 明治三六年一月至大正一二年一月 洋・中 | 一九 | サイ

圖書世界 卷四號三至卷六號一(有缺) 圖書世界社刊 明治三六年三月至三八年一月 洋・中 | 二 | サイ

古本屋 號一至一〇 荒木書店刊 昭和二年四月至六年一月 洋・中 | 一冊 | イ 八類 二四號

○

亞細亞 卷二號一至卷三號三(有缺) 政敎社刊 明治二六年二月至二七年一〇月 洋・中 | 二 | サイ 八四

亞細亞時論 卷一號一至卷五號一〇(有缺) 黑龍會刊 大正六年七月至一〇年一〇月 洋・中 | 九 | サイ 九八

燕京學報 號五(民國一六年六月)ヨリ 燕京學報編輯委員會編 洋・大 | 五 | サイ 五四

嚶鳴雜誌 號一至三五 求友社刊 明治一三年四月至一四年一二月 和・小 | 二 | イ 七 *四五

改造 卷三號一(大正一〇年一月)ヨリ 改造社刊 洋・中 | 三 | サイ

我觀 卷一(大正一二年一〇月)ヨリ(有缺) 我觀社刊 洋・大・中 | 三 | サイ 三九

學藝雜誌 號一二至一四 學藝社刊 明治一八年八月至一一月 和・小 | 一 | イ 七 *二

學藝志林 卷一至一七(册一至一〇〇)(有缺) 東京大學編 明治一〇年八月至一八年一一月 洋・小 | 一五 | サイ 七〇

學燈 年七號一(明治三六年一月)ヨリ 丸善刊 洋・中 | 二 | サイ

雅俗新聞 號二一至三〇 可以觀刊 明治九年一・二月 和・小 | 一 | イ 七 *五七

極東時報 號八至九一(有缺) 極東時報社刊 大正六年一月至八年四月 洋・大 | 六 | サイ 一〇〇(一〇六)

佛蘭西時報 號九二至一〇三 佛蘭西時報社刊 大正六年六月至九年五月 洋・大(極東時報改題) | 二 | サイ 一〇〇(七八)

近事評論 號三二至四一 共同社刊 明治一〇年一・二月 和・小 | 一 | イ 七 *五五

京城帝國大學法文學部紀要 卷一(昭和四年三月)ヨリ 同大學編 洋・大 | 一九 | サイ

鄕歌及び吏讀の研究(小倉進平) | 一

藝文 年一號一至年一五號一二 京都帝大文學會刊 明治四三年四月至大正一三年一二月 洋・中 | 二六 | サイ 一八

原理日本 卷一號一(大正一四年一一月)ヨリ 原理日本社刊 洋・中 | 二 | サイ 五六

庚寅新誌 號六五至九八(有缺) 庚寅新誌社刊 明治二五年一二月至二七年三月 洋・中 | 四 | サイ

講演 號五四(昭和三年一〇月)ヨリ(有缺) 東京講演會刊 洋・中 | 三 | サイ

好學雜誌 號一三至五九(有缺) 好學會刊 明治三四年二月至四一年五月 洋・大 | 一 | サイ

江湖 號一至五 江湖社刊 明治四一年三月至八月 洋・中 | 一 | サイ

江湖新報 號二至七〇(有缺) 四通社刊 明治一三年一月至一四年六月 和・小 | 一 | イ 七 *五八

交詢雜誌 號二五至二一八(有缺) 交詢社刊 明治一三年一〇月至一九年三月 洋・中 | 六 | サイ

好事雜報 號三至八・一〇至二一・二三至二五 好事社刊 明治一一年七月至一二年六月 和・小 | 一 | イ 七 *二五

皇典講究所講演 第一至一七〇 明治二二年二月至二九年三月 洋・小 | 一七 | サイ

國學院大學紀要 第一卷(昭和七年一一月)ヨリ 同大學編 洋・大 | | サイ

惟神の出典と其の新解釋(山本信哉)

統治關係の基本思想と「まつり」及び「まつりごと」の意義(植木直一郎)

明治初年の敎化運動(河野省三)

宮庭儀禮の民俗學的考察(折口信夫)

維新當初の御用金穀の調達と會計基金(澤田章)

明治中期までの國語敎育と國語學(松尾捨治郎)

萬葉集卷第五の傳來(武田祐吉)

國學季刊 卷一號一(民國二年一月)ヨリ 編輯委員會編 洋・大 | | サイ

國光 卷五號一至卷一一號三(有缺) 國光社刊 明治二五年一〇月至二八年一二月 洋・大 | 五 | サイ

國民之友 號一至三七二(有缺) 民友社刊 明治二〇年二月至三一年八月 洋・中 | 二九 | サイ

國民之友 號一七一至三七一(有缺) 民友社刊 明治二五年一一月至三一年七月 洋・中 | 二二 | サイ

英文 國民之友 卷一册一至卷二册八(有缺) 民友社刊 明治二九年一月至三〇年八月 洋・中 | 二 | サイ

國民評論 號一至二五 國民評論社刊 明治四二年一一月至四四年一二月 洋・大 | 四 | サイ

國論 年八號一七至卷一三號一〇(有缺) 國論社刊 大正一一年一〇月至昭和二年一〇月 洋・中 | 九 | サイ 一一〇

春秋 號一至二一(有缺) 春秋社刊 明治三四年二至一二月 洋・大 | 一 | サイ 七七

女性 卷三號三至卷一三號五(有缺) プラトン社刊 大正一二年三月至昭和三年五月 洋・中 | 二二 | サイ 三八

清議報 册一至一〇〇 清議報館刊 光緒二四年一一月至二七年一一月 洋・中 | 一〇 | サイ 七八

新公論 年一九號一至卷三六號八(有缺) 新公論社刊 明治三七年一月至大正一〇年八月 洋・大・中 | 三九 | サイ 八五

新時代 卷一號一至卷四號一 新時代社刊 明治三九年七月至四一年一月 洋・大 | 三 | サイ 一二四

人性 卷一號一至卷三號二(卷六・七缺) 裳華房刊 明治三八年四月 洋・大 | 八 | サイ 一〇五

新天地 卷一號二至卷二號五(有缺) 新天地社刊 一九一〇年八月至一九一一年五月 洋・大 | 一 | サイ 八三

新日本 卷一號一至卷八號一二 富山房刊 明治四四年四月至大正七年一二月 洋・大 | 一五 | サイ 一〇八

新日本 卷二號一至卷八號四 富山房刊 明治四五年一月至大正七年四月 洋・大 | 二二 | サイ 八六

新民叢報 年一號一至年三號九(號一至六七)(有缺) 新民叢報社刊 明治三五年二月至三八年四月 洋・中 | 一〇 | サイ 八〇

生活 卷二號三卷六號八(有缺) 博文館刊 大正三年三月至七年八月 洋・大 | 一五 | サイ 九五

精神 號一九至七〇(有缺) 精神社刊 明治二六年一月至二八年一〇月 洋・中 | 三 | サイ 八一

青年 卷八號二至卷九號六(有缺) 精美堂刊 明治四三年一〇月至四四年六月 洋・中 | 二 | サイ 一三

青年 創刊號至卷六號一〇 大日本青年協會刊 大正二年一二月至七年一一月 洋・中 | 一一 | サイ 九三

青年雄辯 卷三號六至卷五號五(有缺) 青年雄辯社刊 大正七年六月至九年六月 洋・中 | 三 | サイ 一〇四

西洋雜誌 卷一至五(慶應三年一〇月) 柳河春三編 和・小 | 五 | イ 七 *八二

世界之日本 卷一號四至卷五號五五(有缺) 開拓社刊 明治二九年九月至三三年二月 洋・大・中 | 八 | サイ 一五

	册	類	號
大觀 卷一號一至卷五號四 大正七年五月至一一年四月 實業之日本社刊 洋・中	四	サイ	一〇一
太湖 號八四(昭和八年一月)ヨリ 太湖社刊 洋・大		サイ	六〇
大正公論 卷二號一〇至卷四號四 大正元年一〇月至三年四月 大正公論社刊 洋・大	二	サイ	九六
大帝國 卷一號七至卷三號八(有缺) 明治三二年九月至三三年一〇月 博文堂刊 洋・中	三	サイ	八二
大東 年四號二至年五號四 明治四四年二月至四五年四月 亞細亞議會刊 洋・大	三	サイ	九〇
大日本 卷三號八至卷一一號五(有缺) 明治三三年六月至四〇年五月 大日本社刊 洋・大	四	サイ	二一
大日本 卷一號一至卷七號九(有缺) 大正三年一〇月至九年九月 大日本社刊 洋・大	一四	サイ	九四
週刊太平洋 卷二號一至卷三號五〇 明治三四年一月至三五年一二月 太平洋社刊 洋・大	二	サイ	二四
太陽 卷一號一至卷三四號二(有缺) 明治二八年一月至昭和三年二月 博文館刊 洋・大・中	一五九	サイ	二一
大陸 號一至五一 大正二年六月至六年一〇月 大陸社刊 洋・大	一〇	サイ	九一
玉藻冊子 册一至一〇 明治二三年一一月至二四年九月 香川縣學友會刊 洋・中	一	サイ	一三三
地球 卷一號一至卷二號六(有缺) 明治四五年四月至大正二年六月 博文館刊 洋・大	四	サイ	九二
中央公論 卷二五號二(明治四三年二月)ヨリ(有缺) 中央公論社刊 洋・中		サイ	一一
中外 卷一號一至卷三號四(有缺) 大正六年一〇月至八年四月 中外社刊 洋・大	六	サイ	一〇三
朝鮮之光 號七三至九三 昭和二年一一月至五年一一月 朝鮮之光社刊	四	サイ	一一三
著作評論 號一至六 大正九年四月至九月 日本著作家組合刊 洋・中	一	サイ	三七
帝國民 卷一號一至卷三號六(有缺) 大正七年一月至九年六月 大道社刊 洋・中	五	サイ	一〇二
天地人 號三至五五(有缺) 明治三一年三月至三四年五月 三才社刊 洋・中	四	サイ	一一一
東亞 號一九至二六 明治四〇年三月至一〇月 東亞青年會刊 洋・中	一	サイ	八八
東京學士會院雜誌 編四號一至編二三號三(有缺) 明治一五年一月至三四年三月 東京學士會院刊 洋・小	一九	サイ	四
東京獨立雜誌 號二五至七二 明治三二年三月至三三年七月 東京獨立雜誌社刊 洋・大	二	サイ	七五
東京文理科大學文科紀要 第一卷(昭和六年九月)ヨリ 同大學編 洋・大		サイ	四三
施印とポスター(乙竹岩造) 一 徂徠學(加藤仁平) 一			
書字動作の實驗的研究(武政太郎) 一 唐音十八考(中山久四郎) 一			
名及び名實論(諸橋轍次) 一 表出と言語及び其の研究 一			
國家語の問題について(保科孝一) 二 賀茂傳説考(肥後和男) 二			
トマス・グレイの書誌的研究(福原麟太郎) 二			
同人 第七至四九(有缺) 大正六年一月至九年七月 同人發行所刊 洋・中	四	サイ	九九
東方學報 東京 册一(昭和六年三月)ヨリ 洋・大		サイ	四五
東方公論 卷一號一至卷二號一一 大正一五年一月至昭和二年一一月 東方公論社刊 洋・中	五	サイ	一一四
東方時論 卷一號一至卷八號六(有缺) 大正五年九月至一二年六月 東方時論社刊 洋・中	一七	サイ	九七
東方之國 年一號一至年六號一二(有缺) 昭和二年一〇月至七年九月 東方之國社刊 洋・中	六	サイ	五九
東洋學會雜誌 編二號四至編四號一〇(有缺) 明治二一年二月至二三年一一月 東洋學會刊 洋・中	三	サイ	五
東洋學藝雜誌 號一至五六七(有缺) 明治三四年七月至昭和五年一二月 東洋學藝社刊 洋・中	四〇	サイ	一
東洋學報 卷一號一(明治四四年一月)ヨリ 東洋協會學術調査部刊 洋・大		サイ	七
東洋時論 卷一號一至卷三號四 明治四三年五月至四五年四月 東洋經濟新報社刊 洋・中	五	サイ	八九
讀書會雜誌 卷七號七至卷一三號一二 大正九年七月至昭和元年一二月 滿鐵讀書會刊 洋・中	一三	サイ	三六
獨立評論 卷一號一至卷二號二(有缺) 明治三六年一月至三七年二月 獨立評論社刊 洋・中	三	サイ	一一二
二十世紀 號一至六・新號一至七 明治三三年二月至三四年一一月 二十世紀社刊 洋・大	一	サイ	七六

	册	類	號
日佛文化 新輯一(昭和六年八月)ヨリ 日佛會館刊 洋・中		サイ	二五
日華公論 卷六號一至卷一〇號一一(有缺) 大正八年八月至一一年一一月 日華公論社刊 洋・中	七	サイ	一〇六
日本一 卷六號四至卷七號一二(有缺) 大正九年四月至一〇年一二月 南北社刊 洋・中	六	サイ	一〇七
日本國民 卷一號一至七 昭和七年五月至一一月 日本國民社刊 洋・中	二	サイ	六三
日本人 號一至四四九(有缺) 明治二六年一〇月至三九年一二月 政教社刊 洋・大	二三	サイ	三一 一―二三
日本及日本人 號四五〇(明治四〇年一月)ヨリ(有缺) 政教社刊 洋・大 (日本人改題)		サイ	三一 二四
日本新論 卷九號一至一一 昭和七年一至一一月 日本新論協會刊 洋・中	二	サイ	六二
日本評論 號一至六一(有缺) 明治二三年三月至二七年四月 日本評論社刊 洋・大	二	サイ	一一七
博聞雜誌 號八八 明治二四年六月 博聞雜誌社刊 洋・中	一	イ七	*八三
發行禁止諸雜誌 大正二年乃至昭和八年刊・二九種 洋・大・中	二九	イ七	*八一
人 號二八一(昭和七年一月)ヨリ(有缺) 刑務協會刊 洋・大	一	サイ	六一
評論 號一至一〇 明治二六年四至八月 女學雜誌社刊 洋・中	一	サイ	一一五
評論新聞 號二至一〇六(有缺) 明治八年四月至九年七月 集思社刊 和・小	一	イ七	*五三
武相 號九至二二 明治二五年一一月至二六年一二月 武相社刊 洋・中	一	サイ	一三〇
文明協會ニュース 昭和三年輯一(昭和三年一月)ヨリ(有缺) 文明協會刊 洋・小		サイ	四〇
文明協會ニュース 昭和四年輯一(昭和四年一月)ヨリ(有缺) 文明協會刊 洋・小		サイ	四一
文明新誌 號二至五 明治九年一一・一二月 集思社刊 和・小	一	イ七	*五四
文明大觀 大正一三年第一至一四年第一〇(有缺) 大正一三年五月至一四年一〇月 大日本文明協會刊 洋・中	三	サイ	一〇九
北京週報 號二四五至二六六 昭和二年二至七月 極東新信社刊 洋・大	一	サイ	六六
繪入人情豐年温故誌 號三三至三七 明治一六年一・二月 温故社刊 和・中	一	イ七	八四
名家叢談 號一至四〇 明治二八年一〇月至三一年三月 談叢社刊 初・再版 和・小	八	イ七	八六
明義 卷一號一至卷九號七(有缺) 明治三三年四月至四一年七月 明義雜誌社刊 洋・中	一二	サイ	七九
明治會叢誌 號一至一一・七一至八四 明治二一年一二月至二九年一月 明治會刊 洋・中	一	サイ	一一六
明治協會雜誌 號三五至一二三(有缺) 明治一六年一月至一九年七月 明治協會雜誌局刊 洋・大	四	サイ	七三
明治評論 卷五號一至卷六號一一(有缺) 明治二六年三月至三〇年一〇月 精神社刊 洋・大(精神改題)	二	サイ	一一八
中外時論 號一至四 明治三一年一月至四月 精神社刊 洋・大 (明治評論改題)	一	サイ	一一八 三
〔明治文化全集〕雜誌篇 吉野作造編 昭和三 洋・中	一	イ四	一一三 一八
西洋雜誌(慶應三)(柳河春三編) 新塾月誌(明治二)(山東一郎編)			
明六雜誌(同七)(明六社編) 民間雜誌(同)(小幡篤次郎等編)			
講學餘談(同一〇) 報四叢談(同七)(大内青巒編)			
萬國叢話(同八) 評論新聞(同)(海老原穆等編)			
七一雜報(同)(村上俊吉編) 家庭叢談(同九)(箕浦勝人編)			
文部省雜誌(同六) 近事評論(同九)(林正明等編)			
日々新聞(同元) 公私雜報(同)			
そよふく風(同) 新聞日誌(同)			
諷歌新聞(同)			
博問新報(同二)(山本常五郎・川口常藏編)			
六合新聞(同)(清水卯三郎編)			
附錄・明治雜誌年表(宮武外骨編)			
明六社雜誌 號一至四三(有缺) 明治七年二月至八年一一月 明六同社刊 和・小	三	イ七	*六三
明六社雜誌 號一至一〇 明六同社刊 和・小	一	イ七	*七
洋々社談 號六七・六九至七五・七七至八〇 明治一三年六月至一四年一〇月 洋々社刊 和・小	一	イ七	*四三
龍門雜誌 號四三七(大正一四年二月)ヨリ 龍門社刊 洋・中		サイ	六五

冊 類 號

鄰人之友 號七四(昭和八年一月)ヨリ 鄰人之友社刊 洋・中 サイ 六四

和光雜誌 號六至一五 明治一一年一一月至一二年四月 和光社刊 和・小 一 イ七 *五〇

早稻田講演 號一至二・新卷一號一至卷六號六 明治四三年五月至大正五年三月 早大出版部刊 洋・中 一五 サイ 六七

我等 卷一號一至卷一二號二(號一至一二八) 大正八年二月至昭和五年三月 我等社刊 洋・中 二一 サイ 一―二一 九

批判 卷一號一至卷五號二(號一二九至一七〇)(我等改題) 昭和五年五月至九年二月 我等社刊 洋・中 七 サイ 二二―二七 九

八 新聞

英國新聞紙開明鑑記 安川繁成編 明治八 和・大 二 イ八 一三四

英字新聞の研究 花園兼定撰 大正八 五版 洋・小 一 イ八 一〇七

大阪毎日新聞社史 小野秀雄撰 大正一四 洋・小 一 イ八 八九

大阪毎日新聞社大觀 附錄新聞記事の讀み方 鳥屋政一撰 大正一三 洋・中 一 イ八 八七

三十七八年役大阪毎日新聞戰時事業誌 附・日露戰役日表 大阪毎日新聞社刊 明治四一 洋・小 一 イ八 一八

海外に於ける寫眞報道に關する調査 大正一三年度(大正一三) 外務省情報部刊 洋・大 一 イ八 八八

「外國の新聞と雜誌」解說書目 第一至一四三號 大正一五・昭和二 日本讀書協會編 洋・小 二 イ八 九七

五十年の回顧 大朝創刊五十周年記念 昭和四 大阪朝日新聞社編 洋・小 一 イ八 九九

現代ヂャーナリズムの理論と動向 内外社刊 昭和六 洋・中 一 イ八 一一三
　ブルジョア・ヂャーナリズム論(長谷川如是閑)　ヂャーナリズム感覺論(小澤正元)
　ヂャーナリズム心理學(杉山榮)　近代思想とヂャーナリズム(千葉龜雄)
　ヂャーナリズム道德論(井上吉次郎)　經濟とヂャーナリズム(下田將美)
　政治とヂャーナリズム(馬場恒吾)
　文學とヂャーナリズム(平林初之輔)　科學とヂャーナリズム(西村眞琴)
　輿論とヂャーナリズム(杉山榮)　女性とヂャーナリズム(長谷川時雨)
　廣告とヂャーナリズム(瀨木博尙)
　ヂャーナリズムとセンセエショナリズム(室伏高信)
　ヂャーナリズムと檢閱制度(石川六郎)
　ヂャーナリストの生活及勞働條件(西島芳二)

最近新聞紙學 杉村廣太郎撰 大正五 洋・小 一 イ八 七一

支那に於ける新聞發達小史 伊藤武雄撰 昭和二 洋・中 (經濟資料) 一 ヨ一 二九五三 二五

社會より見たる新聞の使命 實業同志會調査部編 昭和三 洋・中 (實同調査資料本) 一 イ八 一〇三

ジャーナリズムの理論と現象 喜多壯一郎撰 昭和七 洋・小 一 イ八 一一八

新聞界人物評傳 宮居康太郎撰 昭和四 洋・中 一 イ八 一〇〇

新聞學 歐米新聞事業 松本君平撰 明治三二 洋・中 一 イ八 八五

新聞學概論 棟尾松治撰 昭和五 洋・中 一 イ八 一〇四

新聞學全書 大日本新聞學會刊 大正八 洋・中 三 イ八 一七六

新聞記者と新聞 德富猪一郎撰 昭和四 洋・小 (蘇峰叢書) 一 イ四 一三八 八

新聞研究室研究報告 第一回 昭和六 東大文學部新聞研究室編 洋・中 一 イ八 一一三

新聞雜誌の作り方と讀み方 佳谷成一撰 大正一三 洋・小 一 イ八 八六

新聞雜誌貼込帖 明治初年之分 一帖 イ八* 一

新聞紙研究 後藤武男撰 昭和二 洋・中 一 イ八 九六

新聞紙講話 後藤武男撰 大正一五 洋・小 一 イ八 九一

新聞紙實歷 福地源一郎撰 洋・小 (懷往事談ノ附錄) 一 リ五 四七六〇

新聞紙上の露西亞 一九二九年六・七月號時事槪觀之部 滿鐵哈爾濱事務所編 洋・中 二 イ八 一〇六

新聞紙ニ關スル制度ノ比較研究 稻田周之助撰 洋・中 一 イ八 二九

同 一 イ八 三〇

新聞紙になるまで 附錄大毎社長本山彥一君の新聞經營雜談 魚川關太郎撰 大正六 洋・中 一 イ八 七三

新聞紙の内外 附・日本の新聞紙の變遷外二篇(英文) 杉村廣太郎撰 昭和二 洋・小 一 イ八 九四

新聞紙販賣の科學的研究 附錄豫約及び配達書式外五項 米・スコット撰・伊勢兵次郎譯 大正六 洋・小 一 イ八 七八

新聞重要記事日錄 昭和五年一・三月號 滿鐵哈爾濱事務所編 洋・小 二 イ八 一〇五

新聞全集 第一至四卷 新聞之新聞社刊 昭和六 洋・小 四 イ八 一〇八
　英國新聞論(寺田四郎) 一
　フランス革命前後のフランス新聞の動搖(喜多壯一郎) 二
　生きた新聞廣告論(飯守勘一) 三
　新聞經營論(刀禰館正雄) 四

新聞總覽 明治四三・四四・大正二・五・一四・一五・昭和二年版 日本電報通信社編 明治四三至昭和二 洋・中 七 イ八 二六

新聞そのをりをり 太田正孝撰 大正一五 洋・小 一 イ八 九二

新聞展望臺 喜多壯一郎撰 昭和四 洋・小 一 イ八 一〇一

同 一 イ八 一〇九

新聞になるまで 新聞製作展覽會の記錄・附錄創刊から今日まで 東京朝日新聞社編 大正一一 洋・中 一 イ八 八四

新聞年鑑 第一至五卷(大正五ノ一二至六ノ五) 宏遠社刊 大正六 洋・小 四 イ八 一四四

新聞遍路 二十五年記者生活錄 佐藤巖撰 昭和七 再版 洋・小 一 イ八 一二四

新聞名鑑 日本電報通信社編 明治四二 再版 洋・中 一 イ八 四一

日本新聞歷史 小池洋二郎撰 洋・中 (明治文化全集) 一 イ四 一一三二 一七

世界新聞鳥瞰論 内外社刊 昭和六 洋・中 一 イ八 一二一
　現代新聞論(緒方竹虎)　現代日本新聞界の趨勢(千葉龜雄)
　イギリス新聞論(上野精一)　アメリカ新聞論(北野吉内)
　ソビエート・ロシア新聞論(黑田乙吉)　ドイツ新聞論(鈴木東民)
　フランス新聞論(渡邊紳一郎)　支那新聞論(中山優)

世界新聞早わかり 岩崎英祐撰 昭和八 洋・小 一 イ八 一三一

全國新聞名鑑 日本廣告株式會社刊 明治四〇 洋・中 一 イ八 一三五

大學新聞街 齋藤昌武編 昭和六 洋・小 一 イ八 一一〇

地方新聞廣告行數統計月報 其一至三 日本電報通信社編 大正二 和・中 (日本電報第四〇八三號附錄) 一 イ八 六七

帝通の一年有半 松井鐵夫撰 洋・中 一 イ八 九八

東天紅 明治新聞雜誌文庫所藏目錄 瀨木博尙編 昭和五 洋・大 一 イ二 一八六四

越佐新聞長岡日進社紀要 附錄二十年間の回顧(廣井一)外九篇 同社社友會編 明治四四 洋・中 一 イ八 三七

日本新聞協會二十年史 附・同會々則 同會刊 昭和七 和・大 一 イ八 一一九

日本新聞年鑑 大正一四・昭和七年版 新聞研究所編 大正一四・昭和六 初・再版 洋・中 二 イ八 九〇

同 一 イ八 一三〇

日本新聞發達史 附錄大阪毎日新聞・東京日日新聞事業史 小野秀雄編 大正一一 洋・中 一 イ八 八一

北越新報一萬號記念志 附・同記念帖 北越新報社刊 大正元 和・小 二 イ八 三九

本邦新聞史 朝倉龜三撰 明治四四 和・大 一 イ八 二八

明治・新聞雜誌資料・竝筆稿文獻 新聞編第一期 梅原北明編 昭和二 洋・中 (變態資料本) 一 イ八 九五

大正二年十二月二十日於東京日日新聞社本山社長演說大要筆記 大阪毎日新聞社刊(大正二) 和・小 一冊 イ八 六八

本山社長演說速記 大阪毎日新聞社刊(大正三) 和・小 一 イ八 一三三

○

ジャーナリズム 巻一號一(大正一五年四月)ヨリ(有缺) 新聞評論社刊 洋・中 イ八 一五五

新聞及新聞記者 巻二號二至巻五號八(號五至八七)(有缺) 新聞及新聞記者社刊 大正一〇年二月至一五年五月 洋・中 六 イ八 一五一

新聞研究所報 號二一(昭和四ノ二ノ一四)至二一九九(同四ノ五ノ三一)(有缺) 新聞研究所刊 洋・大 一 イ八 一五六

新聞と社會 巻一號一(昭和五年一二月)ヨリ(有缺) 新聞と社會社刊 洋・大 イ八 一五四

○

有喜世新聞 繪入 第一三〇(明治一二ノ六ノ二)至一四九六號(同一六ノ一ノ一二)(有缺) 有喜世新聞社刊 和・中 一一 イ八＊六

大阪朝日新聞 第七〇一五號(明治三四ノ八ノ一九)至一四九八七號(大正一二ノ八ノ三〇) 大阪朝日新聞社刊 イ八 一四二

大坂安部之合戰之圖 (瓦版) 一巻 イ八＊三

大阪新聞 第一(明治五ノ三)至六六號(同五ノ一二ノ二七) 書籍會社刊 和・中 三 イ八＊六九

大阪毎日新聞 第四八一七號(明治三〇ノ四ノ一二)ヨリ 大阪毎日新聞社刊 イ八 一四一

遠近新聞 第一(慶應四ノ閏四ノ一〇)至二〇號(同五ノ一八) 遠近新聞社編 和・中 一 イ八＊一七

海外新聞別集 繪入 上下巻(中巻缺) 萬屋兵四郎刊 文久二年閏八月・一〇月 和・中(官板) 二 イ八＊三

開花新聞 第三(明治一六ノ三ノ二五)至四三號(同一七ノ七ノ三一) 開花新聞社編 和・中 七 イ八＊七

江湖新聞 繪入 第一(慶應四ノ閏四ノ三)至三號(同五ノ三) 福地源一郎刊 和・小 二 イ八＊一一

江湖新聞 繪入 第一至二一號 福地源一郎刊 和・小 一 イ八＊二〇

江湖新聞 繪入 第一至一八號 福地源一郎刊 和・小 一 イ八＊六二

江湖新聞 第一至二二號(慶應四閏四・五月) 小野秀雄校 複刻 洋・小(横濱新報もしほ草ト合刊) 一冊 イ八 九三

公私雜報 第一(慶應四ノ四ノ二七)三號(同閏四ノ七) 公私雜報會社刊 和・中 一 イ八＊一三

國會 第三三九(明治三三ノ一ノ八)至第八六八號(同三六ノ一〇ノ三一) 國會新聞社刊 一 イ八 一三八

國民新聞 第六四二號(明治二五ノ二ノ二)ヨリ 國民新聞社刊 イ八 一三九

開成新聞 此はな新書 繪入 第一・三至六輯(自慶應四年五月) 和・小 一 イ八＊一六

時事新報 第二四〇號(明治一五ノ一二ノ一五)ヨリ 時事新報社刊 イ八 一三三

自由の燈 繪入 第一(明治一七ノ五ノ一一)至四一五號(同一八ノ一一ノ一五)(内第二三一號缺) 見光新聞社刊 洋・大 四 イ八＊一四八

新聞雜誌 第一至二〇號 日新堂刊 明治四年五月至一一月 和・中 四 イ八＊一一七

新聞六種 和・中 一 イ八＊五六
- 毎週新聞第十號(明治五ノ五)(横濱活版社刊)
- 海外各国翻譯新聞紙第六號(明治六ノ三)(信報堂刊)
- 郵便報知新聞第四十六號(明治六ノ四)(太田金右衞門刊)
- 日要新聞附錄文通自由(明治六)(轉新堂刊)
- 遠近新聞第十九號(慶應四ノ五)
- 新聞雜誌第十六號(明治四ノ一〇)(日新堂刊)

中外商業新報 第三三二(明治二五ノ八ノ二)至一三五三〇號(大正一三ノ一〇ノ三一) 中外商業新報社刊 イ八 一三一

中外新聞 第一(慶應四ノ二ノ二四)至三四號(同五ノ九) 柳河春三編・開物社刊 再刻 和・小 五 イ八＊九

中外新聞 第一六至二三號 柳河春三編 和・中 一 イ八＊一〇

中外新報 第二・八・三號(咸豐八ノ三月至一一ノ正月寧波版ノ翻刻) 萬屋兵四郎刊 和・中(官板) 三 イ八＊四

朝野新聞 第三九六三(明治二〇ノ一ノ一)至第五一八三號(同二三ノ一二ノ三〇) 朝野新聞社刊 イ八 一三五

東京朝日新聞 第一九〇一號(明治二四ノ四ノ二)ヨリ 東京朝日新聞社刊 イ八 一三七

東京朝日新聞 縮刷版 第一號(大正八年七月)ヨリ 東京朝日新聞社刊 洋・大 イ八 一五二

東京繪入新聞 第五八八(明治一〇ノ六ノ五)至一五一三號(同一三ノ六ノ三〇)(有缺) 繪入新聞兩文社刊 和・洋・大 二 イ八＊三五

東京囘囘新聞 第二(明治五ノ二ノ二一)至二四一號(同一三ノ一ノ三一) 日報社刊 和・大 一七 イ八＊五

東京日日新聞 第三一八(明治九ノ一ノ四)至一九七一號(同一一ノ六ノ二九) 日報社刊 洋・大 五 イ八＊六五

東京日日新聞 第二八一六號(明治一四ノ五ノ二)ヨリ 東京日日新聞社刊 イ八 一三〇

東京毎日新聞 第六七二七(明治一八ノ七ノ一)至一一三八七號(明治四〇ノ二ノ二七) 東京毎日新聞社刊 イ八 一三四

東洋新報 第三二(明治一一ノ三ノ三一)至三五號(同五ノ二五) 岡本監輔編 和・小 一 イ八＊四九

內外新報 第一(慶應四ノ四ノ一〇)至五〇號(同六ノ一一)・內外新報字類第一至四號附 海軍會社刊 和・小 六 イ八＊一五

內外新報 第一至四七號・內外新報字類第一至四號・內外新報別集第一號附 海軍會社刊 和・小 三 イ八＊五九

日〻新聞 第一(慶應四ノ閏四ノ三)至一〇輯(同五ノ四) 博聞會社刊 和・中 一 イ八＊一三

日新眞事誌 明治八年第三三(三ノ一四)至六九號(三ノ三一)(有缺) 一新社刊 洋・大 一 イ八＊四二

日本 第四八(明治二三ノ七ノ二八)至第九一九四號(大正三ノ一二ノ三一) 日本新聞社刊 イ八 一三六

幕末明治新聞全集 第一至五巻 明治文化研究會編 昭和九・一〇 洋・小 五 イ八 一四五
- 日本貿易新聞(文久三至慶應元) 一
- 日本貿易新聞補遺 一
- 日本新聞(慶應元・二) 一
- 日本新聞外編(同) 一
- 中外新聞紙(慶應三) 一
- 香港新聞紙(元治元) 一
- 官板バタビヤ新聞(文久元) 二
- 官板海外新聞(同) 二
- ヒコ海外新聞(元治二至慶應二) 二
- 萬國新聞紙(慶應三・四) 二
- 萬國新聞(明治二) 二
- 官板海外新聞別集(文久二) 三
- 各國新聞紙(慶應四) 三
- 中外新聞(同) 三
- 別段中外新聞(同) 三
- 中外新聞外篇(同) 三
- 日々新聞(同) 三
- そよふく風(同) 三
- 日新通志(明治元) 三
- 江湖新聞(慶應四) 四
- 內外新報(同) 四
- 內外新報前記(同) 四
- 內外新報別集(同) 四
- 横濱新報もしほぐさ(慶應四至明治三) 四
- 渡航新聞のりあひばなし(初編)(明治元) 四
- 外國新聞(慶應四) 四
- 東西新聞(同) 五
- 浮世新聞(同) 五
- 公私雜報(同) 五
- 都鄙新聞(同) 五
- 此花新書(同) 五
- 諷歌新聞(同) 五
- 海陸新聞(同) 五
- 內外新聞(同) 五
- 海外新聞(明治三) 五
- 新聞事略(慶應四) 五

萬國新聞 第一至一五號 柳河春三編 明治四年一〇至一二月 洋・小 一五 イ八＊一一五

報知新聞 第九七四號(明治九ノ五ノ一)ヨリ 報知新聞社刊 イ八 一三九

香港新聞 巻一・二(咸豐一一年・同治元年ノ分抄出翻刻) 萬屋兵四郎刊 和・中(官版) 一 イ八＊二

もしほ草 第一(慶應四ノ四ノ一一)至二〇編(同八ノ二七) ウエンリート刊 和・小 二 イ八＊八

もしほ草 第一至七編 ウエンリート刊 和・小 一 イ八＊六〇

横濱新報もしほ草 第一至四二篇(慶應四ノ閏四至明治三ノ三) 小野秀雄校 大正一五 複刻 洋・小 一 イ八 九三

都新聞 第九六三五號(大正三ノ一二ノ一)ヨリ 都新聞社刊 イ八 一四三

讀賣新聞 第六五八(明治一〇ノ四ノ二)至七〇八號(同五ノ三一) 日就社刊 和・大 一 イ八 一三二

讀賣新聞 第二三三七號(明治一五ノ一一ノ二)ヨリ 讀賣新聞社刊 イ八 一三三

萬朝報 第一三一〇號(明治三〇ノ四ノ八)ヨリ 萬朝報社刊 イ八 一四〇

〔明治文化全集〕新聞篇 吉野作造編 昭和三 洋・中 一 イ四 一一三 一七
- 新聞紙實歷(福地源一郎)
- 日本新聞歷史(小池洋二郎)
- 新聞經歷談(末廣重恭)
- 全國新聞雜誌評判誌(高瀬巳之吉)
- 官板バタヒヤ新聞(文久二)
- 官板海外新聞(同)
- 中外新聞(慶應四)
- 中外新聞外篇(同)

官准中外新聞(明治二・三) 中外新聞(慶應四)
都鄙新聞(同) 崎陽雜報(同)
附錄・明治新聞年表(宮武外骨編)

露紙抄譯 第二・三輯 日露協會刊 大正四年三・七月 洋・中 二冊 イ八類 七〇號

露紙抄譯 第六六號 (昭和六ノ二ノ五)ヨリ 日露協會刊 洋・大 イ八 一五三

九 寧齋文庫

詩文(詩集・文集・詩文合集・制科藝・詞曲・戲曲・小說)

愛日堂詩集 二八卷 清・陳元龍撰 唐・大 (清版) 六冊 イ九類 一號

葦閒詩集 五卷・目一卷 清・姜宸英撰 道光四 重刊 唐・大 三 イ九 二

飴山詩集 二〇卷 清・趙執信撰 光緒一一 重刊 唐・大 四 イ九 三

怡志堂詩初編 八卷 清・朱琦撰 唐・大 (清版) 二 イ九 四

倚松閣詩鈔 一五卷・附錄二卷・首一卷 清・馮錫鏞撰 同治九 唐・大 四 イ九 五

一粟園叢書 甲編詩二〇卷ノ內一二卷 清・陳壽嵩撰 唐・小 (清版) 一 イ九 六

尹文端公詩集 一〇卷 清・尹繼善撰 唐・大 (清版) 六 イ九 八

迂齋詩鈔 八卷・外集一卷・首一卷 清・梁煦南撰 光緒一四 唐・大 二 イ九 九

益戒堂自訂詩集 八卷・目一卷 清・揆敍撰 唐・大 (清版) 四 イ九 一〇

遠音集 五卷 清・顧鑒撰 唐・大 (清版) 一 イ九 一一

烟嶼樓詩集 一八卷・首一卷・附遊杭合集一卷 清・徐時棟撰 同治七 唐・大 四 イ九 七

嚶鳴館百疊集 清・孫點撰 光緒一六 唐・大 (君異使東十種本) 一 イ九 一二

漚羅盦詩藁 八卷・附吳澗蔵詩選 清・法良撰 道光二七 唐・大 四冊 イ九號 一三類

溫飛卿詩集箋注 九卷 唐・溫庭筠撰・明・曾益注・清・顧予咸補 光緒八 唐・大 二 イ九 一四

海愚詩鈔 一二卷 清・朱孝純撰 乾隆五九 唐・大 四 イ九 一五

懷清堂集 二〇卷 清・湯右曾撰 唐・大 (清版) 四 イ九 一六

覺生詩鈔 一〇卷・詠物四卷・詠史三卷・感舊三卷・續鈔四卷・附錄一卷 清・鮑桂星撰 同治四 唐・大 一〇 イ九 一八

鶴半巢詩續鈔 五卷 清・馮培撰 唐・大 (清版) 二 イ九 一九

嘉樹山房詩集 一八卷 清・李中簡撰 唐・大 (清版) 六 イ九 二〇

畫石軒詩集 四卷・附臥遊隨錄四卷 清・朱逢泰撰 唐・大 (清版) 四 イ九 二一

花天月地吟 八卷 清・蔣坦撰 唐・大 (清版) 四 イ九 二二

瓦釜集 一二卷 清・高蘭曾撰 唐・小 (清版) 四 イ九 二三

觀樹堂詩集合刻 七種一五卷 清・朱樟撰 唐・中 (清版) 四 イ九 二四

磵東詩鈔 一〇卷 清・歐陽輅撰 光緒九 唐・中 四 イ九 二五

九梅村詩集 二〇卷 清・魏燮均撰 光緒元 唐・大 六 イ九 二六

紀文達公遺集 一六卷 清・紀昀撰・孫樹馨編 唐・大 (清版) 六 イ九 二七

曲園自述詩 清・俞樾撰 明治二三 和・大 一 イ九 二八

據梧詩集 一五卷・附小遊僊集一卷 清・管棆撰 唐・大 (清版) 六 イ九 二九

御製詩 初集四四卷・目四卷・二集九〇卷・目一〇卷 清・高宗御撰 唐・中 (清版) 四八 イ九 三〇

御製詩三集 一〇〇卷・目一一卷 清・高宗御撰 唐・大 (清版) 三〇 イ九 三一

御製詩餘集 一二卷・目二卷 清・高宗御撰 唐・大 (清版) 八 イ九 三二

漁洋山人精華錄 一〇卷(有補寫) 清・王士禎撰・林佶編 唐・大 (清版) 一〇 イ九 三三

欣遇齋詩集 一六卷 清・沈峻撰 咸豐四 重刊 唐・大 六 イ九 三四

屈翁山詩集 八卷・附錄一卷 清・屈大均撰・徐肇元編 唐・大 (清版) 四 イ九 三五

敬業堂集 五〇卷 清・查愼行撰 唐・大 (清版) 一二 イ九 三六

敬業堂詩鈔 清・查愼行撰・樾山精一編 嘉永二 和・大 四 イ九 三七

元遺山詩集箋注 一四卷・首尾各一卷 金・元好問撰・清・施國祁注 道光二 唐・大 六 イ九 三八

揅經室詩錄 五卷 清・阮元撰 道光一三 唐・大 四 イ九 三九

香樹齋詩集 一八卷・續集三六卷 清・錢陳撰 唐・大 (清版) 一六 イ九 四〇

江西觀蓮集 服部轍撰 明治三二 唐・大 一 イ九 一六二

黃石齋集 第一・二 岡本迪撰 明治一三 唐・大 四 イ九 四一

香蘇山館詩鈔 古體一七卷・今體一九卷・首一卷 清・吳嵩梁撰 光緒二三 重刊 唐・大 八 イ九 四二

紅豆詩人集 一九卷・附錄一卷 清・董潮撰 唐・大 (清版) 四 イ九 四三

紅豆樹館集 詩稿一四卷・詞八卷 清・陶樑撰 唐・中 (清版) 四 イ九 四四

黃葉樓初集 四卷・首末各一卷 清・喬煌撰 嘉慶二 唐・大 四 イ九 四五

湖山消閑集 二卷・附錄一卷 小野長愿(橫山卷)撰 明治一四 和・中 二 イ九 一六三

吳詩集覽 二〇卷・首目各一卷附・吳詩談藪・吳詩補註 清・吳偉業撰・靳榮藩編 唐・中 (清版) 一六 イ九 四七

五百四峰堂詩鈔 二五卷 清・黎簡撰 唐・大 (清版) 八 イ九 四八

查浦詩鈔 一二卷・目一卷 清・查嗣瑮撰 唐・大 (清版) 四 イ九 四九

三十六灣草廬稿 一〇卷 清・黃本騏撰 唐・大 (清版) (三長物齋叢書本) 三 イ九 五〇

山陽詩鈔 八卷(內卷一・二缺) 賴襄撰 和・大 三 イ九 一六四

思詒堂詩稾 一二卷 清・金衍宗撰 同治五 重刊 唐・大 四 イ九 五一

賜硯齋詩鈔 四卷 清・伊朝棟撰 唐・大 (清版) 二 イ九 五五

指翠堂絕句鈔 逸見三省撰 明治三六 和・大 一 イ九 一六六

師竹軒詩集 四卷・附韻香閣詩草 清・劉樹堂撰 唐・大 (清版) 一 イ九 五六

質園詩集 三二卷 清・商盤撰 唐・大 (清版) 八 イ九 五七

思補齋詩集 四卷 清・潘世恩撰 唐・中 (清版) 二 イ九 五八

秋錦山房集 一〇卷・目一卷 清・李良年撰 唐・大 (清版) 三 イ九 五二

秋錦山房集 一〇卷・目一卷 清・李良年撰 唐・中 (清版) 六 イ九 五三

秋水詩鈔 一七卷・續集一〇卷・附林下堂詩卷九卷 清・程鏊撰 唐・大 (清版) 一〇 イ九 五四

秋邨遺稿 三卷・附錄一卷 柴莘撰 明治三四 唐・大 三 イ九 一六五

菽園外集 第一種 清・邱煒萲撰 唐・大 (清版) 一 イ九 五九

壽藤齋詩 二六卷(內卷八・一三・一四原缺) 清・鮑倚雲撰 嘉慶一三 唐・大 六 イ九 六〇

春巢詩鈔 七卷・附同人題贈錄四卷 清・何承燕撰 唐・大 (清版) 三 イ九 六一

賞雨茅屋詩集 八卷 清・曾燠撰 嘉慶九 唐・大 二 イ九 六四

賞雨茅屋詩集 二二卷・外集一卷 清・曾燠撰 嘉慶二四 唐・大 七 イ九 六五

小鷗波館詩鈔 一〇卷 清・潘曾瑩撰 唐・大 (清版) 五 イ九 六六

小鷗波館詩鈔 一〇卷・附詞鈔一卷 清・潘曾瑩撰 唐・大 (清版) 五 イ九 六七

小睡足寮詩錄 四卷 清・秦敏樹撰 光緒一三 唐・大 一 イ九 六八

	冊	類	號
邵潛夫先生詩選 二卷 明・邵潛撰 唐・大（明版）	二	イ九	六九
松竹幽居小藁 附・倡和詩 明治二七 大竹溫撰 唐・大	一	イ九	一六七
松竹幽居第二集 大竹溫撰 明治二七 唐・大	二	イ九	一六八
松風閣詩鈔 二六卷 唐・大 清・彭蘊章撰（清版）	八	イ九	七〇
小浮山人閉門集 六卷 清・潘曾沂撰 光緒五 唐・大	二	イ九	七一
章文毅公詩集 一卷・首一卷 光緒二九 明・章曠撰 唐・大	一	イ九	七二
蕭鳴草 清・亞亭傳撰 唐・中（清版）	一	イ九	七三
小容齋詩鈔 一〇卷 唐・大 清・洪占銓撰（清版）	二	イ九	七四
昌黎先生詩增注証訛 一一卷・首一卷 黃鉞校 咸豐七 唐・大 清・顧嗣立撰・	四	イ九	七五
壬寅編 春在堂詩編第十九 唐・大 清・俞樾撰（清版）	一	イ九	七六
津門徵獻詩 八卷 唐・大 清・華鼎元撰（清版）	四	イ九	七七
萃錦唫 卷三・四・一二至一四 唐・大 清・恭親王撰（清版）	五	イ九	七八
栖雲閣詩 一六卷・拾遺三卷 唐・大 清・高珩撰（清版）	六	イ九	七九
星巖集 甲至丁・閏集・附錄二種 天保一二至弘化四 梁川孟緯撰 和・大	三	イ九	一六九
西軒詩艸 七卷 唐・中 清・馮印撰（清版）	四	イ九	八〇
征清詩史 高橋利貞撰 明治三〇 和・大	一	イ九	一七〇
清芬堂集 一六卷・續集六卷 嘉慶二〇至道光六 清・潘際雲撰 唐・大	一二	イ九	八一
靜廉齋詩集 二四卷 唐・大 清・金甡撰（清版）	六	イ九	八二
石帆詩鈔 一〇卷・附聽雪齋詩鈔・雪泉詩存 唐・大 清・嚴光祿撰（清版）	四	イ九	八三
石蘭堂詩稿 九集 道光七 唐・大 清・張德懋撰	二	イ九	八四
船菴集 一二卷・附船庵詞一卷 光緒五 唐・大 清・潘曾沂撰	二	イ九	八五
船山詩草 二〇卷 同治一三 唐・中 清・張問陶撰	六	イ九	八六
巢經巢詩鈔 九卷・後集四卷 光緒二二 唐・大 清・鄭珍撰	四	イ九	八八
棗香書屋詩鈔 一卷・附行狀一卷 同治元 唐・大 清・黃樂之撰	二	イ九	八九
雙藤書屋詩集 二卷・試帖二卷・附月波舫遺稿・退學詩齋詩集 道光二三 重刻 唐・大 清・何道生撰	五	イ九	九〇
蘇詩查注補正 四卷 光緒八 清・沈欽韓撰 唐・大	二	イ九	九一
測海集 六卷 同治四 重刊 唐・大 清・彭紹升撰	二	イ九	九二
退亭園詩鈔 江馬正人撰 明治三四 唐・大	二	イ九	一七一
退遂齋詩鈔 八卷・續集二卷 光緒七至一〇 唐・中 清・倪鴻撰	五	イ九	九三
大能寒軒詩鈔 八卷・首末各一卷 唐・大（清版） 清・吳爲楫撰	四	イ九	九四
薤石齋詩集 五〇卷 唐・大（清版） 清・錢載撰	六	イ九	九五
多歲堂詩集 四卷・詩載唐集二卷・試律詩集一卷・賦集一卷 清・成書撰 唐・大（清版）	四	イ九	九六
澹盦自娛草 二卷・附仲安遺草一卷 清・金應澍撰 光緒一九 唐・小	一	イ九	九七
竹雨吟鈔 二卷 同治八 唐・中 清・姚吉祥撰	一	イ九	九九
竹下詩鈔 橋本旋撰（明治一七） 唐・大	三	イ九	一〇三
竹溪詩文鈔 藤谷英撰 明治三五 唐・大	二	イ九	一七三
竹嘯軒詩鈔 一八卷 唐・大 清・沈德鑑撰（清版）	三	イ九	一〇〇
知足齋詩集 二〇卷・目一卷 唐・大（清版） 清・朱珪撰	八	イ九	一〇二
知白齋詩鈔 五卷 光緒二四 清・江人鏡撰 唐・大	二	イ九	一〇一
忠雅堂詩詞全集 詩二七卷・詞二卷・補遺二卷 唐・大（清版） 清・蔣士銓撰	六	イ九	九八
蜨庵詩鈔 八卷 同治二 唐・大 清・楊棨撰	二	イ九	六二
蜨庵賦鈔箋註 咸豐一〇 唐・大 清・楊棨撰・包國璋注	二	イ九	六三
澄懷園詩選 一二卷 光緒一七 重刊 唐・大 清・張廷玉撰	四	イ九	一〇四
長吟閣詩集 一〇卷・附野鴻詩的一卷 唐・大（清版） 清・黃子雲撰	一〇	イ九	一〇五
陳忠裕公集 一五卷・首一卷 嘉慶七 唐・大 明・陳子龍撰・清・朱嶟編	一六	イ九	一〇六
定山堂詩集 四三卷・附錄四卷・目首各一卷・附芳草詞 清・龔鼎孳撰 光緒九 重刊 唐・大	一六	イ九	一〇七
聽松濤館詩鈔 一一卷 唐・大 清・阮文藻撰（清版）	四	イ九	一〇八
聽松廬詩略 二卷 唐・大（清版） 清・張維屏撰・陳澧編（學海堂叢刻本）	一	イ九	一〇九
丁辛老屋集 一二卷 乾隆五二 唐・大 清・王又曾撰	二	イ九	一一〇
曝書亭詩箋注 一二卷 唐・大（清版） 清・朱彝尊撰・江浩然注	一	イ九	一一一
八指頭陀詩集 一〇卷・附禮文一卷 唐・大（清版） 清・敬安撰	二	イ九	一一三
枰湖詩錄 六卷（有缺）・首一卷・附釣者風一卷 清・吳敏樹撰 唐・中（清版） 西湖鑑湖櫂歌一百首 清・陳祖昭撰 唐・大（清版）	一	イ九	一一二
適吾廬詩存 清・陸嘯雲撰 嘉慶二四 唐・大	二	イ九	一一三
鐵崖詩集 三種二六卷 元・楊維楨撰・清・樓卜瀍註 光緒一四 補刻 唐・大	六	イ九	一一三
鐵兜遺稿 二卷・附錄一卷 明治三二 唐・大 河野維羆撰	三	イ九	一七三
鐵橋詩存 三卷 明治三六 唐・大 大江卓撰	一	イ九	一七四
傳經堂詩鈔 一二卷 唐・大（清版） 清・韋謙恒撰	四	イ九	一二四
東洲艸堂詩鈔 二七卷・詩餘一卷 同治六 唐・大 清・何紹基撰	六	イ九	一二五
唐女郎魚玄機詩 附・魚玄機事略等 唐・大（清翼宋版）	一	イ九	一二六
投筆集 清・錢謙益撰 唐・大（清版）	一	イ九	一一七
杜詩鏡銓 二〇卷・首目各一卷・附錄一卷 唐・杜甫撰・清・楊倫編 唐中	一二	イ九	一二八
杜詩諺解 未完 唐・杜甫撰・森泰二郎解 和・中（新詩綜・附錄本）	一	イ九	一二九
敦拙堂詩集 一三卷 乾隆六〇 唐・中 清・陳奉茲撰	六	イ九	一三〇
二知軒詩續鈔 唐・中（清版） 清・方濬頤撰	四	イ九	一三一
二南詩續鈔 二卷・補遺一卷 道光二九 唐・小 清・周樂撰	二	イ九	一三三
日本雜事詩 二卷 光緒五 唐・小（弢園叢書本） 清・黃遵憲撰	一	イ九	一三三
佩石齋詩鈔 安國淡雲撰 明治三五 和・大	一	イ九	一七五
梅莊詩鈔 一六卷 同治九 唐・大 清・華長卿撰	四	イ九	一二四
梅潭詩鈔 杉浦誠撰 明治三五 唐・大	二	イ九	一七六
白雲詩集 七卷・別集一卷 唐・大 清・盧存心撰	四	イ九	一二五
曝書亭詩箋注 一二卷 唐・大（清版） 清・朱彝尊撰・江浩然注	六	イ九	一二六
八指頭陀詩集 一〇卷・附禮文一卷 唐・大（清版） 清・敬安撰	二	イ九	一二七
枰湖詩錄 六卷（有缺）・首一卷・附釣者風一卷 清・吳敏樹撰 唐・中（清版）	四	イ九	一二八
晚晴軒詩鈔 五卷 道光四 清・哥廷恩撰 唐・大	四	イ九	一二九
晚晴樓詩鈔 二卷 明治一九 和・中 土屋弘撰	一	イ九	一七七
半舫齋編年詩 二〇卷・目一卷 唐・大（清版） 清・夏之蓉撰	四	イ九	一三〇
湄湖吟集 一一卷・附遺文一卷 唐・大（清版） 清・杜濚撰	四	イ九	一三一
復初齋詩集 二〇卷 唐・大（清版） 清・翁方綱撰	四	イ九	一三三

書名	内容	冊	類	號
芙蓉山館詩鈔	六巻 清・楊芳燦撰 唐・大 (清版)	一	イ九	一三四
缾水齋詩集	一七巻・別集二巻・詩話一巻 清・舒位撰 光緒一二 唐・大	八	イ九	一三五
抱沖齋詩集	七一巻・附錄一巻・首一巻 清・斌良撰 道光二九 唐・大	一二	イ九	一三七
牧齋初學集詩註	二〇巻 清・錢謙益撰・錢曾註 唐・大 (清版)	一二	イ九	一四〇
牧齋初學集詩註	二〇巻 清・錢謙益撰・錢曾註 明治一六 唐・大	一四	イ九	一四一
牧齋有學集詩註	一四巻 清・錢謙益撰・錢曾註 唐・大 (清版)	一二	イ九	一四二
牧齋有學集詩註	一四巻 清・錢謙益撰・錢曾註 明治一六 唐・大	一二	イ九	一四三
梵潮餘響	附・明月雪時 久保田日龜撰 明治三四 和・中	一	イ九	一七八
䜱䜣亭集	三二巻・後集一二巻 清・祁雋藻撰 唐・大 (清版)	六	イ九	一四四
妙吉祥堂詩鈔	六巻 清・蔣知讓撰 嘉慶一四 唐・大	四	イ九	一四五
妙香詩草	八巻 清・滿兆撰 道光二 唐・小	一	イ九	一四六
味和堂詩集	六巻 清・高其倬撰 唐・大 (清版)	二	イ九	一三一
眠琴閣詩鈔	一二巻・續編三巻 清・呂延煇撰 同治二 唐・大	六	イ九	一四七
夢月巖詩集	二〇巻・附錄一巻 清・呂履恒撰 唐・大 (清版)	六	イ九	一三六
夢綠草堂詩鈔	一二巻・首末各一巻・續集二巻 清・蔡壽祺撰 咸豐七 唐・小	七	イ九	一三八
夢樓詩集	二四巻 清・王文治撰 乾隆六〇 唐・大	四	イ九	一三九
綿津山人集	二七巻・首一巻 清・宋犖撰 唐・大 (清版)	四	イ九	一四八
默庵遺集	八巻 清・馮舒撰 唐・大 (清版)	一	イ九	一四九
又其次齋詩集	七巻 清・吳世涵撰 唐・大 (清版)	四	イ九	一五〇

書名	内容	冊	類	號
容齋千首詩	清・李天馥撰 唐・大 (清版)	六	イ九	一五一
養拙齋詩	一四巻・附錄一巻・附桂隱詩存 清・王必達撰 光緒一六至一九 唐・大	四	イ九	一五二
養素堂詩集	二六巻 清・張澍撰 道光二二 唐・大	一四	イ九	一五三
容塘詩鈔	橋本寧撰 明治一四 唐・中	二	イ九	一七九
瀨中集	一四巻・目一巻 清・毛甡撰 唐・大	一四	イ九	一五四
柳橋竹枝	長谷川正直撰 明治二七 唐・中	一	イ九	一八〇
留春草堂詩鈔	四巻 清・伊秉綬撰 嘉慶一九 唐・大	四	イ九	一五五
兩當軒詩鈔	一四巻・附悔存詞鈔二巻 清・黃景仁撰 唐・大 (清版)	四	イ九	一五六
靈巖山人詩集	四〇巻・附年譜一巻 清・畢沅撰 嘉慶四 唐・大	一二	イ九	一五七
荔村草堂詩鈔	一〇巻 清・譚宗浚撰 光緒一八 唐・大	四	イ九	一五八
蓮洋集	一二巻・補遺一巻 清・吳雯撰 唐・大 (清版)	七	イ九	一五九
陋軒詩	一二巻・續二巻 清・吳嘉紀撰 道光二〇 洋・中	四	イ九	一六〇
樓邨詩集	二五巻 清・王式丹撰 唐・大 (清版)	四	イ九	一六一
〇				
瀛奎律髓刊誤	四九巻 清・紀昀批點・李光垣編 唐・大 (清版)	一二	イ九	一八一
永平詩存	二四巻 清・史夢蘭編 唐・中 (清版)	六	イ九	一八二
越風	三〇巻・首一巻 清・商盤編 唐・大 (清版)	一二	イ九	一八三
海雲禪藻集	清・徐作霖等編 道光一〇 重刊 唐・大	二	イ九	一八四
海東律詩	朝鮮寫本 和・大	一	イ九	二四九

書名	内容	冊	類	號
亥白船山詩草合集	光緒七 重刊 唐・大	一〇	イ九	一七
	亥白詩草(清・張問安) 一—二　船山詩草(清・張問陶) 三—一〇			
樂府詩集	一〇〇巻・目二巻 宋・郭茂倩編 同治一三 重刊 唐・大	一六	イ九	一八五
感舊集	一六巻 清・王士禎編・盧見曾補傳 唐・大 (清版)	八	イ九	一八六
篋衍集	一二巻 清・陳維崧編 唐・大	四	イ九	一八七
玉臺新詠箋註	一〇巻 清・吳兆宜撰 唐・大 (清版)	六	イ九	一八八
御選唐宋詩醇	四七巻・目二巻 清・高宗御編 唐・小 (清版)	二〇	イ九	一八九
御定全唐詩錄	一〇〇巻・年表一巻・目一巻 清・徐倬編・徐元正校 唐・中 (清版)	二四	イ九	一九〇
今詩所見集選	一五巻 清・黃承增輯 唐・大 (清版)	八	イ九	一九一
近人詩錄	清・陳詩編 光緒二九 唐・大	一	イ九	一九二
今世名家詩鈔	池田觀編 明治一二 和・中	三	イ九	二四四
欽定國朝詩別裁集	三二巻 清・沈德潛纂評 唐・大 (清版)	一六	イ九	一九三
庚寅讌集三編	清・孫點編 光緒一六 唐・大	三	イ九	二五一
弘正四傑詩集	七三巻 清・張雨珊編刊 光緒二一 唐・大	一六	イ九	一九四
	李空同詩集(明・李夢陽) 一—六　何大復詩集(明・何景明) 七—一〇			
	邊華泉詩集(明・邊貢) 一一—一四　徐迪功詩集(明・徐禎卿) 一五			
	重選徐迪功外集(同上) 一六			
江西詩徵	九四巻・補遺一巻・附刻一巻 清・曾燠編 光緒五 重刊 唐・大	四八	イ九	一九五
江浙十二家詩選	二四巻 清・王鳴盛編 乾隆三〇 唐・大	六	イ九	一九六
江蘇詩徵	一八三巻・目一巻 清・王豫編 唐・大 (清版)	四〇	イ九	一九七

書名	内容	冊	類	號
吳會英才集	二四巻 清・畢沅編 唐・大 (清版)	八	イ九	一九八
湖海詩傳	四六巻 清・王昶編 唐・大 (清版)	一二	イ九	一九九
湖海詩傳小傳	六巻 清・王昶撰 光緒四 唐・小	二	イ九	二六一
國初十大家詩鈔	七五巻 清・王相編 唐・大 (清版)	一六	イ九	二〇〇
國朝畿輔詩傳	三八巻・首一巻 清・陶樑編 道光一九 唐・大	一〇	イ九	四六
國朝杭郡詩輯	三二巻・續輯四六巻 清・吳顥編・吳振棫重編 同治一三至光緒二 重刊 唐・大	二八	イ九	二〇一
國朝山左詩鈔	六〇巻・目一巻 清・盧見曾編 唐・大 (清版)	二〇	イ九	二〇二
國朝三槎存雅	二巻・補選二巻 清・甘受和編 光緒九 唐・中	一	イ九	二〇三
國朝詩鐸	二六巻・首一巻 清・張應昌編 同治八 唐・大	一六	イ九	二〇四
國朝詩別裁集	三二巻・補遺四巻 清・沈德潛纂評 光緒九 唐・小	一二	イ九	二〇五
國朝松陵詩徵	二〇巻・首一巻 清・袁景輅編 唐・大 (清版)	四	イ九	二〇六
國朝全閩詩錄	初集二一巻・同續一一巻 清・鄭杰編 嘉慶五 唐・中	一〇	イ九	二〇七
國朝滄州詩鈔	一二巻 清・王國均編 唐・大 (清版)	四	イ九	二〇八
國朝中州詩鈔	三二巻 清・楊淮編 唐・大 (清版)	一六	イ九	二〇九
國朝武定詩鈔	一二巻・補鈔二巻 清・李衍孫編 唐・中 (清版)	四	イ九	二一〇
國朝歷下詩鈔	清・王鍾霖編 光緒四 唐・大	四	イ九	二一一
國朝六家詩鈔	八巻 清・劉執玉編 乾隆三二 唐・大	六	イ九	二一二
湖山樓詩屏風	第一・二集 横山卷編 嘉永元・五 和・中	二	イ九	二四五
古詩源	一四巻 清・沈德潛編 唐・大 (清版)	四	イ九	二一三

書名	冊	類	號
古詩選 三二卷 同治七 清・王士禎編 重刊 唐・大	一二	イ九	二一四
五名家近體詩 一六卷 唐・大 清・王觀編 (清版)	五	イ九	二一五
崑崙集 一卷・續一卷・附一卷 光緒二五 唐・大 清・葉德輝編	一	イ九	二一六
三岳莊唱和編 金井之恭編 明治三七 唐・中	一	イ九	二四六
三籟集 附・乩筆 萬治三 隆琦編 和・大	一	イ九	二一七
七子詩選 一四卷 唐・大 清・沈德潛編 (清版)	六	イ九	二一九
十種唐詩選 附・唐賢三昧集 唐・大 (清版) 清・王士禎刪纂	六	イ九	二二〇
重訂唐詩別裁集 二〇卷 唐・小 清・沈德潛編 (清版)	一〇	イ九	二一八
師友風義錄 三編 (明治三六) 臺灣・鄭鵬雲編 唐・小	一	イ九	二五〇
章門萍約詩選 清・黃鳳題等撰 道光二 唐・中	一二	イ九	二二一
新安先集 二〇卷 同治一三 清・朱之榛編 唐・大	六	イ九	二二二
清廿四家詩 中島一男編 明治一一 唐・大	三	イ九	二二三
津門詩鈔 三〇卷 唐・大 清・梅成棟編 (清版)	一〇	イ九	二二四
清六大家絕句鈔 二六卷 (嘉永五) 梁川孟緯編 和・中	一二	イ九	二二五
絕句類選 卷一至九 文政一一 津坂孝綽編 和・小	一	イ九	二二六
浙西六家詩鈔 清・吳應和・馬洵編 道光七 唐・大	六	イ九	二二七
粧樓摘豔 清・錢三錫編 道光一三 唐・小	四	イ九	二二八
楚辭 一七卷・附楚辭音 寬延三 漢・王逸章句 和・大	三	イ九	二二九
苔岑集 二四卷・同附錄二卷・二集一〇卷・同附錄一卷 清・王鳴盛編 乾隆三二 唐・大 (清版)	八	イ九	二三〇

書名	冊	類	號
中州集 一〇卷・首一卷・附中州樂府一卷 金・元好問編 唐・大 (汲古閣版)	二〇	イ九	二三一
唐詩品彙 九〇卷・拾遺一〇卷・首一卷 明・高棅編 唐・大 (明版)	二〇	イ九	二三二
東武詩存 一〇卷 嘉慶二五 清・王賡言編 唐・大	一〇	イ九	二三三
佩文齋詠物詩選 初・二編 文政一三至嘉永三 清・張玉書等原編・館機鈔錄 初・再版 和・小	四	イ九	二三四
冰泉唱和集 一卷・續和・再續和・附錄各一卷 唐・小 (清版) (粟香室叢書本) 清・金武祥編	一	イ九	二三五
扶桑驪唱集 清・葉煒編 光緒一七 唐・大	一	イ九	二三六
未開牡丹詩 山路濟編 (安政三) 和・中	一	イ九	二四七
明三十家詩選 二集一六卷 同治一二 清・汪端編 重刊 唐・大	八	イ九	二三七
明詩綜 一〇〇卷・首一卷 唐・大 (清版) 清・朱彝尊編	三六	イ九	二三八
明詩別裁集 一二卷 唐・大 清・沈德潛・周準編 (清版)	四	イ九	二三九
明治三十八家絕句 額田正編 明治四 和・中	三	イ九	二四八
榕村詩選 八卷・首目各一卷 雍正八 唐・大 清・徐用錫編	四	イ九	二四〇
兩浙輶軒錄 四〇卷・首一卷・補遺一〇卷 光緒一六 重刻 唐・大 清・阮元校	三二	イ九	二四一
嶺南三大家詩選 二四卷 唐・大 清・王隼編 (清版)	四	イ九	二四二
嶺南四家詩鈔 六冊(內終冊缺) 唐・大 (清版) 清・劉彬華編	五	イ九	二四三
○			
雨村詩話 一六卷 唐・小 清・李調元撰 (清版)	八	イ九	二五二
海山詩屋詩話 一〇卷 光緒四 清・李文泰編 唐・小	五	イ九	二五三
漁洋感舊集小傳 四卷 光緒四 清・盧見曾撰 唐・小	二	イ九	二五五

書名	冊	類	號
螢雪軒叢書 一〇卷(內卷六缺) 明治二五至三〇 近藤元粹評訂 和・小	九	イ九	二五六
元詩紀事 二四卷 唐・大 清・陳衍編 (清版)	六	イ九	二五七
峴傭說詩 和・小	一	イ九	二五八
侯鯖集 一〇卷 唐・大 清・李友棠集句 (清版)	四	イ九	二五九
香石詩話 清・黃培芳撰 嘉慶一六 和・中	四	イ九	二六〇
國朝詩人徵略 六〇卷・二編六四卷 唐・中 (清版) 清・張維屏編	一六	イ九	二六二
射鷹樓詩話 二四卷 咸豐元 清・林昌彝編 唐・大	八	イ九	二六四
緝雅堂詩話 二卷 光緒一七 清・潘衍桐撰 唐・中	一	イ九	二六三
小石帆亭著錄 唐・大 清・翁方綱撰 (清版)	二	イ九	二六五
小滄浪詩話 四卷 咸豐九 清・張燮承撰 唐・中	二	イ九	二六六
煑藥漫抄 二卷 光緒一七 清・葉煒撰 唐・大	一	イ九	二六七
詩律兆 一一卷 安永五 中井積善撰 和・大	二	イ九	二六八
靜志居詩話 二四卷(有缺) 唐・大 (清版) 清・朱彝尊撰	一八	イ九	二六九
全閩詩話 一二卷 唐・中 清・鄭方坤編 (清版)	一〇	イ九	二七〇
帶經堂詩話 三〇卷・首一卷 同治一二 重刊 清・王士禎撰・張宗柟編 唐・大	一〇	イ九	二七二
耐冷譚 一六卷 唐・小 清・宋咸熙撰 (清版)	四	イ九	二七三
唐詩金粉 一〇卷 安永三 清・沈炳震編 和・中	六	イ九	二七四
鳧亭詩話 清・陶元藻撰 唐・大 (清版)	二	イ九	二七五
別集摘要 古賀煜稿 和・中	一	イ九	六三六

書名	冊	類	號
明治詩語碎金 檜崎隆存編 明治一一 和・小	四	イ九	二七九
養一齋詩話 一〇卷・附李杜詩話三卷 唐・小 清・潘德輿撰 (清版)	四	イ九	二七六
蘭言詩鈔 清・李瑞撰・穆騰註 光緒一二 重刊 唐・小	四	イ九	二七七
柳亭詩話 三〇卷(有補寫) 唐・大 清・宋長白撰 (清版)	六	イ九	二七八
◎			
飴山文集 一二卷・附錄一卷 乾隆三九 清・趙執信撰 唐・大	四	イ九	二八〇
怡志堂文初編 六卷 同治三・四 清・朱琦撰 唐・大	二	イ九	二八一
益壯圖記 第一冊 唐・大 清・黃璟撰 (清版)	一	イ九	二八三
烟嶼樓文集 四〇卷・首一卷 光緒元 清・徐時棟撰 唐・大	八	イ九	二八二
袁文箋正 一六卷 光緒一四 清・石韞玉撰 唐・小	二	イ九	二八四
鮚埼亭集 三八卷・首目各一卷・經史問答一〇卷・外編五〇卷・同目一卷 清・全祖望撰 唐・中 (清版)	三二	イ九	二八五
杏廬文鈔 八卷 唐・中 清・諸福坤撰 (清版)	三	イ九	二八六
玉芝堂文集 六卷 光緒八 清・邵齊燾撰 唐・小	二	イ九	二八七
御製文 初集三〇卷・目二卷・二集四二卷・目二卷 唐・大 清・高宗御撰 (清版)	二〇	イ九	二八八
顯志堂稿 一二卷 光緒二 清・馮桂芬撰 唐・大	八	イ九	二八九
三魚堂文集 一二卷・外集六卷・附錄一卷 康熙四〇 唐・大 清・陸隴其撰	八	イ九	二九〇
思詒堂文稾 清・金衍宗撰 同治五 唐・大	一	イ九	二九一
集虛齋學古文 一二卷 乾隆一九 清・方棨如撰 唐・大	四	イ九	二九二
思綺堂文集 清・章藻功撰 唐・大 (清版)	一〇	イ九	二九四

自娛集文稾 二卷 清・高蘭曾撰 道光二八 唐・小 冊四 イ九類 二九五號

小謨觴館文集 四卷 清・彭兆蓀撰 光緒六 重刊 唐・小 二 イ九 二九六

清芬樓遺藁 四卷 清・任啓運撰 光緒一四 唐・大 二 イ九 二九七

節齋遺稿 森田益撰 明治一五 和・大 二 イ九 二九八

潛研堂文集 五〇卷・目一卷 清・錢大昕撰 唐・中(清版) 一六 イ九 二九九

崇雅堂駢體文鈔 四卷・首一卷 清・胡敬撰 光緒二五 唐・中 二 イ九 三〇〇

增訂袁文箋正 四卷 清・魏大縉撰 唐・小(清版) 一 イ九 三〇一

息軒遺稿 安井衡撰 明治一一 和・中 四 イ九 三〇二

存研樓文集 初集一六卷 重刊 清・儲大文撰 光緒元 唐・大 八 イ九 三〇三

大雲山房文藁 二集八卷・言事二卷 清・惲敬撰 嘉慶二〇 唐・大 八 イ九 三〇四

大雲山房文鈔 清・惲敬撰・鈴木魯鈔 明治一一 和・中 二 イ九 三〇五

瀛園未定藁 六卷(有補寫) 清・姜宸英撰 唐・大(清版) 六 イ九 三〇六

忠雅堂文集 一二卷 清・蔣士銓撰 嘉慶二一 重刊 唐・大 六 イ九 三〇七

中洲文稿 二集六卷 三島毅撰 明治三一至三三 和・中 六 イ九 三〇八

陳檢討四六 二〇卷 清・陳維崧撰・程師恭註 乾隆三五 唐・大 六 イ九 三〇九

復初齋文集 三五卷・目一卷 清・翁方綱撰 唐・大(清版) 八 イ九 三一〇

問字堂集 六卷 清・孫星衍撰 光緒一〇 唐・大 二 イ九 三一一

文貞公集 一二卷 清・張玉書撰 乾隆五七 唐・大 六 イ九 三一二

方望溪先生全集 文集一六卷・集外文二〇卷・補遺二卷・年譜一卷 清・方苞撰・戴鈞衡編 唐・中(清版) 一六 イ九 三一三

墨花吟館輯志圖文詩 附・海外疊綠等 清・嚴辰撰・沈瑞琳畫 光緒一六 唐・大 冊一 イ九類 三一一號

茗柯文編 四編五卷 清・張惠言撰 唐・小(清版) 四 イ九 三一二

猶存遺稿 片山重範撰 明治三一 和・大 一 イ九 三一三

〇

湖海文傳 七五卷・目一卷 清・王昶編 道光一七 唐・大 一六 イ九 三一七

國朝古文所見集 一三卷 清・陳兆麒編 (天保一三) 唐・中 一 イ九 三一八

國朝常州駢體文錄 三一卷・附 結一宧駢體文 清・屠寄編 唐・大(清版) 八 イ九 三一九

國朝二十四家文鈔 二四卷 清・徐斐然編 道光一〇 唐・小 一〇 イ九 三二〇

國朝駢體正宗評本 一二卷・首一卷 清・姚燮撰 唐・小(清版) 六 イ九 三二一

古文辭類纂 七四卷・首一卷 清・姚鼐編 唐・大(清版) 一二 イ九 三二二

山左古文鈔 清・李景嶧・劉鴻翱編 唐・大(清版) 八 イ九 三二四

纂評唐宋八家文讀本 三〇卷・附八家小傳 井上揆撰 明治二一 和・中 一六 イ九 三二五

續古文辭類纂 三四卷・首一卷 清・王先謙編 唐・大(清版) 八 イ九 三二三

忠雅堂評選四六法海 八卷・首一卷 清・蔣士銓評選 唐・大 八 イ九 三二六

唐宋八大家文讀本 清・呂葆中編・關機點 明治九 和・大 一〇 イ九 三二七

八家四六 清・吳鼒鈔 唐・小(清版) 八 イ九 三二八

評本文章軌範 七卷 賴襄講義・中村鼎五校編 明治一一 和・中 三 イ九 三二九

文海指針 川田剛評・小藥昌造・日下寬編 明治九 和・中 一 イ九 三三〇

〇

絕海錄 中津撰 文化一二 和・大 三 イ九 三三一

文家金丹 清・魏禧撰・土屋弘編 明治一三 和・中 二 イ九 三三二

培遠堂手札節存 清・陳宏謀撰 同治一三 重刊 唐・大 三 イ九 三三三

賴古堂尺牘新鈔 二選二六卷・三選一六卷・目各一卷 清・周在梁等鈔 唐・大(清版) 一六 イ九 三三四

麗體金膏 八卷 清・馬俊良編 唐・小(清版) 八 イ九 三三五

◎

安雅堂集 六種 清・宋琬撰 唐・大(清版) 一六 イ九 三三六

詒晉齋集 八卷・後集一卷・隨筆一卷 清・成親王撰 唐・大(清版) 四 イ九 三三七

惟清齋全集 文鈔八卷・詩鈔九卷・年譜二卷 清・錢保撰 道光二 唐・大 一〇 イ九 三三八

印雪軒集 詩鈔一六卷・文鈔三卷・附錄一卷 清・俞鴻漸撰 同治一三至光緒二 唐・大 三 イ九 三四〇

隱拙齋集 詩集二二卷・文鈔六卷 清・沈廷芳撰 乾隆二二 唐・大 一〇 イ九 三四一

箕谷詩文集 三二卷 清・查揆撰 道光一五 唐・大 一〇 イ九 三四二

淵雅堂全集 詩二〇卷(有缺)・文二六卷(有缺)・外集七卷・續集三卷・附錄二種 清・王昙撰 唐・大(清版) 一五 イ九 三四三

煙霞萬古樓集 文六卷・詩二卷 清・王曇撰 光緒二一 唐・小(粵雅堂叢書本) 四 イ九 三四四

學福齋集 詩三七卷・首一卷・文二〇卷 清・沈大成撰 唐・大(清版) 一〇 イ九 三四五

花甲閒談 一六卷 清・張維屏撰・葉夢草畫 光緒一〇 洋・小 四 イ九 三四六

何氏集 二六卷 明・何景明撰 唐・大(清版) 四 イ九 三四七

看山閣集 清・黃圖珌撰 唐・中(清版) 五 イ九 三四八

寒支集 二集一二卷 清・李世熊撰 道光二〇 重印 唐・中 一二 イ九 三四九

鑑止水齋集 二〇卷・首一卷・附古春軒詩鈔二卷 清・許宗彥撰 唐・大(清版) 八 イ九 三五一

嘯蕉全集 文八卷・詩八卷・附喪禮詳考・周官隨筆 清・張義年撰 光緒一九 唐・大 六 イ九 三五〇

毅堂丙集 鷲津宣光撰 明治一三 重刊 唐・小 五 イ九 三五二

九谷集 六卷 清・方殿元撰 唐・大(清版) 四 イ九 三五一

居易堂集 二〇卷 清・徐枋撰 嘉慶一二 重刊 唐・大 九 イ九 三五三

唐堂集 五〇卷・補遺二卷・續八卷・附冬錄一卷 清・黃之雋撰 唐・大(清版) 一二 イ九 三五四

御覽集 清・葉志詵撰 道光元 唐・大 五 イ九 三五五

瞿忠宣公集 一〇卷 明・瞿式耜撰 光緒一三 重刊 唐・大 四 イ九 三五六

寧經室集 四集四〇卷・外集五卷・續集一一卷・再續集六卷 清・阮元撰 唐・大・(清版) 二四 イ九 三五七

兼濟堂集 二〇卷 清・魏裔介撰 唐・大(清版) 一〇 イ九 三五八

壺園集 七種二五卷 清・徐寶善撰 唐・大(清版) 一〇 イ九 三五九

湖海樓全集 四集五〇卷・首一卷 清・陳維崧撰 光緒一七至一九 重刊 唐・中 二〇 イ九 三六〇

古歡堂集 詩五卷・文三卷・附駢書三卷・長河志籍考一〇卷・年譜一卷 清・田雯撰 唐・大(清版) 一二 イ九 三六一

國子先生全集 文詩各一八卷・詞七卷・首一卷 清・金兆燕撰 嘉慶一二至道光一六 唐・大 一二 イ九 三六二

三松堂集 詩二六卷・目二卷・文四卷・目一卷 清・潘奕雋撰 同治九至一一 重刊 唐・大 八 イ九 三六三

山帶閣集 三三卷・附錄一卷・目一卷 明・朱曰藩撰 唐・大(明版) 六 イ九 三六四

蠶尾集 一〇卷・後集二卷 清・王士禎撰 唐・大(清版) 五 イ九 三六五

笥河集 詩集二〇卷・目一卷・文集一六卷・首一卷 清・朱筠撰 唐・大(清版) 一六 イ九 三六六

施愚山先生全集 文集二八卷・詩集五〇卷・文集七卷・別集四卷・附剩 圖詩集 清・施閏章撰 唐・大(清版) 二〇 イ九 三六七

春融堂集 六八卷・目一卷・年譜二卷・附襍記八種 清・王昶撰 光緒一八 重修 唐・大	二〇冊	イ類 九號	三六八		
尚絅堂集 詩集五二卷・詞集二卷・駢體文二卷・制藝一卷・試帖二卷・律賦一卷 清・劉嗣綰撰 同治七・八 重刊 唐・大	一四	イ	九	三六九	
蕉堅稿 一卷・附錄一卷 中津撰・慧巘編 和・大	二	イ	九	四一九	
小謨觴館全集 詩集八卷・續集二卷・附然二卷・文集四卷・續集二卷 清・彭兆蓀撰 唐・大 (清版)	六	イ	九	三七〇	
匠門書屋文集 三〇卷・目一卷 清・張大受撰 唐・大 (清版)	六	イ	九	三七一	
道遙遺稿 二編・附詠草・雜錄 中野重太郎撰 明治二八 和・中	二	イ	九	四三〇	
初月樓四種 二五卷 清・吳德旋撰 光緒九 唐・小	八	イ	九	三七二	
初月樓文鈔 一—四 初月樓文續鈔 五—六					
初月樓詩鈔 七 初月樓古文緒論 八					
附・程子香文鈔(程德齋) 八					
沈歸愚詩文全集 清・沈德潛撰 唐・大 (清版)	二四	イ	九	三七三	
矢音集 一 說詩晬語 一					
八秩壽詩 二 九秩壽詩 二					
黃山遊草 二 台山遊草 二					
南巡詩 二 浙江通省志圖說 二					
歸田集 三 年譜 四					
歸愚詩鈔 五—九 歸愚詩鈔餘集 一〇—一二					
歸愚詩餘 一三 歸愚文鈔 一三—二〇					
歸愚文鈔餘集 二一—二四					
沈寄廬詩文集 文集一六卷・詩集六卷 清・沈寓撰 乾隆一九 唐・大	一〇	イ	九	三七四	
遂初堂集 詩集一六卷・文集二〇卷・別集四卷 清・潘耒撰 唐・大 (清版)	一〇	イ	九	三七五	
西河文選一一卷 清・毛奇齡撰・汪霧等選評 唐・中 (清版)	六	イ	九	三七六	

清吟堂全集 一二種 清・高士奇撰 唐・大 (清版)	一二冊	イ類 九號	三七七		
清吟堂集 一 經通文藁 二					
竹窗詞 三 蔬香詞 三					
隨輦集 三—四 隨輦續集 五					
苑西集 五—六 城北集 七—八					
扈從東巡日錄 八 扈從西巡日錄 九					
獨旦集 九—一〇 歸田集 一一—一二					
世澤堂遺稿 清・多羅果敏貝勒撰 光緒一五 唐・大	三	イ	九	三七八	
西堂全集 一六種五五卷・附湘中草六卷 清・尤侗撰 唐・大 (清版)	二四	イ	九	三七九	
石笥山房集 文集六卷・補遺一卷・詩集三卷・補遺二卷・續補遺二卷・首一卷 清・胡天游撰 咸豐三 重刊 唐・大	一〇	イ	九	三八〇	
錢南園先生遺集 五卷 清・錢澧撰 光緒一九 重刻 唐・中	四	イ	九	三八一	
錢牧齋先生箋註杜工部集 二〇卷・首目各一卷・附錄一卷・年譜一卷 清・季振宜校 唐・大 (清版)	八	イ	九	三八二	
壯悔堂集 文集一〇卷・遺稿一卷・詩集六卷 清・侯方域撰 唐・大 (清版)	一二	イ	九	三八三	
藏密齋集 二卷 明・魏大中撰 唐・大 (明版)	一二	イ	九	三八四	
孫宇台集 四〇卷 (有缺) 清・孫治撰 唐・大 (清版)	五	イ	九	三八五	
孫淵如先生全集 詩錄一〇卷・文集一二卷・附長離閣集一卷 清・孫星衍撰 光緒一一・一二 唐・大	一〇	イ	九	三八六	
存悔齋集 二八卷・外集四卷 清・劉鳳誥撰 道光一〇 唐・大	八	イ	九	三八七	
存素堂集 文藁五卷・詩藁一三卷 清・錢寶琛撰 唐・大 (清版)	四	イ	九	三八八	
帶經堂集 七編九二卷 清・王士禎撰 唐・大 (清版)	三二	イ	九	三八九	
太師誠意伯劉文成公集 二〇卷・首一卷 明・劉基撰 光緒元 重修 唐・大	一六	イ	九	三九〇	
大梅山館集 詩問三卷・駢儷文榷一六卷・疎影樓詞五卷 清・姚燮撰 唐・中 (清版)	二四	イ	九	三九一	

託素齋詩文集 詩四卷・文六卷 清・黎士弘撰 唐・大 (清版)	一〇	イ	九	三九二	
天眞閣集 五四卷・外集六卷・附長眞閣集七卷 清・孫原湘撰 唐・大 (清版)	一六	イ	九	三九三	
銅鼓書堂遺藁 三二卷 清・查禮撰 唐・大 (清版)	四	イ	九	三九四	
道古堂集 文集四六卷・詩集二六卷 清・杭世駿撰 唐・大 (清版)	一六	イ	九	三九五	
道古堂全集 文集四八卷・詩集三六卷・集外文詩各一卷・疑事一卷 清・杭世駿撰 光緒一四 唐・大	一六	イ	九	三九六	
讀書堂綵衣全集 四六卷・首一卷 清・趙士麟撰 光緒一九 唐・大	一二	イ	九	三九七	
吞松閣集 四〇卷・目一卷 清・鄒虎文撰 嘉慶二四 唐・中	一二	イ	九	三九八	
白華前稿 六〇卷・目一卷 清・吳省欽撰 唐・大 (清版)	一〇	イ	九	四〇〇	
白華後稿 四〇卷・目一卷・年譜一卷 清・吳省欽撰 唐・大 (清版)	六	イ	九	四〇一	
曝書亭集 八〇卷・附錄二卷・目一卷・附笛漁小藁一〇卷 清・朱彝尊撰 光緒一五 唐・大	一六	イ	九	三九九	
板橋集 六編 清・鄭燮撰 唐・中 (清版)	四	イ	九	四〇三	
樊榭山房全集 一〇冊・附錄二冊 清・厲鶚撰 光緒一〇至一五 初・重刊 唐・大	一二	イ	九	四〇四	
盤洲詩文集 文集六卷・詩集二卷 清・周璠撰 唐・大 (清版)	四	イ	九	四〇三	
晚聞居士遺集 九卷・首一卷 清・王宗炎撰 唐・大 (清版)	六	イ	九	四〇五	
頻羅庵遺集 一六卷 清・梁同書撰 唐・大 (清版)	六	イ	九	四〇六	
復堂類集 四集一六卷 清・譚獻撰 唐・大 (清版)	八	イ	九	四〇七	
變雅堂詩文集 一四卷・附錄一卷 清・杜濬撰 同治九 唐・大	八	イ	九	四〇八	
變雅堂全集 六卷 清・杜濬撰 唐・大 (清版)	五	イ	九	四〇九	
寶綸堂集 一〇卷・拾遺一卷・首一卷 清・陳洪綬撰 光緒一四 重刊 唐・大	八	イ	九	四一〇	

牧齋有學集 五一卷・目一卷 清・錢謙益撰 唐・大 (清版)	一二	イ	九	四一一	
穆堂初藁 五〇卷 清・李紱撰 唐・大 (清版)	一六	イ	九	四一三	
補瓢存稿 六卷 清・韓騏撰 唐・大 (清版)	二	イ	九	四一三	
鳴鶴堂集 文集一〇卷・詩集一一卷 清・任源祥撰 光緒一五 重刊 唐・大	六	イ	九	四一四	
有懷堂文集 文藁二二卷・詩藁六卷 清・韓菼撰 唐・大 (清版)	八	イ	九	四一五	
有正味齋全集 詩集一六卷・續八卷・駢體文二四卷・續八卷・外集二卷・詞集八卷・續二卷・外集五卷 清・吳錫麒撰 唐・大 (清版)	二〇	イ	九	四一六	
有竹居集 一六卷・首一卷 清・任兆麟撰 嘉慶二四 唐・大	八	イ	九	四一七	
養一齋集 文集二〇卷・詩集四卷 清・李兆洛撰 光緒四至八 初・重刊 唐・大	一〇	イ	九	四一八	
畬經堂集 詩一五卷・文八卷 清・朱景英撰 唐・大 (清版)	八	イ	九	四一九	
賴古堂詩文全集 二四卷・目一卷 清・周亮工撰 乾隆二一 重刊 唐・大	八	イ	九	四二〇	
樂志堂全集 詩一二卷・文一八卷・文續二卷 清・譚瑩撰 咸豐九・一〇 唐・大	一二	イ	九	四二一	
樂善堂全集定本 三〇卷・目一卷・首末各一卷 清・高宗御撰 唐・大 (清版)	四	イ	九	四三三	
蘭韻堂集 詩一三卷・文六卷 清・沈初撰 乾隆五九至嘉慶二五 唐・大	八	イ	九	四三五	
李義山詩文集詳註 一一卷・首二卷 清・馮浩編 唐・大 (清版)	八	イ	九	四三三	
李義山詩文全集箋註 一一卷・首一卷 清・馮浩編 唐・大 (清版)	八	イ	九	四二四	
立誠堂詩文存 二卷 相馬肇撰 明治一八 和・中	一	イ	九	四三一	
臨野堂集 文集一〇卷・詩集三卷・詩餘三卷・尺牘三卷 清・鈕琇撰 唐・大 (清版)	五	イ	九	四三六	
嶺上白雲集 一二卷・附竄翁文鈔四卷 清・陸懋修撰 光緒一三 唐・大	四	イ	九	四三七	
棟亭集 詩集八卷・同別集四卷・詞鈔一卷・同別集一卷・文鈔一卷 清・曹寅撰 唐・大 (清版)	八	イ	九	四二八	

○

學海堂集 四集九〇卷 清・吳蘭修等編 道光五至光緒二一 唐・大 冊 四八 イ 九類 四三二號

蜀秀集 九卷 清・譚宗浚編 光緒五 唐・大 八 イ 九 四三三

續古文苑 二〇卷 清・孫星衍編 光緒九 唐・大 六 イ 九 四三四

同人集 一二卷・首一卷 明・冒襄編 道光五 重刊 唐・中 一二 イ 九 四三五

寧都三魏全集 五九卷・首一卷・附刻二四卷 清・謝庭綬刊 道光二五 重刊 唐・大 五〇 イ 九 四三六

魏伯子文集(清・魏際瑞) 一—六 附・魏興士文集(清・魏世傑) 七 二八—二九

魏叔子文集(清・魏禧) 八—二七 魏叔子詩集(同上) 三〇—三二 魏季子文集(清・魏禮) 三三—四三

附・魏昭士文集(清・魏世傚) 四四—四七 附・魏敬士文集(清・魏世儼) 四八—五〇

慕萊堂詩文徵存 九卷 清・李維翰編 唐・大 (清版) 四 イ 九 四三七

梁昭明文選六臣全註 六〇卷 汲古閣校 唐・大 (清版) 一六 イ 九 四三八

○

鍾情集 邨岡良弼編 明治三七 和・中 二 イ 九 四四〇

培風堂彙豔集 一二卷 明・孫懋昭編 唐・大 四 イ 九 四三九

◎

近科分韻館詩二集 九卷 清・王先謙原編 唐・小 (清版) 四 イ 九 四四一

薰風協奏集 三卷・首一卷 清・王又曾編・莊鳳纂註 唐・大 (清版) 四 イ 九 四四二

庚辰集 五卷・附唐人試律說一卷 清・紀昀編 唐・中 (清版) 六 イ 九 四四三

國朝元魁墨萃 順治乙酉至光緒丙戌 光緒一三 唐・小 一二 イ 九 四四四

紅雪樓九種曲 一名藏園九種曲 清・蔣士銓撰 唐・中 (清版) 一二 イ 九 四六〇

香祖樓 三—四

桂林霜 七

第二碑 九—一〇

冬青樹 一三

四絃秋

水滸後傳 四〇回 明治二六至二八 和・小 一二 イ 九 四七四

增補齊省堂儒林外史 六〇回 光緒一九 唐・小 四 イ 九 四七五

陶齋誌果 八卷 清・鄒官應編 光緒二六・重刊 唐・大 八 イ 九 四七六

品花寶鑑 六〇回 清・陳森書撰 唐・小 二四 イ 九 四七七

埋憂集 一〇卷・續集二卷 清・朱翊清撰 唐・小 (清版) 四 イ 九 四七九

妄妄錄 一二卷 清・朱海撰 道光一〇 唐・小 八 イ 九 四七八

夜雨秋燈錄 三集一二卷 清・宣鼎撰 光緒二二 唐・小 六 イ 九 四八〇

夜譚隨錄 一二卷 清・閑齋撰 光緒一三 唐・小 二 イ 九 四八一

聊齋志異評註 清・蒲松齡撰・王士禎評・呂湛恩註 同治五 唐・小 一六 イ 九 四八二

書畫金石

楹聯彙編 清・王棨商編 光緒二四 唐・小 八 イ 九類 四八三號

尾形流百圖 中野其明編 明治二五 再版 和・大 二 イ 九 四八四

館本十七帖 巖谷修摹 明治一五 唐・大 一 イ 九 四九四

江邨銷夏錄 三卷 清・高士奇編 唐・大 (清版) 六 イ 九 四八五

國朝畫識 一七卷・附墨香居畫識一〇卷 清・馮金伯編 道光一二 增補 唐・小 一二 イ 九 四八六

金剛般若波羅蜜經 宋・張即之書 摹刻・康熙四 唐・大 一 イ 九 四九五

草書淵海 井田臥溪編 (延寶三) 和・大 二 イ 九 四八七

孫虔禮書譜 唐・孫過庭撰・竝書 唐・大 (清摹刻) 唐・大 一 イ 九 四八八

段氏述筆法 清・段玉裁撰・松田元修書（明治一一）唐・大 | 一 | イ九類 | 四八九
桐陰論畫 三卷・續一卷・畫訣一卷・二編・三編各二卷 清・秦祖永撰 同治三至光緒八 唐・小 | 八 | イ九 | 四九〇
梅村壽筵圖錄 二卷・附壽筵生彩等 瓜生寅編 明治三六 唐・中 | 四 | イ九 | 四九一
墨林今話 一八卷・續編一卷 清・蔣寶齡撰 同治一一 唐・小 | 六 | イ九 | 四九二
蘭亭序 二種・附唐太宗告少林寺・大唐王居士甄塔銘 晉・王羲之書 唐・大（清摹刻） | 一 | イ九 | 四九八

〇

秦漢瓦當文字 一卷・續一卷 清・程敦撰 石印—光緒二〇 唐・大 | 三 | イ九 | 四九六
篆學瑣著 三〇種 清・顧湘校刊 道光二〇 唐・中 | 八 | イ九 | 四九七
論篆（唐・李陽氷）學古編（元・吾邱衍）篆學指南（明・趙宧光）續學古編（明・何震）印經（明・朱簡）篆剩十三略（清・袁三俊）敦好堂論印（清・吳先聲）印辨（清・高積厚）印斐說（晴・徐堅）古今印制（同上）古印考略（清・夏一駒）再續三十五擧（同上）印說（清・陳鍊）論印絕句（清・吳鼒編）印人傳（清・周亮工） | 一 | イ九 | 四九九
五十六種書法（唐・韋續）古今印史（明・徐官）印章集說（明・甘暘）印旨（明・程遠）印章要論（同上）印章考（清・方以智編）說篆（清・許容）印述（同上）六書緣起（清・孫光祖編）篆印發微（同上）續三十五擧（清・桂馥）重定續三十五擧（同上）印言（同上）印學管見（清・馮承輝）續印人傳（清・汪啓淑） | 一 | イ九 | 五〇〇
金陵癸甲摭談 明治二 和・小 | 二 | イ九 | 五〇八
國朝先正事略 六〇卷・目一卷 清・李元度編 同治五 唐・大 | 二四 | イ九 | 五〇九
國朝先正事略續編 四卷 清・朱孔彰編 光緒二六 唐・小 | 四 | イ九 | 五一〇
國朝兩浙科名錄 清・黃安綬編 咸豐七 唐・大 | 二 | イ九 | 五一一
姑蘇名賢小記 二卷 明・文震孟撰 光緒九 唐・大 | 一 | イ九 | 五一二
貳臣傳 一二卷 唐・中（清版） | 六 | イ九 | 五一四
貳臣傳 八卷・廣瀛謙校 和・小 | 八 | イ九 | 五一五
支那教學史略 三卷・狩野良知撰 光緒二八 唐・小 | 一 | イ九 | 五一六
十三日備嘗記 一卷・附事略附記一卷 清・曹晟撰 唐・小（清版） | 一 | イ九 | 五一三
昭代名人尺牘小傳 清・吳修編 唐・大（清版） | 二 | イ九 | 五一七
嘯亭雜錄 八卷・續錄二卷 清・愛新覺羅・昭槤撰 唐・小（清版） | 一〇 | イ九 | 五一八

史傳地理

王先生十七史蒙求 一六卷 宋・王令撰・岡崎元軌句讀 文政八 和・大 | 四 | イ九類 | 五〇一
鷗堂日記 三卷 清・周星譽撰 光緒一二 唐・小 | 一 | イ九 | 五〇二
鶴徵錄 八卷・後錄一二卷 清・李集輯・李富孫・李遇孫續輯 唐・大（清版） | 六 | イ九 | 五〇三
千八百六十年北支那戰爭記 三卷 英・スウィンホー記・箕作麟祥等譯（明治七） 和・小 | 一 | イ九 | 五〇四
熙朝新語 一六卷 清・余金編 道光四 唐・中 | 六 | イ九 | 五〇五
宜堂類編 二五卷 清・丁立中編 唐・中（清版） | 八 | イ九 | 五〇六
逆臣傳 四卷 唐・中（清版） | 二 | イ九 | 五〇七
金陵癸甲摭談 明治二 和・小 | 二 | イ九 | 五〇八
國朝先正事略 六〇卷・目一卷 清・李元度編 同治五 唐・大 | 二四 | イ九 | 五〇九
國朝先正事略續編 四卷 清・朱孔彰編 光緒二六 唐・小 | 四 | イ九 | 五一〇
國朝兩浙科名錄 清・黃安綬編 咸豐七 唐・大 | 二 | イ九 | 五一一
姑蘇名賢小記 二卷 明・文震孟撰 光緒九 唐・大 | 一 | イ九 | 五一二
貳臣傳 一二卷 唐・中（清版） | 六 | イ九 | 五一四
貳臣傳 八卷・廣瀛謙校 和・小 | 八 | イ九 | 五一五
支那教學史略 三卷・狩野良知撰 光緒二八 唐・小 | 一 | イ九 | 五一六
十三日備嘗記 一卷・附事略附記一卷 清・曹晟撰 唐・小（清版） | 一 | イ九 | 五一三
昭代名人尺牘小傳 清・吳修編 唐・大（清版） | 二 | イ九 | 五一七
嘯亭雜錄 八卷・續錄二卷 清・愛新覺羅・昭槤撰 唐・小（清版） | 一〇 | イ九 | 五一八
小腆紀年附攷 二〇卷 清・徐鼒撰 光緒一二 唐・大 | 一二 | イ九 | 五一九
進士題名碑錄 洪武至道光 唐・大（清版） | 一二 | イ九 | 五二〇
綏寇紀略 一二卷 清・吳偉業編 唐・大（清版） | 八 | イ九 | 五二一
聖武記 一四卷 光緒二四 唐・小 | 四 | イ九 | 五二三
增訂史記評林 一三〇卷（有缺）・首二卷 大鄉穆・伊地知貞馨點 明治一四 和・大 | 二六 | イ九 | 五二三
中東戰紀本末 米・林樂知撰・廣學會譯 光緒二二 唐・小 | 八 | イ九 | 五二四
中日戰輯 六卷・外題中東戰紀本末 清・王炳耀編 光緒二二 和・小 | 四 | イ九 | 五二五
東華錄 三二卷 清・蔣良騏撰 唐・中（清版） | 一六 | イ九 | 五二六
讀史贅議 二卷 齋藤馨撰（嘉永六） 和・大 | 一 | イ九 | 五二七
廿二史箚記 三六卷・補遺一卷 清・趙翼撰 文久元・二 和・中 | 一八 | イ九 | 五二八
日本國志 四〇卷・首一卷・續一四卷 清・黃遵憲編 光緒元・二四 唐・小 | 一〇 | イ九 | 五二九
藩翰譜 一二卷・首一卷 新井君美撰 寫本 和・大 | 一三 | イ九 | 五三〇
蓄山先生年譜 片山重範編 明治二三 和・中 | 一 | イ九 | 五三一
標題徐狀元補注蒙求校本 岡白駒箋註・佐々木珏標疏 和・大 | 三 | イ九 | 五三二
文獻徵存錄 清・錢林編 咸豐八 唐・大 | 一〇 | イ九 | 五三三
滿漢名臣傳 滿四八卷・漢三二卷 唐・小（清版） | 八〇 | イ九 | 五三四
明季南略 一八卷 清・計六奇編 唐・大（清版） | 一〇 | イ九 | 五三五
明季稗史彙編 烈皇小識等一六種 掃葉山房刊 唐・中（清版） | 一六 | イ九 | 五三六
明季北略 二四卷 清・計六奇編 唐・大（清版） | 一〇 | イ九 | 五三七
歷史綱鑑補 三九卷・首一卷・明・袁黃編・鵜飼信之點 寬文三 和・大 | 二〇 | イ九 | 五三八
郎潛紀聞 一四卷 清・陳康祺撰 光緒六 唐・大（舊雨草堂叢書本） | 二 | イ九 | 五三九
燕下鄉脞錄 一六卷 名郎潛二筆 清・陳康祺撰 光緒二一 唐・小（舊雨草堂叢書本） | 五 | イ九 | 五〇〇

〇

瀛壖雜志 六卷 清・王韜撰 唐・大（清版） | 二 | イ九 | 五四〇
海島逸誌 六卷 清・王大海撰 嘉慶一一 唐・小 | 四 | イ九 | 五四一
各國時事類編 一八卷 清・沈純編 光緒二一 唐・小 | 四 | イ九 | 五四二
俄游彙編 八卷 清・繆祐孫編 光緒二四 唐・小 | 六 | イ九 | 五四三
凝香室鴻雪因緣圖記 三集 清・麟慶撰 光緒一二 唐・小 | 六 | イ九 | 五四五
航海述奇 四卷 清・張德明撰 唐・小（清版） | 二 | イ九 | 五四四
湖山便覽 一二卷 清・翟灝・翟瀚編 光緒元 重刊 唐・小 | 六 | イ九 | 五四六
吳門畫舫錄 二卷・續錄六卷 清・西溪山人編 嘉慶一九 唐・中 | 四 | イ九 | 五四七
棧雲峽雨日記 井詩草 三卷・附錄一卷 竹添進一郎撰 明治一二 和・中 | 三 | イ九 | 五四八
使俄草 八卷 清・王之春撰 光緒二一 唐・小 | 六 | イ九 | 五四九
出使英法義比四國日記 六卷 清・薛福成編 光緒一八 唐・小 | 三 | イ九 | 五五〇
出使美日祕崔日記 一六卷 光緒二〇 唐・大 | 一二 | イ九 | 五五一
盛京通志 四八卷（有缺）・首一卷 清・王河等編 唐・大（乾隆版） | 一〇 | イ九 | 五五二
赤溪雜志 二卷・附霞城唱和集一卷 清・金武祥撰 光緒一七 唐・小（粟香室叢書本） | 一 | イ九 | 五五三
臺灣府噶瑪蘭廳志 八卷 清・陳友松編・姚瑩等訂 咸豐二 唐・大 | 八 | イ九 | 五五四

談瀛錄 六卷 清・袁祖志撰 光緒一七 唐・小 二冊 イ九類 五五五號
淡水廳志 一六卷 清・陳培桂編 同治一〇 唐・大 八 イ九 五五六
帝京歲時紀勝 末尾缺 清・潘榮陛撰 唐・中 四 イ九 五五七
肥前風土記 荒木田久老校點 (寬政一一) 和・大 一 イ九 五六一
揚州畫舫錄 一八卷 繪入 清・李斗撰 唐・中 (清版) 六 イ九 五五八
灘江雜記 一卷・附灘江游草一卷 清・金武祥撰 光緒二三 唐・小 一 イ九 五五九

叢書雜纂

甌北雜著 清・趙翼撰 唐・中 四 イ九 五六三
簷曝雜記 一 皇朝武功紀盛 二
甌北詩話 三—四
甌北全集 七種・附傳等 清・趙翼撰 唐・中 (清版) 六六 イ九 五六四
求是齋雜著 五種 清・彭崧毓撰 唐・大 (清版) 六 イ九 五六六
山中懷往詩 一 雲南風土紀事詩 二
緬述(附・緬甸風土詩) 三 漁舟記談 四—五
漁舟續談 六
杭氏七種 清・杭世駿撰 咸豐元 重刊 唐・小 六 イ九 五六八
石經考異 一 諸史然疑 一
兩漢蒙拾 二—三 晉書補傳贊 三
文選課虛 四—五 續方言 五
榕城詩話 六
香蘇山館全集 清・吳嵩梁撰 唐・大 (清版) 一二 イ九 五六九
香蘇山館古體詩集 一—三 香蘇山館今體詩集 四—六
香蘇山館文集 七 石溪舫詩話 七
增修鶩湖書田志 八 聽香館叢錄 九
表忠錄 一〇 東鄉風土記 一〇
粵遊日記 一〇 香蘇草堂圖詠 一一
秦淮春泛圖詠 一一 拜梅圖詠 一一
廬山紀遊圖詠 一一 武夷紀遊圖詠 一一
蓮花博士圖詠 一一 鶴聽詩圖詠 一一
新田十憶圖詠 一三
洪北江先生遺集 卷一至八七・二一九至二二一・年譜一卷 清・洪亮吉撰・洪用懃校刊 唐・大 (清版) 三三冊 イ九類 五七〇號
卷施閣集 二—一五 更生齋集 一六—二七
附鮚軒詩 二八—二九 更生齋詩餘 三〇
擬兩晉南北史樂府 三一 唐宋小樂府 三一
北江詩話 三二 遣戍伊犁日記 三三
天山客話 三三 外家紀聞 三三
左海全集 一〇種 清・陳壽祺撰 唐・大 (清版) 二四 イ九 五七一
左海文集 一—八 絳跗草堂詩集 九—一〇
左海文集乙編 一一—一二 五經異義疏證 一三—一五
左海經辨 一六—一八 尚書大傳定本 一九—二〇
洪範五行傳 二一—二二 東越儒林後傳 二三
東越文苑傳 二三 東觀存藁 二四
趣園八種 清・蔡丕撰 光緒一八 唐・小 六 イ九 五七二
趣園紀事 一 趣園稽古 二—三
趣園詩話 四 趣園志異 四
趣園問答篇 四 趣園見聞錄 五
趣園蓬蹤吟 五 趣園益智集 六
春草堂三種 九卷 清・謝堃撰 光緒六 唐・小 六 イ九 五七三

書畫所見錄 一—二 金玉瑣碎 三
雨牕寄所記 四—六
惜抱軒全集 一四種 清・姚鼐撰 同治五 重刊 唐・大 一六 イ九 五七六
惜抱軒文集 一—三 惜抱軒文後集 四—五
惜抱軒詩集 六—七 惜抱軒詩後集 八
惜抱軒外集 八 惜抱軒法帖題跋 八
左傳補注 八 公羊傳補注 八
國語補註 八 穀梁傳補注 八
惜抱軒筆記 九—一〇 惜抱軒九經說 一一—一三
五言今體詩鈔 一四—一五 七言今體詩鈔 一六
曾文正公全集 一八〇卷・附錄二種・首一冊 清・曾國藩撰 光緒一四 唐・小 五四 イ九 五七九
曾文正公奏稿 一—一〇 十八家詩鈔 一一—二〇
經史百家雜鈔 二一—二八 經史百家簡編 二九
鳴原堂論文 三〇 曾文正公詩集 三〇
曾文正公文集 三一—三二 曾文正公書札 三三—四〇
曾文正公批牘 四一—四二 曾文正公雜著 四三
求闕齋讀書錄 四四—四五 求闕齋日記類鈔 四六
曾文正公年譜(清・黎庶昌編) 四七—四八 孟子要略 四八
曾文正公家書 四九—五二 曾文正公家訓 五三
曾文正公榮哀錄 五三 曾文正公大事記(清・王定安) 五四
亭林遺書 二三種・附錄三種 清・顧炎武撰・席威・朱記榮編 光緒一四 唐・大 二〇 イ九 五八〇
陸雲士雜著 四種 清・陸次雲撰 唐・大 (清版) 八 イ九 五八一
八紘譯史 一—三 澄江集 四
北墅緒言 五—七 玉山詞 八
附・湖壖雜紀 八
鹿洲全集 七種四二卷 清・藍鼎元撰 同治四 重刊 唐・小 二〇 イ九 五八四
鹿洲初集 一—一〇 鹿洲公案 一一
東征集 一二—一三 平臺紀略 一四
脩史試筆 一五—一六 棉陽學準 一七—一八
女學 一九—二〇
鹿洲全集 七種四一卷 清・藍鼎元撰 唐・大 (清版) 一八 イ九 五八五

○

王香園叢書 第一集三種 加藤淵編校 (文政一一) 唐・中 二 イ九 五六二
二十四詩品(唐・司空圖) 一 雲溪友議(唐・范攄) 一
蓮坡詩話(清・查爲仁) 二
觀自得齋叢書 二三種・別集六種 清・徐士愷輯訂 唐・大 (清版) 二四 イ九 五六五
巾箱小品 一三種 唐・小 四 イ九 五六七
隨園三十種 清・袁枚編 唐・小 (清版) 八〇 イ九 五七四
西泠五布衣遺箸 一四種 清・丁丙編刊 唐・大 (清版) 九 イ九 五七五
臨江鄉人詩(吳穎芳) 一 臨江鄉人集拾遺(同上) 二
硯林詩集(丁敬) 三 硯林集拾遺(附・三丁詩文拾遺)(同) 四
硯林印款(同上) 五 冬心先生集(金農) 五
冬心先生續集(同上) 六 冬心集拾遺(同上) 六
冬心先生三體詩(同上) 七 冬心先生自度曲(同上) 七
冬心先生雜著(同上) 七 冬心先生隨筆(同上) 八
柳洲遺稾(魏之琇) 八 冬花庵燼餘藁(奚岡) 九
說鈴 三七種・後集一六種 清・吳震方編 道光五 重刊 唐・小 三二 イ九 五七七
同 三二 イ九 五七八
藏說小萃 七種 明・李貫之編 光緒一四 唐・小 (粟香室叢書本) 一 イ九 五九六

公餘日錄(明・湯沐)
水南翰記(明・張袞)
暖姝由筆(明・徐充)
戒庵漫筆(明・李詡)
宦遊紀聞(明・張誼)
存餘堂詩話(明・朱承爵)
延州筆記(明・唐覲)

蕺話 抄錄一九種 朝鮮寫本 和・大 三冊 イ九類 二七一號

補閑集(高麗・崔滋) 一
慵齋叢話(朝鮮・成俔) 一
破閑集(朝鮮・李仁老) 一
龍泉談寂記(朝鮮・金安老) 一
霽湖詩話(朝鮮・梁慶遇) 二
山中獨語(朝鮮・申欽) 二
海東野言 二
晴窗軟談(朝鮮・申欽) 三
松溪漫錄(朝鮮・權應仁) 三
芝峰類說(朝鮮・李睟光) 三
鶴林玉露(宋・羅大經) 一
靑坡劇談(朝鮮・李陸) 一
謏聞瑣錄(朝鮮・曹伸) 一
五山說林(朝鮮・車天輅) 二
詩人玉屑(朝鮮・黃玉林) 二
秇苑詩話(朝鮮・李再榮) 二
天中記 二
思齋摭言(朝鮮・金正國) 三
稗官雜記(朝鮮・魚叔權) 三

靈鶼閣叢書 六集(有缺) 唐・中 (清版) 清・江標編 三九 イ九 五八二

黎氏一家稿 一四種 唐・大 一〇 イ九 五八三

夢餘筆談(清・黎安理) 一
石頭山人遺稿(清・黎愷) 一
琴洲詞(同上) 二
雪鴻詞(同上) 四
千家詩注(清・黎恂編) 六
蔚煙亭詞(同上) 八
靑田山廬詞鈔(同上) 九
長山公自書年譜(同上) 一
慕耕草堂詩鈔(清・黎庶燾) 二
椒園詩鈔(清・黎庶蕃) 三—四
蛉石齋詩鈔(清・黎恂) 五
侍雪堂詩鈔(清・黎兆勳) 七—八
靑田山廬詩鈔(清・莫庭芝) 九
丁亥入都紀程(清・黎庶昌) 一〇

◎

因樹屋書影 一〇卷 雍正三 重刻 清・周亮工撰 唐・大 六 イ九 五八六

援鶉堂筆記 五〇卷・栞誤・同補遺附 道光一五 唐・大 清・姚範撰 一六冊 イ九類 五八七號
寄園寄所寄 一二卷 唐・大 清・趙吉士編 (清版) 一六 イ九 五八八
居易錄 二九卷 唐・大 清・王士禎撰 (清版) 一〇 イ九 五八九
香祖筆記 一二卷 唐・大 清・王士禎撰 (清版) 六 イ九 五九〇
穀山筆麈 一八卷 唐・大 明・于愼行撰 (明版) 四 イ九 五九一
五雜組 一六卷 寬政七 補刻 明・謝肇淛撰 和・中 八 イ九 五九二
茶餘客話 一二卷 唐・小 清・阮葵生撰 (清版) 四 イ九 五九三
松煙小錄 二卷 (光緒一三) 清・汪琼撰 唐・小 一 イ九 五九四
水曹淸暇錄 一六卷 唐・大 清・汪啓淑撰 (清版) 五 イ九 五九五
栗香五筆 五卷 唐・小 清・金武祥撰 (清版) 三 イ九 五九七
對山書屋墨餘錄 一六卷 同治九 清・毛祥麟撰 唐・小 八 イ九 五九八
湛園札記 清・姜宸英撰 唐・小 (清版) 四 イ九 五九九
池上草堂筆記 六卷・續・三・四錄各六卷 唐・小 (清版) 清・梁恭辰撰 八 イ九 六〇〇
池北偶談 二六卷 唐・大 清・王士禎撰 一〇 イ九 六〇一
鐵槎山房見聞錄 一二卷 唐・小 (清版) 清・于克襄撰 六 イ九 六〇二
桐陰淸話 八卷 唐・小 清・倪鴻撰 (清版) 四 イ九 六〇三
日知錄集釋 三二卷・栞誤正續各二卷附 唐・小 (清版) 清・黃汝成撰 一六 イ九 六〇四
庸盦筆記 清・薛福成撰 光緒二三 唐・中 六 イ九 六〇五
李卓吾批點世說新語補 二〇卷 元祿七 明・張文柱校注 唐・大 一〇 イ九 六〇六

兩般秋雨盦隨筆 八卷 唐・小 清・梁紹壬編 (清版) 四 イ九 六〇七

雜

首書 易經集註 宋・朱熹撰・松永昌易標註 享保九 和・大 一二 イ九 六〇八
科名故實二書 述聞一六卷・載筆二〇卷 唐・大 (清版) 清・法式善編 一二 イ九 六一九
諫止中東和議奏疏 香港書局刊 光緒二一 唐・小 四 イ九 六二〇
魏武帝註孫子 三卷 (寶曆一四) 岡白駒校 和・大 一 イ九 六一三
貢舉考略 明二卷・國朝四卷 光緒五 重刊 唐・中 清・黃崇蘭編 六 イ九 六二一
國朝學案小識 一四卷・首末各一卷 光緒一〇 重刊 唐・中 清・唐鑑撰 一二 イ九 六一四
國朝漢學師承記 八卷・附國朝宋學淵源記・附錄各一卷 光緒二一 唐・小 清・江藩編 三 イ九 六一五
胡文忠公遺集 八六卷・首一卷 同治六 唐・中 清・胡林翼撰・鄭敦謹・曾國荃編 二四 イ九 六二二
詩經集註 宋・朱熹撰・松永昌易標註 寬政三 再刻 和・大 八 イ九 六〇九
述學 六卷 同治八 清・汪中撰 重刊 唐・大 二 イ九 六一〇
春秋左氏傳校本 三〇卷 明治四 秦鼎撰 三刻 和・大 一五 イ九 六一一
測字祕訣 一名測字祕牒 唐・小 (清版) 一 イ九 六一六
中倭戰守始末記 四卷・附中俄交涉・中法交涉 唐・小 (清版) 四 イ九 六二三
天文本單經論語校勘記 清・葉德輝撰 光緒二八 唐・大 一 イ九 六一二
東宮勸讀錄 一卷・附錄一卷 慶應四 和・大 宋・楊萬里撰・天章校 二 イ九 六二四
東槎紀略 清・姚瑩撰 唐・小 (清版) 二 イ九 六二五
童蒙先習 朝鮮・朴世茂撰 和・大 (朝鮮本) 一 イ九 六一七

萬國公法 四卷 慶應元 和・大 米・惠頓撰・丁韙良漢譯 六 イ九 六二六
百二漢鏡齋祕書四種 唐・中 清・程芝雲校 (清版) 四 イ九 六一八

火珠林 一
祕授命理須知滴天髓 三
靈棋經 二
測字祕牒 四

○

韻府一隅 一六卷 (文化一〇至文政一二) 清・顏懋功編・渡邊昶・中井豐民校 和・大 二 イ九 六二七
淵鑑類函 四五〇卷・目四卷 唐・中 (清版) 清・張英等編 二〇〇 イ九 六二八

天部 二—五
地部 一一—一八
后妃部 二八—二九
帝戚部 三〇
封爵部 五七—五八
禮儀部 七三—八五
文學部 八九—九六
邊塞部 一〇六—一一一
釋敎部 一四三—一四四
靈異部 一四六—一四七
巧藝部 一四八—一五一
洲郡部 一五二—一五五
產業部 一六一—一六二
珍寶部 一六四—一六五
儀飾部 一六六—一六七
器物部 一七四—一七五
車部 一七六
五穀部 一七九—一八〇
菜蔬部 一八〇
歲時部 六—一〇
帝王部 一九—二七
儲宮部 二九
設官部 三一—五六
政術部 五九—七二
樂部 八五—八八
武功部 九六—一〇六
人部 一一一—一四三
道部 一四五—一四六
方術部 一四七
京邑部 一五一—一五二
居處部 一五五—一六一
火部 一六三
布帛部 一六五—一六六
服飾部 一六八—一七四
舟部 一七六
食物部 一七七—一七九
藥部 一八〇
果部 一八一—一八二

花部 一八三 草部 一八四—一八五
木部 一八五—一八七 鳥部 一八七—一九一
獸部 一九二—一九五 鱗介部 一九六—一九八
蟲豸部 一九八—二〇〇 目錄

欽定四庫全書簡明目錄 二〇卷 清・于敏中等撰 四冊 イ九類 六二九號
欽定四庫全書總目提要 二〇〇卷・首目各一卷・附四庫未收書目提要五卷 清・紀昀等撰 光緒二〇 唐・小 二〇 イ九 六三〇
康熙字典 四二卷 道光七 清・張玉書等撰 重刊 唐・小 三二 イ九 六三一
攷正字彙 二卷 唐・小 (清版) 一 イ九 六三二
書目答問 清・張之洞撰 唐・小 (清版) 二 イ九 六三三
讀書敏求記 清・錢曾撰 唐・中 (清版) 四 イ九 六三四
佩文韻府 一〇六卷 清・張玉書等編 明治一七 和・中 九四 イ九 六三五

一二 下村文庫

哲學

五經 明・莊祿刊 弘治九 唐・大 八冊 イ三類 一五號
五經大全 一〇九卷・首六卷 和・大 (明版) 明・胡廣等撰 五〇 イ三 一六
四書講義困勉錄 三七卷附錄一卷・續六卷 清・大 (清版) 陸隴其撰 一二 イ三 一七
四書大全 三八卷 和・大 明・胡廣等撰 (官板) 二二 イ三 一八
四書大全 一八卷 唐・大 明・胡廣等撰・周士顯校 (明版) 一八 イ三 一九
四書徵 增訂 一二卷 唐・大 (明版) 明・王夢簡編 一〇 イ三 二〇
十三經註疏 三三四卷・附周易晉義一卷 唐・大 (明版) 一三〇冊 イ三類 二號
十三經注疏 新刻 三三卷・附孟子題辭解一卷 唐・孔穎達等撰・汲古閣刊 崇禎元至一二 唐・大 八七 イ三 三
春秋繁露註釋大全 諸大名家合訂 一七卷・首卷附錄各一卷 明・孫鑛評釋 唐・大 (明版) 一 イ三 三三
性理大全 新刊 七〇卷・首一卷 明・胡廣等撰 嘉靖三二 唐・大 二〇 イ三 三五
錢子測語 明・錢琦撰 唐・大 (明版) 二 イ三 三六
善誘文 宋・陳錄編 和・大 (古活字版) 一 イ三・＊一四
六經圖 宋・楊甲撰 明代宋板摹刻 唐・大 六 イ三 二四

文學

夷堅志 新訂增補 唐・大 五〇卷 (有補寫)・目一卷 宋・洪邁撰・明・鍾惺增評 (明版) 一三 イ三 四六
山中一夕話 七卷・新集七卷 一名閑卷一笑 明・李贄編・笑笑先生增訂 唐・大 (明版) 六 イ三 四七
紫薇詩話 宋・呂本中撰 唐・大 (全唐詩話ノ附錄) 一 イ三 四八
石倉十二代詩選 宋詩卷三二至六九 明・曹學佺編 唐・大 (明版) 一〇 イ三 四九
全唐詩話 六卷(內二卷缺)・附紫薇詩話 宋・尤袤編 唐・大 (明版) 二 イ三 四三
大備對宗 一九卷・目一卷 明・張士俊編 唐・中 (清版) 一〇 イ三 三六
太平廣記 五〇〇卷・(內卷二二以前缺) 宋・李昉等撰・明・許自昌校 唐・大 (明版) 三八 イ三 四八
唐詩解 五卷(內一七卷補寫)・閻里一卷・目一卷 明・唐汝詢選釋 唐・中 (明版) 二〇 イ三 四三
唐詩十集 彙編 四卷・目七卷 明・唐汝詢原編・清・蔣漢紀增釋 康熙二九 唐・大 一七 イ三 四四
白沙子全集 九卷・首冊附錄各一卷 明・陳獻章撰 萬曆四〇 重刻 唐・大 一〇 イ三 三七
文苑彙雋 二四卷・目一卷 明・孫丕顯編 唐・大 (明版) 一八 イ三 三八

文稿 明・曹學佺撰 和・大 (朝鮮本) 一 イ三 一〇二
萬葉集代匠記 初稿本 契沖撰 寫本 和・大 三〇 イ三 三五
李氏續焚書 卷二至五 唐・大 (明版) 明・李贄撰 一 イ三 三九
李杜全集 四七卷 唐・大 明・許自昌校 (明版) 一六 イ三 四〇
列朝詩集 閏集六卷 (乾集二卷・申集前編一卷・申集二卷・乙集八卷・丙集二六卷・有缺)・丁集一六卷・(補寫) 清・錢謙益編 唐・大 (清版) 四四 イ三 四五

歷史

魏書 一四卷・目一卷 (有補寫) 北齊・魏收撰・明・馮夢禎・黃汝良校 萬曆二四 唐・大 二四 イ三 五二
金史 一三五卷・目二卷 元・托克托等撰・明・張邦奇・江汝璧校 嘉靖八 唐・大 二〇 イ三 五三
元史 二一〇卷 (有補寫)・目二卷 明・宋濂等撰 嘉靖一〇 唐・大 五〇 イ三 五三
後漢書 三〇卷・目一卷 宋・范曄・晉・司馬彪撰・明・吳勉學校 唐・大 (明版) 一二 イ三 五四
五代史記 七四卷 (末尾闕) 一名五代史 宋・歐陽修撰・明・余有丁・周子義校 萬曆三 唐・大 六 イ三 五五
三國志 六五卷・目三卷 晉・陳壽撰・明・馮夢禎等校 萬曆二四 和・大 一二 イ三 五六
史記評林 一三〇卷・首目各一卷 明・凌稚隆編・李光縉補 唐・大 (明版重刊) 二四 イ三 五七
同 新註 資治通鑑 二九四卷・後附釋文辯誤一二卷 宋・司馬光編・元・胡三省音註・明・吳勉學校 唐・大 (明版) 一〇〇 イ三 五九
周書 五〇卷・目一卷 唐・令狐德棻等撰・明・趙用賢・余孟麟校 萬歷一六 唐・大 一〇 イ三 六一
晉書 一三〇卷・(載記三〇卷缺)目一卷 唐・房玄齡等撰 (明版) 三〇 イ三 六二
晉書 一三〇卷・目一卷 音義三卷 唐・房玄齡等撰・志村楨幹・荻生雙松校點 元祿一四・一五 和・大 五三 イ三 六三
隋書 八五卷・目一卷 唐・魏徵等撰・明・季道統校 萬曆二三 唐・大 二〇 イ三 六四

前漢書 一〇〇卷・目一卷 漢・班固撰 唐・大 (明版) 二四 イ三 六五
先代舊事本紀 七二卷 (有補寫)・首目各一卷 一名大成經 潮音撰 延寶七 和・大 七三 イ三 五〇
宋史 四九六卷 (有補寫)・目三卷 元・托克托等撰 嘉靖三六 唐・大 一三〇 イ三 六六
宋書 一〇〇卷・目一卷 梁・沈約撰・明・方從哲等重校刊 萬曆二六 唐・大 二二 イ三 六七
藏書 六八卷 (內卷五五以下缺)・目一卷・續二七卷・目一卷 明・李贄撰 唐・大 (明版) 二六 イ三 六八
續資治通鑑 六四卷 一名宋元資治通鑑 明・王宗沐編 唐・大 (明版) 二〇 イ三 六〇
陳書 三六卷・目一卷 唐・姚思廉撰・明・趙用賢・余孟麟校 萬曆一六 唐・大 六 イ三 六九
通俗二十一史 和・大 一七三 イ三 七〇
通俗列國志十二朝軍談 (李下散人) 一—一九
通俗列國志 (清地以立) 一〇—一二 通俗列國志吳越軍談 (同上) 三三—三〇
通俗漢楚軍談 (夢梅軒章峯等) 三—六 通俗兩漢紀事 (稱好軒徹菴) 三九—四八
通俗三國志 (湖南文山) 四九—五五 通俗續三國志 (中村昂然) 七六—八七
通俗續後三國志 (尾田玄古) 八八—九六 續後通俗三國志後編 (同上) 九七—一〇五
通俗南北朝梁武帝軍談 (長崎一鶚) 一〇四—一〇七
通俗北魏南梁軍談 (同上) 一〇八—一一三
通俗唐太宗軍鑑 (夢梅軒章峯) 一一四—一二九
通俗唐玄宗軍談 (中村昂然) 一三〇—一三六
通俗通鑑五代軍談 (毛利瑚珀) 一三七—一三九
通俗宋史太祖軍談 (尾陽舍松下氏) 一三九—一四二
通俗兩國志 (入江兼通) 一四二—一五一 通俗皇明英烈傳 (岡島玉成) 一五一—一五六
明清軍談國姓爺忠義傳 一五七—一六一 通俗戰國策 (毛利瑚珀) 一六一—一七〇
通俗臺灣軍談 (上坂兼勝) 一七一—一七三
通鑑直解 二八卷・目一卷 唐・大 (明版) 明・張居正編・鍾惺重訂 六 イ三 七一
唐書 二二五卷・目二卷 唐・大 (明版) 宋・歐陽修・宋祁撰 四〇 イ三 七二

書名	冊	類	號
南史 八〇卷・目一卷 唐・李延壽撰・明・趙用賢・張一桂校 萬暦一七至一九 唐・大	二〇	イ一三	七三
南齊書 五九卷・目一卷 梁・蕭子顯撰・明・趙用賢・張一桂校 萬暦一七 唐・大	一二	イ一三	七四
廿二史纂略 六卷 清・郭夷恒編 乾隆一四 唐・大	二	イ一三	七五
北史 一〇〇卷・目一卷 唐・李延壽撰・明・鄧以讚・劉應秋校 萬暦一九至二一 唐・大	四〇	イ一三	七六
北齊書 五〇卷・目一卷 唐・李百藥撰・明・趙用賢・張一桂校 萬暦一六 唐・大	一〇	イ一三	七七
明朝紀事本末 八〇卷・目一卷 清・谷應泰編 唐・大 (清版)	四〇	イ一三	七八
遼史 一一六卷・目一卷 元・托克托等撰・明・張邦奇・江汝璧校 嘉靖八 唐・大	八	イ一三	七九
梁書 五六卷・(有補寫)目一卷 唐・姚思廉撰・明・余有丁・周子義校 萬暦三 唐・大	九	イ一三	八〇

地理

書名	冊	類	號
雲南通志 一七卷 明・李元陽編 唐・大 (明版)	二四	イ一三	八五
河南通志 五〇卷 清・賈漢復等編 唐・大 (清順治版)	二四	イ一三	八六
廣西通志 四〇卷 清・吳興祚等編 唐・大 (清康熙版)	四〇	イ一三	八七
廣東通志 三〇卷・圖一卷 清・金光祖等編 唐・大 (清康熙版)	三二	イ一三	八八
貴州通志 三七卷 清・衞既齊等編 唐・大 (清康熙版)	二〇	イ一三	八九
畿輔通志 四六卷・首一卷 清・于成龍等編 唐・大 (清康熙版)	三二	イ一三	九〇
江西通志 一六二卷・首三卷 清・謝旻等編 唐・大 (清雍正版)	八〇	イ一三	九一
江南通志 七六卷 清・王新命等編 唐・大 (清康熙版)	四〇	イ一三	九二
湖廣通志 八〇卷・圖考一卷 清・徐國相等編 唐・大 (清康熙版)	四〇	イ一三	九三
山西通志 三二卷 清・穆爾賽等編 唐・大 (清康熙版)	三六	イ一三	九四
山東通志 六四卷 清・趙祥星等編 唐・大 (清康熙版)	二四	イ一三	九五
四川總志 三六卷・圖一卷 清・羅森等編 唐・大 (清康熙版)	四〇	イ一三	九六
十五通志全圖 寫本 和・大	一折	イ一三	八三
浙江通志 五〇卷・首一卷 清・施維翰等編 唐・大 (清康熙版)	四〇	イ一三	九七
陝西通志 三二卷・圖一卷 清・賈漢復等編 唐・大 (清康熙版)	五六	イ一三	九八
大明一統志 九〇卷・目一卷 明・李賢等撰 唐・大 (重刻明版)	二四	イ一三	八四
福建通志 六四卷 清・鄭開極等編 唐・大 (清康熙版)	四〇	イ一三	九九

雜

書名	冊	類	號
諧聲品字箋 缺本 清・虞德升撰 唐・大 (清版)	一三	イ一三	三一
勸戒全書 一二卷・(內卷五至七缺) 明・陳智錫編 唐・大 (明版)	八	イ一三	二九
康熙字典 一二集・附總目外五種 清・張玉書等撰 唐・中 (清版)	四〇	イ一三	三二
古今源流至論 新刊箋註決科 前後續集三〇卷・別集一〇卷(宋・黃履翁) 宋・林駉撰 萬暦一八 唐・中	四	イ一三	九
古今萬姓統譜 一四〇卷・目一卷・附帝王姓系六卷・氏族博攷一四卷 明・凌迪知編・鵜飼敬順點 延寶九 和・大	八一	イ一三	八一
古今祕苑 一五卷・續錄一三卷 墨磨主人編 唐・小 (清版)	四	イ一三	一〇
古今法書苑 七六卷・目一卷 明・王世貞編・王乾昌校 寫本 和・大	四〇	イ一三*	四九
三才圖會 一〇六卷 明・王圻・王思義編 唐・大 (明版)	八〇	イ一三	一
山堂肆考 五集二二八卷・補遺一二卷 明・彭大翼編・張幼學增 唐・大 (明版)	六〇	イ一三	二
字彙 四集 清・性懐重訂 唐・小 (清版)	四	イ一三	三四
事物紀原 一〇卷・目一卷(有補寫) 宋・高承撰・明・閻敬校 正統一二 唐・大	六	イ一三	三

書名	冊	類	號
徐氏筆精 八卷・目一卷 明・徐𤊹撰 唐・中 (明版)	四	イ一三	一
西河合集 一一七種 清・毛奇齡撰 唐・大 (清版)	一二〇	イ一三	五
說郛 一二〇卷・續四六卷・目各一卷 元・陶宗儀編・(續)清・陶珽編 唐・大 (明版)	一六〇	イ一三*	六
太上感應篇經傳 唐・大 (明版)	一	イ一三	三〇
檀几叢書 三集一〇二卷 清・王晫・張潮編 唐・中 (清版)	一六	イ一三	七
唐類函 二〇〇卷・目二卷 明・兪安期編・徐顯卿校 唐・大 (明版)	八〇	イ一三	四
萬寶全書 採精便覽 三五卷 明・艾南英編 唐・大 (明版)	八	イ一三	三
文獻通考 三四八卷(有補寫)・首目各一卷 宋・馬端臨撰 唐・大 (明版)	五六	イ一三	一〇〇
文昌帝君陰隲文註 寧遠堂刊 唐・大	一	イ一三	三一
法苑珠林 一二〇卷 唐・道世撰 寛文九 和・大	六〇	イ一三	二七
寶顏堂祕笈 缺本 明・陳繼儒編 唐・大 (明版)	一〇	イ一三	八

貧士傳(明・黃姬水) 一
歸有園麈談(明・徐學謨) 一
冥寥子游(同上) 一
廣莊(明・袁宏道) 二
樂郊私語(元・姚桐壽) 二
大學士高中玄公伏戎紀事(明・高拱) 三
西堂日記(明・楊豫孫) 四
谿山餘話(同上) 四
觚不觚錄(明・王世貞) 四
井觀瑣言(宋・鄭瑗) 五
蜀都雜抄(明・陸深) 五
鼎錄(梁・虞荔) 六
焚椒錄(遼・王鼎) 一
娑羅館逸稿(明・屠隆) 一
甲乙剩言(明・胡應麟) 二
偶譚(明・李鼎) 二
清暑筆談(明・陸樹聲) 二
大司寇蕭岳峯公夷俗記(明・蕭大亨) 三
知命錄(明・陸深) 四
次柳氏舊聞(唐・李德裕) 四
玉堂漫筆(明・陸深) 五
鄭省齋蜩笑偶言(同上) 五
古奇器錄(明・陸深) 六
皇明吳郡丹青志(明・王穉登) 六
畫說(明・莫是龍) 六
觴政(明・袁宏道) 六
吳社編(明・王穉登) 八
金臺紀聞(同上) 八
寤言(明・同上) 八
宋周公謹雲煙過眼錄(宋・周密) 九
煮泉小品(明・田藝蘅) 六
虎薈(明・陳繼儒) 七
願豐堂漫書(明・陸深) 八
長水日抄(明・陸樹聲) 八
陳眉公太平清話(明・陳繼儒) 九
狂夫之言(續共)(明・陳繼儒) 一〇

書名	冊	類	號
法華經觀世音菩薩普門品疏鈔 八卷 清・續法編 唐・大 (清版)	四	イ一三	二六
歷代人物編年考 一〇卷・首一卷 清・沈球編 唐・中 (清版)	八	イ一三	八二
琅邪代醉編 四〇卷・目一卷 明・張鼎思編・陳性學校 唐・中 (明版)	二〇	イ一三	一三

一三 花房文庫

統計學

書名	冊	類	號
一般統計論 森數樹撰 大正九 洋・中	一	イ一三	一
歐洲に於ける近世統計技術の二大進步 花房直三郎述 明治三二 洋・小	一	イ一三	二
歐米各國ニ於ケル統計協會及エンゲル氏ノ統計協會綱畧案ヲ記述シ併セテ我ガ東京統計協會統計學社ノ兩協會ニ望ム 花房直三郎述 明治三一 洋・大	一	イ一三	三
同	一	イ一三	四
第一回選奬岡山縣統計事務效績者 同縣刊 (大正二) 洋・中	一	イ一三	五
岡山縣統計事務ノ概要 同縣知事官房編 明治四三 (謄寫版) 和・中	一	イ一三	六
各國統計機關の概要 國勢院第一部譯 大正九 洋・中	一	イ一三	七

各稅務監督局統計主任會議筆記	同決議錄附・明治三六年五月洋・中	經濟統計（藤本幸太郎）	一	イ一三 九
各稅務管理局統計委員長會議筆記	（神戶稅務管理局編 明治三五）洋・中		一	イ一三 一〇
記述提要	臺灣總督府編 寫本 和・大		一	イ一三 一一
敎育家と統計の關係	花房直三郎撰 明治三四 洋・中		一	イ一三 一二
同			一	イ一三 一三
敎育統計學	寺田勇吉撰 明治三三 洋・小		一	イ一三 一四
行政統計	花房直三郎撰 明治三四 洋・大		一	イ一三 一五
同			一	イ一三 一六
京都府勸業統計樣式說明	川崎傳秀撰 大正四 洋・中		一	イ一三 一七
京都府郡市町村現勢調查簿調製規程	樣式添 同府知事官房刊 明治四三 洋・大（京都府公報號外本）		一	イ一三 一八
京都府人口統計報告例規	大正二 洋・中		一	イ一三 一九
京都府統計ノ機關及其ノ事業	明治四二年四月一日調 明治四二 洋・中		一	イ一三 二〇
漁業生產調查規程	千葉縣刊（大正二） 洋・中		一	イ一三 二一
經濟統計學	米・スミス撰・吳文聰譯 明治三五 洋・中（經濟學叢書本）		二	イ一三 二二
工場事業場調查制度參考	第一編 大正九 國勢院第二部編 洋・中		一	イ一三 二三
國勢院統計講習會講演錄	國勢院編 大正一〇 洋・中		一	イ一三 二四
統計一般	（高野岩三郎）	經濟學（河津暹）		
財政學	（馬場鍬一）	家族制度（穗積重遠）		
數理統計	（龜田豐次朗）	農業統計（橫井時敬）		
行政法	（島村他三郎）	經濟政策（矢作榮藏）		

人口統計及社會問題	（財部靜治）	經濟統計（藤本幸太郎）	一	イ一三 二四
國勢調查	（松田泰二郎）			
國勢調查	臨時國勢調查局編（大正八） 洋・中		一	イ一三 二五
國勢調查	臨時國勢調查局刊 大正九 洋・中		一	イ一三 二六
國勢調查建議に關する會議の速記	東京統計協會刊（明治四三） 洋・大		一	イ一三 二七
國勢調查國費豫算	洋・大		一	イ一三 二八
國勢調查參考書	千八百九十五年十二月二日孛漏斯國人口調查執行に關する報告（和原重政譯）外三六篇 國勢調查準備委員會編（明治四四） 洋・大		一	イ一三 二九
國勢調查參考書	明治三十五年法律第四十九號國勢調查に關する件外七項 臨時國勢調查局刊 洋・大		一	イ一三 三〇
國勢調查參考書	其の三 ヂヤック・ベルシィヨン博士職業分類（千九百三年） 臨時國勢調查局刊 洋・大		一	イ一三 三一
同				
國勢調查事務經過概要一・二	（大正九・一〇） 臨時國勢調查局刊 洋・大		一	イ一三 三三
國勢調查申告書記入の栞	臨時國勢調查局編 大正九 洋・小		一	イ一三 三四
國勢調查ニ關スル法規類	自第一回至第五回國勢調查準備委員會議事速記錄 臨時國勢調查局編（大正八） 洋・中		一	イ一三 三五
國勢調查の實行を望む	同會刊 大正九 洋・大		一	イ一三 三六
國勢調查評議會	（橫山雅男撰）（明治三四） 洋・中		一	イ一三 三七
國勢調查評議會	同會刊（大正九） 洋・中		一	イ一三 三八
國勢調查評議會經過概要	同會刊（大正九） 洋・大		一	イ一三 三九
國勢調查法	各國參照 高橋二郎撰 明治三六 洋・小		一	イ一三 四〇
國勢調查法	水科七三郎撰 明治三七 洋・中		一	イ一三 四一
國勢調查と其の他の統計調查	花房直三郎述 洋・大（統計集誌拔刷本）		一	イ一三 四二
同			一	イ一三 四三
國勢調查と帝國議會	柳澤保惠撰 明治三八 洋・中		一	イ一三 四四
國勢調查ニ關スル官制竝職員錄	大正七年七月一日現在 和・中		一	イ一三 四五
國勢調查問題講話	財部靜治撰 大正九 再版 洋・小		一	イ一三 四六
國勢調查問題ニ關スル沿革摘要	（印字機印） 和・大		一	イ一三 四七
國勢調查要談	宮本基講述 明治四〇 洋・中		一	イ一三 四八
戶口調查用語	臨時臺灣戶口調查部編 明治三八 洋・小		一	イ一三 四九
小票式統計製表法	附錄改訂職業類別等 阪本敎撰 大正六 洋・中		一	イ一三 五〇
同			一	イ一三 五一
札幌區勢調查	高岡熊雄撰 洋・小		一	イ一三 五二
札幌區勢調查例規	（明治四一） 洋・小		一	イ一三 五三
吳氏 產業統計講話	吳文聰撰 大正三 洋・中		一	イ一三 五四
死因統計ニ用ヰタル職業分類	洋・中		一	イ一三 五五
市勢調查談	柳澤保惠編 明治四一 洋・中		一	イ一三 五七
社會統計學	米・スミス撰 吳文聰譯 明治三三 洋・中（早稻田叢書本）		一	イ一三 五八
社會統計學	米・スミス撰 吳文聰譯 明治三五 訂正再版 洋・中（早稻田叢書本）		一	イ一三 五九
職業調查の必要	吳文聰撰 洋・中		一	イ一三 六〇
職業調查類別法	農商務大臣官房摘譯 明治二八 洋・小		一	イ一三 六一
諸國統計官廳一瞥	國勢院編（印字機印） 和・大		一	イ一三 六二
所帶票記入心得	洋・小		一	イ一三 六三
人員運動調心得書及雛形草案	統計院第一課刊 洋・大		一	イ一三 六四
人口統計材料統計小票取扱手續竝同記入心得	內閣統計局刊 明治三一 洋・中		一	イ一三 六五
人口統計材料統計小票取扱手續竝同記入心得	明治三三年一一月改正 洋・中		一	イ一三 六六
同			一	イ一三 六七
人口統計材料統計小票取扱手續竝同記入心得	大正三年一一月改正 內閣統計局刊 洋・中		一	イ一三 六八
同			一	イ一三 六九
人口統計大意	花房直三郎撰 洋・大（統計集誌拔刷本）		一	イ一三 七〇
同			一	イ一三 七一
人口統計ノ方法及技術	花房直三郎講・岩間鐵也筆記 明治三三 洋・中		一	イ一三 七二
人口統計ノ方法及技術	花房直三郎講・岩間鐵也筆記 洋・大		一	イ一三 七三
人口動態統計調查手續	關三吉郎述（明治三八） 洋・大		一	イ一三 七四
政治統計學講義	岡松徑講義（明治三三） 岩間鐵也筆記 洋・中		一	イ一三 七六
精神病者調查票記入參考	內閣統計局刊 洋・大		一	イ一三 七五
稅務統計臺帳樣式	洋・大		一	イ一三 七七
製表心得	明治三七 洋・小		一	イ一三 七八

續市統計所小觀	財部靜治撰 洋・中（經濟論叢拔刷本）	一	イ一三	七九	東
第一回國勢調査關係書類	（大正七至九） 和・大	三	イ一三	八〇	東
第一回國勢調査宣傳官報廣告集	印刷局編（大正九） 洋・大	一	イ一三	八一	東
第二回東京市統計年報校閲ニ就テノ意見	外一篇（附錄二編）物集保憲撰 洋・中	一	イ一三	八二	統
臺灣戶口調査に就て	花房直三郎講（明治三八） 洋・大	一	イ一三	八三	統
同		一	イ一三	八四	增補
臺灣總督府報告例	明治三八年一月二〇日現行 洋・大	一	イ一三	八五	統
高橋勝弘吳文聰兩氏功勞表彰に關する報告	（大正五） 洋・中	一	イ一三	八六	統
地方機關の統計事務に對する一般の心得	花房直三郎講（明治三九） 洋・大	一	イ一三	八七	統
地方財政及其統計概說	花房直三郎述 洋・大（統計集誌拔刷本）	一	イ一三	八八	統
同		一	イ一三	八九	統
町村是調査綱要	横山雅男講述・巖手縣刊 明治四二 洋・中	一	イ一三	九〇	統
日臺兩文通俗統計學大意	水科七三郎撰 明治四五 洋・小 林呈祿譯	一	イ一三	九一	統
デモグラフイー	高橋二郎講述 岩間鐵也筆記（明治三三） 洋・中	一	イ一三	九二	同
千八百九十五年獨逸帝國職業調査	花房直三郎講 明治三七 洋・大	一	イ一三	九三	統
同		一	イ一三	九四	吳氏
千八百九十五年獨逸帝國職業調査	花房直三郎講 明治三九 洋・大	一	イ一三	九五	同
同		一	イ一三	九六	統
東京市勢調査詳解	關三吉郎・村重俊樋撰 明治四一 洋・小	一	イ一三	九七	同

東京市勢調査の沿革	柳澤保惠撰 明治四一 洋・中	一	イ一三	九八	東
東京市統計講習會講演集	第一・二回 統計の理論及方法（後藤市藏）外七篇 同市役所編 大正六・七 洋・中	二	イ一三	九九	東
東京統計協會定款並同施行細則	洋・中	二	イ一三	一〇〇	東
統計學研究	高野岩三郎撰 大正四 洋・中	一	イ一三	一〇一	統
統計學講義	四卷（內卷四缺）（明治三三） 統計學大意（彩亭二講）外八種 岩間鐵也筆記 和・大	三	イ一三	一〇二	統
統計學講義	橫山雅男講・河野四方作筆記 明治三三 洋・中	一	イ一三	一〇三	增補
統計學講義	宮本基講 洋・中	一	イ一三	一〇四	統
統計學講義錄	第一至三號 明治三二・三三 統計學會刊 洋・中	三	イ一三	一〇五	統
統計協議會議事要領	農商務省總務局刊 明治三五 洋・中	一	イ一三	一〇七	統
統計原論	佛・るゞはすーる撰・高橋二郎譯（明治三七） 洋・中	一	イ一三	一〇八	統
統計講義	花房直三郎・高橋二郎講述・藤井藤藏筆記 明治四〇 再版 洋・中	一	イ一三	一〇九	統
統計講習會報告	第二至五回 同會刊（明治三三至三六） 洋・中	四	イ一三	一一〇	統
統計講話	花房直三郎講（明治三六） 洋・大	一	イ一三	一一一	統
同		一	イ一三	一一三	同
統計講話	吳文聰・田中太郎述 明治三九 洋・中	一	イ一三	一一三	統
統計講話摘要	第一・二 吳文聰撰 洋・中	二	イ一三	一一四	吳氏
同		二	イ一三	一一五	同
統計講話筆記	花房直三郎講 洋・中	一	イ一三	一一六	統
同		一	イ一三	一一七	同

統計材料蒐集ノ難易	吳文聰撰・農商務省總務局刊 明治三七 洋・中	一	イ一三	一二八	
統計思想ニ就テ	橫山雅男講（明治四五） 洋・中	一	イ一三	一二九	
統計集誌總目錄	第一至一三六號 村山通定・青柢寬編 明治二六 洋・小（統計集誌附錄本）	一	イ一三	一三〇	
統計大意	高橋二郎述・山梨縣刊 明治三八 洋・中	一	イ一三	一三一	
統計大意國勢調査講義錄	二階堂保則講・納谷直次郎速記 大正九 洋・中	一	イ一三	一三三	
增補統計通論	橫山雅男撰 明治四四 二〇版 洋・中	一	イ一三	一三三	
統計之神髓	一名社會狀態學 獨・エンゲル撰・吳文聰譯 明治二七 洋・中	一	イ一三	一三四	
統計の大意及人口動態統計の効用	附・各國人口動態統計調査手續概要 相原重政述（明治三八） 洋・大	一	イ一三	一三五	日
統計の方法及技術	花房直三郎撰 洋・中	一	イ一三	一三六	農
同		一	イ一三	一三七	農
統計ノ理論及方法	附・統計ノ行政及組織 花房直三郎講義・清水仁吉筆記 明治三三 洋・中	一	イ一三	一三八	北
農事及職業統計調査法講話筆記	高橋二郎講・千葉縣刊 明治四一 洋・中	一	イ一三	一三九	農
同		一	イ一三	一四〇	獨
統計の理論に就て	花房直三郎述（明治三一） 和・大	一	イ一三	一四一	帝
統計方法原論	描畫圖添 米・キング撰・水科七三郎譯 大正二 洋・中	一	イ一三	一四三	統
統計理論	製表實務心得附 高橋二郎講・埼玉縣刊 明治四三 洋・中	一	イ一三	一四三	農
內閣統計局臨時刊行書	明治三六至大正三 初・再版 和・大	三	イ一三	一四三	農
	統計講演筆記（三種）（花房直三郎講）	一			
	明治三十二年 日本帝國人口動態統計概說（吳文聰）	一			
	印刷局疾患調査ノ梗概（二階堂菊太郎）	一			

	明治三十六年十二月卅一日 道府縣別現住人口	一			
	明治三十六年十二月卅一日 道府縣別現住戶數現住人口及本籍人口	一			
川口式電氣集計機	（花房直三郎）	一			
死亡原因第二類別調査報告	（二階堂保則）	一			
分量的ニ觀察シタル脚氣	（同上）	一			
	明治三十七年 東京府職業別死亡統計表（內閣統計局編）	二			
	明治三十七年 大阪府職業別死亡統計表（同上）	二			
	明治三十七年八年 日本帝國人口動態統計第一表中臺灣樺太及國境外死亡細別	二			
	同三十八年 （內閣統計局編）	二			
	明治四十一年 道府縣及市區本籍人口現住人口及現住戶數（同上）	三			
第十三回萬國統計協會會議報告	（柳澤保惠）	三			
宮城縣人口論	（西村末治）	三			
地方人口年齡別死亡率及其ノ記述	（二卷）（內閣統計局編）	三			
日本帝國中央統計機關沿革一覽	明治四至四四年 高橋二郎編 洋・大（統計集誌拔刷本）	一	イ一三	一三四	
農業生產調査規程	千葉縣刊（大正二） 洋・中	一	イ一三	一三五	
農業生產調査手續	千葉縣刊 明治四三 洋・中	一	イ一三	一三六	
北米合衆國農務省統計局	農作物收穫豫想報告手續 農商務大臣官房譯 明治四五 洋・中	一	イ一三	一三七	
農事及職業統計調査法講話筆記	高橋二郎講・千葉縣刊 明治四一 洋・中	一	イ一三	一三八	
獨逸帝國農事統計ニ關スル	重要調査概說 花房直三郎講 明治三七 洋・大	一	イ一三	一三九	
同		一	イ一三	一四〇	
農商務統計樣式	農商務省調令第一三號 農商務大臣官房刊 洋・中	一	イ一三	一四一	
農商務統計樣式說明	吳文聰撰（明治三六） 洋・中	一	イ一三	一四三	
第三回統計家懇話會ニ於ケル	東京統計協會刊 明治三〇 洋・小	一	イ一三	一四三	
同		一	イ一三	一四四	

表紀提綱 一名政表學論 明治七	蘭・ヒッセリング撰・津田眞道譯 和・小	一冊	イ一三	一類 * 一四五號
府縣統計主任の職務に就て	花房直三郎述 明治三四 洋・大	一	イ一三	一四六
同		一	イ一三	一四七
北海道廳統計事務例規	其一至三 洋・中	三	イ一三	一五一
三重縣統計講習會講義筆記	第一・二回 明治四一・四二 高橋二郎講 洋・中・小	二	イ一三	一五二
宮本基氏ノ統計講話筆記	阿部丈治郎筆記 (明治四四) 洋・中	一	イ一三	一五三
增訂 民數統計論	高橋二郎講 (明治三九) 洋・大	一	イ一三	一五四
柳澤統計研究所報告	第一至三回 同所刊 (大正四至七) 洋・中	三	イ一三	一五五
癩患者入院票及退院票竝其記入心得	洋・中	一	イ一三	一五六
訂正 理論統計學	吳文聰撰 明治二八 洋・中	一	イ一三	一五七
臨時戶口調查集計原表樣式	第三回 臺灣總督府統計講習會刊 洋・大	一	イ一三	一五八
第二回 臨時戶口調查諸法規	下 臺灣總督府官房刊 大正四 洋・小	一	イ一三	一五九
第二臨時戶口調查ニ關スル注意事項	追加 臺灣總督官房刊 大正四 洋・小	一	イ一三	一六〇
同		一	イ一三	一六一
臨時臺灣戶口調查諸法規問答錄	臨時臺灣戶口調查部編 (明治三八) 洋・中	一	イ一三	一六二
同		四	イ一三	一七四

一般統計

維新以後帝國統計材料彙纂	第一至四輯 內閣統計局編 大正二 洋・大	四	イ一三	一七三
民有地ニ關スル統計材料	一 現住人口靜態ニ關スル統計材料 二			
刑事被告人ニ關スル統計材料	三 人口動態ニ關スル統計材料 四			
海外各國勢要覽	內閣統計局編 明治二三 洋・中	一冊	イ一三	一九四號
袖珍世界年鑑	大正元年・第八至一〇回 伊東祐穀編 大正元至六 洋・小	四	イ一三	二〇〇
政家年鑑	一八九〇至一八九二年 內閣統計局譯 明治二三至二五 洋・中	三	イ一三	二〇一
世界年鑑	明治三八・三九・四一・四二年・第六回 伊東祐穀撰 明治三八至四四 洋・大	五	イ一三	二〇三
統計年鑑	第一至四 統計院編 明治一五至一八 洋・大	四	イ一三	二〇三—四
日本帝國統計年鑑	第五至三九 內閣統計局編 明治一九至大正一〇 洋・大 (統計年鑑第四二據入)	三五	イ一三	二三〇—三九
第三十三統計年鑑各科略解	其一至八 和・大 (內閣統計局刊 統計集誌拔刷本)	一	イ一三	二〇五
日本帝國國勢一斑	第七至三回 (內第六・三回缺) 內務大臣官房編 明治三一至大正八 洋・小	二〇	イ一三	一九三
日本帝國統計全書	吳文聰等編 東京統計協會刊 明治三五 洋・大	一	イ一三	二一八
同		一	イ一三	二一九
日本帝國統計摘要	第二至三三回 內閣統計局編 明治二一至大正八 洋・大	三二	イ一三	二三〇
萬國對照年鑑	英・マルホール原撰・統計院刊 明治一八 洋・小	一	イ一三	二三一
同		一	イ一三	二三二
列國國勢要覽	國勢院第一部編 大正一〇 洋・小	一	イ一三	一九五
愛知縣勢要覽	同縣知事官房刊 大正六 洋・小	一折	イ一三	一六三
青森縣統計書	大正四年 同縣知事官房編 大正五・六 洋・大	四	イ一三	一六三
秋田縣々勢一斑	秋田縣廳刊 明治四一 洋・大	一	イ一三	一六四
秋田縣々勢摘要	明治四〇年	一帖	イ一三	一六五

秋田縣統計書	第二二・二三回 (明治三七・三八) 同縣編	二	イ一三	一六六
秋田縣統計書	明治三九・四〇 洋・大	二八	イ一三	一六七
最近十五個年ノ統計ニ基ツキ比較對照セル秋田縣統計描畫圖	秋田縣廳刊 大正八 和・大	一	イ一三	一六八
秋田縣統計要覽	(明治四一) 和・大	一帖	イ一三	一六九
石川縣縣勢要覽	大正五年 同縣刊 大正七 洋・小	一	イ一三	一七〇
石川縣統計書	明治三至大正四年 (內三九・四至大正三年缺) 同縣編 明治三四至大正六 洋・大	二三	イ一三	一七一
石川縣統計要覽	明治四三・四四年 同縣內務部編 大正元 洋・小	二	イ一三	一七二
岩手縣勢要覽	明治三四年	一折	イ一三	一七五
大分縣々治一斑	明治四〇年 同縣知事官房編 明治四二 洋・小	一	イ一三	一七六
大分縣統計書	明治三六・三七・四〇年 同縣知事官房編 明治三九至四二 洋・大	三	イ一三	一七七
岡山縣統計一覽	明治三六・四二年 同縣知事官房編 明治三七・四三	二折	イ一三	一七八
岡山縣治一覽表	同縣第一課編 明治一〇	一帖	イ一三	一七九
岡山縣統計書	明治三五・三六・四二年 同縣知事官房編 明治三七至四四 洋・大	三	イ一三	一八〇
鹿兒島縣勢要覽	大正五年 洋・小	一折	イ一三	一八一
神奈川縣統計要覽	大正五年 同縣知事官房編 大正八 洋・小	一	イ一三	一八二
關東都督府統計摘要	明治四三年 同都督官房編 (明治四五) 洋・大	一	イ一三	一八三
京都市統計書	第四・五・九回 (明治四四・大正元・五) 大正元至七 洋・大 京都市役所編	三	イ一三	一八四
京都府現勢一斑	明治四四・大正二年 同府內務部刊 大正元・四	二折	イ一三	一八五
京都府現勢一斑	同府編 大正四 洋・小	一	イ一三	一八六
京都府治概覽	第一・二回 (明治三九・四〇) 同府內務部編 明治四一・四二 洋・小	二	イ一三	一八六
京都府治要覽	大正二・三年 同府內務部編 大正三・五 洋・小	二	イ一三	一八七
京都府統計書	明治三六至大正三年、(有缺) (同府內務部編) 明治三八至大正四 洋・大	三七	イ一三	一八九
慶尙南道道勢要覽	慶尙南道廳編 明治四四 洋・大	一	イ一三	一九〇
高知縣勢要覽	明治四〇年 同縣內務部刊 明治四一	一折	イ一三	一九一
高知縣統計書	明治三四至四四年 同縣知事官房編 明治三七至大正元 洋・大	二三	イ一三	一九二
滋賀縣統計一斑	明治二三年 同縣內務部編 明治二四 洋・小	一	イ一三	一九六
滋賀縣統計書	明治三〇年 同縣知事官房編 明治三二 洋・大	一	イ一三	一九七
靜岡縣々治一斑	明治三六年 同縣知事官房編 明治三七 洋・小	一	イ一三	一九八
靜岡縣統計書	明治三七年 同縣知事官房編 明治三九 洋・大	一	イ一三	一九九
仙臺市統計一斑	同市役所編 明治三四 洋・小	一	イ一三	二〇三
仙北郡町村豫算展覽會出陳參考圖表	秋田縣仙北郡役所刊 大正三 洋・大	一	イ一三	二〇四
臺南廳統計書	第一・二回 明治三五・三六 同廳編 明治三七・三八 洋・大	二	イ一三	二〇六
臺灣十年間之進步	臺灣總督官房編 明治三九 洋・大	一	イ一三	二〇七
臺灣總督府統計書	第一至二二 (明治三〇至大正七 (內第二一〇缺) 同府民政部編 明治三三至大正九 洋・大	二〇	イ一三	二〇八
臺灣統計摘要	第一至五・九・二三至二五 明治三六至大正八 臺灣總督官房編 明治三九至大正一〇 洋・小	一〇	イ一三	二〇九
臺灣統計摘要	第二至五 (明治三九至四二) (臺灣總督官房編 臺灣統計協會雜誌臨時增刊本) 明治四〇至四三 洋・小	四	イ一三	二一〇
臺灣統計要覽	大正三年 臺灣總督府編 大正五 洋・中	一	イ一三	二一一
千葉縣統計書	明治三〇・三五年 同縣知事官房編 明治三二・三七 洋・大	三	イ一三	二一二

朝鮮總督府統計要覽 第一次至大正二年	同府編	洋・小	冊 三	類 イ一三	號 二一三
明治四四至大正三					
統監府統計年報 第一至三次（明治三九至四二）	統監官房編	洋・大	三	イ一三	二一四
明治四〇至四三					一―三
朝鮮總督府統計年報 第四次至大正二年度（同府編 明治四四至大正四			五	イ一三	二一四
洋中（統監府統計年報第三次ニ接ス）					四一九
東京市勢提要 第八回（明治三一）	同市役所編		一	イ一三	二一五
大正八	洋・小				
東京市統計圖表	同市役所編		一	イ一三	二一六
大正三	洋・大				
東京市統計年報 第一至一六回（有缺）	同市役所編		一二	イ一三	二一七
明治三六至大正九	洋・中				
東京府統計書 明治三一・三三至三七・四一至四三・大正二・三年			一七	イ一三	二一八
同府内務部編 明治三三至大正五	洋・大				
東京府勢要覽	同府内務部編		一	イ一三	二一九
明治三七	洋・小				
德島縣治一斑 大正元年	同縣内務部編		一	イ一三	二二〇
大正三	洋・小				
德島縣統計書 明治四二至大正二年	同縣内務部編		一一	イ一三	二二一
明治四四至大正四	洋・大				
長野縣統計書 第二〇・二一（明治三五・三六）	同縣内務部編		二	イ一三	二二二
明治三八・三九	洋・大				
奈良縣統計書 明治三〇年	同縣知事官房編		一	イ一三	二二三
明治三二	洋・大				
新潟縣	同郡役所編		一	イ一三	二二四
刈羽郡郡勢一斑 第一回					
大正六	洋・小				
新潟縣	同郡役所編		三	イ一三	二二五
佐渡郡郡勢一斑 第一至三回					
明治四四至大正三	洋・小				
新潟縣佐渡郡勢一覽	同郡役所編		一	イ一三	二二六
大正六	洋・小		折 一		
兵庫縣縣治一斑 第一七回（大正二）	同縣知事官房編		一	イ一三	二二七
大正四	洋・小				
兵庫縣統計書 大正二年	同縣知事官房編		二	イ一三	二二三
大正四	洋・大				
福島縣統計書 第七至二四（明治三二至三九）（有缺）	同縣内務部編		五	イ一三	二二四
明治三三至四〇	洋・大				
北海道勢一斑 明治三六年	北海道廳長官官房編		一	イ一三	二二七
明治三八	洋・小				

北海道廳統計書 第一四回（明治三五）	同廳内務部編	冊 一	類 イ一三	號 二三八
明治三七	洋・大			
（滿鐵）附屬地ニ關スル諸表	滿鐵會社地方課刊	一	イ一三	二三六
明治四四	洋・大			
三重縣治要覽 明治二七・三五至三七年	同縣内務部編	四	イ一三	二三九
明治二九至三九	洋・小			
宮城縣縣治一斑 第一四回（明治三一）	同縣内務部編	一	イ一三	二四〇
明治三三	洋・小			
宮城縣縣治要覽	宮城縣廳刊	一	イ一三	二四一
明治四一	洋・中			
宮城縣統計書 明治三三至三六年	同縣内務部編	四	イ一三	二四二
明治三四至三八	洋・大			
宮城縣統計要覽		一	イ一三	二四三
（明治三四）	洋・大			
山梨縣統計書 明治三七年	同縣知事官房編	一	イ一三	二四四
明治三九	洋・大			
横濱市統計書 第一至一三回	同市役所編	一三	イ一三	二四五
明治三六至大正四	洋・大			

各種統計

秋田縣學事統計書 明治三七年度	同縣第一部刊	一	イ一三	二四六
明治三九	洋・大			
秋田縣米麥統計 明治三九年	同縣第一部編	一	イ一三	二四七
明治四〇	洋・中			
巖手縣警察要覽 明治四四年	同警察部編	一	イ一三	二五〇
明治四五	洋・小	折		
衞生局年報 明治二九至三三年	同局刊	五	イ一三	二五一
明治三三至三七	洋・大			
衞生統計ニ關スル描畫圖竝統計表	内閣統計局刊	一	イ一三	二五二
說明附 明治四四	洋・大			
同		一	イ一三	二五三
大藏省年報 第三八回（明治四四）	大藏大臣官房編	一	イ一三	二五四
大正二	洋・大			
大阪府農工商統計年報 第三回（明治三）	同府内務部編	一	イ一三	二五五
明治三四	洋・大			
歐米各國國庫歲出入金額陸海軍費出入貿易品元價概覽表	町田實一編	一	イ一三	二五六
（明治三二）	洋・大			

岡山縣重要農產物一覽 明治四二年	同縣知事官房編	折 一	類 イ一三	號 二二七
岡山縣壯丁學力及體量檢查成績 明治四三年度	同縣知事官房編	一	イ一三	二二八
外國產業統計 明治三三至三八年	農商務大臣官房抄譯	一	イ一三	二二九
明治四一年	洋・中			
家禽統計 大正元年	千葉縣知事官房編	一	イ一三	二三〇
大正元年	洋・大			
各種銀行行數竝資本金調查表	有樂會刊	一	イ一三	二三一
（明治三六）	洋・大			
株式會社統計 第二次	農商務省商工局編	一	イ一三	二三二
明治二八	洋・大			
爲替貯金局統計年報 第二三至二七回（大正二至六）大正七		一〇	イ一三	二三三
年度 同局編 大正三至九	洋・中大			
韓國衞生一斑	内部衞生局刊	一	イ一三	二三四
（隆熙二）	洋・中			
韓國財務統計要覽 隆熙二・三年度	度支部大臣官房編	二	イ一三	二三五
	洋・小			
官私設鐵道調查表	有樂會刊	一	イ一三	二三六
（明治三六）	洋・大			
議員選擧有權者に關する統計上の觀察	相原重政撰	一	イ一三	二三九
	洋・大（統計集誌拔刷本）			
牛馬統計表 明治二八至三二年	農商務省總務局編	一	イ一三	二三八
明治三四	洋・大			
教育統計摘要 明治三六至三九・四四年度	文部大臣官房編	五	イ一三	二三九
明治三八至大正二	洋・小			
第五回内國勸業博覽會出陳教育統計表圖	文部省總務局編	一	イ一三	二四〇
明治三六	和・大			
京都府財政一覽 附・各府縣稅徵收狀況	同府第一部編	一	イ一三	二四一
（明治三九）	洋・大			
明治三十八年度以降 京都府財政統計 前編	同府内務部編	一	イ一三	二四二
大正六	洋・大			
漁業生產調查統計 大正二年	千葉縣知事官房編	一	イ一三	二四三
大正三	洋・大			
年金恩給金融業者擔保貸付ニ關スル調查	爲替貯金局刊	一	イ一三	二四四
大正四	洋・中			
金融事項參考書 明治四四・四五年各四月調	大藏省	一	イ一三	二四五
理財局編 明治四四・四五	洋・大			

區勢調查ニ現ハレシ札幌區民ノ讀書力	高岡熊雄	一	イ一三	二四六
洋・中（經濟論叢拔刷本）				
明治四十年四月廿五日現在 熊本市商工營業統計 原表	同市役所編	一	イ一三	二四七
洋・大				
明治四十年四月二十五日 熊本市職業調查の結果	相原重政撰	一	イ一三	二四八
明治四十年四月二十五日現在 熊本市職業統計	同市役所編	二	イ一三	二四九
洋・大				
桑畑段別及繭表 明治三一年	農商務大臣官房編	一	イ一三	二五〇
明治三二	洋・大			
桑畑段別表 外二表 明治三二年	農商務大臣官房編	一	イ一三	二五一
明治三三	洋・大			
桑畑段別表 外一表 明治三三年	農商務省總務局編	一	イ一三	二五二
明治三四	洋・大			
軍需工業動員ニ關スル工場事業場臨時調查諸表		四	イ一三	二五三
内閣軍需局刊 大正九	洋・大			
警視廳一覽表 明治三二至大正四年（有缺）	同廳編	一三	イ一三	二五四
明治三三至大正五		枚		
警視廳統計書 明治三三至大正五年（有缺）	同廳編	一五	イ一三	二五五
明治三五至大正六	洋・中			
鑛山統計便覽 第三至五	農商務省鑛山局編	三	イ一三	二五六
明治二九至三一	洋・中・大			
鑛產表 明治四一年	農商務大臣官房編	一	イ一三	二五七
明治四二	洋・大			
工場原動力竝職工人員調查表	有樂會刊	一	イ一三	二五八
（明治三六）	洋・大			
工人ノ生計及榮養ニ關スル研究	稻葉良太郎・小泉親彥撰 明治四五	一	イ一三	二五九
洋・大（東京醫學會雜誌拔刷本）				
高知大林區署統計書 明治四二・大正元年度第一編	同署編	二	イ一三	二六〇
（明治四三・大正二）	洋・大			
神戸港外國貿易概況	神戸稅關刊	一	イ一三	二六一
明治四二	洋・大			
國民所得の推定	フェルネル撰・相原重政譯	一	イ一三	二六二
洋・大				
在監人の疾患に就て	二階堂保則述	一	イ一三	二六三
洋・大（統計集誌拔刷本）				

最近本邦生産統計	相原重政撰 大正三 洋・大	一	イ一三	三〇〇		
細民調査統計表	內務省地方局刊 明治四五 洋・大	一	イ一三	三〇一		
産業消長概覽	明治二〇至四三年 農商務大臣官房編 明治四五 洋・中	一	イ一三	三〇二		
關東實業區一府七縣	千葉縣第三部編 明治三八 洋・中	一	イ一三	三〇三		
産業比較統計	明治三八 洋・中	一	イ一三	三〇四		
市町村及水利組合大勢比較圖	內務省地方局編 洋・大	一	イ一三	三〇五		
靜岡縣經濟統計	卷一・二明治三四) 同縣知事官房編 明治三六 洋・中	二	イ一三	三〇六		
司法省監獄局統計年報	第一至六回(明治三至八) 同局編 明治三四至三九 洋・大	六	イ一三	三〇六		
日本帝國司法省刑事統計年報	第二〇至二五(明治二七至三二)(有缺) 同省民刑局編 明治二九至三四 洋・大	五	イ一三	三〇七		
日本帝國司法省登記統計年報	第八至一〇・三(明治二七至三九・三二) 同省民刑局編 明治二八至三四 洋・大	四	イ一三	三〇八		
日本帝國司法省民事統計年報	第二一至二四(明治二八至三一) 同省民刑局編 明治三〇至三三 洋・大	四	イ一三	三〇九		
主稅局統計年報書	第三回(明治三七年度) 明治三八 洋・大	一	イ一三	三一〇		
食料米及一人平均分配量	明治一一至四二年 洋・大	二	イ一三	三一一		
壬申政表	上 政表課編 (明治六) 和・小	一	イ一三	三一二	*	
住友別子鑛業所一覽	明治三八年度 (明治三九) 同所編	一	イ一三	三一五	帖	一
稅務統計	第一回 (慶熙四) 度支部司稅局編 洋・大	一	イ一三	三一六		
世界經濟發展の現況	澳・ステル子ッグ撰・高橋二郎譯 洋・中	一	イ一三	三一七		
全國工場統計表	明治三二年 農商務省商工局編 明治三五 洋・大	一	イ一三	三一八		
全國社債券明細表	大正元・四各年末現在 日本興業銀行調查部編 洋・大	二	イ一三	三一九		
全國鐵道營業統計表	明治三六年度 洋・小 (帝國鐵道協會會報附錄本)	一	イ一三	三二〇		

全國土地人口及生産比較統計	附地方別富力 明治四三 洋・大 千葉縣知事官房編	一	イ一三	三二一		
專賣局年報	第二至七回(明治三至大正三年度)(有缺) 同局編 明治三四至大正五 洋・大	一五	イ一三	三二三		
造幣局長年報書	第六至四〇(明治三二至大正二年度) 同局編 明治三三至大正三 洋・小	一五	イ一三	三二三		
大日本外國貿易	自明治元年至同廿五年二千五年對照表 大藏省主稅局編 明治二六 洋・中	一	イ一三	三二四		
大日本外國貿易年表	大正元・二年 大藏省編 大正二・三 洋・大	二	イ一三	三二五		
大日本帝國文部省年報	第二三至四一(明治一八至大正二年度)(有缺) 文部大臣官房編 明治三〇至大正四 洋・大	一三	イ一三	三二六		
臺灣外國貿易概覽	明治三五年 臺灣總督府民政部編 明治三七 洋・大	一	イ一三	三二七		
臺灣外國貿易十五年對照表	明治二九至四三年 臺灣總督府編	一	イ一三	三二八		
臺灣外國貿易年表	明治四二・大正元・五年 臺灣總督府編 明治四三至大正六 洋・大	三	イ一三	三二九		
臺灣各種學校生徒及兒童發育統計	明治四三年四月調 臺灣總督官房編 大正二 洋・大	一	イ一三	三三〇		
臺灣金融事項參考書	第一至九次 臺灣銀行編 明治三五至大正三 洋・大	一一	イ一三	三三一		
臺灣諸開港外國貿易概覽	明治三一年附臺灣內地間貿易景況 淡水稅關編 明治三二 洋・中	一	イ一三	三三二		
臺灣之米作統計	臺灣總督府官房統計課編 明治四三 洋・大	一	イ一三	三三三		
臺灣犯罪統計	明治四三至大正七年 臺灣總督府刊 明治四五至大正九 洋・大	一一	イ一三	三三四		
度支部統計年報	第一二回(慶熙元・二年度) 度支部大臣官房編 洋・大	二	イ一三	三三五		
千葉縣學事年報	明治三四年度 同縣編 明治三六 洋・大	一	イ一三	三三六		
千葉縣勸業年報	第九至二二回(內第一〇回缺) 同縣內務部編 明治三三至三六 洋・中	三	イ一三	三三七		
〔千葉縣〕君津郡家畜調查ノ概要	明治四三年末 千葉縣君津郡役所編 明治四四 洋・大	一	イ一三	三三八		
千葉縣産業要覽	同縣內務部編 明治四一 洋・小	一	イ一三	三三九		

地方財政	細川雄二郎編 明治三七 洋・大	一	イ一三	三三九		
地方稅勸業費豫算決定額表	明治三四・三五年度 農商務省經濟局編 明治三四・三五 洋・大	二	イ一三	三四〇		
郵便爲替郵便取立地方別金郵便振替貯金	明治四四年八月調 郵便貯金局刊 明治四五 和・大	一	イ一三	三四一		
朝鮮總督府鐵道局年報	明治四三・四四年度 同局編 洋・大	二	イ一三	三四二		
帝國鐵道廳統計圖表	明治四〇年度 鐵道院刊 明治四二 洋・大	二	イ一三	三四三		
帝國鐵道廳年報	明治四〇年度 鐵道院刊 明治四二 洋・大	一	イ一三	三四四		
遞信省年報	第九至三(明治二七至三九年度)(有缺) 同省總務局編 明治二九至四一 洋・大	九	イ一三	三四五		
鐵道院統計圖表	明治四一至大正三年度 同院刊 明治四三至大正五 洋・大	一八	イ一三	三四六		
鐵道院年報	明治四一至大正三年度 同院編 明治四三至大正五 洋・大	一二	イ一三	三四七		
鐵道局年報	明治四〇年度 鐵道院刊 明治四二 洋・大	一	イ一三	三四八		
鐵道作業局年報	明治三〇・三一年度 同局編 明治三二・三三 洋・大	二	イ一三	三四九		
鐵道統計圖表	明治三五・三九年度 洋・大	二	イ一三	三五〇		
東京市學事年報	第一六・一七回(大正四・五年度) 同市役所編 大正六・八 洋・大	一	イ一三	三五一		
東京市內通信業務概況	明治三六至四二年度 東京逓信管理局編 (明治四四) 洋・小	一	イ一三	三五二		
東京ニ於ケル二十職工家計調查	高野岩三郎撰 洋・中 (最近社會政策拔刷本)	一	イ一三	三五四		
東京府學事統計書	明治四三年度 同府內務部編 大正元 洋・大	一	イ一三	三五五		
東京府下懲役場盜賊調	明治九・一〇年 調查局編 (明治一一) 洋・中	一	イ一三	三五六		
東京府工場統計書	大正三年 同府內務部編 大正五 洋・大	一	イ一三	三五七		
統計上より觀たる我邦婦人の暗黑面	市川靜淵撰 大正三 洋・中 (子西倫理講演集拔刷本)	一	イ一三	三五三		

統計年報	大正六年 大正八 洋・大 木浦商業會議所編 (木浦商業會議所月報臨時增刊本)	一	イ一三	三三八		
大日本帝國內務省統計報告	第一〇至三回(有缺) 明治二八至大正七 洋・大	一七	イ一三	三三九		
長野縣警察統計表	明治四〇至四四年(有缺) 同縣警察部編 明治四一至大正元 洋・大	三	イ一三	三六〇		
日本財政總覽	自明治廿六年度至明治卅五年度 長野縣市町村財政一覽 長野縣內務部刊 明治三七 洋・大	二	イ一三	三六一		
日本財政年鑑	第二編(國庫一般會計之部) 細川雄二郎編 明治四二 洋・大	三	イ一三	三六二		
日本政表	刑事裁判・陸海軍裁判・警察ノ部(第二號)(明治七) 調查局編 明治一〇 洋・大	一	イ一三	三六三		
日本政表	刑事裁判之部(第三號)(明治八) 調查局編 明治一二 洋・大	一	イ一三	三六四		
日本政表	陸軍海軍裁判之部(第三號)(明治八) 調查局編 明治一二 洋・大	一	イ一三	三六五		
日本政表	警察ノ部(第三・五號)(明治八・一〇) 調查局編 明治一二・一三 洋・大	一	イ一三	三六六		
日本政表	府縣稅及ヒ賦金ノ部(第三號)(明治八) 調查局編 明治一二 洋・大	二	イ一三	三六七		
日本帝國港灣統計	明治三九至大正二年(有缺) 內務省土木局編 明治四二至大正二 洋・大	七	イ一三	三六八		
日本統計通信	大正二年一二月號 大正三 和・大 苓北文庫刊	一	イ一三	三六九		
日本府縣民費表	明治六至一〇年 政表課編 明治八至一二 洋・大	五	イ一三	三七〇		
農業戶別調查結果表	明治四四年 千葉縣知事官房編 大正二 洋・大	一	イ一三	三七一		
農業生産調查結果表	明治四四年米麥・食用及特用農產物竝果實統計 千葉縣知事官房編 明治四五・大正元 洋・大	一	イ一三	三七四		
農會農事統計	明治三六至四四年 農商務省農務局編 大正二 洋・大 (農務彙纂本)	二	イ一三	三七五		
農商務統計表	第三至三次(明治三六至大正三)(有缺) 農商務大臣官房編 明治三〇至大正五 洋・大	一	イ一三	三七六		
肺結核及胸膜炎ノ統計的調查	矢田耕造編 陸軍省刊 明治四四 洋・中	一四	イ一三	三七七		
		一	イ一三	三五三		

麥作表	明治三一至三六年 農商務大臣官房編 明治三一至三七 洋・大	六	イ一三	二七九	
麥表	明治三七至四一年(内三九年缺) 農商務大臣官房編 明治三八至四二 洋・大	四	イ一三	二八〇	
博覽會ニ關スル統計事項	警視總監官房編(明治四〇) 洋・大	一	イ一三	二八一	
犯罪統計	明治三八・三九年 臺灣總督府刊 明治四一(謄寫版) 洋・大	二	イ一三	二八二	
犯罪統計表	自明治卅一年 三重縣警察部編 至明治四十年 明治四二 洋・大	一	イ一三	二八三	
肥料ニ關スル調査書	農商務省農務局編 明治四三 洋・大(農務彙纂本)	一	イ一三	二八四	
福島監獄統計通覽	第一回 同監獄第一課編 明治四一 洋・小	一	イ一三	二八五	
府縣稅勸業費豫算決定額表	明治三六至四一年度(有缺) 農商務大臣官房編 明治三六至四一年 (洋大)	五	イ一三	二八六	
府縣稅勸業費豫算表	明治四三至大正二年度(有缺) 明治四四至大正二年 洋・大 農商務大臣官房編	四	イ一三	二八七	
米作表	明治三一至三六年(有缺) 農商務大臣官房編 明治三二至三七年 洋・大	五	イ一三	二八八	
米表	明治三七・三八年 農商務大臣官房編 明治三八・三九年 洋・大	二	イ一三	二八九	
北海道利源調査書	横山隆起撰 明治三九 洋・大	一	イ一三	二九〇	
本邦生産統計の研究	本邦森林の統計外七篇 相原重政撰 和・大(統計集誌拔刷本)	一	イ一三	二九一	
繭及蠶絲類統計表	明治三四至三八年 農商務省總務局編 明治三五至三九 洋・大	五	イ一三	二九二	
繭蠶絲及桑畑統計表	明治三九・四〇年 農商務大臣官房編 明治四〇・四一 洋・大	二	イ一三	二九三	
繭蠶絲及桑畑表	明治四一年 農商務大臣官房編 明治四二 洋・大	一	イ一三	二九四	
繭蠶絲及桑畑表	明治四一年 洋・大(農商務統計表拔刷本)	一	イ一三	二九五	
宮城縣勸業統計	明治三三年 同縣內務部編 明治三五 洋・大	一	イ一三	二九六	
急性傳染病ニ因ル死亡統計	明治三三至四一年 內閣統計局編 大正二 洋・大	一	イ一三	二九七	
結核死亡統計表	明治三二至大正二年 保健衛生調査會編 大正六 洋・大	三	イ一三	二九八	
呼吸器疾患ニ因ル死亡統計	明治三三至四一年 內閣統計局編 大正三 洋・大	一	イ一三	二九九	
國勢調査速報	世帶及人口・在外本邦人 大正九・一〇 洋・大 臨時國勢調査局編	二	イ一三	四三四	
國勢調査速報	國勢院刊 (大正九) 謄寫版 和・大	一	イ一三	四三六	
自殺論	吳文聰撰 洋・大(統計集誌拔刷本)	一	イ一三	四三八	
出生當時の死力に就て	松崎故一郎撰 洋・中 (日本保健醫學協會拔刷本)	一	イ一三	四四一	
情死の統計的研究	布川靜淵撰 洋・中 (丁酉倫理講演集拔刷本)	一	イ一三	四四四	
小兒死亡統計表	明治三二至大正二年 保健衛生調査會編 大正六 洋・大	一	イ一三	四四五	
死力・死亡係數及び中央死亡率に就て	松崎故一郎撰 洋・大	一	イ一三	四四六	
腎臟炎ニ因ル死亡統計	明治三三至四一年 大正三 洋・大 內閣統計局編	一	イ一三	四四七	
同		二	イ一三	四五〇	
胃腸病ニ因ル死亡統計	明治三三至四一年 內閣統計局編 大正三 洋・大	一	イ一三	二四八	
同		一	イ一三	二四九	
癌ニ因ル死亡統計	明治三二至四一年 內閣統計局編 大正三 洋・大	一	イ一三	二六七	
同		一	イ一三	二六八	
急性傳染病ニ因ル死亡統計	明治三三至四一年 內閣統計局編 大正二 洋・大	一	イ一三	二七一	
同		一	イ一三	二七三	
結核死亡統計表	明治三二至大正二年 保健衛生調査會編 大正六 洋・大	三	イ一三	二九〇	
呼吸器疾患ニ因ル死亡統計	明治三三至四一年 內閣統計局編 大正三 洋・大	一	イ一三	二九七	
同		一	イ一三	二九八	
國勢調査速報	世帶及人口・在外本邦人 大正九・一〇 洋・大 臨時國勢調査局編	二	イ一三	四三五	
國勢調査速報	國勢院刊 (大正九) 謄寫版 和・大	一	イ一三	四三六	
自殺論	吳文聰撰 洋・大(統計集誌拔刷本)	一	イ一三	四三八	
出生當時の死力に就て	松崎故一郎撰 洋・中 (日本保健醫學協會拔刷本)	一	イ一三	四四一	
情死の統計的研究	布川靜淵撰 洋・中 (丁酉倫理講演集拔刷本)	一	イ一三	四四四	
小兒死亡統計表	明治三二至大正二年 保健衛生調査會編 大正六 洋・大	一	イ一三	四四五	
死力・死亡係數及び中央死亡率に就て	松崎故一郎撰 洋・大	一	イ一三	四四六	
腎臟炎ニ因ル死亡統計	明治三三至四一年 大正三 洋・大 內閣統計局編	一	イ一三	四四七	
同		二	イ一三	四五〇	

イ 總類 一三 花房文庫

宮城縣第二回民有地統計調查報告	同縣知事官房編 明治四一 洋・大(宮城縣報號外本)	三	イ一三	四〇〇	
宮城縣民有地統計調查報告	第一至四回 同縣內務部編 明治三四 洋・大(宮城縣縣報附錄本)	四	イ一三	四〇一	
麥ニ關スル調查	附錄麥食ニ關スル參考資料 農商務省農務局編 明治四三 洋・大(農務彙纂本)	一	イ一三	四〇三	
明治三十七年ノ賃金ニ及ホセシ戰爭ノ影響	農商務大臣官房編 明治三八 洋・大	一	イ一三	四〇四	
明治三十七年ノ物價ニ及ホセシ戰爭ノ影響	農商務大臣官房編 明治三八 洋・大	一	イ一三	四〇三	
明治三十八年ノ賃金ニ及ホセシ戰爭ノ影響	農商務大臣官房編 明治三九 洋・大	一	イ一三	四〇五	
明治三十六年職工表	警視總監官房編 明治三七—謄寫版 洋・大	一	イ一三	四〇七	
明治六年海外貿易表	政表課編 (明治七) 和・小	一	イ一三	＊四〇八	
日本政表	海外貿易之部(第四至六號)(明治九至一二) 調查局編 明治一〇至一二年 洋・大	三	イ一三	四〇九	
山形縣勸業年報	第一一回(明治三二) 同縣內務部編 明治三四 洋・中	一	イ一三	四一〇	
山梨縣勸業統計書	明治三七年 同縣知事官房編 明治三九 洋・大	一	イ一三	四一二	
郵便爲替貯金事業概要	第六至一一・一五・一八・九回 郵便爲替貯金管理所編 明治三〇至四三 洋・中	九	イ一三	四一三 九	
郵便貯金局統計年報	第一〇回 同局編 明治四四 (郵便爲替貯金事業概要第一九回ニ據ス) 洋・中	一	イ一三	四一三 一〇	
郵便爲替貯金事業統計圖表	郵便貯金局編 明治四五至大正三 和・中	三	イ一三	四一三	
陸軍醫事統計	明治二一至二九年 陸軍省醫務局編 明治三〇 洋・大	一	イ一三	四一四	
陸軍省統計年報	第八至一六回 同省大臣官房編 明治二九至三七 洋・大	一六	イ一三	四一五	
臨時臺灣糖務局年報	第二(明治三六年度) 同局編 明治三七 洋・中	一	イ一三	四一六	
宮城縣勸業統計	明治三三年 同縣內務部編 明治三五 洋・大	一	イ一三	四一七	
千九百年匈牙利國人口調查職業別人口に就て	相原重政編 洋・大	一	イ一三	四四七	
大正二年末人口靜態調查結果速報	第一至一〇號(大正三・四) 內閣統計局刊 和・大	一	イ一三	四四九	
中壽ノ說	財部靜治撰 大正六 洋・中 (經濟論叢拔刷本)	一	イ一三	四六〇	
稠密ナル本邦人口	財部靜治撰 洋・中	一	イ一三	四六一	
帝國人口概說	內閣統計局編 大正五 洋・大	一	イ一三	四五一	
天壽ノ說	財部靜治撰 洋・中 (經濟論叢拔刷本)	一	イ一三	四六二	
道府縣現住人口	明治一七至三六年・一七至四〇年 內閣統計局編 明治四〇・四二 洋・大	二	イ一三	四六七	
日本人ノ生命ニ關スル研究	一名日本國民新死亡表 內閣統計局刊 明治四五 洋・大	一	イ一三	四七三	
日本帝國現住人口梗概	內閣統計局編 大正八 洋・中	一	イ一三	四四八	
日本帝國死因統計	明治三九至大正六年 內閣統計局編 明治四二至大正九 洋・大	二	イ一三	四七五	
日本帝國人口靜態及人口靜態統計	畫圖ノ基ツケル統計表 內閣統計局刊 大正四 洋・大	一	イ一三	四七六	
同		一	イ一三	四七七	
日本帝國人口靜態統計	明治三六・四一・大正二各年末 內閣統計局編 明治三九至大正五 洋・大	三	イ一三	四七八	
日本帝國人口靜態統計	明治三六・四一・大正二各年末 內閣統計局編 明治三九至大正五 洋・大	一	イ一三	四七九	
同		一	イ一三	四八〇	
日本帝國人口動態統計	明治三二至大正六年 明治三五至大正九 洋・大 內閣統計局編	一九	イ一三	四八一	

人口統計

日本帝國人口動態統計 明治三二至四一年 明治四五・大正二各年末 洋・大 比例 内閣統計局編 一 イ一三 四八二
同 明治三二至四一年 大正三 洋・大 内閣統計局編 一 イ一三 四八三
姙娠及產ニ因ル死亡統計 明治三二至四一年 大正三 洋・大 内閣統計局編 一 イ一三 三七二
同 一 イ一三 三七三
本邦人口動態の概況 二階堂保則撰 洋・中 一 イ一三 四八五
本邦人口の現在及將來 高野岩三郎撰 洋・小（通俗大學文庫本） 大正五 一 イ一三 四八六
本邦人口ノ平均婚姻年齡 高野岩三郎撰 洋・中（經濟論叢拔刷本） 一 イ一三 四八七
本邦人の月別死亡の研究 二階堂保則撰 洋・大 二 イ一三 四八八
本邦人の生死に關する統計的批判の概要 二階堂保則撰 洋・大（統計集誌拔刷本） 大正四年十二月卅一日 一 イ一三 四八九
同 一 イ一三 四九〇
慢性傳染病ニ因ル死亡統計 其一・二（明治三二至四一） 内閣統計局編 大正三 洋・大 二 イ一三 三九六
同 二 イ一三 三九七
明治三十一年日本帝國人口統計 内閣統計局編 明治三四 洋・大 一 イ一三 四九二
同 一 イ一三 四九三
明治七年政表 日本全國人員（第一號）（明治六・七） 正院第五科編 （明治九） 洋・大 一 イ一三 四〇六
日本政表 全國人員之部（第二號） （明治八・九） 會計部編 明治一三 洋・大 一 イ一三 五〇〇
○
秋田縣戶口統計 明治三八・四〇年 同縣第一部編 明治三九・四一 洋・大 二 イ一三 四一八
同 二 イ一三 四一九
茨城縣人口靜態統計 明治四三・大正二各年末 洋・大 同縣知事官房編 一 イ一三 四八二
大阪市人口統計摘要 明治三二年 和・大 同市役所刊 一 イ一三 四八三
岡山縣戶口統計 明治四二年末 洋・小（臨時刊行其一） 同縣知事官房編 一 イ一三 三七二
甲斐國現在人別調 明治一二年末 洋・大 統計院編 一 イ一三 四八四
同 一 イ一三 四八五
同 一 イ一三 四八六
甲斐國現在人別調 明治三年末 洋・中 甲斐全國ノ部 統計院編 一 イ一三 四八七
大正四年十二月卅一日 本邦人口ノ平均婚姻年齡 高野岩三郎撰 洋・中（經濟論叢拔刷本） 明治三九 一 イ一三 四八八
大正四年十二月卅一日 本邦人の月別死亡の研究 二階堂保則撰 洋・大 二 イ一三 四八九
大正四年十二月卅一日 華族靜態調査統計表 實數 柳澤統計研究所編 大正八 洋・大 一 イ一三 四九〇
大正四年十二月卅一日 華族靜態調査統計描畫圖 柳澤統計研究所編 大正八 洋・大 一 イ一三 四九一
關東洲現住戶口 明治三九年三月 關東洲民政署官房編 （明治三九） 洋・大 一 イ一三 四九八
岐阜縣戶口統計 大正三年 同縣知事官房編 大正四 洋・小 一 イ一三 四九九
京都市臨時人口調査要計表 第二編 明治四四年 同調査部編 大正二 洋・大 一 イ一三 四三〇
京都府人口統計 大正二年 同府刊 大正四 洋・大 一 イ一三 四三一
神戸臨時市勢調査人口及職業統計表 明治四一年 神戸市役所編 明治四三 洋・大 一 イ一三 四三三
神戸臨時市勢調査要計表 明治四二年 同調査顚末附 神戸臨時市勢調査局編 明治四二 洋・大 一 イ一三 四三四
札幌區區勢調査研究 高岡熊雄撰 洋・中 大正九 一 イ一三 四三七
札幌區區勢調査原表 明治四二年三月一日 中・後編 同區役所編 明治四三・四四 洋・大 二 イ一三 四三八
試驗國勢調査の結果 相原重政撰 （明治四一） 洋・大（統計集誌拔刷本） 一 イ一三 四三九
同 一 イ一三 四四〇

靜岡縣人口統計 第一回 明治三五 洋・大 同縣知事官房編 一 イ一三 四四三
臺灣現住人口統計 明治三八至大正八年（內大正二年缺） 調査部編 明治四〇至大正一〇 洋・大 臨時臺灣戶口 一四 イ一三 四五三
臺灣職業名豫察報文 臨時臺灣戶口調査部編 （明治三八） 洋・中 一 イ一三 四五四
臺灣人口動態統計 明治三八至大正七年 原表之部 明治四〇至大正九 洋・大 臨時臺灣戶口調査部編 一四 イ一三 四五五
臺灣人口動態統計記述報文 明治三九至大正七年（內明治四一年缺） 明治四一至大正九 洋・大 臨時臺灣戶口調査部編 一二 イ一三 四五六
臺灣人口動態統計五年報 臺灣總督官房統計課編 大正二 洋・大 自明治三十九年至明治四十三年 一 イ一三 四五七
臺灣人口動態統計十年報 臺灣總督官房統計課編 大正六 洋・大 自明治卅九年至大正四年 一 イ一三 四五八
千葉縣戶口統計 大正元年 大正二 同縣知事官房編 洋・小 一 イ一三 四五九
東京市現住戶數及現住人口 大正七・八各年末現在 洋・中 同市役所編 二 イ一三 四六三
東京市市勢調査比例篇 明治四一年施行 明治四五 洋・大 同市役所編 一 イ一三 四六四
東京市町別現住戶數及現住人口 大正五・六各年末現在 大正六・七 洋・中 同市役所編 二 イ一三 四六五
東京市町名別戶數及人口 大正三年末現在 大正四 洋・中 同市役所編 一 イ一三 四六六
德島縣名東郡臨時郡勢調査書 概篇 大正三年三月末 同郡役所刊 大正六 洋・中 一 イ一三 四六九
富山縣高齡者統計 大正四年一月一〇日現在 大正五 洋・中 同縣知事官房編 一 イ一三 四七〇
富山縣戶口統計 大正四年末 職業統計 大正五 洋・中 同縣知事官房刊 一 イ一三 四七一
新潟縣佐渡郡勢調査 顚末及原表 明治四五 洋・大 同郡役所編 一 イ一三 四七三
福島縣戶口統計 第八回 （明治四一） 明治四二 洋・大 同縣編 一 イ一三 四八四
宮城縣戶口統計 明治三三至三七年（內三六年缺） 明治三四至三八 洋・中 同縣編 四 イ一三 四九一

明治四十一年東京市市勢調査概數表 同市役所撰 明治四二 洋・大 一 イ一三 四四二
明治四十一年施行東京市市勢調査原表 四卷 明治四二至四四 同市役所編 洋・大 四 イ一三 四五五
明治四十一年施行東京市市勢調査職業別現在人口表 いろは別職業名索引附 同市役所編 明治四四 洋・大 一 イ一三 四九六
明治四十一年十一月一日神戸市市勢調査の結果 相原重政撰 （明治四一） 洋・大（統計集誌拔刷本） 一 イ一三 四九七
同 一 イ一三 四九八
臨時臺灣戶口調査概覽表 第二次（大正四） 部編 大正六 臺灣總督官房臨時戶口調査 洋・大 一 イ一三 五〇一
臨時臺灣戶口調査記述報文 第一・二次（明治三八・大正四） 明治四一・大正七 洋・大 同調査部編 二 イ一三 五〇三
臨時臺灣戶口調査結果表 第一・二次（明治三八・大正四） 明治四一・大正七 洋・大 同調査部編 二 イ一三 五〇三
臨時臺灣戶口調査集計原表 第一・二次（明治三八・大正四） 明治四〇・大正六 洋・大 同調査部編 四 イ一三 五〇四
臨時臺灣戶口調査職業名字彙 第一・二次 部編 明治四〇・大正六 洋・大 同調査部編 二 イ一三 五〇五
臨時臺灣戶口調査顚末 第一・二次（明治三八・大正四） 計畫編 明治四一・大正七 洋・中 臺灣總督官房統計課編 二 イ一三 五〇六
臨時臺灣戶口調査要計表 明治三八年 明治四〇 洋・大 同調査部編 一 イ一三 五〇七

史傳地理

赤穗四十七士傳 二卷 青山延光撰 明治三 和・小（弘道館叢書本） 一 イ一三 五〇八
井伊大老と開港 中村勝麻呂撰 明治四二 洋・中 一 イ一三 五一〇
逸史 一二卷・首一卷 中井積善撰 天保一三至嘉永元 和・大 一三 イ一三 五一一
岩倉公實記 多田好問編 明治三九 洋・大 二 イ一三 五一二
院莊作樂香 矢吹正則撰 明治三八 和・中 一 イ一三 五一三
上記鈔譯 歷史部三卷 大友能直原輯・吉良義風鈔譯 明治一一 追刻 和・大 三 イ一三 五一四

		冊	類	號
右大臣吉備公傳纂釋	二卷・附錄一卷・首一卷 重野安繹撰 明治三五 和・中	三	イ一三	五一五
英烈遺事	馬杉繫撰 明治八 和・中	二	イ一三	五一六
遠城謙道傳	佐成源五郎編 明治三五 和・中	一	イ一三	五一八
恩師カール・テオドア・フオン・イナマ・ステルネツグ先生	柳澤保惠撰 洋・小	一	イ一三	五二三
開國起原	附錄職名錄 勝安芳撰 明治二六 洋・中	三	イ一三	五二三
開國始末	井伊直弼の傳 附錄三種 嶋田三郎撰 明治二一 洋・中	一	イ一三	五二四
海國圖志	卷一(譯海篇) 清・魏源撰・鹽谷世弘・箕作虔孺校 嘉永七 和・大	二	イ一三	五二五
合衆國小史	米・グードリッチ撰・桑田親五譯 明治七 和・中	四	イ一三	五二七
近世紀聞	四編 旅野傳平・染崎延房編・永濯畫 (明治六・七) 和・中	一二	イ一三	五三〇
近世諸家史論抄	卷三迄 飯田直編 明治六 和・中	三	イ一三	五三一
近世史略	三卷・二編三卷 山口謙撰 明治八 初・再版 和・中	六	イ一三	五三三
近世西史綱紀	卷四迄 米・ウォルソン撰・堀越愛國譯 明治四 和・中	四	イ一三	五三三
吳文聰	吳建編 大正九 洋・中	一	イ一三	五三四
明治十七年十二月京城事變始末書	其他八種 和・小	一	イ一三	五三五
謙信軍記	寫本 和・小	一	イ一三	五三六
尺木綱鑑易知錄	九二卷・首一卷・明鑑易知錄一五卷 清・吳乘權等編・筱崎檗校 和・中	五五	イ一三	五三七
公爵桂太郎傳	德富猪一郎編 大正六 洋・中	二	イ一三	五三八
皇太后宮陛下ノ御高德ニ就テ	筧克彥撰 大正三 洋・中 (永交社記事附錄本)	一	イ一三	五三九
皇朝假名史略	卷一・二 邨松良肅編 明治六 和・中	二	イ一三	五四〇
皇朝金鑑	五五卷 青山延壽編 明治二八 和・小	二五	イ一三	五四一
皇朝史略	一二卷・續五卷 青山延于撰 明治一四 四刻 和・小	一〇	イ一三	五四二
國語定本	二一卷 秦鼎撰 嘉永七 再刻 和・大	六	イ一三	五四四
國史略	五卷 岩垣松苗編・同菊苗・杉苗改訂 慶應元 三刻 和・小	二	イ一三	五四五
同		三	イ一三	五四七
國史略	八卷 岩垣松苗編 明治元 四刻 和・小	五	イ一三	五四六
左氏兵戰抄	吉田矩方編 明治二 和・小	一	イ一三	五四九
山陽外傳	一卷・附錄一卷 吉村泰雄編 明治一〇 唐・小	一	イ一三	五五〇
史記十傳	森田益評 寫一花房直三郎 和・中	二	イ一三	五五一
史記抄	寫本 和・中	二	イ一三	五五二
史記評林	一三〇卷・首卷・卷首各一卷 明・凌稚隆編・李光縉補・田中薦實等校 明治二 和・大	五〇	イ一三	五五三
自恃言行錄	附錄石齋先生年譜等 川那邊貞太郎編 明治三二 和・中	一	イ一三	五五四
支那史略	味岡正義等編 明治一一 和・中	二	イ一三	五五五
立齋先生標題解註音釋十八史略	七卷 明・陳殷音釋・岩垣彥明標記・同松苗補 元治元 四刻 和・大	三	イ一三	五五七
立齋先生標題解註音釋十八史略	七卷 明・陳殷音釋・岩垣彥明標記・同松苗補 明治三 五刻 和・小	三	イ一三	五五八
同		七	イ一三	五五九
常山紀談	二〇卷 湯淺元禎編 (元文四) 和・大	一〇	イ一三	五六一
上代衣服考	一名神服考 豐田長敦撰 明治五 和・大	一	イ一三	五六二

		冊	類	號
朝鮮人來歸錄	正德度寫本 和・中	一	イ一三	五九三
朝鮮通俗史談	鎌倉時代 大森金五郎撰 明治四五 洋・中	一	イ一三	五九四
津田永忠君年譜	木畑道夫編 大正六 再版 和・中	一	イ一三	五九五
貞烈龜鑑	上卷 豐島順作編 明治四一 和・大	一	イ一三	五九六
唐鑑	二四卷 宋・范祖禹撰・呂祖謙註 寬文九 和・大	六	イ一三	五九八
唐宋名家歷代史論奇鈔	七卷 正德四 和・大	四	イ一三	六〇〇
常磐會會員名簿	大正一〇年 同會刊 洋・小	一	イ一三	六〇三
讀外史餘論	長川熙撰 (明治六) 和・中	二	イ一三	六〇三
內國史略	藤田久道編・增田貢校 明治一二 和・小	五	イ一三	六〇六
長崎縣史料	同縣刊 明治四五 和・大	一	イ一三	六〇七
廿一史約編	清・鄭元慶撰 光緒六 唐・小	八	イ一三	六〇九
日本開化小史	田口卯吉撰 明治一〇至一六 初・再版 和・中	六	イ一三	六一〇
日本外史	二二卷 賴襄撰・同元協等校 明治四 再刻 和・小	六	イ一三	六一一
續日本外史	二二卷 賴襄撰・久保得二重訂 明治四三 八版 洋・小	一	イ一三	六一三
續日本史論贊集	附錄澹泊史論 井川作之助和譯 漢和兩文 大正五 洋・中	一	イ一三	六一四
泰平年表	大野廣城編 寫本 和・大	一	イ一三	六一六
臺灣蕃政志	三卷・附臺灣蕃地交涉年表 伊能嘉矩編・臺灣總督府刊 明治三七 洋・中	一	イ一三	六一七
中興鑑言	三宅糾明撰 和・大	一	イ一三	六一八
日本戰史	關原役・大阪役 同史編纂委員撰 明治二七・三〇 初・再版 洋・中	一六	イ一三	六二一

乃木院長記念錄 學習院輔仁會編 大正三 再版 洋・中	一冊	イ一三類	六一九號
備前略史 成田元美編 明治一〇 和・中	二	イ一三	六二一
同	二	イ一三	六二二
常陸帶 藤田彪撰・綿引泰校 慶應二 和・小	四	イ一三	六二三
肥長電信錄 初・二編 繪入 青山薰編 明治九・一〇 和・中	四	イ一三	六二四
伏見殉難士傳 附錄添 寺師宗德編 明治二七 和・大	一	イ一三	六二五
扶桑畫人傳 古筆了仲編 明治二一 增補再版 和・大	五	イ一三	六二六
文明論之槪略 福澤諭吉撰 明治八 和・中	六	イ一三	六二七
法學博士杉先生八旬壽筵紀事 洋・中	一	イ一三	一四八
法學博士花房直三郎君還暦祝賀事務及會計報告 (大正七) 洋・中	一	イ一三	一四九
同	一	イ一三	一五〇
國事鞅掌報效志士人名錄 第一輯 史談會編 明治四二 洋・中	一	イ一三	六二九
寶暦武鑑 卷四 和・小	一	イ一三	六三〇
名山史料 咄咄外史編 明治三 和・小	一	イ一三	六三四
名將言行錄 四〇卷 岡谷繁實編 明治二八 和・中	四	イ一三	六三五
名節錄 岡田僑編 慶應二 和・大	三	イ一三	六三六
明治孝節錄 近藤芳樹編 明治一〇 和・中	四	イ一三	六三七
明治忠孝節義傳 五輯 一名東洋立志編 杉本勝二郎編 明治三一至三六 初・再版 洋・中	五	イ一三	六三八

歐羅巴文明史 卷一至四・七・八 佛・ギゾー撰・永峰秀樹重譯 明治七至九 和・中	六冊	イ一三類	六三九號
歐亞列强大戰史 上卷 御即位記念協會編 大正四 三版 洋・中	一	イ一三	六四二
和漢年契 高昶撰・荒井公廉補 安政二 增補三刻 和・大	一	イ一三	六四三

○

有馬山溫泉記追加 河合章堯撰 正德六 和・小	一	イ一三	五〇九
江戶圖正大全 溫淸軒圖 元祿年間	一折	イ一三	五一七
大阪繁昌雜記 卷二 奧澤信行編 明治一〇 和・中	一	イ一三	五一九
大阪府誌 地圖添 同府編 明治三六 洋・大	五	イ一三	五二〇
大阪府治要覽 同府編 大正三 洋・中	一	イ一三	五二一
岡山伏見道中案內 寫本 和・小	一	イ一三	六〇一
鹿兒島案內 鮮明堂刊 (明治四〇)	一折	イ一三	五二六
樺太要覽 樺太廳刊 明治四一 再版 洋・中	一	イ一三	五二九
後樂園誌 木畑道夫編・金陵畫 明治二八 唐・小	二	イ一三	九八六
同	二	イ一三	九八七
最近朝鮮事情要覽 第二・六版 朝鮮總督府編 明治四五・大正三 洋・小	二	イ一三	五四八
支那總說 卷三迄 金子彌兵衛編 明治一四 和・中	三	イ一三	五五六
常薩見聞談 高橋二郎述 (明治四二) 洋・中	一	イ一三	五六〇
諸國旅雀 卷一 和・小	一	イ一三	五六三
宸垣識略 一六卷 淸・吳長元編 光緒二 唐・小	八	イ一三	五六五

津門雜記 淸・張燾編 光緒一〇 唐・大	三	イ一三	五六七
西洋新書 三編 瓜生政和編・玉翁畫 明治五 和・中	六	イ一三	五七四
世界國盡 五卷・附錄一卷 福澤諭吉譯述 明治四 再刻 和・中	六	イ一三	五七五
首書繪入世界都路 假名垣魯文撰・澤菱潭書・曉齋畫 明治五 和・中	三	イ一三	五七六
攝陽落穗集大成 卷一至六 濱松訶國撰 寫本 和・中	二	イ一三	五七八
相武名勝獨案內 片山平三郎刊 和・大	一枚	イ一三	五八〇
增補華夷通商考 繪入 西川忠英編 寶永五 和・中	五	イ一三	五八一
大明京省九邊外國府州縣路程圖 原名大明九邊萬國人跡路程全圖 梅村彌白重刊	一折	イ一三	五八七
臺灣事情 大正五至九年版 臺灣總督府編 大正五至九 洋・小	五	イ一三	五八八
挿畫地學往來 亞細亞洲之部 伊藤桂洲撰竝書・玉蘭齋畫 明治五 和・中	三	イ一三	五九〇
地球略解 卷一 英・魏絨撰・何幸五郎譯 明治二 和・中	一	イ一三	五九一
天平勝寶始築筑前怡土城舊跡記 小田部隆敍編 明治三三 和・中	一	イ一三	五九七
東京新繁昌記 六編 服部誠一撰 明治七至九 和・中	六	イ一三	五九九
德島見聞談 橫山雅男撰 洋・中	一	イ一三	六〇四
十符の菅薦 近藤芳樹編 明治九 和・中	四	イ一三	六〇五
長野縣案內 聯合共進會長野縣協贊會編 明治四一 洋・中	一	イ一三	六〇八
日本周遊記 河田鏻也撰 明治二五 和・中	一	イ一三	六一五
東蝦夷日誌 第三編 松浦弘撰 (文久三) 和・大	一	イ一三	六二〇
兵要日本地理小誌 陸軍兵學寮刊 明治六 和・小	三	イ一三	六二八

漫遊記程 附錄共 中井弘撰 (明治一一) 和・中	三	イ一三	六三一
御嶽探勝案內 山村山陽畫 明治三五	一帖	イ一三	六三二
都繁昌記 因果道士撰 (天保八) 和・中	一	イ一三	六三三
再撰花洛名勝圖會 東山之部 木村明啓・川喜多眞彥編・中山等畫 元治元 和・大	八	イ一三	五二八
輿地誌略 第四編上迄 內田正雄編 明治六至一〇 和・大	一〇	イ一三	六四〇
琉球新誌 大槻文彥撰 明治六 和・中	二	イ一三	六四一

法律政治

伊國代議院條例 洋・中	一冊	イ一三類	六四五號
英國海軍律令全書 前編卷一・二 子安宗峻・柴田昌吉譯 明治三 和・中	二	イ一三	六五一
英國皇室制度雜纂 明治二二 洋・中	一	イ一三	六五二
歐洲各國王室家憲 明治二一 洋・中	一	イ一三	六五三
海軍沿革論 卷一・二 內田正雄譯述 (明治二) 和・中	二	イ一三	六五四
海軍趨勢 增補共 小栗孝三郎撰 明治四四 三版 洋・中	一	イ一三	六五五
外國法翻譯其他 寫本 和・大	一	イ一三	六五七
冠位通考 石原正明撰 (文化二) 和・大	一	イ一三	六五九
英式艦砲全書 卷一・二 小幡篤次郎譯述 明治三 和・中	二	イ一三	六六一
軍艦法則 細川習譯 明治二 和・中	二	イ一三	六六五
憲法竝附屬法 附・皇室典範 內閣官報局刊 明治二二 和・大 (官報號外本)	一	イ一三	六六九
工業所有權法及發明一斑 特許局刊 明治三七 和・大	一	イ一三	六七〇

五國條約 安政六 和・大
戶籍法案 洋・大
改正衆議院議員選擧法釋義 附錄内務省選擧法調査報告書外二篇 關岡伯・横田左仲撰 明治三四 洋・中
衆議院先例彙纂 同院事務局編 (明治二四) 洋・中
商法修正案 洋・大
職員令 和・中
改正新刑法草案 有斐閣刊 明治四〇 再版 洋・中
人事訴訟手續法案 洋・大
新律綱領 改定律例合卷 司法省刊 明治六 和・小
制度通 一三卷 寫本 伊藤長胤編 和・中
全國民事慣例類集 生田精編・司法省刊 明治一三 洋・中
泰西國法論 蘭・ヒッセリング撰・津田眞道譯 慶應四 和・中
大日本憲法講義 獨・モッセ講述・花房直三郎通譯 (明治二三) 洋・小
大日本帝國憲法義解 附・皇室典範 伊藤博文撰 明治二二 洋・大
大禮の要旨 文部省編 (大正四) 洋・中
大禮要義 牛塚虎太郎撰 (大正二) 洋・中
臺灣總督府法規提要 明治三七年一月現行 同總督官房編 洋・中
臺灣ニ施行スヘキ法令ニ關スル法律其ノ沿革竝現行律令 内閣記錄課編 (大正四) 洋・中
露國帝室制度雜纂 明治二一 洋・中

○

京都府下維新前民政資料蒐集目錄 京都府内務部編 明治四五 洋・中
京都府下維新前民政資料選拔目錄 幷解題 京都府内務部編 明治四五 洋・中
京都府下維新前民政資料碑文集 京都府内務部編 明治四五 洋・中
伊藤侯演說集 三篇 日報社編 明治三二 洋・小 (東京日日新聞附錄本)
伊藤首相演說集 切拔貼附 和・大
外國事務 福地源一郎譯 明治元 和・中
隔靴論 鹽谷世弘撰 安政六 和・大
韓國施政年報 第二・三次 (明治四一・四二) 統監府編 明治四三・四四 洋・大
朝鮮總督府施政年報 明治四三至大正元年 同府編 (韓國施政年報第三次ニ據ス) 明治四五至大正三 洋・大
魏鄭公諫續錄 元・瞿思忠撰 天保四 和・小
行政整理ト鑛山監督署 松本郁朗撰 明治三五 洋・中
京都府地方改良講演集 國家の進運を論して法政教育の必要に及ぶ (仁保鶴松) 外七篇 同府内務部編 大正元 洋・中
郡市町村廢置分合表 明治三一年末至大正二年末 内閣統計局編 明治三九年四月至四〇年末 同廳編 明治三九年至大正四 洋・大
警視廳事務要錄 明治四一 洋・大
京兆府尹記事 二〇卷 寫本 岡藤利忠撰 和・大
皇國經典 佐藤範雄編 (大正五) 和・大
廣治平略 三六卷・補編八卷 唐・小 (清版) 清・蔡方炳編

冊	類	號	
五	イ一三	六七六	獨逸法律書 第二册 洋・中
一	イ一三	六七七	德川禁令考 一九卷・附錄一卷・首一卷 菊池駿助編 明治二一 和・中
一	イ一三	六八四	童蒙讀律必携 川澄下枝編 (明治六) 和・小
一	イ一三	六八五	萬國公法 四卷 米・惠顧撰・米・丁韙良・清・何師孟等譯 慶應元 和・大
一	イ一三	六八七	非訟事件手續法案 洋・大
一	イ一三	六八八	府縣制郡制 附・市制町村制附理由 博聞本社刊 明治二三 和・小 (法律叢書本)
一	イ一三	六八九	普國王室制度雜纂 洋・中
一	イ一三	六九一	法學指針 第一帙 米・ヴェルベッキ口授・忘筌社員譯記 明治一〇 和・中
一	イ一三	六九三	法規提要追加 明治三三年八月至三四年一〇月 法制局編 明治三四 洋・中
一	イ一三	六九七	府務提要 法規類集 渡邊安之助編 明治三三 洋・中
一	イ一三	六九九	法令全書 慶應三年一〇月至明治一七年末 内閣官報局編 明治二〇至二六 洋・中
一	イ一三	七〇三	法令全書 明治一八年至三四年 内閣官報局・印刷局刊 明治一八至三五 洋・中
一	イ一三	七〇三	法令全書 明治三五年至大正五年第一號 (内三五年索引・三六年第一號・同年索引・三七年至大正四年索引缺) 印刷局刊 明治三五至大正五 洋・中
一	イ一三	七〇四	民法中修正案 第七二五至一一四六條 洋・大
一	イ一三	七〇五	民法中修正案 第七二五至一一四二條 洋・大
一	イ一三	七〇六	明治三十七八年戰役捕獲審檢誌 高等捕獲審檢所幾務調理員編 明治三九 洋・中
一	イ一三	七〇七	令義解 清原夏野等撰・塙保己一校 寛政一一 和・大
二	イ一三	七〇八	臨時臺灣舊慣調査會第一部調査第一回報告書 同部編 明治三六 洋・大
一	イ一三	七〇九	ロエスレル氏王室家憲答議 洋・中

冊	類	號	
一	イ一三	七一四	獨逸法律書 第二册 洋・中
二一	イ一三	七一五	德川禁令考 一九卷・附錄一卷・首一卷 菊池駿助編 明治二一 和・中
二	イ一三	七一六	童蒙讀律必携 川澄下枝編 (明治六) 和・小
六	イ一三	七一三	萬國公法 四卷 米・惠顧撰・米・丁韙良・清・何師孟等譯 慶應元 和・大
一	イ一三	七一三	非訟事件手續法案 洋・大
一	イ一三	七一七	府縣制郡制 附・市制町村制附理由 博聞本社刊 明治二三 和・小 (法律叢書本)
一	イ一三	七一八	普國王室制度雜纂 洋・中
二	イ一三	七一九	法學指針 第一帙 米・ヴェルベッキ口授・忘筌社員譯記 明治一〇 和・中
一	イ一三	七三〇	法規提要追加 明治三三年八月至三四年一〇月 法制局編 明治三四 洋・中
一	イ一三	七三一	府務提要 法規類集 渡邊安之助編 明治三三 洋・中
一九	イ一三	七三二	法令全書 慶應三年一〇月至明治一七年末 内閣官報局編 明治二〇至二六 洋・中
七五	イ一三	七三三	法令全書 明治一八年至三四年 内閣官報局・印刷局刊 明治一八至三五 洋・中
一	イ一三	七二四	法令全書 明治三五年至大正五年第一號 (内三五年索引・三六年第一號・同年索引・三七年至大正四年索引缺) 印刷局刊 明治三五至大正五 洋・中
一	イ一三	七二六	民法中修正案 第七二五至一一四六條 洋・大
一	イ一三	七二七	民法中修正案 第七二五至一一四二條 洋・大
一	イ一三	七二八	明治三十七八年戰役捕獲審檢誌 高等捕獲審檢所幾務調理員編 明治三九 洋・中
一〇	イ一三	七二四	令義解 清原夏野等撰・塙保己一校 寛政一一 和・大
二	イ一三	七三五	臨時臺灣舊慣調査會第一部調査第一回報告書 同部編 明治三六 洋・大
一	イ一三	七四六	ロエスレル氏王室家憲答議 洋・中

露國帝室制度雜纂 明治二一 洋・中 一 イ一三 七四七

○

京都府下維新前民政資料蒐集目錄 京都府内務部編 明治四五 洋・中 一 イ一三 六四四
京都府下維新前民政資料選拔目錄 幷解題 京都府内務部編 明治四五 洋・中 一 イ一三 六四六
京都府下維新前民政資料碑文集 京都府内務部編 明治四五 洋・中 一 イ一三 六四八
伊藤侯演說集 三篇 日報社編 明治三二 洋・小 (東京日日新聞附錄本) 三 イ一三 六四九
伊藤首相演說集 切拔貼附 和・大 一 イ一三 六五〇
外國事務 福地源一郎譯 明治元 和・中 一 イ一三 六五五
隔靴論 鹽谷世弘撰 安政六 和・大 一 イ一三 六五八
韓國施政年報 第二・三次 (明治四一・四二) 統監府編 明治四三・四四 洋・大 二 イ一三 六六〇 一一二
朝鮮總督府施政年報 明治四三至大正元年 同府編 (韓國施政年報第三次ニ據ス) 明治四五至大正三 洋・大 三 イ一三 六六〇 二一五
魏鄭公諫續錄 元・瞿思忠撰 天保四 和・小 二 イ一三 六六二
行政整理ト鑛山監督署 松本郁朗撰 明治三五 洋・中 一 イ一三 六六三
京都府地方改良講演集 國家の進運を論して法政教育の必要に及ぶ (仁保鶴松) 外七篇 同府内務部編 大正元 洋・中 一 イ一三 六六四
郡市町村廢置分合表 明治三一年末至大正二年末 内閣統計局編 明治三九年四月至四〇年末 同廳編 明治三九年至大正四 洋・大 三 イ一三 六六六
警視廳事務要錄 明治三九年四月至四〇年末 同廳編 明治四一 洋・大 一 イ一三 六六七
京兆府尹記事 二〇卷 寫本 岡藤利忠撰 和・大 八 イ一三 六六八
皇國經典 佐藤範雄編 (大正五) 和・大 一 イ一三 六七一
廣治平略 三六卷・補編八卷 唐・小 (清版) 清・蔡方炳編 三 イ一三 六七二
通議 賴襄撰・同元協等校 弘化四 和・大 三 イ一三 七二
通語 中井積德撰 天保一四 和・大 三 イ一三 七三
英國國會沿革誌 三卷・附錄一卷 高橋基一譯 明治一二 和・中 三 イ一三 六七四
國體新論 加藤弘之撰 明治八 和・中 一 イ一三 六七五
今上御卽位式寫眞帖 準備之卷 御裏筆一葉附 帝國軍人教育會編 今上陛下御卽位式寫眞帖 御眞影一葉附 帝國軍人教育會編 大正四 五版 和・大 二 イ一三 六七九
御大禮奉祝方案 皇典講究所撰 大正四 洋・小 一 イ一三 六八〇
自由之理 五卷 英・彌爾撰・中村正直譯 明治五 和・中 六 イ一三 六八六
新策 賴襄撰・同復・醇校 安政二 和・大 五 イ一三 六九〇
眞政大意 加藤弘之撰 明治三 和・中 二 イ一三 六九二
新論 會澤安撰 安政四 和・大 二 イ一三 六九四
政學提綱 林正明譯 明治六 和・中 一 イ一三 六九五
政治略論 米・ヲルデン撰・錦織精之進譯 明治六 和・中 二 イ一三 六九六
政論 土田政次郎撰 明治四一 洋・大 一 イ一三 六九八
宋李忠定公奏議選 賴襄編 安政四 和・大 一 イ一三 七〇〇
大使館建設ノ議 外一篇 木村元雄撰 寫本 和・大 一 イ一三 七〇一
臺灣總督府民政事務成績提要 第八編 (明治三五) 洋・中 同府編 (明治三七) 一 イ一三 七〇八
地方自治ト社會的制度 窪田靜太郎撰 (謄寫版) 和・大 一 イ一三 七一〇
朝鮮統治三年間成績 朝鮮總督府編 (大正三) 洋・大 一 イ一三 七一一
通議 賴襄撰・同元協等校 弘化四 和・大 三 イ一三 七一二
通語 中井積德撰 天保一四 和・大 三 イ一三 七一三

書名・著者等	册	類	號
唐陸宣公奏議 一二卷 唐・陸贄撰 和・中	六	イ一三	七四一
都市改良參考資料 內務省地方局編 大正四 洋・中	一	イ一三	七一七
日米問題實力解決策 大石捼一撰 大正六 再版 洋・大	一	イ一三	七一九
日本開進論 米・李全得撰・小松原英太郎譯 明治一二 和・中	五	イ一三	七二〇
府縣及北海道境域沿革一覽 內閣統計局編 明治四三 洋・大	二	イ一三	七二五
同	二	イ一三	七二六
民撰議院集說 櫻井忠德編 明治七 和・中	二	イ一三	七三五
明治四十五年行政整理顚末 朝鮮總督府刊 洋・大	一	イ一三	七三九
陸宣公奏議 一二卷 唐・陸贄撰 和・中	三	イ一三	七四〇
各國立憲政體起立史 六卷 獨・ビーデルマン撰・加藤弘之譯 明治八 和・中	六	イ一三	七四二
立憲政體略 加藤弘之撰 (慶應四) 和・中	一	イ一三	七四三

經濟財政

書名・著者等	册	類	號
英氏經濟論 九卷(內卷四・五缺) 米・英蘭土撰・小幡篤次郎譯 明治四至一〇 和・中	七	イ一三	七五〇
大阪築港設計ノ梗概 和・中	一	イ一三	七五二
鴨綠江橋梁工事概況 (明治四四) 洋・中	一	イ一三	七五四
經濟原論貨幣說 箕作麟祥譯・小島忠廉校 (明治三) 和・中	三〇	イ一三	七五七
舊幕府理財會要引用書目並參考書目 大藏省編 和・中	一	イ一三	七六四
京義線工事概況 朝鮮總督府鐵道局刊 (明治四五) 洋・中	一	イ一三	七六五
經濟原論 卷三至六 米・ペーリー撰・緒方正譯 (明治二) 和・中	四	イ一三	七六六
國有鐵道貨物運賃及料金規則 大正一〇年一月一日改正 鐵道省刊 洋・中	一	イ一三	七六八
朱氏經濟學 理論經濟學・獨逸經濟沿革史 澳・シモルレル述 寫本 和・大	二	イ一三	七七二
戰時及戰後に於ける列國の人口問題 內務省地方局編 (大正八) 洋・中 (戰時列國地方資料本)	一	イ一三	七七八
草稿 ロッセル經濟學等 寫本 和・中	一	イ一三	九一九
臺灣鐵道史 未定稿 臺灣總督府鐵道部編 明治四三・四四 洋・中	三	イ一三	七八六
地方經濟參考表 附・外國貿易概表 明治二六至三五年度 洋・大	一	イ一三	七九二
遞信史要 遞信大臣官房刊 明治三一 洋・中	一	イ一三	七九五
獨逸殖民新論 廣中佐兵衞撰 明治四三 洋・中	一	イ一三	七九八
東亞經濟調查局記錄分類 滿鐵東亞經濟調查局編 明治四一 洋・小	一	イ一三	七九九
(東亞經濟調查局)記錄分類一覽 滿鐵東亞經濟調查局編 (明治四三—謄寫版) 和・大	一	イ一三	八〇〇
日本經濟叢書 瀧本誠一編 大正三至六 洋・中	三六	イ一三	八〇三
日本農民ノ疲弊及其救治策 孛・マイエット撰・齋藤鐵太郎等譯 明治二六 洋・大	一	イ一三	八〇七
北海道利源調查書摘要 洋・大	一	イ一三	八一九
まるさす人口論ノ研究法ニ就イテ 財部靜治撰 (大正五) 洋・中 (經濟論叢拔刷本)	一	イ一三	八二〇
民間經濟錄 初・二編 福澤諭吉撰 明治一〇・一三 和・中	二	イ一三	八二三
臨時臺灣舊慣調查會第二部調查經濟資料報告 同部編 明治三八 洋中	二	イ一三	八三〇
臨時臺灣土地調查局事業報告 第一至四回 同局編 明治三五至三八 洋・中	四	イ一三	八三二
勞働者强制保險 窪田靜太郎撰 明治三二 洋・中	一	イ一三	八三三

○

書名・著者等	册	類	號
歐米大戰爭ニ於ケル財政ニ關スル調查 大藏省刊 明治三七 洋・中	一	イ一三	七五三
會計原法參考書 第一至七集 大藏省參事官室譯 (明治二〇) 洋・小	七	イ一三	七五五
合衆國收稅法 米・ブーツウェル撰・立嘉度譯 明治五 和・中	四	イ一三	七五六
韓國財政施設綱要 荒井賢太郎撰 (明治四三) 洋・大	一	イ一三	七六〇
韓國財政整理報告 第一回 韓國政府財政顧問部刊 明治三八 洋・大	一	イ一三	七六一
韓國財務經過報告 第三至五回 (隆熙三至明治四三年上半) 度支部編 (明治四三) 洋・中	三	イ一三	七六二
歲計豫算論 獨・グナイスト撰・中根重一譯 洋・中	一	イ一三	七七〇
歲入歲出豫算 明治二五・三八・四三年度 洋・大	三	イ一三	七七一
稅法整理論 瀧本美夫撰 洋・中	一	イ一三	七七七
大租取調書 附屬參考書三卷添 臨時臺灣土地調查局刊 明治三七 洋・中	四	イ一三	七八一
大日本租稅志 前篇二〇卷 野中準等編 明治一五 和・大	一〇	イ一三	七八三
帝國歲計豫算史 第二卷 大藏省刊 明治二八 洋・中	一	イ一三	七九三
明治財政要鑑 細川雄二郎撰 明治二五 洋・中	一	イ一三	八二三

產業社會

書名・著者等	册	類	號
印刷局沿革錄 同局編刊 明治三六 洋・大	一	イ一三	七四九
澳國博覽會參同記要 田中芳男・平山成信編 明治三〇 洋・中	一	イ一三	七五一
勸業諸報標目 第一輯 石川縣勸業博物館編 明治二四 洋・中	一	イ一三	七五八
勸業模範場報告 第四至七號 朝鮮總督府勸業模範場編 隆熙四・明治四四至大正二 洋・大	四	イ一三	七五九
間島產業調查書 統監府臨時間島派出所殘務整理所編 明治四三 洋・大	一	イ一三	七六三
廣益農工全書 宮崎柳條編並畫 明治一四 和・中	五	イ一三	七六七
古今銘盡大全 七卷・附錄一卷 元祿一五 和・中	八	イ一三	七六九
種樹園法 佐藤信淵口授・同昭筆記 明治九 和・中	三	イ一三	七七三
蒸氣器械書 海軍學校刊 明治二 和・大	四	イ一三	七七四
商品改良會報告 第六回 農商務省商務局刊 大正二 洋・大	一	イ一三	七七五
精工舍創業貳拾週年紀念 大正三 和・中	一	イ一三	七七六
大英商業史 英・レブィー撰・田口卯吉譯 明治一二 和・中	四	イ一三	七七九
對支投資の根本精神 青峰外史撰 大正七 洋・中	一	イ一三	七八〇
大日本山林會創立二十五年紀念號 同會編 明治三九 洋・中 (大日本山林會報)	一	イ一三	七八二
臺灣銀行十年志 同行編 明治四三 洋・大	一	イ一三	七八四
臺灣產業調查錄 臺灣總督府民政局刊 明治二九 洋・小	一	イ一三	七八五
拓殖博覽會事務報告 同會殘務取扱所刊 大正二 洋・小	一	イ一三	七八七
田收穫及小租調查書 臺灣 洋・大	一	イ一三	七八八
田賣買價格及金利調查書 臺灣 洋・大	一	イ一三	七八九
畜產計畫書 寫本 和・中	一	イ一三	七九〇
致富小記 佐藤信淵撰・織田完之校 明治一四 和・中	一	イ一三	七九一
帝國ニ於ケル特許發明ノ發達一斑 農商務省刊 明治三六 洋・大	一	イ一三	七九四
隄防溝洫志 佐藤信有撰・同信淵校 明治九 和・中	四	イ一三	七九六
獨逸國土地抵當銀行視察報告書 星野米撰 大正四 洋・中	一	イ一三	七九七

糖業記事 第三次 臨時臺灣糖務局編 明治三七 洋・大 | 一 | イ一三 | 八〇一
日英博覽會事務局事務報告 農商務省刊 明治四五 洋・大 | 二 | イ一三 | 八〇三
日本歲時記 七卷 貝原好古編・同篤信補 貞享五 和・中 | 四 | イ一三 | 七二一
日本産物志 前編山城・武藏部 伊藤圭介撰・雪齋畫 明治六 和・大 | 四 | イ一三 | 八〇四
日本大博覽會規則 外三項 同會事務局刊 明治四一 洋・中 | 一 | イ一三 | 八〇五
日本電業者一覽 明治三九・四〇年用 日本電氣協會編 明治三八・四〇 洋・小 | 二 | イ一三 | 八〇六
日本物産年表 附・我邦物産ノ起源 田中芳男編 明治三四 洋・中 | 一 | イ一三 | 八〇八
農家備要 前編 河野剛撰 明治三 和・中 | 五 | イ一三 | 八〇九
農業三事 津田仙撰 明治七 和・中 | 二 | イ一三 | 八一〇
農業花曆 初編 河野剛撰 明治三 | 一帖 | イ一三 | 八一一
農商務省商工局臨時報告 明治三八年第二册 同局刊 明治三八 洋・大 | 一 | イ一三 | 八一二
畑收獲及小租調查書 臺灣 洋・大 | 一 | イ一三 | 八一三
畑賣買價格及金利調查書 臺灣 洋・大 | 一 | イ一三 | 八一四
百工新書 一卷・後篇一卷 西宮柳條編 明治五 和・中 | 二 | イ一三 | 八一五
訂正增補 富國捷徑 初節 福住正兄撰 明治一二 再刻 和・中 | 一 | イ一三 | 八一六
富國捷徑 首卷 福住正兄撰 明治一八 和・中 | 一 | イ一三 | 八一七
日本信用組合 報德結社問答 附・積米法 福住正兄撰 明治二五 和・中 | 一 | イ一三 | 八一八
南阿弗利加貿易事情 農商務省商工局刊 大正六 洋・大（商工彙纂本） | 一 | イ一三 | 八二一
綿花培養新論 東方覺之抄譯（明治一五） 和・中 | 一 | イ一三 | 八二四

養菊手ひき草 秋香會撰 明治三八 洋・中 | 一 | イ一三 | 八二五
養魚池收穫及小租調查書 臺灣 洋・大 | 一 | イ一三 | 八二六
養魚池賣買價格及金利調查書 臺灣 洋・大 | 一 | イ一三 | 八二七
養蠶一代之事 寫本 和・大 | 一 | イ一三 | 八二八
養蠶全書 二卷 石幡吉三郎撰 明治八 和・中 | 一 | イ一三 | 八二九

〇

秋田縣震災ノ狀況 大正三年三月二一日調 洋・中 | 一 | イ一三 | 六四四
皇室社會新政 附錄大阪名護町貧民窟視察記 鈴木梅四郎撰 大正七 洋・中 | 一 | イ一三 | 六七二
失業者と其授業制度 內務省地方局刊 明治三七 洋・中 | 一 | イ一三 | 六八一
社會政策學會論叢 一册一至一二（內一册五缺） 同會編 明治四一至大正八 初・再版 洋・中 | 一二 | イ一三 | 六八二
工場法と勞働問題 | 一 | 關稅問題と社會政策 | 二
移民問題 | 三 | 市營事業 | 四
生計費問題 | 五 | 勞働爭議 | 六
小農保護問題 | 七 | 社會政策より觀たる稅制問題 | 八
小工業問題 | 九 | 官業及保護會社問題 | 一〇
婦人勞働問題 | 一一
社會的制度一斑 窪田靜太郎撰 明治三二 洋・中 | 一 | イ一三 | 六八三
都市ノ社會政策 財部靜治撰 洋・中（大阪高等商業學校商業及經濟研究叢刊本） | 一 | イ一三 | 七一八
貧民救濟制度意見 窪田靜太郎撰 明治三二 洋・中 | 一 | イ一三 | 七二四
勞働紹介雜觀 後編缺 財部靜治撰（法學新報抜刷本） | 二 | イ一三 | 八三三
我邦現代の社會趨勢と其の救濟事業 布川靜灝撰 洋・中 | 一 | イ一三 | 七四八

哲學理學

歐米立志金言 脇山義保譯述 明治一九 和・中 | 一 | イ一三 | 八三四
思ひ出くさ 下 守田五左衛門撰 寫本 和・中 | 一 | イ一三 | 八三五
音訓五經 佐藤坦校點 文化一〇 和・大 | 一一 | イ一三 | 八三六
韓子解詁 二一卷・首一卷 津田鳳卿撰 嘉永二 求版 和・大 | 一〇 | イ一三 | 八四一
韓子解詁 二一卷・首一卷 津田鳳卿撰 元治元 和・大 | 一〇 | イ一三 | 八四二
君則 五卷 近藤篤編 寫本 和・中 | 一 | イ一三 | 八四五
言志錄 佐藤坦撰（文政七） 和・大 | 一 | イ一三 | 八四七
孝經 中井原國譯・曾田文甫校釋 明治四三 和・中 | 一 | イ一三 | 八四八
弘道館記述義 藤田彪撰 慶應二 和・大 | 二 | イ一三 | 八四九
高等小學修身訓 生徒用卷二至四・教師用四卷 末松謙澄編 明治二五 和・中 | 七 | イ一三 | 八五〇
校訂五經 片假名付 渡井量藏訓點 新鐫 明治二七 再版 和・小 | 一一 | イ一三 | 八五一
五經白文 六書堂刊 寶曆九 和・小 | 三 | イ一三 | 八五二
士氣と修養とに關する哲學的觀察 姉崎正治述 大正二 洋・中 | 一 | イ一三 | 八五六
詩經 山崎嘉點・雲川弘毅改定 和・大 | 二 | イ一三 | 八五七
頭書詩經集註 松永昌易標註 明治九 和・大 | 八 | イ一三 | 八五八
視志緒言 鹽谷世弘撰 慶應二 和・大 | 二 | イ一三 | 八五九
四書 宋・朱熹集註 元祿五 和・小 | 四 | イ一三 | 八六〇
四書假名附 後藤嘉幸訓點 明治一七 和・小 | 四 | イ一三 | 八六一
四書集註 宋・朱熹撰 文久三 和・小 | 六 | イ一三 | 八六二
四書大全說約合參正解 三〇卷・首一卷 清・吳荃編・三疊義正點 元祿一〇 和・大 | 三〇 | イ一三 | 八六三
修身女訓 岡本賢藏編 明治一五 和・中 | 六 | イ一三 | 八六四
修身女訓 生徒用 末松謙澄編 明治二六 和・中 | 四 | イ一三 | 八六五
修身入門 教師用 末松謙澄撰 明治二五 和・中 | 一 | イ一三 | 八六六
朱子靜坐說 聖華房編刊 大正四 和・大 | 一 | イ一三 | 八六七
春秋左氏傳校本 三〇卷 秦鼎撰 嘉永三 再刻 和・大 | 一五 | イ一三 | 八六八
小學 外篇 山崎嘉點 天明三 和・大 | 一 | イ一三 | 八六九
小學修身訓 生徒用卷中・下・教師用三卷 末松謙澄編 明治二五 和・中 | 五 | イ一三 | 八七〇
女德寶鑑 生徒用 安積五郎・田中登作撰 明治二七 訂正再版 和・中 | 四 | イ一三 | 八七二
斯邁爾斯自助論 第一〇編迄 一名西國立志編 中村正直譯 明治三 和・中 | 八 | イ一三 | 八七四
靖獻遺言 八卷 淺見安正編・波多野春房訓解 明治四四 四版 洋・小 | 一 | イ一三 | 八七五
西洋品行論 一二編 英・斯邁爾斯撰・中村正直譯 明治一 一 和・中 | 一二 | イ一三 | 八七六
莊子因 六卷・附錄一卷 清・林雲銘撰・松井暉辰校點 寬政八 和・大 | 六 | イ一三 | 八七七
莊子鬳齋口義 一〇卷（內卷三・四缺）・附新鐫莊子十論 宋・林希逸撰 萬治二 和・大 | 四 | イ一三 | 八七八
增補蘇批孟子 清・趙大浣撰・井上揆纂評 明治二三 和・中 | 三 | イ一三 | 八七九
標註 傳習錄 三卷・附錄一卷 明・徐愛等編・三輪希賢標註（正德二） 和・大 | 四 | イ一三 | 八八二
日本品行論 荒野文雄撰 明治一二 和・中 | 二 | イ一三 | 八八五
筆記詩集傳 卷一至三・六至一六 寫本 和・大 | 一三 | イ一三 | 八八七

筆記周易本義 巻一至一〇・一二至一五 寫本 和・大
纂訂 評註老子道德經 宋・蘇轍解・木山瑀吉編 明治二三 和・中
婦女鑑 西村茂樹等編・楓湖畫 明治二〇 和・中
婦人の修養 附錄修身外四項 鳩山春子撰 明治四〇 洋・中
ポケット論語 宋・朱熹集註・矢野恒太讀方略解 明治四〇 洋・小
松崎博士の著作的不道德 布川靜淵撰 洋・中 (丁酉倫理講演集拔刷本)
勅語風解 道の光 甲斐順宜撰 明治二四 和・小
孟子 嵩山堂刊 明治四二 再版 洋・小 (ポケット四書本)
毛詩正義 七〇巻(有補寫) 漢・毛亨傳・鄭玄箋・唐・孔穎達疏 唐・大
幼學綱要 元田永孚編・楓湖畫 明治一六 再版 和・中

〇

改算記大成 三巻 元祿一三 和・中
化學入門 外編 桂川甫策・石橋八郎譯註 明治二 和・中
化學要論 巻一 米・ホストル撰・杉田擴譯 明治六 和・小
喝氏初學人身究理 米・カットル撰・伊藤正信譯 明治一三 和・中
訓蒙 窮理圖解 巻一 福澤諭吉編 明治元 和・小
訓蒙 窮理問答 後藤達三編 (明治五) 和・中
計算尺原理及使用法 野津正之助撰 明治三七 洋・小 (工業叢書本)
さかなつくし (一立齋廣重畫 (明治四四)

	帖	冊	類	號
	五	イ一三	八八二	八八八
	二	イ一三	八八二	八八九
	六	イ一三	八八二	八九〇
	一	イ一三	八八二	八九一
	二	イ一三	八八二	八九三
	一	イ一三	八八二	八九四
	一	イ一三	八八二	八九六
	一	イ一三	八八二	八九七
	三	イ一三	八八二	八九八
	七	イ一三	八八二	九〇〇
	一	イ一三	八八二	八九七
	一	イ一三	八八二	八九八
	一	イ一三	八八二	八九九
	二	イ一三	八八二	九〇一
	一	イ一三	八八二	八九四
	一	イ一三	八八二	八九五
	四	イ一三	八八二	八九六
	一	イ一三	八八二	八九七
	二	イ一三	八八二	八九八
	一	イ一三	八八二	八九九
	一	イ一三	八八二	九〇〇
	一	イ一三	八八二	九〇一
	一	イ一三	八八二	九〇二
	一	イ一三	八八二	九〇三
	一	イ一三	八八二	九〇四
	一	イ一三	八八二	九〇五
	一	イ一三	八八二	九〇六
	一	イ一三	八八二	九〇七
	一	イ一三	八八二	九〇八
	一	イ一三	八八二	九〇九
	一	イ一三	八八二	九一〇
	一	イ一三	八八二	九一一
	一	イ一三	八八二	九一二
	一	イ一三	八八二	九一三
	一	イ一三	八八二	九一四
	一	イ一三	八八二	九一五
	一	イ一三	八八二	九一六
	一	イ一三	八八二	九一七
	一	イ一三	八八二	九一八
	一	イ一三	八八二	九一九
	一	イ一三	八八二	九二〇
	一	イ一三	八八二	九二一
	一	イ一三	八八二	九二二
	一	イ一三	八八二	九二三
	一	イ一三	八八二	九二四
	一	イ一三	八八二	九二五
	一	イ一三	八八二	九二六
	一	イ一三	八八二	九二七
	一	イ一三	八八二	九二八
	一	イ一三	八八二	九二九
	一	イ一三	八八二	九三〇
	一	イ一三	八八二	九三一
	一	イ一三	八八二	九三二
	一	イ一三	八八二	九三三
	一	イ一三	八八二	九三四
	一	イ一三	八八二	九三五
	一	イ一三	八八二	九三六
	一	イ一三	八八二	九三七
	一	イ一三	八八二	九三八
	一	イ一三	八八二	九三九
	一	イ一三	八八二	九四〇
	一	イ一三	八八二	九四一
	一	イ一三	八八二	九四二
	一	イ一三	八八二	九四三
	一	イ一三	八八二	九四四
	一	イ一三	八八二	九四五
	一	イ一三	八八二	九四六
	一	イ一三	八八二	九四七
	一	イ一三	八八二	九四八
	一	イ一三	八八二	九四九
	一	イ一三	八八二	九五〇
	一	イ一三	八八二	九五一
	一	イ一三	八八二	九五二
	一	イ一三	八八二	九五三
	一	イ一三	八八二	九五四
	一	イ一三	八八二	九五五
	一	イ一三	八八二	九五六
	一	イ一三	八八二	九五七
	一	イ一三	八八二	九五八
	一	イ一三	八八二	九五九
	一	イ一三	八八二	九六〇
	三	イ一三	八八二	九六一
	二	イ一三	八八二	九六二
	六	イ一三	八八二	九六三
	三	イ一三	八八二	九六四

さかなつくし (一立齋廣重畫 (明治四四) 三角測量點 水準測量點 明細表 臨時臺灣土地調查局刊 明治三七 洋・大
植物學 八巻 英・草廉臣幹釋・清・李善蘭筆述 和・大
數學啓蒙 二巻 英・偉烈撰 文久二 和・中
地質學 巻一・二 瓜生寅・薗鑑譯述 明治五 和・中
點竄問題集 初篇 關口開編 明治五 和・小
登高自卑 巻上・中 村松良肅編 明治五 和・中
桃洞遺筆 巻三・附錄一巻 繪入 小原良直撰 天保四 和・大
博物新編補遺 英・チャンブル撰・小幡篤次郎譯 明治二 和・中
物類品隲 巻四・六 平賀國倫編 寶曆一三 和・大
萬德塵劫記 商賣鑑 天文二 和・中
有用植物圖說 巻一 博物館刊 和・大
六分圓器量地手引草 村田恒光編 (嘉永六) 和・中

語學文學

畫引增字分韻便覽 和・小
疑字箋要 寫本 和・大
康熙字典 一二集・補遺・備考等共 清・張玉書等編 文久三 和・小
語學教授本 附錄共 加部巖夫編 明治二六 和・中
詩韻含英 一八巻・附詩韻異同辨 清・劉文蔚編 天保一二 再刻 和・小

詩韻含英 巻一至八 和・小 清・劉文蔚編・秦鼎校
掌中增補詩礎階梯 三國鷹集編・山田翠雨補 明治五
助辭譯通 岡白駒撰 (寶曆一二) 和・中
草字彙 一二集 明治一三 清・石梁編 和・小
草書淵海 四巻 井出臥溪編 (延寶三) 和・大
增續大廣益會玉篇大全 一〇巻・首一巻 毛利瑚珀編 明治五 六刻 和・中
增續大廣益會玉篇大全 一〇巻・首一巻 毛利瑚珀編 明治一六 九刻 唐・小
鼇頭熟字 增補伊呂波韻集成 星野隆吉編 明治一一
頭書字彙 一二集・首・附・末各一巻 明・梅膺祚撰・愈室增註 天明七 和・大
佩文韻府 一〇六巻・拾遺一〇六巻 明治二九 再版 唐・中 清・張玉書等奉勅編・襲谷修等校
譯筌 初編六巻・首一巻・外題譯文筌蹄 吉有鄰筆受 正德五 和・中

〇

朝夷巡嶋記全傳 第八編迄 爲齋畫 曲亭馬琴・松亭金水編・豐廣・文化一二至安政五 和・中
熱海調音詩詞集 小島泰堂編 明治一九 和・中
葦杭游記 一巻・附錄一巻 (明治四二) 股野琢撰 唐・大
伊藤公國葬餘韻 二巻 末松謙澄編 明治四三 洋・小
咏物詩選註釋 八巻 清・易開綺・孫洧鳴撰 光緒元 唐・小
江戸夢華詩 沖冠嶺編 明治一一 唐・小
通俗 繪本三國志 三〇巻 鶴壁社刊 明治一八 洋・小

	帖	冊	類	號
	一	イ一三	八八二	八八四
	一	イ一三	八八二	八八五
	三	イ一三	八八二	八七一
	一	イ一三	八八二	八七三
	二	イ一三	八八二	八八〇
	二	イ一三	八八二	八八一
	二	イ一三	八八二	八八三
	二	イ一三	八八二	八八六
	一	イ一三	八八二	八八四
	三	イ一三	八八二	八八六
	二	イ一三	八八二	八九二
	一	イ一三	八八二	八八五
	一	イ一三	八八二	八八九
	一	イ一三	八八二	九〇一
	四〇	イ一三	九七七	
	二	イ一三	八八八	
	二	イ一三	一〇〇四	

語學文學

畫引增字分韻便覽	和・小	一	イ一三	九五六
疑字箋要	寫本 和・大	一	イ一三	九六五
康熙字典 一二集・補遺・備考等共	清・張玉書等編 文久三 和・小	四〇	イ一三	九七七
語學教授本 附錄共	加部巖夫編 明治二六 和・中	二	イ一三	八八八
詩韻含英 一八巻・附詩韻異同辨	清・劉文蔚編 天保一二 再刻 和・小	二	イ一三	一〇〇四

鼇頭圓機活法 八巻 明治一五 山崎昇編 唐・小
韻學
延年集 木畑竹三郎編 明治三六 和・中
大磯紀勝 長谷川一彥撰 明治三一 唐・中
大磯竹枝 附・淘綾漁唱 長谷川正直撰 明治三三 唐・小
櫻陰遺稿 五巻 芳野世行撰 明治一一 和・中
甌北詩鈔 清・趙翼撰 (乾隆五五) 唐・中
甌北詩話 一二巻 清・趙翼撰 (文政一一) 和・中
岡山紀勝 木畑道夫編 明治一七 和・小
幼稚百人一首寶箱 繪入 和・大
繪原有聲畫集 附錄消閒文 三島毅撰・同桂編 大正八 和・大
果園雜咏百首 果園撰 寫本 和・中
桂の落葉 二巻 香川景樹撰 天保一四 和・小
金澤名勝題詠集 附・金澤文庫略考 佐藤忠藏編 明治二〇 和・小
歌林良材摘抄 寫本 和・小
敢爲篇 馬場毅撰 明治二七 和・中
觀光紀游 一〇巻 岡千仞撰 明治二五 再版 和・小
韓詩講義 森泰二郎述・森川鍵校 大正四・五 洋・小
觀世流謠本 零本 明治一二至一六 和・中
朝鮮 歸好餘錄 五巻 石幡貞撰 明治一一 和・中

書名	冊	類	號
御選唐宋詩醇 四七卷・目二卷 清・高宗編・浙江書局刊 光緒七 唐・大	二〇	イ一三	九六六
金聲玉音 下 渡邊元成編 明治一〇 唐・小	一	イ一三	＊九六八
今世名家文鈔 八卷 月性編 安政二 和・小	二	イ一三	九六九
空洞遺稿 石坂堅壯撰 明治三二 和・中	一	イ一三	九七〇
熊檀集 第二編 甲斐一彥編 明治二四 和・中	一	イ一三	九七一
荊石遺稿 二編 窪田之貞撰 和・中	一	イ一三	九七二
同	一	イ一三	九七三
螢雪軒叢書 二十四詩品外五五種 近藤元粹評訂 明治二六至三〇 初・再版 唐・小	一〇	イ一三	九七四
源語奥旨 近藤芳樹撰 明治九 和・小	一	イ一三	九七五
源語忍草 北村季吟撰 和・大	五	イ一三	九七六
晃山紀勝竝松島紀行 大村斐夫撰 明治一六 和・小	一	イ一三	九七八
廣三大家絕句 大窪行・菊池桐孫編 文化九 和・中	一	イ一三	九七九
輯註增補高青邱全集 詩集一八卷・遺詩・扣舷集・附錄二冊・首卷一冊 清・金檀輯注・近藤元粹評訂 明治二八至三〇 唐・小	二一	イ一三	九八〇
浩蕩詩程 諸家投贈附 森泰二郎撰 明治三二 唐・小	一	イ一三	九八一
興風集 松下邨塾刊 明治元 和・小	一	イ一三	九八二
黃葉夕陽村舍詩 八卷・附錄二卷・後編八卷・遺稿七卷・附錄一卷・文四卷・附錄一卷 菅晉帥撰 明治二九 和・小	三	イ一三	九八三
黃葉夕陽村舍詩 八卷・附錄二卷・後編八卷 菅晉帥撰 文化九・文政六 和・大	九	イ一三	九八四
黃葉夕陽村舍詩 八卷・附錄二卷 菅晉帥撰 弘化四 和・大	五	イ一三	九八五
古詩韻範 五卷・首一卷 武元質撰 (文化九) 和・中	三	イ一三	九九一

書名	冊	類	號
魁本大字諸儒箋解古文眞寶 前集 明治一三 和・小	二	イ一三	九九二
魁本大字諸儒箋解古文眞寶 後集 元文五 和・大	二	イ一三	九九三
骨筆題詠竝江南游草 吉嗣拜山編撰 (光緒四) 唐・小	一	イ一三	九九四
作詩法講話 森泰二郎講・大澤眞吉・土屋政朝校 明治四五 三版 洋・小	一	イ一三	九九五
作文眞訣 伊藤長胤撰 寫本 和・中	一	イ一三	九九六
棧雲峽雨日記幷詩草 竹添進一郎撰 明治一二 唐・中	三	イ一三	九九七
三體詩評釋 卷下坤缺 野口一太郎撰 明治二六・二七 和・小	三	イ一三	九九八
山陽遺稿 文一〇卷・詩七卷・拾遺・附錄各一卷 賴襄撰 天保一二 和・大	八	イ一三	九九九
山陽詩鈔 八卷 賴襄撰・後藤機校 安政三 改正 和・大	四	イ一三	一〇〇〇
山陽詩鈔 賴襄撰 寫本 和・小	一	イ一三	一〇〇一
山陽詩註 初輯四卷 燕石陳人註・銕齋漫士校補 明治二 和・小	一	イ一三	一〇〇二
山陽先生書後 三卷・附同題跋二卷 賴襄撰・兒玉慎編 和・大	四	イ一三	一〇〇三
詩稿 寫本 和・中	一	イ一三	一〇〇六
詩語玉林 一〇卷 群玉堂刊 明治四 和・小	一	イ一三	一〇〇七
詩語碎錦 永田忠原編 天保一二 三刻 和・小	二	イ一三	一〇〇八
自讚哥注 二卷 飯尾宗祇撰 寫本 和・中	一	イ一三	一〇〇九
詩鈔 寫本 和・中	一	イ一三	一〇一〇
標註支那時文讀本 大野德孝編譯 明治三七 唐・大	二	イ一三	一〇一一
支那文學全書 二四編(內編二二缺) 博文館編 明治二五至二七 初至三版 洋・小	二三	イ一三	一〇一二

書名	冊	類	號
詩法纂論 一〇卷 一名千金譜錄要 清・余丙照編・岸田吟香點 明治一四 和・小	二	イ一三	一〇一四
詩法纂論續編 五卷 清・游藝編・小野長愿抄・岸田吟香點 明治一七 和・小	二	イ一三	一〇一五
詩法掌韻大成 卷四至六 安藤由越編 享保五 和・小	一	イ一三	一〇一六
謝選拾遺 七卷 賴襄編・同綱校 (嘉永二) 和・大	五	イ一三	一〇一七
首書三體詩 松永昌易標註 明曆三 和・大	三	イ一三	一〇一八
壽帖 木山巖太郎編 (明治四五) 和・小	一	イ一三	一〇一九
殉難拾遺 二卷 馬場文英編 明治二 和・小	一	イ一三	一〇二〇
春飀遺稿 河野通胤撰・石橋敎編 (明治二二) 唐・大	一	イ一三	一〇二一
硝煙墨雨記 西毅一撰 (明治一四) 和・小	一	イ一三	一〇二二
小學中等讀本 木澤成肅編 明治一五至一七 再・三版 和・中	三	イ一三	一〇二三
常山先生詩集 湯淺元禎撰 寫本 和・大	一	イ一三	一〇二四
掌中桂園一枝 香川景樹撰 天保一一 和・小	一	イ一三	一〇二五
小文規則 賴襄編 嘉永六 和・中	一	イ一三	一〇二七
諸家文集 寫本 和・大	一	イ一三	一〇二八
諸君詩集 湯淺元禎編 寫本 和・大	一	イ一三	一〇二九
諸子紀事鈔 寫本 和・大	一	イ一三	一〇三〇
書法正傳 一〇卷 清・馮武編 和・中	六	イ一三	一〇三二
詞林舊稿 和田正尹編 寫本 和・中	一	イ一三	一〇三三
新安手簡 校正 四卷・附錄一卷 立原萬編 (天明七) 和・大	五	イ一三	一〇三四

書名	冊	類	號
廿四家選淸廿四家詩 中島一男編 明治一一 唐・中	二	イ一三	一〇三五
新評戲曲十種 甲・乙 依田百川・小永井八郎評 明治一三・一四 唐・中	二	イ一三	一〇三六
新評繡像紅樓夢全傳 一二〇回 清・王希廉評 光緒三 唐・小	二四	イ一三	一〇三七
新文詩 正集初至三編六冊・別集初編二冊 森魯直編 唐・小	八	イ一三	一〇三八
水滸後傳 四〇回 雁宕山樵原撰・森泰二郎編譯 明治二六至二八 初至四版 和・小	七	イ一三	一〇三九
醉古堂劍掃 一二卷 明・陸紹珩編 嘉永六 和・小	五	イ一三	一〇四〇
星巖詩集 附・紅蘭小集 梁川孟緯撰 明治二七 和・小	二	イ一三	一〇四一
西湖四十字詩集 飯塚納撰 (明治三六) 和・小	一	イ一三	一〇四二
西廂記 卷一・二 岡島獻太郎譯述 明治二七 再版 唐・中	二	イ一三	一〇四三
西遊詩稿 橋本半助撰 明治九 和・中	一	イ一三	一〇四四
尺牘彙材 卷四・五 中敬之編 文化五 求版 和・小	一	イ一三	一〇四五
節齋遺稿 森田益撰 明治一五 和・大	二	イ一三	一〇四六
雪青洞詩鈔 稻垣茂松撰 明治二七 和・中	二	イ一三	一〇四七
同	二	イ一三	一〇四八
蒼海遺稿 副島種臣撰・同道正編 明治三八 和・中	一	イ一三	一〇四九
澡泉日記 大村斐夫撰 明治二五 和・中	一	イ一三	一〇五二
增評唐宋八家文讀本 三〇卷・目一卷 清・沈德潛評點・賴襄增評 安政二 和・中	一六	イ一三	一〇五五
同	一六	イ一三	一〇五六
藏名山房文 初集六卷 岡千仭撰 大正九 唐・中	三	イ一三	一〇五八

册	類	號		
二	イ一三	一〇七九	續文章軌範百家批評註釋七卷 明・焦竑評校・李廷機註閱 正徳五 和・大	
一二	イ一三	一〇八〇	曾我物語 繪入 寛文三 和・大	
一二	イ一三	一〇八一	太平記 四〇巻 繪入 明治一九 洋・小	
四	イ一三	一〇八二	檀欒集 第一至三四集 岩溪管編 明治三六至三九 唐・小	
二	イ一三	一〇八三	忠義水滸傳 百回本 岡島璞譯編・共同出版株式會社校刊 明治四〇 洋・中	
一	イ一三	一〇八四	蟲聲鳥語集 西毅一撰 明治二〇 唐・大	
三	イ一三	一〇八五	陳龍川文鈔 宋・陳亮撰・藤森大雅校 文久三 和・大	
一	イ一三	一〇八六	追遠集 雀部嵩信編 明治二五 和・中	
二	イ一三	*一〇八七	月瀨記勝 一巻・附錄一巻 齋藤正謙撰 明治一四 和・小	
三	イ一三	一〇八八	天保三十六家絕句 三上恒編 天保九 和・中	
二	イ一三	一〇八九	陶淵明集 八巻・首尾各一巻 晉・陶潛撰・近藤元粹評訂 明治二九 三版 唐・小	
四	イ一三	一〇九〇	東嶽文抄 石幡貞撰 明治四三 和・大	
二	イ一三	一〇九一	饒歌餘響 一巻・後編一巻 (明治三八・三九) 股野琢撰 和・中	
一	イ一三	一〇九二	藤公詩存 伊藤博文撰・末松謙澄編 明治四三 和・中	
一	イ一三	一〇九三	東湖先生遺文 藤田彪撰 慶應四 和・小	
三	イ一三	一〇九四	諸家集註 唐詩三體家法 既康堂刊 元祿一六 和・大	
六	イ一三	一〇九五	唐詩選評釋 八巻 明治二五至三〇 森泰二郎撰 洋・小	
五	イ一三	一〇九六	唐詩選評釋 八巻(内巻五缺) 明治二五至三〇 森泰二郎撰 洋・小	
二	イ一三	一〇九七	脚本は佛國 世界は日本 當世二人女婿 長田忠一原譯・依田百川編 明治二〇 和・中	

册	類	號		
五	イ一三	一〇七九	精刊 唐宋千家聯珠詩格 二〇巻 宋・于濟・蔡正孫編・大窪行校 文化元 和・大	
四	イ一三	一〇八〇	東萊博議 宋・呂祖謙撰・明・黄之案校 寛政一一 和・小	
三	イ一三	一〇八一	杜詩講義 森泰二郎述・三谷仲校 明治四五 洋・小	
一	イ一三	一〇八二	訥軒遺稿 近藤眞鋤撰・高橋剛吉編 明治二六 和・大	
三	イ一三	一〇八三	杜律集解 五言四巻・七言二巻 明・邵傳編 貞享二 和・大	
二	イ一三	一〇八四	南郭先生文集 第三編巻三・四・第四編巻二・三 服部元喬撰 寫本 和・大	
三	イ一三	一〇八五	南總里見八犬傳 九輯 一〇至一六版 瀧澤馬琴撰 明治三六・三七 洋・小 (帝國文庫本)	
一	イ一三	一〇八六	日光山八景詩集 矢田陪好古編 (正徳二) 和・大	
四	イ一三	一〇八七	日本八大家文讀本 八巻 石川英批撰 明治一六 和・中	
二〇	イ一三	一〇八八	日本文學全書 第四至七・九至二四編 博文館編 明治二三至二五 初・再版 洋・小	
一	イ一三	一〇八九	日本名家詩選 七巻 藤元鬲編 安永四 和・小	
三	イ一三	一〇九〇	寧靜閣一集 四巻 大槻清崇撰 弘化五 和・中	
一	イ一三	一〇九一	後佐夜佐夜草 岡大八古稀祝賀會編 (大正五) 和・小	
一	イ一三	一〇九二	梅花唱和集 福原公亮刊 明治二六 唐・小	
一	イ一三	一〇九三	梅邨詩藁 寫本 和・大	
三	イ一三	一〇九五	麥浪園遺珠 廉齋遺稿一巻・確堂遺稿二巻 山本憲編 明治三〇 唐・大	
一	イ一三	一〇九六	花のはやし 托心會刊 和・小	
二	イ一三	一〇九七	磐溪詩鈔 二編中・下 (安政五) 大槻清崇撰 和・中	
二	イ一三	一〇九八	樊南文集詳註 卷五至八 (同治七) 清・馮浩撰 唐・大	

册	類	號		
二	イ一三	一〇九九	徽山遺稿 西毅一撰 大正三 和・中	
二	イ一三	一一〇〇	彼此一時遊 西毅一撰 明治一九 和・中	
一五	イ一三	一一〇三	標註訓譯水滸傳 七〇回 平岡龍城撰 大正四・五 和・中	
一	イ一三	一一〇三	鰒玉集 巻下 加納諸平編 文政一一 和・小	
一	イ一三	一一〇四	福堂遺稿 陸奥宗光撰 明治四〇 唐・大	
三	イ一三	一一〇六	文章軌範纂評 七巻 安藤秉撰 (安政四) 和・大	
二	イ一三	一一〇七	校刻補訂 文章軌範評林 巻一至四 伊藤龜年補訂 和・大	
四	イ一三	一一〇八	文林良材 六巻 林九兵衛刊 元祿一四 和・中	
一	イ一三	一一〇九	都士產 二巻 繪入 宗久撰 元祿八 和・中	
一	イ一三	一一一〇	明詩歸 巻六 明・鐘惺・譚元春編 寫本 和・大	
一	イ一三	一一一一	明詩材 二巻 龍秀松編・屈三秀補 (寶曆八) 和・小	
二	イ一三	一一一二	明詩節義集 土井忠純編・宮島純熙補 明治三 和・小	
二	イ一三	一一一五	明詩礎 二巻 田重卿・原良延編 元文四 和・小	
六	イ一三	一一一三	明詩別裁集 一二巻 清・沈德潛・周準編 和・小	
一	イ一三	一一一三	名家詩抄 寫本 和・大	
一	イ一三	一一一六	もくす集 花房端連撰 和・大	
一	イ一三	一一一七	もくす集 花房端連撰 明治三三 和・大	
一	イ一三	一一一八	同	
一六	イ一三	一一一九	盛長私記 五一巻 (内巻一至三・二四至二七・三六・三九缺・巻二五原缺) 寫本 和・大	

册	類	號		
一	イ一三	一一二一	幽室文稿 吉田矩方撰 明治三 和・中	
二	イ一三	一一二三	幽囚錄 吉田矩方撰 慶應四 和・小	
一	イ一三	一一二三	餘香詩存 三谷仲之助編 大正五 唐・中	
二	イ一三	一一二四	吉野拾遺名歌譽 依田百川編 明治二〇 和・中	
一	イ一三	一一二五	蘭亭先生詩集 巻九・一〇 高野惟馨撰 寫本 和・大	
三	イ一三	一一二六	李義山詩講義 附・李義山 森泰二郎述・森川鍵校 大正三至六 洋・小	
一	イ一三	一一二七	李詩講義 森泰二郎述・森川鍵校 大正二 洋・小	
三	イ一三	一一二八	陸象山先生文抄 桑原忱編 (文久三) 和・中	
一	イ一三	一一二九	朗廬全集 阪谷素撰・阪田丈平編 明治二六 洋・中	
一	イ一三	一一三〇	和歌題林抄 寫本 和・小	
一	イ一三	一一三一	ワガハイハネコデアル 夏目金之助撰 大正七 四二版 洋・小	
四	イ一三	一一三三	和歌ふるの山ふみ 城戸千楯編 (文政七) 和・小	
二	イ一三	一一三三	和哥八重垣 三・七 元祿一三 和・小	
一	イ一三	一一三四	わすれかたみ 渡邊圭子撰・同修二郎編 (明治三二謄寫版) 和・大	

雜

一	イ一三	*九〇二	甌香雅集錄 (明治一二) 唐・小
一	イ一三	九〇三	オキシヘラー哲學 矢野恒太撰 大正七 洋・小
一	イ一三	九〇四	學問ノスヽメ 一七編(内第一二編以下缺) 福澤諭吉・小幡篤次郎撰 明治六・七 初・再版 和・小
二	イ一三	九〇五	脚氣病原因ノ研究 第三・四 遠山椿吉撰 洋・中 (雜誌顯微鏡本)

拾珍御伽璣訓蒙鑑草	卷上 和・中	環中仙撰	一冊	イ一三類 九〇六號
甘雨亭叢書	五集三二種・別集第一集一七種 板倉勝明編 弘化二至安政三 和・小		四八	イ一三 九〇七
訓閲集	流矢卷大事外四種 寫本		五枚	イ一三 九〇八
山陽象山東湖金玉眞蹟	鹿野至良編 明治一三 唐・小		一	イ一三 九六七
明治二年八月慶應義塾新議	附・藏版目錄 慶應義塾同社撰 明治二 和・中		一	イ一三 九〇九
藝者論	追加之部添 矢野恒太撰 明治四五 四版 洋・中		二	イ一三 九一〇
結核病院及結核療養所ノ建築法竝ニ結核豫防法	內務省衛生局刊 大正二 洋・中		一	イ一三 九一一
民家日用廣益祕事大全	三卷 繪入 三松館主人撰 嘉永六 和・大		五	イ一三 九一二
皇典古籍に志しある少年教育の學科書に用ふへきもの	小中村清矩草 寫本 和・大		一	イ一三 九一三
甲陽軍鑑結要本	九卷 寫本 和・大		八帖	イ一三 九一四
甲陽軍鑑末書	下卷九品 尾畑勘兵衛編 寫本 和・大		九帖	イ一三 九一五
國華索引	第一至一四四號 國華社刊 明治三五 洋・中		一	イ一三 九八九
國朝畫徵續錄	二卷 清・張庚撰 和・中		一	イ一三 九九〇
國定教科書編纂趣意書	追加・續篇共 文部省編 明治三七・三八 洋・中		三	イ一三 九一六
閑谷黌基金募疏	閑谷保黌會刊 (大正六) 和・大		一	イ一三 九一七
墨妙眞蹟詩文灋帖	賴襄書・永尾銀次郎編 明治一二 唐・小		一	イ一三 一〇一三
昌平遺響	高橋勝弘編 (明治四五) 洋・中		一	イ一三 九一八
孫吳副詮	佐藤坦撰 (天保一三) 和・大		二	イ一三 九二〇
孫子合契	佐々木世元撰 安政二 和・大		二冊	イ一三類 九二一號
地方衛生技術官協議會講演集	傳染病豫防に就て(北里柴三郎)外九篇 內務省衛生局刊 明治四三 洋・中		一	イ一三 九二二
茶味論	池田茂政撰 寫本 和・大		一	イ一三 九二三
東京高等師範學校沿革略志	同校刊 明治四四 洋・中		一	イ一三 九二四
統率に關する原理の研究	第一卷 筧克彥述 大正二 洋・中		一	イ一三 九二五
內閣文庫圖書第二部漢書目錄	內閣書記官室編 大正三 洋・中		一	イ一三 九二六
中臣祓淵源	七ケ條・附神道之歌 藤野雅俊撰 寫本 和・大		一	イ一三 九二七
隆熙三年日用便覽	農商工部觀測所編 隆熙二 洋・小		一	イ一三 九二八
日蓮聖人御遺文	加藤文雅編 明治三九 訂正再版 洋・小(本化聖教天)		一	イ一三 九二九
閣龍世界博覽會美術品畫譜	第一至四集 久保田米僊畫 明治二六・二七		四帖	イ一三 一一〇一
備忘	薄査ノ事等 寫本 和・中		一	イ一三 九三〇
標題武經七書全文	七卷・鼇頭直解開宗 清・汪桓校 弘化三 和・大		五	イ一三 九三一
武經七書摘抄	寫本 和・大		一	イ一三 九三二
芬雲芳雨	木村剛編 明治一三 唐・小		三	イ一三 *一一〇五
慕氏兵論	第一至四編 蘭・ミルケン撰・曾田勇次郎譯 文久三 和・大		八	イ一三 九三三
本邦人間ニ屢〻見ル所ノ輕症糖尿病ニ就テ	岩井禎三撰 洋・大		一	イ一三 九三四
無病長生養生之法	井天壽補元丹來田功能書 延壽堂刊 和・中		一	イ一三 九三五
校訂藥名備考和訓鈔	丹波賴理編・山澄延年校 天保二 再刻 和・大		七	イ一三 九三六
和漢武家名數	卷四 神田白龍子編 和・中		一	イ一三 九三八

書名索引

本館使用假名遣表

イ	ヰ	
エ	ヱ	
オ	ヲ	
オウ	アウ・アフ・オフ・オホ・ワウ	
カ	クワ	
カイ	クワイ	
カク	クワク	
カツ	クワツ	
カン	クワン	
キユウ	キウ・キフ	
キヨウ	キヤウ・ケウ・ケフ	
コウ	カウ・カフ・クワウ・コフ	
ジ	ヂ	
シユウ	シウ・シフ	
ジユウ	ジウ・ジフ・ヂユウ	
シヨウ	シヤウ・セウ・セフ	
ジヨウ	ジヤウ・ゼウ・ヂヨウ・デウ・デフ	
ズ	ヅ	
ソウ	サウ・サフ	
チユウ	チウ・チフ	
チヨウ	チヤウ・テウ・テフ	
トウ	タウ・タフ	
ニユウ	ニウ・ニフ	
ニヨウ	ネウ・ネフ	
ノウ	ナウ・ナフ	
バ	ヴァ・ヴ	
ビ	ヴィ・ヰ	
ビユウ	ビウ	
ヒヨウ	ヒヤウ・ヘウ	
ブ	ヴ	
ベ	ヱ	
ホウ	ハウ・ハフ	
ミヨウ	ミヤウ・メウ	
モウ	マウ	
ユウ	イウ・イフ	
ヨウ	エウ・エフ・ヤウ	
リユウ	リウ・リフ	
リヨウ	リヤウ・レウ・レフ	
ロウ	ラウ・ラフ	

書名索引

ア

	頁
愛護初冠女筆始（アイゴウイコウブリ）	一〇三
愛校心の養成	一九〇
愛吾鼎齋藏器目	一六九
愛日齋叢抄	一四三
愛日堂詩集	二四四
愛兒の教育と其學校の選擇	一九〇
愛書五十年	一
會津神社之訓詞	九三
會津高倉社勸進帳	七六
會津塔寺村八幡宮長帳	九一
會津風土記	九五
愛染明王影向松	七三
愛知縣勢要覽	二七二
愛と死	一一四
アイヌ研究の現狀	二一二
アイヌ語の本質	二一二
アイヌ生活の變遷	二一二
アイヌの生活と博物館のアイヌ品陳列棚	二一二
壒嚢鈔	一七
哀蘭絕句	一六三
愛倫地誌	一一二
饗庭篁村	一九七
あふひつくり	二二〇
葵文庫	三二
青本年表	七三
青森縣統計書	二七二
青柳館文庫藏書目錄	四
赤井系圖	七八
亞槐集	五〇・六二
赤城大明神緣起	七六
赤染衞門集	五一・六二
縣居雜錄	二二〇
あがたの三月よつき	二一四
縣召除目次第	八二
赤と黃の夕暮	二〇一
赤羽記	八七
赤人集	五一・六二
赤松記	五三・六五
赤松系圖	七八
赤松家系圖	七八
赤松再興記	五三・六五
赤松略譜	七八
呵刈葭	一七七・一七八
秋十五番歌合	四九・六一
秋月系圖	七九
顯輔卿集	五〇・六二
秋田縣學事統計書	二七四
秋田縣々勢一斑	二七二
秋田縣々勢摘要	二七二
秋田縣戶口統計	二八〇
秋田縣震災ノ狀況	二九〇
秋田縣統計書	二七三
秋田縣統計描畫圖	二七三
秋田縣統計要覽	二七三
秋田縣米麥統計	二七四
秋田縣立秋田圖書館和漢圖書分類目錄	四
秋田縣立圖書館鄕土文獻綜合目錄	六
顯綱家集	一〇六
阿寄傳	一三二・一五七
顯時卿改元定記	八二
秋の寐覺	二二〇
秋野之諸虫軍談	四三
秋の夜の長物語	五一・六三
秋はきの譜	二一五
秋山系圖	七八
惡因緣	一八四
握奇經	一四〇・一五一・一五九
惡德矯正法幷びに圖表	一九五
惡德の解剖	一九五
惡德の種類及び原因の圖表	一九五
安愚樂鍋	一二〇
明智系圖	七八
明智日向守光秀百韻	一〇六
明智光秀張行百韻	八五
朱樂館家集	七四
赤穗義士隨筆	二一五・二一八
赤穗義人纂書	六八
赤穗義人纂書補遺	六八
赤穗義人錄	三五・七一
赤穗義人錄後語	三五
赤穗四十七士傳	二八一
あこぎの平次	七三
淺井系圖	七九
朝夷巡嶋記全傳	二九三
あさいなしまわたり	七四
淺井備前守宿所饗應記	八八
朝顏・海鼠・河豚・走百疾・番椒・白魚	四二
朝顏日記	三二
淺草志	二一九
淺草地名考	二一九
朝熊山緣起	九〇
朝倉宗滴話記	九五
朝倉亭御成記	五四・六五
朝倉敏景十七箇條	五三・六五
朝倉敏景條々	一〇六
朝清水記	一〇五
朝忠卿集	五〇・六二
朝寐	一八二
阿娑縛三國明匠略記	八〇
朝日講演集	二一一
朝日年鑑	三二
朝日物語	八七
麻布閒人に答ふる文	一八〇
朝光卿集	五〇・六二
亞細亞	二三六
亞細亞時論	二三六
亞細亞地誌	一一二
亞細亞に於ける歐洲の勢力	二〇九
足利學校遺蹟圖書館貴重書目錄	四
足利學校遺蹟圖書館現藏貴重書を一瞥して	一・二一〇
足利學校遺蹟圖書館藏書假名別目錄	四
足利學校遺蹟圖書館藏書目錄	四
足利學校藏書幷附考	四・四一
足利學校藏書目錄	四
足利系圖	七七
足利家官位記	四六・五八
足利將軍傳	三五
蘆田記	八七
あしたの雲	五六・六八
蘆名家記	五三・六五
葦の若葉	一七三
阿州將裔記	五三・六五
阿修羅愚考	四〇
阿修羅帖序	一九七
あしわけをぶね	一七八
蘆分船	九五・九九
明日香井和歌集	五〇・六二
飛鳥川（續共）	七二・二一七
飛鳥山碑始末	一〇五
アスキス夫人自敍傳	一一六
足助八幡宮緣起	七六
梓神子	一九五
東遊歌圖	五二・六四
吾妻鏡	七〇
東鑑異本考	一〇五
吾妻鏡抄	一〇四
東系圖	七八
吾妻路之記	一七一
東路の津登	五二・六四

東路の津登抄　一〇四
東の花勝見　二一四
あづまの道の記　五二・六四
吾妻むかし物語　一〇〇
吾妻めぐり　三三・九三
吾妻問答　五一・六三
東野州聞書　五一・六三
東野州消息　四八・五九
阿蘇三社大宮司系圖　七九
阿蘇大宮司惟澄申狀　三三・六五
阿曾沼興廢記　九九
あそび　一八二
熱海調音詩謌集　二九三
熱海に關する追憶　一九七
熱海町の爲のページェント　一九六
熱海漫談　二二八
熱海游記　一九八
新しい劇と新しい觀客　一九六
熱田講式　一七六
熱田神宮寶物陳列目錄　一六
熱田神宮略記　一〇六
熱田太神宮緣記　四五・五七
熱田太神宮御鎭座由來記　一〇六
敦忠卿集　五〇・六二
熱田宮祕釋見聞　一七六
熱田宮雀　四二
熱田彌勒院由緒書　四四
敦盛　七三
後見草　三三
兄か伯父か　二一〇
あぶな繪集序　一九七
亞弗利加地誌　一二三
阿部一族　一八二
安倍氏系圖　四六・五八・七九
尼　一八四
亞媽港紀略藁（アマカオ）　一七二
尼子晴久夢想披百韵　八五
天津祝詞說略　一〇六
天照座伊勢二所皇太神宮御鎭座次第記　七五
天の岩屋戸に就て　一八八
あまのくゝつ　二二六
天野系圖　七九
あまの子のすさび　九五
海人手子良集　五〇・六二
天野政德隨筆　二一八
天野告門考　一七七・一七八
海人藻芥　五六・六七
蜑の燒藻の記　三四・二八・二三〇
天野屋利兵衞傳　三五
雨夜記　八五
雨夜談抄　八六
雨夜のともし火　一〇五
雨夜物語　一〇五
餘目氏舊記（アマルメ）　九四
阿彌陀院寶物目錄　五五・六六
賣飴土平傳（アメウリ）　一七三
雨の展覽會概要　一一五
天日槍歸化時代考　一九二
天御中主神奉祀神社所在辨　一〇六
アメリカ新聞論　二四一
亞米利加魂　一二五
アメリカニズム　一九〇
綾氏系圖　七九
綾小路俊量卿記　一六九
新井家系　四七・五八
新井白石全集　一七〇
新井白石全集原稿　一六九・一七〇
新井白石先生著書目錄　四
洗張浮世模樣　三六
荒井流鷹書　八六
荒木系圖　七九
荒木田守武句集　八五
荒木略記　五三・六五
暴夜物語（アラビヤ）　一一九
安良滿保志　二三〇
荒山合戰記　五三・六五
荒山大捷之碑記事　一七六
有賀博士の教育勅語に關する意見に就て　一九〇
有賀博士の神道國教論を讀む　一八八
在原氏系圖　七九
在原業平朝臣辨　一九二
ありべかゝり　七一
有馬系圖　七八・七九
有馬日記　一七七・一七八
有馬晴信記　八八
有馬山溫泉記　一七一
有馬山溫泉記追加　二八四
ある富豪の夢　一九四
あるまじ　二一七
鴉鷺合戰物語　三四
鴉鷺物語　九三
安房古事志　一〇四
淡路國太田文　九二
淡路國諭鶴羽山勸進狀　九一
粟島金龍瀧　三八
袷帷着用時節　四七・五九
粟田口猿樂記　五三・六四
粟田左府尙齒會詩　四七・五九
阿波國井戶寺勸進帳　九一
安房國大山寺略緣起　四一
阿波國太龍寺緣起　九一
安房國鋸山藥師如來略緣起　四一
阿波國摩尼珠山高越寺私記　九一
安房の波音　一九〇
安房の土產　一九九
粟生系圖　七八
安雅堂餝律　一五〇
安雅堂集　二五三
安嘉門院四條百首　八四
安徽金石略　一三七
安行樂院事　五四・六六
諳厄利亞人性情志（アンゲリヤ）　三五
安元御賀記　五六・六八
安元改元定記　八二
アンコオスチック　一八一
暗黑面の獨逸　一一四
安西軍略　八八
安齋雜考　二三〇
行在所日誌　一一六
安齋隨筆　二三〇
安齋筆記　二三〇
晏子春秋　一三三
安城記　一四八
安祥寺資財帳　九〇
安心決着論　一八九
安政尾鑑　四二
安撰和歌集　八三
安鎭淸姬略物語　四一
安鎭法日記　八九
安東郡專當沙汰文　五六・六七
安藤系圖　七九
安得長者言　一六六
安德天皇御五十日記　五六・六八
安德天皇御卽位記　八二
アントニーとクレオパトラ　一九四
アンドルウ・マアヹル　二一〇
アンドレアス・タアマイエルが遺書　一八五
按納言集　五〇・六二
安南紀遊　一五八・一六八
安南紀略藁　一七二
安南雜記　一三九・一五七
安般簃集　一六九
安法法師集　五一・六二
安養開山勅諡正眼智鑑禪師年譜　八一
安樂寺菅丞相祠堂記　七六
安樂寺略緣起　四一

鷃林子　二三〇

イ

韋菴經說　一三八
畏庵隨筆　二二六
飯尾宅御成記　五四・六五
井伊系圖　七九
井伊大老と開港　二八一
井伊直弼の傳　二八二
家つと　四四・七四
家經朝臣集　六九・九七
家の昔物語　一七七・一七八
家光公御疱瘡御祈念之連歌百韵　四四
維園鉛槧　一五四
異苑　一二九・二四一・二五二
いわうがしま　七三
いほぬし　四一・五二・六三
豬飼敬所先生書柬集　一〇〇
違碍書目　四
醫學　一一二
醫學啓蒙　一七六
醫學續記　一一三
醫學大辭書　三一
醫學統計論の題言　一八六
醫學讀書記　一一三
醫學と現代生活　一〇八
醫學の說より出でたる小說論　一八〇
猗覺寮雜記　一四四・一六一・一六四・二三〇
伊香氏系圖　七九
醫家千字文註　九一
いかつち論　七四
如何なる人が最もよく笑ふか？　一九五
如何にせば大優人たるを得べきか　一九八
葦間詩集　二四四
衣冠盛事　一四五
圍棋義例　一五一
生きた新聞廣告論　二四一
醫業禁停の處分を論ず　一八六
肄業餘稿　一七六・二二三
韋居聽興　一三一・一四四
英吉利硏究　一一三
イギリス新聞論　二四一
郁子譜幷圖　一〇四
生田川　一八二
郁芳門院根合　五〇・六一
郁離子微　一五三
諱訓抄　九二
池田叢書　三三
いけとり夜討　三八
池坊專應口傳　八六
意見　一三二・一五四・一六六
夷堅志　一六三・二六四
意見十二箇條　五五・六七
醫原樞要內編　一七二
韋弦佩　一五六
惟賢比丘筆記　七六
韋航紀談　一三一・一四四
韋江州集　一三四
委巷叢譚　一二八・一三二・一五五
葦杭游記　二九三
異國往復書翰集　一〇六
異國御祈禱記　八九
彙刻書目　四・七一
彙刻書目外集　四
異國叢書　一〇六
伊國代議院條例　二六五
圍碁口傳　五二・六四
異國日記抄　一〇六
圍碁式　五二・六四
鄣川御社御遷宮日記（イサカワ）　七六
鄣川社注進狀　七六
勇魚鳥　二一七
勇金平　七四
いざよひの日記　五三・六三
伊澤蘭軒　一八三
飴山詩集　二四四
遺山先生文集　一三四
遺山題跋　一三五
飴山文集　二五一
醫師育才案　一七五
石川系圖　七八
石川縣縣勢要覽　二七三
石川縣統計書　二七三
石川縣統計要覽　二七三
石川忠總家臣大阪陣覺書　九四
違式詿違圖解　二一八
遺史記聞　一四四・一六七
石黑軍醫監に上る書の一節　一八五
石島系圖　七九
異疾志　一六一
怡志堂詩初編　二四四
怡志堂文初編　二三一
石野系圖　七八
醫試の前後期を合幷せんとする議を駁す　一八六
以尺報尺　一九四
石山千句　八五
石山月見記　五五・六七
石山寺緣起　九〇
石山百韻　八五
倚松閣詩鈔　二四四
井尻又九郎若道之勸進帳　一〇六
維新以後帝國統計材料彙纂　二七二
異人恐怖傳　六九
惟新公自記　九五
詒晉齋集（後集・隨筆共）　一三八・二五三
惟淸齋全集　二五三
維新前民政資料蒐集目錄　二八七
維新前民政資料選拔目錄幷解題　二八七
維新前民政資料碑文集　二八七
維新當初の御用金穀の調達と會計基金　二三七
惟神の出典と其の新解釋　二三七
維新史の見方一二　二〇九
何處に神を禮拜すべき　一九〇
伊豆志の八前の大神考　一〇六
伊豆國神階帳　四五・五七
和泉式部集　五一・六二
和泉式部續集　六九・八五・九七
和泉式部日記　五二・六三
和泉國神名帳　七六
出雲大社記　九三
出雲國造神壽後釋　一七
出雲國風土記　九二
頤生輯要　一七一
異制庭訓往來　四八・五九
伊勢加賀守貞滿筆記　八八
伊勢紀行　五二・六三
伊勢公卿勅使雜例　七五
伊勢系圖　七八
伊勢源氏十二番女合　五二・六三
伊勢皇大神宮高欄擬寶珠考　一九一
伊勢貞興返答書　八八
伊勢貞助雜記　八八
伊勢貞親以來傳書　八八
伊勢貞親敎訓　九二
伊勢三郎義盛忍百首　四三
伊勢集　五一・六二
伊勢信仰記　四三
伊勢大神宮參詣精進條々　七六
伊勢大輔集　五一・六二
異說まち〳〵　二二六
伊勢二宮さき竹の辨　一七七・一七八
伊勢二所皇太神宮御鎭座次第記　七五

伊勢二所皇太神宮御鎭座傳記 七五
伊勢二所皇太神宮神名祕書 七五
伊勢の家つと 一〇〇
伊勢守貞忠亭御成記 五四・六五
伊勢守貞親以來傳書 八八
伊勢守殿御系圖 一〇六
伊勢國多度神宮寺伽藍緣起
幷資財帳 九〇
伊勢國風土記 五六・六七
伊勢兵庫守貞宗記 八八
伊勢備後守貞明覺悟記 八八
伊勢平藏家訓 一〇一
伊勢町元享間記 九六
伊勢峯軍記 八七
伊勢物語 五一・六三・八六
伊勢物語惟淸抄 八六
伊勢物語愚見抄 八六
伊勢物語詞百韵 八五
伊勢物語肖聞抄 八六
伊勢物語箋 一七四
伊勢六郎左衞門尉貞順記 八八
醫先 一五六
伊川擊攘集(集外詩共) 一三五
夷俗記 一二八・一五四・二六七
夷俗考 一四七・一五八・一六六
韋蘇州集 七二
磯足ものがたり 二三〇
以曾都堂比 三四
伊蘇普物語 一一九
頤素堂叢書 一三一
石上私淑言 一七七・一七八
石上神宮御事抄 九三
磯部氏に答ふる書 一七八
伊曾保物語 六九・二一七
磯山千鳥 一〇三・二二六
異素六帖 三七
伊太祁曾三神考 一七七・一七八
ヰタ・セクスアリス 一八二
伊太利亞美術史 一〇八
伊太利及伊太利人 一一三
伊太利政海の狀態 二〇九
イタリヤ研究 一一二
異端邪說を筆誅す 一八九
壹圓紙幣の履歷ばなし 一九五
一革命家の思出 一八六
市川團十郎序 一八一
市川團十郎の代々序 一九六
一言芳談 九一
一時隨筆 二一七
一字たいじぐち 三八
一條大納言家歌合 四八・四九・六〇・六一
一粟園叢書 二四四
一人三臣和歌 四一
一谷坂落 七三
一之富當眼 三八
市兵衞記 一〇四
市邊忍齒別命山陵考 一〇六
一枚起請文 七〇
異朝書籍考 五
胃腸病ニ因ル死亡統計 二七九
一話一言 一七三・二一七・二三〇
一話一言抄 四三
一話一言補遺 一七三
一菴雜問錄 一六六
一庵禪師行狀 八一
一華碩由大禪師行實之狀 八二
一休和尚行實 八一
一休和尚年譜 八一
一休禪師 一九四
一局議院論 二一七
一擧博覽 二一七
一九戲作寫 四四
嚴島御本地 七六
嚴島社頭和歌 八四
一源禪師行狀 八一
逸講箋 二〇四
一歲芳華 一六〇
一山國師妙慈弘濟大師行記 八〇
逸史 二八一
一色丹羽系圖 七七
一枝堂遺稿 二三〇
逸史問答 一〇四
一州和尚行實記 八一
一種の批評家 一九八
逸書 四
一宵話 二二六・二二七・二三六
一枝餘芳 一〇一
佚籍叢殘 一三九
佚存書目 四
佚存叢書 一三三
乙丑御城書 四二
乙丑御留守御城書 四二
一蝶流謫考 七五
逸亭易論 一六〇
逸傳六種 九六
一統肇基錄 一三七・一五三
一得庵の佛事 一八九
一德物語 二一九
稜威雄誥 一七四
稜威言別 一七四
いつの日か君歸ります 一八四
稜威道別 一七四
一般統計論 二六七
一匹の犬が二匹になる話 一八四
一瓢道士傳 一五七
一遍上人行狀 八〇
一遍上人年譜略 八〇
一片石 二五七
一遍聖繪 八〇
一甫漫集 二三〇
以酊菴事議草 一七〇
遺傳と境遇 一一四
遺傳の話 一一三
遺傳論 一一〇
伊東系圖 七九
伊藤侯演說集 二八七
伊藤公國葬餘韻 二九三
伊藤公正傳・直話・逸文 一七九
伊藤公全集 一七九
伊藤首相演說集 二八七
頤堂先生糖霜譜 一六九
伊藤特派全權大使復命書 一一七
伊藤野枝消息 一八六
伊藤野枝全集 一八七
伊藤野枝年表 一八七
絲竹初心集 四三・七三
絲割符由緒書 九六
井戸寺勸進帳 九一
田舍 一八四
いなこ 三八
稻妻 一八四
稻葉集 一七七・一七八
稻荷社家物忌令之事 七六
稻荷鎭座由來 七五
渭南文集 一三四
委任貸付圖書目錄 四
犬夷評判記第二編稿料 四〇
犬追物葛袋 八八
犬追物檢見記 八八
犬追物御覽記 四二
犬追物草根集 八八
犬追物付紙日記 八八
犬追物手組日記 八八
犬追物日記 八八
犬追物益鏡 八八
犬追物明鏡之記 八八
犬追物目安 五四・六五
犬及狩獵 一一一
狗日記 一七九
犬百人一首 三六

醫の意匠にて建てし新療院 一八六
井上藏相に注意を請ふ件々 一九九
井上特派全權大使復命書 一一七
井上特派全權大使復命書附
屬書類 一一七
井上友一君斷片傳 一七九
井上博士講論集 二一一
井上明府遺稿 一七九
井上明府著書目錄 一七九
井中蛙物語 四四
夷白齋詩話 一五六
茨城縣人口靜態統計 二八〇
茨城縣立圖書館和漢圖書著
者名目錄 四
茨城縣立圖書館和漢圖書分
類目錄 四
異病集 四三
いぶき 七三
いぶきのまうた 二一〇
衣服及服式 一一二
イブセンの社會劇 一九八
異聞記 一三一・一四五
異聞雜稿 四〇・七五
異聞實錄 一五二
異本糺河原勸進申樂記 五三・六四
異本洞房語園 三四・二二八
異本伯耆卷 八七
異本名家略傳 一〇〇
今川大双紙 五四・六五
今川假名手本 七三
今川家譜 八七
今川記 八七
今川系圖 七七
今川了俊書札禮 八八
今川了俊和歌所え不審條々 五一・六三
いましめ艸 四三
今の英吉利文學 一八一
今の小說を讀む若き人々の
爲に 一九五
今の諸家の小說論を讀みて 一八〇
今のなかたな 四四
今の批評家の詩眼 一八一
今の文學界 一八一
今物語 五六・六七
今樣歌起原沿革 一九二
今樣職人盡百人一首 三八
諱に關する疑 二一〇
異名分類鈔 二九
移民問題 二九〇
『妹脊山婦女庭訓』評 一九六
妹と脊かゞみ 一九七
妹山脊山辨 一七七・一七八
醫藥兩業の關係を論ず 一八六
伊豫三島緣起 七六
伊洛淵源錄 七一
イリアッド梗概 一〇三
緯略 一四四
醫略抄 九一
依綠軒漫錄 一〇三
醫閭漫記 一三二・一五四
異林 一二八・一三二・一五七
意林 一三六
意林注 一三八
いるか 七三
色里新かれうびん 九六
伊呂波韻集成 二九三
色葉歌作者考 一九二
いろは節用集大成 三一
いろはたんか 三六
伊呂波探玄抄 一〇四
以呂波之傳 一〇四
以呂波百韻 八五
岩井半四郞さいご物語 七二
齋瓮考證 一七五
磐城系圖 七八
磐城風土記 九五
岩倉公實記 二八一
石淸水宮御願書 四五・五七
石淸水御幸記 四六・五七
石淸水祠官系圖 七九
石淸水八幡宮護國寺略記 四五・五七
石淸水八幡宮末社記 七五
石淸水八幡遷宮日時定 七五
石淸水不斷念佛緣起 五四・六六
石淸水放生會記 四五・五七・七五
石淸水物語 九六
石淸水若宮歌合 四九・六一
石淸水臨幸記 四六・五七
石淸水臨時祭之記 七五
勿謂藻(イワスモ)はな 一〇〇
岩つゝ志 一〇五
巖手縣警察要覽 二七四
岩手縣勢要覽 二七三
伊波傳毛乃記 七三・一〇三
岩松家系附錄序說 一六九
岩屋能草紙 八六
岩山道堅自歌合 八四
所謂新しい女 一九五
所謂漢字節減案の分析的
批判 一九七
蚓菴瑣語 一五八
韻英 一二七
院御歌合 四九・六一
印學管見 二五八
韻學指要 一六八
韻學要指 二〇四
韻學餘說 一二七
韻鏡 一二七
殷虛書契 一三九
隱居硯 二三〇
隱窩棵志 一三一・一四三
英倫及威爾斯地誌 一一三
印經 二五八
印言 二五八
韻香閣詩草 二四五
院號定部類記 九二
咽喉脈證通論 一三三
韻語陽秋 一四九
印刷局沿革錄 二八九
印刷局疾患調查ノ梗概 二七一
印刷術及石版術 一一二
印刷文化展覽會歷史的列品
目錄 一五
印刷文明史 一
印旨 二五八
韻史 一五六・一五九
蟫史 一五一
院司補任次第 七七
隱州視聽合紀 九五
隱州神名帳 七六
殷周制度論 一二七
因樹屋書影 二六二
印述 二五八
印章考 二五八
陰常侍詩集 一三八
印章集說 二五八
引勝小約 一六〇
印章要論 二五八
飮食狂歌合 七四
印人傳 二五八
飮水詩集(詞集共) 一三三
飮水詞鈔 一四三
隕石 一八三
韻石齋筆談 一六一・一六四
印說 二五八
印雪軒集 二五三
隱拙齋集 二五三
韻銓 一二七
印箋說 二五八
陰善雄・羅盈達・閻海員・張懷

銘讃　一六二
院莊作樂香　二六一
飲中八仙令　一六〇
インテイエリゲンツィヤ　一一六
引痘夜話　四三
印度學　一一三
印度數　一〇八
印度國民性と藝術思想　一〇八
印度思想概說　一〇八
印度審美說　一七九
印度哲學　一〇八
印度佛教思想史　一〇八
印度佛蹟興復會に贊成を請ふ書　一八九
印度文明史　一一一
韻府一隅　二六三
陰符經　一三四・一四三・二〇七
陰符經解　一五六
陰符經考異　七一
殷富門院大輔集　六九・八五・九七
尹文子　一三三
尹文端公詩集　二四四
韻文と句讀と　一八〇
印辨　二五八
引弁首　二〇四
殷卜辭中所見先公先王考　一二七
殷卜辭中所見先公先王續考　一二七
韻補正　二〇六
院本釋文　四一
韻問　一三九
隱綠軒題識　一三九
殷禮徵文　二〇三
因論　一四四・一六四
因話錄　一四四・一六一・一六四

ウ

烏衣鬼軍記　一二九
うひ山ふみ　一七七・一七八
ウイルソン　一〇七
于役志　一三一・一四八
上杉系圖　七九
上杉輝虎注進狀　五三・六五
上杉憲實記　八七
上杉問答　九二
上田秋成全集　七〇
右衞門督家歌合　四九・六〇
ウォーレン夫人の職業　一九五
うをのうた合　三七
宇槐雜抄　五五・六六
羽賀臺御狩の記　九七
うき草のあと　二四・二七・三一
宇喜多和泉守三宅朝臣能家像贊　八〇
浮田家分限帳　八九
宇喜多戰記　三九
浮世繪と我が舞踊劇　一九四
浮世繪類考　三四・一二七
浮世花鳥風月　九八
浮世草　九六
有喜世新聞　二四二・二四三
浮世草子目錄　七三
浮世續　三七
うきよの波　一八四
鶯育草　二一四
うぐひす笛　一七三
有卦入萬倍會我　七三
雨言雜祕記　八九
雨航記　一二八・一五五
雨航雜錄　一三二・一五五
禹貢指南　一六五
于湖居士文集　一三五
于湖小集　一六九
于湖題襟集　一六九
迂齋詩鈔(外集共)　二四四
迂齋詩話　一四九
宇佐八幡宮緣起　九三
牛及採乳方　一一一
宇治關白高野山御參詣記　九四
牛窪記　八七
宇治御幸記　七七
宇治大納言物語　六八・八六
宇治土公家引付　七五
有爾日記　七五
うしの年京大坂役者ともぐい評判丼ニしよげいぶたいかゞみ　三七
牛のよだれ　一九五
雨珠記　八三
迂書　七一・一四三
うづしほ　一八四
烏頭屬植物中のアルカロイドに就て　二〇九
うす花さくら　八五
太秦海生寺開山深山和尙行狀　八一
雨窓閑話　一〇三・二一六
雨聰寄所記　一五八・一六一
雨窗消意錄　一六三・二三〇
羽族棋譜　一三一
羽族通譜　一五九
雨村詩話　二五〇
歌合　四九・六一・八四
烏臺詩案　一四九
右大臣吉備公傳　三九
右大臣吉備公傳纂釋　二六二
右大臣家歌合　四九・六〇・六一
謠名寄　一〇五
謠ひものに引直したる『竹取』について　一九四
謠ひもの、文章　一九四
歌繪合　八四
うたかたの記　一八二
空像記に就きて　一八二
羽澤隨筆　一〇一
歌系圖　七三・九九
轉寢草紙　八六
うたゝねの記　五三・六三
うた日記　一八二
歌枕備中民談　三八
歌暦と北齋　一九四
歌ものがたり　一九〇
內田銀藏講論集　二二一
宇知都志麻　一七六
內山寺記　九〇
宇宙觀　二二二
宇宙の話　一二二
宇宙論　一〇八
團扇繪づくし　三八
鬱岡齋筆麈　一五四
鬱單越頌　一五九
蔚堂譚叢　二三八
宇都宮系圖　七九
宇都宮大明神代々奇瑞之事　四五・五七
宇津山記　五五・六七
空穗之次第　五四・六五
迂鈍　二一九
雨念齋劄記　二三〇
卯花園漫錄　七三・二二八
烏羽玉靈抄　九二
烏蠻瀧夜談記　一五五
產須那社古傳抄廣義　一〇六
馬　一一一
馬そろゑ　七三
馬盜坊　一八四
馬名合解　一七七・一七八
馬內侍集　五一・六二・八五
海の夫人　二〇一
梅の塵　二一七
うめのはつ花　九九・二二四
梅宮大明神並壽命神石產砂略記　四一
埋木　一八四

埋木につきて　一八四
埋れみづ　三九
有也無也之關　四二
烏有先生に答ふ　一九八
烏有先生に謝す　一九八
羽陽叢書　三三
浦上系圖　七九
浦鹽オデッサ間定期航路の復活　二三五
『浦島』を作せし顚末　一九四
浦島子傳　四八・五九
浦島塚緣起　四一
『浦島』の寓意　一九四
卜部氏系圖　七九
裏見寒話　二一九
烏龍痡中丸　四一
羽林要祕抄　四七・五九
上刺袋考　一九二
雲煙過眼錄　一六五・二六七
雲煙過眼續錄　一三五
罔極旋行(ウンエンドリッヘエ・メロディ)　一七九
罔極旋行の事　一七九
雲閒據目抄　一六三
雲間雜誌　一三五・二三〇
雲閑志　一三四
雲氣占候　一六九
雲笈七籤　一三五
雲錦隨筆　二二五・二二六・二三〇
雲溪友議　一三六・一四四・一六一・一六四・一六七・二六一
雲谷雜記　一三一・一四四・一六五
雲居寺結緣經後宴歌合　四九・六一
雲齋廣錄　一四四
雲室隨筆　一〇一
雲州消息　四八・五九
雲州樋河上天淵記　四五・五七
雲章和尙行狀　八一
雲蕉館紀談　一五五
運掌經　一五七
雲上示正鑑　一一六
雲上新聞　一一六
雲圖抄　四七・五八
雲仙雜記　一五三・一六七
運泉約　一五六
芸窗雅事　一六〇
芸窓褋載　二三八
芸窓私志　一四五
運遂法　一一〇
韞藏錄　三五
雲中語　一八〇
雲中事記　一三三・一五四
雲中獨語　一八〇
雲濤談叢　一五四
雲堂壘品　一六六
雲南山川志　一三五・一五五
雲南志略　一四八
雲南通志　二六六
雲南風土紀事詩　二六〇
雲萍雜志　一〇三・二二五・二二七
雲峰評　一八〇
雲夢藥溪談　一三三・一五四
運命の丘　二〇一
雲葉和歌集　四八・六〇
雲林遺事　一三三・一五五
雲林石譜　一五〇
雲麓漫抄　一四三

エ

影印永樂大典殘本　三三
景印四庫全書罕傳本擬目　四
永緣奈良房歌合　四九・六〇
瀛涯勝覽　一三八・一五五
榮海僧正拜堂幷御影供記　九〇
詠歌一躰　五一・六三
瘞鶴銘圖攷　一三三
瘞鶴銘辯　一三九
叡岳要記　五五・六六
永嘉郡記　一四八
映畫藝術　一〇八
詠歌獎勵說　一九二
泳化餘編　三九
永觀堂海內外雜文　一二七
永久元年記　五五・六六
永久五年祈雨日記　八九
永久五年請雨經御修法支度記　八九
永久五年請雨經法記　八九
永久五年請雨經法支度注進狀　八九
永久五年遷幸記　七七
永久三年曆　九二
永久磁石の特性に就て　二〇七
永久二年白川御堂供養記　九〇
永久四年百首　四八・六〇
永享以來御番帳　五六・六七
永享元年己酉十一月廿日山口祭記　七五
永享記　八七
永享九年十月二十一日行幸記　四六・五七・七七
永享九年住吉社奉納百首　八四
永享後記　八七
永享十一年石淸水社奉納百首　八四
永享十一年曼茶羅供記　八九
永享十三年革命勘文　八二
永享十三年松尾社法樂百首　八四
永享十二年曼茶羅供雜記　八九
永享十年石淸水社奉納百首　八四
永享大嘗會記　四七・五九
永享四年大饗定　九二
郢曲抄　五三・六四
郢曲相承次第　八六
影供歌合　四九・六〇
瀛奎律髓刊誤　二四八
衞公故物記　一三〇・一五一・一六一
營口で獲た二書の解題　一八〇
衞公兵法輯本　一六九
英國衞生制度略　一八五
英國海軍律令全書　二八五
英國議院政治論　一八七
英國議事院談　二〇〇
英國軍醫制度　一八五
英國皇室制度雜纂　二八五
英國功利說の研究　二一〇
英國國會沿革誌　二八七
英國產業革新論　二一三
英國史　二一三
英國實業團の訪露　二三五
英國實業の衰頽　二〇九
英國殖民史　二一三
英國新聞紙開明鑑記　二四〇
英國新聞論　二四一
英國制度國資　二一三
英國と其領土　二一五
英國文學史　二一一
詠五十首和歌　八四
叡山衆徒披陳狀　九〇
叡山大師傳　八〇
詠史　一七三
英氏經濟論　二八八
英字新聞の研究　二四〇
永治二年眞言院御修法記　八九
英詩の推移　二一三
英詩文の訓釋法に就いて　一九六
永正以來宮司引付　七五
永正記　五六・六八
永正九年若宮御元服記　八二
英照皇太后御大葬誄辭　一九〇
英照皇太后崩御悼辭　一九〇
英轁私記　一六八
永正十五年一社奉幣使參向記　七五
永正十五年中堂供養記　五五・六六

永正十七年記　九一
英人フヲンデス大佐の演説
筆記を讀む　一九〇
英政如何　一一七
衞生化學　一一〇
衞生局年報　二七四
衞生談　一八五
衞生統計ニ關スル描畫圖並
統計表　二七四
衞生都城の記　一八六
瀛壖雜志　一六三・二五九
詠千首和歌　四八・六〇・八三
榮尊大和尙年譜　八〇
詠大神宮二所神祇百首和歌　四五・五七
永代節用集　三一
影談　一六三
營中刄傷記　七二
景唐刊卷子本陶文　一一三
景唐卷子本新修本艸十卷補
輯一卷　一一三
景唐卷子本論語十卷　一一三
影燈記　一四八
永德元年室町亭行幸和歌集　八四
英獨教育の比較　一一五
永德御讓位記　四七・五九
永德二年春日燒失記　七六
景日本延喜栞本文選第五殘卷　一一三
永仁御卽位用途記　四七・五八
永仁五年朔旦冬至記　八二
詠百首狂歌　九三

詠百首和歌　八四
詠百寮和歌　四六・五八
穎譜　一五六
叡福寺略緣起　四一
永福門院歌合　四九・六一
永福門院百番御自歌合　五〇・六一
咏物詩選註釋　二九三
永平寺三祖行業記　八〇
永平詩存　二四八
英米社會學　一〇八
營平二州地名記　一三三・二〇六
英米の現代哲學　一〇八
英米法　一一一
詠法華經和歌　八四
英雄記鈔　一三三・一四七
英雄傳　一三六・一六二・一六七
永樂大典殘本　三一
榮力丸漂流記談　三五
永厤實錄　二〇二・二〇五
英烈遺事　二八二
楹聯彙編　二五七
楹聯集錦　一五八
楹聯錄存　二〇三
永祿以來大事記　九一
永祿以來年代記　九一
永祿元年曼荼羅供雜記　八九
永祿記　五三・六四
永祿九年記　九一
永祿五年一乘谷曲水宴詩歌　八四
永祿六年諸役人附　五六・六七

永和大嘗會記　四七・五九
永和二年結緣灌頂記　八九
エールマン　一九〇
荏柄天神緣記　四五・五七
慧鑑明照禪師道行記　八一
易緯　一六五
易讃　二〇三
益戒堂自訂詩集　二四四
易經集註　二六三
易經象類　一三五
易筋經　一五八
易稽覽圖　一四三
益軒全集　一七〇
益軒先生與宰臣書　一七〇
益軒ノ敎育法　二〇三
益公題跋　一四一
棭齋華牋　一〇〇
益齋集　九七
益州記　一四八
益州名畫錄　一五〇
易象意言　一六五
易小帖　二〇三
易水漢詩文存　二一一
易水想波　二一一
易圖明辨　一三一
易說　二〇六
易占辨　一七六
易川靈圖　一四三
益壯圖記　二五一
奕且評　一五六

易通卦驗　一四三
驛遞明鑒　一三一
易傳　一三三
易洞林　一四三
益都耆舊傳　一四七
易飛候　一四三
益部方物略記　一四一・一四八
奕問　一五六
奕律　一三八・一五六
惠慶法師集　五一・六二
繪師草紙　六八・九七
埃及研究　一一二
エスキラスの三段曲　一九八
繪艸紙年代記　三七
蝦夷記　九五
蝦夷行記　一〇一
蝦夷志　一六九
蝦夷人種論　一九二
蝦夷島記　九五
蝦夷風土記　一七二
蝦夷編年史料　二〇九
夷弓に關する臆說　二〇九
繪そらごと　三四
穢多非人　一一〇
越後國乙寶寺緣起　九〇
慧超往五天竺國傳殘卷　一六二
エチルエーテル・酒精及び木
精の融解熱に就て　二〇七
越奧羽追討日誌　四二
粵雅堂叢書　一二一

粵行紀事　一六四
越語肯綮錄　二〇四
閱古隨筆　二三〇
越佐新聞長岡日進社紀要　二四一
越佐名家著述目錄　四
越州軍記　八七
粵述　一五七・一六八
粵西偶記　一五七・一六八
悅生隨抄　一三一・一四四
越絕書　一三三・一三六
閱微草堂筆記　一六三・二五七
越風　二四八
悅目抄　五一・六三
越問　一五九
粵遊日記　二三〇
江戶往古圖說　三三
江戶狂歌書目　七三
江戶愚俗徒然噺　二一九
江戶系圖　七八・七九
江戶作者部類　三四
江戶參府紀行　一〇六
江戶時代小說・脚本・淨瑠璃・
隨筆飜刻物索引　一七
江戶時代文藝資料　七〇
江戶芝居年代記　二一九
江戶自慢　二一九
江戶しまん繪入新狂言　三七
江戶拾葉　二一九
江戶圖書目提要　二一九
江戶雀　二一七

江戶圖正大全　二八四
江戶砂子補正　七二
江戶大節用海內藏　三一
江戶塵拾　三三
江都二色　三七・三八
江戶の面影　三三
江戶花海老　一七三
江戶繁昌記　一〇三
江都百物語　七五
江戶節根元集　四三・二二九
江戶節根元由來記　三三
江戶文學志略　一〇一
江戶眞砂六十帖　三三
江戶眞砂六十帖廣本　三三
江戶見草　九六
江戶夢華詩　二九三
江戶名園記　三四
江戶名所記　九五
江戶名所圖會畫稿　三七
江戶名所花曆　四五
江戶名所百人一首　三六
江戶物語　一
エドモン・ロスタンが事　一八一
從江戶日光足利之記　四四
淮南鴻烈解　一三四
淮南子　一三三
淮南萬畢術　一三四・一四三
江の霞　二一四
江島三社辨財天來歷　四一
海老名荻野系圖　七八

衞府官裝束抄　八三
衞府具抄　八三
衞府裝束抄　八三
衞府長裝束抄　八三
繪文匣　三七
ゑぼしおり　七三
繪本江戶土產　三六
繪本をどりつくし　三八
繪本西遊記　三三
繪本三國志　二九三
繪本續江戶土產　三六
繪本玉かづら　三八
エミル・ゾラが沒理想　一七九
エルテルの譯者　一八〇
宛委餘編　四三・一五五
淵穎吳先生集　一三七
琬琰錄　一三三
圓應禪師行狀　八一
鴛鴦牒　一六〇
遠音集　二四四
袁海叟詩集　一三五
煙霞綺談　二一六
燕下鄉脞錄　一六四・二五九
燕樂考原　一三三
袁家三妹合稿　一四二
煙霞洞集　一〇二
淵雅堂全集　二五三
煙霞萬古樓集　二五三
煙華漫筆　九九・二一四
燕巖外集　九八

圓覺寺略緣起並古跡由來　四一
淵鑑類函　三三・二六三
淵鑑類函纂要　三三
淵鑑類函馬部抄錄　四〇
燕閒錄　一五五・一六六
圓機活法　二九三
延喜式工事解　九四
延喜式工事解圖錄　九四
延喜式工事通解　九四
延喜式抄　一〇四
延喜式神名帳頭註　四五・五七
燕几圖　一五一
緣起部類　四一
宛丘子傳　一七三
宛丘題跋　一四一
延休堂漫錄　一五四
延久四年五年日次記　九三
燕京學報　二三六
延慶三年かのえいぬのとし
のこよみ　九二
延慶大嘗會記　八二
延慶二年大嘗會御禊記　四七・五八
延慶二年八幡御幸記　七七
延慶兩卿訴陳狀　五一・六三
衍極　一五〇・一五九・一六六
宴曲集　八六
宴曲十七帖　六九
宴曲抄　八六
燕居雜話　一〇三・二一六
猿吟集　八三

園藝各論　一一
演藝協會の事につきて忍月
居士に告ぐ　一八〇
遠溪祖雄禪師之行實　八一
園藝通論　一一〇
演藝と演劇の別　一九七
剡溪野語　一四五
演劇界の未來　一九六
演劇改良意見　一一八
演劇改良論私考　一一八
演劇改良論者の偏見に驚く　一八〇
演劇改良論駁議　一一八
演劇刷新の依然として困難
なる所以　一九六
演劇場裏の詩人　一八〇
演劇史料としての我が國の
芝居繪并びに其圖表　一九五
演劇中の實物　一八〇
演劇と青年敎育　一九六
演劇論　一一八
剡源戴先生文集　一三六
簀谷詩文集　二五三
寃債記　一六二
緣山砂子　二一九
艷詞　五五・六七
袁氏菽文金石錄　四・一六九
燕市雜詩　一六六
袁氏世範　一四九
袁氏傳　一六二・一六七
燕射記　一四七

圓珠庵雜記　一〇三・二一五・二一七・二三〇
延州筆記　一五五・二六二
遠州見附本陣上村淸兵衞方
古書　四三
延壽撮要　九一
延壽類要　九一
援鶉堂筆記　二六二
燕書　一五三
遠城謙道傳　二八二
遠乘漫筆　二一四
圓照上人行狀　九四
艷色萬歲賴政　七三
烟嶼樓詩集　二四四
烟嶼樓文集　二五一
圓塵　八五
苑西集　二五四
遠西水質論　一七三
燕石雜志　二一五・二一七・二三〇
燕石十種　三三・三四
燕石十種原稿　三四
閻潛邱先生年譜　一三三
剡川姚氏本戰國策　一二七
焉廋篇　一〇一
掾曹名臣錄　一二七・一五三
煙草錄　一三一
袁太史時文　一四一
艷體聯珠　一六〇
延陀丸おとし文　九三
圓通大應國師塔銘　八一
鹽鐵論　一三三

遠島御歌合　四九・六一
遠藤系圖　七九
燕都妓品　一五七
延德記　七五
延德御八講記　五四・六六
延年集　二九三
役の行者　一九四
簷曝偶談　一三三・一五四
簷曝雜記　二〇三・二三〇・二六〇
偃曝談餘　一六六
衍波詞　一六六・一六八
煙波釣叟奇門定局　一六六
演繁露　一四三
鉛筆紀聞　二〇一・二一四
延福宮曲宴記　一五三
延文改元定記　八二
延文元年賀茂臨時祭記　七五
袁文箋正　一五八・二五一・二五三
延文四年記　九一
延文四年結緣灌頂記　九一
遠碧軒記　二二六・二三〇
遠碧軒隨筆　二二六
燕北雜記　一四六
燕北錄　一四七
圓滿院門跡相承次第　七七
圓明國師行實年譜　八〇
圓明園恭紀　一四〇
圓明園詞　一四〇
沿面コロナのダイナミック的研究　二〇八
園冶欄干抄圖　四一
圓融院扇合　五〇・六一
燕翼貽謀錄　一四六
燕翼篇　一六〇
延暦寺護國緣起　九〇
延暦寺故內供奉和上行狀　八〇
延暦十二年曝涼帳　九六
延暦六年曝涼帳　九六
圓了茶話　二二八
圓了隨筆　二二八
宛陵先生集（拾遺共）　一三五
宛陵二水評　一五六
園林草木疏　一五一
延漏錄　一四五
薦錄　一七五

オ

御預人記錄　一〇三
おひさがし　七三
オイヂプスとスフインクスと　一八一
老のくりこと　五一・六三
老の幸　一〇五
老のすさみ　五一・六三
老の樂　三四
老のたのしみ抄　三三
老の波　一七九
オイルド・ペーパーの絶緣耐力に就て　二〇九
追分繪　三六
歐亞列强大戰史　二八四
應安改元定記　八二
應安三年禁中御八講記　八九
應安三年如意輪法記　八九
應安七年曼荼羅供見聞略記　八九
應安二年春日卅八所造替記　七六
漚簃擬墨　一六九
大井系圖　七八
大石記　四四
大石良雄自畫像記　三五
大磯紀勝　二九三
大磯竹枝　二九三
大磯虎御前の靈を弔ふ記　一九〇
大分縣々治一斑　二七三
大分縣統計書　二七三
大分高等商業學校圖書分類目錄　四
大いに笑ふ淀君　一九四
櫻陰遺稿　二九三
櫻陰腐談　二三〇
奥羽海運記　三五・一六九
奥羽軍志　四〇
奥羽御巡幸明細日誌　一一七
大内系圖　七九
大内家壁書　五三・六五
大内問答　五四・六五
大内義隆記　五三・六五
大内義弘退治記　五三・六四
大海原　一九八
奥羽北部の石器時代文化に於ける古代支那文化の影響に就いて　二〇七
奥羽北海道御巡幸鄙の都路　一一七
おほうみのはし　一〇三・二一八
櫻雲記　四〇・一〇三
應永以來外宮注進狀　七五
應永記　五三・六四
應永三年山門大講堂供養記　九〇
應永十三年禁裏御懺法講記　九〇
應永十八年頒暦斷簡　九二
應永大嘗會記　八二
應永二十一年御方違行幸記　七七
應永廿一年頓證寺法樂百首　八四
應永廿九年八幡御幸次第　七七
應永廿七年門主上綱御入壇記　八九
應永廿二年御幸記　四六・五八
應永廿六年外宮神寶送官符　七五
應永六年香取諸名帳　九二
大江氏系圖　四六・五八・七九
大江戸春秋　二一九
大江仲子解文　九三
大江匡衡朝臣集　八五
大江匡房卿傳　九七
大江元就詠草　八五
嚶々筆語　二二五・二二六・二二八
奥々風土記　九九
大奥祕記　七二
鷗外漁史とは誰ぞ　一八一
鷗外全集　一七九
鷗外文話　一八一
應諾錄　一五七
大鏡裏書　五五・六六
大型巡洋艦の運命　二一〇
大歌舞妓外題年鑑　九九
大神系圖　七九
王翰林集註黃帝八十一難經　一三六
扇之記　二一五
正親町院御百首　八四
正親町院御即位略次第　四七・五八
邑久郡豐原庄上寺佐々木三郎盛綱鎧兜　三九
大草家料理書　五三・六四
大草殿より相傳之聞書　五三・六四
大久保家中敵討記　四四
大隈君財政要覽　一一八
大隈侯爵講演集　二一三
大隈參議國會開設奏議　一一七
大隈伯の『菅公談』跋　一九七
大隈老侯　一九七
大藏卿行宗卿集　五〇・六二
大藏氏系圖　七九
大藏省年報　二七四
王荊公唐百家詩選　七二
甌江逸志　一五八・一六八
王香園叢書　二六一
甌香雅集錄　二九七
歐公試筆　一五〇・一六四
澳國博覽會參同記要　二八九
墺國博覽會筆記幷見聞錄　一一八
大阪朝日新聞　二四二

大坂安部之合戰之圖　二四二
大阪印刷文化展覽會歷史參考品陳列目錄　一五
大阪市人口統計摘要　二八〇
大阪商業習慣錄　六九
大阪商業史資料　九九
大阪新繁昌詩　一三〇
大阪新聞　二四二
大阪陣山口休庵咄　九四
大阪船漂着記　一〇〇
大阪築港設計ノ梗概　二八八
大阪と新しい藝術　一九六
大阪圖書館第二回圖書展覽會列品目錄　一六
大阪圖書館和漢圖書分類目錄　四
大阪名護町貧民窟視察記　二九〇
大阪日記　四四
大阪役　二八三
大阪繁昌雜記　二八四
大阪府誌　二八四
大阪府職業別死亡統計表　二七一
大阪府治要覽　二八四
大阪府農工商統計年報　二七四
大阪府立圖書館韓本目錄　五
大阪府立圖書館稀覯圖書陳列目錄　一五
大阪府立圖書館貴重圖書目錄　四
大阪府立圖書館長今井貫一君在職廿五年記念講演集竝記念會記事　二一一
大阪府立圖書館圖書陳列目錄　一五
大阪府立圖書館和漢圖書分類目錄　四
大阪府立圖書館和漢圖書目錄　四
大阪訪碑錄　九九
大阪毎日新聞　二四二
大阪毎日新聞事業史　二四一
大阪毎日新聞社史　二四〇
大阪毎日新聞社大觀　二四〇
大阪毎日新聞戰時事業誌　二四〇
大阪名家著述目錄　四
あふさきるさ　一八三
王子安集　一三四
大鹽一揆　四三
大鹽騷動記　四四
大鹽平八郎　一八二
王氏談錄　一四四・一六六
王室篇　一八七
大島筆記　三五
王氏脈經　一三六
奥州石河系圖　七八
歐洲演劇史　一一三
歐洲外交史　一〇七
歐洲各國王室家憲　二八五
歐洲各國民の心性　一一三
奥州紀行　九九
奥州膽澤高山實傳　一〇〇
歐洲現代政治史　一一三
奥州後三年記　四〇・五三・六四
奥州五十四郡考　三五
歐洲古代哲學史概論　二〇〇
歐洲最近外交史　一〇七
奥州斯波系圖　七七
歐洲志略　一四二
歐洲新聞に現はれた最初の日本記事　二一〇
歐洲政治思想史　一〇七
奥州相馬系圖　七八
歐洲大戰と發明　一一五
歐洲大戰の經驗　一一四
歐洲大戰の心理的敎訓　一一四
歐洲道德史　一一三
奥州南部鹿角郡錦木の由來記　一〇〇
歐洲に於ける近世統計技術の二大進步　二六七
歐洲に於ける勞働問題の趨勢　二一三
歐洲の改造　二一五
歐洲の劇場　一八〇
奥州波奈志　三四
歐洲文化史論　一一三
歐洲文藝思潮史講話　二〇一
奥州松島拜見記　四一
奥州御舘系圖　七九
歐洲倫理思想史　二〇二
歐洲勞働運動の趨勢と失業問題　二一三
應需雜記　二三〇
王昶年譜　二五四
王氏蘭譜　一五一
應氏六帖　三
大須賀系圖　七八
大杉榮自敍傳　一八六
大杉榮隨筆　一八六
大杉榮全集　一八六
大杉榮年表　一八六
大須眞福寺所藏國寶典籍展覽會目錄　一六
大須眞福寺寶生院經藏抄目　五
澳大利亞洲新志　一六九
墺地利匈牙利　一二四
應聲考　一七六
王節愍公遺集　一六二
王船山遺書　二〇五
王船山經史論十二種　二〇二
王船山叢書校勘記　二〇五
王先生十七史蒙求　二五八
押對　四四
王臺畫史　一三八
大高忠雄寄母書　三五
大舘常興書札抄　四八・五九
太田道灌隨筆　二三〇
大谷大學和漢圖書分類目錄　四
太田水責記　八八
大多和系圖　七八
王忠慤公遺書　二〇二
應長元年竪義記　八九
王朝時代の陰陽道　一〇七
大槻文庫書目　一五
大坪道禪鞍鐙事記　八八
大津みやげ　三六
大津籠城合戰記　九三
横笛譜裏書　八六
鷗堂日記　二五八
王道覇道獸道魔道　一九〇
大地主神の一則　一七七・一七八
大友記　五三・六五
大友系圖　七八
大伴系圖　七九
大鳥池の成因に就て　二〇八
大中臣氏系圖　七九
奥南舊指錄　九九
大西祝　一九七
應仁記　五三・六四
應仁亂消息　八七
應仁別記　五三・六四
應仁略記　五三・六四
王の子供達　一八一
大野屋惣兵衞藏書目錄　一二
鷗陂漁話　一六三・二三〇
黃檗開山普照國師年譜　九四
大橋圖書館和漢圖書分類目錄　四
大祓詞後釋　一七七
大祓祝詞　七〇
王半山詩箋註　七二
櫻品　三五
王文成公全書　一三七
王文成傳本　二〇四
王文正筆錄　一四三

歐米各國國庫歲出入金額陸海軍費出入貿易品元價概覽表 二七四
歐米各國ニ於ケル統計協會及エンゲル氏ノ統計協會綱罟案ヲ記述シ併セテ我ガ東京統計協會統計學社ノ兩協會ニ望ム 二六七
歐米小感 三三八
歐米諸國補習教育の近況と我國教育制度の改善 二二二
歐米人の極東研究 一一三
歐米人の日本觀 一一三
歐米新聞事業 二四〇
歐米大戰爭ニ於ケル財政ニ關スル調査 二六九
歐米百家隨筆 三三八
歐米漫遊記 一八七
歐米立志金言 二九一
王法政論經講義 一八九
應保二年叡山衆徒披陣狀 九〇
王法論 一三一
甌北雜著 二六〇
甌北詩鈔 二〇三・二九三
甌北集 二〇三
甌北詩話 二〇三・二六〇・二九三
甌北全集 二〇三・二〇六
王勃集 三九
汪本隷釋刊誤 一三七
「近江源氏先陣館」事件 一九七
大御堂寺大坊緣起 四三
近江國栗本郡金勝寺官符 五五・六六
近江國別浦八幡緣起 七六
近江國番場宿蓮華寺過去帳 五六・六七
近江御息所歌合 四九・六一
大宮院御得度記 八九
大三輪神三社鎭座次第 四五・五七
鸚鵡石 一八〇
鸚鵡言 一〇五
鸚鵡舍利塔記 一六二
鸚鵡囀語例 一七六
嚶鳴館百疊集 二四四
嚶鳴雜誌 三三六
大物主神疫疾を起し給へる事の考 一〇六
大森介墟古物編 一二一
大森葛山系圖 七八
大森系圖 七九
應問錄 二三〇・二三八
大宅系圖 七九
大山寺緣起 九〇
大山寺略緣起 四一
大倭神社註進狀 四五・五七
甕牖閒評 一六五
甕牖餘談 一六三・二三〇
應用化學 二一〇
應用機械學 二一〇
應用結晶光學に關する事項を綜合する三つの方法 一九一
歐陽行周文集 一三五
應用社會學 一一四
應用生理學 一一一
應用定量分析 一一一
歐陽文忠公集 一三四
歐陽文忠公文抄 七三
汪容甫遺詩 一三六
應用優生學 一一五
漚羅盦詩藁 二四四
往來物に就きて 二二二
鴨綠江橋梁工事概況 二八八
應和四年革令勘文 八二
鋸屑譚 一〇三・二二六
岡倉先生記念論文集 二〇七
岡家案文 四三
御影まいり伊勢信仰記 四三
おかげまうでの日記 一七七・一七八
小笠原家譜 七八
小笠原系圖 七八
小笠原三家系圖 七八
小笠原諸流系圖 七八
小笠原入道宗賢記 八八
小笠原流手綱之祕書 八八
をかし 一九五
御方違行幸御供奉雜事 七七
岡田信利氏藏書目錄 四
尾形流百圖 二五七
岡場遊廓考 二一九
岡本記 八八
岡本系圖 七九
岡山紀勝 二九三
岡山縣戶口統計 二八〇
岡山縣重要農產物一覽 二七五
岡山縣出身從軍死歿者誠忠錄 二八三
岡山縣青年會創立五十周年記念 二三五
岡山縣壯丁學力及體量檢查成績 二七五
岡山縣治一覽 二七三
岡山縣治一覽表 二七三
岡山縣統計事務效績者 二六七
岡山縣統計事務ノ概要 二六七
岡山縣統計書 二七三
岡山藩士日置帶刀從者於神戶外國人に對發砲の始末 三九
岡山伏見道中案內 二八四
オキシヘラー哲學 二九七
興津彌五右衞門の遺書 一八二
翁草 九七・二二六・二二八・二三〇
翁物語 四二
翁問答 九五・一七四
荻野系圖 七八
憶雲詞甲乙丙丁稾 一六六
憶雲詞删存 一六六
屋式略說 一八六
臆乘 一三一・一四三・一六七
屋制新議 一八六
奧底 一八四
憶得 二〇五
御國通辭 一〇〇
奧の紀行 九九
奧の細道 一〇三・二二四
小倉百人一首畫稿 三七
小倉文紀と五山の名匠 二〇九
小倉問答 八六
小栗系圖 七八
をぐりの判官 七三
桶狹間合戰略記 四一
嗚呼矣草（オコタリ） 二二四・二二七
乎古止點譜 九五
阿姑麻傳 一七三
尾崎雅嘉隨筆 二一七
尾崎行雄演說集 一八七
尾崎行雄自敍傳 一八七
尾崎行雄全集 一八七
嫐殿遷宮用途記 七六
小澤太平記 四四
敎を授くるに衞生の道を履む事 一八五
男鹿半島の地體構造 二〇八
忍城戰記 九四
お七吉三 一九四
オヂツセウスの弓 一八四
おしてるの記 一七三
小島のくちすさみ 五三・六三
小島のすさみ 一〇三
おしゆん傳兵衞十七年忌 三七
オシラ神に關する二三の臆說 二〇九
御城書 四三
御穿鑿遊女諸事出入書留 二一九

於潛令樓公進耕織二圖詩 一二六
小田系圖 七七
織田系圖 七八
御質抄 八九
織田豐臣德川三公の性格概論 二〇九
織田信雄分限帳 八九
織田信長の復古政治 二〇九
小田原記 八七
小田原衆所領役帳 八九
落合直文大人の車中感懷を讀む 一八九
落窪物語梗概 一〇三
落栗物語 二一八
越智系圖 七九
遠近新聞 二四二
遠近橋 六九
落葉籠 二三〇
小槻系圖 七九
小槻氏系圖 四六・五八
乙寶寺緣起 九〇
男重寶記 二二四
御供古實 五四・六五
をどり 一九四
踊之著慕駒連 二一九
お夏狂亂 一九四
小野崎系圖 七九
小野氏系圖 四六・五八・七九
小野小町の考 一七七・一七八
小野僧正請雨行法賀雨詩 八三
小野道風像冠服考 一〇五
小野宮年中行事 四七・五八
已の葬 一八四
乎波那賀毛登 一〇三・一七七・一七八
女郎花五色石臺 四〇
御室撰歌合 四九・六〇
おもひくさ 一七七・一七八・二二六
おもひ艸序 一八〇
思ひ出くさ 二九一
於茂祕傳草 一〇六
思ひの儘の記 二二六
おもひのまゝの日記 五六・六七
於母影 一八二
御役名附 四四
親子草 七三
親子訓 七一
親ごころ 二二〇
御雇外國人姓名・給料・期限・職務一覽 二一九
親船太平記 三六
小山田與淸雜稿 二三〇
女形の前途と歌舞伎の前途 一九六
女形優待論 一九六
御ゆとのゝうへの日記 五五・六六
小弓御所樣御討死軍物語 九四
小弓御所樣御討死物語 一〇四
おらく物語 四一
和蘭醫事問答 六九
喎蘭演戲記 三五
和蘭學制 一一八
和蘭通舶 二二四
倭蘭年表 六九
和蘭美政錄 一一九
和蘭風說書 一七一
和蘭文字略考 九九
和蘭問答 三五
折々草 二一八・二三〇
織工 二一一
折たく柴の記 一六九
織物の歌 一九八
オルフェウス 一八二
於路加於比 七三・二二八
尾張德川黎明會陳列目錄 一六
尾張國熱田太神宮緣記 四五・五七
尾張國內神名牒 四五・五七
尾張國大須眞福寺寶生院經藏抄目 五
尾張國笠寺緣起 九〇
尾張濱主考 一七七
尾張連濱主和風長壽樂考證 一七八
をはり道の記 四三
御諱名沿革考 一九二
音樂と繪畫 一九四
音樂と其背景 一九四
音樂と文學 一九四
御飾記 五三・六四
音響變成器及喇叭の双曲線變數・集音器の實用理論及音響傳達系の一般考察竝設計に就て 二〇九
音曲鼻毛ぬき 二二四
音訓五經 二九一
溫公瑣語 一四五
溫國文正司馬公文集 一三五
溫古蕘彙 二二四
恩師カール・テオドア・フォン・イナマ・ステルネツグ先生 二八二
恩賜御書記 一三九
溫室通風點光 一一一
園城寺長吏次第 七七
御曹司初寅詣 七三
溫知政要 四二
溫知叢書 三四
溫庭筠詩集(別集共) 一三四
女・家・國 一九三
女がた 一八二
女方と「捨身」の藝風 一九八
女歌舞伎操一舞 一八一
女歌舞伎に關する古畫八種 一九五
女孝經 一四〇・一四八・一五九
女殺油地獄評 一九五
女實語敎 七一
女大學 一七〇
女太平記評判 四四
女重寶記 二三〇
女の決鬪 一八四
女論語 一四九
溫飛卿詩集箋注 二四四
御幕之記 四三
御的日記 八八
陰陽外傳磐戶開 二三〇

カ

晦庵稿 九一
晦庵先生校正周易繫辭精義 一二六
晦菴先生朱文公文集(續集・別集共) 一三五
晦菴題跋 一四一
戒庵漫筆 一五五・二三〇・二六二
芥隱筆記 一四一・一四三・一六四
海雲禪藻集 二四八
海漚小譜 一四〇
回憶漫談 一九七
海外怪洋記 一三三
海外各國國勢要覽 二七三
海外各國翻譯新聞紙 二四三
海外新聞 一一九・二四三
海外新聞別集 二四二・二四三
海外に於ける寫眞報道に關する調査 二三六・二四〇
海外墨緣 二五三
開河記 一三〇・一五三・一六一
外家紀聞 二〇三・二三〇・二六〇
繪畫偶評 一七九
海嶽志林 一六四
海岳題跋 一四一
海岳名言 一五〇・一六四
開化自慢 一三〇
開花新聞 二四二

開化世相の裏表　一三〇
開化の入口　一三〇
開化のはなし　一三〇
開化繁昌誌　一三〇
改過筆記　七五・二一四
怪化百物語　一三〇
開化評林　一三〇
開化本論　一三〇
開化問答　一三〇
開卷一笑　二六四
開顏集　一四五
海涵萬象錄　一五三
懷橘談　九五
會議辨　二〇〇
諧噱錄　一三〇・一四五・一六一
階級制と君子の道　一八八
回教　一〇八
回教及印度教佛教　一一三
海虞畫苑略　一三八
海愚詩鈔　二四四
街衢の敷陳　一八六
街衢の灑掃　一八六
海軍沿革論　二六五
海軍趨勢　二六五
海軍歷史　一八七
會稽記　一四八
會計原法參考書　二八九
會稽先賢傳　一四七
會稽典錄　一四七
會計法論　二一一
艾言　一六〇
改元烏兎記　八二
改元紀行　一七三
改元考同　一三九
改元宸記　八二
快元僧都記　五五・六六
開元天寶遺事　一三〇・一四七・一五八・一六一
改元部類　八二
改元物語　一〇一
開元文字音義　一二七
繪原有聲畫集　二九三
外交關係文獻年表　一一七
檜岡詩集　一〇三
階行社にて衞生部將校に告ぐるの一節　一八五
海行摠載　九八
回光錄　二〇三
外國爲替　一一〇
開國起原　一八七・二八二
外國語學と外國文學　一九八
廻國雜記　五三・六四
回國雜記抄　一〇四
外國產業統計　二七五
嶰谷詞　一三三
開國始末　二八二
外國事務　二八七
外國新聞　二四三
海國圖志　二八二
外國竹枝詞　一三八・一六八
外國地理參考書　一九三
外國通信事略　一七三
外國の操り芝居　一九六
「外國の新聞と雜誌」解說書目　二三六・二四〇
外國の舞踊劇と將來の振事　一九四
外國美文學の輸入　一九八
外國文化關係文獻年表　一一九
外國貿易原論　二一一
外國法翻譯其他　二六五
骸骨　七一
回顧錄　一七三・一八七
薈蕞編　一六三
戒殺文　一六〇
海槎餘錄　一三八・一五五・一六六
海山記　一三〇・一五三・一六一
改筭記大成　二九二
海山詩屋詩話　二五〇
海珊詩鈔　一三九
匡山集　一三五
開山無人和尙行業記　八〇
薈蕞錄　一四五
諧史　一〇〇
艾子後語　一五七
艾子雜說　一三一・一四五
繪事發微　一三六
會社辨　一一八
海舟印譜　一八七
海舟詩稿　一八七
海舟書簡　一八七
海鮨圖說　四二
海舟全集　一八七
海舟日記　一八七
海舟年譜　一八七
皆春居士食色紳言　一六六
皆春居士男女紳言　一六六
回春泉の試驗　一九四
會昌解頤錄　一四六
海上記聞　一五三
海樵子　一五三
外情の事を錄す　一八六
海上保險法　二一一
海上物語　三五
開城錄　一四四
灰燼　一八二
會眞記　一三〇・一五三・一六三・一六七
外人接遇考　二〇〇
改進黨規約　二〇〇
改進黨宣言　二〇〇
改正敎育令制定理由　一一八
慨世士傳　一九七
開成新聞此はな新書　二四二
海津城主次第　八九
懷淸堂集　二四四
諧聲品字箋　二六六
海西漫錄　二一八
怪石贊　一五九
怪石錄　一三六
快說續記　一三九
快雪堂漫錄　一三五・一三三・一五四・二三〇
改造　二三六
海藏和尙紀年錄　八一
改造敎育　一一六
悔存詞鈔　二四八
海損法　二一一
海內十洲記　一二四・一二六・一二九・一四八・一六六
解體新書　六九
解題叢書　五・七〇
諧鐸　一六三
怪談老の杖　七二
下帷短牒　一四五
街談文々集要　九八・二一五
懷竹抄　五三・六四
岕茶彙抄　一三九
岕茶牋　一二八・一五六
解嘲　一九八
解鳥語經　一五一
海潮說　一六二
華夷通商考　一七四・二八五
解醒語　一三八・一四五
改訂水沫集序　一八〇
改定律例　二八六
會典簡明錄　一六九
回天詩史　一七四
開天傳信記　一六一
回天必力　一七四
海島逸誌　二五九
海東繹史　九七・九八
海道記　五三・六三
海道くだり　一〇一
海島算經　一六五

海東續小學　九八
海棠譜　一五一・一六五
海東名將傳　九八
海東名臣錄　九八
海東野言　二六二
海東律詩　二四八
懷德堂遺書　三五
懷德堂五種　三五
懷德堂展覽會目錄　一五
戒賭文　一三九
解難錄　一八七
懷姙着帶之事　八八
海甯王忠愍公遺書　二〇三
甲斐國現在人別調　二八〇
亥白詩草　二四九
亥白船山詩草合集　二四九
貝原篤信家訓　一〇一
外蕃通書　一七三
海表叢書　三五
海濱外史　一三五
海濱の一幕　二〇一
蟹譜　一五一・一六五
懷風藻　四七・五九
廻文俳諧百韻　一〇五
該聞錄　一三一・一四六
懷米山房藏器目　一六八
開方之分還原術　一三八
外邦織工渡來辨々　一九三
海北獨語　二三〇
魁本對相四言雜字　三六
蟹滿寺釋迦像考證　一九一
海味索隱　一三三・一五七
繪妙　一五六
華夷譯語　一三五
海遊錄　九八
膾餘雜錄　二三〇
陔餘叢考　二〇三・二三〇
傀儡子記　四八・五九
快樂派倫理　二〇二
海陸軍制　一一三
海陸新聞　二四三
海陸の神祕　一一五
改曆辨　二〇〇
海錄　七〇・二二〇・二三〇
槐廬叢書　一二三
嘉蔭簃藏器目　一六九
過雲精舍詞　一四三
嘉永以前日歐交通年表略　二〇三
花營三代記　五五・六六
花影詞　一六六
華英通語　二〇〇
嘉永明治年間錄　三四
嘉永六年九鬼式部小輔組中江論書　四四
賀越登記　八七
加越能書籍集覽　五
果園雜咏百首　二九三
果園篇　二一一
歌苑連署事書　九九
額　一八四
嘉應元年宇治別業和歌　八四
家王故事　一三〇・一四六
家屋建築說　一九一
家屋雜考　一〇三
霞外雜俎　一五六
花街漫錄　二二四・二二五・二二六
花街漫錄正誤　七三・二二四・二二七
花街漫錄附考　二二四
化學　一一三
河岳英靈集　一三五
科學及び工業博物館に就いて　二二三
畫學及彫像　一一三
化學啓蒙　一四三
家學致知格物詳說　一〇〇
科學的管理法　一一五
科學とヂャーナリズム　二四〇
化學入門　二九二
歌學入門　一〇六
科學の精神と其效用　一一五
化學の話　一三一
科學の話　一三一
科學の不思議　一八七
畫學祕訣　一五〇・一六一
歌學譜　一五六
化學篇　一一一
化學要論　二九二
加々爪系圖　七九
嘉禾百詠　一三四
鏡作大明神緣起　七六
我觀　三三六
畫鑒　一五〇
花閒集　一三四
我觀手びかえ　二〇三
火浣布略說　三五・二一七
過眼餘筆　一
過眼錄　七五・二〇二
嘉吉記　五三・六四
嘉吉物語　八七
花橘錄　一七九
牆の茨の記　一八七
柿本朝臣人麻呂勘文　五一・六三
柿本影供記　五一・六三
柿本講式　五一・六三
柿本氏系圖　五六・六七
柿本集　五〇・六二
柿本像綵色勸進帳　五一・六三
嘉喜門院御集　五一・六二
花九錫　一三〇・一五一・一六一
何休注訓論語述　一三五
嘉慶元年春日臨時祭記　七六
家禽統計　二七五
雅琴名錄　一五一
鹿足之次第　五四・六五
學易集　一六五
客越志　一三八・一五五
學園花壇の評　一八〇
學海堂集　二三六
學界餘談　二〇七
學畫淺說　一六〇
學畫祕訣　一三〇
隔韓論　二八七
角干先生實記　九八
學規　二〇六
學藝雜誌　二三六
學藝志林　二三六
樂稽耀嘉　一四三
格言僅錄　一三九
樂緯考　一三三
覺源禪師年譜　八一
樂考　一七〇・一七三
樂郊私語　一四三・一五八・一六五・二六七
學校圖書館用圖書目錄　五
客抗日記　一六〇
學校問　二〇四
各國參照國勢調查法　二六八
各國時事類編　二五九
各國人口動態統計調查手續概要　二七一
各國新聞紙　二四三
各國選擧の現狀　一一六
各國統計機關の概要　二六七
各國無產政黨發達史　一〇九
各國立憲政體起立史　二八八
角虎道人文集　八三
學古篇　一二八・一三四・一六五・二五八
客齋使令反　一六〇
愙齋藏器目　一六八
學齋呫嗶　一四三
客坐掌記　一七一
客座新聞　一三三・一五四

客座錄　一七一
鶴山渠陽經外雜鈔　一六五
鶴山渠陽讀書雜鈔　二三〇
鶴山先生大全文集　一三五
鶴山題跋　一四一
鶴山筆錄　一三五・二三〇
學山錄　二三〇
學旨　二〇六
岳氏銀瓶徵　一五八
郭氏玄中記　一三四・一四七
樂詩考略　一二七
郭氏傳家易說　一六五
學者頭と詩人頭　一九五
學者安心論　二〇〇
學者の覺悟　一八九
學者の臟腑　一八八
學習院圖書館和漢圖書目錄　五
各種銀行行數竝資本金調査表　二七五
學術講演錄　二一
各種の評論　一九四
革除遺事　一五三
霍小玉傳　一二六・一三〇・一六二・一六七
各省進呈書目　五一・一二五
樂所補任　四六・五八
樂書要錄　三三・一四二
岳西院授與記　八九
擴聲器に用ふる內地製增幅器
　及び增幅用變壓器の特性　二〇七
覺生詩鈔　二四四
學生時代の追憶　一九七
各稅務監督局統計主任會議
　筆記　二六八
各稅務管理局統計委員長會
　議筆記　二六八
學制論　一九九
學說乞丐袋　二一一
客窗閒話（續共）　二五七
鶴叟點撰句　四四
學則　九七
樂則樂戒　四三
樂對　一七〇
客退紀談　一四五
格致質學啓蒙　一四二
格致總學啓蒙　一四二
客中案證　一七三
鶴聽詩圖詠　二六〇
鶴徵錄　二五八
學燈　二三六
確堂遺稿　二九六
覺洞院僧正入壇資記　九九
咢堂歌集　一八七
咢堂居士の文話　一八〇
咢堂詩存　一八七
咢堂先生の印象　一八七
咢堂漫筆　一八七
咢堂漫錄　一八七
學道論　一九〇
學堂論叢　一八七
學範　二三〇
學範初編　一〇四
鶴半巢詩續鈔　二四四
畫引增字分韻便覽　二九二
各病論附治法　一七三
學風論　一八七
學福齋集　二三三
各府縣稅徵收狀況　二七五
學佛南針　一一八
格物餘話　三五・一七〇
學弊論　一八九
學蔀通辯　七一
學圃雜疏　一二八・一五七・一六六
噩夢　二〇五
革命勘文　五五・六七
革命の研究　一八六
學問關鍵　九五
學問源流　一〇一
學問と修行　一八九
學問と生活　一八七
學問のすゝめ　一三一・二〇〇・二九七
學問の獨立　二〇一
學問の本末　一九二
學問の要領と師弟の心得　一八九
かくやいかにの記　二一九
樂屋圖會拾遺　九九
『赫映姫』について　一九四
覺雄山大福田寶幢寺鹿王
　院記　五四・六六
岳陽風土記　一三八・一四八・一六五
嶽餘集　二〇五
神樂歌入文　一七四
神樂歌考　一七六
神樂歌新釋　一〇六・一七七・一七八
神樂血脉　八六
神樂注祕抄　八六
鶴林玉露　一四四・二三〇・二六二
革令紀行　一七三
鶴齡錄　一五九
學歷說　一三九
かくれ里の記　一七三
家訓　一三五・一五九・一七〇
影　一八二
畫繼　一四一
花經　一三一・一五一
斁經筆記　一三三
驅落　一八五
景勝家法　一〇六
歌劇のことども　一八〇
歌劇の輸入　一九四
過激派　一〇七
過激派物語　一〇七
景淸　七三
畫訣　一三九
花月草紙　一〇三・二一五・二一八
花月百首　八四
價原　一七五
我言　一八一
可言　一六一・二三〇
雅言覺非　九八
華原磬考證　一九一
雅言考　一七四
河源志　一四八
嘉元年中賀茂祭記　七五
嘉元四年結緣灌頂記　八九
花甲閒談　二三三
夏侯鬼語記　一二九
下黃私記　一四五
河工書　二〇七
柯公全集　一八七
柯公追悼文集　一八七
夏侯陽算經　一六五
歌語解說　一九二
嘉穀堂集　一三三
何御史孝子祠主復位錄　二〇四
鹿兒島案內　二八四
鹿兒島縣勢要覽　二七三
鹿兒島縣立圖書館郷土志料
　目錄　六
鹿兒島縣立圖書館巡回文庫
　用圖書目錄　五
鹿兒島縣立圖書館所藏郷土
　志料分類目錄　六
鹿兒島縣立圖書館和漢圖書
　目錄　五
鵞湖書田志　二六〇
過去帳　四四
笠井系圖　七八
笠岡漫遊雜誌　二〇二
笠懸射手躰配記　八八
笠掛記　五四・六〇
笠懸聞書　八八

笠寺緣起　九〇
笠の露　四〇
笠雲雀　一八一
傘松道詠　七〇
餝抄　四七・五九
花山院長親抄　五三・六三
峩山和尚行狀　八一
華山經　一六〇
崋山全集　一七一
崋山先生略傳　一七一
雅三俗四　二三八
家產俗談　一〇五
華山俳畫譜　三七
畫史　一四一・一五〇・一六四
香椎宮緣起　一七一
梶井門跡略系譜　七七
我自刊我書　三四
家事儉約訓　一一二
歌詞考　二二五
何子雜言　一五三
何氏集　二五三
賈子新書　七一
假字新說　一九二
何氏心傳　一一三
賈氏說林　一四五
檟園隨筆　二一六
賈氏談錄　一四五
暇日記　一三一・一四四
夏日陪多田院廟前詠五十首
　和歌　五〇・六二
かしのしつ枝　二一六
梶の葉　九六
鹿島大禰宜系圖　七九
鹿島宮社例傳記　七六
鹿島宮年中行事　七六
鹿島實系圖　七九
鹿島大宮司系圖　七九
鹿島治亂記　七八
鹿島當禰宜系圖　五三・六五
鹿嶋問答　九二
火車考　一〇六
歌者葉記　一六一
畫塵　一三八・一五六
加州石川郡白山緣起　七六
加州藩中知行錄　四四
加州分限帳　四二
家塾座右銘　一六〇
嘉樹山房詩集　二四四
火珠林　二六三
何首烏錄　一五一
化書　一四二・一四三・一六六
家常茶飯　一八四
花上集　八三
霞城唱和集　二五九
夏小正　一四二
夏小正校注　七四
夏小正私箋　二〇六
夏小正戴氏傳　一二七
夏小正分箋　一三五
科場窓稿　一七三
花小名　一五七
畫證錄　七五・二一五・二一七
華胥國ものがたり　一〇五
稼書先生年譜　一三九
柏原家舊記　一〇三
家人子語　一三九
カズイスチカ　一八二
春日御詑宣記　七六
春日御動座記　七六
春日權現驗記　四五・五七
春日卅八所造替記　七六
春日社記　四五・五七
春日社參記　四五・五七
春日社三十講最初願文　五四・六六
春日社司祐重記　七六
春日燒失記　七六
春日正預祐範記　七六
春日神木御入洛見聞略記　四五・五七
春日大明神垂跡小社記　四五・五七
春日入洛記　七六
春日拜殿方諸日記　七六
春日祭舊例　七六
春日祭次第　七六
春日詣部類記　七六
春日臨時祭記　七六
春日若宮神殿守記　七六
上總國誌稿　一〇四
上總國埴生郡廳南城主武田
　氏系圖　一〇四
霞の友　一七九
糟谷系圖　七九
家世舊事　一五九
家世舊聞　一三〇・一四六・一六四
華砌嵐日記　四二
畫石軒詩集　二四四
畫說　一三八・一五六・二六七
風につれなき物語　九六
風のしがらみ　二一六
畫禪　一三八・一五六
牙籤考　一七三
華川卮辭　一三三
畫筌析覽　一三八
歌仙落書　五一・六三
河美錄　二一四
家族　一〇九
雅俗故事讀本　三〇
雅俗新聞　二三六
雅俗隨筆　七三
華族靜態調査統計表　二八〇
華族靜態統計描畫圖　二八〇
家族制度　二六八
家族制度と婦人問題　二二一
家族論　一一三
何大復詩集　二四九
歌體約言　一〇四
敵討鼓瀑布　四〇
敵討鼓瀑布原稿　四〇
敵討のいこん　七四
荷田大人創學校啓　九五
傍廂　一〇三・二一八
傍廂糾繆　二一八
傍廂板下　二三〇
かたわ娘　二〇〇
可談　一四五・一六四
畫譚雞肋　一〇三・二一六
畫竹譜　一五〇・一五九
價値の哲學　一一四
家中竹馬記　五四・六五
華頂山古經目錄　五
可聽周波數增幅器の一段增
　幅比　二〇七
花鳥春秋　一六〇
花鳥日記　七二
勝安芳建言書類　一八七
括異志　一二八・一三〇・一五二
勝海舟隨筆　一八七
活火山と地震　二〇九
鶡冠子　一三三
腳氣減少は果して麥を以て
　米に代へたるに因する乎　一八六
腳氣病原因ノ研究　二九七
腳氣病原の檢索　一八五
葛原詩話糾繆　一〇〇
羯鼓錄　一三〇・一五一・一五九・一六一
葛飾記　三三
喝氏初學人身究理　二九二
甲子（カッシ）夜話　六八・二二八・二三一
甲子夜話續篇　六八・二三一
合衆國收稅法　二八九
合衆國小史　二八二

盍簪錄　三二
碣石調幽蘭　一三七
勝扇子　二一九
括蒼金石志補遺　一三八
括地志　一三三・一四三
活動寫眞とわが劇の過去　一九五
翔南文錄　一八七
水虎追考　四三
活版經籍考　一・五・二二八
活版攷　一
かつみ考　一〇五
葛川緣起　九〇
桂川地藏記　九二
葛城寶山記　七六
桂内閣と濱口内閣　二一〇
桂の落葉　二九三
葛山系圖　七八
葛藟集　七九
課程　二〇六
過庭紀談　二六・二二一
家庭指南　一七五
花底拾遺　一三九
霞亭生涯の末一年　一八三
家庭小訓　一九三
家庭叢談　二一九・二三九
家庭に於ける女子の教育　一九〇
家庭の新風味　一九三
家庭用兒童劇及びページェント上演顚末　一九六
家庭用兒童劇の地方巡回公演に際して　一九六
家庭用并びに學校用脚本　一九六
過庭錄　一四三
家傳　四六・五八
花天月地吟　二四四
家傳心牛脉治祕決　九二
河東記　一四七
河東祇樹一源統禪師行狀　八一
歌道教訓十五ケ條　四三
加藤淸正侍帳　八九
家道訓　七一・一七〇
加藤家傳淸正公行狀　八八
果堂先生遺稿　四五
河東先生集　一三五
加藤弘之講演全集　二一三
加藤光泰貞泰軍功記　九四
河圖括地象　一四三
河圖稽命徵　一四三
河圖稽耀鉤　一四三
河圖始開圖　一四三
過渡時代の婦人　一一三
門田の榮　一七一
河圖洛書原舛編　二〇三
香取大禰宜系圖　七九
香取鹿島二宮祭神說　一〇六
香取宮遷宮用途記　七六
香取檢田帳　九三
香取志　一〇四
香取社造營物注文　七六
香取社年中神事目錄　七六
香取諸名帳　一九六
香取大宮司系圖　一九六
香取大神宮造營目錄　一四三
香取の日記　一〇四
家兎淚腺組織ノ寒冷ニ對スル抵抗力ニ就テ　二〇八
神奈川縣統計要覽　二七三
神奈川府日誌　四二
假名教訓　九二
假名考　一〇六・一七六
假名曆註解　一〇五
金澤文庫略考　二九三
金澤本群書治要首尾　一
金澤名勝題詠集　二九三
假名遣に關する意見　一八〇
金杉日記　七五
假名世說　一〇三・一七三・二一五・二一七・二三一
かなそき　二一六
金曆木　一七三
假名手本忠臣藏の劇としての價値　一九六
假名の會の問答　二一八
假名の研究　二〇七
假名の本末　一七六
河南邵氏聞見錄　一四一
河南邵氏聞見後錄　一四一
河南先生文集　一三五
河南通志　二六六
河南穆公集　一三五
金ケさく紀行　一〇四
兼邦百首哥抄　七六
兼輔卿集　五〇・六二
金田八幡宮略緣起　四一
鐘酒比備起　一七四
兼文宿禰勘文　七五
兼光卿改元定記　八二
兼盛集　五〇・六二
遐年要抄　九一
狩野芳崖　一九七
狩野五家譜　二一九
畫梅譜　一五〇・一五九
牙牌參禪圖譜　一三五
峨眉山記　二一〇
課婢約　一六〇
家廟遺璺　四〇
畫品　一五〇・一六四
嘉賓心令　一五七
花譜　一七〇
樂府解題　一五一
樂府雅詞　一三三・一三六
歌舞伎脚本傑作集第三卷緖言　一九六
歌舞伎劇に對する希望　一九六
歌舞伎劇の徹底的研究　一九六
歌舞伎小唄番附盡　三六
歌舞伎座合評　一八一
歌舞伎十八番の圖　三六
歌舞伎第六十一號を讀みて　一八一
樂府古題要解　一四一
樂府雜錄　一三〇・一五一・一五九・一六一
株式會社統計　二七五
樂府詩集　一三五・二四九
樂府指迷　一三八・一五六
瓦釜集　二四四
樂府傳聲　一四三
甲明神奉加帳　七六
河汾諸老詩集　一三一・一三六
貨幣說　二八八
貨幣ノ制ハ硬貨ノ主義ヲ持ス　二〇〇
貨幣の制は複本位に如かず　一九九
貨幣祕錄　三四
壁草　八五
家寶往來　七一
嘉保二年大江仲子解文　九三
果報聞見錄　一五八
畫舫約　一五六
鎌倉大草紙　五三・六五
鎌倉大草紙考　一九二
鎌倉大草紙抄　一〇四
鎌倉大草紙脫漏　三四
鎌倉閑居記　一〇五
鎌倉五山記　九〇
鎌倉佐介淨刹光明寺開山御傳　八〇
鎌倉時代通俗史談　二八三
鎌倉順禮記　九三
鎌倉松岡過去帳　五六・六七
かまた　七三
我慢抄　九一
畫墁錄　一四三・一六四
上賀茂松下氏文書　九六
上賀茂三手文庫目錄　五

紙屑籠　七五
可見圖益志　四二
上寺古鎧之記　三九
神谷宗湛筆記　八七
神谷永手雜抄　一七一
神代餘波　三三
神日本磐余彥天皇諱辨　一〇六
神倭伊波禮毘古命御經歷補　一〇六
冠松眞土夜暴動(カムリマツマトノヨアラシ)　一一九
科名故實二書　二六三
龜戶東宰府天滿宮御神寶目錄　四一
龜屋喜兵衞難船記　四四
龜山院御灌頂記　八九
龜山院御葬禮記　五六・六八
龜山殿御幸記　四六・五七
龜山殿五首御歌合　四九・六一
龜山殿七百首　四八・六〇
假面　一八二
假面譜　九六
蒲生氏鄉記　五三・六五
蒲生氏鄉紀行　五二・六四
蒲生君平遺稿　一七一
蒲生君平全集　一七一
蒲生系圖　七九
賀茂皇太神宮記　四五・五七
賀茂御幸記　四六・五七
賀茂齋院記　四六・五八
賀茂氏系圖　四六・五八・七九
賀茂神宮鴨氏系圖　七九
賀茂注進雜記　九三
賀茂傳說考　二三八
『鴨』の梗概　一九八
鴨長明集　五〇・六二
賀茂祭繪詞　四五・五七
賀茂祭ざうようの引付色目　七五
賀茂御祖皇大神宮御幸記　四六・五七
鴨御祖社歌合　四九・六〇
賀茂社御願書　四五・五七
賀茂社櫻會緣起　五四・六六
賀茂社法樂宗牧獨吟名所百韻　八五
加茂保憲女集　五一・六二
賀茂臨時祭記　七五
賀茂別雷社歌合　四九・六〇
高陽院行幸和歌　八四
高陽院七番歌合　四八・六〇
賀陽院水閣歌合　四八・六〇
萱野三平傳　三五
俄游彙編　二五九
畫友詩　一六八
嘉祐集　一三四
臥遊隨錄　二四四
雅遊漫錄　一〇〇・二二四・二二五・二二八
臥游錄　一四九・一五九
華陽國志　一三四・一三五
華陽陶隱居集　一三四
華陽陶隱居内傳　一三四
嘉良喜隨筆　二一七
唐艸表紙序　一八〇
我樂多籠　二三八
璣訓(カラクリ)蒙鑑草　三八・二九八
唐崎松記　五五・六七
唐澤軍談　八七
唐澤城老談記　八七
鴉　一八四
烏鐵炮　四四
唐太話　九七
樺太評論　一二〇
樺太要覽　二八四
唐物語　八六
伽藍記　一三四・一三九・一四一・一四八
禍亂の防止策としての公共藝術の獎勵　一九六
かりがね文七一周忌　三六
雁衣鈔　四七・五九
狩詞記　五四・六五
就狩詞少々覺悟之事　五四・六五
かりねのすさみ　八五
狩谷棭齋全集　一七一
家隆卿百番自歌合　五〇・六一
花柳古鑑　二一九
花柳春話　二一九
歌林四季物語　九二
瓦林正頼記　八七
歌林良材集　八五
歌林良材摘抄　二九三
かるかや　三八
輕口大矢數　三八
カルヅッチイ　一八〇
花曆　一五七
瓦礫雜考　二一六
嘉曆三戊辰年九月十日公卿勅使御參宮日記　七五
枯木に花咲せ親仁　三八
枯木の後に書く　一八〇
嘉蓮燕語　一四五
畫簾緖論　一四八
嘉祿元年宗淸法印勸進文　七五
畫論　一五〇・一六四
川合淸丸全集　一八八
河合社歌合　四九・六一
川合次郎葬送誄辭　一九〇
河合神職鴨縣主系圖　七九
加波伊文庫著者名目錄　五
河及湖澤　一九三
川角太閤記　三四
川口式電氣集計機　二七一
川口善光寺緣起　九〇
川くるみ澤狀　九九
河越記　五三・六五
河越千句　八五
川越松山之記　二一九
革財布出典　一八一
革島家傳覺書　七八
革島系圖　七八
蛙　一八四
河津系圖　七九
蛙のはしがき　一八〇
蛙のはらわた　三八
爲替貯金局統計年報　二七五
河竹默阿彌　一九七
河竹默阿彌傳　一〇四
河竹默阿彌傳序　一九六
河内國叡福寺略緣起　四一
河内國小松寺緣起　九〇
河中島五箇度合戰記　八七
川那部系圖　七八
河廼邊翁物語　二三〇
河村誓眞聞書　八八
河村誓眞雜々記　八八
河村幹雄博士遺稿　一九〇
河村幹雄博士略年譜　一九一
河社　一〇三・二一五・二一七・二三一
河原院歌合　八四
かはらよもぎ　一七七・一七八
かはりとよかつしまばらみゑくのもん日　三七
雁　一八一
冠位通考　二八五
敢爲篇　二九三
閑院左大將朝光卿集　五〇・六二
寰宇記　一四七
甘雨亭叢書　三五・二九八
寬永江戶圖　三八
翰苑　二三・三九
還寃記　一三九・一四九・一五九
寬延奇談　三一
寬延雜祕錄　二一九
翰苑集　一三五
灌園十二師　一六〇

開燕常譚 一三一・一四五
感應經 一三一・一五三
觀應二年日次記 九一
感應類從志 一五三
巖屋完節志 一七六
宦海慈航 一六〇
勸戒全書 二六六
鑑戒錄 一三一・一四四
館課擬文 二〇四
くわんがくゐん物語 三八
顯學記 二〇六
漢學紀源 九五
漢學商兌 一三三
漢學不可廢論 一三一
勸學篇 一六九
看花雜詠 一三九
感化事業 二一〇
巖下放言 一二四・一三一・一四四・二三〇
漢官儀 一四七
漢官舊儀 七一・一六五
浣花集 一三五
漢甘泉宮瓦記 一三九
寒岩禪師略傳 八〇
閑閑老人滏水文集 一三五
漢魏音 二〇三
漢魏叢書 一三三
漢魏博士考 一三七
漢魏博士題名考 二〇三
感舊集 二四九
官業及保護會社問題 二九〇
勸業諸報標目 二六九
鉗狂人 一七七
勸業模範場報告 二六九
閑居友 九二
漢魏六朝墓名纂例 一三三
閑吟集 八六
丸經 一四〇・一五一・一五九
藿經 一五七
菅家遺誡 九二
灌畦暇語 一三五・一四四・二三一
環溪詩話 一四九
唫囈集 一三一
寒檠膚見 一三二・一五四
漢藝文志攷 五
觀劇の目安 一九六
菅家後集 四七・五九
菅家御傳記 四五・五七
玩月約 一六〇
菅家萬葉集 五一・六三
管絃音義 五二・六四
管絃記 一五一
寬元御讓位記 四七・五九
敢語 一七五
觀光紀游 二九三
漢后雜事祕辛 一三九
寒更霰語 一一九
漢皐詩話 一四九
菅公傳 一九九
漢皇德傳 一三八
還幸日誌 一一六
韓國衞生一斑 二七五
韓國慶州に於ける新羅時代の遺蹟 二一〇
閑谷黌基金募疏 二九八
韓國財政施設綱要 二八九
韓國財政整理報告 二八九
韓國財務經過報告 二八九
韓國財務統計要覽 二七五
韓國施政年報 二八七
閑谷集 八五
監獄則を論ず 一九九
韓國倂合を祝し奉る 一八九
觀古堂彙刻書 一三四
觀古堂所著書 一三四
諫鼓鳥 一七九
簡齋詩集 一三七
簡齋詩外集 一三七
閑際筆記 二一五
簡齋文集 一三七
簡齋漫錄 二三一
漢雜事祕辛 一四一・一五三
看山閣集 二五三
雁山雜記 一五九
寒山子詩集 一三四
寒山拾得 一八一・一九四
寒山拾得緣起 一八一
寒山堂金石林時地攷 一三三
閑散餘錄 一〇一・一二七・二二一
管子 一三三
韓詞遺說 一六八
廣西通志 二六六
關氏易傳 一四〇・一四二
韓子解詁 二九一
漢事會最人物志 一六八
韓詩外傳 一二三
顏氏家訓 一二四・一二九・一三三・一四九
韓詩講義 二九三
漢字三音考 一七七・一七八
韓氏三禮圖說 一二七
鴈字詩 二〇五
寒支集 二五三
鑑止水齋集 二五三
官私設鐵道調査表 二七五
諫止中東和議奏疏 二六三
元日宴會次第 八二
元日節會次第 八二
閑室漫錄 二一八
韓詞訂譌 一六八
寬至天見聞隨筆 二一四
觀自得齋叢書(別集共) 一二四・二六一
寬治二年記 五五・六六
漢詩の名 一八〇
開者軒帖考 一六六
勸修寺緣起 五四・六六
勸修寺舊記 九〇
勸修寺長吏次第 七七
菅儒侍讀年譜 七七
還壽信女往生略傳 四四
漢儒通義 二〇六
觀樹堂詩集合刻 二二四
貫首秘抄 四七・五九
咸淳遺事 一二一
寬正五年仙洞三席御會詩歌 八四
寬正三年內宮神寶送管符 七五
關城書 五三・六五
關城書裏書 五五・六六
漢書解題集成 五
管色攷 一四二
官職制度考 一〇三
官職難儀 四六・五八
官職秘抄 四六・五八
漢書食貨志 一二七
漢書地理志稽疑 一二三
漢書地理志水道圖說 二〇六
開書杜律 一五六
漢書論說 一七九
官箴 一四八・一六四
鑒眞和上三異事 八〇
開人雜記 一〇〇
觀心寺緣起實錄帳 五五・六六
肝心集 九一
菅神入宋授衣記 四五・五七
菅神初瀬山影向記 七六
卷數集 九一
寬政紀聞 二一九
漢制攷 一四〇
寬政御用留 一七三
寬政三年町法被仰渡書 四一
寬政時代の藏書家市橋下總守 二二一
寬政祕策 二一九

關稅問題と社會政策 二九〇
岩棲幽事 一二八・一五五・一六六
觀世音寺資財帳 五五・六六
漢籍解題 五
岩石學研究に於ける光學的鑛物學の意義 一九一
漢籍研究次第 五・一七
漢石例 一三三
觀石錄 一六〇
觀世流謠本 二九三
勸善訓蒙 一一九
韓仙傳 一五二・一六六
澗泉日記 一四四・一六五
寒川入道筆記 九二
眼前の異人種問題 二一二
眼前萬里 一九三
漢泉漫藁 一三五
閑窻一得 一〇五
閑窻瑣談 二一五・二二六
閑窻自語 一〇三・二一七
閑窓撰歌合 四九・六一
閑窻筆記 二一七
浣俗約 一五六
元祖蓮公薩埵略傳 八〇
漢代古文考 一二七
觀宅四十吉祥相 一三九
甘澤謠 一四一・一五三・一六一
邯鄲市上昨非談 二三八
桓譚新論 一四七
簡單ナル尿中沃度徴量比色定量法 二〇七
邯鄲夢記 二五七
寰中和尙傳 八一
關中記 一四八
開中今古錄 一三三・一五五
漢中士女志 一二九・一四七
勸忠書 九五
酣中淸話 一〇三・二一七
官廳刊行圖書目錄 五
觀潮樓一夕話 一八一
觀潮樓閒話 一八三
觀潮樓偶記 一八一
官地論 八七
鑑定人 一八四
咸定錄 一四五
鑒輶錄 一八〇
寬天見聞記 三三・三四
閑田耕筆 一〇三・二一五・二二六・二三一
閑田次筆 一〇三・二一五・二二六・二三一
漢唐遺事 九八
觀堂外集 二〇三
漢鐃歌十八曲集解 一六八
關東合戰記 八七
函潼關要志 一四八
關東血氣物語 二一九
關東潔競傳 二一九
觀堂古金文考釋五種 二〇三
間島國境問題 二一〇
間島產業調査書 二八九
磵東詩鈔 二四四
關東實業區一府七縣產業比較統計 二七六
關東洲現住戶口 二八〇
觀堂集林 二〇二
關東探勝記 一九八
關東都督府統計摘要 二七三
關東評定傳 四六・五八
關東兵亂記 五三・六五
觀堂別集(後編共) 二〇二
甘棠篇 三三
觀堂譯稿 二〇三
簡牘檢署考 二〇三
閑度雜談 三三一
廣東月令(後編共) 一六〇
廣東通志 二六六
關雜間記 七五
漢南記 一四八
癌ニ因ル死亡統計 二七九
勸農詞 七一
勸農備荒二物考 三五
觀音院恒例結緣灌頂記 八九
關白內大臣家歌合 四九・六〇
官板價附目錄 一
漢氾勝之遺書 一三六
官版書籍解題目錄 五
官版書籍解題略 五
漢蕃對音千字文殘卷 一六二
韓非子 一三三
觀徵子 一五三
刊謬正俗 一三一
關祕錄 二一六・二二八
觀楓記 一九〇
看楓約 一三一
漢武帝內傳 一二三・一二九・一五三・一六七
官武通紀 六九
韓文 七三
寬文印知集 九五
寬文記 九四
寬文十三年丹後國中覺書帳 四三
寬文書籍目錄 九
漢文評釋 二〇三
涵芬樓祕笈 一二五
寬平御時后宮歌合 四八・六〇
寬平菊合 五〇・六一
寬平御遺誡 五五・六七
癎癖談 二一八
寬保延享江府風俗志 六九
冠帽革制考 一七七・一七八
韓奉議鸎歌傳 一三三
閑放集 八五
艦砲全書 二八五
顧豐堂漫書 一五五・二六七
翰墨志 一五〇・一六四
翰墨叢記 一四五
館本十七帖 二五七
官民必携 一七
桓武平氏系圖 七八
眼目窮理編 一七三
看聞御記 九一・九三
顧文集 九一
看聞日記 九一・九三
雁門野說 一四四
漢譯鷄肋 一八七
宦遊紀聞 一五四・二三一・二六二
漢洋內景說 一七三
看羊錄 九八
開餘筆話 一三九
觀瀾三種 一七一
觀瀾集 九五
豢龍子 一五三
韓柳年譜 一三三
陷虜記 一四七
翰林學士集 三九
翰林志 一四六・一六四
旱霖集 八三
翰林壁記 一四六
翰林楊仲弘詩集 一三四
祼禮搉 一二七
關隴輿中偶憶編 一四〇
干祿字書 一五〇
顏魯公文集 一三五
甘露堂文庫稀覯本攷覽 一
含和園詩集 一〇二
閑話集 二二八
漢和法式 五一・六三

キ

僞惡醜日本人 一一九
規庵和尙行狀 八〇

議案錄　四四・一一七
希夷先生傳　一五二
奇異珍事錄　九六
歸一協會叢書　一〇六
紀伊國神名帳　七六
紀伊國造系圖　七九
紀伊國造職補任考　一七七・一七八
紀伊國造傜長集　八五
議院憲法竝規則　一一七
議員選擧有權者に關する統計上の觀察　二七五
議院法提要　一一〇
祈雨日記　八九
祈雨法記　八九
冀越通　一五四
寄園寄所寄　二六二
義捐小說　一八〇
磯園稗史　一三五
魏王花木志　一五一
祇園會御見物御成記　五四・六五
祇園牛頭天王緣起　七六
祇園三鳥居建立記　七六
祇園執行日記　七六
祇園社記錄　五五・六六
祇園社記續錄　七六
祇園社古文書寫　七六
祇園別當竝同執行補任次第　七六・七七
戲瑕　一三二・一五五
癸亥御城書　四二
議會及政黨論　一一〇
氣海觀瀾　六九
己亥叢說　二三八
幾何學　一一三
姬岳句集　一〇〇
歸雁　九九
饑寒窟　一〇三
魏季子文集　二五六
奇鬼傳　一六二
きゝのまにまに　二一九
歸鄕日記　四一
戲曲梗槩七十三種　一八一
戲曲考源　二〇三
寄曲亭書簡　一〇一
戲曲の分類　一八一
戲曲の翻譯法を說いて或る批評家に示す　一八四
箕龜論　一五二
記錦裙　一三〇
季吟子和歌　一〇五
菊桐御章考　一九二
歸愚詩鈔　二五四
歸愚詩鈔餘集　二五四
菊慈童酒宴岩屈　三六
菊社約　一六〇
歸愚詩餘　二五四
菊池系圖　七八
菊池武朝申狀　五三・六五
菊池博士の敎育勅語講義　一八九
菊池風土記　一〇三
鞠道三十首之和歌　八六
藕堂野史　一四五
菊坡叢語　一五五
菊譜　一五一・一六五
歸愚文鈔　二五四
歸愚文鈔餘集　二五四
麴本草　一五〇
きくまゝの記　二一九
菊葉和歌集　八三
旗軍志　一三九
棋經　一五一・一五九
機警　一五三
紀藝　一五〇・一六四
龜經　一五二
魏敬士文集　二五六
技藝百科全書　一〇七
紀家集斷簡　六八
棊訣　一五一
紀元通略　一七二
起原と珍聞　二九
紀元編　一三三
戲言養氣集　二一九
氣候及土壤論　一一〇
紀侯言行錄　九四
魏興士文集　二五六
魏公題跋　一四一
歸好餘錄　二九三
鬼國記　一三一・一三三
鬼國續記　一三一・一三三
鬼谷子　一三三
鬼哭子　二〇〇
鬼哭年表　二〇〇
鬼哭論集　二〇〇
綺語抄　八五
義虎傳　一三二・一五七
綺語文章　七二・九九・二一四
鬼才　一八四
毅齋遺稿　七一
毅齋先生詩稿　四五
私市（キサイチ）氏系圖　七九
后宮御產當日次第　九三
后宮御着帶部類　五六・六八
皇后宮春秋歌合　四八・六〇
宜齋野乘　一四三・一六四
きさきあらそひ　七四
擬策一道　二一〇
義山襍記　一四四
義山雜纂　一三〇・一四九・一六一
機山十七首　九五
歸山錄　一七五
紀氏系圖　四六・五八・七九
奇子雜言　一五三
癸巳三月議　一七三
疑字篡要　二九二
記事珠　一三〇・一五五・一六一
貴耳集　一四一・一六六
議事章程　一一七
器之禪師塔銘　八一
奇事談　四四
擬瑟譜　一四二
氣質鍊磨法　一八九
擬似電話ケーブルによる電話中繼器の實驗　二〇七
規子內親王家歌合　八四
癸巳日記　四〇
汽車火事　一八五
紀事約言　一四二
汽車中衞生補遺　一八六
騎射祕抄　五四・六五
紀州御役名大概　四三
紀州御發向之事　八七
擬集古錄　一〇五
檥舟齋書目　五
鬼啾啾　一一九
紀州武田系圖　七八
貴州通志　二六六
魏叔子詩集　二五六
魏叔子日錄　二五六
魏叔子文集　二五六
棋手勢　一五一
記述提要　二六八
蛾術編　二三一
揮麈餘話　一四六
揮麈錄　一四一・一四六・一六四
魏春秋　一四七
宜春傳言錄　一四六
魏書　二六五
僞書一覽　一
杵城遺事　一七五
鬼笑子　二〇〇
魏昭士文集　二五六

稀書解題　五
僞書說　一
僞書叢　一
稀書複製會刊行稀書解說　五・三六―三八
稀書複製會刊行書　三五―三八
貴耳錄　一三一・一四五
喜神勸請の事　一八九
奇晉齋叢書　一二五
癸辛雜識　一四一・一四四・二三一
魏晉世語　一三九・一四七
義人全集　一九一
鬼神論　一七〇
起世經　一五二
寄生山館詩賸　一二五
奇蹟　一八四
魏石經考　一二七
魏石經殘石考　二〇三
奇石殘書　四三
晞篋徧筆　一五五
貴賤上下考　二九・三三一
季滄葦藏書目　五・一二七
義莊規矩　一四九
義倉條約　三九
紀草堂十六宜　一六〇
龜桑夜談　二三八
議奏歷　九四
木曾願書　七三
貴族院圖書館和漢圖書假目錄(洋書目錄附)　六
木曾系圖　七七
木曾路之記　四三・一七一
木曾宣公(義仲)舊里碑　四一
北亞米利加地誌　一一三
龜臺琬琰　一五九
魏臺訪議　一四七
北蝦夷古謠遺篇　一〇七
北樺太東海岸の森林　二三五
北支那戰爭記　二五八
北院御室御集　五一・六三
北院御室拾要集　九一
北野緣起　四五・五七
北野宮緣起　五一・六三
北野神君畫幀記　七六
北野大茶湯之記　五三・六四
北野茶會記　二一四
北野天神御緣起　七六
北野宮歌合　四九・六〇
北野本地　七六
北野宮寺緣起　七六
北畠系圖　七八
北山院御入內記　五六・六八
北山行幸倭歌　八四
北山准后九十賀起　九三
北山殿行幸記　四六・五七
義太夫は改良すべからず　一九七
奇男子傳　一三〇・一六二
紀談錄　一四三
愧郯錄　一四七
宜竹殘藁　八三
氣中現象學　一一一
熙朝樂事　一二八・一五五
鬼塚志　一六二
熙朝新語　二五八
橘庵漫筆　二二一
希通錄　一四三・一五八
吉川系譜　七九
吉川元春卿傳　九七
鮚埼亭詩集　一三七
鮚埼亭集(外編共)　一三六・二三一
吉凶影響錄　一五三・一六七
吉口傳　八三
鮚軒詩　二六〇
鮚軒詩集　二〇三
鮚軒外集　二〇三
喫茶往來　五三・六四・一〇六
喫茶雜話　八七
喫茶養生記　五三・六四
吉事次第　五六・六八
吉日考祕傳　九三
吉祥菴淸谿和尙行實　八一
吉書始　一八九
吉事略儀　五六・六八
吉水院靈佛靈寶略緣起　四一
橘窻茶話　二一五・二一七・二三一
橘窻自語　九六・二二六
橘聰文集　九九
狐の裁判　一一九
詰墨　一四二
吉林外記　一六九
喜連川古河宮原之系圖　七七
喜連川判鑑　七七
橘錄　一五一・一六四
魏鄭公諫續錄　一六五・二八七
窺天外乘　一五五
歸田瑣記　一六三・二三一
歸田詩話　一五六・一六一・一六七
歸田錄　一四六・二五四
鬼董　一六八
毅堂丙集　二五三
宜堂類編　二五八
宜都記　一三九・一四八
畿內治河記　三五・一六九
畿內兵亂記　八七
簋貳約　一六〇
鬼怒子　二〇〇
熙寧酒課　一五〇
木下（キネ）川藥師佛像緣起　五五・六六
祈年祭祝詞　七〇
紀年兒覽　九七
疑年錄　一三二・一三八
甲子夜話(カッシヤワ參照)
きのふはけふの物語　三四
木下勝俊朝臣集　八五
紀貫之集　五〇・六二
乙寺緣起　六八・九七
紀友則集　五〇・六二
魏伯子文集　二五六
紀藩士著述目錄　六
吉備溫故祕錄　三九
吉備溫故祕錄附錄　三九
己未紀行　一七七・一七八
吉備群書集成　三八
吉備前祕錄　三八
吉備津神社記　三九
吉備津宮參詣之記　三九
吉備刀劍考　三九
吉備之國地理之聞書　三九
吉備の志多道　三八
寸簸之塵　三八
吉備烈公遺事　九四
棋品　一五一
岐阜縣戶口統計　二八〇
魏夫人傳　一五二
魏武帝註孫子　七一・二六三
紀文達公遺集　二四四
癸卯于役日錄　九五
熙豐日曆　一三〇・一四六
畿輔通志　二六六
木枕　四四
君島系圖　七八
紀見のめぐみ　一七七・一七八
疑孟　一四二
義門題跋　一三九
疑問錄　七五・二三八
格逸　九四
格逸々　九四
脚氣集　一三二・一五五・一六六
客衆肝照子　三七
脚色餘錄　七三
逆臣傳　二五八

卸掃編　一四一
逆の味ひ　二一〇
脚本に關する訴訟事件の鑑定　一九七
脚本の朗讀法　一九六
脚本プルムウラの由來　一八二
譃名錄　一四五
姹男(キャシャオトコ)なさけの遊女　三七
笈埃隨筆　二一七
久安六年御百首　四八・六〇
九域志　一四七
九院佛閣抄　五五・六六
九雲夢　九八
九淵詩稿　八三
歸有園塵談　一二八・一五六・一六五・二六七
牛應貞傳　一二六・一三〇・一六三・一六七
九懷詞　二〇四
窮怪錄　一五三・一六七
九華山錄　一四八・一五九
及瓜漫筆　二一九
舊刊景譜　一
舊刊叢書類書名　六
救饑提要　九七
九喜榻記　一六〇
救急或問　一〇一
舊狂言作者及び舊脚本　一九六
九經古義　一三三
九經誤字　二〇六
丘瓊山故事雕龍　二九
九經三傳沿革例　一三三
九桂草堂隨筆　二一八・二二一
九桂草堂隨筆を讀む　二二一
九經補韻　一三三・一四三・一六四
舊劇を奈何すべきか　一八三
舊劇の未來　一八三
求闕齋讀書錄　二〇五・二六一
求闕齋日記類鈔　二〇六・二六一
丘言　二三八
欽硯說　一五〇・一六四
救荒活民補遺書　七一
九江志　一四八
救荒植物集說　一二一
救荒二物考　一七三
汲古閣校刻書目　六・一三九
汲古閣刻板存亡攷　六・一三九
汲古閣珍藏祕本書目　六・一二七
九國志　一三二・一四七
九谷集　二五三
汲古叢語　一五三・一六六
汲古留眞　三九
求古錄　一三三・二〇六
舊今記　四二
宮室攷　一三七
求志編　一五三
九射格　一五一
舊習一新　一三〇
九州下向記　九四
欽州硯譜　一五〇・一六四
窮愁志　一四四
九州春秋　一四七
急就章　一六八
九州探題　七七
九州治亂記　五三・六五
九州帝國大學圖書目錄　六
九州帝國大學和漢增加圖書月報　六
九州のみちの記　五三・六四
急就篇　一三七・一四〇・二〇三
九州道の記　五三・六四
久壽改元定記　八二
璣邑舜菴問答　四三
悹書　一三一
九章算術(音義共)　一三四
宮城堂舍諸門炎上誌　一〇五
舊鈔本說文　三九
嬉遊笑覽　一七・三四・九七・一〇〇
舊勝錄　四三
給水浴澡堀渠　二一
九數外錄　一三三
九數乘除圖　一七三
急性傳染病ニ因ル死亡統計　二七九
舊蹟遺聞　九九
舊蹟紀聞　二三一
求是齋雜著　二六〇
虬髯客傳　一二六・一三〇・一五三・一六一・一六七
鳩巢與白石諫書　一〇五
休息句合　三六
奇遊談　二一七
九秩壽詩　二五四
仇池筆記　一三一・一四四・一六七
汲冢周書　一二三・一三三・一六三
九朝野記　一五三
舊津山藩の學制　三九
宮庭儀禮の民俗學的考察　二三七
舊邸礎跡略　四二
宮殿建築大意　一九一
牛痘接法　一七三
癸酉讀書　一七一
牛鍋　一八二
九梅村詩集　二四四
舊幕府御定書　一〇三
舊幕府御定書例書　一〇三
舊幕府公事方御定書　一〇三
舊幕府理財會要引用書目竝
　參考書目　二六八
牛馬統計表　二七五
就弓馬儀大概聞書　五四・六五
舊派の俳優は新劇の俳優と
　して尙ほ大いに用ふるに
　足るか？　一九六
牛馬問　二一八
弓馬問答　八八
究百集　八六
九百年忌九重西來繪盡　三七
九品書　一五〇
鬃譜　二一五
救文格論　一五七・二〇六
救民藥方錄　四一
舊夢談　一三〇
久夢日記　六九
休明光記　九四
救命書　二〇七
欽問　一三九
九曜齋筆記　一三七
窮理圖解　二〇〇・二九二
窮理通　一七六
窮理問答　二九二
鳩嶺雜事記　五五・六六
鳩嶺雜日記　七五
九靈山房集(外集共)　一三六
鳩嶺年代記　五五・六六
九曆　九四
教育學　一〇八・一一〇・一一三・一一八
教育家としての坪內先生　一九五
教育家と統計の關係　二六八
教育原理　一一一
教育座談　一九〇
教育史　一〇八・一一〇
教育上に於ける遊戲の職能　一九六
教育所感　一八七
教育大辭書　三一
教育勅語を奉讀す　一八九
教育勅語關係書目　六
教育勅語の聖旨貫徹論　一八九
教育と遺傳　一一六
教育統計學　二六八
教育統計摘要　二七五
教育と御伽の參考古書目錄　六
教育と產業の進化　一二五
教育と社會　一一四
教育と哲學的精神　二一一
教育に關する勅語御下賜四

　十年記念展覽會目錄　一五
教育の改造　一〇七
教育の原則　一八九
教育の外何物もなし　一九〇
教育文獻年表　一一八
教育本論　一八八
教育令制定理由　一一八
教育論　一一三・一八九
京今宮御本地　七四
狂雲集　八三
匡遠記　九四
杏園詩集　一七三
篋衍集　二四九
況翁閑話　二三八
況翁閑話後篇　二三〇
況翁叢話　二三八
況翁談片　二三八
狂歌合　五六・六七
狂歌烟草百首　二一四
俠客傳京師淀新評　四〇
俠客傳四集疊翠評　四〇
俠客傳第二集桂窓評答　四〇
俠客傳二集桂窓評　四〇
狂歌醉吟稿百首　七四
狂歌醉竹集　七四
狂哥たび枕　三八
狂歌浪花丸　三七
敎化の目的と文藝協會　一九七
狂歌鳩杖集　七四
狂歌百鬼夜狂　七四
狂歌百人一首　一七三
狂歌夜光玉　九九
行基大菩薩行狀記　八〇
行基年譜　九四
狂戲文集　四二
行基菩薩御遺骨出現事　八〇
行基菩薩傳　八〇
敎訓句選　七一
敎訓抄　八六
敎訓俚謠集　七一
碧溪詩話　一四九・一六一・一六五
恭迎大駕記　一三九
狂言鶯蛙集　七四
狂言紀略　一五六
狂犬略說　一八六
行幸院御贈物叓　七七
凶荒御取計之事　一七一
行幸御列帳　一一六
鄴侯外傳　一三〇・一五三
行幸勘例　四六・五七
行幸御警衞心得　一一七
凶荒心得書　一七一
凝香室鴻雪因緣圖記　二五九
敎考編　一六〇
行幸反閉作法圖　九二
堯孝法印自哥合　五〇・六一
堯孝法印集　五一・六二
堯孝法印日記　五三・六三
堯孝法印百首　八四
恐慌論　一一三
京極大草紙　八八
京極高次分限帳　九九
薑齋五十自定稿　二〇五
況齋雜話　二一八
薑齋詩集　二〇五
薑齋七十自定稿　二〇五
薑齋詩分體藁　二〇五
薑齋詩編年藁　二〇五
薑齋詩賸稿　二〇五
薑齋詩話　二〇五
薑齋先生詩文集　一三五
凝齋筆語　一五三
薑齋文集　二〇五
薑齋文集補遺　二〇五
薑齋六十自定稿　二〇五
崎陽雜報　一一九・二四四
崎陽茶話　一一〇
竟山樂錄　一三六・一六八・二〇四
仰山脞錄　一三三・一五五
共產主義論　一〇九
貴陽山泉志　一五五
仰子遺語　一三三
狂詩諺解　一七三
岐陽自贊　八一
京四條おくに歌舞妓　七三
狂詩選　四〇
凶事部類　九三
鄕射直節　一五六
行者と女魔　一九四
强恕齋本唐樊紹述遺文　一四〇
徇女の衞生　一八五
仰止錄　三九
橿生詠草　一七一
行政裁判法論　一一〇
行政整理ト鑛山監督署　二八七
恭靖先生遺稿　九五
行政統計　二六八
行政法　二六八
行政法各論　一一〇
行政法汎論　一一〇
匡正錄　二三一
峽船誌　一五三
競爭　二〇一
曉窻追錄　二〇一
曉窻追錄補　一一九・二〇一
崎陽賊船考　二一九
翹楚篇　三三・一〇一
鄕村古實見聞記　九九
鄴中記　一二九・一四七・一五八・一六五
鶯聽錄　一二八
峽程記　一四八
協同組合運動　一〇九
敎童子法　一六八
京都往來　九五
曉讀書齋雜錄　二〇三・二三一
享德二年大間　八三
享德二年晴之御鞠記　五三・六四
京都市統計書　二七三
京都將軍家古狀　八八
鄕土誌料綜合目錄(新潟縣)　六
鄕土志料分類目錄(鹿兒島縣)　六
鄕土志料目錄(前同)　六
鄕土志料目錄(福岡縣)　一三
京都市臨時人口調查要計表　二八〇
京都帝國大學附屬圖書館增
　加圖書月報　六
京都帝國大學附屬圖書館增
　加和漢圖書年報　六
京都帝國大學文學部景印舊
　鈔本　三九
京都帝國大學文科大學叢書　三九
京都圖書館分類書目　六
京都圖書館和漢圖書分類目錄　六
京都府下人民告諭大意　四二
京都府勸業統計樣式說明　二六八
京都府郡市町村現勢調查簿
　調製規程　二六八
京都府現勢一斑　二七三
京都府財政一覽　二七五
京都府財政統計　二七五
京都府人口統計　二八〇
京都府人口統計報告例規　二六八
京都府治概覽　二七三
京都府地方改良講演集　二八七
京都府治要覽　二七三
京都府統計書　二七三
京都府統計ノ機關及其ノ事業　二六八
京都府圖書館藏書目錄　六
京都府立圖書館畫引書目　六
京都府立圖書館和漢書目錄　六

郷土文獻綜合目錄(秋田縣)　六
沂陽日記　一五三
京ひながた　七三
凶服部類　八三
狂夫之言(續共)　一六六・二六七
教坊記　一三〇・一四九・一五九・一六一
享保十七年葛町生國竝抱女
　名寄帳　四三
享保書籍目錄　九
享保世話　六九
享保通鑑　二一九
享保度法律類寄　一〇三
享保年間集　四二
享保年間分限帳　四四
堯峯文鈔　一三六
享保よみ賣はやり唄　三八
業要集　二一九
峽陽來書　二一九
杏柳傳語　一〇〇
饗禮補亡　一一三
匡廬紀游　一五八・一六八
技癢錄　九七
享祿以來年代記　九一
杏盧文鈔　二三一
享和雜記　二一九
享和のはやり神　四一
京童　一九七
居易堂集　二五三
居易錄　二六二
ギヨオテ詩を論ず　一八〇
ギヨオテ傳　一八三
ギヨオテ年譜　一八三
馭戎概言　一七七・一七八
居家宜忌　一五六
居家制用　一五五
居家備用　一七三
御冠沿革考　一九二
去僞齋文集　二〇六
祛疑說　一四九・一六四
漁業生產調査規程　二六八
漁業生產調査統計　二七五
曲洧舊聞　一三一・一四五
漁具詠　一五一
曲園襍纂　二〇三
曲園自述詩　二四四
曲豔品　一二八・一五七
玉海　一二
玉淵雜書　一三一・一四四
玉眼入佛像說　一九一
玉谿生詩說　一一三
玉溪編事　一四三・一六七
玉考　一七〇
玉匣記　一四五・一六四
曲江張先生文集　一三七
曲肱漫筆　二一七
玉壺遐覽　一五四
玉壺清話　一三一・一四六・一六四
玉壺氷　一五五
玉山遺稿　一〇三
玉山詞　二六一
玉山詩集　一〇三
玉山樵人集　一三六
玉山草堂續集　一三三
玉山堂詞　一四二
玉笥集　一三三
玉芝堂文集　二五一
玉照新志　一四五
玉照堂遺愛字紙　四〇
玉章祕傳抄　九二
玉笑零音　一二八・一五六
玉食批　一五〇
玉燭寶典　一三六・一四八
殛珅誌略　一四〇
玉藥辨證　一四一
玉石雜誌　二一七
玉石志林　一一九
玉泉子　一六一
玉川子詩集(外集共)　一三六
玉泉子眞錄　一四六
曲藻　一二八
玉窗遺稿　一六三
玉臺書史　一三八
玉臺新詠集　一三五
玉臺新詠箋註　二四九
玉池談屑　一五三
玉仲遺文　九五
曲中志　一五七
玉晃思出隨筆　四四
玉晃初歌集　四四
玉晃叢書　四二
極超短波に依る無線電話　二〇九
玉晃日記　四三
曲亭遺稿　六八
曲亭間記　四〇
曲亭句集　四〇
曲亭雜記　二三一
曲亭書簡集　一〇一
曲亭書簡集拾遺　一〇一
曲亭書狀寫　一〇一
曲亭叢書　四〇
曲亭題跋　四〇
曲亭馬琴　一九七
曲亭馬琴遺墨　四〇
曲亭馬琴家系　一〇一
玉堂閑話　一四六
玉堂雜記　一四六
極東時報　二三六
玉堂逢辰錄　一三〇・一四六
玉堂漫筆　一二八・一五四・二六七
玉堂類稾　三三
玉符瑞圖　一四七
玉篇　一二六
玉房指要　一二四
玉房祕訣　一二四
玉名詁　一五六
玉耶經　七〇
玉耶女經　一八九
玉餘尺牘附編　一五八
曲律　一一七
玉龍山福昌禪寺開山石屋禪
　師塔銘　八一
玉林苑　八六
玉暦通政經　一四七
曲錄　二〇三
曲話　二〇六
魚玄機　一八二
魚玄機詩　一三四・二四七
魚玄機事略　二四七
許彥周詩話　一四九
虛谷閒抄　一三一・一四五
據梧詩集　二四四
御塞行程　一三〇・一四六
鄦齋叢書　一三五
居山雜志　一五五
魚山の御のり　五四・六六
きよしげ　七三
許氏詩譜鈔　一六二
御史臺記　一四六
虛實見聞記　九七
虛實柳巷方言　九九
漁舟記談　二六〇
漁舟續談　二六〇
漁樵閑話　一六七
漁樵閒話　一四五
漁樵對問　一四三
漁樵問答　一六四
清湞合戰記　八七
清輔朝臣集　五〇・六二
清輔袋草紙　八五
清須侍供覺書　四四

御製詩(初・二・三・餘集)　二四四
御製文(初・二集)　二五一
御選唐宋詩醇　二四九・二九四
漁村文話(續共)　一〇一
清瀧宮勸請神名帳　一七六
魚鳥平家　五六・六七
ギヨツツ　一八四
ギヨツツ考　一八四
御定全唐詩錄　二四九
清原右大將　七四
清原系圖　七九
清原氏系圖　四六・五八
魚品　一五七
清正記　八八・一〇三
清正行狀奇　八八
清正公行狀　八八
清正朝鮮記　九四
清正高麗陣覺書　三四
清水觀音利生物語　七三
清水寺緣起　五四・六六・九〇
清水の御本地　三八
虛無黨實傳記鬼啾啾　一一九
清盛と佛御前　二〇一
御遊抄　八六
御遊部類記　八六
漁洋感舊集小傳　二五〇
漁洋山人詩問　一三五
漁洋山人集外詩　一三五
漁洋山人精華錄　一三六・二四五
漁洋詩話　一六〇
御覽闕史　一二六・一六〇・一六七
御覽集　二五三
御覽書苑青華　一三八
漁陽石譜　一五〇
居留地制度ト內地雜居　一九九
漁獵　二一
魚類ノ膵構造ニ就テ　二〇七
儀禮　一三三
儀禮議誤　一六五
儀禮釋宮　一六五
儀禮釋宮增註　一五八
儀禮石經校勘記　一三三
儀禮鄭氏注　一三七
吉良系譜　七七
きりかね曾我　七四
切支丹宗門來朝實記　九五
吉利支丹退治物語　三五・三八
鬼利至端破却論傳　三五・三八
吉利支丹物語　三三・九五
霧島山逆矛考　一七六
希臘學　一一三
希臘劇に關するもの　一九八
希臘古代の演劇に就いて　一九八
希臘史　一一三
希臘事情　二一三
希臘志略　一四三
希臘の民謠　一八〇
ギリシア美術概觀　一〇八
希臘文藝思潮　一〇八
希臘羅馬人の法醫學　一八六
契利斯督記　九五
基督敎々育振興策質問に對
　する返書公開　一九〇
基督敎劇　一八一
基督敎思潮　一〇八
基督敎社會主義　一〇九
基督敎と祖國愛　一九〇
基督と親鸞　一九〇
基督の信について祖國愛の
　うかゞはるゝ節々　一九〇
桐竹紋十郎手記　二一九
桐原系圖　七九
桐火桶　五一・六三
桐一葉　一九四
紀琉球入太學始末　一三九
擬兩晉南北史樂府　二〇三・二六〇
羇旅漫錄　二一六
麒麟抄　九二
麒麟抄增補　九二
ギルド社會主義　一〇九
ギルドの研究　一〇九
記荔枝　一五七
貴嶺問答　四八・五九
妓樓の制改良せざるべからず　一九九
岐路に立てるデモクラシー　一一五
錦衣志　一五四
近異錄　一五二・一六七
禁腋祕抄　五五・六七
訓閱集　二九八
金淵集　一六五
金困集　一三五
金貨　一八二
銀街小誌　一三〇
金槐和歌集　五〇・六二
銀閣寺略緣起　四一
琴學八則　一六〇
金華黃先生文集　一三七
金華子雜編　一三〇・一四六・一六一
銀貨の過去現在未來　一一六
近科分韻館詩二集　二三六
金華游錄　一四八・一五九
近鑑　二〇六
近刊雜評　一八一
近畿善本圖錄　一
錦葵文庫　四四
金匱要略方論　一三六
金玉歌合　八四
金玉瑣碎　一五八・二六一
金玉集　四八・六〇
金玉掌中抄　四六・五八
金玉詩話　一四九
金玉眞蹟　二九八
金玉積傳集　九二
琴曲譜錄　一三一・一五一
金魚養玩草　二一四
金々先生榮花夢　三七
金金先生榮華夢及び大悲千
　錄本合評　一八〇
金銀島探檢報告　一〇六
欣遇齋詩集　二四五
錦裙記　一五二・一六二
禽經　一五一・一六五
今言　一三二・一五四
金言類聚抄　九二
金言和歌集　九三
銀行者は改良事業に貨幣を
　貸付くべからず　一九九
銀行小言　一一八
銀行新論　一一〇
金鰲退食筆記　一五七・一六八
今古奇聞　二五七
錦谷䖏禪師行狀　八一
金壺字考　一五〇
金壺七墨全集　一六三・二三一
近古錄　二〇六
瑾戶錄　一五五
金山雜志　一二八
銀山鐵壁漫談　一五五
金史　二六五
金志　一四七・一五八
琴史　一六九
近事奇談內幕話　一二〇
近時憲法考　一八七
今詩所見集選　二四九
近事政論考　一一七・一八七
禁室女守志殉死文　二〇四
近時の經濟變動　一一三
近視の由りて來る所　一八五
近事評論　一三〇・二三六・二三九
禽獸決錄　一五一

琴洲詞　二六二
今書　一七一
金勝寺官符　五五・六六
金城祕韞　一七五
今上陛下御卽位式寫眞帖　二八七
禁書總目　六
錦所談　一〇三・二一四・二二一
近思錄備考　一七〇
近人詩錄　二四九
近世吾妻人物記　四四
近世逸人畫史　一〇三
近世淫亂集　四二
近世江都著聞集　三三・三四
今世歐洲外交史　一〇七
近世應用電氣學　一一四
近世女風俗考　二一六
近世幾何學　一一一
近世氣象學　一一〇
近世畸人傳序目　二二五
近世奇跡考　三四・二一五・二一七・二二一
近世紀聞　二八二
金聲玉音　二九四
琴聲經緯　一五一
近世公實嚴祕錄　一〇四
近世國文學思潮　一〇八
近世三十六人撰　一七七・一七八
近世社會思想上に於ける改良主義と革命主義　二一三
琴聲十六法　一五九
近世儒學史　二一一
近世商賈盡狂歌合　二一八
近世諸家史論抄　二八二
近世史略　二八二
近世人の大阪觀　二一一
近世心理學　二一一
近世西史綱紀　二八二
近世珍談集　二一九
近世哲學史　一〇八
近世の獨逸文學　一八一
近世美學　一一〇・一九九
近世美學上の問題　二二二
近世美術史　一〇八・二一一
近世風俗見聞集　六九
近世佛敎集說　七〇
近世文學思想の源流　一九五
近世文藝叢書　六八
近世文藝名著標本集　三
今世名家詩鈔　二四九
今世名家文鈔　二九四
近世名婦傳　一一三
近世物之本江戸作者部類　三四
近世歐羅巴の基礎　一一三
金石契　一三八・一五五
金石稱例　一三三・二〇六
金石萃編補目　一三七
金石綜例　一三三
金石文字記　二〇六
金石文字辨異　一三七
金石例補　一三三
金石錄補　一三三
金石錄補續跋　一二三
今世說　一二三
琴箋圖式　一五一
今撰和歌集　四八・六〇
琴操　七二
巾箱小品　一三六・二六一
金瘡祕傳　九二
金瘡祕傳集　九二
金粟箋說　一六六
金屬電着に用ふる添加劑の共通性　二〇八
銀臺遺事　一〇三
近代英國社會主義史　一一五
近代化學の勝利　一一四
近代科學の諸問題　一一六
金臺紀聞　一三八・一五四・二六七
近代劇研究　一一五
近代公實嚴祕錄　一〇三
近代個人主義の諸相　一八六
金臺殘涙記　一四〇
近代思想界の變遷　一一三
近代思想とヂャーナリズム　二四〇
襟帶集　七四
銀臺拾遺　一〇三
近代秀歌　五一・六三
錦帶書　一四一・一四九
近代著述目錄　六
近代著述目錄續編　六
近代犯罪學說　一一四
近代婦人運動　一〇九
近代舞踊史論序　一九四
近代佛蘭西文學　一二三
銀臺附錄　一〇三
近代立法の精神　一一四
錦帶連珠　一五九
公忠朝臣集　五〇・六二
金丹四百字解　一六六
欽定國朝詩別裁集　二四九
欽定古今圖書集成　二三
欽定古今圖書集成總目　二三・一〇五
筠庭雜考　一〇三・二一七
筠庭雜錄　七五・二一七
欽定四庫全書簡明目錄　六・二六四
欽定四庫全書總目提要　六・二六四
欽定四庫全書總目提要四部類敍　一・一六八
欽定天祿琳琅書目　六
欽定武英殿聚珍版程式　一六五
欽定滿洲源流考　九八
金鐵集　八三
公任卿集　五〇・六二
勤王烈士詩　二三四
金之犀諸藝鑑　九八
公宣卿白馬節會次第　八二
公宣卿踏歌節會次第　八二
禁祕鈔　五五・六七
公平花だんやぶり　七四
公平化生論　七四
公平末春いくさろん　七四
公平闕やぶり　七四
公平誕生記　七四
公平つるぎのりつくわ　七四
公平天句問答　七四
公平入道山めぐり　七四
公平武者執行　七四
禁祕錄　四三
菌譜　一五一・一六四
吟風閣詞曲譜　一〇三
禁扁　一六九
近峰記略　一三三・一五五
近峰聞略　一三三・一五五
金本位の作用・殊に金融との關係　二一二
今本竹書紀年疏證　一三七・二〇三
金毛狐　一九四
訓蒙圖彙　一七・一八
訓蒙淺語　一〇三・二一八
金融閑漫　一九九
金融事項參考書　二七五
金融問題　一〇九
金融論　一一〇
金曜會報告　二三五
金葉和謌集　八三
今來風體抄　八五
金鑾密記　一三〇・一四六・一六一
禁裡哥合　四九・六〇
禁裏御普請帳　八九
錦里新聞　一四五
金龍淺草千本櫻　三八
金陵癸甲摭談　二五八

金陵紀事雜詠　一四〇
金陵妓品　一五七
金陵襍事詩　一六九
金陵冬遊記略　一五五
金陵百詠　一三四
金類及錬金術　一一一
琴嶺雜記　四〇
筠廊偶筆　一五七
金樓子　一二九・一四四・二三一

ク

駒陰冗記　一三二・一五四
寓意　一七五
寓意草　一〇五・二三一
寓意編　一三五
禺于日錄　一九八
遇恩錄　一三二・一五四
空海和上傳記　八〇
空海僧都傳　八〇
空華談叢　二三一
寓簡　九六・一四三・一六〇
空谷香　二五七
宮司引付　七五
偶書　一三九
偶思錄　二〇二
偶像非神論　一一八
偶譚　一三八・一五六・一六五・二六七
空中線の組合せと其方向性　二〇七
空中の超音波による通信　二〇八
空洞遺稿　二九四
空同子　一三八・一五三
寓圃雜記　一三二・一五五
空也誄　八〇
寓林淸言　一五六
虞喜志林　一四七
公卿宣下抄　八三
公卿勅使記　四五・五七・七五
公卿勅使御參宮次第　四五・五七
公卿勅使御參宮日記　七五
公卿勅使雜例　七五
愚見抄　八五
駒谷芻言　二一六
愚谷文存　一六三
愚鼓辭　二〇五
日下一木集　八三
日下部系圖　七九
草雙紙書目　七三
愚雜俎　二一五・二一八
草枕　四二
草まくらの日記　一七七・一七八
草物語　四三
クサンチス　一八四
舊事紀直日　一七四
久慈郡薩都宮奉加帳　七六
舊事本紀玄義　九三
孔雀經御修法記　八九
孔雀樓筆記　二三一
虞邵庵批點文選心訣　七二
九條右大臣集　六九・九七
九條家車圖　六八
霍小玉傳　一五三
九條殿遺誡　五五・六七
九條年中行事　四七・五八
虞初新志　一六三
虞初續志　一六三
虞書曆象俗解　一七四
愚人の力　二二八
驅睡錄　一〇〇
藥玉之考　二一四
楠木合戰注文　九四
楠氏系圖　七九
楠天童著述書目　六
楠判官兵庫之記　一〇六
くずばな　七〇・一七七
區勢調査ニ現ハレシ札幌區民ノ讀書力　二七五
九世團十郎　一九七
九世團十郎・五世菊五郎　一九七
くせ物語　三四
句題百首　四八・六〇
句題和歌　四八・六〇
くだものゝうた　一九八
久多綿之蚊屋野考　一〇六
口遊　一八・九二
愚痴拾遺物語　二一九
瞿忠宣公集　二三三
屈翁山詩集　二四五
靴か履か　一八五
鞋補童敎學（クツナオシワランベノオシヘ）　一一八
屈賦微　一三八
舊唐書疑義　一四二
舊唐書經籍志　一三
虞東先生文錄　一三九
工藤二階堂系圖　七九
宮內省圖書寮陳列圖書目錄　一五
邦高親王御百首　八四
國のけもの　一九八
國之大經　一八八
國造本紀考　九六
久能寺緣起　九〇
九戸記　八七
九戸軍談記　一〇〇
愚祕抄　五一・六三
公方樣正月御事始之記　五四・六五
公方兩將記　九四
久保之取蛇尾（スサビ）　二三一
九品和歌　五一・六三
熊谷系圖　七八
熊谷直好と八田知紀と　一八〇
熊檻集　二九四
熊澤先生覺書　三九
熊澤了介先生事蹟考　三九・一〇一
熊野權現金剛藏王寶殿造功日記　七六
熊野山開帳　七三
熊野神社神號神位　一七七・一七八
熊野別當系圖　七九
熊野別當代々記　七七
熊野法樂千句　八五
熊野本宮古記　七六
熊本高等工業學校和漢圖書分類目錄　六
熊本市商工營業統計　二七五
熊本市職業調査の結果　二七五
熊本市職業統計　二七五
熊本圖書館和漢圖書分類目錄　六
熊本暴動記　四二
茱萸囊之考（グミブクロ）　二一四
愚迷發心集　七〇・九一
久米邦武氏の神道說の妄を辯ず　一八八
久米寺流記　九〇
久米舞考　一九二
雲井の御法　五四・六六
雲がくれの卷　四四
蜘蛛の糸卷　三三・一〇三・二一五・二一七・二二二
愚問賢注　八五
愚聞集　四二
公羊逸禮攷徵　一三三
公羊傳補注　二〇五・二六一
公羊問答　一三三
鞍鐙寸法記　八八
鞍鐙目利書　二一四
暗い芝居對明るい芝居　一九六
競物名彙　一七六
鞍馬出　七三
鞍馬蓋寺緣起　九〇
クラム敎授の「英國と獨逸」　一九〇
栗山大膳　一八三

クルウゼンシュテルン日本紀行　一〇六
久留米彫畫家傳　一八一
吳文聰　二八二
クレオパトラ　二〇一
吳市立圖書館圖書展覽會出品目錄　一五
吳服絹　三三
藏人補任　四六・五八・七七
黑川眞賴全集　六八・一九一
黑田家臣傳　一七〇
黑田家譜　一七〇
黑田記略　一七〇
黑田家老士物語　九五
黑田先公忠義傳　一七〇
黑田長政記　八八
黑谷源空上人傳　八〇
黑鳥の考　一七七・一七八
クロポトキン研究　一八六
畔柳助九郎武重覺書　一〇五
桑名前修遺書　四五
桑畑段別及畝表　二七五
桑畑段別表　二七五
桑實寺緣起　九〇
軍醫學舍右翼の結構に關する意見　一八五
勳位考　一九二
訓閱集　二九八
郡閣雅言　一四三
訓學齋規　一四九
軍艦法則　二八五
群居解頤　一四四
群經音辨　一三三
群經平議　二〇三
軍國主義政治學　一〇七
郡齋讀書志　六・八
群碎錄　一三八・一五五・一六六
君山先生奇談　四三
君子訓　一七〇
訓子語　二〇六
君子集　九二
軍事世界地理　一一四
郡市町村廢置分合表　二八七
軍事年表　一三一
群衆心理　一一三
群衆と政治　一一四
叢集類抄　五三・六四
軍縮會議の開かるゝに臨みて　二二
軍需工業動員ニ關スル工場事業場臨時調査諸表　二七五
群書一覽　六
群書一覽續篇　六
群書索引　一七
羣書拾唾　二九
羣書治要　一・一三四
羣書敍錄　二
群書拔萃　二三
群書備考　一・七〇
軍書要覽　五
群書類從　四五・五六・五七・六八
群書類從假字目錄　六八
群書類從正續分類・書名總目錄　九三
群書類從物目　四五
群書類從總目錄・書名索引・略解題　六八
君子蘭　二一〇
君愼　九二
君臣歌　一〇四
軍人訓誡　一三一
軍陣外科新篇序　一八五
軍陣外科叢書序　一八五
君臣說　一九二
軍人と藝術　一九〇
軍陣之聞書　八九
軍制綱領　一三一
君則　二九一
訓俗書　一四九
君臺觀左右帳記　五三・六四
群譚採餘　三
軍中故實　八九
薰風協奏集　二五六
薰風雜話　二一七
群芳綺話　一一九
群輔錄　一三三・一二六・一二九・一六六
訓蒙條例　一六〇
訓蒙圖彙　一七・一八
訓蒙淺語　一〇三・二二八
君論　一一七

ケ

蕺庵遺詩　一三九
桂隱詩存　二四八
敬宇先生演說集　二二三
敬宇先生上書是非　一一九
慶運法印集　五一・六二
慶運法師百首　八四
倪雲林先生詩集(雜著共)　一三六
形影夜話　一〇一・二二四
經筵玉音問答　一六一
藝苑捃華　一二六
藝苑雌黃　一四九
秇苑詩話　二六二
桂苑叢談　一三〇・一四四・一五八・一六一
秇苑日涉　二一五・二二三
桂苑筆耕集　一三六
藝苑譜　一〇四
慶應義塾宇都宮講演　二二一
慶應義塾新議　二九八
慶應義塾藏版目錄　二九八
慶應義塾圖書館和漢書目錄　七
慶應義塾圖書館和漢圖書目錄　七
慶應雜談　二一九
閨戒　二〇七
繼芥記　九四
藝界きくまゝの記　二一九
桂海虞衡志　一四八・一六三・一六五
藝海珠塵　一二六
迎駕紀恩錄　一三九
藝花譜　一二八
髻鬟品　一四九
桂舘野乘　二三三
啓顏錄　一四四・一五九
經義　二〇五
京畿金石攷　一二三
藝菊　一二八
經義攷補正　一三三
京義線工事概況　二八八
景氣・不景氣論　一〇九
景仰撮書　一五五
敬業堂詩鈔　二四五
敬業堂集　一三五・二四五
敬業堂續集　一三五
敬業堂集補遺　一三五
瓊玉和歌集　五〇・六一
瘈狗毒種接院を開くの記　一八六
敬君詩話　一五六
藝經　一五一
荊溪疏　一二八・一五五
慶元イギリス書翰　一〇六
蟪蛄　四三
經考　一二六
經國集　四七・五九
稽古隨筆　二三九
繼古藁編　一四四
稽古定制　一四七・一五七
稽古錄　一三四
經濟學　一一二・二六八

經濟學概論　一〇九
經濟學史　一一一
經濟學者研究　一〇九
經濟學上に於ける獨逸の貢獻　二一三
經濟學上の主學說　一〇九
經濟學說史　一〇九
經濟原論　一〇七・二八八
經濟講話　一九四
敬齋古今黈　一六五
經濟史　一〇九
經濟辭典　一〇九
經濟小學　一一八
經濟上より見たる北樺太　二三五
經濟政策　一〇九・一一四・二六八
經濟政策概論　一一一
經濟大辭書　三一
經濟的經國論　一一五
經濟的道德主義　一一五
經濟哲學概說　一〇九
經濟統計　二六八
經濟統計學　二六八
經濟とヂャーナリズム　二四〇
經濟と道德　一一六
經濟の話　一三一
經濟汎論　一一〇
經濟文獻年表　一一八
圭齋文集　一三六
經濟方面より觀たる國際聯盟　二二一
經濟問題雜纂　一一八
經濟論　一一三
鯢山遺稿　一〇〇
景山公御章之寫　四三
鯢山詩稿　一〇〇
計算尺原理及使用法　二九二
溪山餘話　一二八・一三三・一五五・二六七
揭子　二〇四
京氏易傳　一三三・一四〇
京氏易略　一四二
經史質疑錄　一三七
經子史要覽　五
經史證類備用本草　一三六
刑事訴訟法論　一一〇
警視廳一覽表　二七五
警視廳事務要錄　二八七
警視廳統計書　二七五
頃日全書　二一九
刑事被告人ニ關スル統計材料　二七二
經史百家簡編　二〇六・二六一
經史百家雜鈔　二〇五・二六一
經史問答　一三六・二五一
暌車志　一三〇・一三一・一五三・一六八
藝者論　二九八
藝州永福寺天關沖禪師行實　八一
荊州記　一三九・一四八
瓊州雜事詩　一六八
閨秀詩評　一五六
藝術上に所謂歷史的といふ語の眞義如何　一九五
藝術と實行　二二一
藝術と社會　一九六
藝術論　一〇八・一一一・二〇九
藝術論講話　二〇一
谿上遺聞集錄(別錄共)　一六三
卿相侍臣歌合　四九・六〇
京城事變始末書　二八二
京城勝覽　一七一
京城勝覽拾遺　一七一
京城帝國大學附屬圖書館和漢書書名目錄　七
京城帝國大學法文學部紀要　二三六
慶尙南道道勢要覽　二七三
京城萬壽禪寺記　五四・六六
刑書釋名　一四三
經書選　一五七
經鉏堂雜誌　一四九
經旨和歌　八四
經進東坡文集事略　一三四
經進文藁　二五四
敬神問答　一八八
稽神錄　一三〇・一四一・一五二・一六二
系圖綜覽　七〇
經世偉勳　一八七
經世遺表　九八
けいせい色三味線　九八
傾城歌三味線　九八
傾城王昭君　三六
傾城買息子傳授　二一四
傾城鑑　三七
經世七大名著　一〇七
經世小策　一九三
けいせい築波山　三六
經世八編類纂　二八
經世祕策　一〇一
經世祕策補遺　一〇一
傾情一張弓　七三
傾城百人一首　二一九
傾城評判記　三八
傾城三鱗形　七三
經世要談　一五三
經正錄　二〇六
荊石遺稿　二九四
經籍擧要　七・一六九
敬惜字紙小成　四〇
雞跖集　一四五
經籍答問　一・一五
經籍訪古志　五・七
經籍錄要　一
京攝戲作者考　七三
螢雪軒叢書　二五一・二九四
螢雪叢說　一四三・一五八
涇川金石記　一三七
荊川先生文集(外集共)　一三六
螢窗異草　一六三
荊楚歲事記　一三四・一三九・一四八
携帶糧食審査に關する第一報告　一八五
携帶糧食略考　一八五
契沖雜考　二三三
稽中散集　一三四
慶長以來諸家著述目錄　七
慶長三年御ゆどのゝうへの日記　五五・六六
慶長三年大名帳　八九
慶長十九年藥師院實祐記　九六
慶長十六年禁裏御普請帳　八九
慶長千首和歌　九五
慶長勅版考　一・二
慶長年間江戶圖考　三四
慶長年中卜齋記　三四
京兆府尹記事　二八七
景定嚴州續志　一六六
經典研究　一〇八
經典史　一一二
經典釋文　一三六・一四〇
經典題說　五・一三
京東考古錄　一五七・一六八・二〇六
京都雜志　九七・九八
奚囊橘柚　一四五
藝藩學問所記事一片　一九三
藝藩三十三年錄　一九三
閨範圖說　二〇六
溪蠻叢笑　一四八・一五九
藝備協會略志　一九三
藝備國郡志　九五
乩筆　二五〇
桂楓集　一〇三
藝風堂題跋　一・一二九
藝文　二三六
揭文安公全集　一三四
揭文安公文粹　一三一

藝文卷第一・二評語集　一八二
景文公筆記　一六四
倪文正公年譜　一三三
藝文題辭　一八一
藝文類聚　三三
經邦典例卷之六　一四〇
瓊浦偶筆　三五
瓊浦偶筆物類和漢稱呼部　四一
藝圃擷餘　一三八・三五六
瓊浦雜綴　一七三
藝圃折中　一四三
瓊浦又綴　一七二
桂末谷說文段注鈔（補鈔共）　二四四
惠民藥局記　一三一
啓明會紀要　三〇七
啓明會講演集　二一一
啓明會事業報告書　三三五
雞鳴偶記　一三五
桂明抄　八五
啓蒙手習之文　三〇〇
經問　三〇四
經問補　三〇四
京游筆記　一七一
經絡歌訣　一三八
京洛寺塔記　一四八
藝蘭四說　一四〇
藝流供奉志　一四七
景龍文館記　一四六
桂林遺芳抄　五六・六七
雞林志　一四七
桂林集　一八二
雞林拾葉　一六四
桂林霜　二三三
溼林續記　二三五
桂林漫錄　三三
雞林類事　一四〇
雞肋　三五
雞肋集　四一
雞肋編　一三八・三五六
外科學辭書　一七三
外科藥劑祕錄　一四三
劇を見て俗に還る　一七二
劇界珍話　二三四
劇場改良法　三〇七
擊壤集　二一一
劇場新話　三三
劇場の大さ　三三五
劇場の纏形　一三五
劇場振附及び舞踊師系譜　八五
劇場漫錄　三〇〇
缺舌小記　三〇四
缺舌或問　三〇四
郤掃編　一七一
劇壇の現在及び未來　三三八
劇談錄　一四八
劇としての罪と罰と　一四〇
劇と舞臺面との調和　一四七
劇に關する回想　一四六
劇評　五六・六七
劇品劇評　一四七
外記補任　五一・六三
擊蒙句法　三四
劇は敎化機關なりや？　三五七
外宮嘉祿三年山口祭記　二三五
外宮北御門歌合　一三一・一四七
外宮御神寶記　一五九
外宮子良館舊記　一二四
外宮神領目錄　一三一・一四四
外宮遷宮記　一三三
外宮遷御奉仕來歷　一七三
外宮注進狀　一七二
華嚴色相錄　一四七
戲財錄　九八
袈裟と王昱が妻と　二一八
戲作外題鑑　三三
戲作者考　一三五
戲作者小傳　一八〇
戲作者略傳　一八六
戲作六家撰　一九四
外題鑑　二一三
氣多宮歌合　一〇一
獻太平記　二三三
けだ物の哥合　一四五
月花和尙行實　二三三
結一宮駢體文　二三三
結一廬書目　一八一
血液及淋巴越幾斯ノ血糖ニ　一九六
對スル影響ニ就テ　一九六
血液かりうむ微量比色定量法　二〇七
血液無機硫酸・無機燐酸・竝ニ　二〇七
くろーる微量比色定量法　一五六
月會約　二三三
結核死亡統計表　二七九
結核素に就きての續報　一八六
結核病院及結核療養所ノ建　二九八
築法竝ニ結核豫防法　二九八
結核問題の現況　一八六
結核療法の急報　九九
月花餘情　七三
決疑要注　一四七
穴居考　一九二
月卿雲客妬歌合　一四〇
月江和尙錄　七四
決獄考　一三三
諷瓢十事　一六〇
結婚と兩性問題　二〇六
結婚の革命　一八八
結婚の心理　一二五
月齋雜考　二一四
月齋集　二一八
絜齋集　一六五
絜齋毛詩經筵講義　一六五
闕史　一三六・二〇・一六七
月日紀古　三三一
月舟和尙語錄　三三
結政初參記　八三
結石キーグド論　四七・五九
月泉吟社　一七四
月堂見聞集　一七一
月波洞中記　六九
月波舫遺稿　二四六
月蓬禪師塔銘　八一
闕餘散筆　三三
月林禪師行狀　三三
月令演　八一
月令章句　一五九
月令問答　一二四
下馬のおとなひ　一三
檢非違使補任　一〇三・二一八
ケルト語學　七七
ゲルハルト・ハウプトマン八一・八四
玄晏春秋　一四七
玄以法印下知狀　一五二・一六七
元亨釋書王臣傳論　八八
元亨釋書王臣傳論　一五二・一六七
元亨供奉人數　一四七
元亨四年々中行事　七五
元亨元年十一月廿二日高宮　八八
假殿日記　四五・五七
元亨三年皇太神宮年中行事　五〇・六二
元亨詩歌合　八九
元亨四年三月廿三日石清水　四五・五七
行幸供奉人數　七五
元高麗紀事　八九
元號考　九四
元號字抄　一六〇
元號字抄　一七三
元氏長慶集　一三四
元氏物語　一三五
元史　八三
元史藝文志　一五二・一六七
元史氏族表　一五二・一六七
元史氏族表　一六三・一六四
元史氏族表　一六五・一六六
元史氏族表　一六七・一六八
元史氏族表　一六九・一七〇
元史氏族表　一七一・一七二
元史氏族表　一七三・一七四
元史氏族表　一七五・一七六
元史氏族表　一七七・一七八
元史氏族表　一七九・一八〇
元史氏族表　一八一・一八二
元史氏族表　一八三・一八四
元史氏族表　一八五・一八六
元史氏族表　一八七・一八八
元史氏族表　一八九・一九〇
元史氏族表　一九一・一九二
元史氏族表　一九三・一九四
元史氏族表　一九五・一九六
元史氏族表　一九七・一九八
元史氏族表　一九九・二〇〇
元史氏族表　二〇一・二〇二
元史氏族表　二〇三・二〇四
元史氏族表　二〇五・二〇六
元史氏族表　二〇七・二〇八
元史氏族表　二〇九・二一〇
元史氏族表　二一一・二一二
元史氏族表　二一三・二一四
元史氏族表　二一五・二一六
元史氏族表　二一七・二一八
元史氏族表　二一九・二二〇
元史氏族表　二二一・二二二
元史氏族表　二二三・二二四
元史氏族表　二二五・二二六
元史氏族表　二二七・二二八
元史氏族表　二二九・二三〇
元史氏族表　二三一・二三二
元史氏族表　二三三・二三四
元史氏族表　二三五・二三六
元史氏族表　二三七・二三八
元史氏族表　二三九・二四〇
元史氏族表　二四一・二四二
元史氏族表　二四三・二四四
元史氏族表　二四五・二四六
元史氏族表　二四七・二四八
元史氏族表　二四九・二五〇
元史氏族表　二五一・二五二
元史氏族表　二五三・二五四
元史氏族表　二五五・二五六
元史氏族表　二五七・二五八
元史氏族表　二五九・二六〇
元史氏族表　二六一・二六二
元史氏族表　二六三・二六四
元史氏族表　二六五・二六六
元史氏族表　二六七・二六八
元史氏族表　二六九・二七〇
元史氏族表　二七一・二七二
元史氏族表　二七三・二七四
元史氏族表　二七五・二七六
元史氏族表　二七七・二七八
元史氏族表　二七九・二八〇
元史氏族表　二八一・二八二
元史氏族表　二八三・二八四
元史氏族表　二八五・二八六
元史氏族表　二八七・二八八
元史氏族表　二八九・二九〇
元史氏族表　二九一・二九二
元史氏族表　二九三・二九四
元史氏族表　二九五・二九六
元史氏族表　二九七・二九八
元史氏族表　二九九・三〇〇
元史氏族表　三〇一・三〇二
元史氏族表　三〇三・三〇四
元史氏族表　三〇五・三〇六
元史氏族表　三〇七・三〇八
元史氏族表　三〇九・三一〇
元史氏族表　三一一・三一二
元史氏族表　三一三・三一四
元史氏族表　三一五・三一六
元史氏族表　三一七・三一八
元史氏族表　三一九・三二〇
元史氏族表　三二一・三二二
元史氏族表　三二三・三二四
元史氏族表　三二五・三二六
元史氏族表　三二七・三二八
元史氏族表　三二九・三三〇
元史氏族表　三三一・三三二
元史氏族表　三三三・三三四
元史氏族表　三三五・三三六
元史氏族表　三三七・三三八
元史氏族表　三三九・三四〇
元史氏族表　三四一・三四二
元史氏族表　三四三・三四四
元史氏族表　三四五・三四六
元史氏族表　三四七・三四八
元史氏族表　三四九・三五〇
元史氏族表　三五一・三五二
元史氏族表　三五三・三五四
元史氏族表　三五五・三五六
元史氏族表　三五七・三五八
元史氏族表　三五九・三六〇
元史氏族表　三六一・三六二
元史氏族表　三六三・三六四
元史氏族表　三六五・三六六
元史氏族表　三六七・三六八
元史氏族表　三六九・三七〇
元史氏族表　三七一・三七二
元史氏族表　三七三・三七四
元史氏族表　三七五・三七六
元史氏族表　三七七・三七八
元史氏族表　三七九・三八〇
元史氏族表　三八一・三八二
元史氏族表　三八三・三八四
元史氏族表　三八五・三八六
元史氏族表　三八七・三八八
元史氏族表　三八九・三九〇
元史氏族表　三九一・三九二
元史氏族表　三九三・三九四
元史氏族表　三九五・三九六
元史氏族表　三九七・三九八
元史氏族表　三九九・四〇〇
元史氏族表　四〇一・四〇二
元史氏族表　四〇三・四〇四
元史氏族表　四〇五・四〇六
元史氏族表　四〇七・四〇八
元史氏族表　四〇九・四一〇
元史氏族表　四一一・四一二
元史氏族表　四一三・四一四
元史氏族表　四一五・四一六
元史氏族表　四一七・四一八
元史氏族表　四一九・四二〇
元史氏族表　四二一・四二二
元史氏族表　四二三・四二四
元史氏族表　四二五・四二六
元史氏族表　四二七・四二八
元史氏族表　四二九・四三〇
元史氏族表　四三一・四三二
元史氏族表　四三三・四三四
元史氏族表　四三五・四三六
元史氏族表　四三七・四三八
元史氏族表　四三九・四四〇
元史氏族表　四四一・四四二
元史氏族表　四四三・四四四
元史氏族表　四四五・四四六
元史氏族表　四四七・四四八
元史氏族表　四四九・四五〇
元史氏族表　四五一・四五二
元史氏族表　四五三・四五四
元史氏族表　四五五・四五六
元史氏族表　四五七・四五八
元史氏族表　四五九・四六〇
元史氏族表　四六一・四六二
元史氏族表　四六三・四六四
元史氏族表　四六五・四六六
元史氏族表　四六七・四六八
元史氏族表　四六九・四七〇
元史氏族表　四七一・四七二
元史氏族表　四七三・四七四
元史氏族表　四七五・四七六
元史氏族表　四七七・四七八
元史氏族表　四七九・四八〇
元史氏族表　四八一・四八二
元史氏族表　四八三・四八四
元史氏族表　四八五・四八六
元史氏族表　四八七・四八八
元史氏族表　四八九・四九〇
元史氏族表　四九一・四九二
元史氏族表　四九三・四九四
元史氏族表　四九五・四九六
元史氏族表　四九七・四九八
元史氏族表　四九九・五〇〇
元史氏族表　五〇一・五〇二
元史氏族表　五〇三・五〇四
元史氏族表　五〇五・五〇六
元史氏族表　五〇七・五〇八
元史氏族表　五〇九・五一〇
元史氏族表　五一一・五一二
元史氏族表　五一三・五一四
元史氏族表　五一五・五一六
元史氏族表　五一七・五一八
元史氏族表　五一九・五二〇
元史氏族表　五二一・五二二
元史氏族表　五二三・五二四
元史氏族表　五二五・五二六
元史氏族表　五二七・五二八
元史氏族表　五二九・五三〇
元史氏族表　五三一・五三二
元史氏族表　五三三・五三四
元史氏族表　五三五・五三六
元史氏族表　五三七・五三八
元史氏族表　五三九・五四〇
元史氏族表　五四一・五四二
元史氏族表　五四三・五四四
元史氏族表　五四五・五四六
元史氏族表　五四七・五四八
元史氏族表　五四九・五五〇
元史氏族表　五五一・五五二
元史氏族表　五五三・五五四
元史氏族表　五五五・五五六
元史氏族表　五五七・五五八
元史氏族表　五五九・五六〇
元史氏族表　五六一・五六二
元史氏族表　五六三・五六四
元史氏族表　五六五・五六六
元史氏族表　五六七・五六八
元史氏族表　五六九・五七〇
元史氏族表　五七一・五七二
元史氏族表　五七三・五七四
元史氏族表　五七五・五七六
元史氏族表　五七七・五七八
元史氏族表　五七九・五八〇
元史氏族表　五八一・五八二
元史氏族表　五八三・五八四
元史氏族表　五八五・五八六
元史氏族表　五八七・五八八
元史氏族表　五八九・五九〇
元史氏族表　五九一・五九二
元史氏族表　五九三・五九四
元史氏族表　五九五・五九六
元史氏族表　五九七・五九八
元史氏族表　五九九・六〇〇
元史氏族表　六〇一・六〇二
元史氏族表　六〇三・六〇四
元史氏族表　六〇五・六〇六
元史氏族表　六〇七・六〇八
元史氏族表　六〇九・六一〇
元史氏族表　六一一・六一二
元史氏族表　六一三・六一四
元史氏族表　六一五・六一六
元史氏族表　六一七・六一八
元史氏族表　六一九・六二〇
元史氏族表　六二一・六二二
元史氏族表　六二三・六二四
元史氏族表　六二五・六二六
元史氏族表　六二七・六二八
元史氏族表　六二九・六三〇
元史氏族表　六三一・六三二
元史氏族表　六三三・六三四
元史氏族表　六三五・六三六
元史氏族表　六三七・六三八
元史氏族表　六三九・六四〇
元史氏族表　六四一・六四二
元史氏族表　六四三・六四四
元史氏族表　六四五・六四六
元史氏族表　六四七・六四八
元史氏族表　六四九・六五〇
元史氏族表　六五一・六五二
元史氏族表　六五三・六五四
元史氏族表　六五五・六五六
元史氏族表　六五七・六五八
元史氏族表　六五九・六六〇
元史氏族表　六六一・六六二
元史氏族表　六六三・六六四
元史氏族表　六六五・六六六
元史氏族表　六六七・六六八
元史氏族表　六六九・六七〇
元史氏族表　六七一・六七二
元史氏族表　六七三・六七四
元史氏族表　六七五・六七六
元史氏族表　六七七・六七八
元史氏族表　六七九・六八〇
元史氏族表　六八一・六八二
元史氏族表　六八三・六八四
元史氏族表　六八五・六八六
元史氏族表　六八七・六八八
元史氏族表　六八九・六九〇
元史氏族表　六九一・六九二
元史氏族表　六九三・六九四
元史氏族表　六九五・六九六
元史氏族表　六九七・六九八
元史氏族表　六九九・七〇〇
元史氏族表　七〇一・七〇二
元史氏族表　七〇三・七〇四
元史氏族表　七〇五・七〇六
元史氏族表　七〇七・七〇八
元史氏族表　七〇九・七一〇
元史氏族表　七一一・七一二
元史氏族表　七一三・七一四
元史氏族表　七一五・七一六
元史氏族表　七一七・七一八
元史氏族表　七一九・七二〇
元史氏族表　七二一・七二二
元史氏族表　七二三・七二四
元史氏族表　七二五・七二六
元史氏族表　七二七・七二八
元史氏族表　七二九・七三〇
元史氏族表　七三一・七三二
元史氏族表　七三三・七三四
元史氏族表　七三五・七三六
元史氏族表　七三七・七三八
元史氏族表　七三九・七四〇
元史氏族表　七四一・七四二
元史氏族表　七四三・七四四
元史氏族表　七四五・七四六
元史氏族表　七四七・七四八
元史氏族表　七四九・七五〇
元史氏族表　七五一・七五二
元史氏族表　七五三・七五四
元史氏族表　七五五・七五六
元史氏族表　七五七・七五八
元史氏族表　七五九・七六〇
元史氏族表　七六一・七六二
元史氏族表　七六三・七六四
元史氏族表　七六五・七六六
元史氏族表　七六七・七六八
元史氏族表　七六九・七七〇
元史氏族表　七七一・七七二
元史氏族表　七七三・七七四
元史氏族表　七七五・七七六
元史氏族表　七七七・七七八
元史氏族表　七七九・七八〇
元史氏族表　七八一・七八二
元史氏族表　七八三・七八四
元史氏族表　七八五・七八六
元史氏族表　七八七・七八八
元史氏族表　七八九・七九〇
元史氏族表　七九一・七九二
元史氏族表　七九三・七九四
元史氏族表　七九五・七九六
元史氏族表　七九七・七九八
元史氏族表　七九九・八〇〇
元史氏族表　八〇一・八〇二
元史氏族表　八〇三・八〇四
元史氏族表　八〇五・八〇六
元史氏族表　八〇七・八〇八
元史氏族表　八〇九・八一〇
元史氏族表　八一一・八一二
元史氏族表　八一三・八一四
元史氏族表　八一五・八一六
元史氏族表　八一七・八一八
元史氏族表　八一九・八二〇
元史氏族表　八二一・八二二
元史氏族表　八二三・八二四
元史氏族表　八二五・八二六
元史氏族表　八二七・八二八
元史氏族表　八二九・八三〇
元史氏族表　八三一・八三二
元史氏族表　八三三・八三四
元史氏族表　八三五・八三六
元史氏族表　八三七・八三八
元史氏族表　八三九・八四〇
元史氏族表　八四一・八四二
元史氏族表　八四三・八四四
元史氏族表　八四五・八四六
元史氏族表　八四七・八四八
元史氏族表　八四九・八五〇
元史氏族表　八五一・八五二
元史氏族表　八五三・八五四
元史氏族表　八五五・八五六
元史氏族表　八五七・八五八
元史氏族表　八五九・八六〇
元史氏族表　八六一・八六二
元史氏族表　八六三・八六四
元史氏族表　八六五・八六六
元史氏族表　八六七・八六八
元史氏族表　八六九・八七〇
元史氏族表　八七一・八七二
元史氏族表　八七三・八七四
元史氏族表　八七五・八七六
元史氏族表　八七七・八七八
元史氏族表　八七九・八八〇
元史氏族表　八八一・八八二
元史氏族表　八八三・八八四
元史氏族表　八八五・八八六
元史氏族表　八八七・八八八
元史氏族表　八八九・八九〇
元史氏族表　八九一・八九二
元史氏族表　八九三・八九四
元史氏族表　八九五・八九六
元史氏族表　八九七・八九八
元史氏族表　八九九・九〇〇
元史氏族表　九〇一・九〇二
元史氏族表　九〇三・九〇四
元史氏族表　九〇五・九〇六
元史氏族表　九〇七・九〇八
元史氏族表　九〇九・九一〇
元史氏族表　九一一・九一二
元史氏族表　九一三・九一四
元史氏族表　九一五・九一六
元史氏族表　九一七・九一八
元史氏族表　九一九・九二〇
元史氏族表　九二一・九二二
元史氏族表　九二三・九二四
元史氏族表　九二五・九二六
元史氏族表　九二七・九二八
元史氏族表　九二九・九三〇
元史氏族表　九三一・九三二
元史氏族表　九三三・九三四
元史氏族表　九三五・九三六
元史氏族表　九三七・九三八
元史氏族表　九三九・九四〇
元史氏族表　九四一・九四二
元史氏族表　九四三・九四四
元史氏族表　九四五・九四六
元史氏族表　九四七・九四八
元史氏族表　九四九・九五〇
元史氏族表　九五一・九五二
元史氏族表　九五三・九五四
元史氏族表　九五五・九五六
元史氏族表　九五七・九五八
元史氏族表　九五九・九六〇
元史氏族表　九六一・九六二
元史氏族表　九六三・九六四
元史氏族表　九六五・九六六
元史氏族表　九六七・九六八
元史氏族表　九六九・九七〇
元史氏族表　九七一・九七二
元史氏族表　九七三・九七四
元史氏族表　九七五・九七六
元史氏族表　九七七・九七八
元史氏族表　九七九・九八〇
元史氏族表　九八一・九八二
元史氏族表　九八三・九八四
元史氏族表　九八五・九八六
元史氏族表　九八七・九八八
元史氏族表　九八九・九九〇
元史氏族表　九九一・九九二
元史氏族表　九九三・九九四
元史氏族表　九九五・九九六
元史氏族表　九九七・九九八
元史氏族表　九九九・一〇〇〇
元史氏族表　一〇〇一・一〇〇二
元史氏族表　一〇〇三・一〇〇四
元史氏族表　一〇〇五・一〇〇六
元史氏族表　一〇〇七・一〇〇八
元史氏族表　一〇〇九・一〇一〇
元史氏族表　一〇一一・一〇一二
元史氏族表　一〇一三・一〇一四
元史氏族表　一〇一五・一〇一六
元史氏族表　一〇一七・一〇一八
元史氏族表　一〇一九・一〇二〇
元史氏族表　一〇二一・一〇二二
元史氏族表　一〇二三・一〇二四
元史氏族表　一〇二五・一〇二六
元史氏族表　一〇二七・一〇二八
元史氏族表　一〇二九・一〇三〇
元史氏族表　一〇三一・一〇三二
元史氏族表　一〇三三・一〇三四
元史氏族表　一〇三五・一〇三六
元史氏族表　一〇三七・一〇三八
元史氏族表　一〇三九・一〇四〇
元史氏族表　一〇四一・一〇四二
元史氏族表　一〇四三・一〇四四
元史氏族表　一〇四五・一〇四六
元史氏族表　一〇四七・一〇四八
元史氏族表　一〇四九・一〇五〇
元史氏族表　一〇五一・一〇五二
元史氏族表　一〇五三・一〇五四
元史氏族表　一〇五五・一〇五六
元史氏族表　一〇五七・一〇五八
元史氏族表　一〇五九・一〇六〇
元史氏族表　一〇六一・一〇六二
元史氏族表　一〇六三・一〇六四
元史氏族表　一〇六五・一〇六六
元史氏族表　一〇六七・一〇六八
元史氏族表　一〇六九・一〇七〇
元史氏族表　一〇七一・一〇七二
元史氏族表　一〇七三・一〇七四
元史氏族表　一〇七五・一〇七六
元史氏族表　一〇七七・一〇七八
元史氏族表　一〇七九・一〇八〇
元史氏族表　一〇八一・一〇八二
元史氏族表　一〇八三・一〇八四
元史氏族表　一〇八五・一〇八六
元史氏族表　一〇八七・一〇八八
元史氏族表　一〇八九・一〇九〇
元史氏族表　一〇九一・一〇九二
元史氏族表　一〇九三・一〇九四
元史氏族表　一〇九五・一〇九六
元史氏族表　一〇九七・一〇九八
元史氏族表　一〇九九・一一〇〇
元史氏族表　一一〇一・一一〇二
元史氏族表　一一〇三・一一〇四
元史氏族表　一一〇五・一一〇六
元史氏族表　一一〇七・一一〇八
元史氏族表　一一〇九・一一一〇
元史氏族表　一一一一・一一一二
元史氏族表　一一一三・一一一四
元史氏族表　一一一五・一一一六
元史氏族表　一一一七・一一一八
元史氏族表　一一一九・一一二〇
元史氏族表　一一二一・一一二二
元史氏族表　一一二三・一一二四
元史氏族表　一一二五・一一二六
元史氏族表　一一二七・一一二八
元史氏族表　一一二九・一一三〇
元史氏族表　一一三一・一一三二
元史氏族表　一一三三・一一三四
元史氏族表　一一三五・一一三六
元史氏族表　一一三七・一一三八
元史氏族表　一一三九・一一四〇
元史氏族表　一一四一・一一四二
元史氏族表　一一四三・一一四四
元史氏族表　一一四五・一一四六
元史氏族表　一一四七・一一四八
元史氏族表　一一四九・一一五〇
元史氏族表　一一五一・一一五二
元史氏族表　一一五三・一一五四
元史氏族表　一一五五・一一五六
元史氏族表　一一五七・一一五八
元史氏族表　一一五九・一一六〇
元史氏族表　一一六一・一一六二
元史氏族表　一一六三・一一六四
元史氏族表　一一六五・一一六六
元史氏族表　一一六七・一一六八
元史氏族表　一一六九・一一七〇
元史氏族表　一一七一・一一七二
元史氏族表　一一七三・一一七四
元史氏族表　一一七五・一一七六
元史氏族表　一一七七・一一七八
元史氏族表　一一七九・一一八〇
元史氏族表　一一八一・一一八二
元史氏族表　一一八三・一一八四
元史氏族表　一一八五・一一八六
元史氏族表　一一八七・一一八八
元史氏族表　一一八九・一一九〇
元史氏族表　一一九一・一一九二
元史氏族表　一一九三・一一九四
元史氏族表　一一九五・一一九六
元史氏族表　一一九七・一一九八
元史氏族表　一一九九・一二〇〇
元史氏族表　一二〇一・一二〇二
元史氏族表　一二〇三・一二〇四
元史氏族表　一二〇五・一二〇六
元史氏族表　一二〇七・一二〇八
元史氏族表　一二〇九・一二一〇
元史氏族表　一二一一・一二一二
元史氏族表　一二一三・一二一四
元史氏族表　一二一五・一二一六
元史氏族表　一二一七・一二一八
元史氏族表　一二一九・一二二〇
元史氏族表　一二二一・一二二二
元史氏族表　一二二三・一二二四
元史氏族表　一二二五・一二二六
元史氏族表　一二二七・一二二八
元史氏族表　一二二九・一二三〇
元史氏族表　一二三一・一二三二
元史氏族表　一二三三・一二三四
元史氏族表　一二三五・一二三六
元史氏族表　一二三七・一二三八
元史氏族表　一二三九・一二四〇
元史氏族表　一二四一・一二四二
元史氏族表　一二四三・一二四四
元史氏族表　一二四五・一二四六
元史氏族表　一二四七・一二四八
元史氏族表　一二四九・一二五〇
元史氏族表　一二五一・一二五二
元史氏族表　一二五三・一二五四
元史氏族表　一二五五・一二五六
元史氏族表　一二五七・一二五八
元史氏族表　一二五九・一二六〇
元史氏族表　一二六一・一二六二
元史氏族表　一二六三・一二六四
元史氏族表　一二六五・一二六六
元史氏族表　一二六七・一二六八
元史氏族表　一二六九・一二七〇
元史氏族表　一二七一・一二七二
元史氏族表　一二七三・一二七四
元史氏族表　一二七五・一二七六
元史氏族表　一二七七・一二七八
元史氏族表　一二七九・一二八〇
元史氏族表　一二八一・一二八二
元史氏族表　一二八三・一二八四
元史氏族表　一二八五・一二八六
元史氏族表　一二八七・一二八八
元史氏族表　一二八九・一二九〇
元史氏族表　一二九一・一二九二
元史氏族表　一二九三・一二九四
元史氏族表　一二九五・一二九六
元史氏族表　一二九七・一二九八
元史氏族表　一二九九・一三〇〇
元史氏族表　一三〇一・一三〇二
元史氏族表　一三〇三・一三〇四
元史氏族表　一三〇五・一三〇六
元史氏族表　一三〇七・一三〇八
元史氏族表　一三〇九・一三一〇
元史氏族表　一三一一・一三一二
元史氏族表　一三一三・一三一四
元史氏族表　一三一五・一三一六
元史氏族表　一三一七・一三一八
元史氏族表　一三一九・一三二〇
元史氏族表　一三二一・一三二二
元史氏族表　一三二三・一三二四
元史氏族表　一三二五・一三二六
元史氏族表　一三二七・一三二八
元史氏族表　一三二九・一三三〇
元史氏族表　一三三一・一三三二
元史氏族表　一三三三・一三三四
元史氏族表　一三三五・一三三六
元史氏族表　一三三七・一三三八
元史氏族表　一三三九・一三四〇
元史氏族表　一三四一・一三四二
元史氏族表　一三四三・一三四四
元史氏族表　一三四五・一三四六
元史氏族表　一三四七・一三四八
元史氏族表　一三四九・一三五〇
元史氏族表　一三五一・一三五二
元史氏族表　一三五三・一三五四
元史氏族表　一三五五・一三五六
元史氏族表　一三五七・一三五八
元史氏族表　一三五九・一三六〇
元史氏族表　一三六一・一三六二
元史氏族表　一三六三・一三六四
元史氏族表　一三六五・一三六六
元史氏族表　一三六七・一三六八
元史氏族表　一三六九・一三七〇
元史氏族表　一三七一・一三七二
元史氏族表　一三七三・一三七四
元史氏族表　一三七五・一三七六
元史氏族表　一三七七・一三七八
元史氏族表　一三七九・一三八〇
元史氏族表　一三八一・一三八二
元史氏族表　一三八三・一三八四
元史氏族表　一三八五・一三八六
元史氏族表　一三八七・一三八八
元史氏族表　一三八九・一三九〇
元史氏族表　一三九一・一三九二
元史氏族表　一三九三・一三九四
元史氏族表　一三九五・一三九六
元史氏族表　一三九七・一三九八
元史氏族表　一三九九・一四〇〇
元史氏族表　一四〇一・一四〇二
元史氏族表　一四〇三・一四〇四
元史氏族表　一四〇五・一四〇六
元史氏族表　一四〇七・一四〇八
元史氏族表　一四〇九・一四一〇
元史氏族表　一四一一・一四一二
元史氏族表　一四一三・一四一四
元史氏族表　一四一五・一四一六
元史氏族表　一四一七・一四一八
元史氏族表　一四一九・一四二〇
元史氏族表　一四二一・一四二二
元史氏族表　一四二三・一四二四
元史氏族表　一四二五・一四二六
元史氏族表　一四二七・一四二八
元史氏族表　一四二九・一四三〇
元史氏族表　一四三一・一四三二
元史氏族表　一四三三・一四三四
元史氏族表　一四三五・一四三六
元史氏族表　一四三七・一四三八
元史氏族表　一四三九・一四四〇
元史氏族表　一四四一・一四四二
元史氏族表　一四四三・一四四四
元史氏族表　一四四五・一四四六
元史氏族表　一四四七・一四四八
元史氏族表　一四四九・一四五〇
元史氏族表　一四五一・一四五二
元史氏族表　一四五三・一四五四
元史氏族表　一四五五・一四五六
元史氏族表　一四五七・一四五八
元史氏族表　一四五九・一四六〇
元史氏族表　一四六一・一四六二
元史氏族表　一四六三・一四六四
元史氏族表　一四六五・一四六六
元史氏族表　一四六七・一四六八
元史氏族表　一四六九・一四七〇
元史氏族表　一四七一・一四七二
元史氏族表　一四七三・一四七四
元史氏族表　一四七五・一四七六
元史氏族表　一四七七・一四七八
元史氏族表　一四七九・一四八〇
元史氏族表　一四八一・一四八二
元史氏族表　一四八三・一四八四
元史氏族表　一四八五・一四八六
元史氏族表　一四八七・一四八八
元史氏族表　一四八九・一四九〇
元史氏族表　一四九一・一四九二
元史氏族表　一四九三・一四九四
元史氏族表　一四九五・一四九六
元史氏族表　一四九七・一四九八
元史氏族表　一四九九・一五〇〇
元史氏族表　一五〇一・一五〇二
元史氏族表　一五〇三・一五〇四
元史氏族表　一五〇五・一五〇六
元史氏族表　一五〇七・一五〇八
元史氏族表　一五〇九・一五一〇
元史氏族表　一五一一・一五一二
元史氏族表　一五一三・一五一四
元史氏族表　一五一五・一五一六
元史氏族表　一五一七・一五一八
元史氏族表　一五一九・一五二〇
元史氏族表　一五二一・一五二二
元史氏族表　一五二三・一五二四
元史氏族表　一五二五・一五二六
元史氏族表　一五二七・一五二八
元史氏族表　一五二九・一五三〇
元史氏族表　一五三一・一五三二
元史氏族表　一五三三・一五三四
元史氏族表　一五三五・一五三六
元史氏族表　一五三七・一五三八
元史氏族表　一五三九・一五四〇
元史氏族表　一五四一・一五四二
元史氏族表　一五四三・一五四四
元史氏族表　一五四五・一五四六
元史氏族表　一五四七・一五四八
元史氏族表　一五四九・一五五〇
元史氏族表　一五五一・一五五二
元史氏族表　一五五三・一五五四
元史氏族表　一五五五・一五五六
元史氏族表　一五五七・一五五八
元史氏族表　一五五九・一五六〇
元史氏族表　一五六一・一五六二
元史氏族表　一五六三・一五六四
元史氏族表　一五六五・一五六六
元史氏族表　一五六七・一五六八
元史氏族表　一五六九・一五七〇
元史氏族表　一五七一・一五七二
元史氏族表　一五七三・一五七四
元史氏族表　一五七五・一五七六
元史氏族表　一五七七・一五七八
元史氏族表　一五七九・一五八〇
元史氏族表　一五八一・一五八二
元史氏族表　一五八三・一五八四
元史氏族表　一五八五・一五八六
元史氏族表　一五八七・一五八八
元史氏族表　一五八九・一五九〇
元史氏族表　一五九一・一五九二
元史氏族表　一五九三・一五九四
元史氏族表　一五九五・一五九六
元史氏族表　一五九七・一五九八
元史氏族表　一五九九・一六〇〇
元史氏族表　一六〇一・一六〇二
元史氏族表　一六〇三・一六〇四
元史氏族表　一六〇五・一六〇六
元史氏族表　一六〇七・一六〇八
元史氏族表　一六〇九・一六一〇
元史氏族表　一六一一・一六一二
元史氏族表　一六一三・一六一四
元史氏族表　一六一五・一六一六
元史氏族表　一六一七・一六一八
元史氏族表　一六一九・一六二〇
元史氏族表　一六二一・一六二二
元史氏族表　一六二三・一六二四
元史氏族表　一六二五・一六二六
元史氏族表　一六二七・一六二八
元史氏族表　一六二九・一六三〇
元史氏族表　一六三一・一六三二
元史氏族表　一六三三・一六三四
元史氏族表　一六三五・一六三六
元史氏族表　一六三七・一六三八
元史氏族表　一六三九・一六四〇
元史氏族表　一六四一・一六四二
元史氏族表　一六四三・一六四四
元史氏族表　一六四五・一六四六
元史氏族表　一六四七・一六四八
元史氏族表　一六四九・一六五〇
元史氏族表　一六五一・一六五二
元史氏族表　一六五三・一六五四
元史氏族表　一六五五・一六五六
元史氏族表　一六五七・一六五八
元史氏族表　一六五九・一六六〇
元史氏族表　一六六一・一六六二
元史氏族表　一六六三・一六六四
元史氏族表　一六六五・一六六六
元史氏族表　一六六七・一六六八
元史氏族表　一六六九・一六七〇
元史氏族表　一六七一・一六七二
元史氏族表　一六七三・一六七四
元史氏族表　一六七五・一六七六
元史氏族表　一六七七・一六七八
元史氏族表　一六七九・一六八〇
元史氏族表　一六八一・一六八二
元史氏族表　一六八三・一六八四
元史氏族表　一六八五・一六八六
元史氏族表　一六八七・一六八八
元史氏族表　一六八九・一六九〇
元史氏族表　一六九一・一六九二
元史氏族表　一六九三・一六九四
元史氏族表　一六九五・一六九六
元史氏族表　一六九七・一六九八
元史氏族表　一六九九・一七〇〇
元史氏族表　一七〇一・一七〇二
元史氏族表　一七〇三・一七〇四
元史氏族表　一七〇五・一七〇六
元史氏族表　一七〇七・一七〇八
元史氏族表　一七〇九・一七一〇
元史氏族表　一七一一・一七一二
元史氏族表　一七一三・一七一四
元史氏族表　一七一五・一七一六
元史氏族表　一七一七・一七一八
元史氏族表　一七一九・一七二〇
元史氏族表　一七二一・一七二二
元史氏族表　一七二三・一七二四
元史氏族表　一七二五・一七二六
元史氏族表　一七二七・一七二八
元史氏族表　一七二九・一七三〇
元史氏族表　一七三一・一七三二
元史氏族表　一七三三・一七三四
元史氏族表　一七三五・一七三六
元史氏族表　一七三七・一七三八
元史氏族表　一七三九・一七四〇
元史氏族表　一七四一・一七四二
元史氏族表　一七四三・一七四四
元史氏族表　一七四五・一七四六
元史氏族表　一七四七・一七四八
元史氏族表　一七四九・一七五〇
元史氏族表　一七五一・一七五二
元史氏族表　一七五三・一七五四
元史氏族表　一七五五・一七五六
元史氏族表　一七五七・一七五八
元史氏族表　一七五九・一七六〇
元史氏族表　一七六一・一七六二
元史氏族表　一七六三・一七六四
元史氏族表　一七六五・一七六六
元史氏族表　一七六七・一七六八
元史氏族表　一七六九・一七七〇
元史氏族表　一七七一・一七七二
元史氏族表　一七七三・一七七四
元史氏族表　一七七五・一七七六
元史氏族表　一七七七・一七七八
元史氏族表　一七七九・一七八〇
元史氏族表　一七八一・一七八二
元史氏族表　一七八三・一七八四
元史氏族表　一七八五・一七八六
元史氏族表　一七八七・一七八八
元史氏族表　一七八九・一七九〇
元史氏族表　一七九一・一七九二
元史氏族表　一七九三・一七九四
元史氏族表　一七九五・一七九六
元史氏族表　一七九七・一七九八
元史氏族表　一七九九・一八〇〇
元史氏族表　一八〇一・一八〇二
元史氏族表　一八〇三・一八〇四
元史氏族表　一八〇五・一八〇六
元史氏族表　一八〇七・一八〇八
元史氏族表　一八〇九・一八一〇
元史氏族表　一八一一・一八一二
元史氏族表　一八一三・一八一四
元史氏族表　一八一五・一八一六
元史氏族表　一八一七・一八一八
元史氏族表　一八一九・一八二〇
元史氏族表　一八二一・一八二二
元史氏族表　一八二三・一八二四
元史氏族表　一八二五・一八二六
元史氏族表　一八二七・一八二八
元史氏族表　一八二九・一八三〇
元史氏族表　一八三一・一八三二
元史氏族表　一八三三・一八三四
元史氏族表　一八三五・一八三六
元史氏族表　一八三七・一八三八
元史氏族表　一八三九・一八四〇
元史氏族表　一八四一・一八四二
元史氏族表　一八四三・一八四四
元史氏族表　一八四五・一八四六
元史氏族表　一八四七・一八四八
元史氏族表　一八四九・一八五〇
元史氏族表　一八五一・一八

黔西古跡考　一六〇
憲政の運用　一一四
元聖武親征錄　一六九・二〇三
憲政文獻年表　一一七
建正辯　一七四
硯箋　一六九
諼草小言　二一七
現存卅六人詩歌　五〇・六一
乾臛子　一四四
現存和歌六帖　四八・六〇
現代英米文藝思潮　一〇八
現代男　一九四
現代科學の基礎　一一五
元代畫塑記　一二七
現代教育思潮概說　二三三
現代思想　一八四
現代思潮講演集　二三三
現代支那語學　一一一
現代ヂャーナリズムの理論
　と動向　二四〇
現代社會觀　一八六
現代社會研究　一〇九
現代社會心理　一一四
現代新聞の論壇　二一〇
現代新聞論　二四一
現代生活と法律思想　一〇九
現代生活の新問題　一一三
現代青年の宗敎心　一〇七
現代哲學の趨勢　二三三
現代哲學の批判　一一四
現代獨逸の發展　一一三
現代獨墺哲學　一〇八
現代獨墺文藝思潮　一〇八
現代都市計畫　一一五
現代日本を救濟するは私立
　學校の使命なり　一九〇
現代日本新聞界の趨勢　二四一
現代の社會的進步　一一五
現代の政治問題　一〇九
現代の墮落　一一四
現代美術思潮　一〇八
現代百科辭典　三一
現代婦人問題　一〇九
現代佛蘭西音樂と我音樂界
　との交涉　二二一
現代佛蘭西文藝思潮　一〇八
現代文明史　一一三
現代文明と東洋思想　一〇八
現代北歐文藝思潮　一〇八
現代理想の葛藤　一一五
現代ロシア文藝思潮　一〇八
建築師　一八二
建築の理想と實際　二二二
玄池說林　一四五
玄中記　一三四・一四七
原中最祕抄　五三・六三
黔中雜記　一六〇
見聽雜記　二二七
元朝祕史　一六九
元朝祕史註　九八
原著譯書對照圖書目錄　七
獻帝春秋　一四七
玄亭涉筆　一五五
建天全書　九二
乾道庚寅奏事錄　一三一・一四八
硯堂叢書　二三九
玄洞放言　一〇三・二二五・二二六・二三三
元德二年三月日吉社並叡山
　行幸記　四六・五七
元德二年東宮御元服記　八三
玄菟の樂浪は今の旅順　二一〇
けんどん爭　七二
けんどん問答　二三三
元和航海記　三五
元和七年東海紀行　九五
建仁元年熊野山御幸記　七七
建仁禪寺竺仙和尙行道記　八一
元祕抄　八二
元碑存目　一三七
拳匪聞見錄　一四〇
原病發微　一七三
硯譜　一三八・一五〇・一五六・一六四
元服曾我　七四
源府君所藏銅雀硏記　四八・五九
言文一致　一一八
言文一致について　一九七
言文一致普通文　一九三
見聞紀訓　一三二・一五五
元文世說雜錄　六九
見聞錄　一五八・一六六
言文論　一八〇
源平往來　九五
源平系圖　四〇
源平盛衰記人名　一〇六
源平武將論　七四
ケンプェル江戸參府紀行　一〇六
元包　一四二
乾峰和尙行狀　八一
元包經傳　一四〇
元寶公案　一五九
建保五年普賢延命法日記　八九
建保三年後七日御修法私記　八九
元包數義　一四二
元包數總義　一四〇
憲法制定之由來　一一七
元豐題跋　一四一
憲法竝附屬法　二八五
元豐類藁　一三四
硏北雜志　一四四・一六四・二三一
原本玉篇零卷　一三六
撿見故實　八八
建武以來追加　五三・六五
建武式目條々　五三・六五
建武式目注　九四
建武二年結緣灌頂記　八九
建武二年道我僧正加任拜堂
　下行物日記　九〇
建武年間記　五五・六六
建武年中行事　四七・五八
幻夢物語　八六
建武四年十一月十五日尊氏
　文書　三九
兼明書　一四三
見聞偶筆　二三三
見聞雜記　九一
見聞雜々集　四三
見聞雜誌　二一五
見聞私記　九一
見聞諸家紋　五四・六六
見聞談叢　一〇〇
元耶律文正公西游錄略注補　一三七
倦游雜錄　一三一・一四五
顯幽順考論　一〇六
峴傭說詩　二三一
玄與日記　五二・六三
權理提綱　一八七
原理日本　二三六
元曆改元定記　八二
建曆二年三月廿二日宣旨　五五・六七
建曆二年大饗次第　九二
建曆四年具注曆日　九二
乾隆欽定四庫全書總目　七
乾隆浙江通志考異殘稿　二〇三
乾隆府廳州縣圖志　二〇三
嚴陵集　一六九
驢驢嘶餘　五六・六七
硯林　一三九
硯林印款　二六一
硯林詩集　二六一
硯林集拾遺　二六一

建禮門院右京大夫集　五一・六三
元祿以來留帳拔書　四三
元祿歌舞伎小唄番附盡　三六
元祿時代の國文學　一〇三
元祿七年賀茂祭記　九三
元祿書籍目錄　九
元祿寶永珍話　六九

コ

小朝熊社神鏡沙汰文　四五・五七
小泉八雲(ラフカヂオ・ヘ
　ルン)　一九七
古逸書錄叢輯　七
古逸叢書　一二六
戀の手紙　一八六
戀八卦柱曆評　一九五
古伊部神傳錄　三九
古印考略　二五八
古韻總論　一二七
古韻標準　一三三
弘安改元定記　八三
蒿庵閒話　一三三
弘安源氏論議　五二・六三
香案牘　一二八・一五五・一六六
弘安八年大講堂供養記　五五・六六
弘安本催馬樂抄　九九
弘安四年異國御祈禱記　八九
弘安四年春日入洛記　七六
弘安四年鶴岡八幡遷宮記　七六
弘安禮節　五五・六七
廣異記　一五二・一六七
甲乙集　一三五
甲乙剩言　一二八・一三三・一五四・一六五・二六七
行醫八事圖　一六〇
廣韻　一三六・一三四
庚寅讌集三編　二四九
皇胤系圖　七七
庚寅新誌　二三七
甲寅叢書　一〇七
香飲樓賓談　一六四
香宇詩談　一五六
江芸閣及ヅーフの樂翁公五
　十の賀詞　二一〇
高雲鄕遺稿　一六一
耕雲口傳　八五
紅雲社約　一五六
耕雲千首　八三
紅雲續約　一五六
畊雲老人壽像贊　八〇
行營雜錄　一四六・一五九
康永三年十二月十五日高經
　文書　三九
康永三年十二月十五日直義
　文書　三九
航英日記　二〇〇
廣益字盡重寶紀綱目　三三
廣益書籍目錄大全　七
甲驛新話　一七三
廣益俗說辨　二九
廣益農工全書　二八九
廣益祕事大全　二九八
交易問答　一一八
高越寺私記　九一
講演　二三七
曠園雜志　一五八
公宴部類記　九二
講筵餘吟　九九
公會演說法　一八七
江海風帆草　九五
沆瀣子　一二三
航海述奇　九七・二五九
航海新說　一一九
巷街贅說　六九
梗槩と斷簡と　一八一
郊外農談　一五三
航海夜話　一三一
鄉歌及び吏讀の研究　二三六
光學及音學　一一一
好學雜誌　二三七
工學部(採鑛・冶金・土木・應用
　化學)學生に對する授業　一九一
講學餘談　一一九・二三九
興學論　一八八
廣雅碎金　一六九
廣雅疏證補正　一二七
後畫品錄　一三九・一四一・一五〇・一六四
江華府志　九七
廣畫錄　一五〇
功過錄としてのシェークス
　ピヤ　一九八
公鑑　二一九
綱鑑易知錄　二八二
合巻外題集　七三
槁簡贅筆　一四四
後觀石錄　二〇四
江漢叢談　一五四
廣寒殿記　一三二・一五七
江關筆談　一七〇
後鑒錄　二〇四
江記　九四
敖器之詩話　一四九
康熙字典　二六四・二六六・二九二
攻媿集　一三六
公議所日誌　四二・一一七
公議所法則案　一一七
觥記注　一五〇
廣義に謂ふ演劇の定義幷び
　に芝居錦繪の分類　一九五
後期文藝協會　一九七
後宮篇　一九二
後宮名目　四三
後宮略傳　九二
孝經　一二六・一三三・一六〇・二九一
孝經援神契　一四三
孝經疑問　一三三
孝經啓蒙　三五
孝經鈎命決　一四三
孝經左契　一四三
孝經議　三五
孝經賤が枝折　一〇三
考經釋義便蒙　一七一
孝經小解　七〇
工業所有權法及發明一斑　二八五
孝經心法　一七四
工業政策　一一一
孝經說　一〇三
工業大辭書　三一
孝經鄭注　七一
孝經內事　一四三
孝經問　二〇四
孝經右契　一四三
孝經樓手抄　二三三
孝經樓漫筆　二一五・二一八・二三三
句曲外史貞居先生詩集　一三六
貢擧考略　二六三
拘虛晤言　一五三
後渠雜識　一五四
皇居年表　九六
後渠漫記　一三三
後渠漫錄　一五三
廣菌譜　一五七
航空學　一一四
航空研究の最近の情況　二一二
后宮御產當日次第　九三
后宮御着帶部類　五六・六八
航空生理に就いて　二一三
鴿經　一六〇
工藝者稱師說　一九二
工藝志料　一九二

工藝志料徵　一九三
庚溪詩話　一四九
公家新制　九四
纐纈繭纈夾纈考　一九二
光源院殿御元服記　五三・六五
扣舷集　一三四
香嚴尙書壽言　一六九
皇言定聲錄　二〇四
皇元風雅　一三六
口言部類　八二
江湖　三三七
毫光　一八五
公侯熙續　二一九
江行雜錄　一四六・一五九
珩璜新論　一四五
皇后宮春秋歌合　四八・六〇
廣弘明集　一三四
考古畫譜　一九一
皇國經典　二八七
廣告とヂャーナリズム　二四〇
皇國の義　一八八
庚午雜誌　四二
攷古質疑　一六五・二三一
好古集說　二一九
好古小錄　一〇〇・二一五・二一七・二三三
江湖新聞　二四二・二四三
江湖新報　二三七
好古叢誌　二一九・二二九
講後談　一七八
好古日錄　一〇〇・二一五・二一七・二三三
好古類纂　一八
光嚴院御集　八四
光嚴院御卽位記　八二
廣嚴寺緣起　九〇
廣濟國師行錄　八〇
衡齋算學　一三七
恒齋先生遺稿　四五
弘濟大師行記　八〇
交際篇　一一二
上坂系圖　七八
晃山紀勝竝松島紀行　二九四
黃山行六頌　一五五
後山居士詩話　一四九
高山寺緣起　九〇
后山詩註　一三五・一六五
黃山松石譜　一三九
後山詩話　一四一
高山禪師塔銘　八一
廣蠶桑說輯補　一六九
廣三大家絕句　二九四
後山談叢　一四四
鑛山統計便覽　二七五
鑛產表　二七五
黃山遊草　二五四
黃山領要錄　七一
廣志　一四八
江氏音樂敍錄　一二七
弘治改元定記　八二
康治元年大嘗會記　四七・五九
高子觀遊記　一七〇
孔子家語　一三三
皇字沙汰文　七五
孔氏雜說　一四三・二三一
公私雜報　一二六・一三〇・二三九・二四二・二四三
好事雜報　三三七
杭志三詰三誤辨　二〇四
杭氏七種　二六〇
洪氏集驗方　一二七
高氏塾鐸　一五九
香字抄　九一
格子狀共振器　二〇八
攷事新書　一八
廣慈禪師行業　八一
黃氏叢書　一二七
江次第鈔　九四
皇室社會新政　二九〇
皇室典範　二八五・二八六
皇室と國民　一九八
高士傳　一三三・一四七・一六三
孝子傳　一四七
孔子とソクラテス　一九五
黃氏筆記　一四三
庚巳編　一三三・一五四
告志篇　四一
麴街略誌稿　九六
孝子萬吉傳　四四
庚子道の記　四二・一〇五
後耳目志　一四四
公爵桂太郎傳　二八二
郊社禘祫問　二〇四
甲子夜話(カッシヤワ參照)
弘洲雨屋蟲干集　一九三
弘洲雨屋蟲干集外篇　一九三
江州永源寺開山圓應禪師行狀　八一
公衆衞生略說　一八五
甲州鹽山向岳庵開山拔隊和侚行實　八一
濠洲及其諸島　一一四
交州記　一四八
廣州記　一二九・一四八
弘洲雜話　一九三
廣州先賢傳　一四七
校讐通義　一三一
甲州天目山棲雲寺十境詩歌　四一
江州中原氏系圖　七九
後集武林舊事　一六五
亳州牡丹表　一五七
廣州遊覽小志　一三九
江州余吾庄合戰覺書　八七
講習餘筆　五・一〇一
甲州略記　一〇五
黃熟香考　一六〇
香樹齋詩集(續集共)　二四五
黃綬章　一八四
交詢雜誌　二三七
黃書　二〇三・二〇五
鑛床學研究の發展の歷史的槪觀　一九一
工場原動力竝職工人員調査表　二七五
高昌行記　一四七
校松江本急就篇　二〇三
侯城雜識　一五三
工場事業場調査制度參考　二六八
高常侍集　一三四
甲狀腺發育不全型侏儒ノ尿成分・血液かたらーぜ竝ニ汞亞硫酸曹達排泄ニ對スル甲狀腺劑ノ影響　二〇七
江城日誌　四三
鑛床の研究と地質學的諸科學との交涉　一九一
公娼廢後策とフリイドリヒ・ザンデルと　一八五
公娼廢後の策奈何　一八五
工場法制　一〇九
工場法と勞働問題　二九〇
黃蕘圃先生年譜　一六九
幸蜀記　一四七
耕織圖詩　一六七
光觸寺頰燒阿彌陀緣起　九〇
好色本目錄　七三
好書故事　一・一七三
好書雜載　一
光緒帝大婚粧奩單　一四〇
後書品　一五〇
好書品題　一九八・二三九
好人歌　二〇七
庚申外史　一六六
甲申雜記　一四六・一六四・二三一

庚辰集　二五六
工人ノ生計及榮養ニ關スル研究　二七五
交翠軒筆記　一三八
上月記　五三・六五
上月系圖　七八
上野國群馬郡箕輪軍記　五三・六五
上野國三碑考　一七六
上野國神名帳　四五・五七
侯鯖一臠　一八
江西觀蓮集　二四五
高麗器に就て　二〇七
高靑邱全集　二九四
校正元親征錄　一六九
更生齋集　二〇三・二六〇
更生齋詩餘　二〇三・二六〇
攷正字彙　二六四
廣成子解　一五三
弘正四傑詩集　二四九
江西詩徵　二四九
廣成集　一三六
侯鯖集　二五一
高麗聽珍器(「マグノスコープ」)に就て　二〇九
高麗聽診器の研究　二〇七
校正朝邑志　一三八
江西通志　二六六
考正德淸胡氏禹貢圖　二〇六
航西日乘　二一九
康正二年造內裏段錢幷國役引付　五六・六七
康正二年八社仁王經御讀經記　八九
興正菩薩傳　四六・五八
侯鯖錄　一四三
黃石齋集　二四五
廣惜字說　一六〇
香石詩話　二五一
公是先生弟子記　一六一
香雪齋樂事　一六〇
江浙十二家詩選　二四九
公是弟子記　一六五
交戰國民の心理狀態　一〇七
興禪護國論　七〇
浩然齋雅談　一六五
浩然齋視聽抄　一四四
皎然集　一三四
廣川書跋　一三三・一四一
黃先生文集　一三七
紅線傳　一二六・一三〇・一六二・一六七
孔叢　一二四
廣莊　一二八・一五三・一六五・二六七
廣倉學宭叢書　一二七
高宗幸張府節次略　一三〇
高宗幸張府節略　一四七
孔叢子　一三三
弘宗定智禪師行狀　八一
篁窓抄錄　二一四
弘宗禪師行狀　八一
興宗明敎禪師行狀　八一
香宗我部氏記錄　九四
香蘇山館今體詩集　二六〇
香蘇山館古體詩集　二六〇
香蘇山館詩鈔　二四五
香蘇山館全集　二六〇
香蘇山館文集　二六〇
江蘇詩徵　二四九
後素手簡　一〇〇
香蘇草堂圖詠　二六〇
行素堂集古印存　一五八
香祖筆記　一六三・二三一・二六二
香祖樓　二五七
江邨銷夏錄　二五七
後村詩話　一四九
後村先生大全集　一三五
後邨題跋　一四一
後村別調　二〇三
光臺一覽　一〇一
交泰韻　二〇七
光臺院御室傳　八〇
皇代記　四五・五七
皇太后宮陛下ノ御高德ニ就テ　二八二
高太史大全集　一三四
高太史鳧藻集　一三四
皇太神宮儀式帳　四五・五七
皇太神宮殿舍考證　九三
皇太神宮年中行事　七五
高臺禪寺什寶略記　四一
皇代略記　七七
後宇多院御灌頂記　五四・六六・八九
後宇多院御幸記　七七
小うた打聞　二一九
江談抄　五六・六七・二三三・二三四
高知縣勢要覽　二七三
高知縣統計書　二七三
高知縣立圖書館圖書分類目錄　七
廣智國師乾峰和尙行狀　八一
高知大林區署統計書　二七五
廣治平略　二八七
皇朝假名史略　二八二
弘長元年下總國小野織幡地帳　九二
弘長記　九一・一〇六
皇朝金鑑　二八二
皇朝古版譜　一
皇朝三種尺圖說　一〇六
皇朝史略　二八二
皇朝新學類纂　二四
弘長百首　四八・六〇
皇朝武功紀盛　二〇二・二六〇
幸張府節次略　一三〇
幸張府節略　一四七
皇朝文鑑　一三六
皇朝類苑　一四五
交通年表　三一
黃帝陰符經　一二四・一四三・二〇七
皇帝紀抄　四六・五七
黃帝祠額解　一六六
黃帝授三子玄女經　一四〇
黃帝宅經　四一・一四〇・一五二
黃帝內經　一三五
黃帝內經太素　一六九
黃帝內經明堂　一六九
黃帝八十一難經　一三六
盍徹問答　一〇五
孝傳　一一三
皇典講究所講演　三三七
皇典古籍に志しある少年敎育の學科書に用ふへきもの　二九八
弘傳略頌抄　八〇
皇道　一八八
鼇頭奧の細道　二一四
高等學校生活の本質　一九〇
高等學校竝に同程度各種專門學校に於ける學生思想危激化に對する一救濟策　一九〇
弘道館記　七〇
弘道館記述義　一七四・二九一
紅豆詩人集　二四五
浩蕩詩程　二九四
紅豆集題詞　一八〇
紅豆樹館集　二四五
皇統授受圖　四〇
高等小學修身訓　二九一
鼇頭節用集大全　三三
慊堂全集　七四
紅豆村人詩稿　一四三
高道傳　一四七
香道傳書　四四
高等天文學　一一一

憲堂日歷　一〇一
行都紀事　一三二・一四五
公德訓幷びに圖表　一九五
宏德寺記　九〇
光德寺系圖　七九
鑛毒事件　一九一
厚德錄　一四九・一五九
皇都午睡　三四・七二・三三
江都督願文集　九一
江南魚鮮品　一五九
江南星野辨　一三九
江南通志　二六六
江南別錄　一五八
江南野錄　一四七
江南餘載　一六七
弘仁三年高雄山潅頂曆名　八九
弘仁式式部下斷簡　六六
弘仁式主秘上斷簡　六八
弘仁二年官物勘錄　九六
江甫金石待訪目　一六八
黃熱を防ぐ法の制定を求むる說　一八六
皇年代略記　四五・七七
江濃記　五三・六五
河野氏系圖　七九
鴻臺後記　八七・一〇四
鴻臺前記　八七
國府臺戰記　八七・一〇四
高坡異纂　一三二・一三四
廣自石鼓書　一七三
廣文庫　九〇
洪範五行傳　二六〇
考槃餘事　一・二八・六五・六八
黃眉故事　三〇
鮫皮精鑒錄　二二四
合淝相國壽言　一六九
廣百川學海　三七
江表志　一四六
香譜　一五一・一六四
興風集　一五九
公武哥合　一三九
幸福學　二六六
興福寺緣起　一五五
興福寺伽藍緣起　一四七
興福寺舊記　一六七
興福寺現住僧帳　八九
興福寺三綱補任　六六
興福寺々務次第　六八
興福寺別當次第　九六
興福寺法隆寺牒狀　九六
興福寺濫觴記　八〇
興福寺略年代記　八〇
興福寺子傳　九四
興福寺法相大師に對する卑見　八九
鑛物學　五三・六五
鑛物の光學的性質の二種　八七・一〇四
江府風俗志　一六〇
江府名所地名取交雜談　一三七
洽聞記　一三二・一三四
江北圖書館圖書目錄　七
皇甫持正文集　一三五
皇甫司農集　一三八
稿本隨筆集　九九・二一三
校本日本靈異記　一七一
小馬命婦集　五一・六二
哈密國王記　一五四
光明院御即位記　八二
光明寺殘篇　五五・六六
高名集　三八
光明峯寺攝政家歌合　四九・六一
光明峰寺殿傳法灌頂記　八九
涇民遺文　一六八
公民教育　二一一
皇明吳郡丹青志　二六七
皇明盛事　一三一・一五四
皇明文衡　一三七
衡夢詞　一六六
公務日記　一七三
弘明集　一三四
紅毛雜話　六六
紅毛談　六六
紅毛天地二圖贅說　九九
紅毛譯問答　三五
綱目疑誤　一四三
拷問　一〇三
黃門白石問答　一六〇
香藥抄　一三七
高野御幸記　四六・五七
高野雜筆集　八三
高野山阿彌陀二十五菩薩來迎圖　一三五
高野山往生傳　二〇九
高野山奧院興廢記　八〇
高野山官符　八〇
高野山記　九〇
高野參詣日記　一七一
高野山御幸御出記　五二・六四
高野山金剛三昧院短册　九一
高野山順禮記　八四
高野山正應六年大政官牒　九一
高野山燒失記　七六
高野山事略　五五・六六
高野大師御廣傳　一七三
高野日記　八〇
高野の道の記　八六
高野板之研究　一
後韜軒小錄　一〇〇
興亡　八六
公法概論　二六八
甲陽軍鑑結要本書　二六八
廣陽雜記　一六三・三三一
孝養集　七〇
香要抄　九一
黃葉夕陽村舍詩　二九四
黃葉樓初集　二四五
廣抑戒錄　一五九
强慾抃ひませう　四三
公餘日錄　一五四・三一・二六二
耕餘博覽　一四四
高麗圖經　九七
高麗古都徵　九七
後樂園誌　二八四
甲亂記　八七
紅蘭小集　二九五
蓍里遺文目錄　一二九
高力士傳　一三〇・一五二・一六一・一六七
氷の朔日　三七
江東部集　四七・五九
廣隆寺供養日記　九〇
廣隆寺資財交替實錄帳　九〇
廣隆寺來由記　五四・六六
交流電氣抵抗爐の自働恒溫裝置　二〇八
荒陵懷舊詠　一〇五
荒陵寺御手印緣起　九〇
廣陵女士殿最　一五七
廣陵妖亂志　一五七
江隣幾雜志　一三〇・一四六・一六三
合類書籍目錄大全　一六六
恒例修正月勸請神名帳　七
講令備考　七六
康曆元年結緣潅頂記　九四
康曆二年外宮遷宮記　九一
香匳詠物詩　一二六
香奩集　一三六
紅樓夢　一三六
紅樓夢全傳　二四
紅樓夢傳奇　二五五
耕祿藁　二五七
香爐之卷　一三二・一四九
光論　八六
江淮異人錄　一二六・一四七・一六七
康和以來公卿勅使記　七五
康和元年御產部類記　九三
壺雲亭句集　一〇〇
古芸餘香　一
古詠考　一七六
古易音訓　一一三
吳越春秋　一三三・一三六・一六二
虎苑　一二八・一三六・一五七
壺園集　二五三
吾園隨筆　二三九
吾園隨筆續編　二三九
後豔品　一五七
後圓融院御讓位記　八三
小大君集　五一・六三
後玉制略　三四
後押小路內府抄　九三
こをとこのさうし　三八
故小野宮右衞門督齊敏君達歌合　八四
虎書　二五七
語怪　二六・一三三・一五七
吳會英才集　二四九
戶外劇三種　一九六
湖海詩傳　二四九
湖海詩傳小傳　二四九
湖海文傳　二五一
湖海樓全集　二五三
語學敎授本　二九二
盍關錄　一四六
古稀を祝して德富蘇峰翁に贈る　二一〇
古奇器錄　三八・一五六・二六七
語窠今古　一三二・一五四
弘徽殿女御十番歌合　四八・六〇
古義堂遺書總目敍釋　七
吳逆取亡錄　一四〇
故宮遺錄　一六七
呼吸器疾患ニ因ル死亡統計　二七九
故宮善本書影　一
虎丘茶經注補　一五九
故鄉　二〇一
五經　二六四・二九一
五經異義疏證　一〇四
五行解　一七四
古鏡記　一四七
五行記　一四七
後京極殿御自歌合　五〇・六一
後京極殿應三百首　五二・六四
五經算術　一六五
五經折疑　一四三
五行大義　三三
五經大全　二六四
五經通義　一四三
五經同異　二〇六
「故鄉」に就いて　一九一
五經白文　一八九
五行本命星問答　一六〇
五行問　二三五
五岳贊語　四八・六〇
古學先生和歌集　一五一
古岳大和尙道行記　八五
古河公方系圖　五二・六四
古學本敎大意　五二・六三・八五
五嶽約　一七一・一九
古學要　五二・六三・八五
古河御所之傳　一五九
古歌抄　一五一
御柏原院御日次結題　一五一
御家中指物　八五
古活字本展覽會陳列目錄　七四
吳下田家志　五一・六三
こがねぐさ　七〇
黃金の駒　七〇
國意考　五一・六三
國意考辨妄　七〇
剋吳人恐怖傳論　六九
谷音　一三一・一三七
國會　二四二
國會沿革誌　二八七
國會開設論者密議探聞書　三〇
國會始末　二一七
國會組織國民大會議　二一七
國會難局の由來　二〇一
國會の前途　二〇一
國害論　一八九
國家學　二一一
國學院大學紀要　二三七
國學院大學附屬圖書館增加圖書目錄　七

國學季刊　二三七
國學叢刊　一二九
國學忘貝　二三三
國家元氣論　一八九
國家興亡圖論　一八九
國家語の問題について　二三八
國華索引　二九八
國家主義　一〇九
國家道德論　二〇〇
國家と政府　一一六
國家と保健　一一五
國家の進運を論して法政教育の必要に及ぶ　二八七
國歌八論　一〇五
國歌八論斥非評　一七七・一七八
國歌八論斥非再評の評　一七八
國家論　一〇九・一八九
國基　七〇
國記談抄　四三
國牛十圖　五六・六七
國教問答　一八八
國教論　一八八
國郡名考　一七〇
國劇小史　一九六
國憲編纂起原　一一七
國語　一二七・一三三
國光　二三七
國號考　一七七・一七八
黑溝臺附近合戰に於ける低氣溫の戰鬪・健態・創傷及び衞生勤務に及ぼす關係詳報　一八五
國語校文　一六九
國語定本　二八二
國語標註　一七六
國語補註　二〇五・二六一
國際金融問題　一〇九
國際經濟會議に就きて　二一二
國際公法　一一〇
國際私法　一一〇
國際社會史論　一一五
國際商業と交通　一一四
國際道德の成立ち易からざる理由　一九五
國際年鑑　三三
國際法　一〇七
國際聯盟　一〇七
國際聯盟調査委員迎接展覽圖書・手稿解說　一六
國際論・同續篇・同補遺　一八七
國策地名考　一三三
國山碑考　一六二
穀山筆塵　二六二
國字及び國文に關する論說　一九七
國史經籍志　七・一三
國事建言　一七六
國字小說通　一七五
國子先生全集　二五三
國史補　一六一・一六三
國志蒙拾　一三七
國秀集　一三五
國書解題　七
國書刊行會主催第一回圖書展覽會目錄　一五
國書刊行會出版圖書總目錄(第二期)　七
國書刊行會出版圖書目錄(第一期)　七
國書刊行會叢書　六八・六九・七〇
國書刊行會大正期出版圖書總目錄(第四期)　七・七〇
國初十大家詩鈔　二四九
國初品級考　一四〇
國書復號紀事　一六九
國書漫抄　二一六
國史略　二八二
國史類史律令格式目錄　一七一
黑心符　一三〇・一六二・一六七
國勢院統計會講習講演錄　二六八
國勢調査　二六八
國勢調査建議に關する會議の速記　二六八
國勢調査國費豫算　二六八
國勢調査參考書　二六八
國勢調査事務經過概要　二六八
國勢調査準備委員會議事速記錄　二六八
國勢調査申告書記入の栞　二六八
國勢調査速報　二七七
國勢調査と其の他の統計調査　二六九
國勢調査と帝國議會　二六九
國勢調査ニ關スル官制竝職員錄　二六九
國勢調査ニ關スル法規類　二六八
國勢調査の實行を望む　二六八
國勢調査評議會　二六八
國勢調査評議會經過概要　二六八
國勢調査法　二六八・二六九
國勢調査問題講話　二六九
國勢調査問題ニ關スル沿革摘要　二六九
國勢調査要談　二六九
國性爺合戰評　一九六
國體新論　一一七・二八七
國體と倫理　一〇七
國體論　一八八
黑韃事略箋證　二〇三
小口合　三七
獄中記　四四・一八六
獄中消息　一八六
獄中俳諧抄　一七二
國朝學案小識　二六二
國朝畫識　二五七
國朝畫徵續錄　二九八
國朝漢學師承記　一三三・二六三
國朝畿輔詩傳　二四九
國朝金文箸錄表　二〇三
國朝經師經義目錄　一二三
國朝元魁墨萃　二五六
國朝杭郡詩輯(續輯共)　二四九
國朝古文所見集　二五二
國朝山左詩鈔　二四九
國朝三槎存雅(補選共)　二四九
國朝詩人小傳　一六七
國朝詩人徵略　二五一
國朝詞綜　二五六
國朝詩鐸　二四九
國朝詩別裁集(補遺共)　二四九
國朝謚法考　一三九
國朝常州駢體文錄　二五三
國朝松陵詩徵　二四九
國朝書目　七
國朝先正事略　二五八
國朝先正事略續編　二五八
國朝全閩詩錄　二四九
國朝宋學淵源記　一三三・二六三
國朝滄州詩鈔　二四九
國朝中州詩鈔　二四九
國朝二十四家文鈔　二四九
國朝武定詩鈔(補鈔共)　二四九
國朝文類　一三七
國朝駢體正宗評本　二五二
國朝寶鑑　九八
國朝未栞遺書志略　七・一三四
國朝兩浙科名錄　二五八
國朝麗體金膏　一三六
國朝歷下詩鈔　二四九
國朝六家詩鈔　二四九
國定教科書編纂趣意書　二九八
黑甜瑣語　二一三
獄祕書　二二九
黑白染分韁　一一九
國風省編　二〇三
克復諒山大略　一四〇
國文學の將來　一九六
國文句讀考　九七
國法學　一一〇
國寶新編　一三三・一五五
國防の將來　一九〇
國本論　一〇四・一七九
國民樂の將來　一九四
國民共濟策　一一四
國民功業論　一一三
國民思想叢書　七〇
國民所得の推定　二七五
國民新聞　二四三
國民性情論　一一三
國民精神文化研究所々報　二三五
國民叢書　一九三
國民大會議　一一七
國民統計學　一一三
國民と政治　一九八
國民之友　二三七
國民之友(英文)　二三七
國民の日本史序　一九七
國民百科辭典　三一
國民評論　二三七
克明抄　一七〇
國名風土記　九三
國譯佛遺教經　一八九
國譯父母恩重經　一八九
國有鐵道貨物運賃及料金規則　二六八
國立銀行は合併を利とす　一九九
國立中央大學商學院圖書館圖書目錄　八
國立北平圖書館水災籌賑圖書展覽會目錄　一五
國立北平圖書館圖書展覽會目錄　一五
黑龍江外記　一六九
黑龍江述略　一二四
穀梁傳補注　二〇五・二六一
國老談苑　一四六・一五八
國論　二三七
告我黨人　二〇〇
古訓古事記　一七八
吳郡諸山錄　一四八・一五九
御禊行幸服飾部類　四七・五九
五刑考略　一六一
古經題跋　五
姑溪題跋　一四一
古經天象考(圖說共)　一三七
御系譜　一七三
古劇脚色考　一三九・二〇三
湖月鈔別記　一七四
古言　一五三
寤言　一二八・一五三・二六七
古言記　二八三
五言今體詩鈔　二六一
虎鈐經　一三三
語言談　一五四
娛語　二三三
晤語　二一八
吳興園林記　一四八
古行記四種校錄　二〇三
吳江奇覽　三三
後光嚴院御幸始記　四六・五七
後光嚴院御讓位記　八二
後光嚴院御踐祚記　四七・五八
後光嚴院御中陰以下御佛事記　五六・六八
後光嚴院三十三回聖忌記　五四・六六
古杭雜錄　一四六
五孝子傳　三五
戶口調査用語　二六九
湖廣通志　二六六
御幸始次第　七七
御幸始部類記　四六・五七・七七
古杭夢游錄　一三一・一四八
虎口餘生記　一六八
五國故事　一四三・一六七
護國寺供養記　九〇
五國條約　二八六
古刻書史　一
古刻書題跋集　三
古刻書跋　一
護國論　一八八
午後三時序　一八一
古語拾遺　五五・六六・七〇
古語拾遺疑齋辨　一七七・一七八
古語拾遺抄　一〇四
午後十一時　一八四
後小松院御百首　八四
後小松院御獨吟　八五
後小松院崩御記　五六・六八
志をたつる文　四三
許々路迺阿登　一七四
心の健康を計れ　二一〇
心の雙紙　一〇三・二一六
心の種　一七四
心の夜あけ　一一八
試みとしての日本オペラ　一九四
古今東名所　二一九
古今夷曲集　七四
古今いろは評林　七三
古今韵攷　一三三
古今印史　一二八・一五六・二五八
古今印制　二五八
古今沿革考　二一六
古今外國名考　一六〇
古今夏時表　一三四
古今官位指圖　一七七・一七八
古今偽書考　一
古今諺　一五六
古今源流至論　二九・二六六
古今攷　一四三・一五八
古今雜談思出草紙　二一八
古今參考南水漫遊　七三
古今四場居百人一首　三八
古今事文類聚　二四
古今書刻上編　八
古今事類全書　二五
古今人物史　四四
古今注　一二四・一六三・二三一
古今帝王創制原始　二九
古今刀劍錄　一二四・一三九・一六七
古今圖書集成　二三
古今圖書集成總目　一〇五
古今圖書集成分類目錄　二三
古今萬姓統譜　二六六
古今祕苑　二六六
古今佛師比較論　一九一
古今法書苑　二六六
古今無慶生日文　二〇四
古今銘盡大全　二八九
古今要覽稿　一八・三四
古今要覽稿抄　九六
古今類書纂要　二五
古今類腴　二五
後西遊記國字評　四〇
後嵯峨院皇統系圖　七七
後嵯峨院御讓位記　八二
後嵯峨院宸筆御八講之記　五四・六六
故左金吾兼野州太守平公墳記　八〇
小作立法　一〇九
克棄考　二三五
五雜組　二三一・二六二
御產御祈目錄　五六・六八・九三
固山鞏和尙行狀　八一
御三家方御附人　四三

後三條院御即位記　四七・五八
湖山勝概　一四八
湖山消閑集　二四五
後三條相國抄　九二
御産所記　八八
御産所日記　五四・六五・八八
五山說林　二六三
御散飯供御調進次第　八八
御産部類記　九三
古三墳　一二三
湖山便覽　二五九
湖山樓詩屏風　二四九
吳子　七二・一三三
古梓一覽　二
護持院ケ原の敵討　一八三
古詩韻範　二九四
故事海　二元
古事記　七〇・一九
五色絲　二一四・二三
五色線　四一・四四四・一五八
古事記傳　一七
古事記傳地名目錄　一七
五色筆　一七三
古詩源　二四九
こしごえ　七三
胡氏雜說　一五四
孤矢算術細草圖解　一三七
越路の家づと　一四
居士集　一三四
小侍從集　五一・六三・六九・九七
故大德正法大聖國師古岳大和尙道行記　八三
故大德佛宗大弘禪師實傳和尙道行記　八三
古代の研究　一九九
古代笮銖弓箭說　一九一
古代民族宗教　一〇八
五代兩宋鹽本考　八・二〇三
古代倫理學東西比較論　二〇〇
御大禮紀念陳列會目錄　一五
御大禮奉祝方案　二六七
答へ得ざる問　一九〇
小鷹部　五三・六四
木精　一八二
五壇法日記　八九
吳地記　一三〇・一四八・一五九・一六一
吳中往哲記　一三三
甕中錄　二
吳中故語　二六八・一三二・一五四
吳中勝記　一三八・一五五
蒿中隨筆　二〇六・二三二
壺中贅錄　一四四
吳中判牘　一四〇
壺中攬勝　一三二
胡蝶庵隨筆　二一七
五朝小說　二二九
蝴蝶裝と大和綴　三
小朝拜部類記　八二
五朝名臣言行錄　一三六
滑稽陰陽集　四三
滑稽雜談　七〇
滑稽詩文　九三
骨相學　二一二
後土御門院御百首　八四
後土御門院十三回聖忌記　五四・六六
後土御門院長州一宮住吉社御法樂和歌　八四
後土御門後柏原兩院御百韻　八五
骨董集　一〇三・二一五・二一六・二三二
骨董熱　一九四
忽那一族軍忠次第　九四
忽那嶋開發記　二九四
骨筆題詠竝江南游草　一八六
古弗結核療法類纂　一八六
コツホ氏肺療新療法の急報　一八六
コツホに繼で出でたる發明者コツホの新療法につきて起りし假名文字の說　一八六
湖亭涉筆　二一五・二三
顧亭林先生年譜　二三二・二〇六
古傳和尙　八一
古典考古學　一二三
御殿司職一方系圖　四六・五八
古典派經濟學の復興　二一三
古點譜　九五
壺天錄　一六三・一三一
御當家系圖(佐竹)　七八
御東幸御宿割帳之寫　一二六
御東幸御供奉御行列附　一二六
後藤細工口傳書　四四
後照念院殿裝束抄　四七・五九
後藤庄三郎由緒書　九三
鼓棹初集　一一三
鼓棹二集　一三三
古道大意　八〇
古動物學　六九
別浦八幡緣起　八四
語都酒美選　八四
後鳥羽院遠島百首御歌　八六
後鳥羽院御自歌合　八四
後鳥羽院御百首　九四
後鳥羽院御記　九四
後鳥羽院御集　二九四
後鳥羽院熊野御幸記　一八六
後鳥羽院御口傳　一八六
後鳥羽院御踐祚次第　一三六
後鳥羽院御卽位記　三九
後鳥羽院御靈託記　三
言泉序　二
詞通路　一四〇
詞の栞打聽　二〇三
古文辭類纂　二五二
言葉の德　二九四
詞八衢　二六三
詞の八衢講義　八一
五木經　一三〇・一四〇・一五一・一五九・一六一
枯木稿　八三
古墨齋金石跋　一三七
吳墨井傳辨誤二則　二一〇
古墓瑣孤記　一二九
枯川隨筆　一九三
吳船錄　一四八・一五九・一六五
語叢　二三八
五書算經　一六五
五總志　一四四・一六四
御舟召見恭記　二・六・二三
五宗圖說　一〇三
屋從西巡日錄　八三
屋從東巡日錄　八三
五十年の回顧　三六・七四
五十番自謌合　一六九
五十四番詩歌合　一九四
後十輪院內大臣詠草　二二
五十六種書法　八四
孤樹褒談　二三
御巡行御行列竝御供官員附　二〇八
語小　二〇九
御護位部類記　一八八
吳淞園歌集　二〇六
五松園文稿　二〇九・二一〇
後成恩寺關白謚聞記　四八・五九
吳省欽年譜　二四五
五常訓　三九
古城考　三九
湖湘故事　一八三
古穢雜錄　一九
御精進日帳　一五六
五常內儀抄　二
後松日記　二・九六
後稱念院關白冬平公記　二〇
後拾遺往生傳　五四
後撰集正義　一三八・一三三・一五四・二六七
後伏見院宸翰藥物方　五三・六四
御普請方人數御宛行帳　四三
古物學　一一三
虎皐登涉圖儀注　一一三
古文苑　一三六
古文應神紀　三九
古文舊書考　二
古文孝經孔傳　三三
古文參同契集解　一四〇
古文尙書冤詞　二〇三
古文辭類纂　二五二
古文眞寶　二九四
胡文忠公遺集　二六三
孤峯和尙行實　八一
枯木稿　八三
古墨齋金石跋　一三七
吳墨井傳辨誤二則　二一〇
古墓瑣孤記　一二九
御評定着座次第　五六・六七
碁譜　九八
御諷誦御願文案　九一
吳風錄　一三三
巨福山建長禪寺開山蘭溪和尙行實　八〇
吳服師由緒書　六九
後福照院殿御詠艸　八四
後普光院殿鷹百韻連歌　八六
後普光園院殿御百首　八四
佩不佩錄　一三八・一三三・一五四・二六七
後伏見院宸翰藥物方　五三・六四
御普請方人數御宛行帳　四三
古物學　一一三
虎皐登涉圖儀注　一一三
古文苑　一三六
古文應神紀　三九
古文舊書考　二
古文孝經孔傳　三三
古文參同契集解　一四〇
古文尙書冤詞　二〇三
古文辭類纂　二五二
古文眞寶　二九四
胡文忠公遺集　二六三
孤峯和尙行實　八一
五木經　一三〇・一四〇・一五一・一五九・一六一
枯木稿　八三
古墨齋金石跋　一三七
吳墨井傳辨誤二則　二一〇
古墓瑣孤記　一二九
戶內遊戲方　一二三
後奈良院御百首　八四
後奈良院御撰何曾之解　五六・六七
後奈良院御撰何曾之解　一七七・一九
後奈良院御拾骨之記　五六・六六
後奈良院御拾骨之記　三七
滸南遺老集　一六七
滸南詩話　四四
近衛家略系　九五
木葉衣　二四三・二四三
此花新書　一九四
木芽說　二二四
古柏齋讀書雜議　二三六
後花園院御百首　二九四
後花園院御讓位下書注文　八三
後花園院御消息　四八・五九
小早川隆景卿傳　九七
小林さん　二一〇
小春紀行　一七三
古版一覽　二
碁盤太平記　三四
ごばん忠信　三四
古版展覽會目錄　七四
五藩橋乘　一五二
古板長唄八種　二四
こはんのみゝ　八一
御ひいき勸進帳　一〇三
狐媚記　一〇三
五百四峰堂詩鈔　二四五
五百八十七曲　三六
五百番歌合　四九・五一

後堀川院民部卿典侍集 八五
古本節用集の研究 三一
古本葬經内篇 一四〇
古本竹書紀年輯校 一三七・二〇三
御本日記續錄 二・九六
御本日記附注 二・九六
古本賣買の實際知識 二
古本風土記逸文 一七六
古本蒙求 三三
古本用語辭典 二
駒井系圖 七八
狛犬考 三四
小牧戰話 一七三
狛氏系圖 七九
小町集 五一・六三
小町寺略緣起 四一
小松軍記 五三・六五
小松寺緣起 九〇
後水尾院御集 九六
後水尾院當時年中行事 六八
後水尾帝御製 四四
後水尾天皇御製詩集 九五
後妙華寺殿御詠草 八四
後妙華寺殿令聞書 八三
五名家近體詩 二五〇
米由來說略 一九三
古物語類字鈔 一七六
吳門畫舫錄(續錄共) 二五九
吳門者舊記 一三八
小山系圖 七九
小山結城系圖 七九
瓠謄 一五八・一六三・一八一
後陽成院縣召除目次第 八二
後陽成院御歌合 四九・六一
後葉和歌集 四八・五九
曆 一〇五
御禮拜講之記 七六
古來風體抄 八五
五樂園詩鈔 九九
古琉球の歌謠に就きて 二二二
古量考 一九二・二一四
壺梁先生遺稿 一〇二
古林和尙行實 八一
五輪書 七〇
五倫名義 七一
五倫名義辨證 一〇〇
古禮今律無繼嗣文 二〇四
後冷泉院根合 五〇・六一
古列女傳(續共) 一三六
惟任退治記 八七
惟房公記 九四
惟宗氏系圖 七九
惟宗廣言集 五〇・六二
瑚璉集 九三
古老口實傳 四五・五七
古老茶話 二一六
賈浪仙長江集 一三五
梧樓存稿 一〇〇
梧樓日記 九九
吳錄 一四七
後六々撰 四八・六〇
吾廬筆談 二〇五・二三一
壺廬囿雜記 二一五
壺蘆囿漫筆 二一五
閣龍(コロンブス)世界博覽會美術品畫譜 二九八
これ指環の評 一八〇
艮嶽記 一三一・一四八・一六四
困學紀聞 二三一
困學紀聞注 二三一
婚記 五六・六八
金剛王院門跡列祖次第 七七
金剛經鳩異 一三〇・一五二・一六二
金剛抄 九〇
金剛談 一〇三・二一八
金剛般若波羅蜜經 二五七
金剛峯寺建立修行緣起 九〇
金剛峰寺執行檢校阿闍梨補任略記 七七
艮齋閒話 二一六・二二三
坤齋日抄 二一五・二二三
婚雜儀注 一四六
崑山郡志 一二四
金色夜叉上中下篇合評 一八〇
今昔操淨瑠璃外題年鑑 七三
今昔操年代記 七三
今昔較 一三〇・二二九
今昔物語 六八
紺珠 二三三
今春の宗教大會に對する卑見 一九〇
懇親會 一八二
根心堂學規 一六〇
崑斯(コンスブリン)小兒病門 一七四
崑斯痘瘢門 一七四
權大僧都心敬集 八五
權大納言典侍集 八五
權大納言言繼卿集 五〇・六二
崑蟲記 一八六
權中納言朝忠卿集 五〇・六二
權中納言敦忠卿集 五〇・六二
權中納言兼輔卿集 五〇・六二
權中納言定賴卿集 五〇・六二・八四
權中納言爲重卿集 五〇・六二
權中納言俊忠卿集 五〇・六二
こんちりさんの略 三五・一一八
こんてむつすむん地 三六
渾天儀 一〇〇
近藤玄六日記 四三
近藤記念海事財團文庫目錄 八
近藤氏書上 九三
艮堂十戒 一六〇
近藤重藏守重筆記 四三
近藤正齋全集 一七三
今日の科學思想 一一三
今日の太平洋問題 一一六
今日の南亞米利加 一一四
金毘羅 一八二
權別當宗淸法印立願文 四五・五七
昆陽漫錄 一〇三・二一七
坤輿外紀 一五八・一六八
昏禮辨正 二〇四
崑崙集(續共) 二三四・二五〇
崑崙皕詠集 一二四

サ

Circular Tubeに於けるSkin Effectの計算 二〇七
槎菴燕語 一五三
サイアノゼンの接觸酸化及其中間酸化生成物に就て 二〇七
在庵大和尙行業 八一
采異記 一五三
菜園 一一一
西園寺家車圖 六八
歲華紀麗 一四一・一四八
歲華紀麗譜 一四八・一五九・一六六
西鶴側面觀 二一三
采畫錄 一五〇
在監人の疾患に就て 二七五
歲寒堂詩話 一四九・一六五
債鬼 一八四
才鬼記 一五二・一六二・一六七
在窮記 一四七
在京在阪中日記 二一九
西行上人談抄 一〇六
西京博覽會品物目錄 四二
西京繁昌記 一三〇
西行物語 九二
西行物語繪詞 九二
祭儀略 一〇五

最近醫學の諸問題 一〇八
最近一年間の東北帝國大學に於ける電氣通信法の研究に就て 二〇八
最近埃及 一一三
最近化學界の驚異 一一五
最近科學思潮 一〇八
采芹采茆名錄 一〇三
最近思想團體要攬 八
采芹集 一〇三
最近新聞紙學 二四〇
最近朝鮮事情要覽 二八四
最近本邦生產統計 二七六
最近勞働運動 一〇七
齋宮記 四六・五八
齋宮女御集 五一・六三
細君 一九七
西京雜記 一三四・一三六・一三九・一三四・一四一・一四二・一四八・一六六
歲計豫算論 二八九
歲月錄 四四
採鑛及冶金學科地質學講義の緒言 一九一
西公談抄 五一・六三
西國受領歌合 四九・六一
西國立志編 二九一
最後の一句 一八一
最後のドムラン家 一九五
菜根譚講義 一八九
歲在歲次龍集考 一〇〇
財產法概論 一〇九
歲時記 一一三
蔡氏月令章句 一三五
祭祀考 一七〇
歲時雜記 一四八
祭日 一八五
歲時并臨時記 一七一
才子文 一二六
最終の午後 一八五
祭主輔親卿集 五〇・六二
釵小志 一四九
㝡勝四天王院障子和歌 四八・六〇・八四
最新教育學 二一一
最新工業 一〇七
最新思潮講話 二二三
最新電氣學 一一一
最新統計學 一一〇
細推物理 一〇〇
㝡須敬重繪詞 八〇
財政學 一〇七・一一〇・二六八
財政學概論 一〇九
再生記 一六三・一六七
濟世危言 一一八
祭征淸之役戰歿勇士諸靈文 一八九
祭政說略 一九二
濟生堂五部雜錄 二一九
財政と經濟 一九九
歲星表 一三七
採精便覽 二六七
采石瓜洲斃亮記 一三五
彩選百官鐸 一五六
再續三十五擧 一三三・二五八
西大寺光明眞言緣起 九〇
西大寺資財流記帳 九〇
歲旦所感 一八九
財團法人眉丈文庫圖書分類目錄 八
採茶錄 一五〇
蔡中郞文集(外傳共) 一三四
才調集 一三五
㝡鎭記文 四五・五七
齋庭之穗 一〇一
塞程別紀 一三九
在田錄 一三七・一五三
齋藤朝倉兩家鷹書 八六
齋藤三代記 四三
齋藤親基日記 五四・六六
齋藤報恩會 二三五
齋藤報恩會學術研究總務部學術研究報告別刷集 二〇七
齋藤報恩會學術研究總務部事業年報 二三五
齋藤報恩會學術研究總務部要覽 二三五
齋藤基恒日記 九四
齋藤流手綱之祕書 八八
齋藤綠雨 一九七
歲入歲出豫算 二八九
栽培經濟論 一一九
栽培汎論 一一〇
催馬樂師傳相承 八六
催馬樂抄 九九
催馬樂注祕抄 八六
催馬樂譜入文 一七四
裁判醫の文は宜しく簡なるべし 一八六
裁判至要抄 四六・五八
菜譜 一七〇
在米日本人年鑑 三三
西方寺緣起 九〇
采茆集 一〇三
財法二施辯 一八九
歲暮感懷 一八九
塞北小鈔 一五七
濟北晃先生雜肋集 一三五
採捕鯨鯢總說 四二
細民調査統計表 二七六
在民部卿家歌合 四八・六〇
材木定價書 一〇五
西遊記 三三
西遊記校注 二〇三
才葉抄 五六・六七
采覽異言 一七〇・一七五
採蘭雜志 一四五
採硫日記 一三三
西琳寺流記 九〇
祭禮通考 一〇三
採蓮舞譜 一五一
さへづり 一八二
左衞門督實國卿家歌合 四九・六〇
沙翁劇の飜譯に對する私の態度の變遷 一九五
沙翁劇の飜譯に就いて 一九五
堺鑑 九五・九九
酒井家譜 一〇四
左海經辨 二六〇
堺事件 一八二
左海全集 二六〇
沙河逸老小稿 一三三
堺利彥全集 一九三
堺利彥傳 一九三
堺利彥略歷及著作年譜 一九三
左海文集 二六〇
左海文集乙編 二六〇
嵯峨記 五五・六七
佐柿入道常圓物語 三九
榊のかをり 二一四
榊葉集 七五
さかき葉の日記 四五・五七
さか衣 五五・六七
杯 一八二
酒田文化資料展覽會出品目錄 一五
佐賀圖書館創立滿三年紀念古書展覽會目錄 一五
さかなつくし 二九二
坂上系圖 七九
坂上是則集 五〇・六二
嵯峨野物語 五三・六四
嵯峨本考 二
相撲集 五一・六二

嵯峨物語　八六
月代考　二一四
さかゆく花　四六・五七
相良系圖　七九
サガレン紀行　一一六
坐間筆語　一七〇
左記　五五・六六
沙起雲日本雜詠　一三七
佐喜艸　一七四
左京大夫顯輔卿集　五〇・六二
砂玉和詞集　五〇・六一
策彥和尙詩集　八三
昨今の劇評　一九六
作詩志彀　一〇〇・一〇一
作詩法講話　二九四
作者式法戲財錄　七五
作者店おろし　七三・二一四
作者年中行事　九八
作州記　三九
删潤梅谿遊記　一〇〇
朔雪北征記　一五五
朔旦冬至部類記　四七・五八
作庭記　五三・六四
作の上より見たる我が劇壇の現在及び未來　一九六
昨非庵日纂　一六四
作文志彀　一〇一
作文趣味　二一〇
作文初問　九七・一〇一
作文眞訣　二九四
作文大體　四八・五九
朔方備乘札記　一六八
佐久間軍記　八七
昨夢錄　一二八・一三一・一四五
遡遊從之　一〇一・一七三
櫻井基佐集　五一・六三
櫻島噴火雜感　一九一
櫻の林　二一七
櫻之辨　三五
佐倉風土記　一〇四
酒と藝術　一九五
坐獄日錄　一七三
鎖國論　一〇一
さごろも下紐　八六
佐々木系圖　七八
さゝごおちのさうし　五三・六五・一〇四
泊洦筆話　一〇三・二二六
筱舍漫筆　二一七
さゝめこと　五一・六三
茶山翁筆のすさび　二一六
さし出の磯　一〇〇
左氏兵戰抄　二八二
左氏蒙求　三三
沙州記　一三八・一四八
沙州地志殘卷　一六三
坐禪に就て　一八九
佐竹系圖　七八
佐竹家系圖　七八
佐竹氏舊記　八九
佐竹白石系圖　七八
佐竹宗三聞書　八八
蹉跎山緣起　九一
貞忠御調進案　八八
貞常親王御百首　八四
沙汰未練書　八八
定賴卿集　五〇・六二
瑣談片々　二三九
左忠毅公年譜定本　一三八
札迻　二三一
雜記　一〇五
皁需會我橋　三七
雜藝叢書　六九
雜劇段數　一四七
雜交苦口記　二一九・二三三
雜纂續　一三一・一四九
雜纂二續　一三一・一四九
雜纂三續　一三二・一五七
雜纂新續　一三一
雜誌記者論　二一〇
雜誌修業　二一〇
雜事祕辛　一三三・一六七
雜書　二三三
雜抄　一九
撮壤集　三三・九一
雜書琴事　一五一
雜說囊話　二一七
雜訴決斷所結番交名　九三
薩長土肥　一三〇
薩天錫詩集　一三六
薩都宮奉加帳　七六
薩藩舊傳集　七一
薩藩叢書　七一
雜筆往來　四八・五九
雜筆要集　六八・八三・九七
雜祕別錄　五三・六四
册府元龜　二五
殺法轉輪　四四
札幌區區勢調査　二六九
札幌區區勢調査研究　二八〇
札幌區區勢調査原表　二八〇
札幌區區勢調査例規　二六九
札幌在學日記　一九四
雜錄　一五八
瑣綴錄　一五四
左傳杜解補正　二〇六
左傳杜注辨證　一三七
左傳補注　二〇五・二六一
里芋の芽と不動の目　一八二
佐藤系圖　七九
茶道祕傳　八七
里こと葉　四三
佐渡事略　四〇
里見九代記　八七・一〇四
里見軍記　八七
里見系圖　七七・一〇四
里見家分限帳　八九
里見代々記　八七・一〇四
讃岐集　五一・六三
讃岐典侍日記　五三・六三
讃岐直島長三宅氏由緒　四〇
讃岐入道集　五〇・六二
讃岐國萬農池後碑文　九三
信明集　五〇・六二
實方朝臣集　五〇・六二
實國卿集　五〇・六二
實任卿改元定記　八二
實冬卿記　九三
實躬卿中納言拜賀記　八三
佐野系圖　七九
さのゝわたり　八六
佐野松田系圖　七九
佐野宗綱記　九四
佐橋甚五郎　一六二
薩婆多宗五事論　一六二
淋敷座之慰　四二・七三
寂しき人人　一八四
作法故實　四七・五九
査浦詩鈔　二四五
沙彌惠空百首　九五
五月雨抄　一七五
五月雨草紙　七三・二〇一・二一四
五月雨日記　五二・六四
侍所沙汰篇　五三・六五
醒めたる女　一九五
さや〳〵草紙　二一四
佐遊李葉　九六
査祇餘錄　九五・一〇五
小夜中山子育觀音夜啼之石
　敵討田來　四一
小夜中山無間之鐘之由來　四一

小夜中山刃之雉子之由來　四一
小夜のねさめ　五五・六七
娑羅館逸稿　一六五・二六七
娑羅館清言　一六五
ザラシツトラ數　一〇八
さらしな日記　五三・六三
さらしな日記抄　一〇四
沙羅の木　一八三
蓑笠雨談　二三三
猿　一八四
猿樂沿革考　三三
申樂聞書　八六
猿樂傳記　三三・三四
さるかに合戰　三七
猿著聞集　二一五・二一七
ざるべし　二一七
猿丸大夫集　五〇・六二
サロメ　一八一・一八四
澤內風土記　九九
茶話指月集　七〇
澤巽阿彌覺書　八八
澤田川　一七一
佐原比田藤倉系圖　七八
三愛記　五五・六七
杉庵雜攷　一〇六
纂異記　一五三
三異筆談　一六三・二三三
棧雲峽雨日記幷詩草　二五九・二九四
響雲樓雜說　一五八
三英隨筆　一〇五
三盆艷詞　八三
三益稿　八三
三淵漫錄　二二三
殘櫻記　四〇・一七六
三王外記　三四
三外往生記　八〇
山海經（センカイキヨウ參照）
參海雜志　三六・一七一
三岳莊唱和編　二三〇
三角測量點水準測量點明細表　二九二
粲花軒詩藁　一四三
山家五番歌合　四八・六〇
山家三番歌合　四九・六一
三家詩補遺　一二四
山家清供　一三九・一四九
山家清事　一四九
三家撰集目錄　九一
三月三日紀師近曲水宴　四八・六〇
產科提要　一七三
散花牌譜　一二一
山家要記淺略　九〇
三官記　二二三
「三眼」子の加年を祝す　一九〇
三議一統大雙紙　八八
三義一統之辨　四〇・一〇五
三器圖義　一五一
參議時直卿集　八五
參議拜賀部類記　八三
參議藤原佐理消息　三九
三脚稿　八三
參議綏光卿記　七五
三曉庵隨筆　一〇五
三教裁判　一八九
產業自治論　一一六
產業社會の進化　一一三
參議要抄　四七・五九
產業消長概覽　二七六
三教大意　一七六
產業統計講話　二六九
產業の合理化　二二二
產業の人道化　一一五
三教論衡　一四三
三極眞空管急動繼電器を應用した定溫爐竝びに定周波裝置に關する實驗　二〇八
三極眞空管驗波リレーに就て　二〇七
山居新語　一四六
三魚堂文集（外集共）　二五一
蘉喜廬叢書　一三三
參軍要略抄　八三
筭經　一五一
蠶經　一三八
山經表　九八
三絃考　三四・二一四
三絃根元記　三四
山公啓事　一三四・一四七
三江考　一六〇
參考今昔操淨瑠璃外題年鑑　七三
參考書目錄　八
參考太平記　六九
參考圖書の知識　一七
參考保元平治物語　六九
參考本國神名帳集說　四二
三五記　五一・六三
三國遺事　四〇・九八
三國干涉論　一八七
三國紀年表　一四二
三國志　二六五
三國史記　九七・九八
三國志辨疑　一四二
三國職官表　一四二
山谷題跋　一四一
三國通覽　四三
三國通覽圖說　三三
三國典略　一二九・一四七
三國連璧談　七二
珊瑚鈎詩話　一四九
三鈷寺拘留如來緣起　九〇
三鈷寺修造勸化疏　九〇
三才因緣辨疑　二二三
三座家狂言幷由緒書　三三
三才圖會　二五・二六六
山左古文鈔　二五二
山左南北朝石刻存目　一六八
三餐餘興　一七三
サンヂカリズム　一〇九
三七全傳南柯夢　四〇
三十石艠始　一〇三
三十歲記　一九三
三芝居新大改雜書　三八
三芝居役者繪本　三八
三芝居吉原由緒書　四一
三社託宣　七〇
三社託宣略抄　九三
三十五擧　一三三
纂輯御系圖指瑕答辨　一九二
卅五文集　八三
三十三ケ條案文　二一九
三十三番無陀所　三八
三十七八年役大阪每日新聞戰時事業誌　二四〇
三州俗聖起請十二箇條事　九六
三重組織の國家と責任國家論　一一五
三州成瀨園崎隨筆　四三
三十二番職人哥合　五六・六七
卅番歌合　四九・六一・八四
卅六歌撰櫓色紙　三六
三十六人大歌合　四九・六一
三十六人歌仙傳　四六・五八
三十六人撰　四八・六〇
三十六番歌合　四九・六一
三十六番相撲立詩歌　八四
三十六灣草廬稿　二四五
三樹考　二一五
蠶種商法　一一八
三種神寶論　一〇六
蠶種說　一一八
算術及代數　一一三
山書　一四三

蠶書 一三六・一五一・一六七
讒書 一六二
三條演義 一一八
山樵暇語 一三五・二三三
三條家裝束抄 四七・五九
三條家薰物書 八六
三條相國御百首 八四
さんせう太夫 三八
山椒太夫 一八一
三松堂集 二五三
三條內大臣行狀繪詞稿 一九二
三條中山口傳 六八・九二
蠶事要略 一六九
產所之記 五四・六六
三秦記 一三八・一四八
讃人著書墨蹟陳列目錄 一五
三水小牘 一三八・一四三・二三二
三醉人經綸問答 一一七
三遂平妖傳國字評 四〇
纂圖互註禮記 一三三
三聖記 一四六
三星軍傳記 三九
山栖志 一二八
山棲志 一五五
山西通志 二六六
竄正名家敍事 一〇〇
三齊略記 一三九・一四八
三省錄 二一七
三省錄後編 二一七
三節會次第 四七・五八
三絶披露の事 一九七
三世二河白道 七三
殘叢小話 一〇〇
蠶桑說 一六九
三則教の捷徑 一一八
三楚新錄 一四七・一五八
山帶閣集 二五三
三代御記 九四
三體詩評釋 二九四
三代集作者百韻 八五
三代集之間事 五一・六三
三代制符 九四
三代田村 一〇〇
三代鼎器錄 一五一
山中一夕話 二六四
山中懷往詩 二六〇
山中獨語 二六二
山中白雲詞 一六六
三朝史話 二一〇
三朝聖政錄 一四六
三朝名臣言行錄 一三六
三朝野史 一三八・一四六
三諦互融論 一九八
三丁詩文拾遺 二六一
山東京傳一代記 七五
參同契 一三四・一四三
山東考古錄 一五七・一六八・二〇六
山堂五箴 一二一
山堂肆考 二三五・二六六
三塔巡禮記 五五・六七
三塔諸寺緣起 九〇
山東通志 二六六
三道鼎立論 一八八
山島民譚集 一〇七
三德抄 七〇・九五
三內口決 五五・六七
三人懺悔册子 九二
三人冗語 一八〇
三人法師 九二
三年服制考 一三九
三年寄三芝居吉原長吏由緒書 四二
三のしるべ 二一七
三戶系圖 七八
棧橋 一八二
三巴集 一三九
三備詩選 三九
蠶尾集(後集共) 二五三
三百首和歌 四八・六〇
三百篇聲譜 一五六
三百篇鳥獸草木記 一五九
三百六十番歌合 八四
三百六十番自歌合 八四
纂評唐宋八家文讀本 二五二
參府紀行 一〇六
鑽佛乘 七二
三墳 一六三
散文及び韻語の崇高悲壯 一八〇
三墳書 一四二
三兵答古知幾 一七二
三寶院傳法灌頂私記 八九
三寶院傳法血脉 九一
三寶院列祖次第 七七
三寶吉日 九二
三峯集 九八
山房集 一三五
山房隨筆 一四六・一六四
山房拊掌談 一八一
山房放語 一八一
三輔舊事 一三八・一四八
散木奇歌集 五〇・六二
散木集注 五一・六三
三輔決錄 一三九・一三八・一四七
三輔黃圖 一二四・一四八
三輔故事 一三八
懺摩錄 一三八
山密往來 四八・五九
散位源廣綱朝臣歌合 四八・六〇
三夢記 一三〇・一五二・一六一・一六七
山門堂舍 五五・六六
山門堂舍記 五五・六六
殘夜抄 五二・六四
三友棋譜 一三九
山陽遺稿 二九四
山陽外傳 二八二
三養雜記 二一五・二一七・二三三
山陽詩鈔 二四五・二九四
山陽詩註 二九四
山陽死友傳 一二九
山陽・象山・東湖金玉眞蹟 二九八
山陽先生遺光 一七九
山陽先生書後 一七八・二九四
山陽先生題跋 一七八
山陽道美作國古城跡 三八
山陽道名所考 三八
纂餘詞 一六六
三餘贅筆 一三三・一五四
三餘叢談 一〇一・二二八
三餘帖 一四五
三禮口訣 一七〇
三籟集 二五〇
三禮敍錄 一四三
驂鸞錄 一四八・一五九
三柳軒雜識 一三一・一四四
傘笠考 二一四
山陵雜記 一四四
山陵志 一七一
山林經濟 九八・二三五
山林經濟策 一六〇
山林由來說略 一九二

シ

使會津記 一九八
而菴詩話 一三九
字彙 二六六
詩歌合 五〇・六一
ぢいさんばあさん 一八一
自意識の過ぎた藝術 一九六
思詒堂詩藁 二四五
思詒堂文藁 二五一
シーボルト江戶參府紀行 一〇六
シーボルト日本交通貿易史 一〇六
詩韻異同辨 二九二

詩韻含英 二九二・二九三
四隱集 九八
死因統計ニ用キタル職業分類 二六九
施印とポスター 二三八
市營事業 二九〇
シエキスピーヤ筋書 一一九
慈慧大師傳 八〇
慈慧大僧正御遺告 五五・六六
慈慧大僧正傳 四六・五八
ジエルミナール 一九三
史剡 一〇三
鹽井先生遺稿 一〇三
ヂオゲネスの誘惑 一八四
鹽尻 三四・二二八・二三三
鹽尻「蝦夷」之話 四三
志保之里抄 二二三
鹽しり拔書 四四
字音假字用格 一七七・一七八
字音問答案 一九二
爾雅 一二六・一三三・一四〇
佚解 二〇五
詩外傳 一三三・一四〇
死灰の中から 一八六
志怪錄 一三〇・一五二・一六二
子夏易傳 一三八
爾雅漢注 一三三
史學 一一三
字格 一五〇
時學及時刻學 一一一
刺客・劍俠 一九三
字學七種 七一
慈覺大師傳 八〇
自覺談 二三三
寺格帳 九五
史學提要 一三八
詩學逢原 一〇一
仕學問答 一〇一
刺客論幷びに圖表 一九五
仕懸文庫 三三
滋賀縣治一班 二七三
滋賀縣統計書 二七三
筍河集 二五三
梔花拾遺序 一八〇
志賀重昂全集 一九三
志賀重昂全集贊助員芳名錄 一九四
志賀松節一代記 一九五
爾雅小箋 一三五
爾雅新義 一三三
爾雅圖贊 一二四
鹿角郡由來記 九九
使俄草 二五九
爾雅草木蟲魚鳥獸釋例 一三七・二〇三
詩家直說 一五六
志雅堂雜抄 一三一・一四四・一六四・二三三
鹿の卷筆 三四
鹿武左衞門口傳はなし 三七
しからみ 四五・二三三
栅草紙のころ 一八一
栅草紙の山房論文 一七九
しがらみ草紙の本領を論ず 一八一
紫花梨記 一六一
資暇錄 一四三・一五八
史館擬判 二〇四
詞館剩藁 二五六
詩含神霧 一四三
史館劄子 二〇四
式逸 九四
色音論 三四・九三
私擬國憲類纂 一一七
式三獻七五三膳部記 八七
史記十傳 二八二
史記抄 二八二
識小編 一三二・一五四
識小錄 一三五・二〇五・二三三
式亭雜記 七五
式亭三馬自記 二二三
色道大鏡 七五
思綺堂文集 二五一
士氣と修養とに關する哲學的觀察 二九一
鷸翮搔 一八〇・一八一
四季之略畫 四四
史記評林 二五九・二六五・二八二
式部卿邦高親王御集 八四
式部大輔菅原在良朝臣集 五〇・六二
式目聞書 八九
四季物語 九二
支機問談 一七三
巳瘧編 一三八・一五四
詩經 二九一
自敎鑑 一七九
詩經叶韻辨 二〇五
詩經攷異 二〇五
詩經集註 二六三・二九一
詩經稗疏 二〇五
詩經名物辨解正誤 一〇〇
時局と露西亞 二一三
時局の研究 二三五
詩紀曆樞 一四三
四吟百首 八四
司空表聖詩集 一三七
司空表聖文集 一三六
市區改正論略 一八六
市區改正は果して衞生上の問題に非ざるか 一八六
施愚山先生全集 二五三
竺仙和尚天柱集 八三
詩句覇王樹の如し 一八〇
四郡志 九七
紫荊花院排律 一三一
自警箴 七一
自警編 一七〇
史劇及び史劇論の變遷 一九五
史劇に關する疑ひを再び『太陽』記者に質す 一九五
史劇に就きての疑ひ 一九五
史訐 一七三
詩訣 一〇一
滋野氏系圖 七九
滋野氏三家系圖 七九
重之集 五〇・六二
事原 一四三
詞源 一三一・一六六
子元案垢 一五四
慈眼院關白白馬節會次第 八二
自遣往來 九五
四言敎講義 七〇・一〇一
試驗國勢調査の結果 二八〇
思軒居士が耳の芝居目の芝居 一八〇
賜硯齋詩鈔 二四五
邇言志見 一四四
四絃秋 二五七
慈元抄 五五・六七
事言籍 二三三
思軒文の卷端に書す 一八一
思玄庸言 一五三
事言要玄集 二六
詩攷 一四〇
詩稿 二九四
始興記 一四八
謚號雜記 九一
指向性空中線に依る超短波無線二重通信に關する實驗 二〇八
指向性水平偏波の輻射に就て 二〇八
詩廣傳 二〇三・二〇五
啻香物語 一七四
使高麗錄 一二八・一四七
自號錄 七一
自己を失はない程度の新藝術 一九六
詩語玉林 二九四

四國落　七三
四國御發向并北國御動座事　八七
子午經　一五三
事語繼志錄　九四
詩語碎錦　二九四
自娯集　一七〇
自娯集文稾　二五三
四庫全書簡明目錄　二六四
四庫全書總目　七
四庫全書總目提要　八・二六四
四庫全書總目提要四部類敍　一
四庫未收書目提要　二六四
思齋摭言　二六二
止齋先生文集　一三六
砥齋題跋　一三九
止齋題跋　一四一
子歲漫錄　一七五
詩札　二〇四
自殺の分類及び其是非　一九五
自殺論　二七九
自讃歌　四四・八三
自讃哥注　二九四
枝山前聞　一三三・一五四
詞旨　一三八・一五〇
四時園詩集　一〇三
紫芝園漫筆　七四・二三三
詩式　一四九・一五九
自識錄　二〇〇・二三九
師子窟緣起　九〇
自恃言行錄　二八二
事斯語　九七
時事小言　二〇一
時事小說年表　一一九
侍兒小名錄　一三一・一四九・一五九
視志緒言　二九一
志士處世論　一八七
時事新報　二四二
時事新報社のK君　二一〇
時事新報は醫者の何者たるを知らず　一八六
子史精華　二六
子氏選　一五七
時事大勢論　二〇一
資治通鑑　一三三・二六五
資治通鑑外紀　一三六
資治通鑑考異　一三五
資治通鑑釋文　一三六
資治通鑒評　一七三
資治通鑑目錄　一三五
事實と批評　一八七
事實文編　六八
子四天王北國合戰　七四
宍戸系圖　七七
時事年鑑　三一
四時寶鏡　一四八
寺社寶物展閱目錄　九六
時習館學規　一〇三
四十五番哥合　四九・六〇
四州眞景紀行之部　一七一
四十張紙牌說　一六〇
詩集傳名物鈔　七一
四十二國人物圖　一七四
四十二のものあらそひ　九三
四十番謌合　四九・六一
四十六士論　一〇四
四種須知　二六
四述奇　九七
耳順養生錄　一八九
詩序　一四〇
四書　二九一
四書逸箋　一一三
詩鈔　二九四
四條院御葬禮記　五六・六八
四條院御卽位記　八三
慈照院殿御髮置記　八八
慈照院殿御自歌合　五〇・六一
慈照院殿御吟百韻　八五
慈照院殿大將拜賀篇目　八八
慈照院殿年中行事　八八
慈照院殿義政公御集　八四
治承元年公卿敕使記　四五・五七
詩小序　一四二
次將裝束抄　四七・五九
次將拜賀部類　八三
詩訟蒲鞭　一〇〇
四條流庖丁書　五三・六四
自傷錄　二三九
字觸　一三三
耳食錄　一六三・二五七
四書攷異　二〇五
四書講義　一三八
四書講義困勉錄　二六四
詩書古訓　一三三
字書誤讀　一五〇
四書索解　二〇四
四書拾義　一三七
四書集註　二九一
四書章句註附攷　七一
四書是訓　一三七
四書大全　二六四
四書大全說約合參正解　二九一
四書徵　二六四
四書稗疏　二〇五
四書文　二〇三
四書賸言　二〇四
四書賸言補　二〇四
詩詞餘話　一五〇
事々錄　二一九
地震　一八四
詩人玉屑　二六二
地震考　四一・二一四
咫進齋叢書　一三三
侍臣詩合　四七・五九
士人處世論　二〇一
地震の作者　一八四
詩人の二性格　一九五
使淸辨理始末　一一七
指翠堂絕句鈔　二四五
靜岡縣經濟統計　二七六
靜岡縣々治一斑　二七三
靜岡縣人口統計　二八一
靜岡縣統計書　二七三
靜岡縣立葵文庫貴重和漢書目錄　八
靜岡縣立葵文庫和漢圖書目錄　八
靜　一八二
しづか　七三
賤嶽合戰記　八七
閑なるあまり　三四・二一七
賤のをだ卷　三三・三四・二一八
市政關係圖書目錄　八
熾盛光法日記　八九
死生說　一八九
四聲切韻表　一三三
死生譚　一七五
市勢調査談　二六九
施政ノ要義　二〇〇
辭世百人一首　四三
思齊漫錄　二一五・二一八・二三三
自省錄　二〇三
時勢論　一九九
事蹟合考　三三
史籍雜纂　六八
兒世說　一五五
詩說　一三三・一四〇・一四三
師說自見集　八五
侍雪堂詩鈔　二六二
四節八座抄　四七・五九
四世鶴屋南北の傳　一九六
死線を超えた滿鐵　一九三
自然科學史　一〇八

自然科學辭典　一〇九
自然科學者研究　一〇八
自然科學と現代思潮　一〇八
自然主義を論じて我が脚本作家に及ぶ　一八一
自然主義思潮　一〇八
自然神敎及道德學　一一三
四川總志　二六六
自然と人生と國家　二三九
紙箋譜　一五六
師善錄　二三三
詞綜　二五六
思想を管理するの要を講ず　一三一
思想家人名辭典　一〇九
思想關係出版物總攬　八
使奏心得之事　二一九
思想と人格　一〇七
思想文獻年表　一一九
地藏菩薩靈驗記　八九
思想名著解題　一〇九
思想用語辭典　一〇九
使相錄　一七一
詩礎階梯　二九三
氏族博攷　二六六
子孫繁昌の話　一九三
しだ　七三
時代おくれの脚本　一九六
四體書勢　一三九・一五〇
士大夫食時五觀　一五〇
時代不同歌合　四九・六一
支諾皐　一六二
下草　八五
下谷通志　七三
したれ柳　三八
詩談　一四九・一五六
詞壇骨鯁　一〇〇
時談片片　一八一
七一雜報　一一九・二三九
七王女　二〇一
七怪　一六〇
七家詩選　二五六
七勸　一五九
七玉集　四八・六〇
師竹庵聞書　四〇
師竹菴隨筆　二二三
絲竹口傳　五三・六四
師竹軒詩集　二四五
七言今體詩鈔　二六一
七子詩選　二五〇
七十一番歌合　五六・六七
七十五日　三七
七十二候考　一二六
七修類藁　二六
七種寶納記　二一九
七頌堂識小錄　一六一
七大寺日記　九〇
七大寺年表　九〇
七佛藥師御修法記　五四・六六
七佛藥師法現行記　八九
試茶錄　一五〇・一六四
侍中群要　九四
此中人語　一六三・二三三
史籒篇敍錄　一二七
史籒篇疏證　一三七・二〇三
視聽抄　一四五
市町村及水利組合大勢比較圖　二七六
市町村制附理由　二八六
思潮評論　二一一
四朝聞見錄　一四六
七曜右旋辯論　一七四
七曜曆日一卷　一六二
詩地理攷　一四〇
七略佚文　八
七略別錄　八
七略別錄佚文　八
七療　一五九
慈鎭和尙自歌合　五〇・六一
室韋考　二〇三
史通　一三三
質園詩集　二四五
十家牌法　一五四
質疑刪存　一三七
失業經濟　一一六
失業者と其授業制度　二九〇
失業問題　一〇九
實業論　二〇一
實驗論語　一九四
實語敎　七一・九二
十歲以前に讀んだ本　一九七
十才子名月詩集　三八
實際上から見た兒童劇　一九六
執事補任次第　七七
瑟榭叢談　一三八
十種勅問　七〇
十種唐詩選　二五〇
室新詩評　一七〇
執政所抄　八二
實政錄　二〇七
實傳和尙道行記　八二
拾得詩　一三四
實賓錄　一四三
瑟譜　一三三
實用館讀例　一〇一
仕的　一六〇
詩轍　一七五
子姪に俳諧を禁ずるのふみ　三五・四一・一〇五
自傳　八〇
詩傳(元杲)　一四二
芝田記　一四五
詩傳孔子傳　一三三・一四〇
史傳雜纂　一九九
詩傳詩說駁義　二〇四
四天王大田合戰　七三
四天王女大力手捕軍　七四
四天王高名物語　七三
四天王最後　七四
四天王筑紫責　七四
四天王法記　八九
四天王むしや執行　七四
四天王若さかり　七四
芝田錄　一三一
詩と韻文と　一八〇
士道　七一
士道家訓　七一
兒童劇に關する若干の疑問　一九六
兒童劇に對する種々の杞憂　一九六
兒童劇の扱ひ方　一九六
兒童劇の效用　一九六
兒童劇の三種類　一九六
兒童劇の種類及び使命　一九六
兒童劇の進化　一九六
兒童劇の模範實演の必要　一九六
紫桃軒雜綴　二三三
紫桃軒又綴　二三三
梓潼士女志　一三九・一四七
兒童心理學　一一一
兒童生活と其敎養　一一四
思堂先生行狀　一七五
士道美談　七一
兒童問題　一〇九
士道要論　七一
自得語　二三三
寺德集　九〇
使德日記　一六八
至德二年記　七六
至德二年道快僧正拜堂下行物記　九〇
自得流書夜狼煙揚矢傳　四三
四度幣部類記　七五

支那印刷史　二
支那改革論　二〇九
支那開化小史　一九九
支那學　一一三
支那學入門書略解　一一七
支那學文獻の解題と其研究法　一一七
品革威考　一七〇・一七三
支那數學史略　二五八
支那金工に就て　二一三
支那建築と其の裝飾　二一三
支那工藝に關する文獻　二一三
支那國民性と藝術思潮　一〇八
支那國民性とその染織　二一三
支那最近の政情　二一三
支那財政ノ眞相ト其革新策
　ニ就テ　二〇七
支那思想概說　一〇八
支那漆藝の發達と其趣味　二一三
支那時文讀本　二九四
支那處分案　一八七
支那史略　二八二
支那人文思想研究　一〇八
支那新聞論　二四一
支那總說　二八四
支那哲學史　一一〇
支那哲學史要　一〇八
支那陶器の鑑賞　二一三
支那に於ける新聞發達小史　二四〇
支那年鑑　三三
支那の瓦塼　二一三
支那の關稅改正問題　二〇七
信濃國埴科郡桝原庄中條宮
　辨財天由來記　七六
信濃國水內曲橋勸進帳　九三
支那佛教史蹟踏查報告　二一三
支那佛教思想史　一〇八
支那文學史　一一〇
支那文學全書　二九四
支那文藝思潮　一〇八
支那文明史　一一〇
支那法制史　一一〇
支那文字傳來考　一九三
支那文樣の特質　二一三
支那譯の日本書籍目錄　八
指南後錄　一四三
死の研究　一一三
詩の昆蟲　一一六
志の字嫌さとし歌　四三
志能數多禮　一〇三
忍音物語　六九・八六
四宮隨筆　二二三
芝居繪と豐國及び其門下　一九五
戲場樂屋圖會　九九
芝居錦繪集成序　一九五
芝居年中行事　九八
芝居乘合話　七二
詩牌譜　一三五・一五六
芝居町に御觸書　三四
司馬溫公稽古錄　一三四
司馬溫公詩話　一四九
柴田退治記　五三・六五・八七
柴の戶　一〇〇
司馬法　七一・一三三・一三八
司馬凌海と松林飯山　二〇九
士範　一八八
市販三極眞空管の二次電子
　放電射特性　二〇九
紫薇雜記　一四四
紫薇詩話　一四一・一四九・二六四
試筆　二三四
尸媚傳　一六二
詞評　一三八・一五〇
詩病五事　一四九
自評についての異議　一八一
詩品
　一二四・一二九・一三九・一四一・一四九・一五〇・一五九・一六七
詩品二十四則　一四一
詩譜　一三九・一四九
止風雨法記　八九
澀江抽齋　一八三
澁柿　五五・六七
澁川系圖　七七
子不語(續共)　一六三
澁澤榮一全集　一九四
澁澤榮(子爵)一年譜　一九四
四部叢刊　一三三
四部叢刊書錄　八・一三七
事物異名　三〇
事物異名類編　三〇
事物異名錄　三〇・七二
事物紀原　三〇・二六六
事物原始一千題　三〇
詩譜補亡後訂　一六二
紫文蜑の囀　九八
時文刊誤　一〇〇
斯文源流　三四・一〇五
詩文國字牘　一〇一
時文摘紕　一〇一
詩文瀟帖　二九八
紫文要領　一七八
詩文浪談　一五六
咫聞錄　一六四
西伯利亞　一〇七・一一四
時變吉凶閒書　九七
詩辨說　一二三
仕法　一七五
死亡原因第二類別調查報告　二七一
四方指之事　一〇六
詩法纂論　二九五
詩法纂論續編　二九五
詩法掌韻大成　二九五
司法省監獄局統計年報　二七六
司法省刑事統計年報　二七六
司法省登記統計年報　二七六
司法省民事統計年報　二七六
仕法雛形　一七四
芝峯類說　一九・九八・二六二
思補齋詩集　二四五
資本及收入論　一一三
詩本事　一六〇
資本主義經濟と社會主義經濟　一〇九
資本主義の精髓　一一四
島津家記　八八
島津系圖　七八
島津家高麗軍祕錄　八七
島津歷代歌　七八
嶋原天草日記　九四
嶋原一揆松倉記　九四
島原記　四四
島原陣覺書　三九
嶋村君について　一八一
島村抱月　一九七
廓回粹通鑑(シマメグリ)　三八
自慢白島年中行事　一九三
清水千清遺書　二一八
清水宗治事蹟　三九
紙魚のゑじき　四四
蠹魚之自傳　二
紙魚室雜記　二一六
蠹魚破良爲　四四
蠹魚無駄話　二
持明院十卷書　八六
四民月令　一四八
四民用心集　七一
四民論　一八九
誌銘廣例　一三三
紫溟先生遺稿　一〇二
紫溟先生詩集　一〇二
下總國小野織幡地帳　九二
下總國香取社造進注文事　七六

下總國小金中野牧御鹿狩一
　件兩度之書留　一〇四
下總國小金本土寺過去帳　九三
下河邊系圖　七九
下京中出入之帳　九六
耳目記　一二八・一三〇・一四五・一六一
史目表　二〇三
除目抄　四七・五九
除目申文抄　八二
下野龍興開山佛嚴禪師行狀　八一
下間系圖(シモツマ)　七八
しもとのまにまに　一〇六
撞木のまにまに附錄　一〇六
下ノ關償金米國上下兩院議
　事錄　一一七
寺門高僧記　九〇・九一
思問錄內外篇　二〇五
ヂャーナリストの生活及勞
　働條件　二四〇
ジャーナリズム　二四三
ヂャーナリズム感覺論　二四〇
ヂャーナリズム心理學　二四〇
ヂャーナリズム道德論　二四〇
ヂャーナリズムと檢閱制度　二四〇
ヂャーナリズムとセンセエ
　ショナリズム　二四〇
ジャーナリズムの理論と現象　二四〇
釋迦　一九九
社會意識　一〇九
社會遺傳　一一五
社會未だ改まらず銀行焉ぞ
　獨り改まることを得んや　一九九
社會衞生學の概念及方法　一〇九
社會改造の理想と實際　一一五
社會改良ト耶蘇教トノ關係　一二一
社會學　二〇・一一三
社會學概論　一〇八
社會學者研究　一〇九
社會氣運の變化　一九九
社會教育　一〇九
社會局圖書室圖書目錄　一一三
社會經濟學　一一三
社會講談　一九三
社會事業家の精神　二一〇
社會思想家研究　一〇九
社會思想史　一〇九
社會辭典　一〇九
社會主義經濟學說史　一〇九
社會主義批判　一一五
社會狀態學　二七一
社會進化論　一一五
社會心理學　一〇七・一〇九
社會政策學會論叢　二九〇
社會政策二論　一一三
社會政策より觀たる稅制問題　二九〇
社會組織の解剖　一一六
社會的制度一斑　二九〇
社會傳統論　一一六
社會統計學　二六九
社會道德上の共同責任　一〇七
社會統制論　一一三
社會と人物　一九三
社會之經濟的基礎　一一三
社會の心理的解剖　一一五
社會の話　一二一
社會の本質　一〇八
社會文藝概論　一〇八
社會文獻年表　一三〇
社會平權論　一一七
社會保險　一〇九
社會問題　一一五
社會問題概論　一〇九
社會問題雜纂　一三〇
社會問題と教育問題　一〇七
社會問題の改造的解釋　一〇七
社會問題の建設的解釋　一〇七
社會より見たる新聞の使命　二四〇
社會理想學　一一六
社會力　一一〇
社會倫理學　一〇九・一一一
社會論策　一三〇
社會論叢　一九四
しやか八さう記　七三
釋迦牟尼如來像法滅盡之記　一六二
邪教始末　一三〇
射御拾遺抄　八八
詩譯　二〇五
釋家官班記　五四・六六
釋史　一二七
釋氏往來　四八・五九
寂室和尙行狀　八一
釋氏廿四孝　七〇
若州武田系圖　七八
若州湯川彥右衞門覺書　八八
釋常譚　一三一・一四三
寂照堂谷響集　二二三
釋人疏證　一二四
寂身法師集　八五
釋尊寺舊記　七五
酌中志餘　一四二
釋二辨文　二〇四
寂然法師集　五一・六二
酌之次第　八八
釋幣　二〇三
酌并記　八八
釋名　一二三・一三四
寂蓮法師集　五一・六二
寂蓮法師百首　八四
射經　一五一・一五六
社家執事職次第　四六・五八
謝皐羽年譜　一三九
灸轂子錄　一四四
寫山樓記　七三
社寺局廢合論　一八九
謝氏詩源　一四九
寫實劇と素人俳優　一九六
謝氏南征記　九八
柘枝譜　一五一
じやじや馬馴らし　一九四
謝小娥傳　一二六・一五三・一六三・一六七
寫眞鏡圖說　一一三
寫生寫意　一七九
謝選拾遺　二九五
謝宣城詩集　一三四・一六二
煮泉小品　一五六・二六七
社倉私議　七五
煮茶夢記　一五七
社頭御八講日記　七六
遮那業相承血脈譜　一七六
車服制度手記　一七〇
寫本考　八
舍密局開講之說　一一二
沙彌洞然長狀　五三・六五
暹羅紀攷　四〇
暹羅國風土軍記　三五
暹邏國山田氏興亡記　三五
沙門文雄が九山八海解嘲論
　の辨　一七八
煮藥漫抄　二五一
射鷹樓詩話　二五一
射禮私記　五四・六五
洒落本目錄　七三
上海新報　四三
シャンブル・アルダントの
　由來　一八四
壽阿彌の手紙　一八三
耳郵　一六三
拾遺往生傳　八〇
獸醫學汎論　一一一
集異記　一三〇・一五二・一五九・一六二・一六三

拾遺記 一三四・一六三
集異志 一五三・一五九・一六二
拾遺抄 四八・五九
拾遺抄註 五一・六三
拾遺百番歌合 五三・六三
拾遺風體和歌集 八三
拾遺名山記 一三九・一四八
重印蔭艸序 一八〇
重印四部叢刊書錄 八・一三七
周易 一三六・一三三
周易倚數錄(算圖共) 一三七
周易王弼注唐寫本殘卷校字記 一二九
周易音義 二六四
周易會占 一五三
周易外傳 二〇二・二〇五
周易舉正 一四〇・一四二
周易虞氏略例 一三七
周易稽疑 一五三
周易繫辭精義 一三六
周易攷異 二〇五
周易古占 一四二
周易互體卦變考 一三五
周易參同契考異 七一
周易集解 一四〇
周易集解略例 一四〇
周易諸卦合象考 一三五
周易私論 一七六
周易新講義 一三
周易大象解 二〇五
周易通論月令 一三七
周易內傳(發例共) 二〇二・二〇五
周易費氏學 一三八
周易稗疏 二〇五
周易標註 一七六
周易本義辨證 七一
周易略例 一三三・一四二
秋園雜佩 一三三
自由艷舌女文章 一一九
拾芥雜祕錄 四二
集外三十六歌仙 九五
拾芥抄 一一九
集課記 二〇四
從駕記 一三〇・一四六
重學 一一一
十樂菴記 五五・六七
聚學軒叢書 一三七
秀鶴隨筆 七二
十駕齋養新錄(餘錄共) 二三三
秋笳集 一一三
拾菓集 八六
秀歌大略 八三
緝雅堂詩話 二五一
重刊戲曲小說通志序 一八〇
周官指掌 一四二
周官新義 一一三
周官隨筆 二五三
秋淵先生大全文集 一三六
衆議院議員選擧法釋義 二八六
衆議院先例彙纂 二八六
衆議院圖書館和漢圖書目錄(洋書目錄附) 八
集議院日誌 一一七
蹴鞠簡要抄 五三・六四
蹴鞠條々大概 八六
蹴踘圖譜 一五一
蹴鞠之目錄九十九ケ條 八六
蹴鞠百五十箇條 八六
蹴鞠百首和歌 八六
蹴鞠略記 五三・六四
宗教學概論 一〇八
宗教家研究 一〇八
宗教關係文獻年表 一一八
宗教進化論 一一一
宗教眞味 一八九
宗教哲學 一〇八・一一〇
宗教道德の必用 一八八
宗教と科學 一〇八
宗教と樂劇 一九四
宗教と文學 一〇八
宗教の眞諦 一一四
宗教の話 一三一
宗教必用論 一八八
瘦玉詞鈔 一三五
秋玉祕抄 八二
集虛齋學古文 二三一
集虛草堂叢書 一三八
秋錦山房集 二四五
十九世紀科學の進歩 一一三
十九世紀の大勢 一一六
十九世紀末年史 一一三
獸經 一二八・一三八・一五七・一五九
重校鶴山先生大全文集 一三五
集合空中線による指向性 二〇八
重校正唐文粹 一三七
周公年表 一三七
師友行輩議 一三九
集古偶錄 二三三
從吾所好 二・一七三
集古隨筆 二一四
銃後題言七則 一八〇
十五通志全圖 二六六
十五夜哥合 四九・六一
十五夜三首歌合 四九・六一
集古錄 一二八・一五〇
秋齋閒語 一〇一・二二五・二三三
秋齋閒語評 一〇一
修刪阿彌陀經 三五
十三經音略 一三三
十三經詁答問 一三三
十三經註疏 二六四
十三時 一八四
十三洲記 一四七
十三洲志 一三八
十三代集と百錬抄と 一八〇
十三代要略 九一
十三日備嘗記 二五八
廋詞 一三九
修辭及華文 一一三・一一八
修史を論ず 二〇九
修辭學 一一〇
習字敎授案 二〇二
脩史試筆 二六一
十七箇條憲法 五五・六七
十七憲法 七〇
十七憲法和譯 一八八
十七史蒙求 二五八
十七帖述 一五九
修辭通 一七六
秋日陪社壇同詠祈雨百首 四八・六〇
就日錄 一三八・一四五
周氏冥通記 一四一
周尺考 一〇五
周尺說 一〇〇
拾集記 一〇二
重修政和經史證類備用本草 一三六
拾集昔語 一〇二
拾集物語 一〇二
自由主義 一〇九
自由主義如何 一八七
適狗編 一三一
周書 二六五
修城書 二〇七
周書顧命後考 一二七
周書顧命禮徵 一二七
周秦行紀 一三〇・一五二・一六二
修身講話者心得 一九五
修身女訓 二九一
修身入門 二九一
修身奉公訓 一九五
周秦名字解故補 一三八

修身錄 一七九
修身論 一一三
秀水閒居錄 一四六
秋水詩鈔(續集共) 二四五
秀水董氏五世詩鈔 一六一
修靜庵遺稿 一七一
修靜庵遺稿拾遺 一七一
賜遊西苑記 一五四
秋星閣詩話 一三九
聚星札記 一三八
修正派社會主義 一〇九
周生烈子 一三八
修省錄 一〇四
從政錄 一三七・一五三
秋夕夢 一八四
重選徐迪功外集 二四九
集仙傳 一四七
十善法語 七〇
十善略說 七〇
秋邨遺稿 二四五
師友談記 一四三
聚團心理 一一六
羞恥と貞操 一八六
袖中記 一三九・一四三
袖中書 二〇三
袖珍世界年鑑 二七二
重訂擬瑟譜 一四二
重定續三十五擧 二五八
重訂唐詩別裁集 二五〇
周顛仙人傳 一三三・一五七
十道志 一四七
修道指南針 一八九
終南十志 一三〇・一四八・一六一
十二戒 一五九
十二月往來 四八・五九
十二硯齋隨錄 一四〇・二三三
十二支戲文 四二
十二叢書彙刻總目 八
十二の石塚 一一八
十二類歌合 五六・六七
雌雄の起原及進化 二一二
自由の合意 一八六
自由太刀餘波鋭鋒 一一九・一九七
自由の燈 二四二
自由の前觸れ 一八六
自由之理 一一七・二八七
戎幕閒談 一四六
十八家詩鈔 二〇五・二六一
十八史略 二八二
十八大通 七五・二一七
十八世紀以降のフランス化學界瞥見 二一一
十番狂詩合 九三
十番切 七四
十番物あらそひ 九三
周髀音義 一三三
周髀算經 一三三・一三四・一四〇
周髀算經校勘記 一三三
十牂謠 一三九
師友風義錄 二五〇
秋風抄 四八・六〇
修文殿御覽殘卷 二六・二二九
種芋法 一五七
鷲峰開山法燈圓明國師行實年譜 八〇
銃法起原考 一七五
拾補日本後紀 四二
衆妙集 七三・九六
自由民權文獻年表 一一七
宗約歌 二〇七
十友瑣說 一四六
十友圖贊 一五六
柔能制剛論 一九〇
檜林雜話 三五
鷲林拾葉集 九一
集靈記 一五三
拾烈集 九三
住蓮山安樂寺略緣起 四一
十六國畺域志 二〇三
十六國春秋 一三三
十六國年表 一三九
十六湯品 一三〇・一五〇・一六一
重論文齋筆錄 一六四・二三三
柔話 二一九
壽永改元定記 八二
壽永二年轉法輪法記 八九
趣園益智集 二六〇
趣園紀事 二六〇
趣園稽古 二六〇
趣園見聞錄 二六〇
趣園志異 二六〇
趣園詩話 二六〇
壽筵生彩 二五八
趣園八種 二六〇
趣園蓬蹤吟 二六〇
趣園問答篇 二六〇
主客辭 二〇四
儒棋格 一五一
種菊要法 二一四
儒敎哲學概論 一一一
授業編 一〇一
萩園外集 二四五
萩園雜記 一三三・一五四
塾講規約 一三九
夙興語 一三九
鬻子 一三四
祝子小言 一六六
叔苴子內編 一三三
宿曜運命勘錄 九二
肅雝集 一三五
宿盧稿 八三
酒經 一五〇・一六〇・一六四
須溪先生校本唐王右丞集 一三四
樹萱錄 一四五
主權論 一一七
主權論纂 一一七
准后考 一七〇・一七三
准后准三后考 三五・一〇三
殊號事略 四四・一七三
守困日歷 一七一
壽齋記 八七
酒茶論 五三・六四・一〇六
從三位君御年譜略 四三
從三位頼政卿集 五〇・六二
酒爾雅 一五〇
朱子感興詩註 一三三
朱氏經濟學 二八八
朱子周易參同契考異 七一
朱子靜坐說 二九一
朱氏談綺 二二三
朱子年譜 一三三
守字の解 一七一
朱雀しのぶずり 三八
朱雀遠目鏡 三七
酒社芻言 一三九
種樹園法 二八九
種樹書 一二八・一五一・一六九
種々ノ狀態ニ於ケル血中ほるもんニ就テ 二〇七
酒春秋 一二一
朱舜水記念會出品目錄 一五
酒乘 一五〇
主上御元服上壽作法抄 四七・五九
酒小史 一五〇
酒食論 五三・六四
首書三體詩 二九五
酒箴 一五九
主津新集 二二三
主稅局統計年報書 二七六
酒政六則 一六〇

壽帖　二九五
述異記　一三四・一三九・一四八・一五八・一六七
述學　一三六・二六三
出觀集　五一・六二
出家辯　一八九
述古叢鈔　一三八
述古堂藏書目　八・一三
出山異數紀　一三九
出使英法義比四國日記　二五九
出使美日祕崔日記　二五九
述煮茶小品　一五〇
出生當時の死力に就て　二七九
出陣千句　八五
出陣日記　八九
術數記遺　一五三
出世太平記　七三
出發前半時間　一八四
出版月評　二三六
出版年鑑　八
酒天童子　七三
儒道恢復論　一八八
壽藤齋詩　二四五
儒道本義　一八八
種の起原　一八六
硃批增註七家詩選　二三六
主筆に代て大道社主義を辯ず　一八八
硃批六朝文絜　一五八
手臂錄　一五八
酒譜　一五〇・一六四
守撫紀略　一四〇
朱文公校昌黎先生文集(外集・遺文共)　一三四
朱文公文集　一三五
酒餅論　七四
守汴日志　一五八
入木抄　五六・六七
酒名記　一三一・一五〇
酒約　一六〇
塵餘　一五五
主要鄕土誌料展覽會陳列目錄　一六
周禮　一三三
周禮鄭氏注　一二七
周禮補注　一三七
周禮問　二〇四
聚樂第行幸記　四六・五七
聚樂第之行列　四六・五七
聚樂亭兩度行幸日次記　七七
聚樂物語　九一
種蘭訣　一二八
酒律　一五九
儒林外史　二五七
儒林公議　一三一・一四五
儒林瑣記　一四〇
儒林拾要　九二
Schlussbemerkung　一九一
シュレンテルのボルクマン評　一八四
珠樓遺稿　一六三
春闈雜詠　一六九
春雨雜述　一三八・一五四
春霞集　九七
春夏帖　一七三
春華門院御五十日記　五六・六八
春鑑抄　九五
春記　六八・九九
淳熙玉堂雜記　一四一
駿牛繪詞　五六・六七
尊鄕贅筆　一五八
春興　四二
俊傑眞木泉州　二〇九
旬五志　一三三
蓴菜草紙　二一七
春在堂楳文(續・三篇共)　二〇三
春在堂詩編　二〇三・二四六
春在堂詞錄　二〇三
春在堂隨筆　一六三・二〇三・二三三
春在堂尺牘　二〇三
春在堂全書　二〇三
春山倚杖　一〇〇
荀子　一二六・一三三
荀子標註　一七六
春秋　二三七
春秋緯　一四三
春秋運斗樞　一四三
春秋家說　二〇三・二〇五
春秋簡書刑誤　二〇四
春秋感精符　一四三
春秋公羊經傳解詁　一三三
春秋公羊禮疏　一三三
春秋經傳集解　一三三
春秋元命包　一四三
春秋孔演圖　一四三
春秋後語　一四三
春秋合誠圖　一四三
春秋穀梁傳　一二六・一三三
春秋穀梁傳時月日書法釋例　一三三
春秋左氏傳校本　二六三・二九一
春秋左氏傳標註　一七六
春秋左氏傳補注　七一
春秋佐助期　一四三
春秋左傳詁　二〇三
春秋三家異文覈　一三七
春秋三傳異同考　一三九
春秋述義　一三六
春秋條貫篇　二〇四
春秋說　一五八
春秋說題辭　一四三
春秋世論　二〇三・二〇五
春秋占筮書　一六八・二〇四
春秋潛潭巴　一四三
春秋屬辭比事記　一六八・二〇四
春秋傳說例　一六五
春秋稗疏　二〇五
春秋繁露　一三三・一三三・一四三
春秋繁露註釋大全　二六四
春秋文曜鈎　一四三
春秋辨疑　一六五
春秋名號歸一圖　七一
春秋毛氏傳　二〇四
春秋亂賊考　一三八
春秋倫理思想史　二〇二
春笑一刻　一七三
春情浮世の夢　一一九
春宵秋夜談　一〇〇
春渚紀聞　一三一・一四一・一四五
「春色梅開曆」事件　一九七
殉臣錄　一五三
殉身錄　一三八
舜水先生行實竝略譜　九四
春水日記　一七九
詢蒭錄　一五四
俊成卿九十賀記　五六・六八
俊成卿述懷百首　八四
俊成卿正治奏狀　五一・六三
俊成卿文治六年五社百首　四八・六〇
俊成卿萬葉集時代考　八五
俊成卿女集　五一・六三
純正哲學　一一一
春湊記　四一
春窓綺話　一一九・一九七
春巢詩鈔　二四五
春巢詩餘　二五六
春艸堂遺稾　一三三
春草堂三種　二六〇
春湊浪話　九六・一〇五・二一八・二三三
春臺獨語　二三四・二三五・二三六
純炭素鋼の變態點　二〇八
春朝秋夕　一八一
春汀全集　一九四
舜典補亡　二〇三
順德院御琵琶合　五二・六四

順德院御百首　八四
順德院御集　八四
順德院御卽位記　八二
淳和天皇御卽位記　八二
殉難拾遺　二九五
春波樓筆記　一〇三・二二六
春颿遺稿　二九五
純飛館詞續　一六一
筍譜　一五一・一六四
春風情話　一一九・一九七
春風堂隨筆　一三二・一五五・一六六
遻聞錄　一五三
春夢草　八五
春夢獨談　一〇四
春夢錄　一五二
春明退朝錄　一四六
春遊草　一七五
春融堂集　二五四
春林和尙行實　八二
所安遺集　一三五
諸鞍日記　六八・八八
字樣　一二七
淨阿上人行狀　八〇
正安元年五種歌合　八四
正安元年新院兩社御幸記　七七
正安三年大嘗會記　四七・五九
升菴辭品　一五六
祥異記　一五三
乘異記　一五三・一六七
涉異志　一二八・一三二・一五四
定爲法印申文　五一・六三
松蔭吟稿　八三
松陰私語　八七
松陰詩集　一七三
松陰隨筆　二一六
正印禪師行狀　八一
松陰先生遺著　一七二
勝飲編　一三三
賞雨茅屋詩集(外集共)　二四五
紹運記　八八
湘雲瓚語　一三五
筱雲詩集　一四二
商芸小說　一四六
紹運要略　五六・六七
常榮公略譜　九七
貞永式目　五三・六五
貞慧傳　九四
椒園詩鈔　二六三
常緣集　五一・六三
松煙小錄　二六三
賞延素心錄　一六六
上苑梅譜　一〇五
硝煙墨雨記　二九五
涉園漫錄　二三四
貞應弘安式目　九四
紹鷗茶湯百首　八七
貞應二年卅番哥合　四九・六一
貞應二年宗淸法印立願文　七五
小鷗波館詩鈔　二四五
小鷗波館詞鈔　二四五
紹鷗袋棚記　八七
正應四年香取檢田帳　九三
正應六年七月十三日公卿勅使御參宮次第　四五・五七
正應六年太政官牒　七六
松崖筆記　一三七
松崖文鈔　一三七
小華外史　九八
消夏閑記摘抄　一三五・二三三
小學　二九一
少學　一六〇
小學句讀備考　一七〇
小學國語讀本はしがき　一九八
小學國語讀本編纂要旨　一九八
小學紺珠　一四〇
正覺寺御由緒　四三
小學修身訓　二九一
小學新圖　四四
小學中等讀本　二九五
小學讀本　二一八
小學入門　二一八
常樂副史田員宗啓　一六二
正覺普通國師塔銘　八二
小學歷史編纂法　二〇二
正覺樓叢書　一四三
情學は以て科學として立するに足るか　一八一
銷夏雜記　一九〇
松下雜抄　一三五
松花集　一〇〇
承華事略　一三八
松花僻案　一〇三
上下富有の議　一七四
消夏漫筆　二〇二
貞觀公私畫史　一五〇・一五九・一六一
消閑雜記　一〇三・二二八
傷寒總病論　一二七
傷寒百證歌　一三八
傷寒問答　一三八
傷寒六經定法　一三八
傷寒論　一三五
照顏錄　一七二
娼妓畫牒　三七
蒸氣器械書　二八九
紹熙行禮記　一三〇・一四六
上記鈔譯　二八一
銷燬抽燬書目　八・一三三
蒸瀛篇　一一一
承久軍物語　五三・六四
椒宮舊事　一五三
承久兵亂記　八七
承久物語　八七
商業經濟學　一一〇
上卿故實　四七・五九
商業史歌　一九九
情供證據誤判錄　一一八
商業大辭書　三一
商業的露西亞及西比利亞　二一五
商況論　二〇〇
瑣玉集　九一
上宮皇太子菩薩傳　八〇
上宮聖德太子傳補闕記　四六・五八
上宮聖德法王帝說　四六・五八
性空上人傳　四六・五八
將軍家歌合　四九・六一
將軍家百韵　八五
將軍次第　七七
將軍執權次第　四六・五八
將軍宣下記　八八
將軍宣下次第　八八
將軍宣下三拾一度儀不同次第　一七〇
將軍義尙公薨逝記　五六・六八
松溪子　一三九
尙絅堂集・　二五四
松溪漫錄　二六二
昭慶門院御屛風押色紙和歌　四八・六〇
ショウ劇梗概　一九三
衝擊試驗より觀たる二三の避雷器の特性に就て　二〇九
衝擊電壓上昇過度中に於ける火花放電に就て　二〇九
賞月雅草抄　一七三
笙月詞　一六六
承元御鞠記　五三・六四
正元元年東宮御元服部類記　八二
正元元年仁王經法雜事　八九
蕉堅稾　二五四
橡軒隨筆　二三四
正源大夫人御墓誌　二八三
正眼知鑑禪師年譜　八一

正元二年院落書　九三
承元二年東宮御元服記　八三
證驗百條　一三八
省儈錄　一七三
稱光院御卽位記　八三
彰考館藏書目錄　八
彰：館圖書目錄　八
小工業問題　二九〇
常光國師行實　八一
上皇御落餝部類　八九
聖光上人傳　八〇
邵康節先生外紀　一六六
商工地理學　一一〇
紹興内府古器評　一四一
正廣日記　五三・六四
正廣判官地下歌合　四九・六一
松壺畫憶　一六六
松壺畫贅　一六六
相國寺供養記　五四・六六
相國寺塔供養記　五四・六六
相國拜賀部類記　八三
相國歷名　七七
湘湖水利志　二〇四
尙古造紙挿　二一六
上近衞公書　三五・一〇五
蕉齋筆記　二一八
定西琉球物語　四三
常薩見聞談　二八四
常山紀談　二八二
焦山紀遊集　一一三
蕭山縣志刊誤　二〇四
焦山古鼎考　一三九
象山雜說　二二四
象山淨稿　一七三
湘山星移集　八七
象山全集　一七三
常山先生詩集　二九五
象山先生詩鈔　一七三
象山先生全集　一三五
丈山夜譚　一〇〇
湘山野錄(續錄共)　一四一
常山樓筆餘　一〇一・二一五
湘山錄　一四七
商子　一三三
情死　一八一
嘯旨　一三〇・一五一・一五九・一六一
焦氏易林　一三三・一三七・一三四・一四〇
小爾雅　一三三・一三六・一四二・一五八・一六六
貞治改元定記　八三
小四海堂叢書　一七三
小爾雅義證　一三七
小爾雅疏證　一三三
庄司家譜　二一九
常識善惡圖表　一九五
正直咄大鏡　三七
涉史偶筆　一九八
常侍言旨　一三〇・一四六・一六一
小兒語　二〇七
貞治三年春日御動座記　七六
貞治三年舞御覽記　八六
貞治七年宮田前大宮司家領記　九二
小四書　一三八
涉史隨筆　一六〇・一六四・一九八
正治奏狀　五一・六三
正子內親王繪合　五〇・六一
蔣氏日錄　一四五
正治二年院御百首　八三
貞治二年御鞠記　五三・六四
正治二年十月一日歌合　八四
正治二年第二度百首和歌　四八・六〇
情死の統計的研究　二七九
焦氏筆乘　一二一
蔣子文傳　一二六・一三〇・一六三・一六七
常州江戶系圖　七九
將就園記幷詩　一三九
淨宗護國論　七〇
常住寺佛舍利記　九〇
譙周法訓　一四七
淨修坊雜日記　九二
上壽拜舞記　一三〇・一四六
小酒令　一五六
尙書　一三三
尙書引義　二〇三・二〇五
至要鈔　九二
瀟湘怨詞　二〇五
條々聞書貞丈抄　九四
惺々曉齋繪日記　三六
常照愚草　八八
鍾情集　二三六
少將申慶次第　八三
上庠錄　一四六
笑笑錄　一六三
瀟湘錄　一二八・一三〇・一四五・一六一
尙書學　三五
尙書義攷　一三七
尙書誼略(敍錄共)　一三八
尙書故　二〇六
尙書廣聽錄　二〇三
尙書考靈耀　一四二
尙書故實　一二九・一四五・一六四
尙書釋音　一三六
尙書釋文　一三五
尙書旋璣鈐　一四二
尙書大傳　一三三
尙書大傳定本　二二〇
尙書大傳補注　一六八
尙書中候　一四二
尙書帝命期　一四二
貞治四年諒闇終記　九三
尙書補傳　九八
尙書餘論　一三三
尙書隸古定釋文(經文共)　一三七
小自立齋文　一六一
貞治六年中殿御會記　五一・六三
賞心樂事　一五五
精進魚類物語　五六・六七
證心錄　二〇六
澠水燕談錄　一三〇・一四六・一六四
小睡足寮詩錄　二四五
觴政　一二八・一五六・一五九・二六七
傷逝記　一五五
小星志　一六〇
觴政述　一五〇
椒生隨筆　二三三
情勢論　一一八
小石山房叢書　一三八
小石帆亭五言詩續鈔　一一三
小石帆亭著錄　二五一
小說舊聞記　一三〇・一四六・一六一
松雪齋文集(外集共)　一三七
小說神髓　一二一・一九七
小說中人物の模型　一八〇
小說明妃傳殘卷　一六二
邵潛夫先生詩選　二四六
笑禪錄　一三三・一五七
正倉院御開封勘例等御尋之日記　九六
正倉院御開封記草書　九六
正倉院御寶物目錄　九六
正倉院寶物御開封事書　九六
蕉窓永言　七四
松窗快筆　一三八
上相君白川侯書　四三
松窓寤言　一五三
松窓雜記　一三〇・一四六
松窻雜錄　四一・一二五・二三四
小倉山房外集　一四一
小倉山房詩集　一四一
小倉山房尺牘　一四一
小倉山房文集　一四一

小窓清紀　二三三
蕉窻文草　七四
蕉窓漫筆　二三四
蕉窓夜話　九二
小滄浪詩話　二五一
消息往來　九五
裝束雜事抄　四七・五九
裝束色彙　九三
消息耳底祕抄　四八・五九
裝束抄　四七・五九
裝束圖式　八三
細素雜記　一四四
ショー其人及び其作　一九八
正體　一八五
上代衣服考　二一六・二八二
粧臺記　一四九
上代石器考　一九二
昭代選屑　七三
昭代叢書　一三九
昭代名人尺牘小傳　一三八・二五八
章臺柳傳　一二六・一三〇・一六三・一六七
樵談治要　五五・六七
小畜外集殘本　一三七
小畜集　一三七
松竹問答　一〇三・二一八
松竹幽居小藁　二四六
松竹幽居第二集　二四六
定智禪師行狀　八一
淨智第四世法海禪師無象和尙行狀記　八〇
湘中怨詞　一六一
正中御飾記　六八・七五・九七
湘中記　一三九・一四八
掌中群書一覽　八
掌中桂園一枚　二九五
湘中草　二五四
掌中增補詩礎階梯　二九三
掌中萬國一覽　二〇〇
掌中要錄　八六
掌中要錄祕曲　八六
掌中歷　九二
昭忠錄　一二二
正長元年記　九一
勝朝彤史拾遺記　二〇四
松亭行紀　一五七
勝定國師年譜　八一
嘯亭雜錄(續錄共)　一六三・二五八
招提千歲傳記　九五
松亭漫筆　二一五・二一八・二三四
誦荻齋曲　二五七
正徹百首　八四
小腆紀年坿攷　二五九
正統下南海和尙傳　八一
上東門院菊合和哥　五〇・六一
紹陶錄　一四五
淨土數版の研究　一一
常德院畫像贊竝序　九四
常德院殿御髮置記　八八
常德院殿御集　五〇・六三
常德院殿樣御馬召初らるゝ事　五三・六五
消毒雜說四則　一八五
昭德新編　一四四
昭德先生郡齋讀書志　六・八
聖德太子御記文　一八八
聖德太子御像辨　一九二
聖德太子傳私記　九三
聖德太子傳曆　八〇
聖德太子と惡魔　一九四
正德追善會我　七二
正德年號辨　一七〇
正德四年金銀後代御條目　四一
淞南夢影錄　一六三
淨土法門源流章　八〇
小兒死亡統計表　二七九
商人一枚起請文　七一
少年ヱルテルの憂　一八〇
少年學士序　一八〇
少年裁判及監視制度　一〇七
少年時に觀た歌舞伎の追憶　一九七
少年時代の蘇峰君　二一〇
少年讀書家のために　一九五
少年と道德　一一四
少年文學序　一八一
少年文集の評者　一八〇
少年論　一八七
小農保護問題　二九〇
商賣往來　九五
松漠記聞　一四七・一五八
宵柏獨吟觀世音名號百韻　八五
紹巴富士見道記　五三・六四
小半斤謠　一六〇
薔薇　一八四
消費を縛る力　二一〇
消費組合論　一一五
娼妃地理記　三七
小票式統計製表法　二六九
商品改良會報告　二八九
小品考　二一五
淞濱瑣話　一六三・二三三
松風閣詩鈔　二四六
勝福寺鑄鐘勸進帳　九〇
聖福寺佛殿記　五五・六六
小浮山人閉門集　二四六
小浮梅閒話　一六三・二三三
尙武論　一八七
章文穀公詩集　二四六
小文規則　二九五
謏聞瑣錄　二六二
昌平遺響　二九八
昌平學校釋奠式幷御祭供　一〇五
昌平山水記　二〇六
昌平叢書　七一・七二
昌平叢書目錄　八・七一・七二
昌平茗談　一〇〇
勝寶院門跡列祖次第　七七
松峰山淸音寺略緣起　四一
商法修正案　二八六
聖寶僧正傳　八〇
商法汎論　二一〇
商法篇　一九二
正法論　二〇〇
城北集　二五四
上木自由之論　二一七
小謨觴館全集　二五四
小謨觴館文集　二三二
正本と臺帳と　一八〇
稱名院右府藏人頭奏慶從事次第　八三
稱名院右府七十賀記　五六・六八
稱名院殿句題御百首　八四
聲明源流記　九五
唱名記　一四七
蕭鳴草　二四六
彰明附子記　一五一
小名錄　一三〇・一四九・一五九・一六一
將門記　四〇・五三・六四・一〇四
聲文私言　一〇一
匠門書屋文集　二五四
蕉門頭陀物語　四一
章門萍約詩選　二五〇
條約改正論　二一七・一八七・一九九
條約十一ヶ國記　二〇〇
醬油集說　二一五
小遊僊集　二四四
逍遙遺稿　二五四
逍遙院內府藏人頭拜賀次第　八三
逍遙印譜　一九八
襄陽耆舊傳　一四七
小容齋詩鈔　二四六

小羊子が白日夢　一九八
常陽四戰記　八七
逍遙子と烏有先生と　一七九
逍遙子の朗讀說　一八〇
襄陽守城錄　一三三
逍遙選集　一九四
逍遙選集の刊行に就きて　一九八
逍遙著譯年表　一九七
逍遙年譜　一九七
將來の煖室爐　一八六
常樂記　五六・六七
條里圖帳考　一七七
商律　一一八
焦里堂先生軼文　一二六
承曆元年法勝寺供養記　九〇
昭陵六駿贊辯　一三九
淨瑠璃譜　三三・三四
淨瑠璃本目錄　二一九
昌黎雜說　一四五・一六七
松嶺秀禪師行狀　八一
昌黎先生詩增注証訛　二四六
昌黎先生文集　一三四
青蓮院門跡系譜　七七
宵練匣　一五三
勝蓮社約　一五六
粧樓記　一三〇・一四九・一六一・一六七
粧樓摘豔　二五〇
上薦老女　四四
小廬石詩幷序　八六
松窩雜說　二一四
笑話書目　七三
承和二年東寺領國判　九二
貞和四年記　九一
書苑菁華　一三八
女誡　一四九
女誡國字解　一七一
書儈贅筆　二・二一六
書畫金湯　一五六
女學　二六一
初學課業次第　五・一〇一
初學記　二六
初學訓　一七〇
書學筌　一〇一
初學知要　一七〇
書學答書　一七〇
初學備忘　二〇六
書畫史　一二八・一五六・一六六
書賈集覽　二
書畫所見錄　一五八・二六一
書畫說鈴　一六六
書簡故實　八八
渚宮故事　一四三
書經蔡傳渾天儀圖攷　一〇〇
女俠傳　一三一・一五五
書經稗疏　二〇五
書經標註　一七六
書經補遺　一二五
觸穢考　一七六
觸穢問答　一七六
職員令　二八六
植學啓原　六九
職官志　一七一
續紀宣命問目　一七八
職業調査の必要　二六九
職業調査類別法　二六九
續紀歷朝詔詞解　一七七
織錦璇璣圖　一四九
蜀錦譜　一五一・一五九
食經　一五〇
職原鈔　四六・五八
蜀山集　一七三
蜀山人全集　一七三
蜀山百首　一七三
蜀山文稿　一七三
食色紳言　一六六
職事補任　四六・五八
蜀秀集　二五六
職事要　八二
植杖閒譚　一三一・一四四
職事要愚抄　八二
蜀石經毛詩攷異　一六三
蜀牋譜　一五一・一五九
蜀中詩話　一五六
食珍錄　一五〇
食堂　一八二
蜀檮杌　一四七
蜀道征討比事　一四六
蜀都雜抄　一三八・二六七
蜀難敍略　一六四
續日本後記長歌訓點　一七八
職人歌仙　九三
職人盡歌合　六七
食譜　一三〇・一五〇・一六一
植物榮養論　一〇九・一一〇
植物學　二九二
植物學啓蒙　一四三
植物學新論　一一〇
植物綱目　一一一
植物生理學　一一一
植物妖異考　一〇七
蜀碧　一六三
植民政策　一一四
殖民政策汎論　一一一
職名錄　二八二
食物製方　一一三
食物服用之卷　八七
食物篇　一一二
食物論　一一一
食料米及一人平均分配量　二七六
食糧問題　一〇七
女訓　七一・一七二
諸君詩集　二九五
諸藝方代物附　九二
鋤經書舍零墨　一六三・二三三
諸藝袖日記　一〇三
諸家軍器拔萃　四四
諸家參會記　八八
諸家仕法　一七五
諸家隨筆集　九六
初月樓古文緒論　二五四
初月樓四種　二五四
初月樓詩鈔　二五四
初月樓聞見錄(續聞見錄共)　一四〇・一六三
初月樓文鈔　二五四
初月樓文續鈔　二五四
諸家點圖　五六・六七
諸家文集　二九五
緒言　一一三
書言故事大全　三〇
女孝經　一四〇・一四八・一五九
除紅譜　一五一
徐公文集　一三六
徐孝穆集　一三四
女紅餘志　一五七
書後緣起　二〇四
諸國御關所覺書　九五
諸國御關所規定　四三
諸國鍛冶系圖　九二
諸國鍛冶寄　九二
書國巡禮記　二
諸國旅雀　二八四
諸國統計官廳一瞥　二六九
諸國盆踊唱歌　三四・七三
諸國里人談　二一八
敍古千文　一一三
書齋快事　一六〇
書齋感興　一九八・二三九
庶齋老學叢譚　一六四・二三三
書札作法抄　四八・五九

書札禮　四八・五九
書史　一五〇・一六四
書誌　二三六
助字雅　三五・一七二
書誌學　二三六
諸子紀事鈔　二九五
女子敎訓書　一五五
諸寺奇物記　一八八
諸寺供養部類　九〇
女子參政蜃中樓　一一九
諸司職掌　八二
書肆說鈴　一三三・一五四
諸史然疑　一六一・二六〇
所思斷片　二〇二
書字動作の實驗的研究　二三八
女子の衞生　一八五
書誌ノ書誌　八
徐氏筆精　二三三・二六七
諸子平議　二〇三
助辭本義一覽　一七四
諸社禁忌　七六
助辭譯通　二九三
書寫山行幸記　四六・五七
書寫山十地坊過去帳　九三
諸宗階級　九五
諸宗勅號記　九一
書集傳纂疏　七一
諸州めぐり　一七一
書蕉　一六六
女粧考　二一四
女丈夫　一八四
抒情錄　一四四・一六四
諸職往來　九五
諸寺略記　九〇
女性　二三七
處世小訓　一九三
徐整長曆　一四七
處世哲學　一一一
女性とヂャーナリズム　二四〇
徐星伯說文段注札記　一二四
書籍裝釘の歷史と實際　二
書說摘要　七四
茹草紀事　一五一
初祖道元禪師和尙行錄　八〇
初代櫻田治助の傳　一九六
書大體　九六
所帶票記入心得　二六九
諸大名衆御成被申入記　五四・六五
諸大名出仕記　八八
諸大名紋記　四四
書斷　一五〇・一六四
徐廸功詩集　二四九
徐廸功外集　二四九
書傳輯錄纂註　七一
書傳正誤　一五三
諸問屋再興調　六九
諸道勸文　五三・六七
初等敎育に於ける演劇　一九六
女德寶鑑　二九一
徐都講詩　二〇四
汝南先賢傳　一四七
初任大臣大饗雜例　九三
處蕃趣旨書　一一七
諸藩藏版書目筆記　五・八
書評　一二九・一五〇・一六四
書品　一三四・一三九・一五〇・一五九・一六五
書品優劣　一五〇
書譜　一五〇・一六四・一七一
書法　一三〇・一五〇・一五九・一六一
書法正傳　二九五
書法約言　一三九
諸法要略抄　八九
書本草　一六〇
庶民金融難と其の改善　一〇九
助無智祕抄　四七・五九
書目集覽　八
書目答問　九・二六四
書物往來　二三六
書物春秋　二三六
書物その起源と發達の物語　二
書物展望　二三六
諸門跡譜　四六・五八
除夜父師朋友の靈を祭る文　一九〇
庶有編　一七九
如蘭社話　二一九
諸陵雜事注文　六八・九七
書林外集　一二五
書林淸話　二
書林揚觶　二
初例抄　五四・六六
女論語　一四九
ジョン・ガブリエル・ボルクマン　一八四
白絲割符由緒書　六九
白老コタンのアイヌの生活　二一二
白髮集　八五
白河記行　八六
白河殿七百首　四八・六〇
白川御堂供養記　九〇
白川結城系圖　七九
白河結城氏歷世事實　九六
白河樂翁公傳　一〇一
志羅幾久　四四
新羅社服忌令　七六
刺絡　一八四
シラノ・ド・ベルジュラック　一八一
シラノ・ド・ベルジュラック序　一八一
調高矣洋絃一曲（シラベハタカシギタルラノヒトフシ）　一八四
白峯寺緣起　五五・六六
知られざる國々　一九四
絲亂記　六九
尻口物語　一〇三
詩律兆　二五一
史略　一一七
使琉球紀　一五七・一六八
しりうごと　一〇二・二一八
次柳氏舊聞　一三九・一四五・一六一・二六七
史料　二八三
思陵書畫記　一三一・一五〇
史料目錄　三四
死力・死亡係數及び中央死亡率に就て　二七九
志林　一四四
字林　一五〇
詞林韻釋　一三三
詞林舊稿　二九五
事類統編　二六
驗の杉　一七六
シルレルが醫たりし時の事を記す　一八一
四禮權疑　一三三
四禮疑　二〇七
士禮居黃氏叢書　一二七
士禮居藏書題跋記續　二・一六八
四禮翼　二〇七
白　一八五
しろあらし　二〇一
次郎百首　四八・六〇
四六餘語　一五〇
賜蘆書院藏書目錄　九
詩論　一四九
時論一束　一八七
時論及思索　一九九
史論及史傳　一九九
史論四派　一九七
志和軍戰記　九九
詩話雋永　一五〇
詩話總龜(後集共)　一三七
新安手簡　二九五
新安先集　二三〇

神異經　一三四・一三九・一四八・一六六
人員運動調心得書及雛形草案　二六九
壬寅新民叢報全編　二二一
新院姫宮御行始記　五六・六八
壬寅編　二四六
新浦島　一八四
神詠　一〇四
新英學論　一九〇
清英交際始末　二〇〇
身易　一三九
眞惠上人御定　九一
新演劇の現在　一九六
宸垣識略　二八四
新燕石十種　六八・七二
園心叢刻　一四〇
深奥山方廣開基無文選禪師
行業　八一
人海記　一四二
神階記　一七六
心畫軌範　一七〇
新樂劇論　一九四
神學承傳記　九三・一〇一
新學書目提要　九
人格の生活　一〇七
人格養成論　一一四
沈下賢文集　一二四・一三六
岑嘉州詩　一二四
新型超短波用受信機に就て　二〇九
尋花日記　一三九
進化の意義　一一四
進化の話　一三一
新嘉坡風土記　一六八
愼夏漫筆　二二四
進化論　一〇八・一二一
申鑒　一二四・一三三
新刊王氏脈經　一三六
秦漢瓦當文字（續共）　二五八
神官教職兼否論　一八八
人間詞話　二〇三
新刊節用集大全　三一
心關大禪師祖道履歴之記　八一
新刊圖書雜誌月報　二三六
新カント派社會主義　一〇九
臣軌　三三
神祇官行幸御列帳　一一六
神祇官再興論　一八八
神祇官年中行事　四七・五八
沈歸愚詩文全集　二五四
神祇訓　一七〇
新儀式　四七・五八
神祇拾遺　七六
人紀振肅論　一八九
神祇正宗　七六
振綺堂叢書　一四〇
神祇道服紀令祕抄　七六
清議報　二三七
新脚本「生田川」に就いて　一八一
新脚本と其前途　一九六
新舊過渡期の回想　一九七
新舊過渡期の文學　一九七
鍼灸甲乙經　一一三
新舊雜誌展覽目錄　二三六
清宮詞　一四〇
神境記　一四八
心敬紀行　一〇六
信行綱領　七〇
心敬集　八五
心敬僧都十躰和歌　八四
心敬僧都庭訓　八五
心敬僧都百首　八四
神教要旨略解　二一八
人鏡論　九二
しんきよく　七四
新曲浦島　一九四
新曲赫映姫　一九四
眞曲抄　八六
仁義略說　一〇一
神祇靈應記　九三
沈寄廬詩文集　二五四
愼機論　一〇一・一七一
呻吟語　二〇七
清吟堂集　二五四
新近問答　一七〇
仁空置文　九一
神宮雜例集　四五・五七
新宮撰歌合　四九・六〇
神宮祕傳問答　九三
神宮文庫圖書分類目錄　九
神宮文庫圖書目錄　九
新群書類從　七三・七四
心經　二〇三
信景翁撰書目錄　四四
新經濟學　一一六
新刑法草案　二八六
信玄家法　五三・六五
人賢記　八八
人權新說　一一七・一二一
人權新說駁論集　一一七
進賢說　一三九
眞軒先生舊藏書目錄　九
眞源大照禪師龍山和尙行狀　八一
新語　一三四・一三三
人口救窮及保險　一一三
新興國文藝思潮　一〇八
眞香雜記　二三三
眞誥新釋　一〇六
新校正珍貨圖鑑凡例　一〇一
信仰叢書　七〇
榊巻談苑　一〇四・二一五・二一八・二三四
晉公談錄　一六四
人口統計及社會問題　二六八
人口統計材料統計小票取扱
手續竝同記入心得　二六九
人口統計大意　二六九
人口統計ノ方法及技術　二六九
人口動態統計調査手續　二六九
人口動態統計略說竝死因統
計略說　二七九
人口動態ニ關スル統計材料　二七二
人口問題　一〇九
人口問題と產兒調節及優生
學　一〇九
新公論　二三七
新古今集美濃の家つと　一七七・一七八
新古今和謌集竟宴倭歌　四八・六〇
新國際良心　二一〇
清國商業地理　二一一
新刻書目便覽　九
新刻百錢譜　二一四
新國民演藝としての英米の
ページェント　一九六
新御式目　八八
神護寺舊記　九〇
神護寺略緣起　四一
人虎傳　一六三
眞言血脉　九一
眞言諸山符案　九一
眞言烈祖表白集　八〇
仁齋日札　三五
眞西遊記　一〇三
新策　二八七
新作脚本と舊俳優　一九六
新札往來　八三
新猿樂記　四一・四八・五九
深山和尙行狀　八一
新三十六人撰　四八・六〇
新纂童蒙必用品數　三〇
愼子（補遺・逸文・校語共）　一三三
神璽三辨　一七六
晉史乘　一四七・一五八・一六三

神子禪師行實　八〇
神子禪師年譜　八〇
人事訴訟手續法案　二八六
新時代　二三七
新時代叢書　一〇七
新時代に對する藝術の職能　一九六
新時代不同歌合　四九・六一
進士題名碑錄　二五九
任氏傳　一六三・一六七
神社私考　一七六
神社便覽　九三
心中　一八二
信州滋野氏三家系圖　七九
神習舍玉篦目錄　九
新修鷹經　五三・六四
新十二月往來　四八・五九
新修本草（補輯共）　一三三
心中萬年艸合評　一八一
心中操の相知濕　四三
心珠詠藻　八五
人種改良學　一一四
仁壽鏡　九一
新塾月誌　一一九・二三九
壬戌紀行　一七三
壬戌羇旅漫錄　二二六
神儒佛三道者の責任　一九〇
人種篇　一一三
人種問題　一〇七
心書　一四三
晉書　二六五
新序　一二四・一三三
新書　一二四・一三三
新抄格勅符抄　九六
眞娘墓詩　一六一
新城錄　一四七
眞如室詩　一六一
進書趣意書幷目錄　一七一
神女傳　一三六・一六三・一六七
秦女賣枕記　一三九
晉書補傳贊　二六〇
進書目錄　一七一
新詩料　一八〇
晉司隸校尉傅玄集　一三四
愼思錄　一七〇
辛壬癸甲錄　一四〇
新眞公法論竝附錄　一一九
壬申政表　二七六
清人說薈　一四〇
清人答問覺書　二二四
壬辰日記　四〇
壬辰封事　一七四
人心論　一一三
人瑞錄　一三九
人性　二三七
新齊諧　一四一
人生觀の檢討　一九〇
眞西山全集　二〇三
人生四季　一九五
眞政大意　一一七・二八七
眞正哲學無神論　二〇〇
人生と道樂　一九五
人生の瑣事　一八〇
人性の自然と吾邦の前途　二一〇
身生餘譚　一七五
人性論　一一三
深雪偶談　一三一・一四四・一五八
神仙　一九三
新鍥煙波釣叟奇門定局　一六六
新撰應用重學　二一一
新撰解析幾何學　二一〇
新撰幾何學　二一〇
津川紀聞　二二四
新撰座主傳　九四
新撰三角法　二一〇
新撰算術　二一〇
新撰字鏡　五六・六七
新撰事蹟通考　一〇三
新撰姓氏錄　五五・六六
新撰髓腦　八五
新倩籍　一三二・一五五
震川先生集（別集共）　一三六
新撰代數學　二一〇
新撰長祿寬正記　五三・六四
新撰筑波祈念百韵　八五
新撰苑玖波集　九六
神仙傳　一三六・一三九・一四七・一六六
神僊傳　一二三
新撰動物學　二一〇
新撰年表　二八三
眞善美日本人　一一九
新撰百科全書　一〇七
新撰萬葉集　五一・六三
新撰要記鈔　八六
新撰類聚往來　八三・九三
新撰朗詠集　五三・六四
新撰六旬集　九三
新撰六帖題和歌　九五
新撰和歌　四八・六〇
腎臓炎ニ因ル死亡統計　二七九
人像畫法　一一八
秦箏相承血脈　五二・六四
心宗禪師行狀　八二
申宗傳　一三〇・一六二
神僧傳　一三九・一五三
深窓秘抄　四七・五九
心相百二十善　一三九
新增補浮世繪類考　二一七
新增幼學故事瓊林　三〇
眞俗交談記　五六・六七
眞率筆記　一四五
新尊皇攘夷論　一九〇
人帶　四四
神代紀髻華山蔭　一七七・一七八
神代教義解　一〇六
新待賢門院七七忌御願文　五六・六八
新體詩抄　二一八
新體詞選　二一八
新體詩談　一八〇
晉泰始笛律匡謬　一三七
新體支那歷史を讀む　一九九
神代正語　一七七・一七八
神代直語　一七四
神代の治療法　一八九
神代巻口訣　七〇
津逮祕書　一四〇
心太平庵隨筆稿　二一四
神代餘波　二二一
震澤紀聞　一三二・一五四
震澤長語　一三二・一五五
信達勝跡一斑　四一
新玉津嶋社歌合　四九・六一
心地觀經報恩品　七〇
人畜裁判　一八九
新竹州立新竹圖書館分類目錄　九
新秩序の創造　一八六
晉中興書　一四七
秦中歲時記　一四八
新徵組目錄　二一九
清朝國號考　二一〇
信徵錄　一五八
新著聞集　二一七
新知錄　一三二・一五四
心底抄　九二
進呈之案　一七〇・一七二
ぢんてき問答　二二四
塵滴問答　九二
新添江戸之圖　三七
塵添壒囊鈔　一九
心田詩藁　八三
新田十憶圖詠　二六〇

新天地　三七
神典讀法の祕訣　八九
神典問答　八八
新獨逸の行くべき道　二一〇
臣道　一〇六・一七七・一九七
神道　一〇六
神道を論ずる書牘　八八
神道擴張論　八八
神道肝要集　七六
人唐記　八八
神道國教論竝序　八八
神道者の妄見を破す　八八
新唐書糾繆　一四三
神道生死之說　九三
神道葬祭濟口證文寫　四三
神道叢說　六六
神道大意　七〇
神道統一合同檄文を讀む　八八
神道答義　八八
神道獨語　三四・七〇
神道之歌　二九八
神道の由來を說明して新神道者に忠告す　八八
神道の要義を明かす書牘　八八
神道碑銘　二〇四
神道辨　一七四
神道辨草　九四
神道本義　八八
神道本義辯　八八
神道本體論　一八八
神道問答　七〇
新板大坂之圖　一八八
新板ちよんかれほこりたゝき　四三
新婦譜補　三六
人譜補圖　一五九
新婦譜　二〇〇
新舞踊劇の試演に就いて　一九四
新聞及新聞記者　二四一
新聞界人物評傳　二一〇
新聞學　二四一
新聞學概論　二四一
新聞學全書　二四一
新聞記者及び歷史家として　二一〇
の蘇峰先生　五四・六六・八九
新聞記者としての司馬遷　八三
新聞記者と新聞　一九八・二四〇
新聞經營論　二四一
新聞經歷談　一九七・二四二
新聞研究室研究報告　二四〇
新聞研究所報　二四一
新聞雜誌　一八一・二四一
新聞雜誌の作り方と讀み方　一八九
新聞雜誌貼込帖　二三六・二四〇
新聞雜誌評判誌　一九七・二四二
新聞紙開明鑑記　二四〇
新聞紙研究　二四〇
新聞紙講話　二四〇
新聞紙實歷　一二九・二四〇・二四二
新聞紙上の露西亞　二四一
新聞紙と文章道　二一〇
新聞紙ニ關スル制度ノ比較研究　二四一
新聞紙になるまで　一九八
新聞紙の內外　二四一
新聞紙販賣の科學的研究　二一〇
新聞時務一家言　二四一
新聞重要記事日錄　二四一
新聞小說鑑裁の標準　一九八
新聞事略　二四二
新聞製作展覽會の記錄　二四一
新聞全集　二四一
新聞總覽　二四一
新聞そのをりをり　一九七
新聞通信に就て　二一〇
新聞展望臺　二四一
新聞と社會　二四二
新聞について　二一〇
「新聞に就て」に就いて　二一〇・二三九
新聞日誌　二四一
新聞になるまで　二四一
新聞年鑑　二四一
新聞遍路　二四一
新聞名鑑　二四一
新聞歷史　一一九
新平民回天談　二〇〇
新編金置要略方論　一三六
新編金瓶梅　三七・四〇
新編金瓶梅五集篠默桂三評　四〇
新編金瓶梅第六輯默老評　四〇
神變神通辯　一九〇
新編追加　八八
新編錄鬼簿　一九九・二〇三
新豐酒法　四五・五七
神鳳鈔　一九三
進步乎退步乎　一九六
新民衆藝術の發祥地として　一九六
の大阪　一九六
新民衆劇を起さんとする理由　一九六
新民叢報　二三七
新民約論　二二二
神明鏡　九一
人名考　三五・一〇三・一七〇
新名所繪歌合　四九・六一
新名數　三〇
神名帳　七六
神名帳考證　一七六
神名帳考證土代附考　四五・五七
神馬引付　三八
新文字ゐつくし　一四四
晉問　一六三・二六五
津門雜記　二五〇
津門詩鈔　二四六
津門徵獻詩　一八〇
新譯源氏物語序　一二三
新譯大方廣佛華嚴經音義　二二九
新役龍の庖丁　一三二・一五四
幸野棄聞　七五・二一八
幸野茗談　一七〇
新野問答　八六
辛酉記行　一四五
淨陽記　一四七
晉陽秋　九六
新吉原細見記考　三四
新吉原定書　三三
新吉原略說　二一四
震雷記　八〇
親鸞傳繪　一二八
眞理易知　一〇八・一一〇
心理學　一〇〇
神力丸漂流記　一二八
眞理金針　一〇〇
清陸謙畫水滸百八人像贊臨本　四一
身理啓蒙　一四三
眞率會約　一五九
新律綱領　二六六
人力以上　一八四
眞理論　一八八
森林學　一〇九・一一〇・三六・四三
人倫訓蒙圖彙　四四
人倫訓蒙圖彙補遺　四四
人倫道德の根本義　一八八
人倫と鬼畜　一九〇
森林保護學　二一〇
人類學　一〇八
人類學上より見たる西南支那　一〇七
人類進化の歸趨　一一六
人類の遺傳　二一〇
人類の運命　二一六
人類の大權　一三〇
眞靈位業圖　二一七
心靈生活　一九五
眞曆考　一八九
眞曆不審考辨　二六五
眞臘風土記　三三
清六大家絕句鈔　一三
新露西亞及其合衆國との關係　二五四
新廬面命　九・一四三
新論　一三五
秦淮感舊集　一四一
秦淮劇品　一〇〇
秦淮士女表　一八七
秦淮春泛圖詠　八三
新和歌集　一五九
新早稻田叢書　九
推鷹圖書目錄　二六三
水曹清暇錄　二〇七
醉叟傳　一五七
膝臟內分泌ト迷走神經　二〇七
水族加恩簿　一三一・一四九
水鳥記　四一
粹町甲閨　一七三
吹笛記　一六一
水天供現行記　八九
隨唐嘉話　一三〇・一四五・一五八・一六一
水東記略　一五四
隨唐石刻拾遺　一三七
隨唐兵符圖錄　一三九
隨唐女弟子詩選　一七四
隨園詩話　一七四
隨園詩話補遺　二一〇
隨園隨筆　二一六

隨園續同人集　一四二
隨園八十壽言　一四二
醉翁臆語　一四五
瑞應圖記　三四
水害を弔ず　八九
垂加文集　九五
瑞岩禪師行道記　八一
醉鄉日月　一三〇・一五〇・一六一
醉鄉律令　一五六
萃錦唫　二四六
水經　二四二・一五二
隋經籍志考證　九
水經注　一三三・一六五
瑞桂堂暇錄　一四四
水月令　一六〇
水言鈔　二三四
隨見隨抄　二三四
吹劍錄　一六四
吹劍錄外集　一六四
水衡記　二九・一五二
水黃記抄　八三
綏寇紀略　一六四
隨幸私記　一二六
水坑石記　一六〇
水滸傳　二九七
瑞皐堂方集　一七三
水滸後傳　一二二
水滸後傳序評　二五七・二九五
水滸後傳批評半閑窓談　四〇
水滸後傳批評半閑窓談　二九五
醉古堂劍掃　一二〇
水產學　一一〇
隨志　一二七
隨時少年訓　一九五
垂示の病人に示す　八九
隨手雜錄　一四六・一六四
隨書　二六五
遂昌雜錄　一四六・一五九
隋書經籍志　一三
遂初堂集　二五四
遂初堂書目　九・一四三
水心先生文集　一三五
水心題跋　一四一
吹塵錄　一八七
吹塵餘錄　一八七
水拙手簡　八三
推鷹圖書目錄　九
水曹清暇錄　二六三
醉叟傳　一五七
膝臟內分泌ト迷走神經　二〇七
水族加恩簿　一三一・一四九
水鳥記　四一
粹町甲閨　一七三
水運　一六一
推易始末　八九
隨園三十種　一五四
隨園食單　一三七
隨園女弟子詩選　一三九
隨園詩話　一七四
隨園詩話補遺　二一〇
隨園隨筆　二一六

水南翰記　一三三・一五四・二三三・二六二
隨筆　四四
醉筆堂三十六善　一六〇
隨筆文學選集　二二四・二二五
水品　一五六
水府公獻策　四四
水府雜錄　四三
隨兵日記　五四・六五
隨兵之次第事　五四・六五
推蓬寤語　一三三・一五五
膵ほるもん注射ニヨル血液ノ物理的性質及ビ血液像ノ影響　二〇七
膵ほるもんト鹽類代謝　二〇八
膵ホルモンノ吸收ニ就テ　二〇七
炊米試驗成績　一八五
吹網錄　一六三・二三三
睡餘小錄　二二五・二二六・二三四
醉綠圖　一五一
垂綸子　一七五
隨輦集　二五四
隨輦續集　二五四
趨異・遺傳及進化　一一三
數學　一一三
數學啓蒙　二九三
崇雅堂駢體文鈔　二五三
數術記遺　一三三・一四〇
數種の有機溶劑二成分系の比熱　二〇八
芻蕘奧論　一一三
數錢葉譜　一五六
素謠世々之蹟　二一九
趨朝事類　一四六
スーパー・ヘテロダイン式受信機に就て　二〇八
ヅーフ日本回想錄　一〇六
崇文叢書　七四
崇文總目　九・一三
崇睦山房詞　一四二
嵩陽雜識　一五三
樞要集　八八
嵩洛訪碑日記　一一三
數理統計　二六八
末武印問答　七四
末森記　五三・六五
周防路鹿王山龍文寺開山竹居禪師塔銘　八一
圖繪寶鑑　一四一
圖畫見聞誌　一四一
圖畫精意識　一二三
菅谷傳記　九四
菅原在良朝臣集　五〇・六二
菅原氏系圖　四六・五八・七九
菅原小學校々歌　一九八
菅原親王　七四
菅原傳授手習鑑評　一九六
還魂紙料　一〇三・二一五・二一六・二三四
杉亭二自敍傳　二八三
杉先生講演集　二一三
杉先生實歷談　二一三
杉先生略傳　二八三
漉根惡太郎　七四
椙原品　一八三
杉村兄弟文庫目錄　九
杉谷代水　一九七
スクリーン・グリッド眞空管に依る增幅に就て　二〇九
菅笠日記　一七七・一七八
資賢卿集　五〇・六二
祐清私記　九九
助郷免除歎願書　一七一
資定卿改元定記　八二
資實長兼兩卿百番詩合　四七・五九
輔親卿集　五〇・六二
輔仁本草　九一
助六は下劣か　一八一
蘇格蘭地誌　一一三
洲崎吉祥寺辨財天緣起　四一
斯氏教育論　二一八
朱雀院女郎花合　五〇・六一
朱雀しのぶずり　三八
朱雀遠目鏡　三七
豆州熱海繪圖　三八
崇神帝以前無年貢考　一九二
鈴木傳考異　一八三
鈴木藤吉郎　一八三
鈴木藤吉郎の產地　一八三
鈴木藤吉郎の墓　一八三
鈴廼屋翁略年譜　四三
鈴屋集　一七七・一七八
鈴屋消息　一〇〇
すゞみ草　七五
豆相記　五三・六五
須多因氏講義筆記　一一七
スタイン氏發見の燉煌畫に就て　二二一
斯丁（スタイン）傳　二八三
捨つる人あれば拾ふ人あり　一八九
受通留母乎志別集　四〇
西班牙研究　一一二
西班牙國首都賣婬制度　一八五
西班牙人の西班牙　一一三
西班牙文學　一八〇
斯邁爾斯自助論　二九一
須磨浦古跡記　四一
壽萬の勢喜　四二
隅田川　七三
純友追討記　五三・六四
住友別子鑛業所一覽　二七六
澄宮殿下台覽品目錄　一六
住吉歌合　四九・六〇
住吉社歌合　四九・六〇
住吉社神主井一族系圖　七九
住吉太神宮諸神事之次第記錄　七六
住吉百首　一七九
住吉名勝圖會　九九
住吉詣　五三・六三
住吉物語　五一・六三
相撲隱雲解　二一四
相撲今昔物語　七二
相撲立詩歌　八四
相撲傳書　三三・三四
相撲之圖式　三八
角力め組鳶人足一條　二一九
駿河臺志　三三
駿河國風土記　五六・六七
諏方正一位大明神略社記　四一
諏訪大明神繪詞　七六
寸錦雜綴　二一四・二一五・二一六
寸光集　二〇二
駿臺雜話　二一五・二一八・二三三
駿臺雜話選釋　二三三
駿臺雜話拔萃　二三三
寸鐵集　一九三

セ

性愛　一一六
井蛙抄　八五
井蛙漫錄　二三四
聖安紀事　二〇六
西崦先生餘稿　一七六
靜庵賸稿　一六三
旌異記　一五二・一六七
西域記　三九・一三四
西域物語　三五
省闇日紀　一二一
誠意伯劉文成公文集　一三五
清異錄　一五三
聲韻叢說　一三九

青烏先生葬經　一四〇
栖雲閣詩（拾遺共）　二四六
清悅物語　一〇〇
西園詩麈　一五六
西園叢子　二二四
青淵百話　一九四
西垣類稾　三三
西王母傳　一三九・一五三
晴翁漫筆　九九・二一三
清音寺略緣起　四一
姓解　一三六
清戒　一六〇
性悔和尙行實　八一
清獮眼抄　四七・五九
聖誠三章　七〇
政界叢話　一九五
齊諧俗談　二一七
精楷同館詩律　二五六
西河合集　二〇三・二〇四・二六七
西河記　一三八
西河舊事　一三八
星學　一一〇
西學啓蒙十六種　一四三
西客堅協鹿日本紀事第四篇抄譯　三三
正學指掌　一〇一
聖學隨筆　二二五
政學提綱　二八七
西樂と幸田氏と　一七九
性格と性根　一七八
聖學範圍圖說　一三七・一五三
正學編　一五三・一五七
聖學問答　一〇一
星學略記　一七四
西學略述　一四三
制科雜錄　二〇四
聲畫集　一六九
清河書畫舫　一五八
青化水素の研究　二〇八
青化水素の蒸氣壓　二〇七
青化水素の蒸氣及液體密度に就て　二〇八
惺窩先生行狀　九四
惺窩先生文集　九五
惺窩先生倭謌集　九六
西華仙籙　一三九
生活　二三七
生活と處世　一九三
生活と書籍　二三九
生活費省減問題　一一五
靜嘉堂祕籍志　九
靜嘉堂文庫漢籍分類目錄　九
靜嘉堂文庫國書分類目錄　九
靜嘉堂文庫宋本書影　二
政家年鑑　二七三
盛夏の候夏山水の御製を拜誦して　一九〇
清河祕篋書畫表　一三八
西河文選　二五四
清嘉祿　一六三
齊家論　七一
請願　一八四
稅關及倉庫論　一一〇
清閑供　一五六
井觀瑣言　一五五・二六七
清巖茶話　八五
誓願寺盂蘭盆一品經緣起　三九
星巖詩集　二九五
星巖集　二四六
西干十寺記　一五五
蛻巖先生答問書　一〇〇
青巖叢錄　一三三・一五三
征韓評論　一三〇
征韓論の舊夢談　一三〇
正義を求める心　一八六
清儀閣金石題識　一三五
清儀閣藏器目　一六八
正氣歌訓釋　七一
靜寄軒文集　七五
清器考　四四
成簣堂叢書　七四
聖教初學要理　三五・二一八
聖教日課　三五・二一八
正享問答　一〇一
聖教要錄　三三
製曲枝語　一三九
清玉集　八五
聲曲類纂補遺　七三
政局は斯くして動く　二一六
清吟堂全集　二五四
聖君初政記　一三七・一五三
星經　一二四・一二九・一五一
政經　一四八・二〇三
清溪和尙行實　八一
青溪暇筆　一三二・一五五
盛京疆域攷　一三八
清溪稿　八三
青溪寇軌　一四六・一五九
西溪叢語　一二五・一三一・一四一・一四五・二三三
盛京通志　二五九
生計費問題　二九〇
清言　一二八・一五六
靖獻遺言　二九一
西軒客談　一四五
疋言覺非　九七
聖賢群輔錄　一四七
靖獻詩歌集　七一
西軒詩艸　二四六
聖賢證語國字解　七〇
西玄青鳥記　一五七
靜軒痴談　二一七・二二四
西原約言　一五三
政語　一七九
贅語　一七五
齊行記　一八一
西阜雜記　一五三
精工舍創業貳拾週年紀念　二八九
靖康傳信錄　二八三
清江貝先生文集（詩集・詩餘共）　一三四
靜香樓醫案　一三三
西湖四十字詩集　二九五
西吳枝乘　一五五
星湖僿說　一九
星湖僿說類選　一九・九八
勢語七考　一〇四
霽湖詩話　二六二
西湖蘇文忠公祠從祀議　一六二
西湖竹枝詞　一五八
勢語通　三五
西湖游記　一五八
西湖六橋桃評　一六〇
西湖老人繁勝錄　一二五
西崑訓倡集　一三三・一三五
清齋位置　一五五
誠齋雜記　一四一・一四五
靜齋詩稿　一〇五
誠齋集　一三五
正齋書籍考　九・一七二
誠齋詩話　七二
靜齋隨筆　一〇〇
西齋話記　一四五
正朔考　一三七・一四三
制作論　一八八
青瑣高議　一四四
青瑣詩話　一四九
西山遺事　二八三
栖傘雨談序　四〇
西山公隨筆　二一七
西山先生眞文忠公文集　一三五

西山題跋　一四一
西山日記　一三五
西山年譜　二〇三
西山文集　二〇三
西山夜話　八一
成山錄　三三四
政治及び政黨論集　一八七
政治學　一一一
政治學概論　一〇九
政治學史　一一一
政治家研究　一〇九
政治家と新聞　二一〇
西使記　一四七・一五八
政治紀行　一八七
靜志居詩話　二五一
政治經濟年鑑　三三
政事刑事の本義　一九二
政治史　一一〇
政治思想史　一〇九
政治地理學　一一〇
生日會約　一五六
政治的發展の一世紀　一一三
政治哲學　一〇九
政治統計學講義　二六九
政治讀本　一八七
政治とヂャーナリズム　二四〇
生死の事を辯ずる書牘　一八九
政治汎論　一〇七・一一〇
盛事美談　一四五
政治文獻年表　一一七

政治・法律辭典　一〇九
西州合譜　一三三・一五五
勢州軍記　八七
西州後賢志　一二九・一四七
勢州四家記　五三・六五
靜修先生文集　一三六
聖ジュリアン　一八四
齊春秋　一四七
西巡日乘　一一七
清正記　八八・一〇二
西廂記　二九五
西廂記酒令　一三六
清少納言集　五一・六二
清少納言傳　二二一
正常竝ニ所謂寡血糖性痙攣ヲ起セル家兎ノ腦質無機鹽類含有量ニ就テ　二〇八
西樵野記　一三二・一五四
靚粧錄　一四九
西墅記譚　一四四
生殖器崇拜敎の話　一九二
西墅雜記　一五三
清暑筆談　一二八・一三二・一五三・一六五・二六七
靜思餘錄　一九三
政治略論　二六七
政治論略　一一七
精神　二三七
聖人歟盜賊歟序　一八〇
省心紀　二〇七
精神啓徵　一三一

征清詩史　二四六
西清詩話　一四九
清眞先生遺事　一三七・一二九・二〇三
西淸筆記　一六三
精神病者調査票記入參考　二六九
精神病者の書態　一三一
精神祕錄　一七五
精神分析學　一〇八
省心錄　一四九・一五九・二三三
醒睡笑　一〇三・二二八
西征記　一三二・一四八・一五四
西征紀略　一五七
青井山高成禪寺開山大年大和尙傳　八一
征西大將軍宮譜　一〇三
齊省堂儒林外史　二五七
西征日記　九四
醒世諭言　一七五
清石問答　一〇六
清拙大鑑禪師塔銘　八一
精選黃眉故事　三〇
精選名儒草堂詩餘　一三三
精選陸放翁詩集　一三四
聖像　四四
西藏記　一六八
聖像考　一七〇
聖宋高僧詩選　七三
青箱雜記　一四四
晴囱軟談　二六二
西俗一覽　一三〇

正續大宗禪師行狀　八一
清尊錄　一二八・一三一・一四五
生體論　一一五
世澤堂遺稿　二五四
政談　七五
清譚と逸話　一八七
精註雅俗故事讀本　三〇
西疇常言　一六四
西朝寶訓　一四六
性的知識　一一五
靜惕堂宋元集書目　一二四
西哲夢物語　一一七
青田山廬詩鈔　二六二
青田山廬詞鈔　二六二
政黨關係に就て　一八九
青藤山人路史　二三二
征東實紀　一二四
政黨社會學　一一四
西堂全集　二五四
西堂日記　二六七
政黨評判記　一三〇
正唐文粹　一三七
齊東埜語　一三一・一四一・一四四
聖堂略志　二〇二
西濤老人常言　一四三
政德篇　三三
成都古今記　一四八
西都雜記　一四八
制度通　二八六
西南學院創立十五周年紀念

祝辭　一九〇
征南射法　一六〇
聖ニコラスの夜　一八四
青年　一八二・二三七
青年小說評判　一八〇
青年と敎育　一九三
青年に訴ふ　一八六
青年日本基督者の自覺　一九〇
青年文學　一八〇
青年雄辯　二三七
性の決定　一一六
生の神祕　一一五
淸白士集校補　一三七
青坡劇談　二六二
淸波雜志　一四〇・一六四
征蕃功次　一五四
聖藩羝觸　一〇〇
西番譯語　一六八
清祕藏　一三八
政表學論　一一八・二七二
製表心得　二六九
清風瑣言　二一七
請諷誦文　九一
聖武記　二五九
制府雜錄　一二八・一五四
聖武親征錄　一六九・二〇三
聖武親征錄校注　二〇三
西浮籍　一五五
生物學　一〇八・一一二
生物學的人性觀　一一三

生物學的戰爭觀　一二五
生物の世界　一一三
生物の哲學　一一五
政府に望む　一九〇
聲文私言　三三四
清芬堂集(續集共)　二四六
清芬樓遺藁　二五二
性法講義　一一八
稅法整理論　二八九
西峰淡語　一五五
西方要紀　一三九
性法略　一一七
西北紀行　一七一
正卜考　一七六
西北水利議　一三九
聖玫瑰花冠記錄　一一八
齊民要術　一二九・一三三・一四〇・一四九・一六九
稅務統計　二七六
稅務統計臺帳樣式　二六九
正名考　一七九
西銘參考　三五
生命の道德　一八六
生命の舞踏　一一六
生命保險論　一一八
性名錄抄　九二
生命論　一〇八
聖門事業圖　一四三・一六四
聖門釋非錄　二〇四
青埜謾輯　九八
清夜錄　一三一・一四五

西遊詩稿　二九五
西遊譚拔萃　四三
西遊日記附錄抄　一七二
西遊日簿　三七
西遊錄注　一三七・一六八
西游錄略　一三七
西游錄略注補　一三七
聖諭樂本解　二〇四
西洋衣食住　二〇〇
西洋印刷文化史　二
西洋音樂概說　一〇八
西洋音樂史　一二一
西洋開拓新說　一三一
西洋學家譯述目錄　六九
西洋學校軌範　一一八
西洋各國度量衡表　一七六
西洋家作雛形　一三一
西洋畫贊譯文稿　三五
西洋畫談　一〇三・二二四・二二六
西洋歌舞伎種本　一一九
西洋紀聞　一七〇・一七五
西洋脚本の幕切　一八一
淸容居士集　一三五
西洋古代哲學史　一〇七
西洋雜誌　一一九・二三七・二三九
西洋事情　二〇〇
西洋事情御答　一七一
西洋芝居の番附　一八〇
西洋將棊指南　一三〇
西洋書誌學要略　二

西洋新書　二六五
西洋心酔者を論す　一八九
西洋旅案內　二〇〇
西洋朝貢典錄　一三三
西洋定芝居の始　一八〇
西洋哲學史　二一〇・二一一
西洋時計便覽　一三〇
西洋の八人藝　一九七
西洋品行論　二九一
西洋聞見錄　一一九
西洋文明の統一　一一五
西洋娘節用　一一九
西洋料理通　一三〇
西洋倫理學史　二〇二
西洋歷史　二一〇
性理字訓　一三八
性理大全　二六四
聲律通考　二〇六
清涼寺緣起　九〇
西琳寺文永注記　九〇・
西林日記　一四四
聲類　一三三
西冷五布衣遺箸　二六一
靜廉齋詩集　二四六
井樓纂聞　一七六
青樓集　一四九・一五九
青樓年曆考　二一九
征露大詔を奉讀す　一八九
政論　二八七
淸和源氏系圖　七七

清和源氏諸家分流　四四
世界一の贅澤新聞　二一〇
世界印刷通史　二
世界貝塚發見史としての大森貝塚　二一〇
世界改造叢書　一〇七
世界敎育史要　一一三
世界國盡　二〇〇・二六五
世界經濟發展の現況　二七六
世界綱目　九八
世界產業制度論　一一一
世界山水圖說　一九三
世界寫眞圖說　一九四
世界宗敎史　一〇八・一一〇
世界宗敎制度論　一一〇
世界出版美術史　二
世界新聞鳥瞰論　二四一
世界新聞早わかり　二四一
世界政治へまで　一一五
世界大戰の獨逸敎育に及ぼしたる影響　二〇七
世界大戰批判　一〇七
世界的米合衆國　一一四
世界當代地理　一九四
世界七不思議　一一九
世界に類例のないわが芝居繪の價値　一九五
世界年鑑　二七二
世界の改造と日本の將來　一八七
世界の奇觀　一九四

世界の宗敎　一一三
世界之日本　二三七
世界の文化發展に對する獨逸國民の貢獻　二二三
世界の變遷と勞働　一一五
世界美術史　一一一
世界文學史　一一一
世界文明史　一一〇
世界文明史及近世美學　一九九
世界文明史物語序　一九七
世界文明の統一　一一六
世界漫遊　一八五
世界都路　二八五
世界名著解題　九
世界名著文庫序　一八一
摭異記　一三〇・一四七・一六二
關岡家始末　八七
石屋禪師塔銘　八一
赤雅　一六一・一六七
夕佳園遺稿　一〇二
關原役　二八三
關原正譌　一七二
石渠隨筆　一二三
石經閣金石跋文　一二三
石經考　七一・二〇六
石經考異　二六〇
赤溪雜志　二五九
石桂堂の逸事　一八〇
石溪舫詩話　二六〇
摭言　一三〇・一四五・一六一

石交　一六〇
晰獄龜鑑　一四四・一六七
石湖居士詩集　一三四
積古齋藏器目　一六八
尺五先生全集　九五
析骨分經　一五六
石齋先生年譜　二六二
惜字雜箋　四〇
石筍山房集　二五四
斥邪漫筆　一一九
斥邪二筆　一一九
斥邪三筆　一一九
赤十字條約竝に其略評　一八五
石洲詩話　一三三
席上腐譚　一三一・一四四・一六六
積翠閑話　二一六・二一七
赤水雜錄　一〇五
摭青雜說　一三一・一四三・一六七
積善組合巡回文庫圖書總目錄　九
責善集(別集共)　一七九
石泉書屋館課詩　二〇五
石泉書屋詩鈔　二〇五
石泉書屋制藝　二〇五
石泉書屋制藝補鈔　二〇五
石泉書屋尺牘　二〇五
石泉書屋全集　二〇四
石泉書屋咸器目　一六九
石泉書屋律賦　二〇五
石泉書屋類稿　二〇五
石倉十二代詩選　二六四
尺素往來　四八・五九
碩鼠漫筆　二三四
石柱記箋釋　一三三
赤烏記　二三〇
浙程備覽　一三四
關寺緣起　九〇
釋奠供物圖　六八・九七
釋奠考　一五九
釋尊次第　四七・五八
夕堂永日緒論內篇　二〇五
夕堂永日緒論外篇　二〇五
夕堂戲墨　二〇五
石頭山人遺稿　二六二
尺牘彙材　二九五
石楠堂隨筆　一七三
責任內閣　一一六
關の秋風　四三・一〇三・一七九・二二八
關の驛　一七七・一七八
夕拜備急至要抄　四七・五九
石帆詩鈔　二四六
石譜　一五九
惜抱軒九經說　二〇五・二六一
惜抱軒詩集　一三四・二〇五・二六一
惜抱軒詩後集　二〇五・二六一
惜抱軒外集　二〇五・二六一
惜抱軒全集　二〇五・二六一
惜抱軒筆記　二〇五・二六一
惜抱軒文集　一三四・二〇五・二六一
惜抱軒文後集　二〇五・二六一
惜抱軒法帖題跋　二〇五・二六一
石壘鐫華　一六一
積米法　二九〇
石門題跋　一四一
石門文字禪　一三七
碩由大禪師行實之狀　八二
青鷹似鳩拙抄　八六
世鏡抄　九二
赤倮倮　三四
石蘭堂詩稿　二四六
石林燕語　一三一・一四四・二三三
石林家訓　一四九・
石林詩話　一四一・一四九
夕郎五代拜賀次第　八三
世間と人間　一九三
世諺問答　五六・六七
世事百談　一〇三・二二六・二三四
世說舊注　一五四
世說新語　一三三
世說新語補　二六二
世相錄　二三九
世俗諺文　九一
世俗淺深祕抄　五五・六七
世俗立要集　五三・六四
世尊寺侍從行季二十ヶ條追加　九二
世田谷私記　九四
瀨田問答　三三・三四・一七三・二二八
雪庵字要　一三五
絕域紀略　一五七
切韻考　二〇六
切韻射標　一五六
說苑　一二四・一三三
拙翁庸語　一六〇
絕海錄　二五三
折客辨學文　二〇四
舌華錄　一六三・二三三
攝關補任次第　四六・五八
說經かるかや　三八
說經さんせう太夫　三八
絕句類選　二五〇
雪月花自歌合　一七九
拙軒集　一六五
雪鴻詞　二六二
浙江通志　二六六
浙江通志考異殘稿　二〇三
浙江通省志圖說　二五四
拙效傳　一五七
節齋遺稿　二五三・二九五
節齋先生行狀　二八三
節齋先生年譜　二八三
說詩晬語　二五四
攝州大坂大繪圖　九九
攝州大阪地圖　九九
攝州河邊郡紫雲山中山寺來
由記　九〇
拙修齋叢書　七四
雪舟詮語　一四五
攝州築島寺略緣起　四一
攝政家月十首哥合　四九・六一
折薔薇　一八四
拙政園詩詞　一六三
雪青洞詩鈔　二九五
攝生要錄　一四九
浙西六家詩鈔　二五〇
雪泉詩存　二四六
雪村大和尙行道記　八一
雪中人　二五七
攝津大坂名所記　四一
攝津親秀讓狀　五四・六六
攝津守有綱家歌合　四八・六〇
攝津賓勝寺緣起　四一
攝津名所圖會大成　九九
說篆　二五八
雪堂校刊羣書敍錄　二
雪濤詩評　一五六
雪濤小說　一五七
雪濤譚叢　一三一
拙堂文話評　一〇〇
雪堂墨品　一六〇
絕倒錄　一四四
說郛　一四三・二六七
說郛雜著　一六八
說郛正續抄　一五七
說郛續　一五三・一五七・二六七
接物論　一一三
說郛裏　一五七
薛文清公從政錄　一六六
絕妙好詞箋(續鈔共)　二五六
說夢　一四〇
說文　三九
說文引經攷　一三三

說文解字　一三三
說文解字索隱　一六八
說文解字通正　一三七
說文諧聲孳生述　一二六
說文管見　一三七
說文繫傳　一六八
說文繫傳通釋　一三五
說文檢字(補遺共)　一三三
說文廣義　二〇五
說文述誼　一三八
說文審音　一六九
說文新附字考攷正合編　一〇〇
說文聲系　一一三
說文段注札記　一二四
說文段注鈔(補鈔共)　一二四
說文答問疏證　一三三
說文辨疑　一三八
說文補例　一六八
攝陽落穗集　七三・二八五
攝陽奇觀　九九
節用集　三一
節用集大全　三一
說略　一二五
說鈴　一二六・一四〇・一五七・一五八・二三三・二六一
薛靈芸傳　一二九
雪浪齋日記　一四三
世本　一三三・一三八
瀨見小河　一七六
日耳曼研究　一一三
善惡根柢一覽　一九五
船菴集　二四六
善庵隨筆　一〇三・二一四・二二五・二二六・二三四
撰謌合　四九・六〇
山海經(センカイ)　一三六・一六三
山海經圖贊　一二四
山海經補注　一二六
全堺詳志　九九
千學集抄　一〇四
錢貨譚叢　一〇一
前漢紀　一三五
前漢書　二六五
前漢書藝文志　一三
前期青本書目　七三
全燬書目　九
前期文藝協會　一九七
善諦集　一四五
千九百十七年前半期に於け
る露國企業の狀況　二三五
千九百年匈牙利國人口調查
職業別人口に就て　二七九
潛虛　一四二
船渠開發の議　一九九
選擧法講話　一〇九
潛居錄　一四五
前徽錄　一三三
千金月令　一四八
千金譜錄要　二九五
前九鬼長門守守隆慟拔書　九三
先君子歌集　一〇二
潛溪詩眼　一四九
潛溪邃言　一五三
千頃堂書目　九
千家詩注　二六二
禪月集　一三五
鮮血の白耳義　二八三
禪月樓集　九八
宣驗記　一二九・一五三
仙源抄　五三・六三
洗硯新錄　一五五
潛研堂文集　一三七・二五二
錢考功集　一三五
善光寺　七三
善光寺緣起　九〇
善光寺紀行　五三・六三
善光寺御傳記　四一
先公徐印香先生先妣陸太淑
人傳志　一四〇
先公談錄　一四四
千紅萬紫　一七三
先考三浦虎角居士行狀　一七五
千石以上家督順ノ記　四二
全國工場統計表　二七六
戰國策　一二七
戰國策校注　一三三
全國社債券明細表　二七六
全國新聞紙雜誌總目錄　九
全國新聞名鑑　二四一
全國徵兵論　二〇一
全國鐵道營業統計表　二七六
全國土地人口及生產比較統計　二七六
全國民事慣例類集　二八六
戰後の經營果して如何　一九〇
戰後の經濟問題　一〇七
戰後の列强　一〇七・一八七
千五百番歌合　九五
千歲一遇の機　一九五
千載佳句　九九
全齋墨叢　一〇一
船山遺書　二〇五
前參議敎長卿集　六九・九七
船山詩草　二四六・二四九
船山詩草選　一二七
泉志　一四一・一五一
戰時衞生勤務令中改正意見
一斑　一八五
戰時及び時疫流行時の養衆法　一八六
戰時及戰後に於ける列國の
人口問題　二八八
戰時及戰後の經濟　一一四
泉志校誤　一二五
錢氏私誌　一三〇・一四六・一六四
然脂集例　一三九
錢子測語　二六四
宣室志　一四五・一六一・一六四
賤者考　一七七・一七八
前脩遺事　四五
前十五番歌合　四九・六一
善秀才宅詩合　四七・五九
前住相模州巨福山建長興國
禪師勅諡佛國應供廣濟國
師行錄　八〇
撰集作者異同考　八五
撰集抄　九二
千首和歌　八三
千首和歌太神宮法樂　四八・六〇
戰捷紀念郵券を拜觀して有感　一八九
前相國無求伸禪師行實　八一
戰勝新年の所感　一八九
翦勝野聞　一二八・一三三・一五四
戰時糧餉談　一八五
戰時糧食品區分表に關する
意見　一八五
宣旨類　八三
先進遺風　一三二・一五五
先進繡像玉石雜誌　二一七
撰塵裝束抄　四七・五九
禪信僧正後七日修法記　八九
禪信僧正拜堂幷御影供記　九〇
洗塵法　一六〇
前塵夢影錄　一六八・二三三
瀠水雜著　一〇四
選青閣藏器目　一六九
宣政雜錄　一四六・一五九
漸西村人初集　一六九
陝西通志　二六六
先正讀書訣　一六八
選石記　一六〇
前攝政家歌合　八四
全浙詩話刊誤　一四三
全浙兵制　九八

戰僧　一八四
淺草寺緣起　九〇
戰爭と經濟關係　一一五
戰爭とその記錄者　二一〇
船窓夜話　一三一・一四四
踐祚部類鈔　四五・五七
仙臺閑語　二一六
先代舊事本紀　二六五
仙臺市統計一斑　二七三
前大納言公任卿集　五〇・六二
前大納言實國卿集　五〇・六二
前大納言爲廣卿集　八五
前大納言親長卿百首　八四
先代破裂集　九二
仙臺百首　七四
仙臺本城銃器佛郎機考　一七五
栴檀瑞像考　一〇五
煎茶七類　一五六
煎茶水記　一三〇・一五〇・一五九・一六一
箋註陶淵明集　一三四
選注六朝唐賦　二五六
前定錄　一三〇・一四九・一六二
前定錄補　一三三・一五四
先哲著作目錄　九
先哲年表　一〇一
仙傳抄　五三・六四
前天龍心關大禪師祖道履歷之記　八一
仙道會津元和八年老人覺書　九五
錢塘遺事　一四六
仙洞歌合　四九・六〇・六一
善だう記　七三
仙道記　八七
仙洞御儀法講記　九〇
仙洞五十首　八四
仙洞五十番哥合　四九・六一
仙洞御文書目錄　九・五六・六七
錢塘瑣記　一三一・一四八
仙洞十人歌合　四九・六〇
全唐詩錄　二四九
全唐詩話　一四一・二六四
先德略名口決　九一
宣和遺事　一二七
宣和畫譜　一四一
宣和書譜　一四一
宣和石譜　一五〇
宣和牌譜　一五六
宣和奉使高麗圖經　九七
宣和北苑貢茶錄　一三一・一五〇
錢南園先生遺集　二五四
泉南雜志　一二八・一五五・一六六
前南禪一庵麟禪師行狀　八一
前南禪瑞岩禪師行道記　八一
仙人龍王威勢諍　三六
千利休傳　四一
專賣局年報　二七六
船舶論　二一〇
千八百十二年拿嵜第一世露國侵入時の軍隊病類　一八五
扇馬譯說　一七五
千百年眼　一六三・二三二・二三三
全閩詩話　二五一
錢譜　一〇一・一五一
先府君攣山先生行狀　一七五
淺浮抄　八三
牋譜銘　一五六
膳夫錄　一五〇
潛夫論　一三四・一三三
甎文考略　一二七
蟬冕翼抄　四七・五九
仙北郡町村豫算展覽會出陣參考圖表　二七三
錢牧齋先生箋註杜工部集　二五四
錢牧齋先生年譜　二五四
禪本草　一三一・一四九
扇面古寫經　三九
禪門本草補　一五六
先友記　一四六
善誘文　一四九・一六四・二六四
泉涌寺諷誦類　九一
泉涌寺不可棄法師傳　八〇
撰要目錄卷　八六
纖餘綺語　一六六
仙吏傳　一三六・一六三・一六七
千里面譚　一五六
川柳稿本　四四
善隣國寶記　九一
善隣國寶別記　九三
禪林小歌　八六
選例　一八〇
然藜餘筆　一四五
宣爐歌註　一三九
錢錄　一七二
戰論　一八五
戰論譯本の來歷　一八五

ソ

徂異記　一三二
草菴集玉箒　一七八
造伊勢二所太神宮寶基本記　一七五
僧院　一八四
宗因東の記行　九五
相雨書　一五一・一六九
早雲寺殿廿一箇條　五三・六五
宗惠大照禪師行狀　八一
僧圓位書牘　三九
藏園九種曲　二五七
蒼海遺稿　二九五
雙槐歲抄　一五四
藏海詩話　七二
壯悔堂集　二五四
造家衞生の要旨　一八六
想華及感激　一九九
桑家漢語抄　一〇六
相鶴經　一五一・一六五
相學齋雜鈔　一四六
曹學士帖體詩　二五六
宋學士文集　一三六
增賀上人行業記　八〇
草花譜　一五七
造家法　一一三
宋雅道すがら之記　九五
窓閒記聞　一四五
增刊校正王狀元集註分類東坡先生詩　一三四
造岩鑛物の干涉圈に依りて岩石薄片の厚さを測定すること　一九一
贈官宣下記　五五・六八
僧官補任　四六・五八
曹議金疏　一六二
宋季三朝政要　一三三
宗祇終焉記　五六・六八
宗祇袖下　八五
倉頡篇　一三四
倉頡篇殘簡考釋　一二七
宗祇傳　四三
宗祇法師集　五一・六二
宗祇法師長うた　九二
相牛經　一五一・一六五
雙橋小築詞存(集餘共)　二五六
宗鏡禪師傳　八一
操曲入門口傳之卷　二一九
藏玉和歌集　五一・六三
喪儀略　一〇五
搜奇錄　二一四
双虞壺齋藏器目　一六九
曹溪院行狀記　九四
雙溪雜記　一五五

雙溪集　一三三
巢經巢詩鈔(後集共)　二四六
造形的解體學　一七九
宋景文公集　三三
宋景文公筆記　一四三
葬經翼　一四〇
總見院殿追善記　五六・六八
宋元戲曲考　二〇三
宋元資治通鑑　二六五
曹元深疏　一六二
相劍正傳　二一五
宋元版の話　二
裝潢志　一三八・一三九
棗香書屋詩鈔　二四六
草稿杉村志　四二
增廣聖宋高僧詩選　七二
增廣箋注簡齋詩集　一三七
增廣智囊補　一六三
增廣註釋音辯唐柳先生集(別集・外集共)　一三四
倉庚傳　一五七
僧綱補任抄出　四六・五八
滄江野史　一五三
宗五大双紙　五四・六五
宋國史藝文志輯本　七
蒼梧雜志　一四四
操觚十六觀　一五九
蒼梧隨筆　一〇三・二二六・二二八
相互扶助論　一八六
草根集　六九・九七
雜言奉和　四七・五九
喪祭雜記　二〇六
葬祭辨論　一〇一
草山和歌集　九六
宋史　二六五
宋詩　二六四
草字彙　二九三
莊子因　二九一
莊子解　一〇〇・一七六・二〇五
相識人物志　一〇〇
相兒經　一五二
宋史藝文志　一三
宋史藝文志補　一三
莊子闕誤　一五三
莊子鬳齋口義　二九一
曹子建集　一三四
莊子故　一三八
總持第二世峩山和尙行狀　八一
宋史忠義傳王稟補傳　一二七
莊子通　二〇五
喪志編　二一八
曾子問講錄　二〇四
雙雀亭自著叢刻　一九八
宋拾遺錄　一四七
增脩改正攝州大阪地圖　九九
增修鷺湖書田志　二六〇
相州鎌倉松岡過去帳　五六・六七
宋周公謹雲煙過眼錄　一六五・二六七
走衆故實　五四・六五
增修詩話總龜(後集共)　一三七
增脩箋註妙選羣英草堂詩餘　一三五
總州相馬系圖　七八
相州兵亂記　五三・六五
滄洲樓家集　七四
相手版經　一五一
雙樹落葉　二三六
宋書　二六五
藏書　二六五
相承次第　七九
草書淵海　二五七・二九三
藏書紀事詩　二・一六九
藏書紀事詩序　二・三
藏書記要　二・一二七・一三八・一六六
藏書紀要鈔　三
叢書擧要　九
叢書擧要校誤記　一〇
相如集　五〇・六二
叢書書目彙編　一〇
藏書票の話　三
搜神記　一三四・一三六・一三九・一四一・一五二・一六六
造神宮使廳の不敬を聞て有感　一八九
搜神後記　一三九・一四一・一五二・一六七
宋人陳和卿濫妨停止下文　九六
搜神祕覽　一四四・一六七
葬圖　一四〇
宗清法印勸進文　七五
宗清法印立願文　四五・五七・七五
漱石閒談　一五四
藏說小萃　二六一
箏船詞　一四三
澡泉日記　二九五
雙倉北雜物出用帳　九六
增續大廣益會玉篇大全　二九三
宋大家歐陽文忠公文抄　七二
宋大家曾文定公文抄　七二
宋大家蘇文公文抄　七二
宋大家蘇文忠公文抄　七二
宋大家蘇文定公文抄　七二
奏對機緣　一三九
宋代金文箸錄表　二〇三
相臺書塾刊正九經三傳沿革例　一三三
相對性理論　一〇八
贈大僧正空海和上傳記　八〇
宗湛日記　二一四
相地骨經　一五二
挿註人道要論　一八八
宗長東路の津登　五三・六四
宗長宇津山記　五五・六七
宗長居士傳　九四
增長財命經　一八九
宋朝事實　一六五
宗長手記　五三・六三
宗長獨吟　八五
宗長日記　八六
巢兆日記　一〇〇
總追捕使起原考　一九二
增訂異國日記抄　一〇六
增訂袁文箋正　二五二
贈定家卿文　四八・五九
增訂史記評林　二五九
增訂心相百二十善　一三九
鉏雨亭隨筆　二二四
增訂武江年表　六九
造殿儀式　四五・五七
相傳極祕切紙　四四
送電網の双曲線函數理論　二〇八・二〇九
葬度　一五六
走湯山緣起　四五・五七
草堂詩箋　一二七
草堂詩餘　一三五
雙藤書屋詩集　二四六
象の貢獻　二一五
相貝經　一五一
糟粕手鏡　一〇五
相馬書　一五一
宋祕書省續編到四庫闕書目　一〇・一二四
增評唐宋八家文讀本　二九五
操風瑣錄　一二七
雜物出入帳　九六
雜物出入繼文　九六
造物餘譚　一七五
相武名勝獨案內　二八五
想夫戀　一一九
曾文正公榮哀錄　二六一
曾文正公家訓　二六一
曾文正公家書　二六一
曾文正公雜箸　二〇五・二三三・二六一
曾文正公詩集　一三四・二〇五・二六一
曾文正公書札　二〇五・二六一

曾文正公全集　二〇五・二〇六・二六一
曾文正公奏稿　二〇五・二六一
曾文正公大事記　二六一
曾文正公年譜　二〇六・二六一
曾文正公批牘　二〇五・二六一
曾文正公文集　一三四・二〇五・二六一
曾文定公文抄　七二
造幣局長年報書　二七六
造幣寮首長年報　一一八
增補青本年表　七三
增補伊呂波韻集成　二九三
草茅危言　七五
增補浮世繪類考　三四
造邦賢勳錄　一二七
造邦賢勳錄略　一五三
雙峯國師年譜略　八一
僧房夢　一八四
增補大坂圖　九九
增補男重寶記　二二四
增補華夷通商考　二八五
竈北瑣語　一〇五
增補輯廿一史約編　一五八
增補事類統編　二六
編補齊省堂儒林外史　二五七
增補續青本年表　七三
增補蘇批孟子　二九一
增補田園類說　九四
增補稗史外題鑑默老批評　四〇
增補文獻備考　九八
增補松の落葉　七三
增補幼學故事羣芳　三〇
宋本古文孝經　一六〇
相馬系圖　七八
相馬日記抄　一〇四
相馬則胤覺書　七八
相馬義胤分限帳　八九
相馬略譜　七八
藏密齋集　二三四
僧妙達蘇生注記　九六
藏名山房雜著　一九八
藏名山房文　二九五
宋名臣言行錄　二八三
草木子　一五三・二三三
相聞序　一八〇
遭厄日本紀事　二八三
桑榆漫志　一五五
桑楊庵一夕話　二一七
總葉概錄　一〇四
埽葉山房叢鈔　一五八
僧用集　九一
宋李忠定公奏議選　二八七
宋遼金元四史朔閏攷　一三一
莊陵誌　九八
造林學　一一〇
棗林雜俎　一六三・二三三
雙林寺傳記　九四
雙林二世中興開山一州和尚行實記　八一
喪禮吾說篇　二〇四
喪禮雜說　一五九
喪禮私說　一七二
喪禮詳考　二五三
滄浪遺稿　七一
滄浪詩集　七一
滄浪詩話　一四一・一四九
滄浪草稿　一〇三
滄浪頓首錄　二三九
草廬經略　一一三
艸廬先生河內道之記　二一四
增濾波器と濾波發振器による搬送多重電信法　二〇八
草廬漫筆　二一七
宋論　二〇三・二〇五
發話　二六二
疎影樓詞　二五四
副島大使適清概略　一一七
楚王鑄劍記　一二九
蘇我石川兩氏系圖　七九
曾我扇八景　三五
曾我兄弟　一八二
蘇學士文集　一三五
曾我系圖　七八
蘇娥訴冤記　一二九
曾我兵庫頭八十五箇條品々不好事　八八
曾我物語　九六・二九六
曾我略系圖　七八
曾我兩社八幡宮并虎御前觀音緣起　七六
楚漢春秋　一一三
楚漢諸侯疆域志　一三三
疏儀莊記　一〇五
續青本年表　七三
續飛鳥川　七二・二一七
續夷堅志　一六四
續印人傳　二三八
續浦嶋子傳記　四八・五九
續燕石十種　七五
續豔品　一五七
測海集　二四六
續學古編　二三八
俗樂問答　一七九
續歌仙落書　五一・六三
續骫骳說　一四五
續畫品　一四一
續畫品錄　一三〇・一四一・一五〇・一五九・一六一
續歌舞伎年代記　七三
續歌林良材集　九六
續川くるみ狀　九九
續翰林志　一四六
續疑年錄　一三三・一三九
續狂雲詩集　八三
卽興詩人　一八四
卽興詩人時代と現時の飜譯　一八一
卽興詩人不翻語一覽　一八四
續金石稱例　二〇六
續群書一覽　一〇
續群書類從　七五
續群書類從目錄　九三
息軒遺稿　二五二
續元怪錄　一六七
續玄怪錄　一五三
俗言集　一〇〇
續現葉和歌集　四八・六〇
粟香五筆　二六二
續高士傳　一二四
續皇年代略記　九四
續後漢儒林傳補逸　一二六
續古今和歌集竟宴倭歌　四八・六〇
續國家道德論　二〇〇
續古經題跋　五
俗語考　一七四
續古事談　五六・六七
俗呼小錄　一五五
續後通俗三國志後編　二六五
俗語問屋場始末　二一九
續古文苑　二五六
續古文辭類纂　二五二
續昆陽漫錄　一〇三・二一七
俗祭說略　一九二
續西遊記國字評　四〇
續娑羅館淸言　一六五
續三王外記　三四
續三十五擧　一三三・二五八
續詞花和歌集　四八・五九
卽事考　九六
俗耳鼓吹　三三・三四・一七三・二一八
續自識錄　二〇〇
續資治通鑑　二六五
續詩傳鳥名卷　一六八・二〇四

續市統計所小觀　二七〇
測字祕訣　二六三
測字祕牒　二六三
俗事百工起源　三〇・二一九
續巳編　一三三・一五四
續釋常譚　一三一・一四三
續收原本玉篇　一二六
續修東大寺正倉院文書　九六
續春秋左氏傳博義　二〇三・二〇五
續小兒語　一五九
續證人社約誡　二〇七
續松漢記聞　一四七
促織志　一五七
續諸州めぐり　一七一
俗書證誤　一五〇
續書品　一五〇
續書譜　一五〇・一六四
續志林　一三三・一五三
續詩話　一四一
足薪翁記　一〇三・二一七
續新齊諧　一四一
續神仙傳　一四七
續神皇正統記　四五・五七
息心筆記　二三四
續晉陽秋　一四七
涑水家儀　一四九
涑水紀聞　一四六・一六五
續翠詩集　八三
卽成院緣起　九〇
續齊諧記　一三四・一三九・一五二・一六三
續淸言　一三八・一五六
續世界山水圖說　一九四
續世事談　四三
續撰淸正記　一〇三
續千字文　四八・五九
續前定錄　一四九・一六四
續善隣國寶記　九一
續善隣國寶外記　九一
續草菴集玉箒　一七八
續々群書類從　九三・九六
續續皇朝史略　二八三
續竹譜　一五一
續地租增否論　一九九
續道聽塗說　九六
俗牘　一七五
續南行雜錄　九四
續日本外史　二八三
續日本史　三四
續日本隨筆索引　二一三
續燃藜室記述　九七
俗の歲時記　四二
續博物志　一六三・二三三
續百川學海　一五八
續日吉山王利生記　七六
續聞見近錄　一四六
續文章軌範百家批評註釋　二九六
俗砭　一六〇
續方言　二六〇
續方言又補　一二六
續墨客揮犀　一三五・二三三
續北山酒經　一五〇
續本事詩　一四九
續本朝往生傳　四六・五八
續南方隨筆　三三
俗夢驚談　一二七
續名賢小紀　一三五
續明道雜志　一四六
續図兩談草稿　四〇
續門葉和歌集　四八・六〇
續幽怪錄　一三〇・一五二・一六二・一六七
續幽明錄　一二九・一五三
續葉子譜　一五七
俗謠選集　一三〇
續吉原書籍目錄　七三
ソクラテスの死　一八四
測量日誌　一〇四
續呂氏家塾讀詩記　一六五
續和漢名數　一七〇
素絹記　九一
十河系圖　七八
蔬香詞　二五四
十河物語　五三・六五
楚國先賢傳　一四七
祖國民衆主義と基督教　一九〇
無底囊[ソコナシ]　二二四
蘇齋唐碑選　一三三
麤細略記　一〇五
楚辭　一三四・二三〇
蘇氏易傳　一四〇
楚辭音　二五〇
蘇氏家語　一五六
蘇詩查注補正　二四六
楚辭集註　一二六
蘇氏族譜　一四九
楚辭通釋　二〇五
楚史檮杌　一四七・一五八・一六三
楚辭辯證　一二六
楚辭芳草譜　一五一
蘇詩補注　一一三
素書　一三四・一四三
楚小志　一五五
素性法師集　五一・六二
蔬食譜　一三一・一五一・一六五
素女經　一二四
そしり草　一〇三
蘇生の日序　一九八
租稅論　一一三
楚騷品　一五七
そゞろ物語　三四・四三・六九
曾々路物語　九三
蘇談　一三二・一五四
率章錄　三九
卒堵婆小町合評より　一八一
蘇那曷叱知來朝考　一九二
ソネットの黑婦人に就いて　一九八
曾爾好忠集　五一・六二
其粉色[ソノイロドリ]陶器交易　一一八
其意は違へり　一九八
其梅　一〇〇
襲國僞僭考　一〇六
園の池水　二一八
園部狀　八七
其昔談　七五
蘇批孟子　二九一
ソヴェート聯邦の國內狀態　二三五
ソヴェート聯邦の國內問題　二三五
ソヴェート聯邦の單一農業稅・所得稅及社會保險　二三五
ソヴェート聯邦の民族共和國及自治州　二三五
ソヴェート聯邦の利權政策　二三五
ソヴェート聯邦民の租稅負擔に關する研究　二三五
ソヴェート聯邦利權政策の積極化　二三五
ソビエート・ロシア新聞論　二四一
ソヴェート・ロシヤに於ける經濟政策の變遷　二三五
ソヴェート・ロシヤに於ける産業組合　二三五
ソヴェート・ロシヤの鑛業　二三五
ソヴェート・ロシヤの勞働賃銀制度　二三五
祖父物語　八七
蘇文公文抄　七二
素文女子遺稾　一四二
蘇文忠公文抄　七二
蘇文定公文抄　七二
蘇米齋蘭亭攷　一三三
蘇平仲文集　一三七

蘇峰兄と小生　二一〇
蘇峰先生古稀祝賀知友新稿　二〇九
蘇峰先生の誠實　二一〇
蘇峰先生の存在　二一〇
蘇峰叢書　一九八
鼠璞　一四三
鼠璞十種　七〇・九六
そめちがへ　一八二
疏論提要　一七三
祖雄禪師之行實　八一
そよふく風　一三〇・二三九・二四三
徂徠學　二三八
徂徠先生答問書　一〇一
徂徠先生南留別志　一〇三・二二五・二二七・二三四
空おぼへ　七三
反町大膳訴狀　八七
夫從以來記　三八
ソ聯邦一九二六年の國勢調査に就いて　二三五
蘇聯邦とアメリカとの經濟關係　二三五
ソ聯邦の都市公益事業利權計畫　二三五
蘇聯邦民間飛行と其の計畫　二三五
村庵小稿　八三
尊意贈僧正傳　八〇
孫宇台集　二五四
孫淵如詩文集　一三六
孫淵如先生全集　二五四
存悔齋集(外集共)　二五四
存覺上人一期記　九四
尊經閣募捐藏書章程　一六九
巽軒叢書　一〇七
孫虔禮書譜　二五七
存研樓文集　二五二
巽軒論文　二一一
孫公談圃　一四三・一五八
遜國記　一五三
尊語集抄　九四
孫吳副詮　二九八
存齋遺集　一七一
存採叢書　九六
存採叢書總目　九七
孫子　七一・二六三
孫子合契　二九八
遜志齋集　一三五
孫子算經　一六五
孫氏爾雅正義拾遺　一六三
孫氏周易集解　一三一
孫子集註　一三一
孫子書畫鈔　一二五
孫氏瑞應圖　一四七
遜志堂雜鈔　一三一
尊勝寺供養記　五四・六六
孫樵集　一三五
尊勝寺略緣起　四一
存心　一〇五
村攝記　二一九
存素堂集　二五四
尊俎餘功　一五四
尊王論　二〇一
尊卑分脈脫漏　七七
存復齋續集　一三五
存復齋文集　一三五
孫武兵法擇　一七〇
孫武兵法擇副言　一七〇
遜謨兒四星編　一七三
存餘堂詩話　一五六・二六二

タ

Ternary system CaO-Al_2O_3-SiO_2の水化作用に就て　二〇八
大安寺緣起　五五・六六
大安寺伽藍緣起流記資財帳　五五・六六
大安寺碑文　九六
退庵隨筆　一六四・二三三
第一樓叢書　二〇三
第一回國勢調査關係書類　二七〇
第一回國勢調査宣傳官報廣告集　二七〇
第一期國會始末　一一七
太乙經　一五二
太乙照神經　一三八
對雨編　一三一・一四九
大雲院開山貞安上人傳　八〇
大雲山房雜記　一三三・二三三
大雲山房十二章圖說　一三三
大雲山房文稾(言事共)　一三七・二五二
大雲山房文鈔　二五三
大雲寺緣起　九〇
大雲寺諸堂記　九〇
大英國民　一一三
大永五年石清水八幡遷宮日時定　七五
大永三年室町殿護摩記　八九
大英商業史　二八九
大永二年殿上淵醉記　八二
大永二年八月四日御會和歌　八四
代奕雜抄　二三四
大役小志　一九四
體液無機硫酸ノ微量比色定量法　二〇七
大圓禪師傳　八〇
大翁手記　二三四
滯歐通信　二〇一
戴恩記　九二・九六
大槐祕抄　五六・六七
帶格　一五一
大鶴庵塊翁撰月次　四二
大學衍義　二〇三
大學學生生活の方法　一九〇
大學古本　一四二
大嶽志　一二八・一四八
大學士高中玄公伏戎紀事　二六七
退學詩齋詩集　二四六
大覺寺門跡次第　七七
大覺寺門跡略記　七七
大學小解　七〇
大學證文　一六八・二〇四
大學新聞街　二四一
大學石經　一四三・一六四
大覺禪師鏡像紀實　八三
大學知本圖說　二〇四
大學標註　一七六
泰嶽府君記　一三九
大學問　二〇四
大學或問　一〇一
大がらん寶物鏡　三七
大觀　二三八
大韓疆域考　九八
退閑雜記　二一五・二三四
大間書　四七・五九
大鑑禪師塔銘　八一
大觀茶錄　一五〇
大機弘宗禪師行狀　八一
代議政體　一一七
大逆無道論　一八九
退享園詩鈔　二四六
大饗御裝束間事　五五・六七
大業襍記　一二九・一五二
大饗雜具目錄　九二
大饗雜事　五五・六七
大饗次第　五五・六七
大業拾遺記　一五二
大業拾遺錄　一四七
大饗机之考證　一七七・一七八
大饗略次第　五五・六七
太極圖說遺議　二〇三

退去日錄　一八七
大疑錄　一七〇
第九日曜講壇　一九三
退溪集　九八
帶經堂集　二五四
帶經堂詩話　二五一
大家笛血脉　八六
泰軒易傳　三三
大元官制雜記　一二七
太玄經(說玄・釋文共)　一三四
大現國師行狀　八一
大元氈罽工物記　一二七
太元闡祕　一三八
大元倉庫記　一二七
大元馬政記　一二七
待賢門院堀川集　五一・六三
太湖　二三八
大廣益會玉篇　一三六
太昊古曆傳　一〇六
大興心宗禪師行狀　八三
大弘禪師道行記　八三
太皇太后宮亮平經盛朝臣家歌合　四九・六〇
太皇太后宮大進淸輔朝臣家歌合　四九・六〇
太康地記　一四八
太公兵法逸文　一六九
退耕錄　二三九
第五回內國勸業博覽會出陳教育統計表圖　二七五
醍醐雜抄　五五・六六・九二
太古蠶馬記　一三九
太古史　一一三
醍醐寺緣起　五四・六六
醍醐寺座主讓補次第　七七
醍醐寺雜事記　五五・六六・九二
醍醐寺初度具書　九〇
醍醐寺要書　九〇
醍醐枝葉抄　九二
醍醐隨筆　一〇三
太湖石志　一五一
太湖泉志　一五五
大瓠堂詩錄　一三五
醍醐報恩院血脉　九一
醍醐無量壽院法流相承　九一
退齋雅聞錄　一四三
退齋筆錄　一四五
泰山遺說　一〇〇
泰山紀勝　一五八・一六八
第三十三統計年鑑各科略解　二七三
對山書屋墨餘錄　二六三
泰山生令記　一三九
台山遊草　二五四
黛史　一六〇
大慈菴佛通禪師行狀　八〇
大治改元定記　八二
大使館建設ノ議　二六七
大事記　一四六
太史公繫年考略　一二七
大司寇蕭岳峯公夷俗記　一三八・一五四・二六七
第四高等學校和漢叢書細目　一〇
大師御行狀集記　八〇
太子祭典展覽目錄　一六
太師誠意伯劉文成公集　二五四
大思想エンサイクロペヂア　一〇七
第七日曜講壇　一九三
第十回國際醫學會軍陣衞生部　一八五
對支投資の根本精神　二八九
大治二年曼陀羅供次第　八九
大邪政事椀　四四
台宗綱要　七〇
第十五回共産黨大會に就て　二三五
第十三回萬國統計協會會議報告　二七一
大受堂札記　一四〇
大乘院日記目錄　九四
大乘院門跡次第　七七
大甞會延引勘例　四七・五九
大甞會小忌抄　八三
大甞會御禊事　四七・五八
大甞會御禊節下次第　四七・五八
大甞會御禊日例　四七・五八
大小學校建議　一一八
太上感應篇經傳　二六七
太上感應篇纘義　二〇三
太上感應篇注　一三三
大照公略譜　九七
大正公論　二三八
大聖國師道行記　八二
大正五年の我か劇壇　一九六
大小宗通釋　二〇四
大小二乘の比較論　二〇〇
大正二年末人口靜態調査結果速報　二七九
大正二年末人口靜態調査ノ結果ニ據ル帝國人口概說　二七九
大乘入道四行觀講義　一八九
大乘佛數の使命　二一三
對牀夜話　一六一
大上﨟御名之事　五四・六五
大織冠　七三
大織冠傳　四六・五八
退私錄　一七〇・二二五
退私錄附言　一七〇・二二五
代始和抄　五五・六七
太神宮御相傳袈裟記　五四・六六
太神宮參詣記　四五・五七・七五
太神宮諸雜事記　四五・五七
太神宮ぶつきりやう　七六
太神宮法樂伊與千句　八五
大震災より得たる教訓　一九六
苕岑集(二集共)　二三〇
對淸對韓論策　一八七
大身小身　一八九
大臣大饗記　九二
大盡舞考證(追加・考餘附)　三三
退遂齋詩鈔(續集共)　二四六
代醉編　一五四・二六七
大豆由來說略　一九二
泰西英傑傳　一一三
太淸和尙履歷略記　八一
太淸記　一五三
泰西胸水新書　一七三
泰西國法論　一一八・二八六
泰西地震說　一七三
泰西政事類典序　一九九
泰西二十四方　一七三
泰西名家幼傳　一八七
太淸樓侍宴記　一三〇・一五三
大山寺緣起　九〇
大膳大夫有盛記　九二
大戰と戰後の新局面　一〇七
大全早引節用集　三三
體操及戶外遊戲　一一三
大宋重修廣韻　一三六
大宗禪師行狀　八一
大藏治病藥　一三〇・一六一
胎息經　一四〇
胎息經疏　一五六
大租取調書　二八九
大帶寺緣起　三九
題題詞題端　二〇四
代々先皇法語集　九一
大內裏抄　九二
大地を歸路とせる交流回路の誘導作用を利用せる通信法　二〇八
大中遺事　一四六
臺中州立圖書館圖書目錄　一〇

大通人好記　三八
大通禪師行實　八〇
大通餅大通燒　二一〇
大帝國　二三八
大的躰拜記　五四・六五
大典會通　九七
大傳法院本願聖人御傳　八〇
大典奉祝陳列品目錄　一六
大電力放送受信に關する實驗竝に放送受信機に現はれた新傾向　二〇八
大東　二三八
大東韻府羣玉　一九
大唐王居士甎塔銘　二五八
大道和尙行狀　八一
大統歌　七一
大道學館開講式　一八八
大道學館開校式の景況　一八八
大道學館揭示講義　一八八
大道學館新年式　一八八
大道學館生徒の參宮に餞す　一八八
大道學館設立趣意　一八八
大道學館設立に付哀願書　一八八
大道學館統一舍設立事情　一八八
大唐奇事　一四六
大刀契考　一七六
戴東原集　一三五
大燈國師行狀　八一
大道寺家松井田城主三節寄騎家中姓名　四三
大道社擴張主意書　一八八
大道社基本金を募るの檄　一八八
大道社主義辯　一八八
大道社成立の精神　一八八
大道社設立に就て　一八八
大道社と政黨の關係　一八八
大道社の希望一斑　一九〇
大道社は雜炊屋なりや　一八八
大唐新語　一四六・一六一
大唐西域記　三九・一三四
大唐創業起居注　一四一・一四六
大道叢誌第五十一號に上るを自祝す　一八八
大道叢誌第百一號に達せるを自祝す　一九〇
大唐傳載　一六一
大道の汚點　一八八
大東寶鑑　一九
大塔物語　八七
大東野乘　九七
大道論　一八八
大德宗峯達磨大師云々文書　三九
對獨賠償問題に就て　二一三
大納言家歌合　四八・六〇
大納言經信卿集　六九
大納言拜賀部類記　八三
岱南閣集　一三三
臺南廳統計書　二七三
第二回東京市統計年報校閲ニ就テノ意見　二七〇
第二十世紀豫想論　一一三
第二十七回圖書館大會ノ際ノ展覽目錄　一六
第二靜思餘錄　一九三
第二日曜講壇　一九三
第二碑　二五七
大日本　二三八
大日本外國貿易二十五年對照表　二七六
大日本外國貿易年表　二七六
大日本學術叢書　一〇九
大日本合衆國新定條約竝附錄草案　一一七
大日本憲法講義　二八六
大日本國一宮記　四五・五七
大日本國皇城東五山之上瑞龍山大平興國南禪々寺開山第一世祖佛心禪師大明國師無關大和尙塔銘　八〇
大日本國政典に就いて　二〇九
大日本國東海道相州路鎌倉縣巨福山建長興國禪寺第十代勅謚大通禪師行實　八〇
大日本國特賜佛燈國師約翁和尙無相之塔銘　八〇
大日本山林會創立二十五年紀念號　二八九
大日本私立衞生會雜誌編輯掛に與ふ　一八五
大日本史論讃集　二八三
大日本人名辭書第一版の卷末に書す　一九九
大日本租稅志　二八九
大日本帝國憲法義解　二八六
大日本帝國文部省年報　二七六
大日本百科辭書　三一
大日本船路細見記　一三一
大年大和尙傳　八一
大能寒軒詩鈔　二四六
鯛の味噌津　一七三
大梅居士文鈔　一〇〇
大梅山開山月林皎禪師行狀　八一
大梅山館集　二五四
大梅夜話　七四
大發見　一八二
大悲山寺緣起　九〇
大備對宗　二六四
大嚮簾小嚮簾考　一九二
大百科事典　三一
大廟諄辭　一八八
大廟諄辭を讀む　一八八
代表的型物　一九四
大賓辱語　一五五
大佛御頭供養日記　九〇
太平寰宇記　一二七
太平記　六九・二九六
太平御覽　一二七
太平廣記　二六四
太平策　一〇一・一〇三
太平清話　七一・一六六・二三三・二六七
泰平年表　二八三
太平洋　二三八
大法師淨藏傳　九四
臺北高等商業學校圖書館和漢書分類目錄　一〇
當麻中將姬まんだらの由來　七三
當麻曼陀羅緣起　五五・六六
大明一統志　二六六
大明京省九邊外國府州縣路程圖　二八五
大明九邊萬國人跡路程全圖　二六五
大明國師無關大和尙塔銘　八〇
大明仁孝皇后內訓　七一
大明禪寺開山月菴和尙行實　八一
隊務日記　一八五
對面曾我　七三
對問　一〇五
待問雜記　一七四
待問雜記後編　一七四
大猷公御上洛中の詠歌（附神詠）　一〇四
太陽　二三八
大陽和尙行實　八一
大洋洲地誌　一一三
太陽の畫論　一七九
退餘叢話　一三八
平忠度朝臣集　五〇・六二
平忠盛朝臣集　八五
平知信朝臣記　九四
內裡歌合　四八・四九・六〇・六一

內裏歌合右方後番　八四
大陸　二三八
大理行記　一三五
內裏御屛風　八四
內裏詩歌合　五〇・六一
內裏式　四七・五八
內裏遷幸部類　七七
內裏名所百首　四八・六〇
大略天學名目鈔　一七四
大龍寺緣起　九一
大林和尙塔銘　八二
大禮記念通俗講演集　二一二
耐冷譚　二五一
大禮の要旨　二八六
大禮要義　二八六
大連圖書館和漢圖書分類目錄　一〇
第六日曜講壇　一九三
太和正音譜　一三五
臺灣及琉球の音樂に就きて　二一二
臺灣外記　一六四
臺灣外國貿易概覽　二七六
臺灣外國貿易十五年對照表　二七六
臺灣外國貿易年表　二七六
臺灣各種學校生徒及兒童發育統計　二七六
臺灣關係資料展觀目錄　一六
臺灣紀略　一五八・一六八
臺灣銀行十年志　二八九
臺灣金融事項參考書　二七六
臺灣現住人口統計　二八一
臺灣戶口調査に就て　二七〇
臺灣雜記　一五八・一六八
臺灣產業調査錄　二八九
臺灣事情　二八五
臺灣十年間之進步　二七三
臺灣諸開港外國貿易概覽　二七六
臺灣職業名豫察報文　二八一
臺灣人口動態統計　二八一
臺灣人口動態統計記述報文　二八一
臺灣人口動態統計五年報　二八一
臺灣人口動態統計十年報　二八一
臺灣總督府統計書　二七三
臺灣總督府圖書館選定圖書目錄　一〇
臺灣總督府圖書館和漢圖書分類目錄　一〇
臺灣總督府法規提要　二八六
臺灣總督府報告例　二七〇
臺灣總督府民政事務成績提要　二六七
臺灣鐵道史　二八八
臺灣統計摘要　二七三
臺灣統計要覽　二七三
臺灣ニ施行スヘキ法令ニ關スル法律其ノ沿革竝現行律令　二八六
臺灣日日新報壹萬號及創立三十周年記念講演集　二一二
臺灣之米作統計　二七六
臺灣犯罪統計　二七六
臺灣蕃政志　二八三
臺灣蕃地交涉年表　二八三
臺灣府噶瑪蘭廳志　二五九
タウンセンド・ハリスの一私信　二一〇
互先碁盤忠信　一〇三
高尾考　三三・七五
高尾追々考　九六
鷹聞書　八六
高木利太遺書古活字版展觀目錄　一六
高木文庫古活字版目錄　一〇
鷹經辨疑論　八六
鷹口傳　八六
高倉院嚴島御幸記　五三・六三
高倉院御元服記　八二
高倉院御即位記　八二
高倉院升遐記　五六・六八
高倉社勸進帳　七六
高藏神社杵舞記　三九
鷹詞百韻連歌　八六
鷹三百首和歌　五三・六四
高階氏系圖　四六・五八・七九
高島炭坑問題　一三〇
高城下野家記　一〇五
隆祐朝臣百番自歌合　五〇・六一
高瀨舟　一八一
高瀨舟緣起　一八一
高田早苗博士大講演集　二一三
高忠聞書　五四
たかたち　三五・七三
高田圖書館圖書目錄　一〇
高田雲雀　二一九
鷹司家獻納書籍目錄　一〇
高天神小笠原家譜　七六
高梨系圖　七六
高ねおろし　二一八
高野長英全集　一七三
高宮假殿日記　四五・五七
高宮御裝束奉餝日記　四五・五七
高宮盜人闖入怪異事　七五
高橋氏文考註　一〇六・一七六
高橋氏文殘簡訂注　一七六
高橋勝弘吳文聰兩氏功勞表彰に關する報告　二七〇
高橋記　八八
高橋散史夜話　一三〇
たかはゝき　二一八
鷹祕抄　八六
鷹百韻連歌　八六
鷹百首　五三・六四・八六
たかまあし　四四
高天原辯　一八八
高光集　五〇・六二
高本大人家集　一〇三
多賀谷七代記　九四
たから合の記　三八
多暇錄　一三五・二三三
兌換紙幣　一九九
瀧口入道　一九九
瀧澤家訪問往來人名簿　四〇
瀧ノ口落城記　三九
薰物之記　四四
唾玉集　一四四
澤庵和尙鎌倉記　三七・九五
澤庵禪師書簡　二一四
卓異記　一三〇・一四〇・一六二・一六四
濯纓亭筆記　一五四
謫居童問　九五
宅經　四一・一四〇・一五二
諸皐記　一二六・一五二・一六二・一六七
澤山雜記　一五三
拓殖博覽會事務報告　二八九
擁石齋詩集　二四六
託素齋詩文集　二五五
田口卯吉全集　一九九
田口先生略歷及び年譜　二〇〇
宅間系圖　七九
擇里誌　九八
竹崎五郎繪詞　八七
多氣窟螢　二一八
武田勝賴滅亡記　八七
武田弓箭故實　八八
武田系圖　七八
武田家諸士起請文　八九
武田射禮日記　八八
武田法印系圖　七八
竹田雄譽光英法印壽像讃　八〇
武智麿傳　四六・五八
竹とりの翁物語　五一・六三
竹內系圖　七八

竹内僧正句題歌　八四
竹内綱獄中日記抄錄　二一〇
竹内綱自敍傳　二一〇
竹之丞　三七
竹本豐竹淨瑠璃譜　三三・二四
多胡辰敬家訓　九二
太宰春臺獨言拔抄　三三五
多歲堂詩集（詩戰廣集・試律詩集・賦集共）　二四六
太宰府官符　三九
太宰府天滿宮故實　一七一
唾作詩志彀　一〇〇
多氏系圖　九七
但馬國太田文　九六・二〇六
多治見系圖　九六
田收穫及小租調查書　二九
太政官日誌　四二
太上法皇御受戒記　五四・六六
田尻系圖　九七
田代系圖　九六
打棗譜　一五二
だぞーるニ依ルあるかろい　ど吸着　二〇七
だぞーるノ生物學的意義　二〇七
黃昏隨筆　二五
只今御笑草　七五・二八
大戴禮逸　一四三
大戴禮記　七・二三・三三
大戴禮記補注　七一
多田系圖　九六
田中桐江傳　五三・六四
たなくひあはせ　五三・六四
七夕七十首　七〇
田邊城合戰記　九七
棚守房顯手記　三三・三四
谷阿闍梨傳　五二・六二
谷川の水　八七
谷間の姬百合　一〇二
田能村竹田全集　九六
田賣買價格及金利調查書　四六・五八・七九
煙草傳來說略　五〇・六二
煙草由來說略　一七四
打馬圖　八〇
打馬圖經　一九八
旅路のうちきゝ　八三
ダビット・モルレー申報　一七四
田盧歌集　五五・六六
玉あられ　一〇三
玉を懷いて罪あり　一八六
玉かづら　九五
玉川參登鯉傳　五三・六四
玉川砂利　四四
玉川披砂　八七
玉くしげ　一九四
玉簇兩浦嶼　九〇
玉簇兩浦嶼自註　一九一
玉簇兩浦嶼の初度の興行に就て　一八二
多摩郡深大寺鐘銘　一九一
玉島紀聞　三九
玉造小町子壯衰書　四八・五九
玉津島社法樂假名題目百首　和歌　八四
玉津しまの御本地　七三
玉に對する古代亞細亞民族の先天的崇敬心に就ての考察　二一〇
玉の緒變格辨　一九三
玉鉾百首　七二・八六
玉鉾百首解　一七七・一八六
玉藻册子　三八
民草婦利　一〇三
手向草　一八六
たむけの說　一〇一
田邑麻呂傳記　四六・五六
爲家卿千首　八四
爲家卿藤川題百首　五〇・六三
爲和卿集　九六
爲兼卿家集補遺　四九・六一
爲兼卿家歌合　四八・六〇
爲兼卿鹿百首　九九
爲兼卿和歌抄　八五
爲兼集　八四
爲定卿藤川題百首　五〇・六三
爲重卿集　八三
爲相卿千首　八四
爲相卿百首　四八・六〇
爲尹卿千首和歌　八五
爲廣卿集　八五
爲冬集　八五
爲盛發心集　九一
爲恭筆重盛諫言圖　三七
爲顯朝臣集　五〇・六二
大夫尉義經長申記　四七・五九
足土根記（タヅチ）　一〇一
陁羅尼殘帙　三九
墮涙口碑　三七
ダル・エミッターに就て　一七七・一八六
誰が讀んでくれるか　二一〇
田原榮　一九七
たはれぐさ　一〇三・二五・二一七・三三五
譚盦自娛草　二四六
譚庵先生遺稿　四五
談瀛錄　二六〇
談淵　一三〇・四五
湛園札記　二六二
湛園雜錄　一五四
丹鉛總錄　二三三
丹鉛續錄經說　一六六
譚苑醍醐　一四九
湛園題跋　三九
湛園未定藁　三五二
談往　一五八
談海　一八七
譚海　七〇・三三五
丹鶴圖譜　六九
丹鶴叢書　六八・九七
短歌選格　一四四

斷憎一則　一八一
彈碁經　一五一
檀几叢書　一五九・二六七
恥奇漫錄　二一五・二一七
單騎要略被甲辨　一四二・一四三・二六六
端谿硯史　二一五
端溪硯石考　一九六
端溪硯譜　一九九
端溪硯品　一五〇・六四
談藝錄　一五六
談言　一五七
短劍を持ちたる女　一八四
團子坂　一八二
丹後守爲忠朝臣家百首　四八・六〇
丹齋通編　一三一・一四四
澹山雜識　一三一・一四四
譚子化書　一四二・一四三・六六
段氏逸筆法　二五六
丹室遺文　二〇五
丹室雜著　二〇五
丹州三家物語　八七
探春歷記　一二九
談剩　一五五
誕生寺略緣起　二九
男女關係の進化　一八六
男女共學問題　一九〇
男女交際論　二〇一
男女紳言　一六六
男女由筆　一五六・一三二・一六二
丹陽記　二五三
譚幹　一八八
淡水龕志　一八〇
丹青志　一五六・一六七
旦夕覺書　一〇三
談撰　一四五
湛然居士文集　一三七・一六九
談叢　一三〇・一四五・一六四
段太尉集　一三八
探題次第　七七
膽大小心錄　七三
譚仲修先生復堂詞話　一四〇
單刀直入錄　一九三
檀那山人藝舍集　一七三
澹泊齋文集　九五
澹泊史論　二六三
澹泊先生史論　三五
丹波氏系圖　四六・五六・七九
丹波州氷上郡佐治庄瑞岩山高源寺開山遠溪祖雄禪師之行實　一五七・一六九
丹波州氷上郡佐治庄瑞岩山高源寺開山遠溪祖雄禪師之行實　八一
丹波長ビームに就て　二〇九
丹波與作評釋　一〇三
丹波與作無問鐘　一〇三
單稗と複稗と　一八〇
檀卮尼（まゆみ）長者本地　一〇〇
薹菊集　五四・六五
談鋒賚銳　二四六
煖房に就いて　二三・三二・六三
暖妹由筆　八三
筑前名寄　一七〇
筑前國諸社緣起　一七〇
筑前國續諸社緣起　一七一
筑前國續風土記　七〇
竹窗詞　二五四
竹抓子　三三五
畜德錄　一五五
竹派　一二八・一五六・六六
逐波居士安心談　一八九
竹馬抄　五五・六七
竹坡詩話　一四一
竹坡老人詩話　一四九
竹譜　二三四・一五一・六四・六七
竹生島緣起　四五・五七
竹豐故事　七三・九九
竹林詩評　一四九
竹林抄　八五
竹連珠　一六〇
逐鹿記　一二七・一三三
地下歌合　四九・六一
知顯抄　八六
稚黃子　一五九
雉岡隨筆　二一七
治國の大本　一八九
兒敎訓　五一・六三・七一
知止歌小解　一〇一
地志啓蒙　一四二
地質學　一四二
地質學特別講義　一一〇・一一一・一三二・九二
千島艦事件　一九一
千草結び色葉八卦　一一七
知鑑禪師年譜　二六〇
地球　二六・一五六
地球と太陽　一〇二
地球略解　一四五
地境圖　一三七
致虛雜俎　三三五
竹雨吟鈔　一七六
竹榮祕抄　一七七
竹嵓庵傳鈔書目　一〇二・二四
竹園抄　八五
竹下詩鈔　二四六
竹橋餘筆　七〇
竹居清事　八三
竹居禪師塔銘　二六三
竹溪雜述　三五
竹溪詩文鈔　二四六
筑後國神名帳　七六
竹齋老賓山吹色　三六
千草結び色葉八卦　三六
畜產各論　一二〇
畜產計畫書　二六九
竹山國字牘　三五
畜產汎論　一二〇
築城記　五四・六五
竹嘯軒詩鈔　二四六
竹書紀年　一三三・一三二・六三
竹書紀年校補　一三七
竹泉閑話　三三五
筑前州大宰府安樂寺菅丞相祠堂記　七六

池上草堂筆記　二六二
智證大師傳　八〇
癡人と死と　一八四
致身錄　一二八・一五三
「地層の斷面圖製作に便利なる曲線圖」及び其算式に就て　一九一
地租改正私議　一八七
知足齋詩集　二四六
地租増否論　一九九
地租論　二〇一
父　一八四
父と妹　一八四
父の讎　一八五
知耻篇　三五
蟄居紀談　一〇〇
池底叢書要目　一〇
地的環境と人生　一一四
知德發達論　二〇〇
千とせの門　一七三
智嚢補　一六三
千葉上總系圖　七八・一〇四
知白齋詩鈔　二四七
千葉系圖　七八・一〇四
千葉家盛衰記　一〇四
千葉縣學事年報　二七六
千葉縣勸業年報　二七六
千葉縣君津郡家畜調査ノ概要　二七六
千葉縣戶口統計　二八一
千葉縣産業要覽　二七六
千葉縣統計書　二七三
千葉支流系圖　七八・一〇四
知彼一助　一七三
致富小記　二八九
知不足齋叢書　一六〇
地文學　一一一
西藏記　一六八
地方衞生技術官協議會講演集　二九八
地方官會議日誌　一一七
地方機關の統計事務に對する一般の心得　二七〇
地方經濟參考表　二八八
地方財政　二七七
地方財政及其統計概說　二七〇
地方自治ト社會的制度　二八七
地方人口年齡別死亡率及其ノ記述　二七一
地方新聞廣告行數統計月報　二四一
地方稅勸業費豫算決定額表　二七七
地方良民の生血を吸ひ取る惡蟲驅除法　一八九
池北偶談　一六三・二三三・二六二
地名河川兩字通用考　一七〇
知命記　一〇一
地名字音轉用例　一七七・一七八
知命錄　二六七
千本系圖　七八
茶解　一五六
茶器名物集　八七
茶經　一三〇・一五〇・一六一・一六四
茶香室叢鈔(續鈔・三鈔共)　一六四・二三一
茶山集　一六五
茶神の由來　四一
茶箋　一五六
茶蔬　一二八・一五六
茶番三階圖繪　三七
茶譜　一五六
茶味論　二九八
茶餘客話　一六三・二三一・二六二
茶寮記　一五六
茶錄　一三一・一五〇・一五六・一六四
中亞細亞探檢談　二〇三
仲安遺草　二四六
中央銀行を論ず　一九九
中央公論　二三八
中央公論年報　三三
中外　二三八
中外經緯傳草稿　一七六
中外抄　八三
注解傷寒論　一三五
中外商業新報　二四二
中外時論　二三九
中外新聞　四二・一一九・二四二・二四三・二四四
中外新聞外篇　一一九・二四三
中外新聞紙　二四三
中外新報　二四二
中學修身訓の主旨　一九五
中學新讀本編纂の主意　一九八
中學新讀本編纂方針　一九八
中華古今注　一四三・一五八・一六三・二三三
中華事始　三〇・一七〇
中家實錄　九六
忠雅堂詩詞全集　二四七
忠雅堂評選四六法海　二五二
忠雅堂文集　二五二
中岩和尙自歷譜　八一
忠義水滸傳　二九六
沖虛至德眞經　一三三
中饋錄　一五〇
中宮御産部類記　五六・六八
中宮亮顯輔家歌合　四九・六〇
中宮亮重家朝臣家歌合　四九・六〇
忠經　一三三・一四〇・一四八
中京誌　九七
中繼線に依る各地放送局中繼放送電波間の時差測定　二〇九
中興以來絕妙詞選　一三六
中興館閣書目輯攷　七
中興閒氣集　一三五
中興鑑言　七〇・二八三
中興禦侮錄　一三
中江講院建立經誼治事兩齋章程　一六九
中興政要　一四〇
注好選集　九二
中江尊經閣藏書目　一〇・一六九
忠孝類說　四四
忠孝論　一八九
中古歌仙三十六人傳　四六・五八
中吳紀聞　一二一・一二三・一四四
中國逸藝文志　一〇・一二
中國雕板源流考　三
中國治亂記　五三・六五
中國兵亂記　三九
中古劇場說　三三
中古雜唱集　一七六
中古史　一一二
中古六歌仙　八三
中山詩話　一四一
中山日錄　九五
中山狼傳　一三一
仲氏易　二〇三
柱史抄　四七・五九
中州樂府　一三六
中州金石目　一三三
中州金石目錄　一二六
中州集　一三六・二五〇
中洲文稿　二五二
中洲野錄　一三二・一五四
中壽ノ說　二七九
中性院法印灌頂賫記　八九
丑庄日記　一五五
中條宮辨財天由來記　七六
中書王御屛風　八四
廚事類記　五三・六四
知友新稿　二〇九
痴遊隨筆　二三九
中西算學　一五八
中正子　五六・六七
蟲聲鳥語集　二九六

中西度量權衡表　一六八
中世佛蘭西文學研究　一一三
中說　一二四・一三三
中禪寺私記　五五・六六
中朝故事　一三〇・一四六・一六一
中朝事實　七〇
忠傳　一二五
中殿御會部類記　五一・六三
中東戰紀本末　二五九
中等百科辭典　三一
中納言拜賀部類記　八三
中納言雅兼卿集　五〇・六二
中日戰輯　二五九
中日文化協會事業報告　二三五
仲文章　九二
中本書目　七三
稠密ナル本邦人口　二七九
蟲鳴漫錄　一六三・二三三
中庸古本　一四二
中庸說　二〇四
中庸標註　一七六
中庸篇義　一三八
中陵漫錄　二一八
忠烈文選　七一
晝簾緒論　一六四
中論　一二四・一三三
中倭戰守始末記　二六三
黜朱梁紀年論　一五九
帳合之法　二〇〇
長安客話　一三三・一五四
長安看花記　一四〇
長安宮詞　一四〇
長安志　一四八
婕庵詩鈔　二四七
長闇堂記及家傳遺誡　八七
婕庵賦鈔箋註　二四七
聽雨紀譚　一三二・一五四
聽雨軒筆記　一六三
聽園西疆雜述詩　一六八
張憶娘簪花圖卷題詠　一六九
澄懷園詩選　二四七
朝會儀記　一四六
澄懷錄　一四四
釣客傳　七五
長河志籍考　二三三
長歌選格　一七四
潮嘉風月　一四〇
長寬勘文　五五・六七
長寬二年朔旦冬至記　八二
調謔篇　一三一・一四五
釣魚　一一一
長享元年九月十二日常德院殿樣江州御動座當時在陣衆着到　五六・六七
長享三年諒闇終記　九三
長享二年還御次第　九三
長享二年渡御倚廬次第　九三
長享年後畿內兵亂記　八七
琱玉集　一二六
彫玉飛屑　一八六
釣磯立談　一四五・一六九
長吟閣詩集　二四七
朝覲行幸御供奉事　七七
朝覲行幸部類　七七
蝶くらぶ　一九三
長慶院御願文　三九
長慶院非讓位辨　一九二
苕溪漁隱叢話　一四九
朝京打馬格　一五六
長元大嘗會御屛風本文　四七・五九
長元物語　八八
長語　二二九
趙后遺事　一五二・一五八・一六七
聽香館叢錄　二六〇
朝綱史　一九二
長江集　一三五
澄江集　二六一
彫刻及捉影術　一一一
微刻南北宋人集小啓　一〇
彫刻の話　一七九
長恨歌傳　一二六・一三〇・一五二・一六二・一六七
量采清課　一二八・一三二・一五五・一六六
長沙耆舊傳　一四七
長山公自書年譜　二六二
晁氏客語　七一・一四三・一五八・二三三
趙氏家法筆記　一二五
張司業詩集　一三六
張氏勳德記殘卷　一六二
晁氏儒言　七一
張子正蒙注　二〇五
長者言　一二八・一五六
釣者風　二四七
長壽院內府九十賀記　九三
長壽院內府九十賀和歌　八四
長周叢書　九七
長周叢書解題目錄　九七
暢春苑御試恭記　一三九
長春眞人西遊記校注　二〇三
蜩笑偶言　一二八・一五四・二六七
聽松濤館詩鈔　二四七
長承二年相撲立詩歌　八四
長嘯蟲歌合　四四
聽松廬詩略　二四七
暢敍譜　一二五
長眞閣集　二五五
澄心寺緣起　九〇
長水日抄　二六七
長頭丸隨筆　一〇一
長生新浦島　一九四
長生殿傳奇　二五七
長生療養方　九一
朝夕禮拜略式及拜辭　一九〇
聽雪齋詩鈔　二四六
張說之文集　一三六
朝鮮印刷史　二
朝鮮外寇史　九八
朝鮮活字印刷資料展觀目錄　一六
朝鮮冠服の事　一六九
朝鮮記　八七
朝鮮歸好餘錄　二九三
朝鮮紀事　一三二・一五四
朝鮮宮中物語　一一九
朝鮮群書大系　九七
朝鮮京城事變始末書　一一七
朝鮮研究會叢刊　九八
朝鮮國遣使ニ付閣議分裂事件　一二〇
朝鮮國信書の式の事　一六九
朝鮮古書目錄　一〇
朝鮮書籍目錄　一〇
長泉寺略緣起　四一
朝鮮信使議　一六九
朝鮮信使辭見儀注　一六九
朝鮮信使賜饗儀注　一六九
朝鮮信使進見儀注　一六九
朝鮮人來歸錄　二八三
朝鮮人來朝記　四四
朝鮮人來聘留　四四
朝鮮叢書　九八
朝鮮總督府及所屬官署主要刊行圖書目錄　一〇
朝鮮總督府古圖書目錄　一〇
朝鮮總督府施政年報　二八七
朝鮮總督府鐵道局年報　二七七
朝鮮總督府統計年報　二七四
朝鮮總督府統計要覽　二七四
朝鮮通交錄　一七三
朝鮮典籍の一考察　二一〇
朝鮮統治三年間成績　二八七
朝鮮圖書解題　一〇
朝鮮人蔘　二一〇

朝鮮之光　二三八
朝鮮博物志　九八・二三五
朝鮮美術大觀　九七
朝鮮聘使後議　一六九
朝鮮聘禮事　一六九
朝鮮本書名目錄稿本　一〇
朝鮮野談集　九八
朝鮮李王家の古樂舞——我が宮中の舞樂との關係　二一
朝鮮龍山鐵道圖書館藏書目錄　一〇
朝鮮論　一八七
頂相靈驗記　八三
長曾我部系圖　七九
長宗我部信親　一八二
長曾我部元親記　八八
長曾我部元親式目　八八
長曾我部元親百箇條　五三・六五
町村是調査綱要　二七〇
張太常集　一三八
超短電波發生用眞空管及び其れに依つて起る二三の電子的異常現象に就て　二〇八
張仲景註解傷寒百證歌　一三八
雕蟲集　一三
張長史十二意筆法　一五〇
窕鬻富保　二一四
調度歌合　五六・六七
長德二年大間書　八二
町人考見錄　六九
町人考見錄追加　六九
町人囊　一七四
長白山錄　一六〇
長半假名引節用集　三三
趙飛燕外傳　一三九・一五二
懲毖錄　九七
張嬪　一一九
調布日記　一七三
張文襄幕府紀聞　一四〇・二三三
朝聘應接紀　一六九
長弁私案抄　九一
長寶寺系圖　七九
長防征伐略記　四二
兆民先生行狀記　二〇九
長門國誌　九七
聽聞雜話　二三五
朝野遺記　一四六・一五八
朝野記言　一九
朝野群載　六八
朝野雜載　一七一
朝野新聲太平樂府　一三六
朝野新聞　二四二
朝野僉言　一四六
朝野僉載　一三〇・一四六・一六一
朝邑志　一三八
張右史文集　一三五
重酉抄　九二
趙翼傳　二六〇
朝來先生遺稿　一〇三
長離閣集　一三六・二五四
張良　七四
長祿寛正記　五三・六四
長祿記　八七
長祿三年曆　九二
長祿二年以來申次記　五四・六五
長祿二年記　九一
長祿年中御對面日記　八八
楮記室　一四三
樗牛全集　一九八・一九九
直翁和尙塔銘　八一
直講李先生文集(外集共)　一三五
直齋書錄解題　一〇・一六五
勅諡大機弘宗禪師行狀　八一
勅諡南院國師規庵和尙行狀　八〇
勅諡寶覺直空禪師前住大唐京兆翠微寺後住日本京城東山建仁禪寺雪村大和尙行道記　八一
直税開税の區別を論ず　一九九
勅撰法相宗章疏目錄　九一
勅版官版及藩版圖書展觀目錄　一六
勅封藏開撿目錄　九〇
著作堂一夕話　三四・二二五・二二六・二三五
著作評論　二三八
楮氏遺書　一三八・一三九・一五三
樗囊抄　八二
千代ノタメシ　一〇一
千代の友つる　三七
ちよほくれ武士　四三
樗蒲經略　一五一
千代もと草　七〇・九五
地理科學　一一二
地理學　一九四
地理啓蒙　一四二
地理質學啓蒙　一四二
塵塚談　三三・三四
塵塚物語　二一六
塵袋　一九・九九
塵袋抄　一〇〇
地理驪珠　一五九
治瘵續聞　一八六
陳迦陵文集(儷體文集・湖海樓詩集・詞全集共)　一三六
賃銀政策　一〇九
陳檢討四六　二五三
鎭魂傳　一〇六・一七六
枕山詩抄　一〇四
陳氏安瀾園記　一四〇
陳州牡丹記　一五一
陳書　二六五
鎭將府日誌　四二
珍書刊行會叢書　九八
珍書同好會刊行書　九八
珍書目錄　一〇
珍書類聚總目　一〇
珍籍爛談　三
椿說弓張月　三三
鎭臺日誌　四二
枕譚　一三八・一五五・一六六
枕中記　一六二・一六七
枕中書　一四三・一六七
陳忠裕公集　二四七
枕頭雜筆　二〇二
陳伯玉文集　一三五
陳眉公太平淸話　一六六・二六七
陳眉公筆記　一六六
陳眉公祕笈　一六五・二六七
珍文叢書　四二
陳輔之詩話　一四九
珍本物語　三
沈默の塔　一八二
椿葉記　四五・五七
陳留耆舊傳　一四七
陳龍川文鈔　二九六
陳留風俗傳　一四八

ツ

追遠集　二九六
追記　一八七
追贊一話　五五・六六
追儺　一八二
通貨論　二〇一
通議　七五・二八七
通經表　二〇三
通玄算法記　四一
通語　一七五・二八七
通航一覽　六九
通詩選笑知　一七三
通志堂經解目錄　一三

通占大象曆星經　一四〇
通俗外交論　二〇一
通俗漢楚軍談　二六五
通俗傾城三國志　七三
通俗皇明英烈傳　二六五
通俗國權論　二〇一
通俗三國誌　二六五
通俗史談　二八三
通俗戰國策　二六五
通俗宋史太祖軍談　二六五
通俗續後三國志　二六五
通俗續三國志　二六五
通俗臺灣軍談　二六五
通俗通鑑五代軍談　二六五
通俗統計學大意　二七〇
通俗唐玄宗軍談　二六五
通俗唐太宗軍鑑　二六五
通俗圖書館良書目錄　一〇
通俗圖書選擇目錄　一〇
通俗南北朝梁武帝軍談　二六五
通俗二十一史　二六五
通俗編　二七
通俗北魏南梁軍談　二六五
通俗民權論　二〇一
通俗無上政法論　一一七
通俗兩漢紀事　二六五
通俗兩國志　二六五
通俗列國志　二六五
通俗列國志吳越軍談　二六五
通俗列國志十二朝軍談　二六五
通文館志　九七
通略延約辨　一〇六
通例人の一生序　一八〇
通鑑紀事本末　一三四
通鑑直解　二六五
通鑑地理通釋　一四〇
通鑑問疑　一四〇
月瀬記勝　二九六
月草序　一八一
月草の敍　一七九
撞賢木　一〇六
つきしま　七三
築島寺略緣起　四一
月千句　八五
月次のあそび　三六
槻の落葉信濃下向病床漫錄　二二五
槻の落葉信濃漫錄　二二六・二二五
月能桂　九三
月刈藻集　九二
月舍遺抄　二一四
月詣和歌集　八三
月雪花寢物語　二一五
筑紫四面考　一〇六
筑紫道記　五三・六四
筑土大明神略緣起　四一
筑波祈念百韵　八五
つくば山戀明書竝名所　三六
筑波問答　五一・六三
津下四郞左衞門　一八三
辻馬車　一八五
對馬國貢銀記　五六・六七
つゞれの錦　一七一・二二四
津田永忠君年譜　二八三
土御門院御百首　八四
土御門院御集　五〇・六一
土御門院御讓位部類　八二
土屋系圖　七八
土屋忠兵衞知貞私記　九四
堤中納言物語　八六
津戶三郞　七三
繫升三升繫　三六
綱金時最後　七四
綱島梁川　一九七
恒貞親王傳　八〇
經信卿集　九七
經信卿母集　五一・六二
經光卿改元定記　八二
椿新田記　一〇四
ツベルクリン驗績一覽　一八六
坪內逍遙君　一八一
坪內大造　一九七
壺阪寺　一八一
壺すみれ　七五
津守國基集　五〇・六二
通夜の說法　一八九
露川責　四一
露草雙紙　二一九
釣　一八五
釣書ふきよせ　二一四
釣舟　八五
釣船物語　一〇一
鶴岡事書案　九一
鶴岡社學頭次第　四六・五八
鶴岡社執行次第　四六・五八
鶴岡社社家執事職次第　四六・五八
鶴岡社職系圖　七九
鶴岡八幡宮御殿司職一方系圖　四六・五八
鶴岡八幡宮御殿司職次第　四六・五八
鶴岡八幡宮寺供僧次第　七七
鶴岡八幡宮寺社務職次第　四六・五八
鶴岡八幡遷宮記　七六
鶴岡放生會職人歌合　五六・六七
鶴岡兩界壇供僧次第　七七
鶴岡脇堂供僧次第　七七
つるぎさんだん　七四
つれ〲草拾遺　一〇五
ツンベルグ日本紀行　一〇六

テ

定盦文集(續集等五種共)　一三五
廷尉故實　八三
停雲集　一七〇
帝王世記　一四七
帝王姓系　二六六
帝王譜略國朝記　三五
帝王編年記　九六
低温度に於けるエチルエーテル・アセトン及び木精の粘度　二〇八
定家　七三
庭槐抄　四六・五七
丁亥入都紀程　二六二
定家家隆兩卿撰歌合　四九・六一
定家卿色紙開百韻　五〇・六一
定家卿自歌合　八五
定家卿消息　四八・五九
定家卿獨吟詩歌　八四
定家卿筆諫口訣　九二
定家卿百番自歌合　八四
定家卿藤川百首　八四
定家長歌短歌之說　八五
定家問答　八六
訂譌雜錄　七三・二三三
莚響錄　二一八
貞居先生詩集　一三六
庭訓往來　七一・八三
帝京歲時紀勝　二六〇
鼎軒田口卯吉全集　一九九
定香亭筆談　二三三
帝國學士院第一部論文集　二一〇
帝國議會圖書館和漢圖書目錄　一〇
帝國劇場と歌舞伎劇　一九六
帝國憲法發布奉祝文　一八九
帝國歲計豫算史　二八九
帝國財政意見　一九九
帝國主義論　一〇九
帝國大學圖書館和漢書分類目錄　一一